JAHIS

ＪＡＨＩＳ標準　１２－００１

Japanese

Association of

Healthcare

Information

Systems Industry

ＪＡＨＩＳ
臨床検査データ交換規約
Ｖｅｒ．３．１

２０１２年４月

一般社団法人 保健医療福祉情報システム工業会
医療システム部会　　検査システム委員会
相互運用性委員会

JAHIS 臨床検査データ交換規約Ver.3.1

ま　え　が　き

1993年、（財）医療情報システム開発センター（MEDIS-DC）臨床検査データ交換標準化協議会により「臨床検査データ交換規約（暫定版）」が発表された。その後、約1年間で30件以上におよぶ使用実績を見た。しかしながら、幾多の課題も見受けられた。そこで保健医療福祉情報システム工業会（JAHIS）臨床検査センターシステム専門委員会では、その使用経験に基づき、課題や要望を抽出整理した。その結果、課題の一部は、仕様の解釈が不十分なことに起因していると考えられた。そこで1994年度に、課題の共通認識と解決方法・注意点などを討議した結果、円滑な導入を図るため「臨床検査データ交換規約（暫定版）利用ガイド」をまとめ、発表した。

1995年より課題の根本的解決と医療情報の標準化動向に沿った臨床検査データ交換規約の検討にはいり、標準化動向の調査学習をすすめた。1996年度に臨床検査システムホスト接続WGと共同でDRAFTバージョンを発表し、意見収集を行った。1997年度、関係諸先生方の多数のご意見やHL7をはじめ関連規約との調整を図り「JAHIS臨床検査データ交換規約Ver.1.0」をまとめるに至った。本規約は、医療情報の標準化動向を見極めながら臨床検査のみならず保健医療福祉情報システム全体のデータ交換体系に留意し、院内オーダリングや病医院－臨床検査センター間をはじめ、さまざまな医療関連施設相互間に適用できるよう検討し、まとめたものである。

その後、1998年10月からオンライン版を検討し、1999年10月にVer.1.0を発行し、2000年のマスタに関してのメッセージを追加したVer.2.0ならびに2002年6月には臨床検査自動化のためのオンライン版Ver.2.0を発行してきた。さらに、2007年1月よりIHE臨床検査テクニカルフレームワークガイドラインとの整合性を検討し、かつ、Ver2.0とオンライン版Ver2.0との統合を実施したVer3.0を2008年に発行し、かつ、2010年には医療情報標準協議会（HELICS協議会）にて、「JAHIS臨床検査データ交換規約」として採択されている。

今回、Ver3.0制定から3ヶ年を経過し、また日本HL7協会における適合性認定における指摘事項を踏まえ、見直しを行いVer3.1として発行した。

本規約が医療資源の有効利用、保健医療福祉サービスの連携・向上を目指す医療情報標準化とデータ交換円滑化に多少とも貢献できれば幸いである。

2012年4月

一般社団法人 保健医療福祉情報システム工業会
医療システム部会　検査システム委員会
相互運用性委員会

＜＜　告知事項　＞＞

本規約は関連団体の所属の有無に関わらず、規約の引用を明示することで自由に使用することができるものとします。ただし一部の改変を伴う場合は個々の責任において行い本規約に準拠する旨を表現することは厳禁するものとします。

本規約ならびに本規約に基づいたシステムの導入・運用についてのあらゆる障害や損害について、本規約作成者は何らの責任を負わないものとします。ただし、関連団体所属の正規の資格者は本規約についての疑義を作成者に申し入れることができ、作成者はこれに誠意をもって協議するものとします。

Copyright©2012
一般社団法人 保健医療福祉情報システム工業会

目　　次

1.　はじめに ・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・1-1

2.　HL7概要 ・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・2-1

3.　主な用語 ・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・3-1

4.　臨床検査データ交換規約の対象範囲 ・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・4-1

4．1　会話型としての利用 ・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・4-1

4．2　ファイル転送型としての利用 ・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・4-1

4．3　臨床検査関連システム構成イメージとメッセージの適用・・・・・・・・・・・4-3

4．4　臨床検査依頼・報告メッセージの対応関係・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・4-8

5.　関連情報詳細 ・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・5-1

5．1　HL7メッセージについて ・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・5-3

5．2　フィールドならびにセグメント属性表について ・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・5-5

5．3　メッセージ区切り文字 ・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・5-7

5．4　データ型 ・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・5-9

5．5　検査項目コードについて ・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・5-79

5．6　検査材料・採取部位コードについて ・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・5-81

5．7　検査結果コメントの扱い ・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・5-84

5．8　定性結果･不等号等の表現方法・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・5-91

5. 9　コード体系表・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・5-92

5. 10　数量／タイミング（参考） ・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・5-97

6.　臨床検査依頼・臨床検査結果メッセージ構文 ・・・・・・・・・・・・・・・・・・・6-1

6．1　臨床検査依頼(OML/ORL)・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・6-2

6．2　到着確認報告、臨床検査結果(ORU/ACK, OUL/ACK)・・・・・・・・・・・・・・6-12

6．3　情報照会(QBP/RSP)・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・6-22

6．4　患者情報通知(ADT/ACK) ・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・6-33

7.　関連セグメント ・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・7-1

7．1　MSH　メッセージヘッダーセグメント ・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・7-2

7．2　NTE　注釈・コメントセグメント ・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・7-9

7．3　PID　患者識別セグメント ・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・7-11

7．4　PV1　来院情報セグメント ・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・7-19

7．5　PV2　来院補足情報セグメント ・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・7-29

7．6　AL1　患者アレルギー情報セグメント ･････････････････････････7-38
7．7　SPM　検体セグメント ･････････････････････････････････････7-40
7．8　ORC　共通オーダーセグメント ･････････････････････････････7-48
7．9　TQ1　タイミング／数量セグメント･････････････････････････7-70
7．10 OBR　検査要求セグメント ･････････････････････････････････7-74
7．11 OBX　検査結果セグメント･････････････････････････････････7-86
7．12 QAK　照会応答セグメント　･････････････････････････････････7-95
7．13 QPD　照会パラメータ定義･････････････････････････････････7-97
7．14 RCP　応答制御パラメータセグメント ･････････････････････････7-101
7．15 MSA　メッセージ応答セグメント･････････････････････････････7-103
7．16 ERR　エラーセグメント ･････････････････････････････････････7-105
7．17 EVN　事象型セグメント･････････････････････････････････････7-109
7．18 ROL　役割セグメント･･････････････････････････････････････7-111
7．19 PR1　処置セグメント･･････････････････････････････････････7-114
7．20 IN1 保険セグメント･･････････････････････････････････････7-119
7．21 MRG　患者情報マージセグメント･････････････････････････････7-128
8.　臨床検査自動化用メッセージ構文 ･････････････････････････････8-1
8．1　自動化装置ステータス(ESU/ESR) ･････････････････････････････8-2
8．2　検体ステータス(SSU/SSR) ･････････････････････････････････8-4
8．3　自動化装置在庫(INU/INR) ･････････････････････････････････8-6
8．4　自動化装置コマンド(EAC/EAR) ･････････････････････････････8-8
8．5　自動化装置通知(EAN/ACK) ･････････････････････････････････8-11
8．6　自動化装置検査コード設定(TCU/TCR) ･････････････････････････8-13
8．7　自動化装置ログ／サービス(LSU/LSR) ･････････････････････････8-15
9.　臨床検査自動化用セグメント詳細 ･････････････････････････････9-1
9．1　EQU　装置詳細セグメント ･････････････････････････････････9-2
9．2　ISD　インタラクションステータスの詳細 ･････････････････････9-4
9．3　SAC　材料と採取管の詳細セグメント ･････････････････････････9-5
9．4　INV　在庫詳細セグメント ･････････････････････････････････9-19
9．5　ECD　装置コマンドセグメント ･････････････････････････････9-25
9．6　ECR　装置コマンド応答セグメント ･････････････････････････9-27
9．7　NDS　通知詳細セグメント ･････････････････････････････････9-28

© JAHIS 2012

9．8　CNS　通知クリアセグメント ･････････････････････････････････9-29
9．9　TCC　検査コード設定セグメント ･････････････････････････････9-30
9．10 TCD　検査コード詳細セグメント ･････････････････････････････9-33
9．11 SID　物質識別セグメント ･････････････････････････････････9-35
9．12 EQP　装置ログ／サービスセグメント ･････････････････････････9-36
10.　マスタファイル･･･10-1
10．1 目的 ･･･10-2
10．2 トリガー事象･･10-2
10．3 メッセージ ･･10-3
10．4 マスタ通知メッセージ共通セグメント ･････････････････････････10-7
10．5 一般マスタファイル ･･････････････････････････････････････10-10
10．6 検査項目マスタファイル ･･････････････････････････････････10-13

付録－１．　メッセージの例 ･････････････････････････････････････付1−1
付録－２．　作成者名簿 ･･･付2−1

© JAHIS 2012

目次

1.　はじめに 1-1
2.　HL7 概要 2-1
3.　主な用語 3-1
4.　臨床検査データ交換規約の対象範囲 4-1
4.1　会話型としての利用 4-1
4.2　ファイル転送型としての利用 4-1
4.2.1　ファイル転送型における本規約利用上の考慮点 4-2
4.3　臨床検査関連システム構成イメージとメッセージの適用 4-3
4.3.1　臨床検査依頼・報告関連システム間情報伝達イメージ 4-3
4.3.2　マスタファイル通知イメージ 4-4
4.3.3　メッセージとトリガイベント 4-5
4.4　臨床検査依頼・報告メッセージの対応関係 4-8
4.4.1　臨床検査依頼・報告メッセージの OBR,OBX の対応関係例 4-8

© JAHIS 2012

1.　はじめに

今日、医療環境が変化し、分業化と連携が進むにつれ、標準化と客観化の重要性がより認識されるようになった。また、システムメーカーにおいても、一社ですべての業務システムをカバーすることは困難となってきており、マルチベンダー化が進んでいる。このような状況で効率的なシステム開発のため、標準化が必須となっている。つまり医療情報の標準化は、患者中心の医療や効率的な医療を進めるにあたって、重要な位置を占めるものである。

臨床検査の分野では、いち早く標準化の取り組みが行われている。

臨床検査そのものの標準化は1985年より日本臨床検査標準協議会JCCLS(Japan Committee for Clinical Laboratory Standards)が設立され、検査方法や精度管理を中心に信頼される検査データが流通することを目的として活動している。

検査項目コードについては、日本臨床検査医学会（旧：日本臨床病理学会）が1962年より長年にわたり臨床検査項目分類コードを発表してきたが、1990年にコンピュータで使用する事を前提とした大改訂を行い、第8回改訂として発表した。さらに第8回改訂の問題点や新規項目などを追加し、結果識別コードも組み込んだ第9回改訂を1994年に発表し、1997年の第10回改訂にてJLAC10として発表し利用されている。また、JLAC10をベースとしたMEDIS臨床検査マスタがHELICS協議会にて採択され検査項目コードの標準コードとして利用されている。

臨床検査データのシステム間でのやり取りについては、1993年医療情報システム開発センターMEDIS-DC臨床検査データ交換標準化協議会より暫定規約「臨床検査データ交換規約（暫定版）」が発表され、保健医療福祉情報システム工業会ではその利用ガイドを作成してきた。しかしながら、その暫定規約は当時の汎用機やオフコンで稼動している臨床検査システムですぐ対応可能な規約とし、国際情勢や医療情報システム動向を踏まえた規約については以後の検討とした。

このため、保健医療福祉情報システム工業会臨床検査システム委員会では、院内オーダリングや病医院－臨床検査センター間をはじめ、様々な医療関連施設間相互に適用でき、かつワールドワイドに通用する臨床検査データ交換規約の検討を進めた。まず病院・医院ほか保健医療関連施設（臨床検査センターを含む）間で発生する、検査依託業務に関する情報要素を抽出し、つぎに情報要素をASTM E-1238及びHL7と対比し原案検討を行い、1998年HL7 Ver.2.3に準拠した「JAHIS 臨床検査データ交換規約 Ver.1.0」をまとめるにいたった。

その後、病院情報システム（HIS）と臨床検査システム（LIS）間のオンライン通信機能を強化したHL7 Ver.2.3準拠の「JAHIS 臨床検査データ交換規約<オンライン版>Ver. 1.0」および各種マスタファイル情報の設定更新するメッセージが追加されたHL7 Ver.2.3.1準拠の「JAHIS 臨床検査データ交換規約 Ver.2.0」が制定された。さらに臨床検査自動化に関する通信仕様の追加等の改訂が行われたHL7 Ver.2.4に準拠した「JAHIS 臨床検査データ交換規約<オンライン版>Ver.2.0」が制定されてきた。

IHE-JでHL7Ver.2.5を採用したこと、ならびに「JAHIS臨床検査データ交換規約Ver.2.0」と会話型仕様「JAHIS臨床検査データ交換規約<オンライン版>Ver.2.0」の２つの規格が存在することを鑑み、2008年にはHL7Ver.2.5準拠ならびに２つの規格を一本化した「JAHIS臨床検査データ交換規約Ver.3.0」を制定するにいたった。HL7Ver.2.5準拠とすることで、従来のオーダ依存型メッセージに加え、検体依存型のメッセージも可能となり、いずれの場合も必要に応じ検体容器について記述することが可能となっている。また、2010年には、「JAHIS臨床検査データ交換規約」として、HELICS協議会に採択されている。

その後、日本HL7協会の適合性認定の実施に伴う指摘事項や他JAHIS標準のデータ交換規約との整合性を保つために、「JAHIS臨床検査データ交換規約Ver.3.1」を制定するにいたった。

© JAHIS 2012

2.　HL7概要

（HL7とは）
　ヘルスケア関連情報の電子的データ交換のための応用規約であり、また、規約の制定団体の名称でもある。異なるベンダの異なるシステム間のインタフェースとなる標準的書式である。本規約はOSI手順の第7層であるアプリケーション層に由来してHL7と名付けられたものであり、物理的規約は制定していない[1]。

（なぜ標準化なのか）
　基本的目的は増大する医療費の削減と医療の質の向上である。それは医療費の効率化のためコスト計算を明らかにするとともにヘルスケア品質の計測化による質の向上を目指すものである。
　1960年代は単独処理で他との接続は必要なかったが、1970-85年にかけ部門システムとの接続が始まり、1985年以降様々なシステム間で接続が要望され、インタフェース標準化の必要性が増大している。
病院単独から病院の統廃合も手伝ってヘルスケア共同体が拡大し、今日のヘルスケアは病院を中心に事務所、製造業、販社、支払者、診療所、政府機関が一体となった情報連携が必要で、かつ患者を取り巻くすべての部門とのトランザクションが通信で出来ることが必要となってきた。
　技術の進歩、通信環境の進歩、場所の多様化、システムの巨大化が背景となり標準化されたデータ交換が可能であり不可欠となっている。

（HL7の歴史）
　1987年3月ペンシルバニア大学病院で初会合、3-4ヶ月かけVer.1.0のドラフトができた。Ver.1.0は1987年10月に発表され全体的なインタフェースと入退院、オーダエントリ、オーダ照会が含まれる。患者会計の重要性が認識されていたが時間的制約で含まれなかった。以後1988年9月にVer.2.0、1990年にVer.2.1が発表された。1991年にはANSIのメンバとなり、1992年にはANSI HISPP(Healthcare Informatics Standards Planning Panel)の起草メンバとなった。1994年にはANSIに認知された標準化組織となった。1994年末Ver.2.2を発表し、最新版は2003年のVer.2.5で、ISO規格にも採用された。さらに、2005年の時点でVer.2.6も一部承認された。またオブジェクト指向のVer.3.0も発表され、2006年にはRIM(Reference Information Model)がISO/DISになっている。

（HL7の組織）
　HL7は会員制の組織であり会員は意見を反映させることができる。即ちHL7の情報源は会員の意見である。HL7の使用は会員であることを問わないが、HL7からのタイムリーな情報提供はない。理事会と作業グループがあり会員が参加できるし、作業グループに参加してなくても案に対して意見を述べることができる。また医療提供者顧問と工業会顧問のアドバイスを受ける。会員には、医療機関、コンピュータ会社、医療関連会社、コンサルタント会社などがいる。また米国以外の国々の会員もいる。会員数は増加しており2007年8月現在2300を越える会員数である。国際支部も既に30ヵ国以上になり各国での利用が進んできた。

（HL7プロトコル概要）
　HL7はOSI第7層（アプリケーション層）での規約であり、データの型や要素、要素の構成やグループ、コードや用語、機密保持、管理規約などが定義される。HL7の包含する対象はVer.2.1では入退転院、患者基本情報、オーダ、検査報告、財務的処理、照会などである、さらにVer.2.2では、マスタファイル更新、Ver.2.3では、文書管理、予約、患者紹介、患者看護、Ver.2.4、Ver.2.5では自動検査、人事管理、保険請求、材料管理などが追加された。
　HL7の基本的体系は、メッセージ型ID付電文で構成され、複数セグメントで論理的意味をなすメッセージとなる。メッセージ（例えば、入退転）は、具体的なきっかけとなる事象（例えば、患者入院）により、データ構成要素（例えば、患者名）からなるセグメント（例えば、患者属性）の集合として構成される。メッセージ交換は会話的にもバッチ処理的にも行われるものである。

（他の標準化組織との関連）
　ASTM E1238検査システム間データ交換をもとに検査関連をまとめているので互換性がある。HL7を含めた標準化団体の調和を図るためANSIでは、HSIB（Healthcare Informatics Standards Board）部門を設置し、

[1] HL7にはメッセージの記述の他、実装のガイドラインを規定している。HL7（バージョン3）のITS(Implementation Technology Specification)ではebXML、SOAP、MLLP(Minimum Low Layer Protocol)での下位層での取り扱いも規定されている。しかし、JAHIS標準ではこれらは採用していない。

© JAHIS 2012

NCPDP（薬剤情報）、 ACR/NEMA（画像DICOM）、 IEEE MEDIX（医療情報記述交換）、 ASTM（検査関連臨床情報交換）、 ASC X12（会計保険情報の電子データ交換）と協調している。また国際的にもCEN-TC251(European Committee for Standardization　Technical Committee 251)などと連絡を取り合っている。これら協調は重複の縮小、標準化のスピードアップ、コスト低減、国際関係の促進、政府によらない開発、販売者の共同作業の促進などのため必要なことである。さらにISO/TC215(Health Informatics)とHL7はPilot ProjectとしてHL7規格をISO規格にすることが決定された。

（日本HL7協会他国内の標準化組織との関連）

日本HL7協会が1998年7月に設立された。これを受け、JAHISでもHL7標準化規約の日本国内における普及を日本HL7協会と協力し、進めている。

3.　主な用語

トリガイベントTrigger Event：　メッセージの交換を始めるきっかけとなる事象をトリガイベントという。HL7は、実際のヘルスケア現場でのシステム間データ通信の必要性に応じた事象を受けて書かれている。例えば、「患者が入院」というトリガイベントは、その患者についての情報を幾つかの他のシステムに伝送する必要を引き起こすであろう。それらメッセージ型とトリガイベントコードは一対多の関係である。

メッセージMessage：　1つのメッセージは、システム間で転送されるデータの意味のある最小単位であり、これは定義された順序のセグメントの集合からなる。各々のメッセージはその目的を定義するメッセージ型を持っている。例えば、ADT（入退転）メッセージ型はあるシステムから別なシステムに患者の入退院・転棟・転床データの一部を伝送するために使用される。各々のメッセージに含まれる3文字のコードがその型を識別する。

セグメントSegment(record)：　セグメントはメッセージの1つの側面について記述するもので、データ要素（フィールド）の論理的集合体である。各々のセグメントはセグメントIDと呼ばれる3文字のコードで識別される。メッセージ中のセグメントは必要なものと任意のものとある。それらはメッセージ中一回だけ出現する場合と繰り返しが許される場合とある。例えば、単一のオーダ関連情報はOBRセグメントとして送られ、検査関連情報は別のOBXセグメントとして送られることがある。

フィールドField：　診断名などといったセグメント中の1つの意味付けされた属性であり、フィールドには基本属性をさらに詳細に記したデータ成分の集合を含むことがある。

フィールド成分Field components：　フィールドへの入力要素として、成分という識別可能な部分を含むことがある。例えば、患者名は、姓、名、ミドルネーム（イニシャル）として記録されるが、それぞれの要素は別個のエンティティであり、成分区切り文字により分離される。成分はさらに副成分で構成される場合もある。

メッセージ区切り文字Message Delimiters：　メッセージを構成するにあたっては、定義された文字が使用される。それらは、セグメントターミネータ、フィールドセパレータ、成分セパレータ、副成分セパレータ、反復セパレータ、そしてエスケープ文字である。

依頼者Placer(Requestor)：　検査群を依頼（要求）する人あるいは部門をいう。　例えば、検体検査、X線、バイタルサインなどを依頼する医師、実施者、病院、または病棟部門などである。

実施者Filler(Producer)：　依頼・要求された検査を実施する（オーダに応える）人または部門のことである。診断部門、臨床部門、その患者についての検査結果を報告する看護提供者を含む。臨床検査室は検体検査の実施者（検査オーダに応える人）であり、看護部門はバイタルサイン観察などの実施者（バイタルサインの測定を依頼するオーダに応える人）である。

検査群（バッテリ）Battery：　単一名と単一コード番号で識別される1個以上の検査を含む検査集合であり、構成要素である検査を依頼・検索するのに使用する包括的なまとまりとして扱われる。通常、バイタルサインは、拡張期血圧、収縮期血圧、脈拍、呼吸数などで、電解質は通常、Na^+、K^+、Cl^-、HCO_3^-などで、入院時検査は血液、電解質、生化学、尿検査などで、産科用超音波は、従来の計測結果および所見から成るセットで、構成され、それら構成要素は、依頼者に返される時、個別の“結果”として返される。これらバイタルサイン、電解質、入院時検査、産科用超音波などはすべて検査群の例である。集合に関する数学法則と同様、単一検査も検査群とすることができる。検査群という用語は、本仕様では、「プロファイル」あるいは「パネル」と同義である。検査群は他の検査群の構成要素にもなり得ることに注意すること。検査群内の個々の検査要素は、1つの生理学系（例えば、肝機能検査）の特性を反映してもよいし、様々な異なる生理学系の特性を反映してもよい。

病院情報システム（HIS）Hospital Information System：　患者管理ADT（入院、退院、転院）、各種オーダ、施設管理など、通常、検査室の外部の機能をサポートするシステムをいう。

© JAHIS 2012

臨床検査システム（LIS）Laboratory Information System：　患者検体の識別、検査の依頼、検査の報告、精度管理などの、検査の様々な面に関するデータ管理の責任を負う情報システムをいう。

注ａ：　LISはLASと直接インタフェースを行い、患者、到着、採取管、検査依頼、検体ステータス、検査の結果を通信する。

注ｂ：　LISまたはLASは装置（または検体処理装置）とインタフェースして、特定の検査依頼と報告のための結果のやり取りを行う。

注ｃ：　LISは、医師および他の医療職員が使用するために、臨床システムとインタフェースする場合が多い。

臨床検査自動化システム（LAS）Laboratory Automation System：　臨床検査室のシステムの運用においてオペレータの介在をできるだけ少なくした､情報とハードウェアテクノロジーのシステムをいう。

注：　典型的な機能には、LASインタフェースを通じた装置の情報システム管理があり、これには検体の操作（遠心分離）、検体の搬送、結果の計算、再検査、検査の考察、品質評価と結果報告を行う技術が含まれる。

自動化装置Automated instrument：　患者のサンプルの計測を行う自動化された検査装置をいう。臨床検査システム（LIS）、病院情報システム（HIS）、臨床検査自動化システム（LAS）に接続している場合も接続していない場合もある。

注：　これらの装置は、臨床検査自動化システムとのインタフェースが行えるよう、ハードウェアまたはソフトウェアの仕様の変更を行っても良い。

検体Specimen：　ある量や性質を検査、研究、分析して全体の特性を決定するために採取した、体液または組織の一部をいう。

注：　採取した検体を処理したものも検体と呼ばれる。従って、検体の例には、全血および全血から得られる血清や血漿、唾液、髄液、便、尿、爪、毛髪、パラフィンブロックに内包された組織サンプルなども含まれる。

採取管Container：　患者の検体を保持する容器をいう。（図１参照）

注：　採取管は通常、ガラスまたはプラスチック製の片側が閉じた管で、反対側に取り外し可能な蓋が付いている。

ロケーションLocation：　一意の識別子（冷蔵庫の棚番号、機器バッファID、トラックIDなど）を持つ、検査室内の物理的な場所をいう。（図１参照）

キャリアCarrier：　採取管を保持するデバイスをいう。（図１参照）

注：　キャリアは、搬送システムと機械的にインタフェースして、ロケーションからロケーションに検体を移動させる。運搬する採取管の数は1個の場合も複数の場合もある。

トレイTray：　1個以上のキャリアを保持するデバイスをいう。（図１参照）

LECIS Laboratory Equipment Control Interface Specification：　分析機と機器のリモート制御の、規格動作またはインタラクションのためのメッセージ内容を定める高レベルプロトコル（ASTM E 1989-98）。

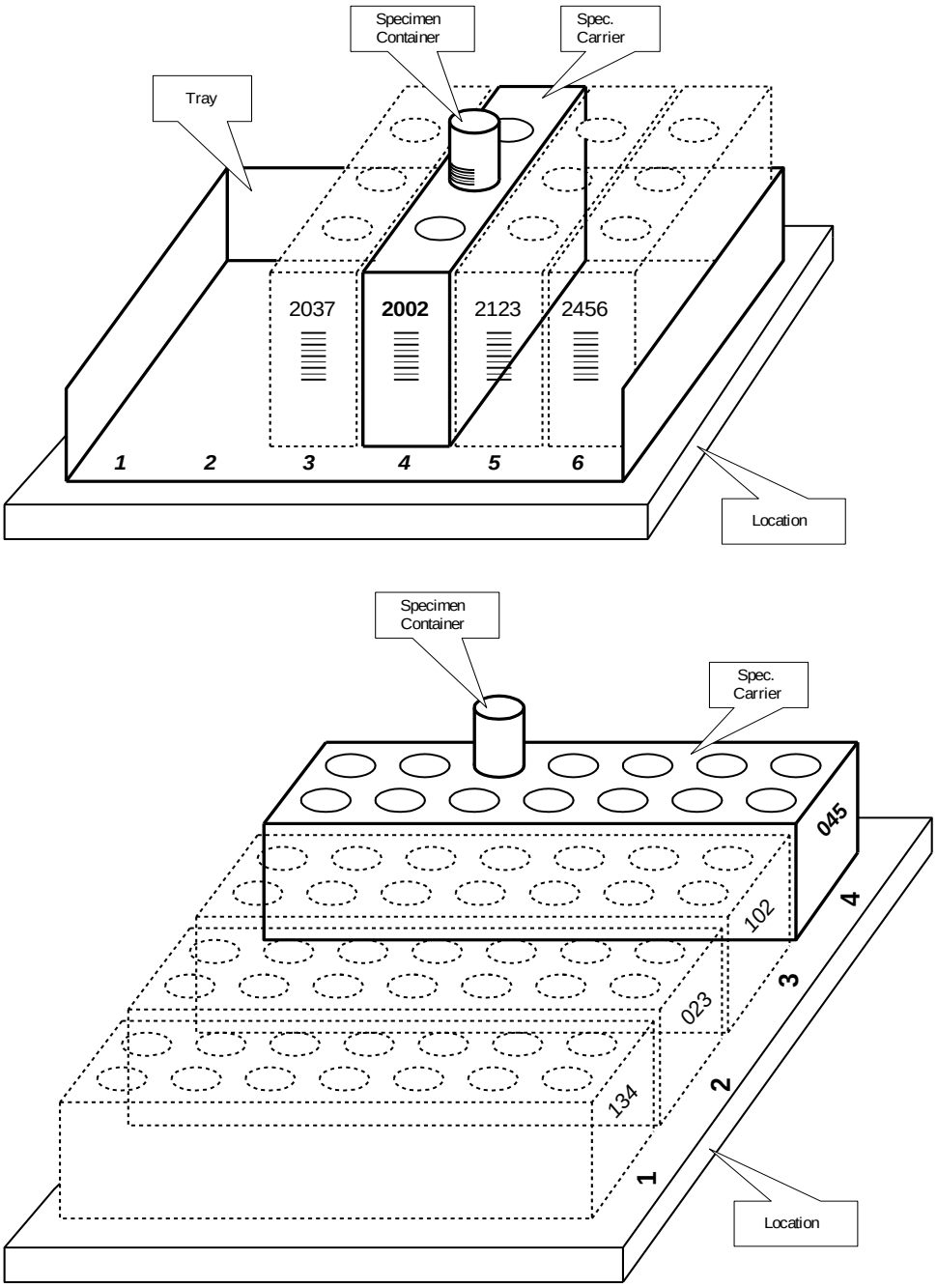


図１．採取管、キャリア、トレイ、ロケーションの関係

4.　臨床検査データ交換規約の対象範囲

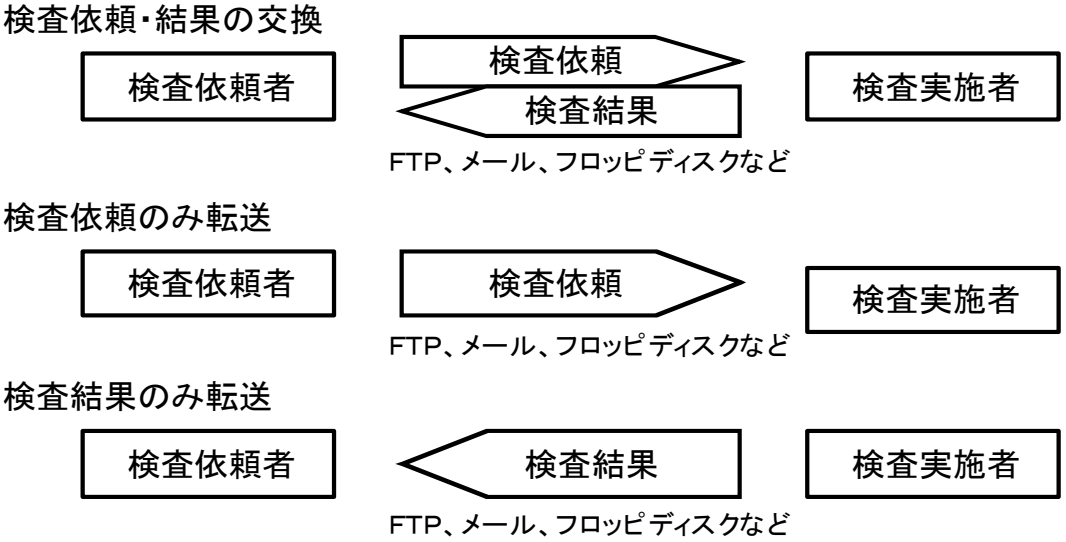
従来JAHIS臨床検査データ交換規約はファイル転送型（通称バッチ版）とHIS-LIS間通信のような会話型（通称オンライン版）があったが、このたび両者を統合し「JAHIS臨床検査データ交換規約Ver.3.0」とした。各々の利用場面での特徴や注意事項をつぎに述べる。

4.1　会話型としての利用

一般的に施設内の臨床検査依頼、結果報告などのデータ交換では、病院情報システム（HIS）、臨床検査システム（LIS）、臨床検査自動化システム（LAS）の間で、会話型の通信が使用される。会話型のデータ交換規約としては、これまで「JAHIS臨床検査データ交換規約<オンライン版>Ver.1.0」（HL7 Ver.2.3.1準拠）、臨床検査自動化に関する通信仕様の追加等の改訂が行われたVer.2.0（HL7 Ver.2.4準拠）があった。本規約はVer.2.0の改訂版<Ver.3.0 >として、HL7 Ver.2.5に準拠するとともに、ファイル転送型と統合したものであるが、特別のコメントがない限り、会話型について記述している。

4.2　ファイル転送型としての利用

ファイル転送型の規約としては、これまで「臨床検査データ交換規約暫定版」（MEDIS-DC）、ASTM E1238を参考にした「JAHIS臨床検査データ交換規約Ver.1.0」（HL7 Ver.2.3準拠）、同Ver.2.0（HL7 Ver.2.3.1準拠）があった。ファイル転送型はシステム間のデータ交換をファイル転送することで実現するが、ファイル転送の手段としてFTP、NFS、電子メールなどのオンラインファイル伝送や、フロッピディスクなどのオフラインメディア搬送などが利用でき、施設内・外を問わず極めて導入が容易である。また、一般的なファイル交換でのセキュリティ対策（PGPなど）が適用でき必要十分な対策が可能である。
ファイル転送型の利用形態について以下に示す。



© JAHIS 2012

4.2.1 ファイル転送型における本規約利用上の考慮点

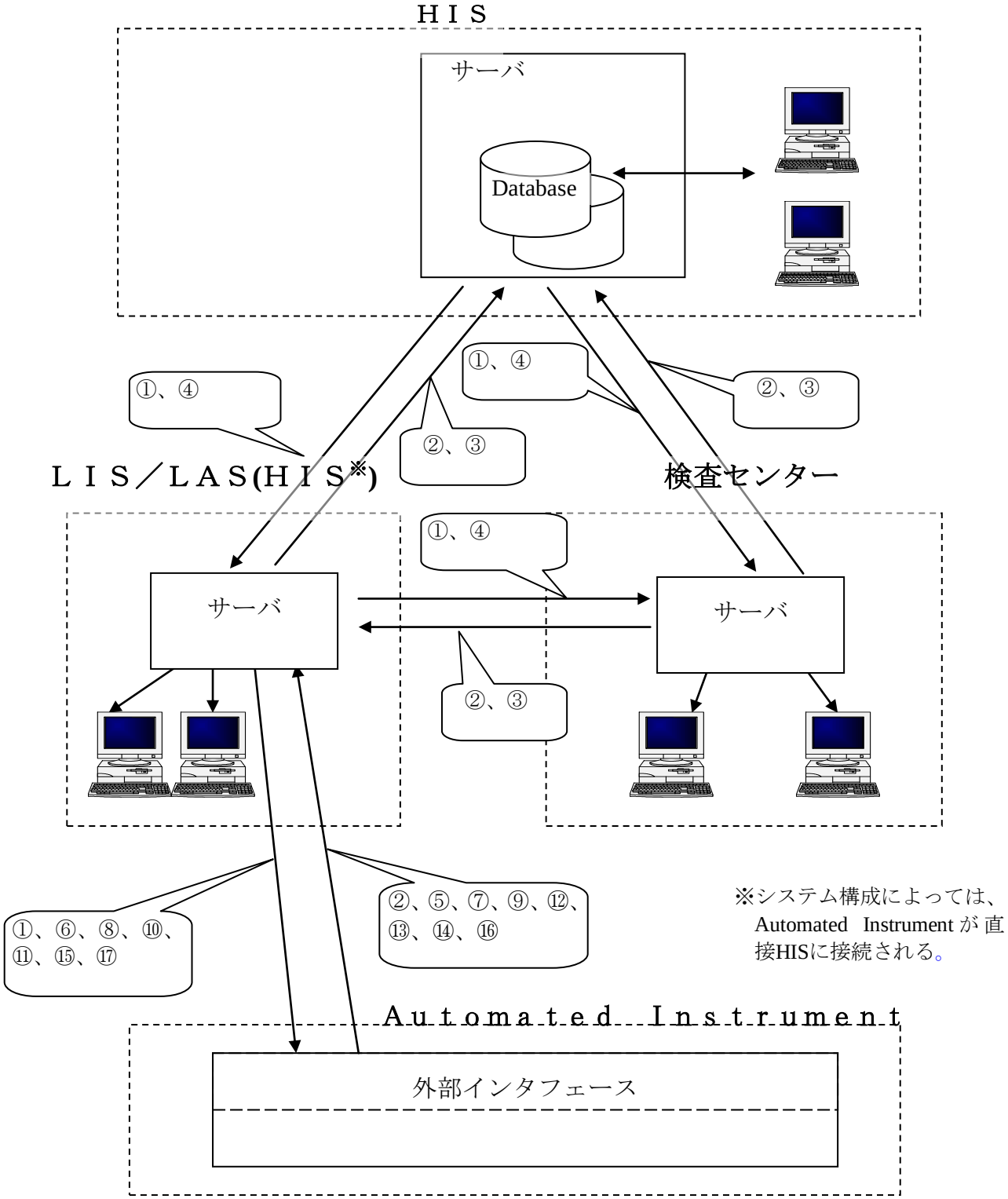
- 臨床検査依頼メッセージと臨床検査報告メッセージはそれぞれ単独でも使用可能であるが、電子化メッセージ交換の効果を高めるには両者を使用し精度の高い情報交換を実現することを推奨する。
- ファイル転送型で使用するメッセージは、臨床検査依頼（OML^O21）、臨床検査結果報告（ORU^R01）、マスタファイル通知（MFN^M08~M14）であり、照会、到着確認、検査自動化関係のメッセージは適用しない。
- 本規約では会話型で使用する応答メッセージについても記載があるが、ファイル転送型ではMSHセグメント等での応答指定にかかわらず応答メッセージは使用しない。

© JAHIS 2012

4.3　臨床検査関連システム構成イメージとメッセージの適用

臨床検査データ交換規約は下図「システム間情報伝達イメージ」と「マスタファイル通知イメージ」の範囲を対象とする。また、取り扱うメッセージ型及びトリガイベントを表「メッセージとトリガイベント」に示す。

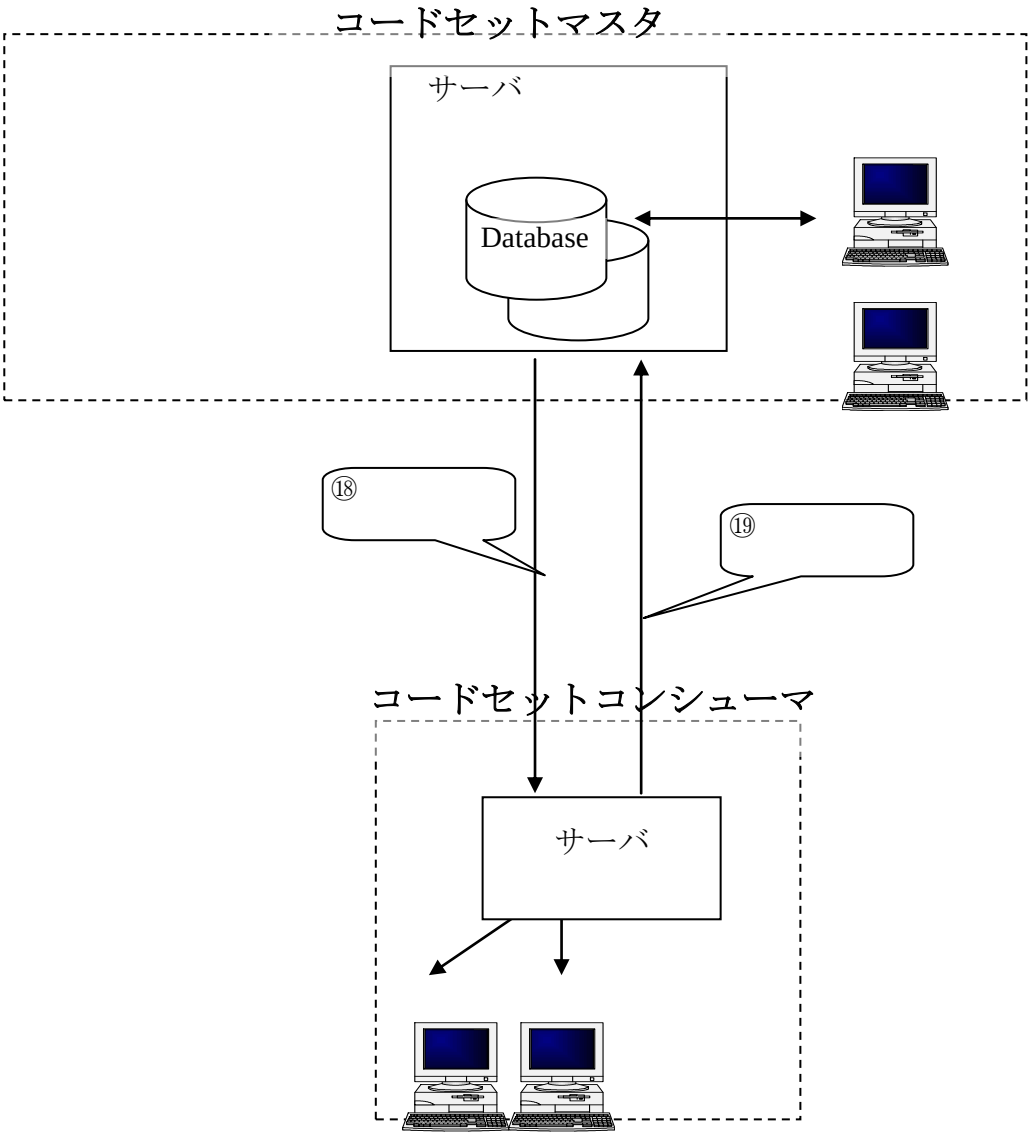
4.3.1　臨床検査依頼・報告関連システム間情報伝達イメージ



各数字（①～⑰）は、表「メッセージとトリガイベント」の番号に対応する。

© JAHIS 2012

4.3.2　マスタファイル通知イメージ



各数字（⑱、⑲）は、表「メッセージとトリガイベント」の番号に対応する。

© JAHIS 2012

4.3.3　メッセージとトリガイベント

メッセージとトリガイベント

NO	メッセージ定義	メッセージ型	トリガイベント	イベント型
①	臨床検査依頼	OML→ ←ORL	一般オーダメッセージ	O21/O22
			１検体に対する複数依頼の検査オーダメッセージ	O33/O34
			1検体1容器複数依頼時の検査オーダメッセージ	O35/O36
②	到着確認報告、臨床検査結果	ORU→ ←ACK OUL→ ←ACK	非要求検体ベース検査結果メッセージ	R22
			非要求検査結果転送メッセージ	R01
			非要求検査結果メッセージ	R21
			非要求検体採取容器ベース検査結果メッセージ	R23
			非要求オーダベース検査結果メッセージ	R24
			非要求POCT検査メッセージ依頼部門オーダなし	R30
			非要求POCT検査メッセージオーダ検索	R31
			非要求事前POCT検査オーダ	R32
③	情報照会	QBP→ ←RSP	患者情報照会メッセージ	ZC0/ZC1
			検査結果情報照会メッセージ	ZB5/ZB6
④	患者情報通知	ADT→ ←ACK	患者管理メッセージ	A08
⑤	自動化装置ステータス更新	ESU→ ←ACK	自動化装置または自動化装置のステータスに関する情報の更新	U01
⑥	自動化装置ステータス要求	ESR→ →ACK	自動化装置または自動化装置のステータスに関する情報の要求	U02
⑦	検体ステータス更新	SSU→ ←ACK	検体の位置とステータスに関する情報の更新	U03
⑧	検体ステータス要求	SSR→ ←ACK	検体の位置とステータスに関する情報の要求	U04

© JAHIS 2012

NO	メッセージ定義	メッセージ型	トリガイベント	イベント型
⑨	自動化装置在庫更新	INU→ ←ACK	在庫項目に関する情報の更新	U05
⑩	自動化装置在庫要求	INR→ ←ACK	在庫項目に関する情報の要求	U06
⑪	自動化装置コマンド	EAC→ ←ACK	自動化装置コマンドの発行	U07
⑫	自動化装置応答	EAR→ ←ACK	自動化装置コマンドに対する応答	U08
⑬	自動化装置通知	EAN→ ←ACK	自動化装置に関する通知	U09
⑭	自動化装置検査コード設定更新	TCU→ ←ACK	検査コードとパラメータに関する情報の更新	U10
⑮	自動化装置検査コード設定要求	TCR→ ←ACK	検査コードとパラメータに関する情報の要求	U11
⑯	自動化装置ログ/サービス更新	LSU→ ←ACK	ログ／サービスのイベントのどちらかまたは両方の更新	U12
⑰	自動化装置ログ/サービス要求	LSR→ ←ACK	ログ／サービスのイベントのどちらかまたは両方の要求	U13

© JAHIS 2012

NO	メッセージ定義	メッセージ型	トリガイベント	イベント型
⑱	マスタファイル通知	MFN→ ←MFK	他に特定されないマスタファイル（旧版互換のみ）	M01
			職員／従事者マスタファイル	M02
			検査項目マスタファイル（旧版互換のみ）	M03
			課金明細マスタファイル	M04
			ロケーションマスタファイル	M05
			相とスケジュールを伴う治験マスタファイル	M06
			相を除くスケジュールを伴う治験マスタファイル	M07
			数値型検査項目マスタファイル	M08
			カテゴリ型検査項目マスタファイル	M09
			群（セット）検査項目マスタファイル	M10
			計算型検査項目マスタファイル	M11
			付加的基本的観察サービス属性マスタファイル	M12
			一般マスタファイル	M13
			サイト定義マスタファイル	M14
			在庫管理項目マスタファイル	M15
⑲	マスタファイル照会	MFQ→ ←MFR	マスタ通知と同様	M01～M15

© JAHIS 2012

4.4 臨床検査依頼・報告メッセージの対応関係

- 臨床検査結果報告メッセージにおける患者識別PID、来院PV1、検査依頼OBRの各セグメントは検査依頼メッセージの当該セグメントの内容を引き継ぐようシステム設計すべきである。特にOBRセグメントは依頼情報に実施者情報を設定するフィールドや依頼者情報を保持したまま返すフィールドがあるのでシステム設計上の配慮が必要である。
- 検査結果セグメントOBXは臨床検査依頼メッセージでも使用されるが、臨床検査結果報告メッセージの検査結果セグメントOBXと対応するものではない。すなわち、臨床検査結果報告メッセージにおけるOBXセグメントは依頼された検査に対応する結果表現の最小単位ごとに出現し、その数は結果により可変である。
- 検査結果セグメントOBXのOBX-5検査結果には参照ポインタを設定し、画像やチャートなど別のファイルやデータを参照することも可能としている。そのため関連してHL7メッセージファイル以外のファイルの伝送や、参照する仕組みについてもシステム設計上の配慮が必要である。

4.4.1 臨床検査依頼・報告メッセージのOBR,OBXの対応関係例

臨床検査報告に含まれる検査結果の件数は検査内容や結果により適宜変化する。例えば、判定値や所見の付加る、あるいは検査結果から必要とされる次の検査項目の追加による検査結果の発生などがある。そのため、臨床検査依頼メッセージに含まれるOBRやOBXの件数と対応する臨床検査報告メッセージに含まれるOBRやOBXの件数は一致しない。システム設計上、OBRやOBXの件数は可変であることに注意が必要である。
対応関係の例を以下に示す。

検査依頼メッセージ中のOBR, OBX	結果報告メッセージ中のOBR, OBX
OBR　肝炎セット検査、血清 OBX　GOT依頼 OBX　GPT依頼	OBR　肝炎セット検査、血清 OBX　GOT、10U OBX　GPT、5U OBX　**file://肝炎チャート.png**
OBR　尿一般検査、尿	OBR　尿一般検査、尿 OBX　尿蛋白定性、（－） OBX　尿糖定性、（－） OBX　ウロビリ定性、（－）
OBR　クレアチニンクリアランス検査、 ペア材料：血清・蓄尿 OBX　身長，170cm OBX　体重，60kg	OBR　クレアチニンクリアランス検査、 ペア材料：血清・蓄尿 OBX　クレアチニンクリアランス、100ml/min
	別File：肝炎チャート.png

5. 関連情報詳細

5. 関連情報詳細 5-1

5.1 HL7メッセージについて 5-3
5.1.1 メッセージならびにメッセージ構成 5-3
5.1.2 HL7メッセージコーディング及び処理規則 5-3
5.2 フィールドならびにセグメント属性表について 5-5
5.2.1 (セグメント内の)位置 5-5
5.2.2 最大長 5-5
5.2.3 データ型 5-5
5.2.4 オプション指定 5-5
5.2.5 反復 5-6
5.2.6 表 5-6
5.2.7 ID番号 5-6
5.2.8 名称 5-6
5.3 MESSAGE DELIMITERSメッセージ区切り文字 5-7
5.3.1 テキストフィールドでのエスケープシーケンスの使用 5-7
5.3.2 エスケープ文字の例外的解釈 5-8
5.4 DATA TYPES データ型 5-9
Data types データ型解説 5-10
FT 書式付テキストデータ 5-11
SRT ソート順 5-11
ST 文字列データ 5-11
TX テキストデータ 5-12
CQ 単位付複合数量 5-12
MO 金額 5-12
NM 数値 5-13
SI シーケンスID 5-13
SN 構造化数値 5-13
ID HL7定義表コード化値 5-14
IS 使用者定義表コード化値 5-14
EI エンティティ識別子 5-14
HD 階層的指定子 5-15
PL 所在場所 5-17
PT 処理型 5-19
RP 参照ポインタ 5-20
VID バージョン識別子 5-21
DT 日付 5-21
DTM 日付／時刻 5-22
TM 時間 5-23
TS タイムスタンプ 5-23
CE コード化値 5-24
CF 書式付コード化値 5-25
CNE 例外なしコード化値 5-26
CNN 単純化複合ID番号と名称 5-27
CWE 例外を含むコード化値 5-29
CX チェックデジット付き拡張複合ID 5-32
XCN 拡張複合IDと名前 5-38
CSU チャンネル感度 5-41
DLD 退院先と日付 5-42
DLT デルタ 5-42
EIP エンティティ識別子ペア 5-43
ELD エラー場所および説明 5-43
GTS 汎用タイミング指定 5-44

© JAHIS 2012

MOC　金額およびチャージコード 5-45
MSG　メッセージ型 5-45
NDL　日付と場所を伴う名前 5-45
NR　数値範囲 5-46
OSD　オーダ連鎖定義 5-47
PRL　親結果リンク 5-48
RFR　基準範囲 5-49
RPT　繰り返しパターン 5-50
SPS　検査材料 5-53
VR　値の範囲 5-54
WVI　チャネル識別子 5-54
WVS　波形ソース 5-55
FN　姓 5-55
SAD　通りの住所 5-56
XAD　拡張住所 5-56
XON　拡張複合組織IDと名称 5-58
XPN　拡張人名 5-60
XTN　拡張テレコミュニケーション番号 5-62
ED　カプセル化データ 5-64
CCP　チャンネル調整パラメータ 5-66
CD　チャネル定義 5-67
MA　多重化された配列 5-68
NA　数値の配列 5-68
CP　複合価格 5-69
FC　会計クラス 5-70
DLN　運転免許証番号 5-70
JCC　職種コード／種類 5-70
QIP　照会入力パラメータリスト 5-71
QSC　照会選択基準 5-72
RCD　行・列定義 5-73
VH　来院時間 5-73
PPN　実施者タイムスタンプ 5-74
DR　日付／時間の範囲 5-76
RI　繰り返し間隔 5-77
SCV　予約クラスと値 5-77
TQ　タイミング数量 5-78
5.5　検査項目コードについて 5-79
5.5.1　日本臨床検査医学会　臨床検査項目分類コード 5-79
5.5.2　臨床検査項目分類コードの利用 5-80
5.5.3　検査項目コードと検査材料の関連 5-80
5.5.4　検査項目コード事例集 5-80
5.6　検査材料・採取部位コードについて 5-81
5.6.1　日本臨床検査医学会　臨床検査項目分類コード　材料コード 5-81
5.7　検査結果コメントの扱い 5-84
5.7.1　OBXに伴う叙述的報告について 5-84
5.7.2　叙述的報告の共通成分に使う検査IDを定義するための接尾辞の解説 5-85
5.7.3　検査結果コメントの例 5-88
5.8　定性結果・不等号等の表現方法 5-91
5.9　コード体系表 5-92
5.10　（参考）QUANTITY/TIMING(TQ) 数量/タイミング　データ型 5-97
5.10.1　QUANTITY／TIMING　数量/タイミングの使用例 5-102

© JAHIS 2012

5.1　HL7 メッセージについて

5.1.1 メッセージならびにメッセージ構成

メッセージとは、システム間でやり取りするデータの最小単位であり、メッセージは順序を定義したセグメントの集合からなる。メッセージ（例えば検査依頼）は具体的なトリガイベント（例えばオーダ）により発生する。
全てのメッセージはメッセージヘッダ(MSH)セグメントで始まり、データ構成要素フィールド（例えば患者名）からなるデータをもったセグメント（例えば患者属性）、およびメッセージを記述したファイルの終了、入出力バッファなどの記述単位の終端を持って構成する。
HL7実装規約の低通信プロトコル(MLLP: Minimum Low Layer Protocol)でメッセージ交換を行う場合、終端を(0x1C,0x0D)とする。
その他の実装では利用する下位層のプロトコルにゆだねる。
メッセージは可読的なコード化規則による区切文字で区切り、可変長である。下記のように構成する。

メッセージ：	開始（MLLP の場合）	<VT> (0x0B)
	MSH セグメント	<CR> (0x0D)
	xxx　セグメント	<CR> (0x0D)
	yyy　セグメント	<CR> (0x0D)
	zzz　セグメント	<CR> (0x0D)
	終端（MLLP の場合）	<FS><CR> (0x1C,0x0D)

セグメント：　セグメント ID | フィールド 1 | フィールド 2 | フィールド 3 | …　<CR>

フィールド：　エレメント 1 ^ エレメント 2 ^ エレメント 3 ^ …

臨床検査依頼 OML^O21^OML_O21メッセージ構成例：

```
MSH　・・・・
PID　・・・・
ORC　・・・・
OBR　肝炎セット検査
OBX　GOT
OBX　GPT
SPM　・・血清・・
ORC　・・・・
OBR　尿一般検査
SPM　・・尿・・
ORC　・・・・
OBR　24時間クレアチニンクリアランス検査
OBX　身長
OBX　体重
SPM　・・ペア材料：血清・蓄尿・・
```

5.1.2 HL7 メッセージコーディング及び処理規則

メッセージの組立（送信側）

送信側アプリケーションは生成したメッセージデータに適切なMSHセグメントを付加し、下位層を通じて送信先へ送信する。

1. トリガイベントに対応したメッセージ仕様に基づき各セグメントを配置する
2. 記述したセグメントの先頭にセグメントIDを置く
3. 各データフィールドの前にフィールド区切りを置く
4. 各フィールドのデータを定義されたデータ型に基づきコード化する
   ・データが存在しないフィールドに文字（スペースを含む）を入れてはならない
   ・フィールド中に後のデータがない場合、後の成分区切りを省略できる

© JAHIS 2012

・セグメント中に後のフィールドがない場合、後のフィールド区切りを省略できる

・セグメントの終了はセグメントターミネータ（<cr>）とする

メッセージの検証と応答（受信側）（会話型のみ適用）

1. 受信側の応答システムは受信したメッセージを受諾すべきか否か検証する

   MSH-15-受諾応答指示とMSH-16-アプリケーション応答指示がnullあるいは存在しない場合や基本応答規則を使用する場合、受信したメッセージに対して下記の検証を行う。

   a) MSH-9-メッセージ型の内容を、応答システムが受諾可能か否か

   b) MSH-12-バージョンIDの値を、応答システムが受諾可能か否か

   c) MSH-11-処理ID の値が、メッセージを扱うアプリケーション処理に適切な値であるか否か

   上記のいずれかの基準が満たされない場合、受信側はメッセージを拒否することができる。つまり、受信側はMSA-1-応答コードがAR（アプリケーション拒否応答）のACKメッセージを生成し送信側に通知する。

2. 受信アプリケーションのメッセージ受諾と検証/処理

   応答システムによる検証に成功後、メッセージを受信アプリケーションに引き渡す。受信アプリケーションはメッセージについて以下のいずれかの処理を行う:

   a) メッセージの処理に成功した場合、MSA-1-肯定応答コードにAA（アプリケーション肯定応答）をセットした機能応答メッセージを生成し送信する。

   b) エラーが発生した場合、MSA-1-肯定応答コードにAE(アプリケーションエラー応答)をセットした応答メッセージと、機能セグメントにエラー情報をセットし送信する。

   c) メッセージの内容やフォーマット以外の理由（システムダウンや内部エラーなど）により、メッセージの処理に失敗（拒絶）した場合、多くは、再処理により受信側システムが後で同じメッセージを処理できる可能性が高い。従って、メッセージを自動的に再送するか否かはシステム実装者が決定する。この応答メッセージはMSA-1-肯定応答コードにAR の値をセットする。

3. メッセージの応答

   応答する際には、上記の規則にのっとり新しいMSHセグメントを生成する。その際注意すべき事は、MSH-7-メッセージ生成日時およびMSH-10-メッセージ制御IDは応答メッセージ独自に生成したもので、受信したメッセージのコピーではない点である。MSH-5-（送信先）受信アプリケーション、MSH-6-（送信先）受信施設、MSH-11-処理IDは、受信メッセージの内容から送受信先の入れ替え、コピーなどを行う。

メッセージの処理（受信側）

・期待されるデータセグメントがない場合、その全てのデータフィールドをnullとして扱う

・期待されるデータセグメントがない場合、その全てのデータフィールドをnullとして扱う

・予期しないいかなるデータセグメントも無効 － これは誤りである

・データセグメント終わりの予期せぬデータフィールドは無視 － これは誤りではない

© JAHIS 2012

5.2　フィールドならびにセグメント属性表について

フィールドは文字列である。システムが実際にアプリケーション内でどのようにデータを保管するかについてHL7は関与しない。特に注記しないかぎり、HL7データフィールドはnull値を採ることがある。 null値を送ること、つまり2個の二重引用符("")として送ることと、オプションのデータフィールドを省略することとは異なる。メッセージ内容が新規レコードを作成するためでなくデータベース内のレコードを更新するために使われるときにその相違が出てくる。値を送信しない（すなわち省略する）場合、古い値はそのままである。null値を送る場合は、古い値はnull値に変更する。
本規約のさまざまな章にセグメント属性表が含まれている。これらの表は、そのセグメント内のデータフィールドとその使用上の特徴を一覧、記述している。セグメントを定義する際、以下の情報が各フィールドについて述べられている。

5.2.1 (セグメント内の)位置

セグメント属性表のSEQというコラムは、セグメント先頭の3文字のセグメント型に続くセグメント内のデータフィールドの順序位置を示す。この番号は、セグメント定義表に続くテキストコメントで示されるデータフィールドの説明を参照するために使用する。

5.2.2 最大長

1つのデータフィールドの1反復が占めることができる文字の最大数。セグメント属性表では、この情報はLENというコラムにある。HL7 Ver.2.5では最大長はフィールドのデータ型によって決まる。フィールドの長さは標準であるが、関係者間の同意のもとに最大長を決めることもできる。後に定義する成分セパレータと副成分セパレータは文字数として計算する。最大長はフィールドに指定したデータ型によるので、反復セパレータは、最大長を計算するときに含めない（5.2.5節 反復を参照）。値65536と64Kと略記した記述は同じである。「HL7表0440－データ型」を参照。

注：本規約での最大長の表現ならびに注意事項
本規約では、各 HL7 セグメント属性表中の各フィールドの最大長は、HL7 V2.5 第 2 章の定義に準拠し当該フィールドのデータ型に依存し定めている。ただし、構造を持たない ST、TX、NM 型等のフィールドについては、引用される値を考慮したと考えられる HL7 セグメント属性表中の各フィールドで定義されている最大長をそのまま踏襲した。なお、ID 型フィールドは引用される HL7 表のコード値の長さに依存して定めている。また、IS 型フィールドは引用される使用者定義表のコード値の長さに依存するので、引用するコード体系が未定の場合、本規約に記載の当該フィールドの最大長は参考である。

5.2.3 データ型

セグメント属性表では、この情報はDTというコラムにある。もしフィールドのデータ型が不定なときは"varies"を注記する。

HL7によって定義された多くのデータ型がある。これらについては「5.4 Data typesデータ型」で説明する。

5.2.4 オプション指定

セグメント内のデータフィールドが、必須なのか、オプションなのかまたは条件付きなのかを示す。HL7成分表、セグメント属性表では、この情報はOPTというコラムにある。HL7での指定は以下のとおりである。

R　－　必須。
O　－　オプション。
　　トリガイベントおよびその他のフィールド条件による。
C　－　セグメント属性表に続くフィールド定義（説明)では、このフィールドの条件を定義するアルゴリズムを指定すべきである。
X　－　対象のトリガイベントでは使用しない。
B　－　HL7 の旧バージョンとの互換性のために残されているフィールド
W　－　取り消し。

JAHIS仕様（本規約）での取り扱いは以下のとおりである。（RE,N以外はHL7に同じ）セグメント属性表では、この情報はJapanというコラムにある。

R　－　必須。

RE	ー	存在すれば必須（送信側アプリケーションは、該当データがあれば送信しなければならないが、存在しなければ省略する）。
O	ー	オプション。
C	ー	トリガイベントおよびその他のフィールド条件による。
X	ー	本規約では使用しない。
B	ー	HL7 の旧バージョンとの互換性のために残されているフィールド
N	ー	使用しない（関係者の合意のもとに関係システム内限定で使用可）。
W	ー	取り消し。

5.2.5 反復

そのフィールドが反復するかどうかを示す。セグメント属性表では、この情報はRP/#というコラムにある。指定は以下のとおりである。

N または空白	ー	反復なし。
Y	ー	無限回または関係者で決定した回数だけフィールドを繰り返す。
（整数）	ー	フィールドは、整数で指定された最大回数まで繰り返す。

繰返しの場合、そのデータ型の最大長を繰返した分の長さと反復セパレータを加えたものがそのフィールドの最大長となる。ただし、関係者間の同意のもとに最大長を決めることもできる。

5.2.6 表

HL7の表には、使用者、HL7、外部の3種類ある。

使用者定義表（User-defined Tables）

ローカルあるいはサイトで定義された値を持つ表である。これは PV1-3-Assigned patient location のように特定のフィールドに収容し、施設ごとに異なる値を持ちうる。このような表は規格では定義してないが、実現を容易にするために使用者定義表番号を割り当てる。HL7はしばしば施設が皮切りとして使えそうな推奨値を発行する（例えば「使用者定義表0001－管理上の性別」）。ISデータ型は、このような表で使う値をコード化するのによく使われる。このような表のなかには、共通のマスタファイルを参照する表もあるということに注意すること。

HL7表（HL7 Tables）

HL7表はHL7によって定義／発行された値の集合である。これらはその表を含むメッセージの解釈に影響を及ぼすのでHL7規格に含む。これらの値は関係者で再定義してはならないが、関係者で定義した値を含めるために表自身を拡張することができる。

外部表（External Tables）

外部表は他の標準化組織が定義／発行したものである。例えばICD10のような診断コードがある。CE、CF、CNEあるいはCWEデータ型はこれらのフィールドの値を表すために使用する。9000とそれ以上の表番号はHL7が発行する外部定義表のために予約している。そのような表は、外部の機関が制定する概念やコードを、HL7と他の標準化機関との間で規格化要求し合意を得た場合に発生する。これらはHL7が他の機関に代わってHL7規約と共に発行する。しかし、これらはHL7規約より頻繁に改訂されるかもしれない。

5.2.7 ID 番号

規格の全体にわたるデータフィールドを一意的に識別する小さな整数。セグメント定義では、この情報はITEM#というコラムにある。

5.2.8 名称

フィールドの記述的な名前。セグメント属性表では、この情報はELEMENT NAMEというコラムにある。同じ名前が複数のセグメント中で使用される場合、それは同じデータ型および意味を同じID番号と同様に各セグメントが持っていなければならない。この慣行から発生する曖昧さを扱うため、フィールドがここで引用される場合は、セグメント名および位置が常に含まれなければならない。

© JAHIS 2012

5.3 Message Delimiters メッセージ区切り文字

メッセージを構成するときに、セグメントターミネータ、フィールドセパレータ、成分セパレータ、副成分セパレータ、反復セパレータ、エスケープ文字の特殊文字を使用する。セグメントターミネータは必ずキャリッジ・リターン(16進0D)を用いる。その他の区切り文字はMSHセグメントで定義する。つまり、フィールド区切り文字は4番目の文字位置で定義し、それ以外の区切り文字は、フィールド区切り文字に続くフィールドであるコード化文字フィールドで定義する。MSHセグメントで定義する区切り文字は、メッセージ全体に適用する。メッセージ区切り文字は、前述のようにMSHメッセージの中で定義でき変更可能であるが、本規約では推奨しない。 もし実装上で可変とする場合は、関係者間で十分な合意を取らなければならない。

表 5-1. Delimiter values 区切り文字の値

文字位置	区切り文字	推奨値	用法
-	セグメントターミネータ	<cr> hex 0D	セグメントレコードを終了する。 この値は変えることができない。
-	フィールドセパレータ （フィールド区切り文字）	|	セグメント内で 2 個の隣接データフィールドを分離する。 またセグメント内の冒頭のデータフィールドとセグメント ID を分離する。
1	成分セパレータ （成分区切り文字）	^	データフィールド内の隣接成分を分離する。 成分の使用法は、関連するデータフィールドの説明で述べられている。
2	反復セパレータ	~	反復の認められたデータフィールドにおいて、複数のデータを分離する。
3	エスケープ文字	\ hex 5C	テキストフィールド(ST,TX,FT 型または ED 型の第 4 成分)には、エスケープ文字を使用できる。これを表す単一の文字は、MSH セグメントのコード化文字フィールドで指定する。このフィールドはオプションであり、エスケープ文字を使わないメッセージではこの文字は省略できる。しかし、副成分セパレータがメッセージの中で使われるならば、この指定が必要である。
4	副成分セパレータ	&	データフィールド内で使用が認められた隣接副成分を分離する。 副成分が無いときは、省略できる。

文字位置1～4は、各セパレータを定義するコード化文字フィールド内の位置（MSHセグメントのMSHおよびフィールドセパレータ（通常｜）に続く位置）を示す。

注：区切り文字で囲まれる文字列中で ASCII 以外の文字セットを使用した場合(escape, invoke）区切り文字に先立ち ASCII 文字セットに戻すこと。もし区切り文字が検出された場合は、文字セットを ASCII へリセットしたものとみなす。

5.3.1 テキストフィールドでのエスケープシーケンスの使用

TX,FT,STまたはCF型等のフィールドを符号化する場合、エスケープ文字を使用してテキストフィールドの特殊処理部を伝えることができる。エスケープ文字は、表示可能な任意のASCII文字で、MSH-2符号化文字のエスケープ文字要素に指定する。本節の説明のためには、文字\を使用して、メッセージに指定するエスケープ文字とする。エスケープシーケンスは、エスケープ文字とそれに続く1文字のエスケープ・コードID、0個以上のデータ文字、および終端用のもう1つのエスケープ文字から構成する。エスケープシーケンスの中の入れ子エスケープシーケンスは禁止する。

・特殊文字

フィールド区切り、成分区切り、副成分区切り、反復区切り、およびエスケープ文字をテキストフィールド内に表現するために、以下のエスケープシーケンスが定義されている。

\F\	フィールド区切り	（フィールドセパレータ）
\S\	成分区切り	（成分セパレータ）
\T\	副成分区切り	（副成分セパレータ）
\R\	反復区切り	（反復セパレータ）
\E\	エスケープ文字	

MSH-2が ^~\& で、”\”を16進数5cで表現したい時”\9,800”は次の様に記述する。

```
\E\9,800
```

© JAHIS 2012

・推奨しない／規格外のエスケープシーケンス

HL7では下記のエスケープシーケンスが定義されているが、本規約ではその使用を推奨しない。利用する場合は、関係システム／関係者間の取り決めが必要である。なお、これらのエスケープシーケンスを受信したことで本来実行すべき処理を中断することがないように配慮すべきである。

・FT、STおよびTXデータ型のためのマルチ文字セットをサポートするエスケープシーケンス

\Cxxyy\　　\Mxxyyzz\

本規約では MSH-18で ~ISO IR87 を指定するので、文字セットのエスケープシーケンスを必要としない。

・強調表示

\H\　　\N\

表示等の表現は受信側アプリケーションで扱うこととする。

・16進法

\Xdd...dd\

このデータの扱い/解釈はHL7規格の範囲外であり、本規約でも規定できない。

・フォーマット化テキスト

\.sp<数>\　　\.br\　　\.fi\　　\.nf\
\.in<数>\　　\.ti<数>\　　\.sk<数>\　　\.ce\

（報告書等の）書式制御は受信側アプリケーションで扱うこととする。

・ローカル

\Zdd...dd\

このデータの扱い、解釈はHL7規格の範囲外であり、本規約でも規定できない。

5.3.2 エスケープ文字の例外的解釈

エスケープ文字は他の表示可能な文字、区切り文字と違って、その一文字だけでは意味を成さない。 エスケープシーケンスは一対のエスケープ文字を使い、前項に示す記述以外の使い方をしない。しかし、下記に示すケースが想定され、本節ではその場合の解釈を示す。 説明では、文字 \ を使用して、メッセージに指定するエスケープ文字とする。

・一対のエスケープ文字の間にエスケープ・コードID、データ文字がない場合

表示可能な文字 \ と見なす。 つまり、\E\ を記述したのと同じとする。

記述例	解釈
\\	\ （エスケープ文字）
\E\\\\\	\\\（エスケープ文字が 3 個）

・エスケープ文字の後のエスケープ・コードIDが前項以外である場合

一対のエスケープ文字の間を無視する。 つまり、そのエスケープシーケンスを無視する。受信アプリケーションは警告を発するべきである。

記述例	解釈
\ABC\	省略または null（受信アプリケーションに害のない処理）

・エスケープ文字が対を成さない場合

フィールドの終わりでそのエスケープシーケンスが完結したと見なす。
但し、受信アプリケーションは警告を発するべきである。

記述例	解釈
|…\X0506LM|	…16 進数の 05,06 （最後の LM は 16 進数のデータのはずだが誤りである。その処置は本規約では規定外。）
|…\S|	…^ （\S\と見なされる。）
|…\\|	… （最後の \ のみは無視する。）

© JAHIS 2012

5.4 Data types データ型

注：
・CNN型の最大長はHL7 Ver.2.5原本の406と記載してあるが、409が正しいと思われる。
・CSU型の最大長はHL7 Ver.2.5原本の490と記載してあるが、544が正しいと思われる。
・PPN型の最大長はHL7 Ver.2.5原本の2993と記載してあるが、2994が正しいと思われる。
・RPT型の最大長はHL7 Ver.2.5原本の984と記載してあるが、983が正しいと思われる。
・XCN型の最大長はHL7 Ver.2.5原本の3002と記載してあるが、3003が正しいと思われる。

HL7 data types データ型（HL7表0440,0125－データ型より抜粋）

Data Type	Data Type Name	LEN	Comment
英数			
FT	書式付テキストデータ	65536	
SRT	ソート順	15	
ST	文字列	199	
TX	テキストデータ	65536	
数値			
CQ	単位付複合数量	500	CQ は他のデータ型に埋め込まれた場合正式には表現できない。よってこの使用はセグメントフィールドに限られる。
MO	金額	20	
NM	数値	16	
SI	シーケンス ID	4	
SN	構造化数値	36	
識別子			
ID	HL7 定義表コード化値	Variable	
IS	使用者定義表コード化値	20	
EI	エンティティ識別子	427	
HD	階層的指定子	227	
PL	患者所在	1230	
PT	処理タイプ	3	
RP	参照ポインタ	273	
VID	バージョン識別子	973	
日付/時間			
DT	日付	8	
DTM	日付／時刻	24	
TM	時間	16	
TS	タイムスタンプ	26	
コード値			
CE	コード化値	483	HL7 Ver.2.3.1 で CNE,CWE と取り替えられた。Ver.2.5 では HL7 旧バージョンとの互換性のためにのみ保持する。
CF	書式付コード化値	65536	
CNE	例外なしコード化値	705	
CNN	単純化複合 ID と名称	406	OBR-32,OBR-33,OBR-34,OBR-35 で使われていたもともと CN データ型であった CM データ型を改良。しかし、現在の実施例と整合性を持ち、HL7 旧バージョンとの互換性をこわさないよう成分 7 と 8 はデータ型 IS に昇格した。
CWE	例外を含むコード化値	705	
CX	チェックデジット付き拡張複合 ID	1913	
XCN	拡張複合 ID と名称	3002	HL7 Ver.2.3 で CN から変更
一般			
CSU	チャンネル感度	490	HL7 Ver.2.5 より OBX-5.3 で用いられている CM データ型は OBX-5 観測値(*)が CD データ型であるときに、このデータ型に置き換えられる。
DLD	退院先と日付	47	HL7 Ver.2.5 より PV1-37 で用いられている CM データ型を置き換える。
DLT	デルタ	45	HL7 Ver.2.5 より OM2-9 で用いられている CM データ型を置き換える。
EIP	エンティティ識別子ペア	855	HL7 Ver.2.5 より ORC-8,OBR-29,OBR-29 で用いられている CM データ型を置き換える。
ELD	エラー場所および説明	493	HL7 Ver.2.5 より ERR-1 に用いられている CM データ型を置き換える。Ver.2.5 では HL7 旧バージョンとの互換性のためにのみ保持される。ERR セグメント参照。
GTS	汎用タイミング指定	199	

© JAHIS 2012

MOC	金額および チャージコード	504	HL7 Ver.2.5 より OBR-23 および OBR-23 に用いられる CM データ型を置き換える。
MSG	メッセージ型	15	HL7 Ver.2.5 より MSH-9 に用いられる CM データ型を置き換える。
NDL	日付と位置を伴う名前	835	HL7 Ver.2.5 より OBR-32,OBR-33,OBR-34,OBR-35 の CM データ型を置き換える。
NR	数値範囲	33	HL7 Ver.2.5 より OM2-6.1,OM2-6.3,OM2-6.4 の CM データ型を置き換える。
OSD	オーダ連鎖定義	110	HL7 Ver.2.5 より TQ データ型に用いられている CM データ型を置き換える。
PRL	親結果リンク	755	HL7 Ver.2.5 より OBR-26,OBR-26 に用いられる CM データ型を置き換える。
RFR	基準範囲	352	HL7 Ver.2.5 より OM2-6,OM2-7,OM2-8 で用いられ CM データ型を置き換える。
RPT	繰り返しパターン	984	
SPS	検査材料	4436	HL7 Ver.2.5 より OBR-15,SAC-6,TCC-3 を置き換える。このデータ型は Ver.2.5 に限り HL7 旧バージョンとの互換性のためにのみ保持されている。
VR	値の範囲	13	HL7 Ver.2.5 より QRD-11 に用いられる CM データ型を置き換える。
WVI	チャネル識別子	22	HL7 Ver.2.5 より OBX-5.1 で OBX-5 観測値(*)が CD データ型であるときの CM データ型を置き換える。
WVS	波形ソース	17	HL7 Ver.2.5 より OBX-5.2 で OBX-5 観測値(*)が CD データ型であるときの CM データ型を置き換える。
患者属性			
FN	姓	194	PN もしくは PN を含むデータ型（PPN, XCN, XPN）中にのみ出現
SAD	通りの住所	184	XAD データ型中にのみ出現
XAD	拡張住所	631	HL7 Ver.2.3 で AD から変更
XON	拡張複合組織 ID と名称	567	
XPN	拡張された個人名	1103	HL7 Ver.2.3 で PN から変更
XTN	拡張電話番号	850	HL7 Ver.2.3 で TN から変更
専門/章は特定　波形			
ED	暗号化されたデータ	65536	バイナリデータの ASCII MIME-エンコーディング をサポート
CCP	チャンネル調整パラメータ	20	OBX-5 観察値(*)が HL7 Ver.2.3 時で CD データ型である OBX-5.3 の中で使用される CM データ型を交換する。
CD	チャネル定義	581	波形データ用のみ。
MA	多重化された配列	65536	波形データ用のみ。
NA	数値配列	65536	波形データ用のみ。
価格データ			
CP	複合価格	543	
患者管理/財政情報			
FC	保険種別	47	
拡張照会			
DLN	運転免許証番号	66	
JCC	職種コード/クラス	292	
QIP	照会入力パラメータリスト	212	
QSC	照会選択基準	219	
RCD	行列定義	19	
VH	来院時間	41	
カルテ/情報管理			
PPN	実施者タイムスタンプ	2993	TS を結合した XCN と等価
時系列			
DR	日付/時間の範囲	53	
RI	反復間隔	206	
SCV	スケジューリング種類と値の対	41	スケジューリングデータ用のみ。
TQ	タイミング/数量	1209	HL7 Ver.2.5では、HL7 旧バージョンとの互換性のためにのみ保持される。

Data types データ型解説

注：
・CWE型は本来、最大長は705であるが、HL7 Ver.2.5原本でCE型になっている箇所は、最大長を483と記載している。
・SCV型の第一要素はCWEであるが、HL7 Ver.2.5原本では最大長は20となっているのをそのまま反映して

© JAHIS 2012

いる。

FT　書式付テキストデータ

HL7 成分表－FT　書式付テキストデータ

SEQ	LEN	DT	OPT	COMPONENT NAME
1	65536			HL7 表に対するコード化された値

このデータ型は、書式を埋め込み追加することで文字列データ型を拡張したものである。これらの書式は固有であり、フィールドの使用環境から独立している。文字列データ(ST)フィールドとFTフィールドとの違いは、長さが任意(64kまで)であることと、エスケープ文字で囲まれた書式を含むことである。

```
|\.sp\(skip one vertical line)|
```

SRT　ソート順

HL7 成分表－SRT　ソート順

SEQ	LEN	DT	OPT	COMPONENT NAME
1	12	ST	R	Sort-by Field　ソート基準フィールド
2	2	ID	O	Sequencing　順番

ソートされるレスポンスとソート方法をこのパラメータで指定する。

第1成分　Sort-by Field ソート基準フィールド（ST）

応答をソートする基準となるフィールドを示す。表形式の応答の場合、これはそれを基準にソートを行うコラム名となる。セグメントパターンおよび表示応答の場合、ソートの基準となるセグメントフィールド名である。セグメントフィールド名の定義については「セグメントフィールド名（ST）」のQIPを参照。

第2成分　Sequencing 順番（ID）　HL7表－0397

フィールドやパラメータをソートする方法、およびソートが大文字小文字を区別する（デフォルト）かしないかを指定する。有効な値については 「HL7表0397－順序」を参照。

HL7 表 0397－順序

Value	Description
A	昇順
AN	大小文字区別無し昇順
D	降順
DN	大小文字区別無し降順
N	なし

ST　文字列データ

HL7 成分表－ST　文字列データ

SEQ	LEN	DT	OPT	COMPONENT NAME
1	199			文字列データ

文字列データは左詰めにする、空白が後ろに続いてもよい。任意の表示可能な（印刷可能な）ASCII文字（20から7Eまでの16進値）である。

```
|almost any data at all|
```

© JAHIS 2012

TX　テキストデータ

HL7 成分表－TX　テキストデータ

SEQ	LEN	DT	OPT	COMPONENT NAME
1	65536			テキストデータ

テキストデータは、ターミナルまたはプリンターによって使用者のために表示するためにある。文字列に先行空白を挿入した方が使用者は見やすいということもあるので、文字列は必ずしも左詰めにするわけではない。この種のデータは表示することが目的なので、表示装置を制御するためのエスケープ文字シーケンスを含むことがある。先行空白文字を挿入し、後書き空白を取り除くとよい。

```
| leading spaces are allowed.|
```

TXデータは表示するためにある、反復区切文字をTXデータフィールドで使うと、それは一連の反復行がプリンターまたはターミナル上に表示されることを意味する。したがって反復区切文字は、パラグラフ・ターミネータまたはハード・キャリッジ・リターンとみなす。(そのテキスト内にCR/LFが挿入されたように表示される)。

受信システムでは、任意の大きさの表示ウィンドウに合わせるためテキストを繰り返し区切り文字間でワードラップするが、反復区切文字で始まる行はすべて新たな行になる。

CQ　単位付複合数量

HL7 成分表－CQ　単位付複合数量

SEQ	LEN	DT	OPT	COMPONENT NAME
1	16	NM	O	Quantity　数量
2	483	CWE	O	Units　単位

第1成分　Quantity　数量 (NM)

この成分はあるエンティティの数や量を表す。

第2成分　Units　単位 (CWE)

この成分は、量の表現に際して用いられている単位を表す。フィールドごとに、デフォルトの単位が仕様の中で定義されていることがある。量がデフォルトの単位で測定されている場合、単位を送信する必要はない。量がデフォルトとは違う単位で記録されている場合は、単位を送信しなければならない。

例：

```
|123.7^kg|       kilograms is an ISO unit
|150^lb&&ANSI+| weight in pounds is a customary US unit defined within ANSI+.
```

MO　金額

HL7 成分表－MO　金額

SEQ	LEN	DT	OPT	COMPONENT NAME
1	16	NM	O	Quantity　金額
2	3	ID	O	Denomination　通貨

第1成分：Quantity　金額（NM）

金額を表す。

第2成分：Denomination　通貨（ID）

数量を表す際の貨幣単位である。貨幣単位成分の値はISO-4217に指定されている。貨幣単位を指定しない場合、MSH-17国コードを使用しデフォルトを決定する。例：|99.50^USD|ここでUSDは、米国ドルを表すISO 4217コードである。

© JAHIS 2012

NM　数値

HL7 成分表－NM　数値

SEQ	LEN	DT	OPT	COMPONENT NAME
1	16			Numeric 数値

ASCII数字列として表記する数字は、オプションの先行符号(＋または－)、数字、そしてオプションの小数点から構成する。符号がない場合、その数値は正数であると仮定する。小数点がない場合、その数値は整数であると仮定する。

例：

```
|999|
|-123.792|
```

先行ゼロまたは小数点の後の後書きゼロは無意味である。01.20と1.2という2つの数値は同一である。オプションの先行符号(＋または－)およびオプションの小数点(.　)を除いては、数字以外のASCII文字は許されない。したがって、値"<12"は、文字列データ型としてコード化しなければならない。

SI　シーケンス ID

HL7 成分表－SI　連番 ID

SEQ	LEN	DT	OPT	COMPONENT NAME
1	4			Sequence ID　連番 ID

NMフィールド形式の正整数。このフィールドの使用方法は、それが現れるセグメントとメッセージを定義している章で定義する。

SN　構造化数値

HL7 成分表－SN　構造化数値

SEQ	LEN	DT	OPT	COMPONENT NAME
1	2	ST	O	Comparator　比較演算子
2	15	NM	O	Num1　数字 1
3	1	ST	O	Separator/Suffix 区切り／接尾語
4	15	NM	O	Num2　数字 2

構造化数値データ型は、臨床検査結果を条件に基づき、曖昧なく表現するのに用いる。このデータ型を受信側のシステムが成分を別々に保存し、数値によるデータベース照会の使用を可能とする。信頼できる完全な値の組となるよう、対応する値は＜比較演算子＞と＜区切り／接尾辞＞成分を用いて表す。

<数字1>および<数字2>が値を持つ場合、<区切り／接尾辞>は必須である。区切りが「 - 」である場合、その範囲は両端を含む。

例えば、<数字1> - <数字2>は、<数字1> <= X <= <数字2>であるような一連の数値Xを示す。数字1は数値。数字2は数値またはnullであり測定によって異なる。区切り／接尾辞は、「 - 」、「 + 」、「 / 」、「 . 」、「 : 」。

第1成分　Comparator　比較演算子（ST）

大なり、小なり、大なりまたは等しい、小なりまたは等しい、等しい、等しくない をそれぞれ「>」、「<」、「>=」、「<=」、「=」および「<>」で表す。この成分に値が設定されない場合は、（「=」）にデフォルトされる。

第2成分　Num1　数字1（NM）

数字。

© JAHIS 2012

第3成分　Separator/Suffix　区切り／接尾辞（ST）

「-」、「+」、「.」または「:」。

第4成分　Num2　数字2（NM）

測定方法により数字またはnull。

例：

```
|>^100|        (greater than 100)
|^100^-^200|    (equal to range of 100 through 200)
|^1^:^228|      (ratio of 1 to 128, e.g., the results of a serological test)
|^2^+|         (categorical response, e.g., occult blood positivity)
```

ID　HL7 定義表コード化値

HL7 成分表－ID　HL7 定義表コード化値

SEQ	LEN	DT	OPT	COMPONENT NAME
	Variable			Coded Value for HL7-Defined Tables HL7 で定義された表のコード化された値

この種のフィールドで使う値は、正当な表の値から引用される以外はSTフィールドで使う書式規則に従う。IDフィールドの例として性別などがある。

IS　使用者定義表コード化値

HL7 成分表－IS　使用者定義表コード化値

SEQ	LEN	DT	OPT	COMPONENT NAME
	20			Coded Value for User-Defined Tables 使用者定義表のコード化された値

このフィールドの値は、使用者定義表から引用し、STフィールドの書式規則に従う。ISデータ型に関連したHL7表番号があるものとする。例えば事象理由コードである。

EI　エンティティ識別子

HL7 成分表－EI　エンティティ識別子

SEQ	LEN	DT	OPT	COMPONENT NAME
1	199	ST	O	Entity Identifier　エンティティ識別子
2	20	IS	O	Namespace ID　ネームスペース ID
3	199	ST	C	Universal ID　汎用 ID
4	6	ID	C	Universal ID Type　汎用 ID 型

EIは機械もしくはソフトウェアで生成された識別子に適切であるが、それに限らない。生成された識別子は最初の成分に入る。残りの成分2から4は、割当権限者として知られ、成分1の識別子の生成に責任を持つ機械／システムを明記する。

指定された一連の識別子、すなわち割当権限者は、成分2から4で定義される。割当権限者は階層的指定子(HD)データ型であるが、単独の成分ではない。EIデータ型の別々の3成分として定義される。これはいくつかの既に存在しているデータフィールドの成分としてのEIの使われ方についてHL7旧バージョンとの互換性を維持するためである。それ以外は、成分2から4は「HD 階層的指定子」で定義されているとおりである。階層的指定子(HD)は、特定のHL7実装の全体で重複が起こらない。

第1成分　Entity Identifier　エンティティ識別子（ST）

エンティティ識別子は通常、成分2から4で表現される階層的指定子で定義される割当権限者が生成した一連の識別子の範囲で重複がない。

第2成分　Namespace ID　ネームスペース ID（IS）

定義については「HD-Namespace ID　ネームスペースID (IS)」 を参照。

© JAHIS 2012

第3成分　Universal ID　汎用ID（ST）

定義については「HD-Universal ID　汎用ID (ST)」 を参照。

第4成分　Universal ID Type　汎用ID型（ID）

有効な値については「HL7表0301－汎用ID型」を参照。

HD　階層的指定子

HL7 成分表－HD　階層的指定子

SEQ	LEN	DT	OPT	COMPONENT NAME
1	20	IS	O	Namespace ID　ネームスース ID
2	199	ST	C	Universal ID　汎用 ID
3	6	ID	C	Universal ID Type　汎用 ID 型

HDの基本の定義は、HDは定義された一組の個体識別子（たとえば依頼者または実施者番号、患者識別子、医療従事者識別子、その他）の管理あるいは、割当に責任を持つ、ある（管理上あるいはシステムあるいはアプリケーションあるいはその他の）エンティティを示すということである。このエンティティは、患者識別子を割り当てる登録システムといった特定の保健医療アプリケーションであることもあれば、医療専門職にたいする識別子や運転免許番号を割り当てる行政上のエンティティであることもあれば、このような識別子が割り当てられる施設であったりする。

HDは、HL7Ver.2.1およびVer.2.2におけるアプリケーション識別子の、より強力でより普遍的な代替となるべく設計されている。HDには2つの追加の成分<汎用ID>と<汎用ID型>が、従前のアプリケーションID（より普遍的にネームスペースIDと改称されている）に追加されている。

あるHDが、ある特定の患者登録システムのような、個体識別子を割り当て／生成するようなエンティティを指す場合、そのHDは「割当権限者」を指していることになる。あるHDが、ある特定の「車両管理局事務所位置」のような、個体識別子が配布される（とはいえ、その個体識別子は別の場所で別のエンティティにより生成されるかもしれないが）位置を指す場合、そのHDは「割当施設」を指していることになる。これら2つの異なるHDの使用法は、拡張データ型の多くに登場する。

HDで示された割当権限は、コード化要素データ型の、コード体系（およびバージョン）の部分の役割に似ている。いずれも、一組のより個別な個体識別子を指定している点である。違いはHDで示されるより個別な個体の集合は、患者や医療に関するオーダと言う「実世界」の事物の識別子を持っているが、コード化要素で示されるより個別な個体の集合は概念の識別子（コード）であるという点である。

HDはローカル識別子（<ネームスペースID>のみ指定された状態）としても、公的に割り当てられた識別子、UID（<汎用ID>と<汎用ID 型>の両方が指定された状態）としても、両方使えるよう設計されている。文法的には、HDは2つの識別子の組である。最初の成分で定義されるローカル識別子と、2番目、3番目の成分で示される汎用識別子である。3番目の成分（汎用ID型）が設定されているHDでは、その3番目の成分で示される一連のIDの中で一意的な値を持った2番目の成分を設定しなければならない。

第1成分　Namespace ID　ネームスペースID (IS)

使用者定義表0300－ネームスペースIDがこの成分に対する値の使用者定義表がHL7識別子として使用される。

使用者定義表 0300－ネームスペース ID

Value	Description
	No suggested values defined 推奨値は定義されない

第2成分　Universal ID　汎用 ID （ST）

HDの2番目の成分<汎用ID>(UID)は、3番目の成分<汎用ID型>(UID型)で示される体系に基づいて整形された文字列である。UIDはUID型内で期間に関わらず重複がないことが意図されている。これは厳格に決められている。各々のUIDは（UID型で示される）は明確に列挙された体系のひとつに属さなければならない。UID（2番目の成分）は特定の汎用識別子体系〈3番目の要素で示され

© JAHIS 2012

る〉の文法規則に従わなければならない。これらの文法規則はHL7内部で定義されているのではなく、特定の汎用識別子体系〈3番目の要素で示される〉にて定義されていることに注意。

第3成分　Universal ID Type　汎用ID型（ID）

HDの2番目成分の解釈を決定する。3番目の成分が、「HL7表0301－汎用ID型」に存在する既知のUIDである場合、2番目の成分はその型の 汎用IDである。

HL7 表 0301－汎用 ID 型

Value	Description
DNS	インターネットで指定された名前。ASCII 文字あるいは整数値のいずれか
GUID	UUID と同じ
HCD	CEN ヘルスケアコード体系デジグネータ(DICOM で使用される識別子はこの割当計画に従う)
HL7	将来の HL7 登録計画のためにリザーブ
ISO	国際標準化機構オブジェクト識別子
L、M、N	ローカルで定義されたコード体系のためにリザーブ
ランダム	一般的にランダムビットの base64 コード化文字列。一意性は、ビットの長さに依存する メール・システムは、ランダムビットおよびシステム名の組み合わせから、ASCII 文字列の「一意的な名」を生成することが多い 明らかに、そのような識別子は base64 文字集合によって束縛されない
UUID	DCE 汎用一意性 ID
x400	X400 MHS 書式 ID
x500	X500 ディレクトリ名

2番目と3番目の成分のみが指定されている、ISOについての例：

```
|^1.2.344.24.1.1.3^ISO|
|^1.2.34.4.1.5.1.5.1,1.13143143.131.3131.1^ISO|
```

2番目の成分の形式は、HL7ではなく（HL7では2番目の成分はSTデータ型であると定義している）オブジェクト識別子についてのISO標準で定義されている。従って、2番目の成分のピリオド(".")やコンマ(",")はISOの形式の一部であり、HL7のSTデータ型の定義にしたがっているのではない。

GUIDの例：

```
|^14344.14144321.4122344.14434.654^GUID|
```

インターネットの例：

```
|^falcon.iupui.edu^DNS|
```

乱数UID：

```
|^40C983F09183B0295822009258A3290582^RANDOM|
```

ローカルな識別子を使ったISデータ型類似のHD：

```
|LAB1|
|RX.PIMS.SystemB.KP.CA.SCA|
```

最初の成分の文法はHL7出定義されているのではなく、施設でその固有の必要に応じて決まっていることに注意：唯一の必要条件は最小成分の構造は、ISデータ型において値として使われていた、HL7の文字列（ST）データ型で許されている形式であることである。

成分2と3のみ使ったローカルな識別子

```
|^RX.PIMS.SystemB.CA.SCA^M|
```

前の例をコード化する別の方法として、3番目の要素の値に"M"（上の「HL7表0301－汎用ID型」を参照）をローカルに定義された識別子集合を示すための使用することを説明している。2番目の成分は前の例と同じであるが、この例では施設により定義された、識別子集合"M"について使用可能な値集合の要素として定義されている。

2番目3番目の成分を伴うローカル識別子

```
|PathLab^PL.UCF.UC^L|
```

「PathLab」アプリケーションは、ネームスペース成分で示されるが、同時に2番目、3番目の成分

でも（すなわち、ローカル定義のUID体系"L"によって）示される。2つの識別子は等価である。

これは、ローカル定義される2番目の成分が、それ自体が構造化されている、より複雑なHDである。上のISOの例にあるように、2番目の成分の構造はHL7出定義されているのではなく、施設でその固有の必要性によって定義される：唯一の必要条件は2番目の成分の構造が、HL7文字列(ST)データ型で許容されていることである。

ローカル識別子とユニバーサルID型

```
|LAB1^1.2.3.3.4.6.7^ISO|
```

UIDとしてのISOの「オブジェクト識別子」とローカル定義のシステム名をもつHD。最初の成分と2番目、3番目（あわせて解釈される）の成分が同じ実態を指す。この例はローカルの値とユニバーサルIDの値がひとつのHDフィールドで送信されうることを示す。

PL　所在場所

HL7 成分表－PL　所在場所

SEQ	LEN	DT	OPT	COMPONENT NAME
1	20	IS	O	Point of Care ケアの場所
2	20	IS	O	Room　病室
3	20	IS	O	Bed　病床
4	227	HD	O	Facility　施設
5	20	IS	O	Location Status　場所の状態
6	20	IS	C	Person Location Type　所在場所型
7	20	IS	O	Building　建物
8	20	IS	O	Floor　階
9	199	ST	O	Location Description　場所の詳細
10	427	EI	O	Comprehensive Location Identifier　包括的な場所識別子
11	227	HD	O	Assigning Authority for Location　場所についての割当権限者

定義：このデータ型は医療施設内における患者の所在場所を特定するために用いる。どの成分に値を設定するかは現場の要求による。例えば、在宅で治療を受けている患者については、患者所在場所型のみ値が設定される。このデータ型は患者の所在場所を特定するのに最もよく使用されるが、医療現場に関わる人の他のタイプを参照することもある。

注記：このデータ型は、最も一般的なものから最も特別なものまで次の順番で考慮すべきいくつかの位置識別子からなる：施設、建物、階、ケアの場所、病室、病床。これらの成分で示されるすべての位置に関する付加的情報は次の成分で付加することができる：所在場所型、場所の詳細、場所の状態。

例：看護単位

Community Hospitalの看護単位：4東、136号室、ベッドB

```
4E^136^B^CommunityHospital^^N^^^
```

例：診療室

University Hospitalsの診療室：Brionesビル3階にある内科診療室

```
InternalMedicine^^^UniversityHospitals^^C^Briones^3^
```

例：在宅

患者の家で治療を受けている。

```
^^^^^H^^^
```

第1成分　Point of Care　ケアの場所 (IS)>

この成分は患者のケアを行う場所のコードを示す。これには患者の所在場所型（例えば、看護単位あるいは部門あるいは診療室）による条件がつく。提案されている値については「使用者定義表0302－ケアの場所」を参照。

© JAHIS 2012

使用者定義表 0302－ケアの場所

Value	Description
	推奨できる値はない

第2成分　Room　病室 (IS)

この成分は患者の病室のコードを示す。ケアの場所についで人の所在場所の指定として最も一般的である。提案されている値については「使用者定義表0303－病室」を参照。

使用者定義表 0303－病室

Value	Description
	推奨できる値はない

第3成分　Bed　病床 (IS)

この成分は患者の病床のコードを示す。病室の次に最も一般的な人の所在場所の指定である。 提案されている値については「使用者定義表0304－病床」を参照。

使用者定義表 0304－病床

Value	Description
	推奨できる値はない

第4成分　Facility　施設 (HD)

この成分は施設での解釈によるが、一般的には医療機関、病院あるいは医療法人の一番高いレベルでの物理的な場所の指定である。最も一般的な人の所在場所の指定である。データ型に関する議論については「HL7成分表－HD階層的指定子」を参照。

第5成分　Location Status　場所の状態 (IS)

この成分は場所の状態や空き状況のコードを示す。例えば、この成分は病床の状況を表すことがある。提案されている値については「使用者定義表0306－場所の状態」を参照。

使用者定義表 0306－場所の状態

Value	Description
	推奨できる値はない

第6成分　Person Location Type　所在場所型 (IS)

患者所在場所型は、施設、建物、階、ケアの場所、病室あるいは病床によって示される人の所在の範疇である。必須のフィールドではないが、使用される場合は唯一値を持つフィールドとなる場合がある。この成分は通常、看護単位、部門、診療室、SNF（熟練看護施設）や医局といった値を含む。提案されている値については「使用者定義表0305－所在場所型」を参照。

使用者定義表 0305－所在場所型

Value	Description
C	Clinic 診療室
D	Department 部門
H	Home 在宅
N	Nursing Unit 看護単位（病棟）
O	Provider’s Office 提供者事務所
P	Phone 電話
S	SNF 熟練看護施設

第7成分　Building　建物 (IS)

この成分は、その人が所在する建物のコードを示す。施設の次に最も一般的な人の所在場所の指定である。提案されている値については「使用者定義表0307－建物」を参照。

© JAHIS 2012

使用者定義表 0307－建物

Value	Description
	推奨できる値はない

第8成分　Floor　階 (IS)

この成分は、その人が所在する階を示す。建物の次に最も一般的な人の所在場所の指定である。. 提案されている値については「使用者定義表0308－階」を参照。

使用者定義表 0308－階

Value	Description
	推奨できる値はない

第9成分　Location Description　場所の詳細 (ST)

この成分はフリーテキストで場所の詳細を記述する。

第10成分　Comprehensive Location Identifier　包括的な場所識別子 (EI)

物理的場所を個々の成分に関わらず、全体として表現する一意的な識別子。この成分は、施設が物理的単位を示す別の方法を用いて、詳細度の低いレベルでコードをつけることを許容する。例えば、ケアの場所、病室および病床が不可分の1つのコードを持つこともありうる。

第11成分　Assigning Authority for Location　場所についての割当権限者 (HD)

個々の物理場所成分を作成したエンティティ。値が設定されている場合には、全ての値の設定された成分についての権限者である。HD成分の最初の副成分＜ネームスペースID＞に対する提案されている値については「使用者定義表0363－割当権限者」を参照。この成分により、このデータ型のフィールドが繰り返し使用された場合に、それぞれのコードを違えることが可能となる。

PT　処理型

HL7 成分表－PT　処理型

SEQ	LEN	DT	OPT	COMPONENT NAME
1	1	ID	O	Processing ID　処理 ID
2	1	ID	O	Processing Mode　処理モード

このデータ型は、HL7アプリケーションがHL7メッセージの処理をするべきか否か示す。

第1成分　Processing ID　処理ID (ID)

メッセージが本系、練習系、デバッグ系かどうかを示す値。有効な値については「HL7表0103 - 処理ID」を参照。

HL7 表 0103－処理 ID

Value	Description
D	デバッグ
P	本系
T	練習

第2成分　Processing Mode　処理モード (ID)

メッセージが記録処理か初期導入かどうかを示す値。有効な値については「HL7表0207－処理モード」を参照。

HL7 表 0207－処理モード

Value	Description
A	記録
R	記録からの復帰
I	初期導入

© JAHIS 2012

Value	Description
T	現在処理中、間隔を置いて送信（スケジュールまたは要求ごと）
Not present	提示されない（デフォルト、現在処理中を意味する）

RP　参照ポインタ

HL7 成分表－RP　参照ポインタ

SEQ	LEN	DT	OPT	COMPONENT NAME
1	15	ST	O	Pointer ポインタ
2	227	HD	O	Application ID　アプリケーション ID
3	9	ID	O	Type of Data　データの型
4	19	ID	O	Subtype　サブタイプ

このデータ型は、別のシステムに保存されているデータの情報を伝送する。このデータ型には、そのシステムに保存されているデータを一意に識別する参照ポインタ、そのシステムの識別、およびデータの型が含まれる。

第1成分　Pointer　ポインタ (ST)

データを保存するシステムが割り当てる一意なキー。そのキーはSTデータ型であり、データを識別しそのデータにアクセスするのに使う。

第2成分　Application ID　アプリケーションID (HD)

HDデータ型でありデータを保存するシステムの一意な名前。依頼者(または実施者)アプリケーションIDに同じ。 アプリケーションIDは扱うHL7メッセージシステムを通じて一意でなければならない。

第3成分　Type of Data　データの型 (ID)

参照されるデータの型はHL7表0191－参照されるデータの型を参照。

HL7 表 0191 – 参照されるデータの型

Value	Description
AP	他のアプリケーションのデータ、特に翻訳されないバイナリデータ（HL7 Ver.2.3 以降）
AU	音声データ（HL7 Ver.2.3 以降）
FT	書式付テキスト（HL7 Ver.2.2 のみ）
IM	画像データ（HL7 Ver.2.3 以降）
Multipart	MIME マルチパートパッケージ
NS	スキャン以外の画像（HL7 Ver.2.2）
SD	スキャンされた文書（HL7 Ver.2.2 のみ）
SI	スキャンされた画像（HL7 Ver.2.2 のみ）
TEXT	機械可読のテキスト文書（HL7 Ver.2.5 以降）
TX	機械可読のテキスト文書（HL7 Ver.2.2 のみ）

第4成分　Subtype　サブタイプ (ID)

サブタイプは、参照されるデータの型のための書式を宣言する。HL7表291－参照データのサブタイプを参照。

HL7 表 0291－参照データのサブタイプ

Value	Description
BASIC	ISDN PCM 音声データ
DICOM	Digital Imaging and Communications in Medicine
FAX	ファクシミリデータ

© JAHIS 2012

Value	Description
GIF	Graphics Interchange Format
HTML	Hypertext Markup Language
JOT	電子インクデータ（Jot 1.0 標準）
JPEG	Joint Photographic Experts Group
Octet-stream	解釈されないバイナリデータ
PICT	PICT 形式画像データ
PostScript	PostScript プログラム
RTF	Rich Text Format
SGML	Standard Generalized Markup Language （HL7 Ver.2.3.1 以降）
TIFF	TIFF 画像データ
x-hl7-cda-level-one	HL7 Clinical Document Architecture Level One 文書
XML	Extensible Markup Language （HL7 Ver.2.3.1 以降）

VID　バージョン識別子

HL7 成分表－VID　バージョン識別子

SEQ	LEN	DT	OPT		COMPONENT NAME
1	5	ID	O	0104	Version ID　バージョン ID
2	483	CWE	O		Internationalization Code　国際化コード
3	483	CWE	O		International Version ID　国際化バージョン ID

第1成分　Version ID　バージョンID（ID）

HL7バージョンを表記するために使用する。 取りうる値は「HL7表0104-バージョンID」を参照。

HL7 表 0104 – バージョン ID

Value	Description	Comment (Date)
2.0	リリース 2.0	1988 年 9 月
2.0D	デモ 2.0	1988 年 10 月
2.1	リリース 2. 1	1990 年 3 月
2.2	リリース 2.2	1994 年 12 月
2.3	リリース 2.3	1997 年 3 月
2.3.1	リリース 2.3.1	1999 年 5 月
2.4	リリース 2.4	2000 年 11 月
2.5	リリース　2.5	2003 年 5 月

第2成分　Internationalization Code　国際化コード（CWE）

ISO3166国コードで国際支部の国を表記する。ISO3166表に従い、3文字のコードを国コードと扱う。

第3成分　International Version ID　国際化バージョンID（CWE）

各国支部がUSのバージョンに対し支部バージョンを持つ場合そのバージョン番号を表記する。

DT　日付

HL7 成分表－DT　日付

SEQ	LEN	DT	OPT	COMPONENT NAME
	8			Date　日付

© JAHIS 2012

常に書式YYYY[MM[DD]]で表記、桁数により精度が規定される。

例：　|19880704|

DTM　日付／時刻

HL7 成分表－DTM－日付／時刻

SEQ	LEN	DT	OPT	COMPONENT NAME
	24			Date/Time　日付／時刻

定義：ある時刻の一点を24時間制の時計表記で示す。

格納されている文字の数（タイムゾーンの指定を除く）で時刻の精度を示す。

書式：　YYYY[MM[DD[HH[MM[SS[.S[S[S[S]]]]]]]]][+/-ZZZZ]

従って：

「年」の精度まで示すには最初の4文字のみ用いる。

「月」の精度まで示すには最初の6文字を用いる。

「日」の精度まで示すには最初の8文字を用いる。

「時」の精度まで示すには最初の10文字を用いる。

「分」の精度まで示すには最初の12文字を用いる。

「秒」の精度まで示すには最初の14文字を用いる。

「1/10秒」の精度まで示すには最初の16文字を用いる。

「1/10000秒」の精度まで示すには最初の19文字を用いる。

例：|199904|　は1999年4月を示す。

タイムゾーン(+/-ZZZZ)は、協定世界時(UTC)（以前のグリニッジ標準時(GMT)）から+/-HHMMの時差があることを示し、+0000あるいは-0000は共にUTC（時差なし）を示す。HL7符号化規則で用いられる個々のデータ表現はISO 8824-1997(E)に準拠している。

タイムゾーンが含まれない場合は、タイムゾーンは送信側の現地時間にデフォルトされることに注意。またDTMやTSの値を持つフィールドでHHMMの部分を持つものについては、0000はYYYYMMDDの部分で与えられる日の前の日から続く夜の真夜中を表すことにも注意〈以下の例を参照〉。

例：

Time	Description
|19760704010159-0500|	東部標準時間（米国）の 1976 年 7 月 4 日の 1:01:59
|19760704010159-0400|	東部夏時間（米国）の 1976 年 7 月 4 日の 1:01:59
|198807050000|	送信側の現地時間の 1988 年 7 月 4 日から 7 月 5 日の間の夜の真夜中
|19880705|	前の例に同じ、ただし精度は日までである。出生時刻が不明の時の生年月日に用いることができる。
|19981004010159+010|	オランダ、アムステルダムでの 1998 年 10 月 4 日 1:01:59（タイムゾーンは+0100）

HL7標準はタイムゾーンの時差を定期的に送信することを強く推奨しているが、必須とはしていない。全てのHL7システムはタイムゾーンの時差を受け付けることを必須とされているが、その実装はアプリケーション固有である。多くのアプリケーションにとって関心のある時刻は、送信側の現地時間である。

注記：タイムゾーン[+/-ZZZZ]を使う場合は、法的に定義されたタイムゾーンを用い、HHMM の形式で表すことに注意。

この規則のひとつの例外としては、たまたま違うタイムゾーンに属する診療所と近くの病院で収集された患者データを処理する診療システムの場合が挙げられる。このようなアプリケーションは共通の表示に変換することを選択するだろう。同じような問題がサマータイムの導入と終了時にも当てはまる。HL7はこのような要件に対し、情報の送信時にタイムゾーン情報を必須とすることで対応している。しかしながら、HL7は受信側でここで論じたいずれの処置をとるのかにつ

いては言及していない。

TM　時間

HL7 成分表－TM　時刻

SEQ	LEN	DT	OPT	COMPONENT NAME
	16			Time 時刻

書式：HH[MM[SS[.S[S[S[S]]]]]] [+/-ZZZZ]

以前のHL7バージョンでは、24時間表記法による書式HHMM[SS[.SSSS]][+/-ZZZZ]を常に使用していた。表記する桁数で精度が規定される。秒指定(SS)はオプションである。存在しない場合、分までの精度と解釈される。小数の秒指定は同様にオプションである。小数の秒は、秒より高い精度の時間を必要とする場合に送信される。分、時間、またはそれ以上の時間単位を小数で表記することはできない。発信者の時間帯は、万国標準時(以前はグリニッジ標準時として知られていた)からのオフセットとしてオプションで送られることがある。発信者の時間帯が特定のTMフィールドに存在しないが、MSHセグメントの日時フィールドの一部として含まれる場合は、MSH値がデフォルトの時間帯として使われる。それ以外の場合、その時間は発信者の現地時間を参照するものと解釈される。真夜中は0000と表記する。

午前 6: 30 を示す場合：　　|0630|

秒の端数は1秒よりも細かい精密さを必要とする送信者により送られることがある。分、時あるいはその他のより大きな単位についての端数は許されていない。

任意で送信者のタイムゾーンを協定世界時（以前のグリニッジ標準時）からのオフセットとして送信することができる。特定のTMフィールドでタイムゾーンが明示されず、MSHセグメントの日付／時刻フィールドの一部としてタイムゾーンが含まれている場合には、MSHの値がデフォルトのタイムゾーンとなる。それ以外の場合は、時刻は送信者の現地時間を参照していると理解される。

Time	Description
|0000|	真夜中
|235959+1100|	協定世界時より 11 時間進んでいるタイムゾーン（すなわち、グリニッジより東）での真夜中の 1 秒前
|0800|	午前 8 時、送信者の現地時間
|093544.2312|	午前 9 時 35 分から 44.2312 秒後、送信者の現地時間
|13|	午後 1 時（時までの精度）、送信者の現地時間

HL7 Ver.2.3より以前にはこのデータ型はHHMM[SS[.SSSS]][+/-ZZZZ]の形式に定められていた。HL7 Ver.2.3より、分がもはや必須ではなくなった。HL7旧バージョンとの互換性を保たなければならない場合、施設特有の合意により、HHMM[SS[.SSSS]][+/-ZZZZ]の形式を用いることができる。

TS　タイムスタンプ

HL7 成分表－TS　タイムスタンプ

SEQ	LEN	DT	OPT	COMPONENT NAME
1	24	DTM	R	Time　時刻
2	1	ID	B	Degree of Precision　精度

日付と時間を含む、イベントの正確な時間から成る。書式はつぎのようである。

書式：YYYYLLDD[HHMM[SS[.SSSS]]][+/-ZZZZ]^<精度>

タイムスタンプの日付部は日付フィールドの規則に従う。時間部は時間フィールドの規則に従う。表記する桁数により精度が規定される。すなわち、誕生日として使われるとき、HHMM部が省略されれば日付であり、HHMM部を0000とすると、まさに明けようとしているその日の真夜中(0時0分)になる。HL7コード化規則の中で使われる特定のデータ表記はISO 8824-1987(E)との互換性がある。オプションの精度はHL7旧バージョンとの互換性のためにあり、その日時の精度を示す(Y =

© JAHIS 2012

年、L = 月、D = 日、H = 時間、M = 分、S = 秒)。

HL7規格では、すべてのシステムが日常的に時間帯オフセットを送るよう強く推奨するが、強制はしない。HL7システムではすべて時間帯オフセット受け入れる必要があるが、その実装はアプリケーションに任される。多くのアプリケーションの場合、関心ある時間はその発信者の現地時間である。たとえば、東部標準時間帯にあるアプリケーションが12月11日午後11:00にサンフランシスコで入院が発生したという通知を受けた場合、その入院を12月12日ではなくて(現地時間の)12月11日に発生したものとして扱うのがよい。

この規則における例外は、臨床システムが、互いに近くに存在しながら時間帯の異なる複数の病院で収集された患者データを処理する場合である。そのようなアプリケーションは、そのデータを共通の表記に変換することがある。同じような問題は、サマータイムとの切り替え時にも発生する。HL7は、情報の送信時に時間帯情報を含めるようにすることで対応する。しかし、ここで検討した処理のどちらを受信システムが採用するかは指定しない。

第1成分　Time　時刻(DTM)

この成分の完全な記述については「DTM - 日付／時刻」を参照。

第2成分　Degree of Precision　精度(ID)

注：HL7 Ver.2.3 より HL7 旧バージョンとの互換性のためにのみ保持している。現在の精度の指定方法については成分 1 を参照。

タイムスタンプの精度を示す（Y=年、L=月、D=日、H=時、M=分、S=秒）。有効な値については「HL7表0529－精度」を参照。

HL7 表 0529－精度

Value	Description
Y	年
L	月
D	日
H	時
M	分
S	秒

精度は最初の成分で示された精度と同一またはそれを上書きすることに注意。より精密な精度を指定してはいけない。以下の例では、2番目の成分は最初の成分を上書きし、粗い精度、1999年4月、を示す。

例：　|199904011200^L|

CE　コード化値

HL7 成分表－CE　コード化値

SEQ	LEN	DT	OPT	COMPONENT NAME
1	20	ST	O	Identifier 識別子
2	199	ST	O	Text　テキスト
3	20	ID	O	Name of Coding System　コード体系名称
4	20	ST	O	Alternate Identifier　代替識別子
5	199	ST	O	Alternate Text　代替テキスト
6	20	ID	O	Name of Alternate Coding System　代替コード体系名称

注：HL7 Ver.2.5 より HL7 旧バージョンとの互換性のためにのみ維持されている。CNE および CWE データ型を参照。

このデータ型は、コード、およびそのコードと関連するテキストを送る。

```
|54.21^Laparoscopy^I9^42112^^AS4|
|F-11380^CREATININE^I9^2148-5^CREATININE^LN|
```

© JAHIS 2012

代替成分（4, 5, 6）についての使用上の注意：

これら 3 つの成分は、代替表現およびローカルなコード体系成分用に、1、2 および 3 と相似する形で定義されている。代替テキスト成分が存在せず、代替識別子が存在する場合は、代替テキストはテキスト成分と同じと解釈される。代替コード体系成分が存在しない場合は、ローカル定義のコード体系であると解釈される。

第1成分　Identifier　識別子 (ST)

後ろの<text>によって参照される項目を一意に識別する文字列(コード)。

コード体系が異なると、ここに入る識別子も異なる。

第2成分　Text　テキスト (ST)

識別子の叙述的あるいはテキスト表現による名称、例えば、心筋梗塞あるいはX線検査。

第3成分　Name of Coding System　コード体系名称 (ID)

識別子成分で用いられているコード体系を示す。識別子とコード体系名称の2つの成分の組み合わせで、データの品目に対する一意的なコードとなる。それぞれのコード体系は一意的な識別子を持つ。

有効な値については「HL7表0396–コード体系表」を参照。

第4成分　Alternate Identifier　代替識別子 (ST)

「代替成分（4, 5, 6）についての使用上の注意」を参照。

第5成分　Alternate Text　代替テキスト (ST)

「代替成分（4, 5, 6）についての使用上の注意」を参照。

第6成分　Name of Alternate Coding System　代替コード体系名称 (ID)

「代替成分（4, 5, 6）についての使用上の注意」を参照。

注：このデータ型では 2 組の等価コードを表現しているが、それは CE 型フィールドの反復とは意味が違う。反復を用いる場合は、いくつかの明瞭なコード（明瞭な意味を持つコード）を送信するのが普通である。

CF　書式付コード化値

HL7 成分表－CF　書式付コード化値

SEQ	LEN	DT	OPT	COMPONENT NAME
1	20	ST	O	Identifier 識別子
2	65536	FT	O	Formatted Text　整形済みテキスト
3	20	ID	O	Name of Coding System　コード体系名称
4	20	ST	O	Alternate Identifier　代替識別子
5	65536	FT	O	Alternate Formatted Text　代替テキスト
6	20	ID	O	Name of Alternate Coding System　代替コード体系名称

このデータ型は、コード、およびそのコードと関連する書式付テキストを送る。このデータ型は、レポートの詰め込みテキスト部に使用する書式付テキスト(たとえば、単純胸部X線について標準的に記述された放射線所見など)を初めて送る場合に使用する。受信システムは、この情報を保存し、次のメッセージではその識別子だけを送信する。このデータ型のもう一つの考えられる使用法は、書式付テキストを含むマスタファイル・レコードを送ることである。主要成分、代替成分とも、成分2および成分5が書式付テキストデータ型であるという点を除いて、CEデータ型の場合と全く同様に定義される。

例：

```
OBX||CF|71020^CXR^CPMC||79989^\H\Description:\N\\.sp\\ti+4\Heart is not enlarged.
There is no evidence of pneumonia, effusion, pneumothorax or any masses.
\.sp+3\\H\Impression:\N\\.sp\\.ti+4\Negative chest.^CPMC
```

第1成分　Identifier　識別子(ID)

＜テキスト＞で言及される品目を一意に特定する文字の並び（コード）。コード体系が異なると、ここに入る識別子も異なる。

第2成分　Formatted Text　整形済みテキスト(FT)

当該の事項についての叙述的あるいはテキスト表現による名称で、整形用の指示が付加されている。

第3成分　Name of Coding System　コード体系名称(ID)

使用されているコード体系名称を含む。有効な値については「HL7表0396–コード体系表」を参照。

第4成分　Alternate Identifier　代替識別子(ST)

＜テキスト＞で言及される品目を一意に特定するもう一組の文字の並び（コード）。この識別子は成分1のものと同義となる。

第5成分　Alternate Formatted Text　代替整形済みテキスト(FT)

代替識別子の叙述的あるいはテキスト表現による名称で、埋め込み型の整形用の指示が付加されている。

第6成分　Name of Alternate Coding System　代替コード体系名称(ID)

代替識別子で用いられているコード体系を示す。有効な値については「HL7表0396–コード体系表」を参照。

CNE　例外なしコード化値

HL7 成分表－CNE　例外なしコード化値

SEQ	LEN	DT	OPT	COMPONENT NAME
1	20	ST	R	Identifier　識別子
2	199	ST	O	Text　テキスト
3	20	ID	O	Name of Coding System　コード体系名称
4	20	ST	O	Alternate Identifier　代替識別子
5	199	ST	O	Alternate Text　代替テキスト
6	20	ID	O	Name of Alternate Coding System　代替コード体系名称
7	10	ST	C	Coding System Version ID　コード体系バージョン ID
8	10	ST	O	Alternate Coding System Version ID　代替コード体系バージョン ID
9	199	ST	O	Original Text　元のテキスト

コード化された要素と、そのコードに関連付けられた詳細を示す。CNEデータ型は必須あるいは識別子が必須の場合に用いる。指定されたHL7あるいは外部定義された表を使わなければならず、ローカルの値で拡張することは許されない。テキストはコードを置き換えてはならない。CNEフィールドには、そのフィールドと関連付けられたHL7表か、外部定義の表が必ず存在しなければならない。その表は標準規格で明記されていなければならない。

第1成分　Identifier　識別子(ST)

ユニークな文字のつながり（コード）である <テキスト>を参照するための識別項目である。コード体系が異なると、ここに入る識別子も異なる。

注：この識別子は必須であり、有効なコードである必要がある。

第2成分　Text　テキスト(ST)

識別子の叙述的あるいはテキスト表現による名称、例えば、心筋梗塞あるいはX線検査。この成分のデータ型は文字列(ST)である。識別子に対してコード体系が割り当てたテキストである。

注：コードに対するテキストの記述は省略可能であるが、特に接続テストやデバッグの際に、メッセージの正確性の確認を容易にするため、その使用は推奨されている。

© JAHIS 2012

第3成分　Name of Coding System　コード体系名称(ID)

それぞれのコード体系は一意的な識別子を割り当てる。この成分は識別子成分で用いられているコード体系を示す。識別子とコード体系名称の組み合わせで、データの品目に対する一意的なコードとなる。それぞれのコード体系は一意的な識別子を持っている。

有効な値については「HL7表0396–コード体系表」を参照。

注：コード体系は、明示され、許されているコード体系の集合に含まれる値を持つか、明示されない場合は、HL7 コード体系を意味するコードの値を持つのと同じ意味に解釈されるかのいずれかである。有効な値については「HL7 表 0396–コード体系表」を参照

第4成分　Alternate Identifier　代替識別子(ST)

上の「識別子」に類似している。

注：代替識別子はローカルのコードまたは記述した際にユーザが想定したコードを表現するのに用いられる。明示された場合は、成分 1 で述べられたのと同じ規則や解釈に従う。もし、双方が明示された場合には、成分 4 の識別子と成分 1 の識別子は全く同じ意味を持つ必要がある。すなわちこれらは正確な同義語である必要がある。

第5成分　Alternate Text　代替テキスト(ST)

上記の「テキスト」に類似している。

注：成分 5 が明示された場合は、成分 2 について述べられたのと同じ規則よび解釈に従う。

第6成分　Name of Alternate Coding System　代替コード体系名称(ID)

上記の「コード体系名称」に類似している。

注：成分 6 が明示された場合、成分 3 と同じ使用規則および解釈に従う。

第7成分　Coding System Version ID　コード体系バージョンID(ST)

成分3で特定されるコード体系バージョンID。この成分は概念的には成分1から3に属するが、HL7旧バージョンとの互換性のためにのみこの場所に現れている。

注：コード体系が「HL7 コード体系」以外のどの体系であっても、バージョン ID の値を指定しなければならない。コード体系が「HL7 コード体系」の場合は、バージョン ID は実際の値を持っても、空白でもよい。バージョン ID が空白の場合は、メッセージヘッダの HL7 バージョン番号と同じ値を持つと解釈される。コードのテキスト記述は省略可能であるが、特にインターフェーステストやデバックに役立つので、この成分を使用することが推奨されている。

第8成分　Alternate Coding System Version ID　代替コード体系バージョンID(ST)

成分6で特定されたコード体系バージョンID。この成分は概念的には代替成分に含まれるがこの場所に現れるのはHL7旧バージョンとの互換性のためにのみである。

注：成分 8 が明示された場合は、成分 7 で記述された使用規則と解釈に従う。

第9成分　Original Text　元のテキスト(ST)

特定のコードが割り当てられる前に、自動処理または人間に提示されていた元のテキスト。

CNN　単純化複合 ID 番号と名称

HL7 成分表－CNN 単純化複合 ID 番号と名称

SEQ	LEN	DT	OPT	COMPONENT NAME
1	15	ST	O	ID Number　ID 番号
2	50	ST	O	Family Name　姓
3	30	ST	O	Given Name　名
4	30	ST	O	Second and Further Given Names or Initials Thereof 2 番目以降の名またはそれらのイニシャル
5	20	ST	O	Suffix (e.g., JR or III)　接尾辞(例、JR または III)
6	20	ST	O	Prefix (e.g., DR)　接頭辞 (例　DR)
7	5	IS	O	Degree (e.g., MD)　学位 (例　MD)

© JAHIS 2012

SEQ	LEN	DT	OPT	COMPONENT NAME
8	4	IS	C	Source Table　出典表
9	20	IS	C	Assigning Authority-Namespace 割当て権限者-ネームスペース ID
10	199	ST	C	Assigning Authority-Universal ID 割当て権限者－汎用 ID
11	6	ID	C	Assigning Authority-Universal ID Type 割当て権限者-汎用 ID 型

注：OBR-32、OBR-33、OBR-34、OBR-35 で使われていた CM で実現できる、もともとのデータ型 CN を改良。しかしながら、現在の実施例と整合性を持ち、HL7 旧バージョンとの互換性をこわさないよう、成分 7 と 8 は、データ型 IS に昇格した。

識別子と人の名前の両方を使って、人物を明記する。

第1成分　ID Number　ID番号　(ST)

使用者定義表によるコード化されたID。成分1が明示された場合には成分8または9、または10と11の両方の値を入れる必要がある。

第2成分　Family Name　姓　(FN)

この成分は人物の姓を文字列形式で含む。

第3成分　Given Name　名　(ST)

名を明記するのに用いる。

第4成分　Second and Further Given Names or Initials Thereof　2番目以降の名またはそれらのイニシャル　(ST)

2番目以降の名、またはそれらのイニシャル。

第5成分　Suffix (e.g., JR or III)　接尾辞(例、JR または III)　(ST)

名前の接尾語を明記するのに用いる。（例　JRまたはIII）

第6成分　Prefix (e.g., DR)　接頭辞 (例　DR)　(ST)

名前の接頭語を明記する。（例　DR）

第7成分　Degree (e.g., MD)　学位 (例　MD)　(IS)

教育における学位（例、MD）を明記するのに用いる。提案されている値については「使用者定義表0360－学位／免許／資格」を参照。

使用者定義表 0360－学位／免許／資格

Value	Description	Value	Description
PN	上級実践看護師	MD	医学博士
AAS	商業・技術準学士	DO	整骨治療学博士
AA	一般教養準学士	EMT	救急救命士
ABA	経営学準学士	EMTP	救急救命士－パラメディック
AE	工学準学士	FPNP	家庭医学診療看護師
AS	理学準学士	HS	高校卒業
BA	学士	JD	監察医
BBA	経営学士	MA	修士
BE	工学士	MBA	経営学修士
BFA	芸術学士	MCE	土木学修士
BN	看護学士	MDI	神格学修士
BS	理学士	MED	教育学修士
BSL	法理学士	MEE	電気工学修士
BSN	看護理学士	ME	工学修士
BT	神学士	MFA	芸術学修士

© JAHIS 2012

Value	Description	Value	Description
CER	資格	MME	機械工学修士
CANP	認定成人疾患診療看護師	MS	理学修士
CMA	認定補助医師	MSL	法理学修士
CNP	認定診療看護師	MSN	看護理学修士
CNM	認定看護助産師	MT	神学修士
CRN	認定登録看護師	MDA	診療助手
CNS	認定専門看護師	MT	臨床技師
CPNP	認定小児疾患診療看護師	NG	在学中
DIP	免状	NP	診療看護師
DBA	経営学博士	PA	医師助手
DED	教育学博士	RMA	登録診療助手
PharmD	薬学博士	RPH	登録薬剤師
PHE	工学博士	SEC	秘書資格
PHD	哲学博士	TS	商業学校卒業
PHS	理学博士		

第8成分　Source Table　出典表(IS)

提案されている値については「使用者定義表0297－CN ID出典」を参照。最初の成分を記述するのに用いる。第1成分が値を持つとき、成分8または9または成分10と11の両方に値が必要である。

使用者定義表 0297－CN ID 出典

Value	Description
	推奨できる値はない

第9成分　Assigning Authority-Namespace ID　割当て権限者-ネームスペースID(IS)

割当権限者は通常HDデータ型で表現されるが、このデータ型では全ての情報を表現できる3つの成分に展開されている(CNS.9, CNS.10 およびCNS.11)。将来HDデータ型に成分が追加される場合は、このデータ型にも同様の調整が必要となることに注意。第1成分が値を持つときには、成分8または9または10と11の両方に値を設定する必要がある。

第10成分　Assigning Authority-Universal ID　割当て権限者-汎用ID(ST)

定義については「割当権限者 (HD)」 を参照。

第11成分　Assigning Authority-Universal ID Type　割当て権限者-汎用ID型(ID)

成分11が値を持つとき、この成分に値を設定する必要がある。第1成分が値を持つときには、成分8または9または10と11の両方に値を設定する必要がある。有効な値については、「HL7表0301－汎用ID型」を参照。

CWE　例外を含むコード化値

HL7 成分表–CWE　例外を含むコード化値

SEQ	LEN	DT	OPT	COMPONENT NAME
1	20	ST	O	Identifier 識別子
2	199	ST	O	Text　テキスト
3	20	ID	O	Name of Coding System　コード体系名称
4	20	ST	O	Alternate Identifier　代替識別子
5	199	ST	O	Alternate Text　代替テキスト
6	20	ID	O	Name of Alternate Coding System　代替コード体系名称

© JAHIS 2012

SEQ	LEN	DT	OPT	COMPONENT NAME
7	10	ST	C	Coding System Version ID　コード体系バージョン ID
8	10	ST	O	Alternate Coding System Version ID 代替コード体系バージョン ID
9	199	ST	O	Original Text　元のテキスト

定義：コード化された要素と、その要素に結びついた詳細を表す。CWEデータ型は、１）1以上の表が適用されることがある、あるいは、２）指定されたHL7表または外部定義の表がローカルの値で拡張されることがある、あるいは、３）文字列が指定された場合にコードが省略されることがある場合に用いられる。

使用上の注意：これは、一般的にはコードを用いて送信されるが、例外的な個体について、あるいは施設での合意に基づいて、コードが省略されることがあるフィールドである。例外的な実例は、使用されているコード体系が、文字列で表現されている概念を記述できないときに生じる。

成分1-3と7は以下の3つの方法のうちの1つで用いられる。

a) コード化

識別子はあるコード体系からの有効なコードを含んでいる。コード体系は明示され、許されているコード体系の集合に含まれる値を持つか、コード体系は明示されていないが、HL7コード体系と同じ意味を持つコードが指定されていると解釈されるかのいずれかである。有効な値については「HL7表0396–コード体系表」を参照。コード体系が"HL7コード体系"とは異なるいずれかのコード体系であるときには、バージョンIDに実際のバージョンIDの値を設定する必要がある。コード体系が"HL7コード体系"であるときには、バージョンIDには実際のバージョンIDの値を設定するか、指定されていなくても良い。バージョンIDが指定されていない場合には、メッセージヘッダのHL7バージョン番号と同じと解釈される。文字列の記述は省略可能だが、テストやデバッグの際のメッセージの可読性のために、文字列の記述を使うことが推奨されている。

例1a : 検査の識別子としてLOINCが指定されており、検査の値がCWEの値として送られようとし、その検査の値はSNOMEDからとられているOBXセグメント。

```
OBX|1|CWE|883-9^ABO Group^LN|1|F-D1250^Type O^SNM3^^^^3.4|||N||F<cr>
```

例1b：検査内容の識別子がLOINCコードで、検査結果の値がCWEの値として送信される場合で、その値は（現在は仮想の）HL7表からとられている、OBXセグメント。

```
OBX|1|CWE|883-9^ABO Group^LN|1|O^Type O^HL74875^^^^2.3.1|||N||F<cr>
```

b) 非コード化

テキストの値は設定されているが識別子は値を持たず、コーディング体系とバージョンIDは上記の選択肢1と同様の規則に従う場合。

例2：検査内容の識別子がLOINCコードで、検査結果の値がCWEの値として送信される場合で、その値は、正しい診療上の値が"Wesnerian"であり、これが許される値の集合に見当たらないため、文字列で送信されているOBXセグメント。

```
OBX|1|CWE|883-9^ABO Group^LN|1|^Wesnerian^SNM3^^^^3.4|||A||F<cr>
```

c) データ欠落

コード体系名称が「HL7 CWE状態」で、バージョンIDが実際の値が指定されたか、バージョンIDが提示されず、メッセージヘッダのバージョンと同じ意味を持つかの場合で、識別子の値は許されるCWEフィールド状態のうちの一つから取られている。CWEフィールド状態の許される値は下に示されており、将来HL7ボキャブラリーの一部として管理されると思われる。コードに対する文字列による記述は省略可能。

例3 : 検査内容の識別子がLOINCコードで、検査結果の値はLCEの値として送られる場合で検査が実施されなかったため検査値が送れない場合のOBXセグメント。

```
OBX|1|CWE|883-9^ABO Group^LN|1|NAV^Not Available^HL70353^^^^2.3.1|||N||F<cr>
```

成分9

この成分は特定のコードが割り当てられる前に、自動処理または人間に提供される元の文字列を表す。このフィールドは省略可能である。

成分3-6および8

成分3-6および8は省略可能である。これらはローカルのコードまたは記述した際にユーザが想定したコードを表現するのに用いられる。明示された場合は、（CWEデータ型の）成分1-3および7で述べられたのと同じ規則や解釈に従う。もし、双方が明示された場合には、成分4の識別子と成分1の識別子は全く同じ意味を持つ必要がある。すなわちこれらは正確な同義語である必要がある。

例4：検査内容の識別子はLOINCコードで、検査結果はCWEで送信される場合で、その値はSNOMEDから取られる場合のOBXセグメント。ユーザが想定したコードを記述するフィールドがローカルのコード体系（99LAB）を表現するために送信側のシステムで使用されている。

```
OBX|1|CWE|883-9^ABO Group^LN|1|F-D1250^Type O^SNM3^O^O Type
Blood^99LAB^3.4^|||||F<cr>
```

値を取らない様々な状態に対し、状態値の表をCWEで使う場合の使用上の注意のまとめ：

CWEデータ型は、コード化が必須でないか、認められた値の集合に、まだ含まれていない項目について文字列を送ることを許容しているコード化されたフィールドに使われるべきである。通常の場合、識別子は値の集合から選ばれたコードの値をとる。フィールドの値は知られていて、値の集合に含まれない場合は、値は文字列で送られ、識別子は値を持たない。フィールドの状態が不明であるばあいは、フィールドの第3の形式が用いられ（上記データ欠落を参照）、フィールドに対し適切な状態を表す値が許される状態の値の表から選択される。コードが存在しない場合についての有効な値は「HL7表0353－CWE状態」を参照。

HL7 表 0353－CWE 状態

Value	Description
U	不明
UASK	照会したが不明
NAV	利用不能
NA	対象外
NASK	未照会

文字列の修飾子がコードに付随する場合、HL7メッセージの「フィールド」はCWEデータ型で、かつ繰り返しが許容されることになる。最初のフィールドの個体は選択肢1にしたがって用いる。すなわち識別子は、有効なコードを持つことになる。繰り返されるフィールドの2番目のエンティティは選択肢2にしたがって用いる、すなわち文字列による記述は、自由文による修飾子の値を取ることになる。

第1成分　Identifier　識別子(ST)

言及される品目を一意に特定する文字の並び（コード）。コード体系が異なると、ここに入る識別子も異なる。

第2成分　Text　テキスト(ST)

識別子の叙述的あるいはテキスト表現による名称、例えば、心筋梗塞あるいはX線検査。

第3成分　Name of Coding System　コード体系名称(ID)

識別子成分で用いられているコード体系を示す。

識別子とコード体系名称の組み合わせで、データの品目に対する一意的なコードとなる。それぞれのコード体系は一意的な識別子を持っている。有効な値については「HL7表0396–コード体系表」を参照。

第4成分　Alternate Identifier　代替識別子(ST)

言及される品目を一意に特定するもう一組の文字の並び（コード）。「CWE　例外を含むコード化値－使用上の注意」を参照。

第5成分　Alternate Text　代替テキスト(ST)

代替識別子の叙述的あるいはテキスト表現による名称。成分2の「文字列」と類似。「CWE　例外を含むコード化値－使用上の注意」を参照。

© JAHIS 2012

第6成分　Name of Alternate Coding System　代替コード体系名称(ID)

代替識別子成分で用いられているコード体系を示す。「CWE　例外を含むコード化値－使用上の注意」を参照。

第7成分　Coding System Version ID　コード体系バージョンID(ST)

成分1-3で特定されるコード体系バージョンID。この成分は概念的には成分のグループ1-3に属するが、HL7旧バージョンとの互換性のためにのみこの場所に現れている。

第8成分　Alternate Coding System Version ID　代替コード体系バージョンID(ST)

成分4-6で特定されるコード体系バージョンID。この成分は概念的には代替成分のグループ（「CWE　例外を含むコード化値－使用上の注意」を参照）に属するが、HL7旧バージョンとの互換性のためにのみこの場所に現れている。

第9成分　Original Text　元のテキスト(ST)

特定のコードが割り当てられる前に、自動処理または人間に提示されていた元の文字列。

CX　チェックデジット付き拡張複合 ID

HL7 成分表－CX　チェックデジット付き拡張複合 ID

SEQ	LEN	DT	OPT	COMPONENT NAME
1	15	ST	R	ID Number　ID 番号
2	1	ST	O	Check Digit　チェックデジット
3	3	ID	O	Check Digit Scheme　チェックデジット形式
4	227	HD	O	Assigning Authority　割当権限者
5	5	ID	O	Identifier Type Code　識別子型コード
6	227	HD	O	Assigning Facility　割当施設
7	8	DT	O	Effective Date　発行日付
8	8	DT	O	Expiration Date　失効日付
9	705	CWE	O	Assigning Jurisdiction　割当管轄
10	705	CWE	O	Assigning Agency or Department　割当期間または行政組織

このデータ型はIDとそれに付随する管理上の詳細を示すのに使われる。

注：ID が英数字の場合、チェックデジットとチェックデジット形式は null となる。

例：　|1234567^4^M11^ADT01^MR^University Hospital|

第1成分　ID Number　ID番号(ST)

識別子の値そのもの。

第2成分　Check Digit　チェックデジット(ST)

このデータ型でのチェックデジットは、メッセージ処理系により生成された後付けのものではない。識別番号の一部分で、送信側アプリケーションで使用される部分が、この成分でいうチェックデジットである。送信側のアプリケーションが自己生成のチェックデジットを識別番号に含めていない場合は、この成分はnullにしなければならない。

第3成分　Check Digit Scheme　チェックデジット形式(ID)

使用されているチェックデジット形式の指定を含む。有効な値について「HL7表0061－チェックデジット形式」を参照。

HL7 表 0061－チェックデジット形式

Value	Description
NPI	米国医療従事者識別子に使用されているチェックデジットアルゴリズム
ISO	ISO 7064: 1983
M10	Mod 10 アルゴリズム

© JAHIS 2012

Value	Description
M11	Mod 11 アルゴリズム

Mod10チェックデジットを計算するためのアルゴリズムは以下の通り。

識別子=12345を持つと仮定した場合、右側から数えて奇数桁、つまり531を2倍して1062を得る。右から数えて偶数桁、すなわち42を取り、これに1062を付加して421062を得る。この数字の6桁すべてを加算して15を得る。15の次に大きい10の倍数からこの数を減ずる、つまり20-15により5を得る。これがMod10である。401の場合のMod10チェックデジットは0である。9999の場合は4である。99999999の場合は8である。

用語

D = 1 の位から初めて、10 の位、100 の位と続く順番で振った、桁をあらわす数

W = 1 の位から初めて、10 の位、100 の位の順番で、2, 3, 4, 5, 6, 7, 2, 3, 4, 5, 6, 7 と 6 桁ごとに繰り返す重みの数値

C = チェックデジット

計算

(Step 1) m = 1 の位から順に 1 番目、2 番目、…の(d*w)の総和
ただし、d=1 の位から最上位の方向に数える桁番号
かつ、w = 1 の位から始めて 6 桁ごとに繰り返す 2 から 7 までの重み付けの数字

(Step 2) c1 = m mod 11

(Step 3) if c1 = 0 ならば、c1 = 1 にリセットする

(Step 4) = (11 - c1) mod 10

例：番号が1234567であれは、mod 11　チェックデジット= 4
計算は以下の通り

M = (7*2)+(6*3)+(5*4)+(4*5)+(3*6)+(2*7)+(1*2)
= 14 + 18 + 20 + 20 + 18 + 14 + 2
= 106

c1 = 106 mod 11
= 7

c = (11-c1) mod 10
= 4 mod 10
= 4

上記以外のチェックデジットは、関係者双方の取り決めにより使うことができる。

第4成分　Assigning Authority　割当権限者(HD)

割当権限者は、データを生成したシステム（組織、政府機関、部署）の一意的な名称である。有効な値については「使用者定義表0363－割当権限者」を参照。

使用者定義表 0363－割当権限者

Value	Description
	推奨できる値はない

第5成分　Identifier Type Code　識別子型コード(ID)

IDの型に対応するコード。場合によっては、このコードが「割当権限者」成分の修飾語として用いられることもある。有効な値については「HL7表0203－ID型」を参照。

HL7 表 0203－ID 型

Value	Description	Comment
AM	アメリカン・エクスプレス	HL7 Ver.2.5 で非推奨となり、BC に置き換えられた
AN	勘定番号	勘定に対する一意的な識別子

© JAHIS 2012

Value	Description	Comment
ANON	匿名識別子	生物に対する識別子で、その本当の出自が保護されているか、参照の正当化が制限されているもの：公衆衛生報告には、特定の結果の報告をする際に患者の出自を保護するため、匿名識別子が時々使用される。例えば、州の健康局はHIV 抗体が陽性となった患者の報告に、ある生成規則による匿名識別子を使用するかもしれない。 匿名識別子は PID 3 で、医療記録番号やその他の匿名でない識別子の代わりに用いることができる。匿名識別子の割当権限者は州や地域の健康局 であろう。
ANC	債権者勘定番号	クラス：会計 勘定番号のより正確な定義；2 つの別の勘定番号が同じメッセージで送信する必要があるときがあり、ひとつは債権者のであり、もうひとつは債務者のである。Kreditorenkontonummer　（ドイツ語で）「債権者勘定番号」
AND	債務者勘定番号	クラス：会計 勘定番号のより正確な定義；2 つの別の勘定番号が同じメッセージで送信する必要があるときがあり、ひとつは債権者のであり、もうひとつは債務者のである。Debitorenkontonummer　（ドイツ語で）「債務者勘定番号」
ANT	暫定勘定番号	クラス：会計 勘定番号の暫定版 ユースケース：通常は勘定番号を割り当てしない補助システムが最初に患者を登録する。補助システムが、公式な勘定番号が割り当てられるまで使用する暫定勘定番号を生成する。
APRN	上級診療看護師番号	認定委員会の管轄下で重複しない上級診療看護師に対する識別子
BA	銀行口座番号	クラス：会計
BC	銀行カード番号	クラス：会計 個人の銀行カードについて一意的な識別子。HL7 Ver.2.5 より、AM、DI、DS、MS およびＶＳを置き換える。
BR	出生記録番号	
BRN	品種登録番号	
CC	コストセンター番号	クラス：会計 ユースケース：特に伝票に関する情報を送信する場合に必要となる。
CY	郡番号	
DDS	歯科医免許番号	免許委員会の管轄内で重複しない歯科医に対する識別子
DEA	薬物施行管理登録番号	統制されている物質の管理や取り扱いに関わる個人や組織に対する識別子 ユースケース：これは、統制されている物質の管理や取り扱いに関わる個人や組織に対する識別子である。 DEA 番号は米国内では非常に明確で広く受け入れられた意味をもっている。米国内では米国麻薬取締局だけが DEA 番号だけを割り当てているのではない。病院は、そこに勤務する研修医師に DEA 番号を発行する権限をもつ。これらの DEA 番号は病院の DEA 番号に基づくが、研修医師への割り当て権限は病院にある。このため識別子型としての DEA と共に、割当権限者としての DEA が必要である。
DI	ダイナーズクラブカード	HL7 Ver.2.5 で非推奨となり、BC に置き換えられた
DFN	薬剤調達あるいは処方権限者番号	医療従事者に割り当てられる識別子で、その人に薬剤オーダを書く権限を与える ユースケース：診療看護師は薬剤を調達または処方する権限を持つ；成分 1 にこの識別子を含む。
DL	運転免許番号	
DN	医師番号	
DPM	足病医免許番号	免許委員会の管轄内で重複しない足病医に対する識別子
DO	整骨医免許番号	免許委員会の管轄内で重複しない整骨医に対する識別子
DR	ドナー登録番号	
DS	ディスカバーカード	HL7 Ver.2.5 で非推奨となり、BC に置き換えられた
EI	被雇用者番号	ある雇用者について被雇用者を唯一特定する番号

© JAHIS 2012

Value	Description	Comment
EN	雇用者番号	
FI	施設 ID	
GI	保証人内部識別子	クラス：会計
GL	総元帳番号	クラス：会計
GN	保証人外部番号	クラス：会計
HC	健康カード番号	
JHN	管轄下健康番号（カナダ）	クラス：保険 2 通りの使い方がある：ａ）UK 管轄下の CHI 番号；ｂ）カナダの州の健康カード番号：
IND	先住民／原住民	カナダ外の先住民あるいは原住民集団のメンバーに割り当てられた番号
LI	労働および産業番号	
LN	免許番号	
LR	地方登録 ID	
MA	患者メディケイド番号	クラス：保険
MB	会員番号	ある保険契約の被保険者に対する識別子（この被保険者は必ず契約者を持つ）で通常保険会社によって割り当てられる。 ユースケース：ある人が保険契約によって保証される。この人はその契約の契約者である場合も、契約者でない場合もある。
MC	患者のメディケア番号	クラス：保険
MCD	医療従事者 メディケイド番号	クラス：保険
MCN	マイクロチップ番号	
MCR	医療従事者 メディケア番号	クラス：保険
MD	医師免許番号	免許委員会の管轄内で重複しない医師に対する識別子 ユースケース：これらの免許番号は識別子として使用される。州によっては以下の 3 つの識別子を同じ権限者が発行する。すなわち、医師、整骨医、医師補助者の免許が全てひとつの州の医療委員会で発行される。この場合、CX データ型では、成分 1 を性格に解釈するために別個の識別子型が必要となる。さらに、これらの免許型の区別はほとんどの医療現場で非常に重要となる。（このような免許型は免許の情報を全ては伝えないため、セグメントは関連する属性を全て対応する必要があるため）
MI	軍 ID 番号	過去に従軍経験をもつが現在は兵役についていない個人に割り当てられる番号。この番号は国防省または在郷軍人局(VA)が割り当てる。
MR	診療記録番号	一組の診療記録の中で患者について一意的な識別子で、必ずしもひとつのアプリケーションの中で重複を持たないとは限らない。
MRT	暫定診療記録番号	診療記録番号の暫定版 ユースケース：通常は診療記録番号を割り当てしない補助システムが最初に患者を登録する。補助システムが、公式な診療記録番号が割り当てられるまで使用する暫定診療記録番号を生成する。
MS	マスターカード	HL7 Ver.2.5 で非推奨となり、BC に置き換えられた
NE	国定雇用者番号	米国では、この値の割当権限者は一般的に CMS（メディケア・メディケイドセンター）だが、HIPPA に関する取引については、全ての医療従事者および保険会社がこの番号を使用しうる。
NH	国定健康ブラン識別子	クラス：保険 英国の NHS（国民健康保健サービス）の国民識別子。 米国では、この値の割当権限者は一般的に CMS（メディケア・メディケイドセンター）だが、HIPPA に関する取引については、全ての医療従事者および保険会社がこの番号を使用しうる。

© JAHIS 2012

Value	Description	Comment
NI	国定個人特定識別子	クラス：保険 米国では、この値の割当権限者は一般的に CMS（メディケア・メディケイドセンター）だが、HIPPA に関する取引については、全ての医療従事者および保険会社がこの番号を使用しうる。
NII	国定保険機関識別子	クラス：保険 ドイツでの国制定の保険会社に対する識別子。この識別子は保険カード（健康カード）に印刷されている。健康カード自体の番号と混同しないこと。 Krankenkassen-ID der KV-Karte（ドイツ語）KV カードの健康保険組合 ID
NIIP	国定保険支払者識別子（保険料の支払者）	クラス：保険 ドイツでの保険料の支払者を指す保険組合識別子 Krankenkassen-ID des Rechnungsempfängers （ドイツ語）領収書受取人の健康保険組合 ID ユースケース：下部団体がその識別子でカードを発行するが、その上部団体が保険料の請求に対して支払う場合
NNxxx	xxx は ISO 表 3166 に基づく（アルファベット）3 文字による国コードで、その国が定める個人特定識別子	
NP	診療看護師番号	認証委員会の管轄下で一意的な診療看護師の番号
NPI	国定医療従事者識別子	クラス：保険 米国では、この値の割当権限者は一般的に CMS（メディケア・メディケイドセンター）だが、HIPPA に関する取引については、全ての医療従事者および保険会社がこの番号を使用しうる。
OD	視力測定医免許番号	免許委員会の管轄下で一意的な視力測定医の番号
PA	医師補助者番号	免許委員会の管轄下で一意的な医師補助者の番号
PCN	刑務所／矯正施設番号	収監されている人に割り当てられる番号
PE	法人生物体番号	ある（医療）法人（割当権限者より特定される）内での生物体の番号
PEN	年金番号	
PI	患者内部識別子	割当権限者の内部で一意的な患者の番号
PN	個人番号	割当権限者で一意的な生物体の番号
PNT	暫定生体物番号	生体物番号の暫定版
PPN	パスポート番号	個人をある国の市民であることを保証する文書に与えられる一意的な番号 米国ではこの番号は連邦政府のみによって発番される。
PRC	永住者カード番号	
PRN	医療従事者番号	割当権限者の管轄下で、個々の医療従事者、医療従事者のグループまたは組織について一意的な番号 ユースケース：PRN は個人（看護師）を指すこともグループ／組織（整形外科手術チーム）を指すこともできる。
PT	患者外部識別子	
QA	QA 番号	
RI	リソース識別子	一般化されたリソース識別子。 ユースケース：リソースという名で一般に知られるものを入れるために必要となった識別子型。リソースには人間（例、呼吸療法士）、人間以外の生物（例、伴侶動物）、非生物（例、検査室）、組織（糖尿病教育クラス）やその他物理的、論理的エンティティが含まれうる。
RPH	薬剤師免許番号	免許委員会の管轄下で一意的な薬剤師の識別子。
RN	登録看護婦番号	免許委員会の管轄下で一意的な登録看護婦の識別子。
RR	鉄道退職番号	
RRI	地域登録 ID	
SL	州免許	

© JAHIS 2012

Value	Description	Comment
SN	保険者番号	クラス：保険 健康保険の保険者に対する識別子で、保険会社の中で重複がなく、また通常保険会社によって割り当てられる。 ユースケース：ある人が健康保険の保険者である。その人の家族はその健康保険の対象者でありうるが、保険者ではない。
SR	州登録 ID	
SS	社会保険番号	
TAX	税 ID 番号	
TN	条約番号／（カナダ）	カナダの先住民グループの構成員に割り当てられる番号 ユースケース：ファースト・ネイション
U	不特定の識別子	
UPIN	メディケア／CMS メディケア・メディケイドセンター(以前の HCFA 医療保険財政管理局)の全米医師識別番号	クラス：保険
VN	受診番号	
VS	ビザ	HL7 Ver.2.5 で非推奨となり BC に置き換えられた。
WC	WIC 母子センター識別子	
WCN	ワーカーズ・コンプ（保険組合）番号	
XX	組織識別子	

第6成分　Assigning Facility　割当施設(HD)

患者に最初に識別子が割り当てられた、建物・場所の識別子。この成分は識別子の固有の部分ではないが、識別子の履歴に関する部分である。この成分は、特定の相互通信システムのために存在している。

第7成分　Effective Date　発行日付(DT)

判明している場合、識別子が正当で有効となる最初の日付。

第8成分　Expiration Date　失効日付(DT)

判明している場合、識別子が正当で有効となる最後の日付。

第9成分　Assigning Jurisdiction　割当管轄(CWE)

成分1の識別子を割り当てた、地勢的行政的機関。発行された識別子についての管轄の管理単位が国である場合、有効な値については「HL表0399－国コード」を参照

HL7 表 0399－国コード

Value	Description
	ISO3166 の 3 文字(アルファベット)を使用

第10成分　Assigning Agency or Department　割当期間または行政組織(CWE)

成分1の識別子を割り当てた機関あるいは行政組織。発行された識別子についての管轄の管理単位が組織、機関、行政組織である場合、提案されている値については「使用者定義表0530－組織、機関、行政組織」を参照。

使用者定義表 0530－組織、機関、行政組織

Value	Description
AE	アメリカン・エクスプレス
DEA	麻薬取締局

© JAHIS 2012

Value	Description
DOD	国防省
MC	マスターカード
VA	在郷軍人局
VI	ビザ

XCN　拡張複合 ID と名前

HL7 成分表－XCN　拡張複合 ID と名前

SEQ	LEN	DT	OPT	COMPONENT NAME
1	15	ST	O	ID Number　ID 番号
2	194	FN	O	Family Name　姓
3	30	ST	O	Given Name　名
4	30	ST	O	Second and Further Given Names or Initials Thereof 2 番目以降の名またはそれらのイニシャル
5	20	ST	O	Suffix (e.g., JR or III)　接尾語（例：JR または III）
6	20	ST	O	Prefix (e.g., DR)　接頭語（例：DR）
7	5	IS	B	Degree (e.g., MD)　学位（例：MD）HL7 Ver.2.5 より非推奨
8	4	IS	C	Source Table　ID 管理表
9	227	HD	O	Assigning Authority　割当権限者
10	1	ID	O	Name Type Code　名前型コード
11	1	ST	O	Identifier Check Digit　識別子チェックデジット
12	3	ID	C	Check Digit Scheme　チェックデジット形式
13	5	ID	O	Identifier Type Code　識別子型コード
14	227	HD	O	Assigning Facility　割当施設
15	1	ID	O	Name Representation Code　名前表記コード
16	483	CWE	O	Name Context　名前の文脈
17	53	DR	B	Name Validity Range　名前の有効範囲
18	1	ID	O	Name Assembly Order　名前構成順序
19	26	TS	O	Effective Date　発行日付
20	26	TS	O	Expiration Date　失効日付
21	199	ST	O	Professional Suffix　専門職の接頭辞
22	705	CWE	O	Assigning Jurisdiction　割当管轄
23	705	CWE	O	Assigning Agency or Department　割当権限者または行政組織

注：HL7 Ver.2.3.1 の CN データ型を置き換える。

ID番号と人の名前を示す必要があるところで用いられる。

```
|12372^RIGGINS^JOHN^""^""^""^MD^ADT1|
|12372|
|^RIGGINS^JOHN^""^""^""^MD|
|1234567^Smith^John^J^III^DR^PHD^ADT01^^L^4^M11^MR|
```

第1成分　ID Number　ID番号(ST)

成分9で示される使用者定義表によりコード化されたIDを示す文字列。最初の成分が明示された場合にはID管理表または割当権限者に値を入れる必要がある。

© JAHIS 2012

第2成分　Family Name　姓(FN)

この成分はある個人の姓を完全に示すことを可能とする。必要なときは、このデータ型は個人の名前が、もともとの姓と配偶者の姓を含んでいる場合に、そのそれぞれを区別する。このデータ型はまた、メッセージにおいて、姓の接頭辞（例えば"van"や"de"のような）の部分と語根の部分とを区別することを可能にする。「FN－姓」を参照。

第3成分　Given Name　名(ST)

名を明記するのに用いる。

第4成分　Second and Further Given Names or Initials Thereof　2番目以降の名またはそれらのイニシャル(ST)

複数のミドルネームを空白で区切って入れることができる。

第5成分　Suffix (e.g., JR or III)　接尾語（例、JRまたはIII）(ST)

名前の接尾語を明記するのに用いる。（例：JrまたはIII）

第6成分　Prefix (e.g., DR)　接頭語（例：DR）(ST)

名前の接頭語を明記する。

第7成分　Degree (e.g., MD)　学位（例：MD）(IS)

HL7 Ver.2.5よりHL7旧バージョンとの互換性のためにのみ残されている。専門職接頭語成分を参照。教育における学位（例、MD）を明記するのに用いる。提案されている値については「使用者定義表0360－学位／免許／資格」を参照。

第8成分　Source Table　ID管理表(IS)

この成分に関する使用者定義表の値として「使用者定義表0297－CNID管理表」のHL7識別子が使われている。最初の成分を記述するのに用いる。

第9成分　Assigning Authority　割当権限者(HD)

割当権限者はそのデータを生成したシステム（あるいは組織、政府機関の部署）についての一義的な識別子である。これはHD データ型である。「使用者定義表0363－割当権限者」がHD成分の最初の副成分＜ネームスペースID＞に与える値のHL7識別子として用いられる。

第10成分　Name Type Code　名前型コード(ID)

名前の型を表すコード。有効な値については「HL7表0200－名前型」を参照。

HL7 表 0200 -名前型

Value	Description
A	別名
B	出生時の名前
C	養子名
D	表示名称
I	免許での名前
L	法律的な名前
M	旧姓
N	ニックネーム／希望呼称／通称
P	パートナー／配偶者の名前（HL7 旧バージョンとの互換性のためにのみ）
R	登録名〈動物のみ〉
S	匿名性保証のためのコード化された仮名
T	先住民族／部族／共同体での名前
U	不特定

© JAHIS 2012

第11成分　Check Digit Scheme　識別子チェックデジット(ID)

使用されているチェックデジット形式の指定を含む。有効な値については「HL7表0061－チェックデジット形式」を参照。

第12成分　Identifier Type Code　チェックデジット体系(ID)

識別子の型に対応するコード。場合によっては、このコードが「割当権限者」成分の修飾語として用いられることもある。有効な値については「HL7表0203－ID型」を参照。

第13成分　Identifier Type Code　識別子型コード

識別子の型に対応するコード。場合によっては、このコードが「割当権限者」成分の修飾語として用いられることもある。有効な値については「HL7表0203－ID型」を参照。

第14成分　Assigning Facility　割当施設(HD)

人に最初に識別子が割り当てられた、建物・場所の識別子。この成分は識別子の固有の部分ではないが、識別子の履歴に関する部分である

この成分は、特定の相互通信システムのために存在している。

第15成分　Name Representation Code　名前表記コード(ID)

同じ名前／住所に対する別の名前／住所型および名前／住所表記は、このフィールドを、名前／住所型および／または名前／住所表記を違えて、繰り返すことで表現すべきである。有効な値について「HL7表0465－名前／アドレス表記」を参照。一般的にこの成分はデータ項目で提供される表記の指示を行う。使用されている文字セットを示すことは必要ではない。したがって、表記は何を期待すべきか示すが、それでもなお、送信側は自由に望むどんな文字集合を使っても内容をコード化することができる。この成分は受信者にヒントのみ与えるので、受信側は何が送られてきて何を表示する能力があるかをもとに選択を行うことができる。

HL7 表 0465－名前／アドレス表示

Value	Description
I	表意文字(漢字)
A	シングルバイト英数字
P	表音文字(ASCII、仮名)

第16成分　Name Context　名前の文脈(CWE)

この成分は名前の使われる文脈を示すのに用いられる。主なユースケースはオーストラリアの保険医療においてである。

異なる保険医療施設に入院する場合に、異なる名前を使用することを希望する先住民の患者である。別のユースケースは、米国で、医療従事者が少し異なる名前で免許を受けることができて、管理上の理由で正確な名前を届け出ることがきわめて重要な場合である。提案されている値については「使用者定義表0448－名前の文脈」を参照。

使用者定義表 0448－名前の文脈

Value	Description
	推奨できる値はない

第17成分　Name Validity Range　名前の有効範囲(DR)

HL7 Ver.2.5よりHL7旧バージョンとの互換性のためにのみ保持されている。PPN.20発効日およびPPN.21失効日を参照。この成分は十分に表現することができず、HL7 Ver.2.4の誤りとして認識されている。この成分は、この名前が有効な期間を示す開始と終了の日付／時間を含む。副成分の記述については「DR－日付／時刻範囲」を参照。

第18成分　Name Assembly Order　名前構成順 (ID)

この人名の構成要素の望ましい表示順を表す。有効な値については「HL7表0444－名前構成順」を参照。

© JAHIS 2012

HL7 表 0444－名前構成順

Value	Description
G	接頭辞　名　ミドルネーム　姓　接尾辞
F	接頭辞　姓　ミドルネーム　姓　接尾辞

第19成分　Effective Date　発効日付(TS)

値が設定される場合は、住所が正当で有効となる最初の日。

第20成分　Expiration Date　失効日付(TS)

値が設定される場合は、住所が正当で有効である最後の日。

第21成分　Professional Suffix　専門職の接頭辞(ST)

その人の専門職種（例、免許、資格、学位、専門学会の会員）を証明する資格を表示する略語あるいは略語の文字列を示すのに用いられる。人名が表示されるときに、専門職の接頭辞は、通常、姓の後に表示される。この成分は、非整形の文字列で、表示目的のみで用いられることに注意すること。

第22成分　Assigning Jurisdiction　割当管轄(CWE)

成分1の識別子を割り当てた地理・政治上のエンティティ詳細については、「割当管轄 (CWE)」を参照。

第23成分　Assigning Agency or Department　割当権限者または行政組織(CWE)

成分1の識別子を割り当てた割当権限者または割当組織。詳細については、「割り当て機関あるいは行政組織 (CWE)」を参照。

CSU　チャンネル感度

HL7 成分表－CSU　チャンネル感度

SEQ	LEN	DT	OPT	COMPONENT NAME
1	60	NM	R	Channel Sensitivity　チャンネル感度
2	20	ST	C	Unit of Measure Identifier　測定単位識別子
3	199	ST	C	Unit of Measure Description　測定単位記述
4	20	ID	C	Unit of Measure Coding System　測定単位コード体系
5	20	ST	O	Alternate Unit of Measure Identifier　代替測定単位識別子
6	199	ST	O	Alternate Unit of Measure Description　代替測定単位記述
7	20	ID	O	Alternate Unit of Measure Coding System　代替測定単位コード体系

このデータ型はチャンネルの感度（ゲイン）と、波形検査結果のそのチャンネルの測定単位を示す。

注：HL7 Ver.2.5 より、OBX-5.3 で用いられている CM データ型は、OBX-5 測定値(*)が CD データ型であるときに、このデータ型に置き換えられる。

第1成分　Channel Sensitivity　チャンネル感度(NM)

この成分は、波形データの中の1ユニットに関する表示上の値、すなわちアナログデジタル変換の最小ビットの有効解像度とチャンネルの極性を送信する。

第2成分　Unit of Measure Identifier　測定単位識別子(ST)

チャンネル感度についての単位の指定。このフィールドは、測定単位記述が提示されない場合は必須である。

第3成分　Unit of Measure Description　測定単位記述(ST)

測定単位識別子の省略なしのテキスト表現の名称。このフィールドは、測定単位識別子が提示されない場合は必須である。

© JAHIS 2012

第4成分　Unit of Measure Coding System　測定単位コード体系(ID)

指定された単位系を示す。提案されている値については「HL7表0396–コード体系表」を参照。このフィールドは、測定単位識別子が提示された場合は必須である。

第5成分　Alternate Unit of Measure Identifier　代替測定単位識別子(ST)

チャンネル感度についての代替単位の指定。

第6成分　Alternate Unit of Measure Description　代替測定単位記述(ST)

代替測定単位識別子の省略なしのテキスト表現による名称。

第7成分　Alternate Unit of Measure Coding System　代替測定単位コード体系(ID)

指定された代替単位系を示す。このフィールドは、代替測定単位識別子が提示された場合は必須である。提案されている値については「HL7表0396–コード体系表」を参照。

DLD　退院先と日付

HL7 成分表－DLD　退院先と日付

SEQ	LEN	DT	OPT	COMPONENT NAME
1	20	IS	R	Discharge Location　退院先
2	26	TS	O	Effective Date　発行日付

注：HL7 Ver.2.5 より PV1-37 で用いられている CM データ型を置き換える。

患者の退院先の医療施設と日付を示す。

第1成分　Discharge Location　退院先(IS)

患者の退院先である医療施設を示す。提案されている値については「使用者定義表0113 -退院先」を参照。

使用者定義表 0113－退院先

Value	Description
	推奨できる値はない

第2成分　Effective Date　発効日付(TS)

患者が別の医療施設へ退院した日を示す。

DLT　デルタ

HL7 成分表 – DLT – Delta デルタ

SEQ	LEN	DT	OPT	COMPONENT NAME
1	33	NR	O	Normal Range 正常範囲
2	4	NM	O	Numeric Threshold 閾値
3	1	ID	O	Change Computation 変化量の計算
4	4	NM	O	Days Retained 保持日数

定義：デルタチェック警告を制御する情報、長さ：45

第1成分 Normal Range 正常範囲 (NR)

定義：参照データの正常範囲を示す。

第2成分 Numeric Threshold 閾値 (NM)

定義：変化が検出される閾値。

例えば、閾値は10に設定。

第3成分 Change Computation 変化量の計算 (ID)

定義：変化量の計算が、パーセント変化あるいは絶対値変化のいずれで行われるかを示す。

© JAHIS 2012

採り得る値はHL7表0523 – Computation type 計算型を参照。

HL7 表 0523 – Computation type 計算型

Value	Description
%	Indicates a percent change パーセント変化量で表記
a	Absolute Change 絶対値変化量

第4成分 Days Retained　保持日数 (NM)

定義：デルタチェックの計算のために、値を保持する時間の長さを日数で表す。

EIP　エンティティ識別子ペア

HL7 成分表－EIP　エンティティ識別子ペア

SEQ	LEN	DT	OPT	COMPONENT NAME
1	427	EI	O	Placer Assigned Identifier　依頼者割当識別子
2	427	EI	O	Filler Assigned Identifier　実施者割当識別子

注：HL7 Ver.2.5 より、ORC-8、OBR-29、OBR-29 で用いられている CM データ型を置き換える。

ひとつのエンティティに対して、依頼側のシステムあるいは実施側のシステムで割り当てられた識別子を示す。両方の成分に値が入っているときは、それらは同じエンティティを参照しなければならない。

第1成分　Placer Assigned Identifier　依頼者割当識別子(EI)

依頼側のシステムであるエンティティに割り当てられた識別子を示す。例えば、この成分は以下を伝えるために使われる。

a）依頼側の元オーダのオーダ番号

b）依頼者が割り当てた検体識別子

c）依頼者が割り当てた（あるいは使っている）場所識別子

第2成分　Filler Assigned Identifier　実施者割当識別子(EI)

実施側にシステムであるエンティティに割り当てられた識別子を示す。例えば、この成分は以下を伝えるために使われる。

a）実施側での元オーダのオーダ番号

b）実施者が割り当てた検体番号

c）実施者が割り当てた（あるいは使っている）場所識別子

ELD　エラー場所および説明

HL7 成分表－ELD　エラー箇所および記述

SEQ	LEN	DT	OPT	COMPONENT NAME
1	3	ST	O	Segment ID　セグメント ID
2	2	NM	O	Segment Sequence　セグメント連番
3	2	NM	O	Field Position　フィールド位置
4	483	CWE	O	Code Identifying Error　エラーを特定するコード

注：HL7 Ver.2.5 より ERR-1 に用いられている CM データ型を置き換える。HL7 Ver.2.5 では HL7 旧バージョンとの互換性のためにのみ保持される。ERR セグメント参照。

エラーを含むセグメントを示すと共にエラーの性質を記述する。

第1成分　Segment ID　セグメントID(ST)

エラーを含んでいるグメント。

© JAHIS 2012

第2成分　Segment Sequence　セグメント連番(NM)

成分1で示されたセグメントが、そのメッセージ中に複数現れる場合に、そのうちの何番目かを示す。

第3成分　Field Position　フィールド位置 (NM)

セグメント中のデータフィールドの前から数えた位置。HL7符号化規則を用いないシステムの場合、データ項目番号を3番目の成分に使用することがある。

第4成分　Code Identifying Error　エラーを特定するコード(CWE)

エラーの性質を記述するコード。有効な値については 「HL7表0357－メッセージエラー条件表」を参照。

HL7 表 0357 – メッセージエラー条件表

Value	Description	Comment
0	メッセージ受諾	成功。オプションでは、AA が成功を伝えるだけ。常時状態コードを返す必要があるシステムのために利用される
100	セグメントシーケンスエラー	エラー:メッセージセグメントが適当な順番でないか、要求されたセグメントが失われている
101	要求されたフィールドの消失	エラー:要求されたセグメントが消失している
102	データ型エラー	エラー:フィールドが不正なエラーを含んでいる。例えば NM フィールドが"FOO"を含んでいる
103	表の値が見つからない	エラー: データ型 ID か IS のフィールドが対応する表と比較され、合致するものが無い
200	提供されていないメッセージ型	却下:そのメッセージ型は提供されていない
201	提供されていないイベントコード	却下:そのイベントコードは提供されていない
202	提供されていない処理 ID	却下:その処理 ID は提供されていない
203	提供されていないバージョン ID	却下:そのバージョン ID は提供されていない
204	不明なキー識別子	却下: 患者、オーダ等の ID が見つからない。付加以外ではトランザクションに用いられる。例えば存在しない患者の転送
205	キー識別子の重複	却下:患者やオーダ等の ID が既に存在している。付加トランザクションの応答で用いられる（許可、新オーダ等）
206	アプリケーションレコードがロックされている	トランザクションが、アプリケーション格納レベルで実行することができなかった（例えばデータベースのロック）
207	アプリケーション内部エラー	却下: 他のコードで明示的に対象としていない、包括的な内部エラー用

GTS　汎用タイミング指定

HL7 成分表－GTS　汎用タイミング指定

SEQ	LEN	DT	OPT	COMPONENT NAME
	199			General Timing Specification　汎用タイミング指定

汎用タイミング指定データ型は複雑な相互に関連するタイミングの情報を伝達するために用いられる。このようなフィールドの値はSTフィールドの整形規則に従う。その文字列データは「HL7 Ver.3データ型 第II部 完全な仕様」で、汎用タイミング指定(GTS)データ型に対して設定されるであろう規則に従うことになる。

© JAHIS 2012

MOC　金額およびチャージコード

HL7 成分表－MOC　金額および請求コード

SEQ	LEN	DT	OPT	COMPONENT NAME
1	20	MO	O	Monetary Amount　金額
2	483	CWE	O	Charge Code　請求コード

注：HL7 Ver.2.5 より、OBR-23、および OBR-23 に用いられる CM データ型を置き換える。

金額に関する情報と、行われたサービスに付随する請求コードを送信する。

第1成分　Monetary Amount　金額(MO)

請求コードと結び付けられた金額と通貨。

第2成分　Charge Code　請求コード(CWE)

行われたサービスの依頼したエンティティに対する請求を特定するコード。

MSG　メッセージ型

HL7 成分表－MSG　メッセージ型

SEQ	LEN	DT	OPT	COMPONENT NAME
1	3	ID	R	Message Code　メッセージコード
2	3	ID	R	Trigger Event　トリガイベント
3	7	ID	R	Message Structure　メッセージ構造

注：HL7 Ver.2.5 より、MSH-9 に用いられる CM データ型を置き換える。

このフィールドは､メッセージのメッセージ型､トリガイベントおよびメッセージ構造IDを含む。

第1成分　Message Code　メッセージコード(ID)

メッセージ型コードを示す。提案される値については、「HL7表0076－メッセージ型」を参照。

第2成分　Trigger Event　トリガイベント (ID)

トリガイベントコードを指定。提案される値については、「HL7表0003－イベント型」を参照。

第3成分　Message Structure　メッセージ構造(ID)

抽象的なメッセージ構造のコードを示す。提案される値については、「HL7表0354－メッセージ構造」を参照。

NDL　日付と場所を伴う名前

HL7 成分表－NDL　日付と場所を伴う名前

SEQ	LEN	DT	OPT	COMPONENT NAME
1	406	CNN	O	Name　名前
2	26	TS	O	Start Date/time　開始日付／時間
3	26	TS	O	End Date/time　終了日付／時間
4	20	IS	O	Point of Care　ケアの場所
5	20	IS	O	Room　病室
6	20	IS	O	Bed　病床
7	227	HD	O	Facility　施設
8	20	IS	O	Location Status　場所の状態
9	20	IS	O	Patient Location Type　患者場所型
10	20	IS	O	Building　建物
11	20	IS	O	Floor　階

© JAHIS 2012

注：HL7 Ver.2.5 より、OBR-32、OBR-33、OBR-34、OBR-35 の CM データ型を置き換える。

サービスを行う人の名前およびサービスを行う時と場所を示す。

第1成分　Name　名前(CNN)

この成分はサービスを行う人の名前を示す。

第2成分　Start Date/time　開始日付／時間(TS)

この成分はこの人がサービスを行うのを開始する日付／時間を示す。

第3成分　End Date/time　終了日付／時間(TS)

この成分はこの人がサービスを行うのを終了する日付／時間を示す。

第4成分　Point of Care ケアの場所(IS)

この成分は患者のケアを行う場所のコードを示す。これには患者の所在場所型（例えば、病棟あるいは診療科あるいは診療所）による条件がつく。提案されている値については、「使用者定義表0302－ケアの場所」を参照。

第5成分　Room　病室(IS)

この成分は患者の病室のコードを示す。ケアの場所の次に、人の場所の指定として最も一般的である。提案されている値については「使用者定義表0303－病室」を参照。

第6成分　Bed　病床(IS)

この成分は患者の病床のコードを示す。病室の次に最も一般的な人の場所の指定である。 提案されている値については、「使用者定義表0304－病床」を参照。

第7成分　Facility　施設(HD)

この成分は施設での解釈によるが、一般的には医療機関、病院あるいは医療法人の一番高いレベルでの物理的な場所の指定である。最も一般的な人の場所の指定である。

第8成分　Location Status　場所の状態(IS)

この成分は場所の状態や空き状況のコードを示す。例えば、この成分は病床の状況を表すことがある。提案されている値については、「使用者定義表0306－場所の状態」を参照。

第9成分　Patient Location Type　患者場所型(IS)

患者場所型は、施設、建物、階、ケアの場所、病室あるいは病床によって示される人の場所の範疇である。必須のフィールドではないが、使用される場合は唯一値を持つフィールドとなる場合がある。この成分は通常、病棟、診療科、診療所、SNF（熟練看護施設）や診察室といった値を含む。提案されている値については、「使用者定義表0305－患者場所型」を参照。

第10成分　Building　建物(IS)

この成分は、その人が場所する建物のコードを示す。施設の次に最も一般的な人の場所の指定である。提案されている値については、「使用者定義表0307－建物」を参照。

第11成分　Floor　階(IS)

この成分は、その人が場所する下位を示す。建物の次に最も一般的な人の場所の指定である。提案されている値については、「使用者定義表0308－階」を参照。

NR　数値範囲

HL7 成分表－NR　数値範囲

SEQ	LEN	DT	OPT	COMPONENT NAME
1	16	NM	O	Low Value　下限
2	16	NM	O	High Value　上限

注：HL7 Ver.2.5 より、OM2-6.1、OM2-6.3、OM2-6.4 の CM データ型を置き換える。

一連のデータにおける下限値と上限値の範囲を示す。数値範囲の一方が閉じていないときは、閉じていないほうの成分はnullとなる。範囲に端点が含まれるかどうかについては、このフィールド

© JAHIS 2012

についての使用上の注意に定義される。

第1成分　Low Value　下限(NM)

範囲の下限を示す数値。

第2成分　High Value　上限(NM)

範囲の上限値を示す数値。

OSD　オーダ連鎖定義

HL7 成分表－OSD　オーダ連鎖定義

SEQ	LEN	DT	OPT	COMPONENT NAME
1	1	ID	R	Sequence/Results Flag　連鎖／結果フラグ
2	15	ST	R	Placer Order Number: Entity Identifier 依頼者オーダ番号：エンティティ識別子
3	6	IS	O	Placer Order Number: Namespace ID　依頼者オーダ番号：ネームスペース ID
4	15	ST	R	Filler Order Number: Entity Identifier 実施者オーダ番号：エンティティ識別子
5	6	IS	O	Filler Order Number: Namespace ID　実施者オーダ番号：ネームスペース ID
6	12	ST	O	Sequence Condition Value　連鎖条件値
7	3	NM	O	Maximum Number of Repeats　最大反復数
8	15	ST	R	Placer Order Number: Universal ID　依頼者オーダ番号：汎用 ID
9	6	ID	O	Placer Order Number: Universal ID Type　依頼者オーダ番号：汎用 ID 型
10	15	ST	R	Filler Order Number: Universal ID　実施者オーダ番号：汎用 ID
11	6	ID	O	Filler Order Number: Universal ID Type　実施者オーダ番号：汎用 ID 型

注：HL7 Ver.2.5 より、TQ データ型に用いられている CM データ型を置き換える。

このデータ型は、あるオーダと別のひとつまたは複数のオーダとの関係を構成する完全にコード化されたバージョンである。その関係は連鎖あるいは循環パターンである。OSDの仕様はTQデータ型（特にORC-7?に適用された場合）に限定される。HL7 Ver.2.5よりHL7旧バージョンとの目的のみで保持される。連鎖の段数や循環のパターンを送信する必要なときには、このデータ型より、TQ1およびTQ2セグメントを考慮することが推奨される。

第1成分　Sequence/Results Flag　連鎖／結果フラグ(ID)

連鎖条件あるいは繰り返すオーダの組が指定されているかを示す。有効な値については「HL7表0524－連鎖条件」を参照

HL7 表 0524 －連鎖条件

Value	Description
S	連鎖条件
C	繰り返すオーダの組
R	将来使用する可能性のため予約

第2成分　Placer Order Number: Entity Identifier　依頼者オーダ番号：エンティティ識別子(ST)

依頼者オーダ番号の最初の成分、エンティティ識別子を含む。

第3成分　Placer Order Number: Namespace ID　依頼者オーダ番号：ネームスペースID(IS)

依頼者オーダ番号の2番目の成分、ネームスペースIDを含む。提案されている値については「使用者定義表0363－割当権限者」を参照。

第4成分　Filler Order Number: Entity Identifier　実施者オーダ番号：エンティティ識別子(ST)

実施者オーダ番号の最初の成分、エンティティ識別子を含む。

© JAHIS 2012

第5成分　Filler Order Number: Namespace ID　実施者オーダ番号：ネームスペースID(IS)

実施者オーダ番号の2番目の成分、ネームスペースIDを含む。提案されている値については「使用者定義表0363－割当権限者」を参照。

第6成分　Sequence Condition Value　連鎖条件値(ST)

関連する先のオーダあるいは後のオーダの開始／終了とORC-2、3および4で示される現在のオーダとの関係を示す。

認められる条件の値は、以下の形式のプロジェクト計画方法論で広く使われている形をとる：

<"SS"、"EE"、"SE"あるいは"ES"のいずれか>+/-<時間>

最初の文字は、先のオーダの開始(S)または終了(E)を表し、先のオーダは副成分1、2または3、4の依頼者または実施者オーダ番号で示される。

2番目の文字は、後のオーダの開始(S)または終了(E)を表し、後のオーダはこの量／タイミングの指定を含むオーダである。

<時間>は先のオーダの開始または終了から後のオーダの時間間隔を示す（以下の例を参照）。

＜時間＞の定義

Value	Description
S＜整数＞	＜数値＞秒の間行う
M＜整数＞	＜数値＞分の間行う
H＜整数＞	＜数値＞の間行う
D＜整数＞	＜数値＞日の間行う
W＜整数＞	＜数値＞週の間行う
L＜整数＞	＜数値＞月の間行う

第7成分　Maximum Number of Repeats　最大反復数(NM)

繰り返しの組にのみ用いる繰り返しの最大数。繰り返しの総数は、最後の繰り返しが終わる日付／時間、あるいは、親の終了日付／時間のうちいずれか早いほうで制約される。

第8成分　Placer Order Number: Universal ID　依頼者オーダ番号：汎用ID(ST)

依頼者オーダ番号の最後から2つ目の成分、汎用IDを含む。

第9成分　Placer Order Number: Universal ID Type　依頼者オーダ番号：汎用ID型(ID)

依頼者オーダ番号の最後の成分、汎用ID型を含む。有効な値については、「HL7表0301－汎用ID型」を参照。

第10成分　Filler Order Number: Universal ID　実施者オーダ番号：汎用ID(ST)

実施者オーダ番号の最後から2つ目の成分、汎用IDを含む。

第11成分　Filler Order Number: Universal ID Type　実施者オーダ番号：汎用ID型(ID)

実施者オーダ番号の最後の成分、汎用ID型を含む。有効な値については、「HL7表0301－汎用ID型」を参照。

PRL　親結果リンク

HL7 成分表－PRL　親結果リンク

SEQ	LEN	DT	OPT	COMPONENT NAME
1	483	CWE	R	Parent Observation Identifier 親検査識別子 親結果の OBX-3 で定義される。
2	20	ST	O	Parent Observation Sub-identifier　親検査副識別子 親結果の OBX-4 で定義される。

© JAHIS 2012

SEQ	LEN	DT	OPT	COMPONENT NAME
3	250	TX	O	Parent Observation Value Descriptor　親検査の値の記述 親結果の OBX-5 で定義される。

注：HL7 Ver.2.5 より、OBR-26、OBR-26 に用いられる CM データ型を置き換える。

現在のオーダの親結果に関連づけられているOBXセグメントを、OBR-29-親の中の情報と共に、一意的に示す。

使用上の注意：このデータ型は、OBR-26－親結果のみに、他の型のリンク（例、毒物学）についても情報を利用できるようにするときに適応される。この重要な情報は OBR-29-親の情報とともに、このオーダの親結果に関連づけられている OBX セグメントを一意的に示す。この親結果の OBX セグメントの値は、このセット検査が対象とする微生物あるいは化学分類である。例えば、現在のセット検査が抗菌物質感受性検査であった場合、親検査として特定された OBX は感受性検査が行われた微生物を特定する結果を保持している。この間接リンクの方法がより望ましいのは、親結果の微生物の名前は、最終確定に先立っていくつかの予備値を経ることがあるからである。

使用上の注意：このフィールドは親の結果フィールドの全てを持ってくるのではないことを強調しておく。このフィールドは微生物や化学副分類を特定するテキストの名前だけを意図している。このフィールドは、曖昧性のない検査 ID や副 ID を生成できないシステムに親結果に逆リンクをたどる手段を提供するためだけに加えられたものである。このフィールドは OBR-29-親によって親結果が特定され、その親が多数の結果のそれぞれに対し子オーダを発生される場合のみ提示される。

第1成分　Parent Observation Identifier　親検査識別子(CWE)

親結果のOBX-3で示される親検査の一意的な識別子を含む。この値はその親のOBX-3と同じである。

第2成分　Parent Observation Sub-identifier　親検査副識別子(ST)

親結果のOBX-3で示される親検査の副識別子を含む。この値はその親のOBX-4と同じである。

第3成分　Parent Observation Value Descriptor　親検査の値の記述(TX)

親結果のOBX-5で示される親検査の値の記述を含む。例えば、この3番目の成分は親結果で示された微生物の名前を直接記録するのに用いられる。

RFR　基準範囲

HL7 成分表－RFR　基準範囲

SEQ	LEN	DT	OPT	COMPONENT NAME
1	33	NR	R	Numeric Range　数値範囲
2	8	IS	O	Administrative Sex　管理上の性別
3	33	NR	O	Age Range　年齢範囲
4	33	NR	O	Gestational Age Range　妊娠週数範囲
5	20	ST	O	Species　種
6	20	ST	O	Race/subspecies　人種／亜種
7	199	TX	O	Conditions　条件

注：HL7 Ver.2.5 より、OM2-6、OM2-7、OM2-8 で用いられ、CM データ型を置き換える。

基準範囲とその前提となる詳細を示す。

第1成分　Numeric Range　数値範囲(NR)

この成分は基準データの数値の範囲を示す。範囲は閉区間（両端を含む範囲）と解釈される。単位は文脈依存であり、このデータ型が用いられるフィールドの使用上の注意にて定義される。

第2成分　Administrative Sex　管理上の性別(IS)

この成分はどの性別にたいしてどの基準範囲が有効かを示す。提案されている値については、「使用者定義表0001－性別」を参照。

© JAHIS 2012

使用者定義表 0001 – 性別

Value	Description
F	Female　女性
M	Male　男性
O	Other　その他
U	Unknown　未知
A	Ambiguous　両性具有
N	Not applicable　適応外

第3成分　Age Range　年齢範囲(NR)

この成分は基準範囲が有効な年齢の範囲を示す。1年より小さい年齢は小数で表すべきである（すなわち　1月 = 0.0830、 1 週 = 0.01920、 1 日 = 0.0027300）。しかしながら、幼児を含めた多くの用途で妊娠週数（週で計算する）が好まれている。範囲の下限が示されず、上限が示されている場合は、範囲の間での重複はないものと見なされる。

第4成分　Gestational Age Range　妊娠週数範囲(NR)

この成分は基準範囲が有効な妊娠週数の範囲を示す。妊娠週数は基準範囲が妊娠の期によって影響される場合のみ適切である。妊娠週数は受胎からの週数で計算する。例えば|1&4|は正常値が1週から4週の両端を含む範囲に適用されることを示す。範囲の下限が示されず、上限が示されている場合は、範囲の間での重複はないものと見なされる。

第5成分　Species　種(ST)

この成分は基準範囲が有効な種を示す。種は他に明記されない場合は人間と見なされる。例としては、ウサギ、ネズミおよびラットがあげられる。

第6成分　Race/subspecies　人種／亜種(ST)

この成分は基準範囲が有効な人種または亜種を示す。人間（デフォルトの種）の場合、人種が基準値に影響する場合に人種が示される。動物の正常値範囲が記述されたときは、この成分は動物の亜種または血統を示すのに用いることができる。

第7成分　Conditions　条件(TX)

この成分は基準値が有効となるあらゆる任意の条件を示す。これは月経周期の期や、特定の薬剤を服用時のような条件を含む。この成分は特別な条件での正常値範囲を伝達するために提供されている。このテキストでの条件は自動チェックの対象にすることはできない。

RPT　繰り返しパターン

HL7 成分表－RPT－繰り返しパターン

SEQ	LEN	DT	OPT	COMPONENT NAME
1	705	CWE	R	繰り返しパターンコード
2	2	ID	O	カレンダー上の位置
3	10	NM	O	フェーズ範囲開始値
4	10	NM	O	フェーズ範囲終了値
5	10	NM	O	期間数値
6	10	IS	C	期間単位
7	1	ID	O	施設設定の時刻
8	6	ID	O	イベント
9	10	NM	O	イベントオフセット数値
10	10	IS	C	イベントオフセット単位
11	199	GTS	O	汎用タイミング指定

© JAHIS 2012

定義：繰り返しパターンデータ型はイベントが発生する頻度を定義する必要がある場所で用いられるものである。このデータ型は繰り返しパターンを「稼動中」に定義する方法を提供する。繰り返しパターンはTQデータ型の成分2、副成分1（繰り返しパターン）と等価である。追加の成分が繰り返しパターンコードの意味を定義する。成分2-10は比較的単純な繰り返しパターンを定義するために用いられる。成分11は複雑な繰り返しパターンを定義するために提供されている。このデータ型の形式は量／タイミングからのHL7 Ver.2.xの繰り返しパターンとHL7 Ver.3.0のGTS汎用タイミング指定との橋渡しを形成する。成分1はVer.2.xの繰り返し概念である。成分2-7はVer.3.0のPIVLデータ型を取り入れたものである。成分8-10はVer.3.0のEIVLデータ型を取り入れたものである。繰り返しパターンが成分2-10を用いて定義できない場合には、成分11の汎用タイミング指定が提供されている。これによりVer.3.0のGTSデータ型を完全な形で正確に表現できる。

RPTデータ型を用いるとき、成分1をアプリケーションが認識できなかった場合、そのアプリケーションは残りの成分を用いて適切な頻度を決定することを試みる。アプリケーションが成分1のコードを認識できた場合は、そのアプリケーションは残りの成分から頻度を決定する必要はない。

ユースケース：この提案を支持するユースケースは、オーダの発効するとき、稼動中に繰り返しパターンを定義する必要性である。TQデータ型は稼動中に繰り返しパターンの意味を定義する能力を持たない。この問題を回避するために、ベンダーはこの問題点を解決する様々な解決法を実装してきた。ひとつの方法はTQデータ型に繰り返しパターンの情報を送信するZ成分を追加することであった。もうひとつの解決法は、繰り返しパターンコードを構文解析し、コードの意味するところを解読しようとする試みであった。

```
|Q1H&Every 1 Hour&HL7xxx^^^^1^h|
|Q2J2&Every second Tuesday&HL7xxx^DW^2^^2^wk|
|BID&Twice a day at institution specified times&HL7xxx^^^^12^h^Y|
|QAM&Every morning at the institution specified time&HL7xxx^HD^00^11^1^d^Y|
|QHS&Every day before the hours of sleep&HL7xxx^^^^1^d^^AHS|
|ACM&Before Breakfast&HL7xxx^^^^^^^ACM|
```

第1成分　繰り返しパターンコード (CWE)

定義：このデータ型の他の成分で定義される繰り返しパターンを表すコード。提案されている値については使用者定義表 335 – 繰り返しパターンを参照。

第2成分　カレンダー上の位置 (ID)

定義：カレンダーに対する繰り返しの位置を指定する（例えば、30日ごとと、毎月の5日を区別する）。有効な値についてはHL7表0527 –カレンダー上の位置を参照。

HL7 表 0527－カレンダー上の位置

Value	Description	Units of Time
MY	年の月	mo
WY	年の週	wk
DM	月の日	d
DY	年の日	d
DW	曜日（月曜からはじまる）	d
HD	日の時	h
NH	時の分	min
SN	分の秒	s

注：HL7 表 0527 の単位は測定単位の統一コード(UCUM) [http://aurora.rg.iupui.edu/UCUM]から取った。

第3成分　フェーズ範囲開始値 (NM)

定義： カレンダー上の位置で決まる繰り返しパターンについて特定のRPT-2（カレンダー上の位置）からフェーズの開始までの時間の数値を決めるのに用いる。

フェーズ範囲開始値が設定されるが、フェーズ範囲終了値が設定されない場合は、この成分は期間（RPT-5、6）がいつ始まるかを示す。

フェーズ範囲開始値とフェーズ範囲終了値の両方が設定された場合、この成分は期間（RPT-5、6）

が始まる最も早い時点を示す。

この成分の測定単位はRPT-2のカレンダー上の位置から得られる。特定のカレンダー上の位置に関連付けられている時間を計る単位については「HL7表0572－カレンダー上の位置」を参照。

第4成分　フェーズ範囲終了値 (NM)

定義：カレンダー上の位置で決まる繰り返しパターンについて特定のRPT-2（カレンダー上の位置）からフェーズの終了までの時間の数値を決めるのに用いる。

フェーズ範囲終了値が設定されるが、フェーズ範囲開始値が設定されない場合は、この成分は期間（RPT-5、6）がいつ始まるかを示す。

フェーズ範囲開始値とフェーズ範囲終了値の両方が設定された場合、この成分は期間（RPT-5、6）が始まる最も遅い時点を示す。

この成分の測定単位はRPT-2のカレンダー上の位置から得られる。特定のカレンダー上の位置に関連付けられている時間を計る単位についてはHL7表0572－カレンダー上の位置を参照。

第5成分　期間数値 (NM)

定義：周期的な間隔の繰り返しの頻度を指定する時間の長さ。RPT-6（期間単位）がこの成分の時間の単位を示す。

第6成分　期間単位 (IS)

定義：RPT-5（期間数値）に用いる単位を示す。時間の単位に限定される。測定単位は統一コード (UCUM) [http://aurora.rg.iupui.edu/UCUM]で定義されている。

条件規則：この成分はRPT-5（期間数値）が設定された場合必須である。

第7成分　施設設定の時刻 (ID)

定義：正確なタイミングが、スケジュールを実行するスタッフによるか（例えば、「8時間ごと」と「一日3回」を区別するか）どうかを示すコード。Y/N識別子を使用。

Y – 正確なタイミングはスケジュールを実行するスタッフによる。

N – 正確なタイミングは指定された通り。

第8成分　イベント (ID)

定義：日常生活の通常の（定期的な）活動に対するコード。有効な値についてはHL7表0528－イベントに関係した期間を参照。

HL7 表 0528－イベントに関係した期間

Value	Description
HS	就寝時（例 H18-22）
AC	食前（ラテン語 ante cibus から）
PC	食後（ラテン語 post cibus から）
IC	食間（ラテン語 inter cibus から）
ACM	朝食前（ラテン語 ante cibus matutinus から）
ACD	昼食前（ラテン語 ante cibus diurnus から）
ACV	夕食前（ラテン語 ante cibus vespertinus から）
PCM	朝食後（ラテン語 post cibus matutinus から）
PCD	昼食後（ラテン語 post cibus diurnus から）
PCV	夕食後（ラテン語 post cibus diurnus から）
ICM	朝食と昼食の間
ICD	昼食と夕食の間
ICV	夕食と就寝の間

第9成分　イベントオフセット数値 (NM)

定義：イベントに関係した定期的な間隔の開始、幅および終了について、関係するイベントの各々

© JAHIS 2012

が実際に起こる時間からのオフセットを示す間隔。正の数値はRPT-8のイベントより後の時間の数値を示す。負の数値はRPT-8のイベントより前の時間の数値を示す。

使用上の注意：この成分はRPT-8（イベント）が値を持たない限り設定すべきでない。

第10成分　イベントオフセット単位 (IS)

定義：RPT-9（イベントオフセット数値）に用いられる単位を示す。時間の単位に制限される。測定単位は統一コード (UCUM) [http://aurora.rg.iupui.edu/UCUM]で定義されている。

条件規則：この成分はRPT-9（イベントオフセット数値）が設定されている場合は必須となる。

第11成分　汎用タイミング指定 (GTS)

定義：HL7 Ver.3.0データ型文書で定義されている汎用タイミング指定。

SPS　検査材料

HL7 成分表－SPS　検査材料

SEQ	LEN	DT	OPT	COMPONENT NAME
1	705	CWE	O	Specimen Source Name or Code 検査材料名またはコード
2	705	CWE	O	Additives　添加物
3	200	TX	O	Specimen Collection Method　検体採取方法
4	705	CWE	O	Body Site　部位
5	705	CWE	O	Site Modifier　部位修飾子
6	705	CWE	O	Collection Method Modifier Code 採取方法修飾子コード
7	705	CWE	O	Specimen Role　検体の役割

注：HL7 Ver.2.5 より、OBR-15、OBR-15、SAC-6、TCC-3 を置き換える。このデータ型は HL7 Ver.2.5 に限り HL7 旧バージョンとの互換性のためにのみ保持されている。

このデータ型は試料が得られるべきあるいはサービスが実施されるべき部位を示す。

第1成分　Specimen Source Name or Code　検査材料名またはコード(CWE)

検査材料名またはコード（CWEデータ型成分として）を含む。（検査の名前自体が検査材料名を含む場合でも、検査材料名は必須である。例、血液培養－心臓血）国家的に認知されたコード体系がこのフィールドに用いる。

第2成分　Additives　添加物(CWE)

検体の採取前または採取時に使用される添加物を示す。有効な値については「HL7表0371－添加物」を参照。この表の値はNCCL（米国臨床検査標準化委員会）AUTO4から取られている。値の集合はユーザ特有の値で拡張可能である。

第3成分　Specimen Collection Method　検体採取方法(TX)

この情報がオーダの一部である場合に、検体採取の方法を記述する。検体採取の方法が論理的に検査の結果である場合には、その情報は結果のセグメント（すなわちOBXセグメント）として含まれるべきである。

第4成分　Body Site　部位(CWE)

この成分は検体を採取する体の部位を示す。国家的に認知されたコード体系をこのフィールドに用いる。

第5成分　Site Modifier　部位修飾子(CWE)

部位を修飾する。例えば、部位が肘正中静脈で、部位修飾子が「右」のような場合がありうる。

第6成分　Collection Method Modifier Code　採取方法修飾子コード(CWE)

検体採取方法の一部として検体が冷凍されるかどうかを示す。提案されている値はF（冷凍）、R（冷蔵）である。成分が空白の場合、検体は室温と見なされる。

© JAHIS 2012

第7成分　Specimen Role　検体の役割(CWE)

検体の役割を示す。提案されている値については「使用者定義表0369–検体役割」を参照。これらの値は通常、システムにて識別可能で、検体に関するデータ管理の処理に影響を与えることができる。

使用者定義表 0369 –検体役割

Value	Description
B	Blind Sample　精度管理用ブラインド検体
C	Calibrator　キャリブレータ, used for initial setting of calibration
E	Electronic QC　予測 QC 値, used with manufactured reference providing signals that simulate QC results
F	Specimen used for testing proficiency of the organization performing the testing (Filler)　検査室検体
G	Group (where a specimen consists of multiple individual elements that are not individually identified)　個別 ID なし
L	Pool (aliquots of individual specimens combined to form a single specimen representing all of the components.)　プール検体
O	Specimen used for testing Operator Proficiency　検査者検体
P	Patient　親検体
Q	Control specimen　精度管理検体
R	Replicate　複製
V	Verifying Calibrator　キャリブレーション検証, used for periodic calibration checks

VR　値の範囲

HL7 成分表－VR　値範囲

SEQ	LEN	DT	OPT	COMPONENT NAME
1	6	ST	O	First Data Code Value　最初のデータコード値
2	6	ST	O	Last Data Code Value　最後のデータコード値

注：HL7 Ver.2.5 より QRD-11 に用いられる CM データ型を置き換える。

このデータ型はある範囲を成す下限値と上限値を含む。どちらかまたは両方の成分が設定される。

第1成分　First Data Code Value　最初のデータコード値(ST)

下限値を示す。

第2成分　Last Data Code Value　最後のデータコード値(ST)

上限値を示す。

WVI　チャネル識別子

HL7 成分表－WVI　チャンネル識別子

SEQ	LEN	DT	OPT	COMPONENT NAME
1	4	NM	R	Channel Number　チャンネル番号
2	17	ST	O	Channel Name　チャンネル名

注：HL7 Ver.2.5 より、BX-5.1 で OBX-5 観測値(*)がデータ型 CD であるときの CM データ型を置き換える。

このデータ型は波形データが送信される記録チャンネルの番号と名前を示す。

第1成分　Channel Number　チャンネル番号(NM)

記録チャンネルの番号を示す。

© JAHIS 2012

第2成分　Channel Name　チャンネル名(ST)

記録チャンネルの名称を示す。

WVS　波形ソース

HL7 成分表－WVS　波形ソース

SEQ	LEN	DT	OPT	COMPONENT NAME
1	8	ST	R	Source One Name　信号源 1 名称
2	8	ST	O	Source Two Name　信号源 2 名称

注：HL7 Ver.2.5 より、OBX-5.2 で OBX-5 観測値(*)がデータ型 CD であるときの CM データ型を置き換える。

このデータ型はチャンネルに接続されている波形の信号源を示す。

第1成分　Source One Name　信号源1名称(ST)

波形信号源の1番目の入力を特定する。

第2成分　Source Two Name　信号源2名称(ST)

差分入力が用いられている場合に、波形情報源の2番目の入力を特定する。

FN　姓

HL7 成分表－FN　姓

SEQ	LEN	DT	OPT	COMPONENT NAME
1	50	ST	R	Surname　姓
2	20	ST	O	Own Surname Prefix　自身の姓の接頭辞
3	50	ST	O	Own Surname　自身の姓
4	20	ST	O	Surname Prefix From Partner/Spouse　配偶者からの姓の接頭辞
5	50	ST	O	Surname From Partner/Spouse　配偶者からの姓

このデータ型はある個人の姓を完全に示すことを可能とする。必要なときは、このデータ型は個人の名前が、もともとの姓と配偶者の姓を含んでいる場合に、そのそれぞれを区別する。このデータ型はまた、メッセージにおいて、姓の接頭辞（例えば"van"や"de"のような）の部分と語根の部分とを区別することを可能にする。

第1成分　Surname　姓(ST)

その人の姓のそれ以上に分割できない部分。ほとんどの西洋での使用では、これはその人のラストネームである。

第2成分　Own Surname Prefix　自身の姓の接頭辞(ST)

ゲルマン言語を国際的に扱う方法。この成分は省略可能である。姓の接頭辞の例は"Ludwig van Beethoven"の"van"の部分である。<姓の接頭辞>は完全にはアルファベット順にソートされないため、これをPNおよび拡張PN（XPNまたはXCN）データ型の分離可能な副成分とするのは合理的である。

第3成分　Own Surname　自身の姓(ST)

姓（ほとんどの西洋での使用ではラストネーム）の自身の姓から得られた部分で、その人の姓の配偶者から得られた部分からは別の部分。この成分は省略可能である。その人の姓が法的に変わり、その人の配偶者の姓になった（またはそれを取り込んだ）場合は、この成分はその人のその変化の直前の姓である。しばしばこれはその人の「旧姓」である。

第4成分　Surname Prefix From Partner/Spouse　配偶者からの姓の接頭辞(ST)

ゲルマン言語を国際的に扱う方法。この成分は省略可能である。姓の接頭辞の例は"Ludwig van Beethoven"の"van"の部分である。<姓の接頭辞>は完全にはアルファベット順にソートされないため、これをPNおよび拡張PN（XPNまたはXCN）データ型の分離可能な副成分とするのは合理的である。

© JAHIS 2012

第5成分　Surname From Partner/Spouse　配偶者からの姓(ST)

姓（西洋での使用ではほとんどがラストネーム）の配偶者から得られた部分で、その人の姓の自身の姓から得られた部分からは別の部分。この成分は省略可能である。もし、その人の姓のどの部分も配偶者の姓から得られていない場合は、この成分に値を入れてはいけない。反対に、その人の姓が法的に変わり、その人の配偶者の姓になった（またはそれを取り込んだ）場合は、この成分はその人の配偶者のその変化の直前の姓である。

SAD　通りの住所

HL7 成分表－SAD　通りの住所

SEQ	LEN	DT	OPT	COMPONENT NAME
1	120	ST	O	Street or Mailing Address　通りまたは集配単位の住所
2	50	ST	O	Street Name　通りの名称
3	12	ST	O	Dwelling Number　住居番号

注：XAD データ型にだけ現れる。

第1成分　Street or Mailing Address　通りまたは集配単位の住所(ST)

この成分は個人または施設の通りまたは集配単位の住所を示す。施設を示すときには、この最初の成分は施設名を表すのに用いる。個人に関して使用される場合は、この成分は住所の最初の1行を表す。

第2成分　Street Name　通りの名称(ST)

通りの名称。

第3成分　Dwelling Number　住居番号(ST)

住居番号。

XAD　拡張住所

HL7 成分表－XAD　拡張住所

SEQ	LEN	DT	OPT	COMPONENT NAME
1	184	SAD	O	Street Address　通りの住所
2	120	ST	O	Other Designation　その他表示
3	50	ST	O	City　市
4	50	ST	O	State or Province　州または省
5	12	ST	O	Zip or Postal Code　ZIP コードまたは郵便番号
6	3	ID	O	Country　国
7	3	ID	O	Address Type　住所型
8	50	ST	O	Other Geographic Designation　その他の地理表示
9	20	IS	O	County/Parish Code　郡／（ルイジアナ州の）郡コード
10	20	IS	O	Census Tract　国勢調査区域
11	1	ID	O	Address Representation Code 住所表記コード
12	53	DR	B	Address Validity Range　住所有効範囲（HL7 Ver.2.5 より非推奨）
13	26	TS	O	Effective Date　発行日付
14	26	TS	O	Expiration Date　失効日付

注：HL7 Ver.2.3 から AD データ型を置き換える。

```
|1234、Easy St.^Ste. 123^San Francisco^CA^95123^USA^B^^SF^|
```

第1成分　Street Address　通りの住所(SAD)

この成分の記述についてはSAD型を参照。

© JAHIS 2012

第2成分　Other Designation　その他表(ST)

住所の2行目。米国での使用では住所を修飾する。例：555号室あるいは4階。施設を示すときには、この成分は通りの住所を表す。

第3成分　City　市(ST)

この成分は郵便用の住所を定める国の法制に基づいて、この住所の所在を管理する市、地区、場所を示す。

第4成分　State or Province　州または省(ST)

この成分はこの住所が所在する州または省を示す。州または省には、その国の公式な郵便番号が割り振られる。

第5成分　Zip or Postal Code　ZIPコードまたは郵便番号(ST)

この成分はこの住所が所在するZIPコードまたは郵便番号を表す。ZIPコードまたは郵便番号はその国の公式なコードとして表現される。米国ではZIPコードは9999[-9999]の形をとり、カナダの郵便番号はA9A9A9の形をとり、オーストラリアの郵便番号は9999の形をとる。

第6成分　Country　国(ID)

この成分はこの住所が所在する国を表す。HL7は国コードとしてISO 3166形式の3文字（のアルファベット）を使用するよう定めている。有効な値については「HL7表0399－国コード」を参照。

第7成分　Address Type　住所型(ID)

この成分は住所の種類または型を表す。有効な値については、「HL7表0190－住所型」を参照。

HL7 表 0190 – 住所タイプ

Value	Description
BA	誤った住所
N	出生（生まれ）（ほかに指定がなければ、出生の住所）
BDL	分娩の場所（誕生が行われた住所）
F	出身国
C	現住所または一時的な住所
B	会社／事業所
H	自宅
L	法律上の住所
M	郵送先
O	事務所
P	永久的な住所
RH	戸籍上の自宅。予防接種歴や癌登録のような患者情報を扱う公共医療機関の情報システムに関係する事が多い。患者が治療を受ける場所には無関係である。
BR	出生時の居住地（出生の際の自宅住所）

第8成分　Other Geographic Designation　その他の地理表示(ST)

この成分は必要となり得る、その他のあらゆる地理表示を表す。国、生物学的地域、SMSAなどを含む。

第9成分　County/Parish Code　郡/教区コード(IS)

指定された住所が所在する郡を示すコード。「使用者定義表 0289－郡/教区」がこの成分に対するユーザ定義の値のHL7識別子として用いられる。この成分が郡を表すのに用いられるときには、成分8＜その他の地理表示＞には、それを重複させてはならない。（つまり、＜その他の地理表示＞を郡の表現をするために用いるのは、HL7旧バージョンとの互換性のためにのみ許されており、現在または将来のHL7のバージョンでは非推奨である。）

© JAHIS 2012

使用者定義表 0289－郡／教区

Value	Description
	推奨できる値はない

第10成分　Census Tract　国勢調査区域(IS)

指定された住所が所在する国勢調査区域を表すコード。「使用者定義表0288－国勢調査区域」がこの成分に対するユーザ定義の値のHL7識別子として用いられる。

使用者定義表 0288－国勢調査区域

Value	Description
	推奨できる値はない

第11成分　Address Representation Code　住所表記コード(ID)

同じ名前／住所に対する別の名前／住所型および名前／住所表記は、このフィールドを、名前／住所型および／または名前／住所表記を違えて、繰り返すことで表現すべきである。有効な値については「HL7表 0465－名前／住所表記」を参照。一般的にこの成分はデータ項目で提供される表記の指示を行う。使用されている文字セットを示すことは必要ではない。したがって、表記は何を期待すべきかを示すが、それでもなお、送信側は自由に望むどんな文字集合を使っても内容をコード化することができる。この成分は受信者にヒントのみ与えるので、受信側は何が送られてきて何を表示する能力があるかをもとに選択を行うことができる。

第12成分　Address Validity Range　住所有効範囲(DR)

この成分は完全には表現できない。v2.4の誤りとして認識されている。HL7 Ver.2.5よりHL7旧バージョンとの互換性のためにのみ保持されている。発効日付および失効日付成分を参照。この成分はこの住所が有効な期間を定義する開始および終了の日付／時刻を含む。

第13成分　Effective Date　発効日付(TS)

判明しているならば、住所が正しく有効となる最初の日付。

第14成分　Expiration Date　失効日付(TS)>

判明しているならば、住所が正しく有効である最後の日付。

XON　拡張複合組織 ID と名称

HL7 成分表－XON　拡張複合組織 ID および名称

SEQ	LEN	DT	OPT	COMPONENT NAME
1	50	ST	O	Organization Name　組織名称
2	20	IS	O	Organization Name Type Code　組織名称型コード
3	4	NM	B	ID Number　ID 番号
4	1	NM	O	Check Digit　チェックデジット
5	3	ID	O	Check Digit Scheme　チェックデジット体系
6	227	HD	O	Assigning Authority　割当権限者
7	5	ID	O	Identifier Type Code　識別子型コード
8	227	HD	O	Assigning Facility　割当施設
9	1	ID	O	Name Representation Code　名前表記コード
10	20	ST	O	Organization Identifier　組織識別子

組織の名前型では、法的な名前、表示する名前などを表す。

```
|HL7 Health Center^L^6^M11^HCFA|
```

第1成分　Organization Name　組織名称(ST)

指定した組織の名称。

第2成分　Organization Name Type Code　組織名称型コード(IS)

名称の型、すなわち法的な名称、表示名称などを表すコード。提案されている値については「使用者定義表0204－組織名称型」を参照。

使用者定義表 0204－組織名称型

Value	Description
A	別名
L	法的な名前
D	表示する名前
SL	株式取引所に登録する名前

第3成分　ID NumberID番号(NM)

この成分はHL7 Ver.2.5よりHL7旧バージョンとの互換性のためにのみ保持されている。英数文字による識別子を受け付ける、成分10の組織識別子を用いることを推奨する。

第4成分　Check Digit チェックデジット(NM)

このデータ型でのチェックデジットは、メッセージ処理系により生成された後付けのものではない。識別番号の一部分で、送信側アプリケーションで使用される部分が、この成分でいうチェックデジットである。送信側のアプリケーションが自己生成のチェックデジットを識別番号に含めていない場合は、この成分はnullにしなければならない。

第5成分　Check Digit Scheme　チェックデジット体系(ID)

使用されているチェックデジット方式の指定を含む。有効な値については「HL7表0061－チェックデジット形式」を参照。

第6成分　Assigning Authority　割当権限者 (HD)

割当権限者はそのデータを生成したシステム（あるいは組織、政府機関の部署）についての一義的な識別子である。これはHD データ型である。「使用者定義表0363 -割当権限者」がHD成分の最初の副成分＜ネームスペースID＞に与える値のHL7識別子として用いられる。

第7成分　Identifier Type Code　識別子型コード(ID)

識別子の型に対応するコード。場合によっては、このコードが「割当権限者」成分の修飾語として用いられることもある。有効な値については「HL7表0203－ID型」を参照。

第8成分　Assigning Facility　割当施設(HD)

人に最初に識別子が割り当てられた、建物・場所の識別子。この成分は識別子の固有の部分ではないが、識別子の履歴に関する部分である：この成分は、特定の相互通信システムのために存在している。

第9成分　Name Representation Code　名前表記コード(ID)

同じ名前／住所に対する別の名前／住所型および名前／住所表記は、このフィールドを、名前／住所型および／または名前／住所表記を違えて、繰り返すことで表現すべきである。有効な値について「HL7表0465－名前／アドレス表記」を参照。一般的にこの成分はデータ項目で提供される表記の指示を行う。使用されている文字セットを示すことは必要ではない。したがって、表記は何を期待すべきかを示すが、それでもなお、送信側は自由に望むどんな文字集合を使っても内容をコード化することができる。この成分は受信者にヒントのみ与えるので、受信側は何が送られてきて何を表示する能力があるかをもとに選択を行うことができる。

第10成分　Organization Identifier　組織識別子(ST)

定義：この成分はXON.1で参照される項目を一意的に特定する文字の並び（コード）を含む。この成分はHL7 Ver.2.5よりXON.3 ID番号を置き換える。

© JAHIS 2012

XPN　拡張人名

HL7 成分表－XPN　拡張人名

SEQ	LEN	DT	OPT	COMPONENT NAME
1	194	FN	O	Family Name　姓
2	30	ST	O	Given Name　名
3	30	ST	O	Second and Further Given Names or Initials Thereof 2 番目以降の名またはそれらのイニシャル
4	20	ST	O	Suffix (e.g., JR or III)　接尾語（例：JR または III）
5	20	ST	O	Prefix (e.g., DR)　接頭語（例：DR）
6	6	IS	B	Degree (e.g., MD)　学位（例：MD）
7	1	ID	O	Name Type Code　名前型コード
8	1	ID	O	Name Representation Code　名前表記コード
9	483	CWE	O	Name Context　名前の文脈
10	53	DR	B	Name Validity Range　名前の有効範囲
11	1	ID	O	Name Assembly Order　名前構成順序
12	26	TS	O	Effective Date　発行日付
13	26	TS	O	Expiration Date　失効日付
14	199	ST	O	Professional Suffix　専門職の接頭辞

注：HL7 Ver.2.3 から PN データ型を置き換える。

```
|Smith^John^J^III^DR^PHD^L|
|日本^太郎^^^^^D^I~にほん^たろう^^^^^D^P~ NIHON^Tarou^^^^^D^A|
```

第1成分　Family Name　姓(FN)

この成分はある個人の姓を完全に示すことを可能とする。必要なときは、この成分は個人の名前が、もともとの姓と配偶者の姓を含んでいる場合に、そのそれぞれを区別する。これはまた、メッセージにおいて、姓の接頭辞の部分（例えば"van"や"de"のような）と語根の部分とを区別することを可能にする。FN型を参照。

第2成分　Given Name　名(ST)

ファーストネーム。

第3成分　Second and Further Given Names or Initials Thereof　2番目以降の名またはそれらのイニシャル(ST)

複数のミドルネームを空白で区切って入れることができる。

第4成分　Suffix (e.g., JR or III)　接尾語（例、JRまたはIII）　(ST)

名前の接尾語を明記するのに用いる。（例、JrまたはIII）

第5成分　Prefix (e.g., DR)　接頭語（例　DR）(ST)

名前の接頭語を明記する。（例、Dr）

第6成分　Degree (e.g., MD)　学位（例　MD）(IS)

HL7 Ver.2.5よりHL7旧バージョンとの互換性のためにのみ残されている。専門職接頭語成分を参照。教育における学位（例、MD）を明記するのに用いる。提案されている値については「使用者定義表0360－学位／免許／資格」を参照。

第7成分　Name Type Code　名前型コード(ID)

名前の型を表すコード。有効な値については「HL7表0200－名前型」を参照。

第8成分　Name Representation Code　名前表記コード(ID)

同じ名前／住所に対する別の名前／住所型および名前／住所表記は、このフィールドを、名前／

© JAHIS 2012

住所型および／または名前／住所表記を違えて、繰り返すことで表現すべきである。有効な値について「HL7表0465－名前／アドレス表記」を参照。一般的にこの成分はデータ項目で提供される表記の指示を行う。使用されている文字セットを示すことは必要ではない。したがって、表記は何を期待すべきかを示すが、それでもなお、送信側は自由に望むどんな文字集合を使っても内容をコード化することができる。この成分は受信者にヒントのみ与えるので、受信側は何が送られてきて何を表示する能力があるかをもとに選択を行うことができる。

第9成分　Name Context　名前の文脈(CWE)

この成分は名前の使われる文脈を示すのに用いられる。主なユースケースはオーストラリアの保険医療においてである：異なる保険医療施設に入院する場合に、異なる名前を使用することを希望する先住民の患者である。別のユースケースは、米国で、医療従事者が少し異なる名前で免許を受けることができて、管理上の理由で正確な名前を届け出ることがきわめて重要な場合である。提案されている値については「使用者定義表0448－名前の文脈」を参照。

第10成分　Name Validity Range　名前の有効範囲(DR)

HL7 Ver.2.5よりHL7旧バージョンとの互換性のためにのみ保持されている。PPN.20発効日およびPPN.21失効日を参照。この成分は十分に表現することができず、v2.4の誤りとして認識されている。この成分は、この名前が有効な期間を示す開始と終了の日付／時間を含む。副成分の記述についてはDR型を参照。

第11成分　Name Assembly Order　名前構成順(ID)

この人名の構成要素の望ましい表示順を表す。有効な値についてはHL7表 0444 -名前構成順 を参照。

第12成分　Effective Date　発効日付(TS)

知られている場合には、住所が正当で有効となる最初の日。

第13成分　Expiration Date　失効日付(TS)

知られている場合には、住所が正当で有効である最後の日。

第14成分　Professional Suffix　専門職の接頭辞(ST)

その人の専門職種（例、免許、資格、学位、専門学会の会員）を証明する資格を表示する略語あるいは略語の文字列を示すのに用いられる。人名が表示されるときに、専門職の接頭辞は、通常、姓の後に表示される。この成分は、非整形の文字列で、表示目的のみで用いられることに注意すること。専門職の接頭辞の中味に関する詳細な情報は、15章　職員管理の適切なセグメントを用いることで得られる。

一部の国々では、表意文字あるいは表音（音声の）文字セットを使用しているので、アルファベットフォーマットの他にこれらのフォーマットの片方または両方で名前を送信することが、ときどき必要である。異なる文字セット間を切り替えるには、JIS X0202－ISO 2022のような文字セットを使用するが、これは異なる文字セット間および単一バイトとマルチ・バイトの文字表現の間を切り替える。名前フィールドを繰り返す場合、名前の異なる反復はこれらの異なる文字セットによって表わされてもよい。詳細は以下のとおりである。

・　HL7は、日本の文字のための下記基準をサポートする

JIS X0201	対象 ISO－IR13（日本の片仮名）
	対象 ISO－IR14（日本のローマ字）
JIS X0208	対象 ISO－IR87（日本の漢字、平仮名および片仮名）
JIS X0212	対象 ISO－IR159（補足的な日本の漢字）

・　HL7は欧州 の文字のための下記基準をサポートする

ISO－8859（1－9）	対象 ISO－IR100、101、109、110、144、127、126、138 および 148。

文字セットは、HL7の中でASCII、8859／1..8859／2、JAS2020およびJIS X0202として引用されている。DICOMは、形式「ISO－IRxxx」の、ISO 2375の中にレイアウトされたコードを使用する。HL7はこの命名法をサポートするが、それは相互操作性を促進するためである。

HL7は、ISO 646：1990（ISO IR－6）の国際参照バージョンの基本のG0セットを、文字列に対するデフォルト文字レパートリーとして使用する。これは単一のバイト文字セットであり、ASCII

© JAHIS 2012

と同一である。

XPNフィールドの各反復はデフォルト文字セットから始まると仮定される。別の文字セットを使用することになっている場合、HL7に定義されたエスケープであって文字セットを宣言するため使用されるものが、反復の初めになければならない。また、HL7に定義されたエスケープであってデフォルト文字セットを始めるため使用されるものが、反復の終わりになければならない。さらに注意すべきことは、いくつかの文字セットを単一の反復内に混ぜ合わせてもよいが、反復がデフォルト文字セットへの復帰で終わることが条件であるということである。

アプリケーションは、その適合文およびフィールド・MSH-18文字セットの中でどの文字セットをアプリケーションがサポートするか明示しなければならない。送信および受信アプリケーションは、をエスケープするために文字セット名（すなわちISO-IRxxx）をマップするか知っていると仮定されている。

例えば、多くの日本語のメッセージでは、ローマ字（すなわちローマ文字）、片仮名（外国の単語の発音表現）、平仮名（日本語の単語の発音表現）および漢字（絵文字）の混合がある。そのようなメッセージは、4つの文字セットがMSHの中で指定されることを要求する。

・　名前の国際化のための参考文献

1. “Understanding Japanese Information Processing” by Ken Lunde,　O’Reilly Press
2. “DICOM Supplement 9 : Multi-Byte Character Set Support”, ACR-NEMA
3. ANSI X3.4:1986　ASCII character set
4. ISO 646:1990　Information Processing - ISO 7-bit coded character set for information interchange
5. ISO/IEC 2022:1994　Information Technology - Character code structure and extension techniques
6. ISO 2375:1986　Data Processing - Procedure for the registration of escape sequences
7. ISO 6429:1990　Information Processing - Control functions for 7-bit and 8-bit coded character sets
8. ISO 8859 (1-9)　Information Processing - 8-bit single-byte coded graphic character sets - parts 1-9
9. ENV 41 503:1990　Information systems interconnection - European graphic character repertoires and their coding
10. ENV 41 508:1990　Information systems interconnection - East European graphic character repertoires and their coding
11. JIS X 0201-1976　Code for Information Exchange
12. JIS X 0212-1990　Code of the supplementary Japanese Graphic Character set for information interchange
13. JIS X 0208-1990　Code for the Japanese Graphic Character set for information interchange
14. RFC 1468　Japanese Character Encoding for Internet Messages

この方法はDICOMと整合している。

DICOMによってサポートされた文字レパートリーは、補遺9の第5部、節62E1の中で定義されている。それによれば、「テキストまたは文字列である値は、図形および制御文字から構成されることができる。図形文字セットは、そのコード化と無関係に、文字レパートリーと呼ばれる。アプリケーションエンティティがDICOM規格を使用してデータを交換したい元来の文脈に依存して、異なる文字レパートリが使用されている。DICOMによってサポートされた文字レパートリーはISO 8859の中で定義されている。」

さらに、DICOMは、日本語のための次の文字レパートリーをサポートする。

JIS X0201－1976　情報交換のためのコード対象 ISO－IR14（日本のローマ字）
JIS X0208－1990　情報交換のための日本の図形文字セットのコード
JIS X0212－1990　情報交換のための補足の日本の図形文字セットのコード

XTN　拡張テレコミュニケーション番号

HL7 成分表－XTN　拡張テレコミュニケーション番号

SEQ	LEN	DT	OPT	COMPONENT NAME
1	199	ST	B	Telephone Number　電話番号　HL7 Ver.2.3 から非推奨
2	3	ID	O	Telecommunication Use Code　テレコミュニケーション用途コード

© JAHIS 2012

SEQ	LEN	DT	OPT	COMPONENT NAME
3	8	ID	O	Telecommunication Equipment Type　テレコミュニケーション装置型
4	199	ST	O	Email Address　電子メールアドレス
5	3	NM	O	Country Code　国コード
6	5	NM	O	Area/City Code　区域／市コード
7	9	NM	O	Local Number　市内番号
8	5	NM	O	Extension　内線
9	199	ST	O	Any Text　任意のテキスト
10	4	ST	O	Extension Prefix　内線接頭辞
11	6	ST	O	Speed Dial Code　短縮番号コード
12	199	ST	C	Unformatted Telephone number 非定型の電話番号

第1成分　Telephone Number　電話番号(ST)

この成分はHL7 Ver.2.3よりHL7旧バージョンとの互換性のためにのみ保持されている。

第2成分　Telecommunication Use Code　テレコミュニケーション用途コード(ID)

テレコミュニケーション番号の特定の用途を表すコード。有効な値については「HL7表0201－テレコミュニケーション用途コード」を参照。

HL7 表 0201－テレコミュニケーション用途コード

Value	Description
PRN	主要な自宅番号
ORN	他の自宅番号
WPN	勤務先番号
VHN	別荘番号
ASN	留守電話応答サービス番号
EMR	緊急番号
NET	ネットワーク(電子メール)アドレス
BPN	ポケットベルの番号

第3成分　Telecommunication Equipment Type　テレコミュニケーション装置型(ID)

テレコミュニケーション機器の型を表すコード。 有効な値についてはHL7表0202－テレコミュニケーション機器型を参照。

HL7 表 0202－テレコミュニケーション機器型

Value	Description
PH	電話
FX	ファックス
MD	モデム
CP	携帯電話
BP	ポケットベル
INTERNET	インターネットアドレス：通信使用コードが NET である場合のみ使用
X.400	X.400 電子メールアドレス：通信使用コードが NET である場合のみ使用

第4成分　Email Address　電子メールアドレス(ST)

このデータ型をCENのテレコミュニケーションデータ属性グループと相互運用するために、第2成分に電子メールアドレス用途コードを設けた。電子メールアドレスを示すためにテレコミュニケーション用途コード表にNETという値を追加し、インターネットアドレスの型はテレコミュニ

© JAHIS 2012

ケーション機器型表のInternetとX.400という値で示される。インターネットアドレス用に用いられた場合は、XTNデータ型の最初の成分はnullとなる。@記号が副成分デリミタに用いられた場合、インターネットアドレス（国コード(NM)を参照）をコード化する際にはHL7副成分エスケープシーケンスが使用される。

第5成分　Country Code　国コード(NM)

第6成分　Area/City Code　区域／市コード(NM)

第7成分　Local Number　市内番号(NM)

第8成分　Extension　内線(NM)

第9成分　Any Text　任意のテキスト(ST)

電話番号に関するコメントを含む。

```
|^^^^^^^^Do not use after 5PM
```

第10成分 Extension Prefix　内線接頭辞(ST)

会社の内線電話システムネットワーク内で成立している、内線にダイヤルするときに、内線番号成分の値の前につける符号として用いられる文字。内線番号接頭辞を用いる場合には、内線番号成分に値が与えられることが必要で、内線番号接頭辞には数字だけでなく特殊文字（例、*、#）が用いられることがあることに注意。

第11成分　Speed Dial Code　短縮番号コード(ST)

会社の内線電話システムネットワーク内で成立している、電話をかけるのを容易にするために、電話番号より長さが短いので、（外線）電話番号の替わりに用いられる文字。数字だけでなく特殊文字（例、*、#）が用いられることがあることに注意。

第12成分　Unformatted Telephone number　非定型の電話番号(ST)

機械解釈不能な文字列としての電話番号の表現。電話番号が、送信側システムに機械解釈不能なフリーテキストとして入力された。

```
|^^^^^^^^^^^1-800-Dentist|
```

ED　カプセル化データ

HL7 成分表－ED　カプセル化データ

SEQ	LEN	DT	OPT	COMPONENT NAME
1	227	HD	O	Source Application　作成アプリケーション
2	9	ID	R	Type of Data　データ型
3	18	ID	O	Data Subtype　データサブ型
4	6	ID	R	Encoding　符号化
5	65536	TX	R	Data　データ

このデータ型は、カプセル化されたデータをソース・システムから目的地システムへ送信する。それは、ソース・システムの識別、データの型、データのコーディング方式およびデータ自身を含んでいる。このデータ型は、RP－参照ポインタデータ型に似ているが、このデータ型は一方のシステム上のデータを指すべき代わりに、そのシステムへ送られるべきデータを含んでいる。

第1成分　Source Application　作成アプリケーション(HD)

データの生成元であるシステムを特定する一意的な名称。参照ポインタにおけるのと同一の形式と制限を持つ。

第2成分　Type of Data　データ型(ID)

参照ポインタ (RP) データ型の「データの型」成分と同一。有効な値については「HL7表0191－参照データの型」を参照。

第3成分　Data Subtype　データサブタイプ(ID)

参照ポインタ (RP) データ型の「サブタイプ」成分と同一。有効な値については「HL7表 0291－参照データのサブタイプ」を参照。

第4成分　Encoding　符号化(ID)

続く2進数8ビットの列をASCII文字で表現するのに使用された符号化形式。有効な値については「HL7表0299－符号化」を参照。

HL7 表 0299－符号化

Value	Description
A	コーディングはない。データは表示可能な ASCII 文字である。
Hex	16 進法のコーディング。連続するペアの 16 進数字は連続する単一オクテットを表す。
Base64	MIME(多目的インターネットメール拡張)標準の RFC1521 によって定義されるコーディング。4 つの連続する ASCII 文字が、二進法データの連続する 3 つのオクテットを表す。Base64 は、米国 ASCII の 65 文字サブセットを利用し、これを構成するのは大文字および小文字の英字、数字「0」から「9」まで、「+」、「/」および「=」である。

MIMEインターネット標準のRFC1521により、Base64を以下のように定義する。24ビットの入力グループ(3つのオクテット)を横切って左から右に進むので、各6ビットのグループは印刷可能な64文字の配列として使用する。指標によって参照された文字が、コード化された文字列に置かれる。これらの文字は「HL7表0290－MIME base64コード化文字」に示され、普遍的に表現可能なように選択される。

24ビット未満がデータの終わりで入力グループにおいて利用可能な場合、特別の処理を実行する。十分なコーディング量はデータの終わりで常に完成される。24入力ビット未満が入力グループにおいて利用可能な場合、6ビット・グループの整数を形成するために、右側にゼロビットを付加する。

入力データのない出力フィールド文字は文字「=」に設定される。コード化された出力はすべてオクテットの整数であるので、次の場合だけが発生する。

(1) 入力の最終量は24ビットの不可欠な倍数である。

ここで、コード化された出力の最終単位は「=」のパディングなしの4文字の不可欠な倍数になる。

(2) 入力の最終量はちょうど8ビットである。

ここで、コード化された出力の最終単位は2つの「=」パッド文字が後続する2文字になる。

(3) 入力の最終量はちょうど16ビットである。

ここで、コード化された出力の最終単位は1つの「=」パッド文字が後続する3文字になる。

HL7 表 0290－MIME base64 コード化文字

Value/Code	Value/Code	Value/Code	Value/Code
0　A	17　R	34　l	51　z
1　B	18　S	35　j	52　0
2　C	19　T	36　k	53　1
3　D	20　U	37　l	54　2
4　E	21　V	38　m	55　3
5　F	22　W	39　n	56　4
6　G	23　X	40　o	57　5
7　H	24　Y	41　p	58　6
8　I	25　Z	42　q	59　7
9　J	26　a	43　r	60　8
10　K	27　b	44　s	61　9
11　L	28　c	45　t	62　+

© JAHIS 2012

Value/Code	Value/Code	Value/Code	Value/Code
12　M	29　d	46　u	63　/
13　N	30　e	47　v	
14　O	31　f	48　w	(pad) =
15　P	32　g	49　x	
16　Q	33　h	50　y	

コード化されたオクテットが、なんらかのコーディング方法によって解釈され、それが暗黙のものかまたは表わされたデータ型で指定されるものを超えるとき(例えば目的地アプリケーション上の、16ビットあるいは32ビット・二進法の語の中のそれらのオーダリング)、それは目的地アプリケーションによって決定され、この規格の範囲外である。

ソースアプリケーションから目的地アプリケーションまで送信されるべきデータを構成する表示可能なASCII文字。もしコード化された二進数であれば、「データの型」によってコード化される。

第5成分　Data　データ(TX)

生成元アプリケーションから受信アプリケーションに送信されるデータを構成する表示可能なASCII文字列。文字は、「ST型」 で定義されている通り、STデータ型における正当な文字に限定され、またバイナリデータの場合は、「データの型 (ID)」による方法によって符号化されている。

CCP　チャンネル調整パラメータ

HL7 成分表－CCP　チャンネル調整パラメータ

SEQ	LEN	DT	OPT	COMPONENT NAME
1	6	NM	O	Channel Calibration Sensitivity Correction Factor チャンネル調整感度補正因子
2	6	NM	O	Channel Calibration Baseline　チャンネル調整基底値
3	6	NM	O	Channel Calibration Time Skew　チャンネル調整時差

注：HL7 Ver.2.5 より、OBX-5 測定値(*)がデータ型 CD であるときに OBX-5.3 で用いられる CM データ型を置き換える。

第1成分　Channel Calibration Sensitivity Correction Factor チャンネル調整感度補正因子(NM)

この成分は､おそらく直近に行われた補正操作から得られた､チャンネル感度の補正因子を示す。実際のチャンネル感度は、先行する成分で与えられる名目チャンネル感度とユニット共通補正因子との積となる。

第2成分　Channel Calibration Baseline チャンネル調整基底値(NM)

この成分は、実際のチャンネル基底値（名目入力信号値が0の際のデータ値）を示す。実際の基底値は、ADCに接続された増幅器のDCオフセットにより理想値からは異なることがある。全てのチャンネルに対する実際の基底値（整数値であるとは限らない）は、調整操作の際に0信号を各チャンネルに接続したときに得られる、平均のデジタル変換値によって定められることもある。

第4成分　Channel Calibration Time Skew チャンネル調整時差(NM)

この成分は、名目サンプリング（デジタル変換）時刻（全てのチャンネルについて同時である）とそのチャンネルの実際のサンプリング時刻との差を秒（あるいは、1秒を割った分母）で示す。この値は、一つの結果にまとめられる全てのチャンネルが同時にサンプリングされるのでないときには、0と異なる値をとる。それは、いくつかのシステムで起こるように、一定の時間間隔で、複数のチャンネルを逐次サンプリングしていくような場合である。この値はまた、同一の時間変化する信号が全てのチャンネルに与えられ、チャンネル間の時差を推定するような調整操作によって決定されたり、あるいはもっと一般的には、使用されているデジタル変換システムに対する製造者の仕様から値を得たりする。例えば、一定の時間間隔tで連続するチャンネルをサンプリングするシステムの場合は、そのシステムでのチャンネル番号nの時差は(n-1)tとなる。このようなシステムでは、チャンネル番号nにおけるサンプル番号mの実際のサンプリング（デジタル化）時

© JAHIS 2012

刻は、Rを期の開始時刻における参照時刻、fをチャンネルサンプリング周波数(t < 1/f)としたとき、R + (m-1)/f + (n-1)tで表せる。

CD　チャネル定義

HL7 成分表－CD　チャンネル定義

SEQ	LEN	DT	OPT	COMPONENT NAME
1	22	WVI	O	Channel Identifier　チャンネル識別子
2	17	WVS	O	Waveform Source　波形の発生源
3	478	CSU	O	Channel Sensitivity/Units　チャンネル感度／単位
4	20	CCP	O	Channel Calibration Parameters　チャンネル調整パラメータ
5	6	NM	O	Channel Sampling Frequency　チャンネルサンプリング周波数
6	33	NR	O	Minimum/Maximum Data Values　最小／最大データ値

デジタル波形データを標識付けするために、このデータ型を使用する。

第1成分　Channel Identifier　チャンネル識別子(WVI)

この成分は波形データが送信される記録チャンネルの番号と名称を示す。

第2成分　Waveform Source　波形の発生源(WVS)

この成分はチャンネルに接続された波形の発生源を明記する。1つの波形について2つの入力を個別に特定する必要があるときには、2つの名称が示される。チャンネルが単独の入力に接続されている場合は、名称は1つだけ示す必要がある。例えば、心電図の記録の場合は、普通（IやIIといった）1つの名称だけが用いられる；脳波の場合は、普通（F3やC3といった）差動アンプのそれぞれの入力に1つずつ、計2つの名称が用いられる。

第3成分　Channel Sensitivity/Units　チャンネル感度/単位(CSU)

この成分は、チャンネル感度（ゲイン）および測定に用いられる単位を示す。

第4成分　Channel Calibration Parameters　チャンネル調整パラメータ(CCP)

この成分は、チャンネル感度に対する補正値、基底値およびチャンネル時差を示す。

第5成分　Channel Sampling Frequency　チャンネルサンプリング周波数(NM)

この成分はチャンネルのサンプリング周波数をヘルツで示す。すなわち連続するサンプル間の秒数の逆数である。これは送信されたデータの周波数であり、アナログーデジタル変換器あるいはその他のデジタルデータ源により取得されたデータの実際の周波数である場合も、そうでない場合もあることに注意。（すなわち、送信されたデータは、元々取得されたデータから、サブサンプリング、すなわち間引きされたものである場合がある。）

第6成分　Minimum/Maximum Data Values　最小／最大データ値(NR)

この成分は、このチャンネルのデジタル波形データが取り得る最小および最大のデータ値、すなわち、アナログデジタル変換の範囲を示す。またこの成分は、このチャンネルのデジタル波形データが小数値を取り得るか否かも示す。最小値および最大値がともに整数である（または提示されていない）場合は、このチャンネルでは整数のデータ値のみが用いられ、最小値または最大値のいずれかが小数点を含んでいる場合、このチャンネルでは整数だけでなく小数のデータ値も用いられる。nビットのアナログデジタル変換の場合、表示上の基底値はB=0である場合、最小値(L)と最大値(H)は次のように計算される。

$L = -2n^{-1}$

$H = 2n^{-1} - 1$

符号無しのnビットのアナログデジタル変換の場合、最小値L=0であり、表示上の基底値(B)と最大値(H)は次の公式で計算される。

$B = 2n^{-1}$

$H = 2n - 1$

実際の信号増幅率 A（差分増幅での電位測定の場合は、番号1の電極の電位から番号2の電位の差）

© JAHIS 2012

は、波形データのD(ＬとＨの間の幅)から、実際のベースライン値Bと表示上の感度Ｓと実行感度補正因子Cから次の公式により求められる。

$A = SC(D-B)$

MA　多重化された配列

HL7 成分表－MA　多重化された配列

SEQ	LEN	DT	OPT	COMPONENT NAME
1	16	NM	O	Sample 1 From Channel 1　チャンネル 1 のサンプル値
2	16	NM	O	Sample 1 From Channel 2　チャンネル 2 のサンプル値
3	16	NM	O	Sample 1 From Channel N　チャンネル N のサンプル値 1
4	16	NM	O	Sample 2 From Channel 1　チャンネル 1 のサンプル値
5	16	NM	O	Sample 2 From Channel N　チャンネル N のサンプル値 2
6	16	NM	O	Sample N From Channel N　チャンネル N のサンプル値 N

このデータ型はチャンネル多重の波形データ（すなわちアナログ／デジタル変換機やその他のデジタルデータ発生源からのデジタル化されたデータ）を表現するのに用いる。各値はNM型でチャンネルからのある時間のサンプル値を表す。このセグメントは複数チャンネルからの情報を含むことができる。波形データはチャンネル多重された形式（すなわち、最初の時間のサンプル値を全てのチャンネル分送信された後、次の時間のサンプル値が送信され、そして順に必要とされる数だけの時間のサンプル値が送信されるまで繰り返される。）各時間のサンプル値は反復デリミタ(~)によって区切られ、各サンプル値のチャンネルの区切りは成分デリミタ（^）で区切られる。サンプル値の間の時間（サンプリング間隔）は、デジタル化周波数の逆数であり、CDデータ型を用いて表現される。

例1：　3チャンネル（同値）、6つの時間のサンプル値

```
|0^0^0~1^1^1~2^2^2~3^3^3~4^4^4~5^5^5|
```

例2：　1チャンネル、11の時間のサンプル値

```
|0~1~2~3~4~5~6~7~8~9~10|
```

NA　数値の配列

HL7 成分表－NA　数値配列

SEQ	LEN	DT	OPT	COMPONENT NAME
1	16	NM	R	Value1　値 1
2	16	NM	O	Value2　値 2
3	16	NM	O	Value3　値 3
4	16	NM	O	Value4　値 4
…				

このデータ型は一連の数値（配列）を表すのに用いる。この型のフィールドは1次元の数値の配列（ベクトルまたは列）を含むことができる。またフィールドの反復を許せば、2次元の数値の配列（表）をこの形式を使って送信することができる。このときその表の各行はこのフィールドの1繰り返しとして表現される。1つまたは複数の値が存在しない配列も送信されることがある。「存在しない」値は、2つの隣り合った成分デリミタで表現される。行の最後で値が存在しないことが起こったら、最後の成分デリミタは省略してよい。表全体の行が価値を持たなかった場合、成分デリミタはひとつも必要ではない。（この場合2つの反復デリミタが隣り合うことになる。

例1：　8数字のベクトル

```
|125^34^-22^-234^569^442^-212^6|
```

例2：　3x3の数値配列

```
|1.2^-3.5^5.2~2.0^3.1^-6.2~3.5^7.8^-1.3|
```

例3:　(1,1), (2,2), (2,3), (3,3), (3,4), (4,1), (4,2), (4,3), および(4,4)の位置に値が存在しない5x4の数値配列。

|^2^3^4~5^^^8~9^10~~17^18^19^20|

CP　複合価格

HL7 成分表－CP　複合価格

SEQ	LEN	DT	OPT	COMPONENT NAME
1	20	MO	R	Price　金額
2	2	ID	O	Price Type　価格型
3	16	NM	O	From Value　始点の値
4	16	NM	O	To Value　終点の値
5	483	CWE	O	Range Units　範囲単位
6	1	ID	O	Range Type　範囲型

注：このデータ型は、与えられたセグメント内の反復フィールドを定義するためにしばしば用いられる。

|100.00&USD^UP^0^9^min^P~50.00&USD^UP^10^59^min^P~10.00&USD^UP^60^999^P~50.00&USD^AP~200.00&USD^PF~80.00&USD^DC|

第1成分　Price　価格(MO)

唯一必須成分であり、小数点を通常含んでいる。MOデータ型の各成分がここでは副成分であることに注意すること。

第2成分　Price Type　価格タイプ(ID)

コード化された値、型データ型ID。有効な値については、HL7表0205－価格タイプを参照。

HL7 表 0205－価格タイプ

Value	Description
AP	管理上の価格あるいは取り扱い料金
DC	直接の単位原価
IC	間接の単位原価
PF	実行提供者に対する専門の料金
TF	機器の使用に対する技術料金
TP	価格の合計
UP	単価、手続きまたはサービスの長さに基づいてもよい。

第3成分　From Value　始点の値(NM)

上記の始点の値を参照。

第4成分　To Value　終点の値(NM)

上記の始点の値を参照。

第5成分　Range Units　範囲単位(CWE)

コード化された値、データ型CE。時あるいは量のいずれかの単位の標準の表によって定義されたもの。これは、範囲、例えば秒、分、時間、日、量（例えばカウント）に関連した単位について記述する。それは、<始点の値>および<終点の値>が存在するとき、必要とされる。

第6成分　Range Type　範囲型(ID)

有効な値については、HL7表0298－CP範囲型を参照。

HL7 表 0298－CP 範囲型

Value	Description
P	比例配分。この間隔にこの価格を適用する。発生／消費した間隔の部分によって比例配分される。

© JAHIS 2012

Value	Description
F	定額。この間隔に価格全体を適用する。価格全体が発生／消費しない場合価格の比例配分をしない。

FC　会計クラス

HL7 成分表－FC　会計クラス

SEQ	LEN	DT	OPT	COMPONENT NAME
1	20	IS	R	Financial Class Code　会計のクラス
2	26	TS	O	Effective Date　発行期限

第1成分　Financial Class Code　会計のクラス(IS)

この成分は、人に割り当てられた会計のクラスを含んでいる。推奨値については使用者定義表0064－会計クラスを参照。

使用者定義表 0064－会計クラス

Value	Description
	推奨できる値はない

第2成分　Effective Date　発行期限(TS)

この成分は最初の成分で示されたこの個人に割り当てられる会計クラスが有効になる日付／時間を格納する。

DLN　運転免許証番号

H7 成分表－DLN　運転免許番号

SEQ	LEN	DT	OPT	COMPONENT NAME
1	20	ST	R	License Number　免許番号
2	20	IS	O	Issuing State, Province, Country 発行州、省、国
3	24	DT	O	Expiration Date　失効日付

運転免許証番号、発行地、有効期限を表す。

第1成分　License Number　免許番号(ST)

運転免許番号を格納する。

第2成分　Issuing State, Province, Country　発行州、省、国(IS)

運転免許の発行権限者。州または省については公式な郵便コード、国のコードについてはISO 3166を参照。ISO 3166は3つの異なる形式の国コードをもっている。HL7はくにコードには3文字（のアルファベット）を使うことを定めている。使用者定義表0333－運転免許発行権限者が、この成分に対する値の使用者定義表についてのHL7識別子として使用される。

使用者定義表 0333－運転免許発行権限者

Value	Description
	推奨できる値はない

第3成分　Expiration Date　失効日付(DT)

運転免許の失効日付(DT)。

JCC　職種コード／種類

HL7 成分表－JCC　職種コード／種類

SEQ	LEN	DT	OPT	COMPONENT NAME
1	20	IS	O	Job Code　職コード
2	20	IS	O	Job Class　職クラス

© JAHIS 2012

SEQ	LEN	DT	OPT	COMPONENT NAME
3	250	TX	O	Job Description Text　職を記述するテキスト

職種と雇用種別を表す。

第1成分　Job Code　職コード (IS)

この成分はその人のジョブコードを含む。使用者定義表0327-職コードがこの成分の値の使用者定義表に対するHL7識別子として用いられる。

使用者定義表 0327－職コード

Value	Description
	推奨できる値はない

第2成分　Job Class　職クラス(IS)

この成分はその人の職員の分類を含む。提案されている値については使用者定義表0328－職分類を参照。

使用者定義表 0328－職分類

Value	Description
	推奨できる値はない

第3成分　Job Description Text　職を記述するテキスト(TX)

この成分は職を記述するテキストを含む。これは職の記述がコード化されていないシステムの便宜を図るものである。

QIP　照会入力パラメータリスト

HL7 成分表－QIP　照会入力パラメータリスト

SEQ	LEN	DT	OPT	COMPONENT NAME
1	12	ST	R	Segment Field Name セグメントフィールド名
2	199	ST	R	Values　値 1&値 2&値 3…

このフィールドは、ストアードプロシジャーへ渡されるパラメータである名前と値の一覧表を含んでいる。

```
|@PID.5.1^EVANS|
```

第1成分　Segment Field Name　セグメントフィールド名(ST)

セグメントフィールド名を含んでいる。

フィールド名の命名ルール：

フィールドのためのHL7セグメントIDと連結された「@」記号によって、フィールドが指定される。フィールドが成分に分割される場合、名前の後に「.nn」を付けてもよいが、これは特定の成分を識別するためである（「.3」のサフィクスはフィールドの第3の成分を示す）；そうでなければ、全体のフィールドが仮定される。 フィールドがさらに副成分に分割される場合、名前の後に「.nn.mm」を付けるが、それは相対的な位置によって要求された成分および副成分を識別するためである。

施設特定のフィールドを使用してもよいが、それらが文字「Z」から始まることが条件である。この場合、既存のHL7セグメントIDとセグメント番号に矛盾しない施設特定のセグメントIDとセグメント番号が定義されねばならない。

このフィールドに対する値は、この仕様の機能特定の章に定義されている。

注：「@」が、「MSH－2コード化文字」の中で定義された区切記号文字のうちの1つとして使用されている場合、それはエスケープされねばならない。

第2成分　Values　値　(ST)

フィールド値を含んでいるか、あるいは「値1&値2&値3...」の形式の値を含んでいる。

単一値パラメータは、第2の成分に単一の副成分だけを含んでいる、したがって副成分の区切記号

© JAHIS 2012

は必要ではない（例えば<フィールド名>^<値>）。値の単純な一覧表（すなわち一次元の配列）を、単一値の代わりに渡してもよいが、各値は区切記号で分離する（<フィールド名>^<値1&値2&...>）。

QSC　照会選択基準

HL7 成分表－QSC　照会選択基準

SEQ	LEN	DT	OPT	COMPONENT NAME
1	12	ST	R	Segment Field Name セグメントフィールド名
2	2	ID	O	Relational Operator　比較演算子
3	199	ST	O	Value　値
4	3	ID	O	Relational Conjunction　比較論理積

このフィールドは、問合せ応答で返されるべき行に資格を与える条件を示す。（このフィールドは問合せの対応するSQL表現中の「WHERE」句と同じ情報を伝えるが、フォーマットのされ方は異なっている。）

```
|@PID.5.1^EQ^EVANS|
```

第1成分　Segment Field Name　セグメントフィールド名(ST)

修飾語として参加しているフィールドの名前（通常「キー」）。フィールドに名前を付ける方法については、データ型QIPの第1成分の「セグメントフィールド名(ST)」を参照。

第2成分　Relational Operator　比較演算子(ID)

有効な値についてはHL7表0209－比較演算子を参照。

HL7 表 0209－比較演算子

Relational operator	Value
EQ	等しい
NE	等しくない
LT	より小さい
GT	より大きい
LE	以下
GE	以上
CT	含む
GN	一般

第3成分　Value　値(ST)

フィールドがそれに対して比較される値。

第4成分　Relational Conjunction　比較論理積(ID)

「HL7表0210－比較論理積」を参照。 比較論理積は以下のように定義される。資格を得る行を選択するために複数の比較がされる場合、結合子はこれらの比較文を連結する。

HL7 表 0210－比較論理積

Relational conjunction	Note
AND	デフォルト
OR	

- 文字列に適用されたとき、関係オペレータLT、GT、LEおよびGEはアルファベットの比較を意味する。
- 「総括的な」比較は、指定された文字列の初めが選択文字列と一致するレコードを選び応答に含める。

© JAHIS 2012

- 反復フィールドがオペランドとして指定される場合、そのいずれかのフィールド条件が一致すれば、応答メッセージ中に含めるための行に資格を与える。
- ANDはORに優先する。より高度で複雑な条件は、埋め込みの問合せ言語メッセージあるいはストアプロシジャ問合せメッセージとして問合せが表現されることを要求する。

RCD　行・列定義

HL7 成分表－RCD　行・列定義

SEQ	LEN	DT	OPT	COMPONENT NAME
1	12	ST	O	Segment Field Name　セグメントフィールド名
2	3	ID	O	HL7 Data Type　HL7 データ型
3	2	NM	O	Maximum Column Width　最大コラム幅

PID-5の「姓」コンポーネントの値を含んでいる。データが最大幅の20桁

```
|@PID.5.1^ST^20|
```

これはセグメントフィールド名、データ型および最大長により列の書式を示す。

第1成分　Segment Field Name　セグメントフィールド名(ST)

HL7セグメントフィールド名であって、これはコラムを占めるフィールドを識別する（セグメントフィールド名の付け方については、QIP．1を参照）。

第2成分　HL7 Data Type　HL7データ型(ID)

3文字のHL7データ型。HL7表0440－データ型に従う有効な値のためのデータ型。

第3成分　Maximum Column Width　最大コラム幅(NM)

最大コラム幅であって、返信システムによって決まるもの（これはHL7定義の最大フィールド長さと異なるかもしれない）。

VH　来院時間

HL7 成分表－VH　来院時間

SEQ	LEN	DT	OPT	COMPONENT NAME
1	3	ID	O	Start Day Range　開始曜日
2	3	ID	O	End Day Range　終了曜日
3	16	TM	O	Start Hour Range　開始時刻
4	16	TM	O	End Hour Range　終了時刻

このデータ型は患者の居場所に来院できる時間を含んでいる。 最初の2つの成分に対する有効な値については、HL7表0267－曜日を参照。

第1成分　Start Day Range　開始曜日(ID)

来院時間範囲の開始の曜日。値については、HL7表0267－曜日を参照。

第2成分　End Day Range　終了曜日(ID)

来院時間範囲の最後の曜日。来院時間範囲の開始の曜日。 値についてはHL7表0267－曜日を参照。

HL7 表 0267－曜日

Value	Description
SAT	土曜日
SUN	日曜日
MON	月曜日
TUE	火曜日
WED	水曜日

© JAHIS 2012

Value	Description
THU	木曜日
FRI	金曜日

第3成分　Start Hour Range　開始時刻(TM)

来院時間範囲の最初の曜日の開始時間（第1の成分の「開始曜日」を参照）。

第4成分　End Hour Range　終了時刻(TM)

来院時間範囲の最後の曜日の終了時間（第2の成分の「終了曜日」を参照）。

PPN　実施者タイムスタンプ

HL7 成分表－PPN　実施者タイムスタンプ

SEQ	LEN	DT	OPT	COMPONENT NAME
1	15	ST	O	ID Number ID 番号
2	194	FN	O	Family Name　姓
3	30	ST	O	Given Name　名
4	30	ST	O	Second and Further Given Names or Initials Thereof 2 番目以降の名またはそれらのイニシャル
5	20	ST	O	Suffix (e.g., JR or III)　接尾語（例：JR または III）
6	20	ST	O	Prefix (e.g., DR)　接尾語（例：DR）
7	5	IS	B	Degree (e.g., MD)　学位（例：MD）HL7 Ver.2.5 より非推奨
8	4	IS	C	Source Table　ID 管理表
9	227	HD	O	Assigning Authority　割当権限者
10	1	ID	O	Name Type Code　名前型コード
11	1	ST	O	Identifier Check Digit　識別子チェックデジット
12	3	ID	C	Check Digit Scheme　チェックデジット体系
13	5	ID	O	Identifier Type Code　識別子型コード
14	227	HD	O	Assigning Facility　割当施設
15	26	TS	O	Date/Time Action Performed　行為実施日付／時刻
16	1	ID	O	Name Representation Code　名前表記コード
17	483	CWE	O	Name Context　名前の文脈
18	17	DR	B	Name Validity Range　名前の有効範囲　HL7 Ver.2.5 より非推奨
19	1	ID	O	Name Assembly Order　名前構成順序
20	26	TS	O	Effective Date　発行日付
21	26	TS	O	Expiration Date　失効日付
22	199	ST	O	Professional Suffix　専門職の接頭辞
23	705	CWE	O	Assigning Jurisdiction　割当管轄
24	705	CWE	O	Assigning Agency or Department　割当権限者または行政組織

このデータ型はTSデータ型につながれたXCNデータ型と等価なものであり、誰がいつアクションを実行したかを記録するために使用する。nullでない場合、実行者およびタイムスタンプの両方の値が設定されねばならない。

第1成分　ID Number　ID番号(ST)

成分8で示される使用者定義表によりコード化されたID。最初の成分が明示された場合にはID管理表または割当権限者に値を入れる必要がある。

© JAHIS 2012

第2成分　Family Name　姓(FN)

このデータ型はある個人の姓を完全に示すことを可能とする。必要なときは、このデータ型は個人の名前が、もともとの姓と配偶者の姓を含んでいる場合に、そのそれぞれを区別する。このデータ型はまた、メッセージにおいて、姓の接頭辞の部分（例えば"van"や"de"のような）と語根の部分とを区別することを可能にする。

第3成分　Given Name　名(ST)

ファーストネーム。

第4成分　Second and Further Given Names or Initials Thereof　2番目以降の名またはそれらのイニシャル(ST)

複数のミドルネームを空白で区切って入れることができる。

第5成分　Suffix (e.g., JR or III)　接尾語（例、JRまたはIII）(ST)

名前の接尾語を明記するのに用いる。（例、JrまたはIII）

第6成分　Prefix (e.g., DR)　接尾語（例　DR）(ST)

名前の接頭語を明記する。（例、Dr）

第7成分　Degree (e.g., MD)　学位（例：MD）(IS)

注：HL7 Ver.2.5 より HL7 旧バージョンとの互換性のためにのみ残されている。

専門職接頭語成分を参照。教育における学位（例、MD）を明記するのに用いる。提案されている値については「使用者定義表0360－学位／免許／資格」を参照。

第8成分　Source Table　ID管理表(IS)

この成分に関する使用者定義表の値として「使用者定義表0297－CNID管理表」のHL7識別子が使われている。最初の成分を記述するのに用いる。

第9成分　Assigning Authority　割当権限者(HD)

割当権限者はそのデータを生成したシステム（あるいは組織、政府機関の部署）についての一義的な識別子である。これはHD データ型である。「使用者定義表0363－割当権限者」がHD成分の最初の副成分＜ネームスペースID＞に与える値のHL7識別子として用いられる。

第10成分　Name Type Code　名前型コード(ID)

名前の型を表すコード。有効な値については「HL7表0200－名前型」を参照。

第11成分　Identifier Check Digit　識別子チェックデジット(ST)

このデータ型でのチェックデジットは、メッセージ処理系により生成された後付けのものではない。識別番号の一部分で、送信側アプリケーションで使用される部分が、この成分でいうチェックデジットである。送信側のアプリケーションが自己生成のチェックデジットを識別番号に含めていない場合は、この成分はnullにしなければならない。

第12成分　Check Digit Scheme　チェックデジット体系(ID)

使用されているチェックデジット方式の指定を含む。有効な値については「HL7表0061 -チェックデジット形式」を参照。

第13成分　Identifier Type Code　識別子型コード(ID)

患者に最初に識別子が割り当てられた、建物・場所の識別子。この成分は識別子の固有の部分ではないが、識別子の履歴に関する部分である。この成分は、特定の相互通信システムのために存在している。有効な値については「HL7表0203－ID型」を参照。

第14成分　Assigning Facility　割当施設(HD)

患者に最初に識別子が割り当てられた、建物・場所の識別子。この成分は識別子の固有の部分ではないが、識別子の履歴に関する部分である。この成分は、特定の相互通信システムのために存在している。

© JAHIS 2012

第15成分　Date/Time Action Performed　行為実施日付／時刻(TS)

この成分は行為がいつ実施されたかを記述する。

第16成分　Name Representation Code　名前表記コード(ID)

同じ名前／住所に対する別の名前／住所型および名前／住所表記は、このフィールドを、名前／住所型および／または名前／住所表記を違えて、繰り返すことで表現すべきである。一般的にこの成分はデータ項目で提供される表記の指示を行う。使用されている文字セットを示すことは必要ではない。したがって、表記は何を期待すべきかを示すが、それでもなお、送信側は自由に望むどんな文字集合を使っても内容をコード化することができる。この成分は受信者にヒントのみ与えるので、受信側は何が送られてきて何を表示する能力があるかをもとに選択を行うことができる。有効な値について「HL7表0465－名前／アドレス表記」を参照。

第17成分　Name Context　名前の文脈(CWE)

この成分は名前の使われる文脈を示すのに用いられる。主なユースケースはオーストラリアの保険医療においてである：異なる保険医療施設に入院する場合に、異なる名前を使用することを希望する先住民の患者である。別のユースケースは、米国で、医療従事者が少し異なる名前で免許を受けることができて、管理上の理由で正確な名前を届け出ることがきわめて重要な場合である。提案されている値については「使用者定義表0448－名前の文脈 」を参照。

第18成分　Name Validity Range　名前の有効範囲(DR)

注：HL7 Ver.2.5 より HL7 旧バージョンとの互換性のためにのみ保持されている。

この成分は、この名前が有効な期間を示す開始と終了の日付／時間を含む。副成分の説明については「DR－日付／時刻範囲」を参照。PPN.20発効日付およびPPN.21失効日付を参照。この成分は十分に表現することができず、v2.4の誤りとして認識されている。

第19成分　Name Assembly Order　名前構成順(ID)

この人名の構成要素の望ましい表示順を表す。有効な値については「HL7表0444－名前構成順」を参照。

第20成分　Effective Date　発効日付(TS)

知られている場合には、住所が正当で有効となる最初の日。

第21成分　Expiration Date　失効日付(TS)

知られている場合には、住所が正当で有効である最後の日。

第22成分　Professional Suffix　専門職の接頭辞(ST)

その人の専門職種（例、免許、資格、学位、専門学会の会員）を証明する資格を表示する略語あるいは略語の文字列を示すのに用いられる。人名が表示されるときに、専門職の接頭辞は、通常、姓の後に表示される。この成分は、非整形の文字列で、表示目的のみで用いられることに注意すること。

第23成分　Assigning Jurisdiction　割当管轄(CWE)

成分1の識別子を割り当てた地理・政治上のエンティティ。

第24成分　Assigning Agency or Department　割当権限者または行政組織(CWE)

成分1の識別子を割り当てた割当権限者または割当組織。

DR　日付／時間の範囲

HL7 成分表－DR　日付／時間の範囲

SEQ	LEN	DT	OPT	COMPONENT NAME
1	26	TS	O	Range Start Date/Time　開始日付／時刻
2	26	TS	O	Range End Date/Time　終了日付／時刻

書式：YYYY[MM[DD[HHMM[SS[.S[S[S[S]]]]]]]][+/-ZZZZ] ＆ ＜ 精度 ＞

© JAHIS 2012

第1成分　Range Start Date/Time　開始日付／時刻(TS)

指定された範囲内での最も早い日付／時間（時刻スタンプ）を含んでいる。

第2成分　Range End Date/Time　終了日付／時刻(TS)

指定された範囲内での最新の日付／時間を含んでいるTS（時刻スタンプ）データ型によって精度の指定ができることに注意すること。

RI　繰り返し間隔

HL7 成分表－RI 繰り返し間隔

SEQ	LEN	DT	OPT	COMPONENT NAME
1	6	IS	O	Repeat Pattern　繰り返しパターン
2	199	ST	O	Explicit Time Interval　明示的な時間間隔

このフィールドは、繰り返す予約の間隔を含んでいる。デフォルト設定は、成分の値がない場合、予約がただ一度のみ生じることを示す。

第1成分　Repeat Pattern　繰り返しパターン(IS)

使用者定義表0335－繰り返しパターンによって定義される。それ以上の詳細については、5.10節内Repeat pattern繰り返しパターンを参照。

第2成分　Explicit Time Interval　明示的な時間間隔(ST)

第1の副成分中でコードによって参照される実時間を明示的に列挙し、そのフォーマットはHHMM、HHMM、HHMM、....である。実際の管理時間が組織内で変わる場合、第2の副成分が第1の副成分を明確にするために使用される。詳細は、5.10節内Explicit time interval明確な時間間隔を参照。

SCV　予約クラスと値

HL7 成分表－SCV　予約クラスと値

SEQ	LEN	DT	OPT	COMPONENT NAME
1	20	CWE	O	Parameter Class　パラメータクラス
2	20	ST	O	Parameter Value　パラメータ値

HL7予約の章に関してのみ使用される。このフィールドが使用されるのは、パラメータと優先権を実施者（予約管理）アプリケーションに伝えるためであり、内容は適切な時間予約枠、資源、場所あるいは実施者（予約管理）上書き基準を選択して予約することである。

第1成分　Parameter Class　パラメータクラス(CWE)

実施者（予約管理）アプリケーションに渡されつつあるパラメータあるいは優先権を識別するコードである。 推奨値については「使用者定義表0294－時間選択基準パラメータ・クラス・コード」を参照。

使用者定義表 0294－時間選択基準パラメータ・クラス・コード

Parameter	Class Description: Valid Values
好ましい開始	予約要求、サービスあるいは資源のための好ましい開始時間。24 時間時計表記法を使用するフォーマット HHMM の中の任意の法的な時間仕様
好ましい終了	予約要求、サービスあるいは資源のための好ましい終了期間。24 時間時計表記法を使用するフォーマット HHMM の中の任意の法的な時間仕様
月曜	この曜日が予約するのに好ましい日かそうでないかを示すもの。 OK=好ましい予約日、NO=この曜日は好ましくない。
火曜	
水曜	
木曜	

© JAHIS 2012

Parameter	Class Description: Valid Values
金曜	
土曜	
日曜	

第2成分　Parameter Value　パラメータ値(ST)

そのパラメータに対する実際のデータ値である。

例えば、実施者（予約管理）アプリケーションが優先権パラメータを渡され、好ましい開始時間、好ましい終了期間、および週の好ましい日を指定して予約することを可能にする場合、それは次のパラメータ・クラス・コードおよび有効なデータセットを定義する。

TQ　タイミング数量

サービスの実施時期とその頻度を指定する。本章5.10参照

注: HL7 Ver.2.5 より HL7 旧バージョンとの互換性のためにのみ保持されている。第 7 章に定義されている TQ1 および TQ2 セグメントを参照。

© JAHIS 2012

5.5　検査項目コードについて

OBR-4、OBX-3には下記で定義された検査項目コードを使用するものとする。

5.5.1 日本臨床検査医学会　臨床検査項目分類コード

臨床検査項目分類コードの最新版につては、日本臨床検査医学会のホームページ
http://www.jslm.org/ を参照。

基本コード体系

臨床検査項目分類コード(以下、「項目コード」という)は5つの要素区分よりなり、それぞれ分析物コード、識別コード、材料コード、測定法コード、結果識別コードと称する。項目コードは、基本的に"分析物コード"により整理分類され、検査材料あるいは測定法などの別を所定の付加コードとの組み合わせにおいて認識する。

（1）分析物コード

検査対象物質を所定の細則に基づき、5桁の文字列により分類する。なお、一部例外として"反応名"を"物質名"に代えて適用する場合がある。

潜血反応、TTT、ZTT

（2）識別コード

分析物コードを検査内容に沿って細分する必要がある場合に4桁の数列により分類する。

ウイルスの分類、ウイルス抗体価の分類、アレルゲンの分類、リンパ球のCD分類

（3）材料コード

同一項目における検査材料の別を3桁の数列により分類する。（5.6 節はこのコードを転記している。）

（4）測定法コード

同一の項目における測定法の別を3桁の数列により分類する。

ラジオイムノアッセイ二抗体法、紫外吸光度法、嫌気性培養

（5）結果識別コード

一つの検査項目において、結果が単独あるいは複数を問わず、結果表現の別を2桁の数列により分類する。

項目コードの運用例

例：　髄液単純ヘルペスCF抗体価（CF法）
　　血清単純ヘルペス中和抗体価（中和法）

分析物	単純ヘルペス	5F190
識別	ウイルス抗体	1430
材料	血清	023
	髄液	041
測定法	CF 法	141
	ウイルス中和法	151
結果識別	希釈倍率(共通)	05
	HSV－1 抗原(固有)	51
	HSV－2 抗原(固有)	52

検査依頼時のコード

髄液単純ヘルペス CF 抗体価	5F190－1430－041－141
血清単純ヘルペス中和抗体価	5F190－1430－023－151

検査報告時のコード

髄液単純ヘルペス CF 抗体価	5F190－1430－041－141－05(希釈倍率)
血清単純ヘルペス中和抗体価	5F190－1430－023－151－51(HSV-1 抗原)
	5F190－1430－023－151－52(HSV-2 抗原)

© JAHIS 2012

5.5.2 臨床検査項目分類コードの利用

臨床検査項目分類コードは5つの基本コードを組み合わせ、実際の検査項目コードとして使用する。検査依頼時では結果識別コードを除く15桁で表現され、結果報告時ではさらに結果識別コードが追加され17桁で表現される。

5.5.3 検査項目コードと検査材料の関連

検査項目コード中に材料が設定されているが、これはあくまで一つの検査項目測定系を示すものである。 したがって、検査データを扱うシステムでは検査項目フィールドと検査材料フィールドを別に持つべきである。 OBR/OBXで用いる場合、検査項目フィールド(OBR-4,OBX-3)にはオーダする検査項目を示すコード(すなわち商品コードのような性格)を、検査材料フィールド(OBR-15)には実際に提出する材料コードを設定する。

5.5.4 検査項目コード事例集

臨床検査項目分類コードを実際に組み合わせ検査項目コードに付番するのは様々な解釈もあり容易ではない。前述の日本臨床検査医学会のホームページ http://www.jslm.org/ にて臨床検査項目分類コードで分類された実際に使用されることの多い検査項目について付番したコード表（運用コード表）を掲載している。

© JAHIS 2012

5.6　検査材料・採取部位コードについて

OBR-15、SPM-4、SPM-10では下記で定められた材料コードを使用するものとする。

5.6.1 日本臨床検査医学会　臨床検査項目分類コード　材料コード

臨床検査項目分類コードの最新版につては、日本臨床検査医学会のホームページ
http://www.jslm.org/ を参照。

材料コード適用細則

1.　材料コードの選択は、一般の生体成分分析などにおいては"材料コードⅠ"によるものとし、細胞診・生理機能検査などに使用される"組織の詳細および生体部位"については"材料コードⅡ"に、その他の非生体材料については"材料コードⅢ"による。

2.「尿」および「血液」について

特別な場合を除き、尿は「尿(含むその他の尿)」(001)および「蓄尿」(004)を、血液は「全血」(018)、「血漿」(022)および「血清」(023)に分類することが望ましい。

3.「全血」(添加物入り(019))について

抗凝固剤、抗血小板剤などの添加物により検査材料の安定化を必要とする検査項目に適用する。

4.「ペア材料」(098)について

複数の異なる検査材料を必要とする検査項目に適用する。

各種クリアランス試験

材料コードⅠ一覧

コード	材料名	コード	材料名	コード	材料名
	○尿・便		○穿刺液		○組織
001	尿(含むその他)	040	穿刺液(含むその他)	070	組織*(含むその他)
002	自然排尿	041	髄液	071	生検組織*
003	新鮮尿	042	胸水	072	試験切除組織*
004	蓄尿	043	腹水	073	手術切除組織*
005	時間尿	044	関節液	074	剖検切除組織*
006	早朝尿	045	心嚢液	075	固定組織*
007	負荷後尿	046	骨髄液		○その他
008	分杯尿	047	羊水	077	毛髪
009	カテーテル採取尿	048	腰椎	078	爪
010	尿ろ紙	049	骨髄塗抹標本	080	菌株
011	膀胱穿刺		○分泌液	081	結石(含むその他)
012	動物尿	050	分泌液(含むその他)	082	尿路系結石
015	便	051	消化器系からの分泌液	083	胆石
	○血液	052	胃液	085	擦過物
017	血液(含むその他)	053	十二指腸液	086	膿(含むその他)
018	全血	054	胆汁	087	開放性の膿
019	全血(添加物入り)	055	膵液	088	非開放性の膿
020	動脈血	056	唾液	089	水泡内容物
021	毛細管血	059	前立腺液	090	嘔吐物
022	血漿	060	精液	091	洗浄液
023	血清	061	喀痰	092	血液以外の抽出液
024	血球浮遊液	062	乳汁	093	浸出液

© JAHIS 2012

コード	材料名	コード	材料名	コード	材料名
025	赤血球	063	鼻汁	094	塗抹標本(血液、骨髄以外)
026	リンパ球	064	咽喉からの分泌液	095	透析液
027	血小板	065	耳からの分泌液	096	かん流液
028	白血球	066	目からの分泌液	097	培養液
029	臍帯血	067	膣からの分泌液	098	ペア材料
030	溶血液	068	皮膚からの分泌液(汗)	099	その他の材料
031	除タンパク液	069	気管からの分泌液		
032	血液抽出液				
033	血液ろ紙				
034	血液塗抹標本				
036	動物血				
037	動物全血				
038	動物血漿				
039	動物血清				

材料コードⅡ(組織及び生体部位)使用上の注意

組織及び生体部位は200～990の3桁で定義し、生検、およびそれぞれの切除組織は、下記のように定義する。

生検組織　⇒　○○1or○○6
試験切除組織　⇒　○○2or○○7
手術切除組織　⇒　○○3or○○8
剖検切除組織　⇒　○○4or○○9

例
皮膚　生検組織　⇒201
胃　生検組織　⇒456
骨　試験切除組織⇒252
膀胱　試験切除組織⇒667
膣　手術切除組織⇒553
虫垂　手術切除組織⇒478
肺　剖検切除組織⇒334
小脳　剖検切除組織⇒719

材料コードⅡ(組織及び生体部位)

コード	材料名	コード	材料名	コード	材料名
	○皮膚・乳腺		○消化管・付属消化器		○泌尿生殖器(男性器)
200	皮膚		(口腔および喉頭)	600	全立腺、精嚢
205	乳房	400	口腔	605	睾丸
210	乳腺	405	口唇	610	陰茎
	○造血・ リンパ・細網	410	舌	615	その他の男性性器
220	リンパ節	415	歯	620	男女不明性器
225	脾臓	420	歯肉		○泌尿生殖器(泌尿器)
230	骨髄	425	唾液腺	650	腎臓
	○運動器・軟部	430	咽頭	655	腎盂
250	骨	435	扁桃	660	尿管
255	関節		○消化管・付属消化器	665	膀胱
260	骨格筋、筋膜		(上部消化管)	670	尿道
265	軟骨	450	食道	695	その他の泌尿器
270	靭帯	455	胃		○神経感覚器

© JAHIS 2012

コード	材料名	コード	材料名	コード	材料名
275	腱、腱鞘		○消化管・付属消化器	700	眼および眼付属器
280	軟部組織		(下部消化管)	705	大脳(大脳半球、脳梁)
	○呼吸器(上部呼吸器)	460	小腸、十二指腸膨大部	710	中脳、橋
300	鼻	465	空腸および回腸	715	小脳
305	鼻腔	470	大腸	720	延髄、脊髄
310	上顎洞、他の副鼻腔	480	直腸	725	脳膜、脊髄膜
315	喉頭蓋、喉頭	485	肛門	730	内耳
	○呼吸器(肺・気管支)		○消化管・付属消化器	735	脳神経
330	肺		(肝・胆・膵)	740	脊髄神経
335	気管	500	肝、肝内胆管	795	その他の神経系
340	気管支	510	胆道(外胆管、外胆道)		○内分泌
345	肋膜	515	膵	800	下垂体、頭咽管
350	縦隔		○消化管・付属消化器	805	松果体
355	胸膜		(腹膜・後腹膜)	810	副腎
365	その他の呼吸器	530	腹膜	815	旁神経節
	○心臓・血管	535	後腹膜、尾仙部	820	甲状腺
370	心臓	545	その他の消化器	825	副甲状腺
375	心臓弁膜		○泌尿生殖器(女性器)	830	胸腺
380	心嚢	550	膣	895	その他の内分泌
385	血管	555	子宮		○その他
390	動脈	560	子宮頚部	900	頭頚部
395	頚動脈	565	子宮膣部	910	胸郭
		570	子宮内膜	920	腹部
		575	卵管	930	上下肢
		580	卵巣	990	その他部位
		585	胎盤、臍帯		
		590	絨毛その他		
		595	外陰およびその他の女性器		

材料コードⅢ(その他の非生体材料)

コード	材料名	コード	材料名	コード	材料名
991	X線フィルム				

© JAHIS 2012

5.7　検査結果コメントの扱い

検査結果コメントを必要とする場合、検査項目IDを接尾辞で修飾しOBXを追加する。以下にその方法について解説する。

5.7.1 OBX に伴う叙述的報告について

放射線科などの部門から送信される読影レポートは通常、多くの副成分から構成される(例えば、胸部X線レポートは、記述、診断、指導から構成することができる)。心電図などのその他の検査には、そのような類似の成分だけでなく数値検査(左心室拡張期の直径など)も含まれる。外科病理学レポートには、採取部位、概略記述、詳細記述および各検体の仮診断など複数の検体・レポート関連情報を含むことができる。

HL7は、叙述的報告共通成分に使う検査IDを構築するためのコード接尾辞を定義した(表7．1を参照)。そのような成分に使う検査項目は、適切な接尾辞を検査群ID(どのようなコーディング方式の場合でも先行OBRの「OBR－4－検査群ID」内のID)に連結することで得られる。例えば、胸部X線診断用の検査IDは、胸部X線検査ID(CPT4の場合、71020)、副成分区切り文字、それに接尾辞"IMP"から構成される(つまり71020&IMPになる)。

送り手と受け手が合意した場合、結果セグメントの"検査ID"成分は、先行OBRの検査IDと同じならば、オプションで省略することができるだろう。この場合、結果セグメントのOBX－3－検査項目内には&IMP、&RECなどと記述して、&と接尾辞だけを送信する。

表 7-1.　Observation ID suffices　検査項目接尾辞

Coded Results	Suffix	Type
Diagnostic Impression　所見	IMP	CWE
Recommendation　指導	REC	CWE
Confirming Procedures　処置確認	CNP	CWE
Procedure Medication　投薬治療	MED	CWE
Anatomic Site　部位	ANT	CWE
Device/Instrument　機器/器具	DEV	CWE
Serial # Device/Instrument　機器/器具の連番	SER	ST
Bulk Text Reports　テキスト・レポート		
Gross Or General Description Of The Study　検査の概略記述または概要	GDT	TX or FT
Microscopic Or Secondary Description　詳細または 2 次的記述	MDT	TX or FT
Technician's Comment　医療技術者のコメント	TCM	TX or FT
Addendum Note　追加メモ	ADT	TX or FT
Other　その他		
Diagnosis Onset Date/Time　診断開始日時	ITM	TS
Diagnosis Resolution Date/Time　診断終了日時	RTM	TS
Comparison Study　比較検査	CMS	CWE
Comparison Date/Time　比較日時	CMT	TS
Comparison Results　比較結果	CMR	CWE
Comparison Change　比較変化	CMC	CWE
Predicted Value　推定値	PRD	ST
Percent Predicted　推定率	PPR	ST
After Drug Observed　投薬後観察	AFD	ST
Predicted Value After Drug　投薬後推定値	ADP	ST
Percent Predicted After Drug　投薬後推定率	APP	ST
Timing Information　タイミング	TIM	TS

© JAHIS 2012

Coded Results	Suffix	Type
Channel Definition Data　チャンネル定義	CHN	CD
Waveform Digital Data 波形デジタルデータ	WAS	NA or MA
Waveform Annotation 波形注釈	ANO	CWE

5.7.2 叙述的報告の共通成分に使う検査 ID を定義するための接尾辞の解説

Diagnostic impressions 所見(IMP)

接尾辞がIMPの場合結果は診断か所見でありCWEデータ型として保管される。僧帽弁脱出症と大動脈弁狭窄症などの複数の別個の診断が報告されている場合、それぞれの診断は個別のOBXセグメントで送るべきである。1個のコード化結果セグメントに複数のコードが含まれているのは、そのようなコードが主要診断の修飾子である場合に限られる。つまり主要診断に関する追加詳細情報を報告するためであり、全く異なる診断を報告するためではない。

所見用コード化データ型が存在するからといって、報告部門でそのような所見を全て実際にコード化しなければならないということではない。所見は書き取りテキストとして送信できるが、テキストは、CWEデータ型の第2成分で送信することにより、コードを区別すべきである、つまり、テキストの前には成分区切り文字を記述すべきである(例えば ^ うっ血性心不全のように)。複数のテキスト所見が報告されている場合、個別のOBXセグメントで報告し、それらのテキスト所見が別個の所見であることを示すべきである。

Recommendations 指導(REC)

接尾辞がRECの場合、その値はCWEデータ型結果であり、反復テスト、フォローアップ、あるいは治療に関する読影医師の指導を表わしている。例えば、疑わしい病変結果がマンモグラフィ上で見られたら、読影医師は、6か月以内にマンモグラフィを再実施するかあるいは直ちに穿刺生検を実施するよう指導することができる。指導手順は、コードとして、および(もしくは)コード化識別子構造のテキスト記述として記録する。複数のフォローアップ検査が推奨されている場合、そのような指導はそれぞれ個別のRECで送られる。

Confirming procedure 処置確認(CNP)

処置確認OBX接尾辞は、IMP　OBXに報告された診断を確定するのに使用される追加検査を識別する。例えば、電子顕微鏡を使って外科病理学診断を確定する場合、電子顕微鏡「OBX－3－検査項目」用識別子は、処置確認を表す接尾辞の付いた検査IDの値フィールドとして保管されるだろう。処置確認は、外科病理学レポートにおいて最も重要である。しかし処置確認は内視鏡検査などのサービスでも使用され、処置確認として生検や培養などを実施したと記録することもできる。

Procedure medication 処置投薬治療(MED)

接尾辞MEDの付いたOBX－3－検査項目は、造影剤の投薬、生理反応を引き起こすことを目的とした投薬(ストレス試験などを実施するために)、あるいは事前投薬など、手順の一部として投薬を実施した場合その薬剤に関する情報が含まれていることを示す。患者が複数の投薬を受ける場合、それぞれの薬剤は個別のOBX投薬セグメントで報告すべきである。伝送システムで投薬にコードを利用できる場合、そのようなコードはOBX－3－検査項目の第1成分として記録する。薬剤名と(または)投薬量は、OBX-5－検査結果値の第2成分に含むことができる。

Anatomic site 解剖部位(ANT)

単一レポートに複数部位についての検査を含むような診断観察がある。例えば患者が胆嚢手術に伴い虫垂切除術を受けた場合、両検体に対する病理学者の病理診断は通常、1つのレポートの単一検体番号に含まれるだろう。それぞれ個別の部位は、接尾辞ANT(OBX－3－検査項目)を持つ個別のOBXセグメントとして報告されることになる。

Devices 装置(DEV)

要求があれば、検査の実施に使用した器具あるいは装置を検査の追加"結果"として転送することができる。この場合、OBX－3－検査項目の接尾辞はDEVである。例えば、臨床検査室の自動化

© JAHIS 2012

装置、放射線科の画像装置とそのモデル番号、病棟の自動血圧測定器など。装置の識別子はいずれコードとして指定されることが予想されるので、コード化された入力値として装置を指定する。とりあえず当初は、装置関連情報のほとんどをCWE識別子の第2成分のテキストとして転送すると期待される。

Serial# Device / Instrument 機器/器具の連番(SER)

必要に応じ、検査に使用した機器や器具の製造番号などの連番を表記する場合に用いる。

Gross or general description 概略記述もしくは一般記述(GDT)

一般記述を表す接尾辞により、診断検査の記述成分が識別される。解剖病理学の場合には、一般記述は検体についての概略記述に適用される。記述が複数のパラグラフから成る場合、受信コンピューター側でパラグラフをパラグラフとして表示できるようにするため、パラグラフは反復区切り文字により分離すべきである。レポートが簡潔に表現できる通常検査やEKG検査などの場合は、診断セグメントですべての情報を表現し尽くしていれば、レポート用記述セグメントを含む必要はないだろう。

Secondary or microscopic description 2次的記述もしくは詳細記述(MDT)

ほとんどの検査では2次的記述は必要ないだろう。しかし、外科病理学の場合には、詳細記述はレポートの独立箇所として存在する。それは顕微鏡を通して見られるような顕微鏡組織検査について記述する。詳細記述は、OBX－3－検査項目の接尾辞にMDTを指定したセグメントで送られるだろう。

Technician comment 医療技術者コメント(TCM)

医療技術者がコメントを記述するのに使用するフリーテキストであり、OBX－3－検査識別子の接尾辞がTCMである結果セグメントに保管される。このコメントの内容は通常、処置を実施する際の技術情報である。

Addendum note 追加情報メモ(ADT)

オリジナルの叙述の後に追加情報として加えられ、レポートの個別のラベル付きセクションとして送られる情報を報告するのに使用する。

Diagnosis (problem) onset date time 診断(プロブレム)開始日時(ITM)

プロブレムが存在するとはじめて認識された日時を記録するのに使用。

Diagnosis (problem) resolution date time 診断(プロブレム)終了日時(RTM)

プロブレムが治療されたか軽減した日時を記録するのに使用。

Comparison study 比較検査(CMS)

診断レポートの読み手が現在の検査結果を以前の検査結果と比較する場合、この接尾辞により、比較検査の性質を個別の結果として報告することができる(つまり検査IDの接尾辞がCMSであるセグメントを持つOBXセグメント)。他の任意の比較値が転送さていれば、他の比較OBXセグメント内の検査IDによりテストが識別されるので、通常これは必要とされない。

Comparison date time 比較日時(CMT)

診断処置の読み手が以前の検査結果と現在の検査結果を比較する場合、この接尾辞により、以前の検査の日時を個別の結果として現行レポートで報告することができる。

Comparison results 比較結果(CMR)

診断処置の読み手が、現在の結果を同じ患者に関する以前の結果と比較する場合、この接尾辞により、以前の結果(診断)を個別の結果として現行レポートで報告することができる。

Comparison change 比較変化(CMC)

診断部門が現在の検査と以前の検査の比較を報告する場合、この接尾辞を使って変化の程度を個別の結果としてレポートに報告する。(例えば、大幅に悪化、悪化、最小限悪化しないこと、変化なし、少し回復、回復、非常に回復、正常に回復)現行の書き取りレポートでは、比較に関する情報は通常、検査記述に含まれる。上に列記した比較接尾辞の規定は、この情報を個別の成分として送信しなければならないという意味ではない。単に比較変数を使用できるという意味である。

© JAHIS 2012

システム側で個別のレポート成分としてこの情報を転送したい場合、これらの接尾辞により所望の比較を選択することができる。

Predicted 推定(PRD)

多くの肺活量測定の場合がそうであるように、検査に推定値がある場合、この接尾辞により推測と実測定が区別される。最大肺活量を表すAS4コードは94010．1である。推定される最大肺活量は94010．1&PRDになるだろう。

Percent of predicted 推定率(PPR)

これは(実測)/(推測)により計算される観察である。最大肺活量の場合、推定率は94010．1&PPRとなるだろう。

After drug observed 投薬後検査(AFD)

投薬の前後に検査を実施する場合がある。これは特に肺活量測定で生じる。投薬前検査は基本IDにより識別される。投薬後測定は接尾辞「AFD」により識別される。最大肺活量に基本コード「AS4」を使用して、投薬後結果は94010．1&AFDとして特定されるだろう。

Predicted value after drug 投薬後推測値(ADP)

投薬後推測値は、接尾辞「ADP」により識別される。上記のパターン例に従い、94010．1&ADPとなるだろう。

Percent predicted after drug 投薬後推測率(APP)

投薬後の推測率は、基本単位コードへ接尾辞「APP」を適用することで識別される―― 最大肺活量にAS4コードを使用して94010．1&APPとなる。

Timing Informationタイミング情報(TIM)

TIM属性OBX結果セグメントは、波形チャネルをグループ化する与えられた検査サブIDにおいて、第1のデータポイントの日付および時間を確立する。波形データの時間シーケンスでギャップがある場合、これは、同じ検査サブIDを備えた事後のWAV属性結果セグメントに先立ち、新しいTIM属性結果セグメントの送信によって示されるべきである。

Channel Definition Data チャネル定義データ(CHN)

CHN属性OBX結果セグメントは、デジタルでサンプリングされた時系列波形のための1つ以上の記録チャネルを定義する。OBX-5－検査値フィールドは補足チャネルを定義するために反復することがある。

Waveform Digital Data 波形デジタルデータ(WAV)

WAV属性OBX結果セグメントは、実際の波形データ(アナログ/デジタル変換器(ADC)またはサンプリングされた時系列デジタルデータ)を送信するためである。WAV属性結果セグメントは、それらの対応チャネル定義(CHN属性OBX結果セグメント)に検査サブIDを介して関係している。CHN属性結果セグメントの中で定義されたチャネルの数は、それに関連したWAV属性結果セグメントに含まれていた、多重化データのチャネルの数を指定する。すべてのチャネルに対する多数の連続の時間での波形データの与えられたセットは、単一のWAV属性結果セグメント中で送信される。または多数の連続のWAV属性結果セグメント中で送信される。このとき、おそらく他の種類の点在した結果セグメントとともに送信される(例えばコメントを含む)。

WAV属性結果セグメントのデータ型はNA(数値の配列)またはMA(多重化される配列)である。NAデータ型を使用すると、データ値は「チャネルブロック」、すなわち「多重化されていない」書式で記録される。各チャネルのためのデジタルサンプルは、成分の区切記号を使用して分離される。また、連続のチャネルは、反復区切記号を使用して分離される。MAデータ型を使用すると、データ値は「多重化チャネル」の書式で記録される。すなわち、第1時間サンプルの値(すべてのチャネル)が最初に送信される。次に第2時間サンプルの値(すべてのチャネル)が送信される。以下同様にすべてのサンプルが送信されるまで続く。各チャネルのデジタルデータは成分区切記号によって分離される。また、連続のデータは反復区切記号によって分離される。チャンネル多重化書式が使用できるのは、多重化チャネルが全て同じ有効なサンプリング周波数を持っているときだけである。

© JAHIS 2012

Waveform Annotation 波形注釈(ANO)

ANO属性OBXセグメントが使用されるのは、波形注釈(波形記録中に与えられたときに関連したコード化された入力)を送信するためである。ANO属性結果セグメントは、それらの対応するチャネル定義(CHN属性OBX結果セグメント)に対して、検査サブIDを介して参照される。CHN属性結果セグメントの中で定義されたチャネルの数は、それに関連した任意のANO属性結果セグメントに含まれる注釈のチャネルの数を指定する。

ANO属性結果セグメントのデータ型はCWEである。連続のチャネルへの注釈コード化入力は、反復区切記号を使用して分離される。隣接する反復区切り記号が使用されるのは、チャネルの注釈コード化入力が多重チャンネルの結果セグメントの中にないときである。値については「使用者定義表0317－注釈」を参照。

使用者定義表 0317－注釈

Value	Description
9900	ペーススパイク
9901	SAS マーカー
9902	感知マーカー
9903	ビートマーカー
9904	etc

5.7.3 検査結果コメントの例

検査結果コメントは検査結果のOBXに続くOBXで表現する。コメントの値型はSTやTXが代表的と考えられるがコメントコードでの運用しか出来ない場合は二者間の協議の上で、値型CWEでコードでの運用も可能である。出来る限りコメント内容に制限のないフリーテキストを推奨する。MEDIS暫定版では統一結果コメントを定めていたのでその場合のsuffixも参考にされたい。下記に例を示す。

```
OBX||NM|3A016000002327101^A/G比^JC10||2.33||1.30-2.00|H|||F     検査結果
OBX||CWE|3A016000002327101&TCM^^JC10||E01^参考値です^L||||||F    そのコメント
```

ＭＥＤＩＳ－ＤＣ臨床検査データ交換規約暫定版 結果コメントの例

	コメント グループ	記号	コメント内容	suffix
(A)	検査材料に関するメッセージ	A01	凝固が認められました	TCM
		A02	溶血しておりました	TCM
		A03	乳びしておりました	TCM
(B)	検査方法に関するメッセージ	B01	高値のために希釈いたしました	TCM
		B02	検体量不足のため希釈検査いたしました	TCM
		B03	検体状態により希釈検査いたしました	TCM
		B04	抗補体作用により希釈検査いたしました	TCM
		B05	濃縮検査いたしました	TCM
(C)	結果値を補足するメッセージ	C01	再検済です	TCM
		C02	検体量不足のため再検できませんでした	TCM
		C03	弱い反応が認められました	TCM
		C04	非特異性反応が認められました	TCM
		C05	抗補体作用が認められました	TCM
		C06	薬剤の影響が考えられます	TCM
		C07	報告書の参照をお願いいたします	TCM
		C08	別紙の参照をお願いいたします	TCM
(D)	単位・基準値に関するメッセージ	D01	単位が変更になっております	TCM
		D02	基準値が変更になっております	TCM

© JAHIS 2012

	コメント グループ	記号	コメント内容	suffix
(E)	参考値に関するメッセージ	E01	参考値です	TCM
		E02	溶血検体のため参考値です	TCM
		E03	乳び検体のため参考値です	TCM
		E04	ビリルビン高値検体のため参考値です	TCM
		E05	フィブリン析出のため参考値です	TCM
		E06	非特異性反応が認められ参考値です	TCM
		E07	検体量不足のため参考値です	TCM
		E08	指定外材料のため参考値です	TCM
		E09	凝集のため参考値です	TCM
		E10	凝固のため参考値です	TCM
		E11	細胞崩壊のため参考値です	TCM
		E12	汚染の影響が考えられますので参考値です	TCM
		E13	リンパ球（細胞数）が少ないため参考値です	TCM
		E14	除蛋白不十分につき参考値です	TCM
		E15	指定外容器のため参考値です	TCM
		E16	検査材料不備のため参考値です	TCM
		E17	時間経過のため参考値です	TCM
		E18	混濁検体のため参考値です	TCM
		E19	採取方法不適当のため参考値です	TCM
		E20	パターン不良のため参考値です	TCM
		E21	自己抗体陽性につき参考値です	TCM
		E22	他成分の重複が考えられます	TCM
(F)	後日報告に関するメッセージ	F01	後日報告いたします	TCM
		F02	再検中です	TCM
		F03	高値のため再検中です	TCM
		F04	低値のため再検中です	TCM
(G)	検査中止に関するメッセージ	G01	検体量不足のため検査不可能でした	TCM
		G02	溶血検体のため検査不可能でした	TCM
		G03	乳び検体のため検査不可能でした	TCM
		G04	凝固検体のため検査不可能でした	TCM
		G05	部分凝固のため絶対数は出ません	TCM
		G06	ビリルビン高値検体のため検査不可能でした	TCM
		G07	非特異性反応が認められ検査不可能でした	TCM
		G08	測定感度以下のため検査不可能でした	TCM
		G09	抗補体作用が認められ検査不可能でした	TCM
		G10	リンパ球（細胞数）不足により検査不可能でした	TCM
		G11	薬剤の影響が認められ検査不可能でした	TCM
		G12	細胞崩壊のため検査不可能でした	TCM
		G13	検査材料が異なるため検査不可能でした	TCM
		G14	定性結果が陰性のため定量検査は中止いたしました	TCM
		G15	データ値は換算できませんでした	TCM
		G16	未知物質干渉のため検査不可能でした	TCM

© JAHIS 2012

	コメント グループ	記号	コメント内容	suffix
		G17	増殖不良のため分析できませんでした	TCM
		G18	データは検出できませんでした	TCM
		G19	検査不可能でした	TCM
		G20	検査を取消いたしました	TCM
(Z)	運用時にユーザの要望により 設定するコメント Z01～Z20			ADT

© JAHIS 2012

5.8　定性結果・不等号等の表現方法

OBXセグメントの検査結果値（OBX-5）は必ず値型（OBX-2）で定義されているものであり、下記に参考のため例を示す。

例：OBX-2値型	OBX-5検査結果値	検査結果の表示
NM	+0123.5	123.5または+123.5
NM	-0199.8	-199.8
NM	<100　（これは誤り）	
NM	+4.5E+3	4.5E+3または+4.5E+3（4.5 x 103）
ST	+0123.5	+0123.5
ST	<100	<100
ST	陽性	陽性
CWE	^陽性	陽性
SN	<^100	<100
SN	<^1E+2	<1E+2（<100）

定性結果値の場合、そのままST型にて表現する方法と結果をコードとして表記するCWE型、CNE型がある。また、数値結果であっても以下・以上など比較演算子を伴う場合がある。その場合文字を含むためNM型ではなく、そのまま文字列としST型で表現する方法と構造的に表現するSN型がある。SN型はデータを構造的に表現するため統計的扱いに適するが表示の際に編集が必要である。どの値型を使用するかは、検査報告をする施設にゆだねられるが結果を受け取る側のシステムではどの値型でも正しく処理できる様配慮しなければならない。さらにSN型の表記例をあげておく。

結果値	SN 型表記
100 超	>^100
100 以上	>=^100
10 未満	<^10
5 以下	<=^5
(-)	^^-
(+)	^^+
(+-)	^^+-
1+	^1^+
2+	^2^+
2～3	^2^-^3
1:128	^1:^128
1/3	^1^/^3

© JAHIS 2012

5.9　コード体系表

この表はASTM E1238-94、診断、処置、検査、薬物ID、健康上のアウトカムおよび他のコード体系を示す。コードセットを発行している機関は、複数のコードセットを作成していることがある。そのため、コード体系を一意に表現するためには、コード化専門機関の名称と、コードセットまたは表名称の組み合わせで表現する。CWEデータ型にHL7の表が用いられた場合、コード化体系の名称の欄には、HL7表番号nnnnに対し、HL7nnnnと定義される。同様にISOの表はISO番号がnnnnの場合、ISOnnnnと名づけられる。

HL7 表 0396　–　コード体系表

Value	Description	Comment/Source
一般的なコード		
L	Local general code	送信側または受信側の目的のためにローカルに定義されたコード。下位互換性のため、本規約では非推奨。
99zzz	Local general code (where z is an alphanumeric character)	送信側または受信側の目的のためにローカルに定義されたコード。ローカルコードは 99zzz（z はアルファベットと数字を組み合わせた文字）により識別される。
LB	Local billing code	特定地域内の支払いコードまたは名前（もし必要なら、拡張有り）。
HL7nnnn	HL7 Defined Codes where nnnn is the HL7 table number	nnnn は HL7(Health Level Seven) 表 ナンバー
ISOnnnn	ISO Defined Codes where nnnn is the ISO table number	International Standards Organization where nnnn is the ISO table number
ISO+	ISO 2955.83 (units of measure) with HL7 extensions	
医薬品コード		
ART	WHO Adverse Reaction Terms	WHO Collaborating Centre for International Drug Monitoring, Box 26, S-751 03, Uppsala, Sweden.
CAS	Chemical abstract codes	これらは、後発品も含めてすべての一般的な薬を含む。コードは違った形態の服用のなかでは区別されない。 さまざまな同等の CAS 番号が存在したとき、USAN に最初に記載されているものを使う。USAN 1990 and the USP dictionary of drug names, William M. Heller, Ph.D., Executive Editor, United States Pharmacopeial Convention, Inc., 12601 Twinbrook Parkway, Rockville, MD 20852.
CDCM	CDC Methods/Instruments Codes	Public Health Practice Program Office, Centers for Disease Control and Prevention, 4770 Buford Highway, Atlanta, GA, 30421. Also available via FTP: ftp.cdc.gov/pub/laboratory _info/CLIA and Gopher: gopher.cdc.gov:70/11/laboratory_info/CLIA
FDDC	First DataBank Drug Codes	全国医薬品データファイル。First DataBank, Inc. (800) 633-3453, or http://www.firstdatabank.com　の所有物
FDDX	First DataBank Diagnostic Codes	薬-診断上の相互作用チェックに使う。First DataBank, Inc.の所有物。FDDC 参照。
MDDX	Medispan Diagnostic Codes	薬-診断上の相互作用チェック。所有権のある製品. MediSpan, Inc., 8425 Woodfield Crossing Boulevard, Indianapolis, IN 46240. Tel: (800) 428-4495. http://www.espan.com/medispan/pages/ medhome.html. As above for MGPI.
MEDC	Medical Economics Drug Codes	薬を識別するための所有権のあるコード. Medical Economics Data, Inc. (800) 223-0581 の製品
MEDR	Medical Dictionary for Drug Regulatory Affairs (MEDDRA)	Dr. Louise Wood, Medicines Control Agency, Market Towers, 1 Nine Elms Lane, London SW85NQ, UK　Tel: (44)0 171-273-0000 http://www.open.gov.uk/mca/mcahome.htm
MEDX	Medical Economics Diagnostic Codes	薬-診断上の相互作用チェック。 Medical Economics Data, Inc. (800) 223-0581 の製品

Value	Description	Comment/Source
MGPI	Medispan GPI	薬の製造元やサイズまでのレベルで薬を識別する Medispan hierarchical drug コード。MediSpan, Inc., 8425 Woodfield Crossing Boulevard, Indianapolis, IN 46240. Tel: (800) 428-4495 の製品
MVX	CDC Vaccine Manufacturer Codes	CVX と同様
W1	WHO record # drug codes (6 digit)	World Health organization record number code。一意的な連続した番号は、それぞれ一意的な成分薬とそれぞれ一意的な多様成分薬に割り当てられる。8 つの数は次のようなコードに割り当てられる：6 つの数は効果のある薬剤を識別し、2 つの数は塩を識別する。6 つの数は調剤ユニットで一意的な薬剤を示している。6 つの指数コードは W1 によって分類され、8 つの指数は W2 によって分類される。
W2	WHO record # drug codes (8 digit)	
W4	WHO record # code with ASTM extension	ASTM extensions (参照： 実装ガイド)といっしょに WHO コードは、血清レベルレポート、薬使用教育での患者応諾、平均日常服用量などに使用される（参考：Appendix X1 実装ガイド）。
WC	WHO ATC	WHO の ATC コードは治療上の部類によって薬の階層的分類を与える。それらは上記に記したレコード番号にリンクする。
NDC	National drug codes	このコードは投薬形式、メーカーおよびパッケージングに関して、個々の薬に一意的なコードを与える。（National Drug Code Directory, FDA, Rockville, MD および他の文献より）
CST	COSTART	薬副作用の反対のための国際コードシステム. In the USA, maintained by the FDA, Rockville, MD.
CVX	CDC Vaccine Codes	国民免疫プログラム, Centers for Disease Control and Prevention, 1660 Clifton Road, Atlanta, GA, 30333
医薬品以外の特定のコード		
ACR	American College of Radiology finding codes	American College of Radiology, Reston,VA の Radiological Diagnosis Revised, 3rd Edition 1986 からの索引。
AS4	ASTM E1238/ E1467 Universal	American Society for Testing & Materials and CPT4 (参考： Appendix X1 of Specification E1238 and Appendix X2 of Specification E1467).
AS4E	AS4 Neurophysiology Codes	神経生理学のための ASTM の診断コードと検査結果コード/グレードシステム. 参考：ASTM Specification E1467, Appendix 2.
ATC	American Type Culture Collection	生物学的材料と関連するデータに関係する培養 (微生物、 組織培養など.)の参照。American Type Culture Collection, 12301 Parklawn Dr, Rockville MD, 20852. (301) 881-2600. http://www.atcc.org
C4	CPT-4	American Medical Association, P.O. Box 10946, Chicago IL 60610.
C5	CPT-5	（発展途上のため、上記と同じ連絡先）
CD2	CDT-2 Codes	American Dental Association's Current Dental Terminology (CDT-2) code. American Dental Association, 211 E. Chicago Avenue,. Chicago, Illinois 60611.
CDS	CDC Surveillance	CDC 監視コード。公衆衛生監視に必要な独自のデータ。Epidemiology Program Office, Centers for Disease Control and Prevention, 1600 Clifton Rd, Atlanta, GA, 30333. (404) 639-3661.
CE	CEN ECG diagnostic codes	CEN PT007. ECG の診断コード（略記）と説明の包括的なセットが CENTC251 によって副-標準として発行された。以下から入手可能：CENTC251 secretariat, c/o Georges DeMoor, State University Hospital Gent, De Pintelaan 185-5K3, 9000 Gent, Belgium or Jos Willems, University of Gathuisberg, 49 Herestraat, 3000 Leuven, Belgium.
CLP	CLIP	Simon Leeming, Beth Israel Hospital, Boston MA. Codes for radiology reports.
CPTM	CPT Modifier Code	上記 CPT に明記した AMA から得られる。これらのコードは Appendix A of CPT 2000 Standard E. (CPT 2000 Standard Edition, American Medical Association, Chicago, IL)により創られた。

Value	Description	Comment/Source
DCM	DICOM Controlled Terminology	DICOM コンテンツの原文でコードが定義されている。Digital Imaging and Communications in Medicine (DICOM). NEMA Publication PS-3.16 National Electrical Manufacturers Association (NEMA). Rosslyn, VA, 22209. Available at: http://medical.nema.org
E	EUCLIDES	Euclides Foundation International nv, Excelsiorlaan 4A, B-1930 Zaventem, Belgium; Phone: 32 2 7. 17 90 60 から得られる。
E5	Euclides quantity codes	Euclides Foundation International nv (上記参照)から得られる。
E6	Euclides Lab method codes	Euclides Foundation International nv,Excelsiorlaan 4A, B-1930 Zaventem, Belgium; Phone: 32 2 720 90 60 から得られる。
E7	Euclides Lab equipment codes	Euclides Foundation International nv (上記参照)から得られる。
ENZC	Enzyme Codes	生化学と分子生物学の国際協会の酵素委員会。Enzyme Nomenclature: Recommendations on the Nomenclature and Classification of Enzyme-Catalysed Reactions. London: Academic Press, 1992.
FDK	FDA K10	Dept. of Health & Human Services, Food & Drug Administration, Rockville, MD 20857. (device & analyte process codes).
HB	HIBCC	Health Industry Business Communications Council, 5110 N. 40th St., Ste 120, Phoenix, AZ 85018.
HCPCS	CMS (formerly HCFA) Common Procedure Coding System	医療の設備、注射薬、交通サービスなど CPT4 には含まれていないサービスのためのコードが含まれる。
HCPT	Health Care Provider Taxonomy	X12 に外部のものとして、コード構造が分類されるように、BlueCross および Blue Shield 協会は、供給者分類学の管理者の役割をするだろう。進行中のメンテナンスは ANSI ASC X12N の内に単独でワークグループ 15(供給者情報)、あるいは仕事グループの後継者にまかされている。Blue Cross and Blue Shield Association, 225 North Michigan Avenue, Chicago, IL 60601, Attention: ITS Department, ECNS Unit. http://www.wpc-edi.com/taxonomy/ 第 1 次配布は上記ウェブサイトで、そのワールドワイド・ウェブ・サイトを通って、ワシントン出版社にゆだねられている。
HHC	Home Health Care	Home Health Care Classification System; Virginia Saba, EdD, RN; Georgetown University School of Nursing; Washington, DC.
HI	Health Outcomes	Stratis Health (以前の Health Care Evaluation と Health Outcomes Institute)の治療効果を表す Health Outcomes Institute コード, 2901 Metro Drive, Suite 400, Bloomington, MN, 55425-1525; (612) 854-3306 (voice); (612) 853-8503 (fax); dziegen@winternet.com. See examples in the Implementation Guide.
HPC	CMS (formerly HCFA) Procedure Codes (HCPCS)	修正.を含む、Health Care Financing Administration (HCFA) Common Procedure Coding System (HCPCS)。
I10	ICD-10	World Health Publications, Albany, NY.
I10P	ICD-10 Procedure Codes	Procedure Coding System (ICD-10-PCS.) See http://www/hcfa.gov/stats/icd10.icd10.htm for more information. Procedure Coding System (ICD-10-PCS.) 参照：http://www/hcfa.gov/stats/icd10.icd10.htm
I9	ICD9	World Health Publications, Albany, NY.
I9C	ICD-9CM	Commission on Professional and Hospital Activities, 1968 Green Road, Ann Arbor, MI 48105 (includes all procedures and diagnostic tests).
IBT	ISBT	HL7 Ver.2.5 では HL7 旧バージョンとの互換性のために保持された。このコード値は IBTnnnn によって取って代わられた。 International Society of Blood Transfusion. Blood Group Terminology 1990. VOX Sanquines 1990 58(2):152-169.

Value	Description	Comment/Source
IBTnnnn	ISBT 128 codes where nnnn specifies a specific table within ISBT 128.	International Society of Blood Transfusion. (specific contact information will be supplied to editor.) The variable suffix (nnnn) identifies a specific table within ISBT 128.
IC2	ICHPPC-2	International Classification of Health Problems in Primary Care, Classification Committee of World Organization of National Colleges, Academies and Academic Associations of General Practitioners (WONCA), 3rd edition. An adaptation of ICD9 intended for use in General Medicine, Oxford University Press.
ICDO	International Classification of Diseases for Oncology	International Classification of Diseases for Oncology, 2nd Edition. World Health Organization: Geneva, Switzerland, 1990. Order from: College of American Pathologists, 325 Waukegan Road, Northfield, IL, 60093-2750. (847) 446-8800.
ICS	ICCS	Commission on Professional and Hospital Activities, 1968 Green Road, Ann Arbor, MI 48105.
ICSD	International Classification of Sleep Disorders	International Classification of Sleep Disorders Diagnostic and Coding Manual, 1990, available from American Sleep Disorders Association, 604 Second Street SW, Rochester, MN 55902
IUPP	IUPAC/IFCC Property Codes	International Union of Pure and Applied Chemistry/International Federation of Clinical Chemistry. The Silver Book: Compendium of terminology and nomenclature of properties in clinical laboratory sciences. Oxford: Blackwell Scientific Publishers, 1995. Henrik Olesen, M.D., D.M.Sc., Chairperson, Department of Clinical Chemistry, KK76.4.2, Rigshospitalet, University Hospital of Copenhagen, DK-2200, Copenhagen. http://inet.uni-c.dk/~qukb7642/
IUPC	IUPAC/IFCC Component Codes	成分の数量を見分ける IUPAC/IFF によって使われるコード. Contact Henrik Olesen、上記の IUPP のように。
LN	Logical Observation Identifier Names and Codes (LOINC®)	Regenstrief Institute, c/o LOINC, 1050 Wishard Blvd., 5th floor, Indianapolis, IN 46202. 317/630-7433. Available from the Regenstrief Institute server at http://www.Regenstrief.org/loinc/loinc.htm. Also available via HL7 file server: FTP/Gopher (www.mcis.duke.edu/standards/ termcode/loinclab and www.mcis.duke.edu/standards/termcode/loinclin) and World Wide Web (http://www.mcis.duke.edu/standards/termcode/loincl.htm). January 2000 version has identifiers, synonyms and cross-reference codes for reporting over 26,000 laboratory and related observations and 1,500 clinical measures.
MCD	Medicaid	Medicaid 支払いコード／名前。
MCR	Medicare	Medicare 支払いコード／名前
NDA	NANDA	North American Nursing Diagnosis Association, Philadelphia, PA.
NIC	Nursing Interventions Classification	Iowa Intervention Project, College of Nursing, University of Iowa, Iowa City, Iowa
NPI	National Provider Identifier	Health Care Finance Administration, US Dept. of Health and Human Services, 7500 Security Blvd., Baltimore, MD 21244.
OHA	Omaha System	Omaha Visiting Nurse Association, Omaha, NB.
OHA	Omaha	Omaha Visiting Nurse Association, Omaha, NB.
POS	POS Codes	HCFA Place of Service Codes for Professional Claims (see http://www.hcfa.gov/medicare/poscode.htm).
RC	Read Classification	The Read Clinical Classification of Medicine, Park View Surgery, 26 Leicester Rd., Loughborough LE11 2AG (includes drug procedure and other codes, as well as diagnostic codes).
SDM	SNOMED- DICOM Microglossary	College of American Pathologists, Skokie, IL, 60077-1034. (formerly designated as 99SDM).

Value	Description	Comment/Source
SNM	Systemized Nomenclature of Medicine (SNOMED)	Systemized Nomenclature of Medicine, 2nd Edition 1984 Vols 1, 2, College of American Pathologists, Skokie, IL.
SNM3	SNOMED International	SNOMED International, 1993 Vols 1-4, College of American Pathologists, Skokie, IL, 60077-1034.
SNT	SNOMED topology codes (anatomic sites)	College of American Pathologists, 5202 Old Orchard Road, Skokie, IL 60077-1034.
UC	UCDS	Uniform Clinical Data Systems. Ms. Michael McMullan, Office of Peer Review Health Care Finance Administration, The Meadows East Bldg., 6325 Security Blvd., Baltimore, MD 21207; (301) 966 6851.
UML	Unified Medical Language	National Library of Medicine, 8600 Rockville Pike, Bethesda, MD 20894.
UPC	Universal Product Code	The Uniform Code Council. 8163 Old Yankee Road, Suite J, Dayton, OH 45458; (513) 435 3070
UPIN	UPIN	Medicare/CMS 's (formerly HCFA) universal physician identification numbers, available from Health Care Financing Administration, U.S. Dept. of Health and Human Services, Bureau of Program Operations, 6325 Security Blvd., Meadows East Bldg., Room 300, Baltimore, MD 21207
USPS	United States Postal Service	各州を表す２文字からなる略記が Publication 28, Postal Addressing Standards にリストされている。これは Address Information Products, National Address Information Center, 6060 Primacy Parkway, Suite 101, Memphis, Tennessee 38188-0001 で手に入れられる。 質問やコメントは the Office of Address and Customer Information Systems, Customer and Automation Service Department, US Postal Service, 475 Lenfant Plaza SW Rm 7801, Washington, DC 20260-5902 へ。
装置コード		
UMD	MDNS	Universal Medical Device Nomenclature System. ECRI, 5200 Butler Pike, Plymouth Meeting, PA 19462 USA. Phone: 215-825-6000, Fax: 215-834-1275.
その他		
ANS+	HL7 set of units of measure	HL7 の測量ユニットセットは ANSI X3.50 – 1986、ISO 2988-83 および US customary units/の chapter 7 section 7.4.2.6 を基本にしている。
CDCA	CDC Analyte Codes	As above, for CDCM
HOT	Japanese Nationwide Medicine Code	
ICD10AM	ICD-10 Australian modification	
ICD10CA	ICD-10 Canada	
JC8	Japanese Chemistry	医療検査分別コード. Japan Association of Clinical Pathology. Version 8, 1990. A multiaxial code including a subject code (e.g., Rubella = 5f395, identification code (e.g., virus ab IGG), a specimen code (e.g., serum =023) and a method code (e.g., ELISA = 022)
JC10	JLAC/JSLM, nationwide laboratory code	Source: Classification &Coding for Clinical Laboratory. Japanese Society of Laboratory Medicine(JSLM, Old:Japan Society of Clinical Pathology). Version 10, 1997. A multiaxial code including a analyte code (e.g., Rubella = 5f395), identification code (e.g., virus ab IGG=1431), a specimen code (e.g., serum =023) and a method code (e.g., ELISA = 022)
JJ1017	Japanese Image Examination Cache	
NUBC	National Uniform Billing Committee Code	

© JAHIS 2012

5.10 （参考）QUANTITY/TIMING(TQ) 数量／タイミング　データ型

HL7 成分表－TQ　数量／タイミング

SEQ	LEN	DT	OPT	COMPONENT NAME
1	722	CQ	O	Quantity　数量
2	206	RI	O	Interval　時間間隔
3	6	ST	O	Duration　継続期間
4	26	TS	O	Start Date/Time　開始日付／時刻
5	26	TS	O	End Date/Time　終了日付／時刻
6	6	ST	O	Priority　優先度
7	199	ST	O	Condition　条件
8	200	TX	O	Text　テキスト
9	1	ID	O	Conjunction　連結
10	110	OSD	O	Order Sequencing　オーダ順序
11	705	CWE	O	Occurrence Duration　発生継続期間
12	4	NM	O	Total Occurrences　総発生数

定義：数量／タイミング(ORC-7,OBR-27)は、オーダセグメントによって述べられたサービスがいつ、どのような頻度で行なわれるかを規定する手段を与える。それは、繰り返しを持つことができる複合多重成分フィールドである。すなわち複数回の数量／タイミング指定が、反復区切文字で分離されて表現される。数量／タイミング指定の成分を以下に述べる。

注：HL7 Ver.2.5 より TQ データ型は HL7 旧バージョンとの互換性のためにのみ保持されている。第 7 章に定義されている TQ1 および TQ2 セグメントを参照。

第1成分　Quantity　数量(CQ)

副成分：<Quantity　数量(NM)> & <Units　単位(CE)>

各々のサービス間隔で供給される必要があるサービスの量。例えば、2つの血液培養が4時間ごとに得られるとすれば、数量が2である。もし3ユニットの血液が血液型を調べクロスマッチされるならば、数量は3である。デフォルト値は1である。単位が要求される時、後ろの成分で限定するものによって明示され加えられる。

第2成分　Interval　時間間隔(RI)

副成分：<Repeat Pattern繰り返しパターン(IS)> & <Explicit Time Interval明示的な時間間隔(ST)>

繰り返されるサービスの時間間隔を決める。デフォルトは1回のみである。第1副成分は繰り返しパターンである。第2副成分はパターンが実行される明確な時間である。

Repeat pattern繰り返しパターン(IS)

使用者定義表 0335－繰り返しパターン

Q<integer>S	Every <integer> seconds　秒ごと
Q<integer>M	Every <integer> minutes　分ごと
Q<integer>H	Every <integer> hours　時間ごと
Q<integer>D	Every <integer> days　日ごと
Q<integer>W	Every <integer> weeks　週ごと
Q<integer>L	Every <integer> months (Lunar cycle)　月ごと
Q<integer>J<day#>	特定の曜日に繰り返す。J はフランス語の jour(day)から。もし<整数>がないならば、繰り返しレートは 1 と仮定する。日付の番号は、1=月曜日から 7=日曜日までカウントする。それゆえ Q2J2 は第 2 火曜日ごと、Q1J6 は、土曜日ごとを意味する。
BID	1 日 2 回、施設が決めた時刻(例えば、9AM-4PM)
TID	1 日 3 回、施設が決めた時刻(例えば、9AM-4PM-9PM)

© JAHIS 2012

QID	1 日 4 回、施設が決めた時刻(たとえば、9AM-11AM-4PM-9PM)
XID	1 日“x”回、施設が決めた時刻、X は数字 5 より大(例えば、5ID=1 日 5 回、8ID=1 日 8 回)
注：上記の 4 つの指定はいずれもその Q<整数>H 対応と同等ではない。例えば、QID は、Q6H ではない。前者は不等間隔に置かれる；後者は等間隔に置かれる。	
QAM	朝に、施設が決めた時刻に
QSHIFT	3 回／日の 8 時間シフト各々の間で、施設が決めた時刻に
QOD	隔日(Q2D と同じ)
QHS	毎日就寝前に
QPM	夕方、施設が決めた時刻に
C	サービスの提供は連続的に始めの時刻から終わりの時刻まで
U <spec>	スペック、将来使用のため <スペック>が UNIX のクローンで定義された時間隔仕様である場合
PRN	必要に応じて与えられる
PRNxxx	xxx がなんらかの頻度コード(例えば、(PRNQ6H))；必要に応じて頻度期間にわたって与えられる
Once	1 度だけ。これは、この成分が null である時、デフォルトである
食事に関連したタイミング	<timing>C (“cum”)<meal>
A	Ante (before)　前
P	Post (after)　後
I	Inter　間（例、食間）
M	Cibus Matutinus (breakfast)　朝食
D	Cibus Diurnus (lunch)　昼食
V	Cibus Vespertinus (dinner)　夕食

朝食前 1 回：ACM

夕食後 1 回：PCV

Explicit time interval　明示的な時間間隔(ST)

次の書式において、第1副成分のコードによって参照された実際の時刻を明確にリストする。

```
HHMM,HHMM,HHMM,...
```

この第2副成分は、実際の投薬時刻が施設内で変化する場合など、第1副成分を明らかにするために使用する。オーダの期間が1日を超えるならば、この新しい副成分が実際に役立つのは同じ投薬時刻がオーダの各々の日に対して発生する場合である。オーダの実際の開始時刻（数量／タイミングフィールドの第4副成分によって与えられる）が、リストの最初の明確な時刻の後であるならば、最初の投薬は、開始時刻の後の最初の明確な時刻とする。患者が明確な時間の異なったセットを持っている場所へ移動する場合、現在のオーダは、変更された明確な時間を示している新しい数量／タイミングフィールドで更新する。

時刻は hhmm、就寝時は HS、食事に関係したタイミングは xCy で記述される。

x：A 前、P 後、I 間、 y：M 朝食、D 昼食、V 夕食

数量／タイミングフィールドの第2成分

```
...^QID&0230,0830,1430,2030^...1日3回食後　^TID&PC
```

第3成分　Duration　継続期間(ST)

サービスが開始された後で、サービスがどのくらい長く続くかを示す。デフォルトは、INDEF(不定)である。この成分は、以下の通りにコード化される。

S<integer>	=	<integer> seconds　秒
M<integer>	=	<integer> minutes　分
H<integer>	=	<integer> hours　時間

© JAHIS 2012

D<integer>	=	<integer> days　日
W<integer>	=	<integer> weeks　週
L<integer>	=	<integer> months　月
X<integer>	=	オーダで指定された時間間隔成分の繰り返し回数。2 つの血液培養に対する要求 Q2HX3、2 つの血液培養を 3 つの異なった時刻に 2 時間おきに入手して合計 6 つの血液培養を入手するという意味である。
T<integer>	=	明記されている時間間隔と量で、合計の<整数>『DOSAGE』が蓄積されるまで。単位は、「数量」フィールドにおけると同じであると仮定する。
INDEF	=	期間を特に定めない(不定)-同様にデフォルト

第4成分　Start date/time　開始日時(TS)

依頼者によって規定される。その場合、それはサービスを開始する必要がある最も初めの日時を示す。多くの場合、開始日時は、オーダレコード（例えば、（緊急)-STAT）の他のフィールドによって示唆されるか、定義される。そのような場合、このフィールドは空となる。

実施者サービスは、オーダを受領後このフィールドの値をしばしば記録する。一方実施サービスの内部使用のために、開始日時を基礎にして終了時刻を計算する。

第5成分　End date/time　終了日時(TS)

サービスを要求する人によってこの値が指定された時は、このフィールドはサービスが行なわれるべき最後日時である必要がある。ここで明示された時間までに行なわれなかったならば、それは行うべきではない。要求する人がこの値を満たすとは限らない。しかし実施者サービスは、それが受け取る指示および実際の開始時間を基礎として満たしてもよい。

終了日時の値に関係なく、サービスは、継続時間または終了日時によって指定された最も早い日時に終了すべきである。

第6成分　Priority　優先度(ST)

要求の緊急度を述べる。次の値が提案される（優先度のデフォルトはRである)。

S	=	緊急	最も高い優先度で
A	=	できるだけ早く	S オーダの後
R	=	ルーチン	デフォルト
P	=	術前	
C	=	返信	
T	=	タイミングがクリティカル	要求は、要求された時間に最も近いことが重要であるという意味である。例えば、抗生物質血中濃度である
PRN	=	As Needed	

T：タイミングがクリティカルの程度は次のように明示できる。

TS<integer>	=	秒以内で
TM<integer>	=	分以内で
TH<integer>	=	時間以内で
TD<integer>	=	日以内で
TW<integer>	=	週以内で
TL<integer>	=	月以内で

オーダの連続指定の場合、これらの値は、先行オーダから後に続くオーダ全部に対してタイミングの重要性を規定する。優先度成分を反復する場合はスペースで区切る。

第7成分　Condition　条件(ST)

これは、投薬条件を記述するフリーテキストフィールドである。例えば、「PRN pain」、「血圧を110以下に保て」など。このフィールドにテキストが存在する場合、投薬方法または投薬時期(あるいはその両方)を決定するため人間が見直す必要がある。

第8成分　Text　テキスト(TX)

この成分は指示を全てテキストで表したものである。

第9成分　Conjunction　連結(ID)

この成分がnullでなければ、反復区切り文字を使用して、2番目のタイミング指定を後に続ける。このフィールドは3つの値を採ることができる。

© JAHIS 2012

HL7 表 0472－TQ 接続詞 ID

Value	Description	Comment
S	Synchronous 同期	今回の指定の後に次の指定を行う(ORC－4＾4－開始日時、および ORC－4＾5－終了日時成分により制限を受けなければ)。 “S”指定は、最初のタイミング・シーケンスの後に 2 番目のタイミング・シーケンスが続くことを示す。例えば、最初の 1 時間は Q15 分ごとに血圧を測定し、次の日には 2 時間ごとに血圧を測定するよう依頼する。
A	Asynchronous 非同期	今回の指定と並行して次の指定を行う(ORC－4＾4－開始日時、および ORC－4＾5－終了日時成分により制限を受けなければ)。連結”A”により、投薬時などに散見される、2 つの指示の並行指定が可能になる。例えば、月曜、水曜、金曜にプレドニゾン 1 錠、火曜、木曜、土曜、日曜には 1／2 錠。
C	This is an actuation time これは開始時間である	このコードの後にはサービスの終了時間が続く。このコードにより、サービスを起動すべき(採血など)時間・優先度から、サービスを終了すべき(結果報告など)時間・優先度が区別できるようになる。 連続サービスあるいは循環サービスの場合、サービスを実際に停止するポイントは、成分 ORC－4＾5－終了日時または ORC－4＾3－継続時間の、どちらかより早い停止時間を示す成分により決定される。通常、この 2 つの成分のうち 1 つだけが存在する。しかし以下のような指定により EKG を要求した場合は、反復数(3)のほうがより早い停止時間を定義しているので、EKG は 3 日間だけ実施されることになる。例えば、^1^QAM^X3^D10

第10成分　Order sequencing　オーダ順序(OSD)

実際の現場ではさまざまな状態が想定される。例えば、あるまとまった点滴(IV)溶剤を要求するオーダを作成した場合は、個々の点滴溶剤（各々それ自体が1個のオーダ）のシーケンスを指定する必要がある。また、“PRN pain”などある種の結果条件がオーダ指示に含まれる、というような状態も考えられる。現在は、ORC-4-数量／タイミングのフリーテキスト“条件”成分により任意の条件を指定することができる。しかし、完全にコード化したオーダシーケンスあるいは結果条件をサポートするために、次のパラグラフでORC-4-数量／タイミングの第10番成分を定義した。この第10成分のサポートするシーケンス化条件は、あるオーダの終了に基づく。第11成分以降は将来に備えた予約であり、オーダの実行前に複数の条件を評価するよう指定するのに使用する。将来をにらんだこのような指定により、現在の数量／タイミング定義との上位互換性が保たれる。

注：第 10 成分が存在する場合、第 7 成分(条件成分)は、依頼の際に表示されるテキスト"注記"とみなされる。すなわちシステムは、このテキストをシーケンス化指定の一部として解釈することはない。

副成分…オーダ順序

シーケンス条件を定義するために、数量／タイミングフィールド成分の第10成分は、「表 5-2. 副成分…オーダ順序」に示す副成分に分割される。

表 5-2. 副成分…オーダ順序

Subcomponent	Contains	Notes
1	連鎖／結果フラグ	S はシーケンス状態; C は循環、 R は将来の使用のためリザーブしてある。
2, 3	依頼者オーダ番号	必須／オプション: 2 つの副成分を使用する。何故なら依頼者オーダ番号は 2 つの副成分を持つためである。HL7 では副成分の副成分は定義していない。
4, 5	実施者オーダ番号	必須／オプション: 2 つの副成分を使用する。何故なら実施者オーダ番号は 2 つの副成分を持つためである。HL7 では副成分の副成分は定義していない。

© JAHIS 2012

Subcomponent	Contains	Notes
6	シーケンス状態値	許容状態値は、プロジェクト計画法で通常使用される形を持つ: <one of "SS", "EE", "SE", or "ES"> +/- <time> 1 文字目は先行オーダの開始時間(S)又は終了時間(E)を意味する。先行オーダは、副成分 1、2 又は 3、4 の依頼者又は実施者オーダ番号によって定義される。 2 文字目は後続オーダの開始時間(S)又は終了時間(E)を意味する。この後続オーダは、ここの数量／タイミング仕様を含むオーダである。時間として、先行および後続の始まり又は終わりの間隔を指定する(下記に例を示す)。 <時間>の定義: S<integer> <integer> 秒 M<integer> <integer> 分 H<integer> <integer> 時間 D<integer> <integer> 日 W<integer> <integer> 週 L<integer> <integer> 月
7	最大繰り返し数	最大繰り返し数が使用されるのは循環グループだけである。繰り返し総数は、最後の繰り返しの終わりの日付／時間又は親の終わりの日付／時間のうち、最初に来る方によって制約される。
8,9	依頼者オーダ番号、最後の 2 つの成分	要求／オプション:依頼者オーダ番号の最後の 2 つの成分を含んでいる:普遍的な ID(ST)および普遍的な ID･型(ID)(それぞれ)。依頼者オーダ番号が EI データ型であるので、2 つの副成分を使用する。我々は HL7 では副成分を定義していない。
10,11	実施者オーダ番号、最後の 2 つの成分	要求／オプション:依頼者オーダ番号の最後の 2 つの成分を含んでいる:普遍的な ID(ST)および普遍的な ID･型(ID)(それぞれ)。依頼者オーダ番号が EI データ型であるので、2 つの副成分を使用する。我々は HL7 では副成分を定義していない。

使用上の注意：先行オーダは、「ORC-4-数量／タイミング」の第10成分の副成分2と3において、依頼者オーダ番号としてOE1000&OrdEntにより定義される。
後続オーダ、つまり今回のオーダは、ORCセグメントに依頼者オーダ番号OE1001^OrdEntを持つ。

次のシーケンス条件値の意味を説明する。

ES + 10M　「OE1000&OrdEnt(先行オーダ)の終了時間　+　10 分」により、後続オーダ、OE1001^OrdEnt(今回のオーダ)の開始時間を定義する；つまり、先行オーダが終了してから 10 分後に、このオーダを開始せよ、ということ。

SS - 10M　「先行オーダの開始時間－10 分」によりこのオーダの開始時間を定義する。つまり、先行オーダの 10 分前にこのオーダを開始、ということ。

循環依頼者グループ

反復すべき循環オーダがある場合、実行される最初のオーダは、アスタリスク(＊)で始まる"シーケンス条件値"を持つ。

例：

*FS+10M　第 10 成分に指定された条件を評価せずに、このオーダを 1 回実行する。指定された外部オーダの開始・終了日時がこの条件に合致したときのみその実行を繰り返す。このように指定すると、各サイクルでオーダが 1 回反復される。

注：オーダを繰り返すには、依頼アプリケーションは、最初のオーダの数量／タイミングを指定する際に、サイクル内の最終オーダの依頼者オーダ番号を指定できなければならない。

親子パラダイムを使用して、4つのIVオーダから成る循環グループを指定するには、親はIVのカスタム・グループを指定する。すると、以下のように処理が実行される。

2番目の子オーダのORC-4-数量／タイミングは、それが1番目の子オーダに続くことを示す。

3番目の子オーダのORC-4-数量／タイミングは、それが2番目の子オーダに続くことを示す。

4番目の子オーダのORC-4-数量／タイミングは、それが3番目のオーダに続くことを示す。

4つの子オーダから成るグループを循環的に繰り返すには次のように処理が実行される。

1番目の子オーダのORC-4-数量／タイミングは、この子オーダが、他のオーダが終了したかどうかとは無関係に、1度実行されることを示す。

この子オーダが2回目に実行されるのは、4番目のオーダが終了してからである。

このスキームにより、下記情報を追跡することができる。

© JAHIS 2012

親オーダのレベルで返答すべきオーダ・グループ全体の状態。

対応する子オーダの状態をフォローすることによって、IVオーダそれぞれの状態。

例：　個別のオーダ

同じグループのオーダは、その数量/タイミングフィールド内のデータによってのみ連携させることで、4つのオーダ（共通の親のない）を1グループとして送ることができる。この場合HL7では、グループ全体のオーダ状態をまとめて伝送する便利な手段がないので、4つのオーダの個々の状態を別々に伝送するしかない。

オーダ状態の継承

キャンセル／中断／保留オーダ制御イベント：

ここでは、指定された先行オーダが通常通り実行されることを想定している。したがって、先行オーダのキャンセル（あるいは中断、保留）は、後続の関連オーダすべてを取り消す（あるいは中断する、保留する）ことを意味する。

参照されているオーダが取り消された（あるいは中止、保留された）場合、今回のオーダはそれと同じ状態を継承する。

保留の場合、先行オーダの保留を解除することは、その該当オーダも解除するという意味である。（したがって、そのオーダは第10成分内の指定にしたがって実行することができる。)

第11成分　Occurrence Duration　発生継続期間(CWE)

定義：この副成分はサービスの1回の実施の継続時間からなる、例えば、渦流浴20分間、1日3回を3日間。この副成分はTQのなかで省略可能であり、繰り返さない。

注：本成分中の成分区切り文字は副成分区切り文字に置き換わる。

第12成分　Total occurrences 総発生数(NM)

定義：この副成分はオーダの結果としてサービスが生じた総数からなる。この副成分はTQのなかで省略可能であり、繰り返さない。終了日付／時刻と総発生数の両方が設定され、発生は終了日付／時刻を越える場合は、終了日付／時刻のほうを優先する。それ以外の場合は、総発生数のほうを優先する。

5.10.1 QUANTITY／TIMING　数量／タイミングの使用例

3^once

指定時刻にサービスを実行する。例えば、3単位の輸血を1回実行せよというオーダ。

1^QHS^X2

就寝時にサービスを2回実行する。例えば、2夜連続、就寝時に1単位の輸血をする。

1^C^3D

3日間サービスを継続する。

1^Q1H^X4^^^^PVCs>10/min

患者のPVCが毎分10を越える場合は、最大4回、1時間ごとにEKGを実行する。

1^Q2J^^1432

毎週火曜日、午後2:32にサービスを実行する。

1^^^^198911210800

11/21/89 0800前に検査を実行する。例えば、手術前の臨床検査。

1^Q3600S^X5^198911051030

11/5/89の午前10:30より、5時間に渡って、1時間ごとにサービスを実行する。血糖採取など。

1^QAM^X3^^^^^^S~1^QOD^4D^^^^if K+>5.5.

3日間毎朝サービスを実行し、血清カリウムが5.5を越える場合、4日間（つまり最大2回）1日おきにサービスを朝に実行する。

^^^198812120800^^T^^Trough specimen for MIC^C~^^^^^R

12/12/1988午前8:00きっかりに採血し、ルーチンに従い結果を報告する。

6. 臨床検査依頼・臨床検査結果メッセージ構文

6. 臨床検査依頼・臨床検査結果メッセージ構文 6-1

6.1 臨床検査依頼(OML/ORL) 6-2

6.1.1 OML 一般検査オーダメッセージ イベント(O21) 6-2

6.1.2 ORL - 一般検査オーダ肯定応答メッセージ イベント(O22) 6-5

6.1.3 OML 1検体に対する複数依頼の検査オーダメッセージ イベント(O33) 6-5

6.1.4 ORL – 1検体に対する複数依頼の肯定応答メッセージ イベント(O34) 6-7

6.1.5 OML 1検体1容器複数依頼時の検査オーダメッセージ イベント(O35) 6-8

6.1.6 ORL – 1検体1容器複数依頼の肯定応答メッセージ イベント(O36) 6-10

6.2 到着確認報告、臨床検査結果(ORU/ACK, OUL/ACK) 6-12

6.2.1 OUL 非要求検体ベース検査結果メッセージ イベント(R22) 6-14

6.2.2 ORU 非要求検査結果転送メッセージ イベント(R01) 6-16

6.2.3 OUL 非要求検査結果メッセージ イベント(R21) 6-16

6.2.4 OUL 非要求検体採取容器ベース検査結果メッセージ イベント(R23) 6-17

6.2.5 OUL 非要求オーダベース検査結果メッセージ イベント(R24) 6-18

6.2.6 ORU 非要求 Point-Of-Care検査メッセージ依頼部門オーダなし イベント(R30) 6-19

6.2.7 ORU 非要求新 Point-Of-Care検査メッセージ –オーダの検索 (R31) 6-20

6.2.8 ORU 非要求事前Point-Of-Care検査オーダ イベント(R32) 6-21

6.3 情報照会(QBP/RSP) 6-22

6.3.1 QBP 患者情報照会メッセージ イベント(ZC0) 6-22

6.3.2 RSP 患者情報応答メッセージ イベント(ZC1) 6-23

6.3.3 QBP 検査結果情報照会メッセージ イベント(ZB5) 6-23

6.3.4 RSP 検査結果応答メッセージ イベント(ZB6) 6-24

6.3.5 QBP 患者基本属性照会メッセージ イベント(Q22) 6-25

6.3.6 RSP 患者基本属性応答メッセージ イベント(K22) 6-25

6.3.7 QBP 患者基本属性及び所在照会メッセージ イベント(ZV1) 6-26

6.3.8 RSP 患者基本属性及び所在応答メッセージ イベント(ZV2) 6-27

6.3.9 QBP 検査依頼情報照会メッセージ イベント(WOS) 6-27

6.3.10 RSP 検査依頼情報応答メッセージ イベント(WOS) 6-28

6.3.11 QBP ラベル情報照会メッセージ イベント(SLI) 6-30

6.3.12 RSP ラベル情報応答メッセージ イベント(SLI) 6-31

6.4 患者情報通知(ADT/ACK) 6-33

6.4.1 ADT/ACK 患者情報の更新メッセージ イベント(A08) 6-33

6.4.2 ADT/ACK 個人情報の更新メッセージ イベント(A31) 6-34

6.4.3 ADT/ACK 個人情報の追加メッセージ イベント(A28) 6-35

6.4.4 ADT/ACK 患者IDリストの変更メッセージ イベント(A47) 6-37

6.4.5 ADT/ACK 患者情報のマージ-患者IDリストメッセージ イベント(A40) 6-38

6.4.6 ADT/ACK 患者情報の関連付けメッセージ イベント(A24) 6-39

6.4.7 ADT/ACK 患者情報の関連付けの解除メッセージ イベント(A37) 6-40

6.4.8 ADT/ACK 入院／来院の通知メッセージ イベント(A01) 6-41

6.4.9 ADT/ACK 患者の登録メッセージ イベント(A04) 6-42

6.4.10 ADT/ACK 入院／外来通知(A01)の取消メッセージ イベント(A11) 6-43

6.4.11 ADT/ACK 退院/在院終了メッセージ イベント(A03) 6-44

6.4.12 ADT/ACK 退院、通院終了（A03）の取消メッセージ イベント(A13) 6-45

© JAHIS 2012

本規約では、HL7メッセージを構成するセグメントの省略の可否（[ ]表記）や繰り返しの可否（{ }表記）に加え、JAHIS仕様での要否を明確にするためコメントComment(JPN)に要否等を付記した。

メッセージ構文での表記規則：

- Comment(JPN)（JAHIS仕様での取り扱い）
  - R - 必須。
  - RE - 存在すれば必須（送信側アプリケーションは、該当データがあれば送信しなければならないが、存在しなければ省略する）。
  - O - オプション。
  - C - トリガイベントまたはメッセージの使用条件による。
  - X - 本規約では使用しない。
  - N - 使用しない（関係者の合意のもとに関係システム内限定で使用可）。
- 注: ［ ］は省略可能、｛ ｝は繰り返し可能を示す。
- 注: 特にセグメントグループについては、そのセグメントグループの要否等を記し、さらにそのグループに属する個々セグメントの要否等を記した。
  例えば、OML^O33の場合、PRIOR_RESULTセグメントグループはオプション「O」であるが、そのセグメントグループを使用する場合それに属するPATIENT_VISIT_PRIORセグメントグループは該当データが存在すれば必須であるという「RE」となっており、このPATIENT_VISIT_PRIORセグメントグループを使用する場合そのグループのPV1セグメントは必須「R」であり、PV2はオプション「O」であるというように、より明確に要否を記述した。
  なお、論理構造上、セグメントグループには最低1個の必須セグメントが存在しなくてはならない。

OML^O33　1検体に対する複数依頼の検査オーダメッセージ（一部抜粋）

```
OML^O33^OML_O33     Laboratory Order                                Comment
                    - Multiple Order Per Specimen Message           (JPN)
…                   …
   [{               --- PRIOR_RESULT begin                           O
      [             --- PATIENT_PRIOR begin                          N
        PID         Patient Identification - previous result         N
         [  PD1  ]  Additional Demographics - previous result        N
      ]             --- PATIENT_PRIOR end
      [             --- PATIENT_VISIT_PRIOR begin                   RE
        PV1         Patient Visit - previous result                  R
         [  PV2  ]  Patient Visit Add. Info - previous result        O
      ]             --- PATIENT_VISIT_PRIOR end
…                   …
```

6.1　臨床検査依頼(OML/ORL)

臨床検査の依頼時には検査オーダメッセージ(OML)を用い、それに対する応答には検査オーダ肯定応答メッセージ(ORL)を使用する。その場合のセグメントと構文規則は以下のとおりである。

6.1.1　OML　一般検査オーダメッセージ　イベント(O21)

一般検査オーダメッセージ(O21)はバッテリ中心の構造である。これはバッテリのリストを含み、夫々のバッテリの上に検体のリストを含み、検体ごとに容器のリストを含む。この構造は、複数のバッテリが同一の検体を使用するようであっても、検体／容器情報の重複を示している。オーダのバッテリが数種類の検体を必要とするような場合に適合する。

© JAHIS 2012

OML^O21　一般検査オーダメッセージ

OML^O21^OML_O21	Laboratory Order Message	Comment(JPN)	Chapter
MSH	Message Header	R	2
[{ SFT }]	Software	N	2
[{ NTE }]	Notes and Comments (for Header)	O	2
[	--- PATIENT begin	RE	
PID	Patient Identification	R	3
[PD1]	Additional Demographics	O	3
[{ NTE }]	Notes and Comments (for Patient ID)	O	2
[{ NK1 }]	Next of Kin/Associated Parties	N	3
[	--- PATIENT_VISIT begin	RE	
PV1	Patient Visit	RE	3
[PV2]	Patient Visit- Additional Info	O	3
]	--- PATIENT_VISIT end		
[{	--- INSURANCE begin	N	
IN1	Insurance	N	6
[IN2]	Insurance Additional Info	N	6
[IN3]	Insurance Add'l Info - Cert.	N	6
}]	--- INSURANCE end		
[GT1]	Guarantor	N	6
[{ AL1 }]	Allergy Information	O	3
]	--- PATIENT end		
{	--- ORDER begin	R	
ORC	Common Order	R	4
[{	--- TIIMING begin	RE	
TQ1	Timing/Quantity	RE	4
[{ TQ2 }]	Timing/Quantity Order Sequence	O	4
}]	--- TIMING end		
[	--- OBSERVATION_REQUEST begin	R	
OBR	Observation Request	R	4
[TCD]	Test Code Details	O	13
[{ NTE }]	Notes and Comments (for Detail)	O	2
[CTD]	Contact Data	N	11
[{ DG1 }]	Diagnosis	N	6
[{	--- OBSERVATION begin	O	
OBX	Observation/Result	R	7
[TCD]	Test Code Detail	O	13
[{ NTE }]	Notes and Comments (for Results)	C	2
}]	--- OBSERVATION end		
[{	--- SPECIMEN begin	O	
SPM	Specimen	R	7
[{ OBX }]	Observation/Result related to specimen	O	7
[{	--- CONTAINER begin	O	
SAC	Specimen Container	R	13
[{ OBX }]	Observation/Result related to container	O	7
}]	--- CONTAINER end		
}]	--- SPECIMEN end		
[{	--- PRIOR_RESULT begin	O	
[	--- PATIENT_PRIOR begin	N	
PID	Patient Identification – previous result	N	3
[PD1]	Additional Demographics – previous result	N	3
]	--- PATIENT_PRIOR end		

© JAHIS 2012

OML^O21^OML_O21	Laboratory Order Message	Comment(JPN)	Chapter
[	--- PATIENT_VISIT_PRIOR begin	O	
PV1	Patient Visit - previous result	R	3
[PV2]	Patient Visit Add. Info - previous result	O	3
]	--- PATIENT_VISIT_PRIOR end		
[{ AL1 }]	Allergy Information - previous result	O	3
{	--- ORDER_PRIOR begin	R	
[ORC]	Common Order - previous result	R	4
OBR	Order Detail - previous result	R	4
[{ NTE }]	Notes and Comments - previous result	O	2
[{	--- TIMING_PRIOR begin	N	
TQ1	Timing/Quantity	N	4
[{ TQ2 }]	Timing/Quantity Order Sequence	N	4
}]	--- TIMING_PRIOR end		
{	--- OBSERVATION_PRIOR begin	R	
OBX	Observation/Result - previous result	R	7
[{ NTE }]	Notes and Comments - previous result	O	2
}	--- OBSERVATION_PRIOR end		
}	--- ORDER_PRIOR end		
}]	--- PRIOR_RESULT end		
]	--- OBSERVATION_REQUEST end		
[{ FT1 }]	Financial Transaction	N	6
[{ CTI }]	Clinical Trial Identification	N	7
[BLG]	Billing Segment	N	4
}	--- ORDER end		

- メッセージヘッダ(MSH)セグメントはオーダの出力単位（メッセージ）の先頭に1つ必須である。（ファイル伝送の場合：オーダがまとめて伝送される場合オーダごとに先頭にメッセージヘッダ(MSH)セグメントが必須であり、区切りとなる。）
- 患者識別(PID)セグメントは1患者の一連のオーダに1個必須である。（ファイル伝送の場合：オーダがまとめて伝送される場合メッセージヘッダ(MSH)セグメントがオーダの区切りとなる。）
- 共通オーダ(ORC)セグメントは1患者の個々の詳細オーダ検査要求(OBR)セグメントごとに1個必須であり、必要に応じタイミング/数量(TQ1)セグメントを従える。ただし、1オーダ多項目検査の場合、検査要求(OBR)セグメントに続く検査結果(OBX)セグメントで個別の検査項目指示することも可能である。
- 共通オーダ(ORC)セグメントは検査材料単位や検査グループ単位に用いることが望ましい。例えば1オーダで検査材料が血液と尿の複数材料を扱う場合、血液を用いる検査で1つの共通オーダ(ORC)セグメントと検査要求(OBR)セグメントで検査グループを表現し、続く検査結果(OBX)セグメントで個々の検査項目を、尿を用いる検査で1つの共通オーダ(ORC)セグメントと検査要求(OBR)セグメントで検査グループを表現し、続く検査結果(OBX)セグメントで個々の検査項目を指示する。また検査要求(OBR)セグメントで多項目検査の内容が不明確な場合、検査結果(OBX)セグメントで個々の検査項目を指示することも可能である。例えば検査要求(OBR)セグメントで肝炎セット、検査結果(OBX)セグメントでGOT,GPT,HBs抗体や、検査要求(OBR)セグメントで100g糖負荷試験、検査結果(OBX)セグメントで血糖前値,血糖30分値など。
- 検体検査の検査項目コード(OBR-4/OBX-3)は日本臨床検査医学会臨床検査項目分類コードでコーディングされたものを用いる。
- 検査材料や部位(SPM-4，SPM-8)は日本臨床検査医学会臨床検査分類コードの材料コードを用いる。
- 検査結果(OBX)セグメントは、依頼の際に検査に必要な臨床データを知らせる目的でも利用できるものとする。例えば身長、体重、月経周期など。
- 検査結果(OBX)セグメント又は検査要求(OBR)セグメントに記述できる情報は注釈コメント(NTE)セグメントで送信すべきではない。

© JAHIS 2012

- 臨床検査オーダに前回検査報告を付加する場合、OBSERVATION PRIORブロックの来院情報来院情報(PV1)セグメントは必須である。

6.1.2 ORL - 一般検査オーダ肯定応答メッセージ　イベント(O22)

一般検査オーダ肯定オーダメッセージ(O22)は臨床検査依頼に対する応答をするイベントである。

ORL^O22　一般検査オーダ肯定応答メッセージ

ORL^O22^ORL_O22	General Laboratory Order Acknowledgment Message	Comment (JPN)	Chapter
MSH	Message Header	R	2
MSA	Message Acknowledgment	R	2
[{ ERR }]	Error	C	2
[{ SFT }]	Software	N	2
[{ NTE }]	Notes and Comments (for Header)	O	2
[	--- RESPONSE begin	O	
[	--- PATIENT begin	O	
PID	Patient Identification	R	3
[{	--- ORDER begin	R	
ORC	Common Order	R	4
[{	--- TIMING begin	RE	
TQ1	Timing/Quantity	RE	4
[{ TQ2 }]	Timing/Quantity Order Sequence	O	4
}]	--- TIMING end		
[	--- OBSERVATION_REQUEST begin	R	
OBR	Observation Request	R	4
[{	--- SPECIMEN begin	O	
SPM	Specimen	R	7
[{ SAC }]	Specimen Container Details	O	13
}]	--- SPECIMEN end		
]	--- OBSERVATION_REQUEST end		
}]	--- ORDER end		
]	--- PATIENT end		
]	--- RESPONSE end		

- エラー(ERR)セグメントは否定応答(MSA-1 = AE or AR)の場合に使用されるべきである。
- RESPONSE構文は特に必要が無い場合は省略される。

6.1.3 OML　1検体に対する複数依頼の検査オーダメッセージ　イベント(O33)

1検体に対する複数依頼の検査オーダメッセージ(O33)は検体中心の構造である。検体ごとに容器のリストとこの検体で使用するバッテリ（共通オーダ(ORC)セグメント／検査要求(OBR)セグメント）のリスト、および依頼項目（検査結果(OBX)セグメント）のリストを含む。この場合バッテリや依頼項目は容器との関連付けが無い。通常日本の検体検査ではこの1検体に対する複数依頼の検査オーダメッセージが検体検査の依頼時に使用される。

OML^O33　1検体に対する複数依頼の検査オーダメッセージ

OML^O33^OML_O33	Laboratory Order – Multiple Order Per Specimen Message	Comment(JPN)	Chapter
MSH	Message Header	R	2
[{ SFT }]	Software	N	2
[{ NTE }]	Notes and Comments (for Header)	O	2
[	--- PATIENT begin	RE	
PID	Patient Identification	R	3

OML^O33^OML_O33	Laboratory Order – Multiple Order Per Specimen Message	Comment(JPN)	Chapter
[PD1]	Additional Demographics	O	3
[{ NTE }]	Notes and Comments (for Patient ID)	O	2
[{ NK1 }]	Next of Kin/Associated Parties	N	3
[	--- PATIENT_VISIT begin	RE	
PV1	Patient Visit	RE	3
[PV2]	Patient Visit- Additional Info	N	3
]	--- PATIENT_VISIT end		
[{	--- INSURANCE begin	N	
IN1	Insurance	N	6
[IN2]	Insurance Additional Info	N	6
[IN3]	Insurance Add'l Info - Cert.	N	6
}]	--- INSURANCE end		
[GT1]	Guarantor	N	6
[{ AL1 }]	Allergy Information	O	3
]	--- PATIENT end		
{	--- SPECIMEN begin	R	
SPM	Specimen	R	7
[{ OBX }]	Observations related to specimen	O	7
[{ SAC }]	Specimen Container	C	13
{	--- ORDER begin	R	
ORC	Common Order	R	4
[{	--- TIIMING begin	RE	
TQ1	Timing/Quantity	RE	4
[{ TQ2 }]	Timing/Quantity Order Sequence	O	4
}]	--- TIMING end		
[	--- OBSERVATION_REQUEST begin	R	
OBR	Observation Request	R	4
[TCD]	Test Code Details	O	13
[{ NTE }]	Notes and Comments (for Detail)	O	2
[{ DG1 }]	Diagnosis	N	6
[{	--- OBSERVATION begin	O	
OBX	Observation/Result	R	7
[TCD]	Test Code Detail	O	13
[{ NTE }]	Notes and Comments (for Results)	C	2
}]	--- OBSERVATION end		
[{	--- PRIOR_RESULT begin	O	
[	--- PATIENT_PRIOR begin	N	
PID	Patient Identification – previous result	N	3
[PD1]	Additional Demographics – previous result	N	3
]	--- PATIENT_PRIOR end		
[	--- PATIENT_VISIT_PRIOR begin	RE	
PV1	Patient Visit – previous result	R	3
[PV2]	Patient Visit Add. Info – previous result	O	3
]	--- PATIENT_VISIT_PRIOR end		
[{ AL1 }]	Allergy Information – previous result	O	3
{	--- ORDER_PRIOR begin	R	
[ORC]	Common Order – previous result	R	4
OBR	Order Detail – previous result	R	4
[{ NTE }]	Notes and Comments – previous result	O	2
[{	--- TIMING_PRIOR begin	N	

OML^O33^OML_O33	Laboratory Order – Multiple Order Per Specimen Message	Comment(JPN)	Chapter
TQ1	Timing/Quantity	N	4
[{ TQ2 }]	Timing/Quantity Order Sequence	N	4
}]	--- TIMING_PRIOR end		
{	--- OBSERVATION_PRIOR begin	O	
OBX	Observation/Result - previous result	R	7
[{ NTE }]	Notes and Comments - previous result	C	2
}	--- OBSERVATION_PRIOR end		
}	--- ORDER_PRIOR end		
}]	--- PRIOR_RESULT end	O	
]	--- OBSERVATION_REQUEST end		
[{ FT1 }]	Financial Transaction	N	6
[{ CTI }]	Clinical Trial Identification	N	7
[BLG]	Billing Segment	N	4
}	--- ORDER end		
}	--- SPECIMEN end		

- メッセージヘッダ(MSH)セグメントはオーダの出力単位(メッセージ)の先頭に1つ必須である。（ファイル伝送の場合：オーダがまとめて伝送される場合オーダごとに先頭にメッセージヘッダ(MSH)セグメントが必須であり、区切りとなる。）
- 患者識別(PID)セグメントは1患者の一連のオーダに1個必須である。（ファイル伝送の場合：オーダがまとめて伝送される場合メッセージヘッダ(MSH)セグメントがオーダの区切りとなる。）
- 検体(SPM)セグメントは検体単位に用いることが望ましい。例えば1オーダで検査材料が血清の単数材料を扱う場合であっても、検体が分かれる場合、検体(SPM)セグメントは複数に分割される。各々の検体(SPM)セグメント内のOBR-4/OBX-3はその検体に含まれる検査項目が指示される。
- 検体検査の検査項目コード(OBR-4/OBX-3)は日本臨床検査医学会臨床検査項目分類コードでコーディングされたものを用いる。
- 検査材料や部位(SPM-4, SPM-8)は日本臨床検査医学会検査分類コードの材料コードを用いる。
- 検査結果(OBX)セグメントは、依頼の際に検査に必要な臨床データを知らせる目的でも利用できるものとする。例えば身長、体重、月経周期など。
- OBSERVATION PRIORは同一患者の前回値をあらわす。患者識別(PID)セグメントが無いのは同一患者であるからである。検査部門はこの患者の前回測定時異なる患者識別かどうかを気にする必要は無い。しかし、電文上前回値と今回値の判断ができなくなるため、前回値を記載する場合「Patient Visit – previous result」を表す来院情報(PV1)セグメントは必須である。
- 検査結果(OBX)セグメント又は検査要求(OBR)セグメントに記述できる情報は注釈コメント(NTE)セグメントで送信すべきではない。

6.1.4 ORL – 1 検体に対する複数依頼の肯定応答メッセージ　イベント(O34)

1検体に対する複数依頼の肯定応答メッセージ(O24)は臨床検査依頼に対する応答をするイベントである。

ORL^O34　1検体に対する複数依頼の肯定応答メッセージ

ORL^O34^ORL_O34	Laboratory Order Acknowledgment Message – Multiple Order Per Specimen	Comment(JPN)	Chapter
MSH	Message Header	R	2
MSA	Message Acknowledgment	R	2
[{ ERR }]	Error	O	2
[{ SFT }]	Software	N	2
[{ NTE }]	Notes and Comments (for Header)	O	2
[	--- RESPONSE begin	O	

ORL^O34^ORL_O34	Laboratory Order Acknowledgment Message - Multiple Order Per Specimen	Comment(JPN)	Chapter
[	--- PATIENT begin	O	
PID	Patient Identification	O	3
{	--- SPECIMEN begin	R	
SPM	Specimen	R	7
[{ OBX }]	Observations related to specimen	O	7
[{ SAC }]	Specimen Container	O	
[{	--- ORDER begin	O	
ORC	Common Order	R	4
[{	--- TIMING begin	RE	
TQ1	Timing/Quantity	RE	4
[{ TQ2 }]	Timing/Quantity Order Sequence	O	4
}]	--- TIMING end		
[	--- OBSERVATION_REQUEST begin	O	
OBR	Observation Request	R	4
[{	--- SPECIMEN begin	N	
SPM	Specimen	N	7
[{ SAC }]	Specimen Container Details	N	13
}]	--- SPECIMEN end		
]	--- OBSERVATION_REQUEST end		
}]	--- ORDER end		
}	--- SPECIMEN end		
]	--- PATIENT end		
]	--- RESPONSE end	O	

注：OBSERBATION REQUEST beginの中にSpecimenが存在しているが、これはHL7 Ver.2.5自体の誤記であると思われる。

- エラー(ERR)セグメントは否定応答(MSA-1 = AE or AR)の場合に使用されるべきである。
- RESPONSE構文は特に必要が無い場合は省略される。

6.1.5 OML 1検体1容器複数依頼時の検査オーダメッセージ イベント(O35)

1検体1容器複数依頼時の検査オーダメッセージ(O35)は、検体ごとに容器のリストと容器単位で処理されるバッテリのリストを提供する。この構造はオーダされたバッテリが容器単位でソートされているような場合に適合する。

OML^O35 1検体1容器複数依頼時の検査オーダメッセージ

OML^O35^OML_O35	Laboratory Order - Multiple Order Per Container of Specimen Message	Comment(JPN)	Chapter
MSH	Message Header	R	2
[{ SFT }]	Software	N	2
[{ NTE }]	Notes and Comments (for Header)	O	2
[	--- PATIENT begin	RE	
PID	Patient Identification	R	3
[PD1]	Additional Demographics	O	3
[{ NTE }]	Notes and Comments (for Patient ID)	O	2
[{ NK1 }]	Next of Kin/Associated Parties	N	3
[	--- PATIENT_VISIT begin	RE	
PV1	Patient Visit	R	3
[PV2]	Patient Visit- Additional Info	O	3
]	--- PATIENT_VISIT end		
[{	--- INSURANCE begin	N	
IN1	Insurance	N	6

OML^O35^OML_O35	Laboratory Order – Multiple Order Per Container of Specimen Message	Comment(JPN)	Chapter
[IN2]	Insurance Additional Info	N	6
[IN3]	Insurance Add'l Info – Cert.	N	6
}]	--- INSURANCE end		
[GT1]	Guarantor	N	6
[{ AL1 }]	Allergy Information	O	3
]	--- PATIENT end		
{	--- SPECIMEN begin	R	
SPM	Specimen	R	7
[{ OBX }]	Observations related to specimen	O	7
{	--- SPECIMEN_CONTAINER begin	R	
SAC	Specimen Container	R	13
{	--- ORDER begin	R	
ORC	Common Order	R	4
[{	--- TIIMING begin	RE	
TQ1	Timing/Quantity	RE	4
[{ TQ2 }]	Timing/Quantity Order Sequence	O	4
}]	--- TIMING end		
[	--- OBSERVATION_REQUEST begin	R	
OBR	Observation Request	R	4
[TCD]	Test Code Details	O	13
[{ NTE }]	Notes and Comments (for Detail)	C	2
[{ DG1 }]	Diagnosis	N	6
[{	--- OBSERVATION begin	O	
OBX	Observation/Result	R	7
[TCD]	Test Code Detail	O	13
[{ NTE }]	Notes and Comments (for Results)	O	2
}]	--- OBSERVATION end		
[{	--- PRIOR_RESULT begin	O	
[	--- PATIENT_PRIOR begin	N	
PID	Patient Identification – previous result	N	3
[PD1]	Additional Demographics – previous result	N	3
]	--- PATIENT_PRIOR end		
[	--- PATIENT_VISIT_PRIOR begin	O	
PV1	Patient Visit – previous result	R	3
[PV2]	Patient Visit Add. Info – previous result	O	3
]	--- PATIENT_VISIT_PRIOR end		
[{ AL1 }]	Allergy Information – previous result	O	3
{	--- ORDER_PRIOR begin	R	
[ORC]	Common Order – previous result	R	4
OBR	Order Detail – previous result	R	4
[{ NTE }]	Notes and Comments – previous result	O	2
[{	--- TIMING_PRIOR begin	N	
TQ1	Timing/Quantity	N	4
[{ TQ2 }]	Timing/Quantity Order Sequence	N	4
}]	--- TIMING_PRIOR end		
{	--- OBSERVATION_PRIOR begin	O	
OBX	Observation/Result – previous result	R	7
[{ NTE }]	Notes and Comments – previous result	O	2
}	--- OBSERVATION_PRIOR end		
}	--- ORDER_PRIOR end		
}]	--- PRIOR_RESULT end		

© JAHIS 2012

OML^O35^OML_O35	Laboratory Order – Multiple Order Per Container of Specimen Message	Comment(JPN)	Chapter
]	--- OBSERVATION_REQUEST end		
[{ FT1 }]	Financial Transaction	N	6
[{ CTI }]	Clinical Trial Identification	N	7
[BLG]	Billing Segment	N	4
}	--- ORDER end		
}	--- SPECIMEN_CONTAINER end		
}	--- SPECIMEN end		

- メッセージヘッダ(MSH)セグメントはオーダの出力単位(メッセージ)の先頭に1つ必須である。（ファイル伝送の場合：オーダがまとめて伝送される場合オーダごとに先頭にメッセージヘッダ(MSH)セグメントが必須であり、区切りとなる。）
- 患者識別(PID)セグメントは1患者の一連のオーダに1個必須である。（ファイル伝送の場合：オーダがまとめて伝送される場合メッセージヘッダ(MSH)セグメントがオーダの区切りとなる。）
- OML^O35のメッセージ構文では、材料と採取容器の詳細(SAC)セグメントは検体(SPM)セグメントの下に置かなければならない。
- 検体検査の検査項目コード(OBR-4/OBX-3)は日本臨床検査医学会臨床検査項目分類コードでコーディングされたものを用いる。
- 検査材料や部位(SPM-4，SPM-8)は日本臨床検査医学会臨床検査分類コードの材料コードを用いる。
- 検査結果(OBX)セグメントは、依頼の際に検査に必要な臨床データを知らせる目的でも利用できるものとする。例えば身長、体重、月経周期など。
- OBSERVATION PRIORは同一患者の前回値をあらわす。患者識別(PID)セグメントが無いのは同一患者であるからである。検査部門はこの患者の前回測定時異なる患者識別かどうかを気にする必要は無い。しかし、電文上前回値と今回値の判断ができなくなるため、前回値を記載する場合「Patient Visit – previous result」を表す来院情報(PV1)セグメントは必須である。
- 検査結果(OBX)セグメント又は検査要求(OBR)セグメントに記述できる情報は注釈コメント(NTE)セグメントで送信すべきではない。

6.1.6 ORL – 1 検体 1 容器複数依頼の肯定応答メッセージ　イベント(O36)

1検体1容器複数依頼の肯定応答メッセージ(O36)は臨床検査依頼に対する応答をするイベントである。

ORL^O36　1検体1容器複数依頼の肯定応答メッセージ

ORL^O36^ORL_O36	Laboratory Order Acknowledgment Message – Multiple Order Per Container of Specimen	Comment(JPN)	Chapter
MSH	Message Header	R	2
MSA	Message Acknowledgment	R	2
[{ ERR }]	Error	O	2
[{ SFT }]	Software	N	2
[{ NTE }]	Notes and Comments (for Header)	O	2
[	--- RESPONSE begin	O	
[	--- PATIENT begin	O	
PID	Patient Identification	O	3
{	--- SPECIMEN begin	R	
SPM	Specimen	R	7
[{ OBX }]	Observations related to specimen	O	7
{	--- SPECIMEN_CONTAINER begin	R	
SAC	Specimen Container	R	13
[{	--- ORDER begin	O	
ORC	Common Order	R	4
[{	--- TIMING begin	RE	

ORL^O36^ORL_O36	Laboratory Order Acknowledgment Message – Multiple Order Per Container of Specimen	Comment(JPN)	Chapter
TQ1	Timing/Quantity	RE	4
[{ TQ2 }]	Timing/Quantity Order Sequence	O	4
}]	--- TIMING end		
[	--- OBSERVATION_REQUEST begin	R	
OBR	Observation Request	R	4
]	--- OBSERVATION_REQUEST end		
}]	--- ORDER end		
}	--- SPECIMEN_CONTAINER end		
}	--- SPECIMEN end		
]	--- PATIENT end		
]	--- RESPONSE end		

- エラー(ERR)セグメントは否定応答(MSA-1 = AE or AR)の場合に使用されるべきである。
- RESPONSE構文は特に必要が無い場合は省略される。

© JAHIS 2012

6.2　到着確認報告、臨床検査結果(ORU/ACK，OUL/ACK)

到着確認報告時、及び臨床検査結果報告時には検査結果メッセージ(ORUあるいはOUL)を用いる。

注：IHE LaboratoryではイベントR22とR24 がサポートされていたが、R24は旧バージョンとの互換性のためにのみ残し、替わりにR01をサポートすることにした。

検査結果のステータスの変更については、HL7 Ver.2.5ではMSHセグメントに含まれるトリガイベントフィールドとORC-5 (Filler Order status) , OBR-25 (Order Result Status) , OBX.11 (Observation Result Status) の組み合わせによって表現される。
OBX-11は個別の検査のステータスを含み、OBR-25は検査全体のステータスを含む。
ORC,OBR,OBX間のステータスの相互関係を以下に示す。

3つのテーブルの関係の要約

Order Table 0038 (ORC-5)	Request Table 0123 (OBR-25)	Result Table 0085 (OBX-11)	詳細
	O	O	オーダは受信済みだが、検体はまだ到着していない。 オーダの詳細記述のみに使われる。(OBXに結果はない) この値はORL（OMLに対する肯定応答）メッセージにのみ使用される。OMLメッセージでは使われるべきでない。
SC	S		検査はスケジュールされたが、未検査。結果は未だ無い。 検体は検査部門に届いていないかも知れない。OBXには反映されない。
IP	I	I	検査中。検体は検査中であるが結果は保留状態であり、完了していない。(いわゆる“到着確認”)
		D	OBXのレコードが削除された。
A	R	R	いくつかの結果が得られたが、未検証。
A	P	P	いくつかの検証済みの結果が得られた。
CM	F	F	最終結果：結果は格納され、検証された。以降は修正のみ許される。
(CM)	C	C	結果が修正された。最終結果と置換した。
CA	X	X	（OBXでは）この検査では結果が得られない。(ORC/OBRでは）結果が得られないので、オーダをキャンセル。

注：ORC-5で用いられるステータスコードはOBR-25/OBX-11で用いられるものよりも少ない。もし、直接的に意味が一致するものがなければ、最も近い意味合いのものを採用すること。上記のテーブルはこれらのフィールドに使用するコードの意味合いを記述したものである。ただし、全ての可能性のある関係を示したものではないことに注意すること。

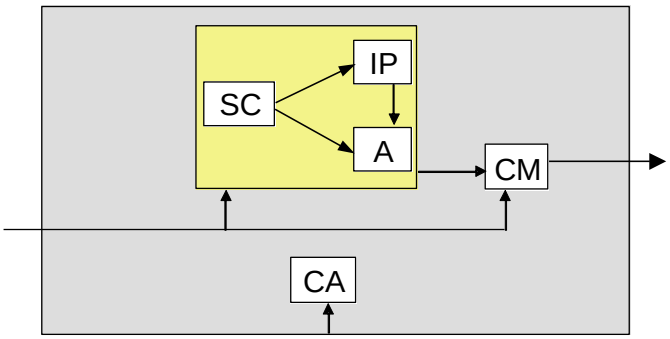
ステータスフィールドの関係の規則と、ステータス遷移図を以下に示す。

1. OBR-25 のステータスは“最低位”の個別のテスト(OBX-11)より早く完了することはできない。
   例えば OBX-11 のフィールドが全て‘F’になったときに限り、OBR-25 は‘F’にすることができる。
2. オーダ実施者によって決められるオーダステータスは検査依頼のステータス(OBR-25)よりも早く完了することはできない。
   例えば OBR-25 のフィールドが‘F’または‘C’になったときに限り、ORC-5 は‘CM’にすることができる。
3. 検査を終結する目的で、OBX-11 が‘X’または‘D’の場合、OBR-25 が‘X’の場合には‘F’とみなしてもよい。

1. ORC-5: オーダステータス（Order status）

検査依頼とそれに関連する結果のステータスフィールドは、検査の進行と完了によって表現される。
値の遷移は下記に示される。

© JAHIS 2012

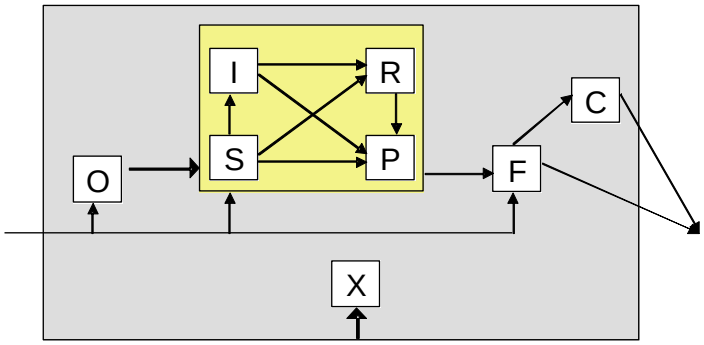


SC: 進行中、予定済み(scheduled)､検体は未検査(may not be available yet)
IP: 進行中、検体は検査中(available in laboratory)
A: 部分的完了
CM: オーダが完了した
CA: オーダが取り消された（どのステータスでも）

図 6.2-1: The ORC-5 status transition diagram

図6.2-1はORC-5のステータスコードがSC,から IP, A ,CMに変化していく通常のプロセスである。
ステータスコードがSCであれば、次の可能なステータスコードはIP, A ,CMまたはSCである。
ステータスコードがIPであれば、次の可能なステータスコードは A ,CMまたはIPである。
特別なステータスコードとしてCA （オーダが取り消された）があり、プロセス中の任意の過程で起こりうる。

2. OBR-25: オーダ結果ステータス（Order Result status）



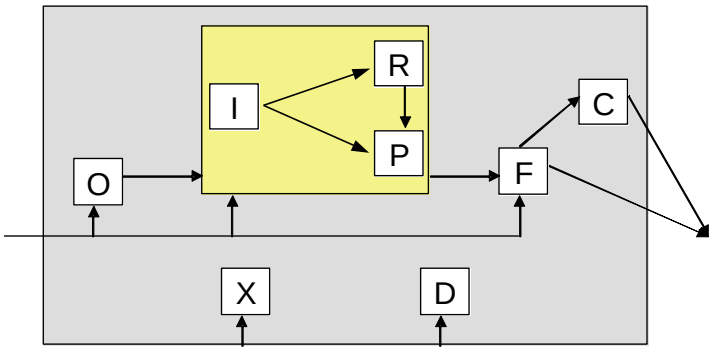
O: オーダ受信、検体未到着
S: 予定済み(Scheduled)､検体は未検査(specimen may not be available yet)
I: 検体は検査中、結果は不完全(results pending)
R: 部分的完了、未確認
P: 事前的(部分的)に確認された結果
F: 確認済み最終結果
C: 最終結果後の訂正、結果は最終・確認済みのまま(Results still final and verified)
X: オーダが取り消された（どのステータスでも）

図 6.2-2: The OBR-25 status transition diagram

図6.2-2はOBR-25のOがFに遷移する通常のプロセスである。中央部には４つのコードがある。
ステータスコードがSであれば、次の可能なステータスコードはI, R, P, F または Sのいずれかである。
ステータスコードがPであれば、次の可能なステータスコードは F またはPのいずれかである。
ステータスコードがFであれば、次の可能なステータスコードは F またはCのいずれかである。
特別なステータスコードとしてX （オーダが取り消された）があり、プロセス中の任意の過程で起こりうる。

© JAHIS 2012

3. OBX-11: 検査結果ステータス（Observation Result Status）



O: オーダ詳細記述のみ、結果なし
I: 検査部門に検体あり、結果保留
R: 結果入力済み(Result entered)、未確認
P: 事前的(部分的)に確認された結果
F: 確認済み最終結果
C: 最終結果後の訂正、結果は最終・確認済みのまま(Result still final and verified)
X: この検査では結果は得られない
D: このOBXレコードを削除する

図 6.2-3: The OBX-11 status transition diagram

図6.2-3はOBX-11のOがFに遷移する通常のプロセスである。中央部には３つのコードがある。
ステータスコードがIであれば、次の可能なステータスコードはI, R, P またはFのいずれかである。
ステータスコードがPであれば、次の可能なステータスコードは F またはPのいずれかである。
特別なステータスコードとしてX （この検査では結果が得られない） と D があり、プロセス中の任意の過程で起こりうる。

6.2.1 OUL 非要求検体ベース検査結果メッセージ イベント(R22)

このメッセージは、検体指向の検査を提供することを目指した。それは、例えば採取容器を要求する検査自動化システムに適用可能である。

イベントR22とR23の違いは、材料と採取容器の詳細(SAC)セグメントの扱いである。

参照：表6.3.1 イベントR22とR23での材料と採取容器の詳細(SAC)セグメントの扱い

表 6.3.1 イベントR22とR23での材料と採取容器の詳細(SAC)セグメントの扱い

イベント	HL7 Ver.2.5 での取り扱い	Japan での取り扱い
R22	O	RE
R23	R	R

材料と採取容器の詳細(SAC)セグメントの使い方については臨床検査自動化用セグメント詳細（９章）を参照。

OUL^R22/ACK 非要求検体ベース検査結果メッセージ

OUL^R22^OUL_R22	Unsolicited Specimen Oriented Observation Message	Comment(JPN)	Chapter
MSH	Message Header	R	2
[{SFT}]	Software Segment	N	2
[NTE]	Notes and Comments	O	2
[	--- PATIENT begin	RE	
PID	Patient Identification	R	3
[PD1]	Additional Demographics	O	3

© JAHIS 2012

OUL^R22^OUL_R22	Unsolicited Specimen Oriented Observation Message	Comment(JPN)	Chapter
[{NTE}]	Notes and Comments (for Patient ID)	O	2
]	--- PATIENT end		
[	--- VISIT begin	RE	
PV1	Patient Visit	RE	3
[PV2]	Patient Visit - Additional Information	O	3
]	--- VISIT end		
{	--- SPECIMEN begin	R	
SPM	Specimen information	R	7
[{ OBX }]	Observation Result (for Specimen)	O	7
[{	--- CONTAINER begin	O	
SAC	Container information	RE	13
[INV]	Detailed Substance information (e.g., id, lot, manufacturer, … of QC specimen)	O	13
}]	--- CONTAINER end		
{	--- ORDER begin	R	
OBR	Observation Order	R	7
[ORC]	Common Order	R	4
[{NTE}]	Notes and Comments (for Detail)	O	2
[{	--- TIMING_QTY begin	RE	
TQ1	Timing/Quantity	R	4
[{TQ2}]	Timing/Quantity Order Sequence	O	4
}]	--- TIMING_QTY end		
[{	--- RESULT begin	O	
OBX	Observation Result	R	7
[TCD]	Test Code Detail	O	13
{[SID]}	Substance Identifier (e.g., reagents used for testing)	O	13
[{NTE}]	Notes and Comments	C	2
}]	--- RESULT end		
[{CTI}]	Clinical Trial Identification	N	7
}	--- ORDER end		
}	--- SPECIMEN end		
[DSC]	Continuation Pointer	N	2

ACK^R22^ACK	General Acknowledgment	Comment(JPN)	Chapter
MSH	Message Header	R	2
[{ SFT }]	Software Segment	N	2
MSA	Message Acknowledgment	R	2
[{ ERR }]	Error	C	2

- 継続ポインタ(DSC)セグメントについて、本規約ではその使用を想定していないし、後出の「関連セグメント」でも説明していない。
  ただし、実装上、十分に大きなメッセージ単位（トランザクション）を扱えない場合は、当該システムの関係者の同意のもとに HL7 Ver.2.5 に従って継続ポインタ(DSC)セグメントを採用することができる。 この決定には後続ポインタの表現方法も含まれる。（ 関連する HL7 Ver.2.5 は、2.10.2節、2.15.4節。）
  以下、他のメッセージも同様である。

6.2.2 ORU 非要求検査結果転送メッセージ イベント(R01)

ORU^R01/ACK 非要求検査結果転送メッセージ

ORU^R01^ORU_R01	Unsolicited Observation Message	Comment(JPN)	Chapter
MSH	Message Header	R	2
[{ SFT }]	Software Segment	N	2
{	--- PATIENT_RESULT begin	C*)	
[	--- PATIENT begin	RE	
PID	Patient Identification	R	3
[PD1]	Additional Demographics	O	3
[{NTE}]	Notes and Comments	O	2
[{NK1}]	Next of Kin/Associated Parties	N	3
[	--- VISIT begin	RE	
PV1	Patient Visit	R	3
[PV2]	Patient Visit - Additional Info	O	3
]	--- VISIT end		
]	--- PATIENT end		
{	--- ORDER_OBSERVATION begin	R	
[ORC]	Order common	R	4
OBR	Observations Request	R	7
{[NTE]}	Notes and comments	O	2
[{	--- TIMING_QTY begin	RE	
TQ1	Timing/Quantity	R	4
[{TQ2}]	Timing/Quantity Order Sequence	O	4
}]	--- TIMING_QTY end		
[CTD]	Contact Data	N	11
[{	--- OBSERVATION begin	O	
OBX	Observation related to OBR	R	7
{[NTE]}	Notes and comments	C	2
}]	--- OBSERVATION end		
[{FT1}]	Financial Transaction	N	6
{[CTI]}	Clinical Trial Identification	N	7
[{	--- SPECIMEN begin	O	
SPM	Specimen	R	
[{OBX}]	Observation related to Specimen	O	
}]	--- SPECIMEN end		
}	--- ORDER_OBSERVATION end		
}	--- PATIENT_RESULT end		
[DSC]	Continuation Pointer	N	2

ACK^R01^ACK	Acknowledgment	Comment(JPN)	Chapter
MSH	Message header	R	2
[{ SFT }]	Software segment	N	2
MSA	Message acknowledgment	R	2
[{ ERR }]	Error	C	2

*) 通常、1電文の結果報告は1患者についてのみである。

6.2.3 OUL 非要求検査結果メッセージ イベント(R21)

IHE Laboratoryではこのメッセージの使用を推奨していない。

このメッセージはHL7 旧バージョンとの互換性のためにのみ残している。検体情報（検体(SPM)セグメント）もしくは採取容器情報（材料と採取容器の詳細(SAC)セグメント）が必要な場合、異なるOULメッセージを使用しなければならない。（例えばR22）

© JAHIS 2012

このメッセージの詳細に関してはHL7 Ver.2.5 7.3.2節を参照。

6.2.4 OUL　非要求検体採取容器ベース検査結果メッセージ　イベント(R23)

このメッセージは、検体指向の検査を提供することを目指した。それは、例えば採取容器を要求する検査自動化システムに適用可能である。

イベントR22とR23の違いは、材料と採取容器の詳細(SAC)セグメントの扱いである。

参照：表6.3.1 イベントR22とR23での材料と採取容器の詳細(SAC)セグメントの扱い

表 6.3.1 イベントR22とR23での材料と採取容器の詳細(SAC)セグメントの扱い

イベント	HL7 Ver.2.5 での取り扱い	Japan での取り扱い
R22	O	RE
R23	R	R

材料と採取容器の詳細(SAC)セグメントの使い方については臨床検査自動化用セグメント詳細（９章）を参照。

OUL^R23/ACK　非要求検体採取容器ベース検査結果メッセージ

OUL^R23^OUL_R23	Unsolicited Specimen Container Oriented Observation Message	Comment(JPN)	Chapter
MSH	Message Header	R	2
[{ SFT }]	Software Segment	N	2
[NTE]	Notes and Comments	O	2
[	--- PATIENT begin	RE	
PID	Patient Identification	R	3
[PD1]	Additional Demographics	O	3
[{NTE}]	Notes and Comments (for Patient ID)	O	2
]	--- PATIENT end		
[	--- VISIT begin	RE	
PV1	Patient Visit	R	3
[PV2]	Patient Visit - Additional Information	O	3
]	--- VISIT end		
{	--- SPECIMEN begin	R	
SPM	Specimen information	R	7
[{ OBX }]		O	7
{	--- CONTAINER begin	R	
SAC	Container information	R	13
[INV]	Detailed Substance information (e.g., id, lot, manufacturer, … of QC specimen)	O	13
{	--- ORDER begin	R	
OBR	Observation Order	R	7
[ORC]	Common Order	R	4
[{NTE}]	Notes and Comments (for Detail)	O	2
[{	--- TIMING_QTY begin	RE	
TQ1	Timing/Quantity	R	4
[{TQ2}]	Timing/Quantity Order Sequence	O	4
}]	--- TIMING_QTY end		
[{	--- RESULT begin	O	
OBX	Observation Result	R	7
[TCD]	Test Code Detail	O	13
{[SID]}	Substance Identifier (e.g., reagents used for testing)	O	13
[{NTE}]	Notes and Comments	C	2
}]	--- RESULT end		

OUL^R23^OUL_R23	Unsolicited Specimen Container Oriented Observation Message	Comment(JPN)	Chapter
[{CTI}]	Clinical Trial Identification	N	7
}	--- ORDER end		
}	--- CONTAINER end		
}	--- SPECIMEN end		
[DSC]	Continuation Pointer	N	2

ACK^R23^ACK	Acknowledgment	Comment(JPN)	Chapter
MSH	Message header	R	2
[{ SFT }]	Software segment	N	2
MSA	Message acknowledgment	R	2
[{ ERR }]	Error	C	2

6.2.5 OUL 非要求オーダベース検査結果メッセージ イベント(R24)

IHE Laboratoryではこのメッセージの使用を推奨していない。

材料と採取容器の詳細(SAC)セグメントの使い方については臨床検査自動化用セグメント詳細（９章）を参照。

OUL^R24/ACK 非要求オーダベース検査結果メッセージ

OUL^R24^OUL_R24	Unsolicited Specimen Container Oriented Observation Message	Comment(JPN)	Chapter
MSH	Message Header	R	2
[{ SFT }]	Software Segment	N	2
[NTE]	Notes and Comments	O	2
[	--- PATIENT begin	O	
PID	Patient Identification	R	3
[PD1]	Additional Demographics	O	3
[{NTE}]	Notes and Comments (for Patient ID)	O	2
]	--- PATIENT end		
[	--- VISIT begin	RE	
PV1	Patient Visit	R	3
[PV2]	Patient Visit - Additional Information	O	3
]	--- VISIT end		
{	--- ORDER begin	R	
OBR	Observation Order	R	7
[ORC]	Common Order	R	4
[{NTE}]	Notes and Comments (for Detail)	O	2
[{	--- TIMING_QTY begin	RE	
TQ1	Timing/Quantity	R	4
[{TQ2}]	Timing/Quantity Order Sequence	O	4
}]	--- TIMING_QTY end		
[{	--- SPECIMEN begin	O	
SPM	Specimen information	R	7
[{OBX}]		O	7
[{	--- CONTAINER begin	RE	
SAC	Container information	R	13
[INV]	Detailed Substance information (e.g., id, lot, manufacturer, … of QC specimen)	O	13
}]	--- CONTAINER end		
}]	--- SPECIMEN end		
[{	--- RESULT begin	R	

OUL^R24^OUL_R24	Unsolicited Specimen Container Oriented Observation Message	Comment(JPN)	Chapter
OBX	Observation Result	R	7
[TCD]	Test Code Detail	O	13
{[SID]}	Substance Identifier (e.g., reagents used for testing)	O	13
[{NTE}]	Notes and Comments	C	2
}]	--- RESULT end		
[{CTI}]	Clinical Trial Identification	N	7
}	--- ORDER end		
[DSC]	Continuation Pointer	N	2

ACK^R24^ACK	Acknowledgment	Comment(JPN)	Chapter
MSH	Message header	R	2
[{ SFT }]	Software segment	N	2
MSA	Message acknowledgment	R	2
[{ ERR }]	Error	C	2

6.2.6 ORU 非要求 Point-Of-Care 検査メッセージ依頼部門オーダなし イベント (R30)

IHE LaboratoryテクニカルフレームワークではLPOCT（Laboratory Point Of Care Testing：臨床検査の診療現場即時検査）プロファイルでLAB-32トランザクションとしてイベントR30と31の使用が定義されている。

このトリガイベントは、メッセージに含まれていた検査の新規オーダを作成するように受信側システムに命じる。

ドクタが検査を行なうように口頭で看護師に命じる場合、このトリガのユースケースの例が生じる。

情報管理の観点からこのユースケースを見て、看護師が検査を行なう前に検査部門情報システムあるいはオーダエントリーシステムへのオーダを予想するかも知れない。

しかしながら、これらのユースケースに於いてオーダエントリーのための時間は通常ない。

POC検査に於いてはPOC機器で測定を行うことによりオーダを生成する事が望ましい。

このORUメッセージは患者、関係する医者、患者の所在場所などの関連情報を伝えるために来院情報(PV1)セグメントと付加的な患者属性(PD1)セグメントの使用を要求している。

別のユースケースの例として、

共有の患者識別子のないリモートサイトのドクタが、検査を行なうように看護師に命じる場合がある。検査はLISへの事前オーダなしで行なわれ、検査が実施されたならば、結果と患者情報が、LISに送信される。

いくつかの状況では、LISはこれに臨床的な解釈を加えて、オーダエントリーシステムおよび（または）別のシステムにそれを報告するかもしれない。

このために診療科、依頼者、実施場所などの情報が要求とされる。

送信システムがすべての結果をその関連するオーダと関連させることを可能にするために、受信側システムは、OMLメッセージ中の共通オーダ(ORC)セグメントに含まれるような依頼者番号を返す必要がある。（注：IHE Laboratoryテクニカルフレームワークではfiller order number としている）

必要があれば、このメッセージはさらにオーダに対応する患者の名前のように検査実施者から返された情報を含んでいるかもしれない。そして、結果を格納する。

ORU^R30/ACK　非要求 Point-Of-Care検査メッセージ依頼部門オーダなし

ORU^R30^ORU_R30	Unsolicited Point-Of-Care observation message without existing order	Comment(JPN)	Chapter
MSH	Message Header	R	2
[{ SFT }]	Software Segment	N	2
PID	Patient Identification	R	3
[PD1]	Additional Demographics	O	3
[	--- VISIT begin	RE	
PV1	Patient Visit	R	3
[PV2]	Patient Visit - Additional	O	3
]	--- VISIT end		
ORC	Common Order information	R	4
OBR	Observation Request	R	7
{[NTE]}	Notes or Comments for order/result	RE	2
[{	--- TIMING_QTY begin	RE	
TQ1	Timing/Quantity	R	4
[{TQ2}]	Timing/Quantity Order Sequence	O	4
}]	--- TIMING_QTY end		
{	--- OBSERVATION begin	O	
OBX	Observation Results, one per reported value	R	7
{[NTE]}	Notes or Comments for individual result	C	2
}	--- OBSERVATION end		

ACK^R30^ACK	Acknowledgment	Comment(JPN)	Chapter
MSH	Message Acknowledgment	R	2
[{ SFT }]	Software segment	N	2
MSA	Message Acknowledgment	R	2
[{ ERR }]	Error	C	2

IHE Laboratoryテクニカルフレームワークの LPOCTプロファイルでは、CLSI(Clinical and Laboratory Standards Institute)の取り決めにより、ACK^R33を使用してMSA-3にFiller-Order-Numberを入れることになっている。

ACK^R33^ACK	Acknowledgment	Comment(JPN)	Chapter
MSH	Message Acknowledgment	R	2
[{ SFT }]	Software segment	N	2
MSA	Message Acknowledgment	R	2
[{ ERR }]	Error	C	2

6.2.7　ORU　非要求新 Point-Of-Care 検査メッセージ –オーダの検索 (R31)

IHE LaboratoryテクニカルフレームワークではLPOCT（Laboratory Point Of Care Testing：臨床検査の診療現場即時検査）プロファイルでLAB-32トランザクションとしてイベントR30と31の使用が定義されている。

このトリガイベントは、メッセージに含まれていた検査のための既存のオーダを探索するように受信側システムに命じる。

この場合、送信システムは、オーダが既に存在するかどうかは知らない。

このトランザクションは、関連する結果のための既存のオーダを探索するように受信側システムに命じる。

受信側システムは既存のオーダを見つけた場合は、OMLメッセージ中の共通オーダ(ORC)セグメントに含まれるような依頼者IDを送信側に返すべきである。

この情報は、検査結果確認者がすべての結果をその関連するオーダと関連させることを可能にす

る。

一致するオーダを見つけることができない場合、受信側システムが何を行うかは施設の規則によって決められる。

可能性としてはオーダを（トリガイベントR30のように）を自動的に生成する、あるいは結果の記録ではなく例外を記録することである。

患者、関係する医者、患者の所在場所などの関連する情報を伝達することが必要な場合、ORUメッセージの来院情報(PV1)セグメントと付加的な患者属性(PD1)セグメントを使用する。（記述に関してはORU ˆ R30を参照）

ORU^R31/ACK　非要求新 Point-Of-Care検査メッセージ –オーダの検索

ORU^R31^ORU_R30	Unsolicited new Point-Of-Care observation message	Comment(JPN)	Chapter
MSH	Message Header	R	2
[{ SFT }]	Software Segment	N	2
PID	Patient Identification	R	3
[PD1]	Additional Demographics	O	3
[	--- VISIT begin	RE	
PV1	Patient Visit	R	3
[PV2]	Patient Visit - Additional	O	
]	--- VISIT end		
ORC	Common Order information	R	4
OBR	Observation Request	R	7
{[NTE]}	Notes or Comments for order/result	RE	2
[{	--- TIMING_QTY begin	RE	
TQ1	Timing/Quantity	R	4
[{TQ2}]	Timing/Quantity Order Sequence	O	4
}]	--- TIMING_QTY end		
{	--- OBSERVATION begin	O	
OBX	Observation Results, one per reported value	R	7
{[NTE]}	Notes or Comments for individual result	C	2
}	--- OBSERVATION end		

ACK^R31^ACK	Acknowledgment	Comment(JPN)	Chapter
MSH	Message Acknowledgment	R	2
[{ SFT }]	Software segment	N	2
MSA	Message Acknowledgment	R	2
[{ ERR }]	Error	C	2

IHE Laboratoryテクニカルフレームワークの LPOCTプロファイルでは、CLSIの取り決めによってACK^R33を使用して、MSA-3にFiller-Order-Numberを入れることになっている。

ACK^R33^ACK	Acknowledgment	Comment(JPN)	Chapter
MSH	Message Acknowledgment	R	2
[{ SFT }]	Software segment	N	2
MSA	Message Acknowledgment	R	2
[{ ERR }]	Error	C	2

6.2.8　ORU　非要求事前 Point-Of-Care 検査オーダ　イベント(R32)

このトリガイベントは、メッセージに含まれたオーダ情報の結果を格納するように受信側システムに命じる。

従来の臨床検査室の視点では、これは恐らく主流なユースケースである。

しかし、POC環境では、検査が行なわれる時に既にオーダ生成していることは実際には珍しいが、

まれに存在する。

患者、関係する医者、患者の所在場所などの関連する情報を伝達することが必要な場合、ORUメッセージの来院情報(PV1)セグメントと付加的な患者属性(PD1)セグメントを使用する。（記述に関してはORU ^ R30を参照）

ORU^R32/ACK　非要求事前Point-Of-Care検査オーダ

ORU^R32^ORU_R30	Unsolicited Pre-ordered Point-Of-Care observation message	Comment(JPN)	Chapter
MSH	Message Header	R	2
[{ SFT }]	Software Segment	N	2
PID	Patient Identification	R	3
[PD1]	Additional Demographics	O	3
[	--- VISIT begin	RE	
PV1	Patient Visit	R	3
[PV2]	Patient Visit - Additional	O	
]	--- VISIT end		
ORC	Common Order information	R	4
OBR	Observation Request	R	7
{[NTE]}	Notes or Comments for order/result	RE	2
[{	--- TIMING_QTY begin	RE	
TQ1	Timing/Quantity	R	4
[{TQ2}]	Timing/Quantity Order Sequence	O	4
}]	--- TIMING_QTY end		
{	--- OBSERVATION begin	O	
OBX	Observation Results, one per reported value	R	7
{[NTE]}	Notes or Comments for individual result	C	2
}	--- OBSERVATION end		

ACK^R32^ACK	Acknowledgment	Comment(JPN)	Chapter
MSH	Message Acknowledgment	R	2
[{ SFT }]	Software segment	N	2
MSA	Message Acknowledgment	R	2
[{ ERR }]	Error	C	2

6.3　情報照会(QBP/RSP)

患者基本情報や検査結果情報の照会には情報照会メッセージ(QBP)を用いる。その応答には情報応答メッセージ(RSP)を用いる。その場合のセグメントと構文規則は以下のとおりである。

6.3.1　QBP 患者情報照会メッセージ イベント(ZC0)

患者情報照会メッセージ(ZC0)は、患者IDなどを指定し、該当する患者の氏名、性別、年齢等、基本となる情報を照会するメッセージである。

QBP　患者基本情報照会メッセージ

QBP^ZC0^QBP_Q11	Patient Information Query	Comment(JPN)	Chapter
MSH	Message Header	R	2
[{ SFT }]	Software	N	2
QPD	Query Parameter Definition Segment	R	5
RCP	Response Control Parameters	R	5
[DSC]	Continuation Pointer	N	2

- メッセージヘッダ(MSH)セグメントはメッセージに1つ必須である。

© JAHIS 2012

- 照会パラメータ定義(QPD)セグメントはメッセージに1つ必須である。
- MSH-9は「QBP^ZC0^QBP_Q11」となる。
- QPD-1は「ZC0^Get Patient Information^IOB_Qpd01」となる。
- 継続ポインタ(DSC)セグメントについて、本規約ではその使用を想定していないし、後出の「関連セグメント」でも説明していない。
  ただし、実装上、十分に大きなメッセージ単位（トランザクション）を扱えない場合は、当該システムの全ての関係システム・関係者の同意のもとに HL7 Ver.2.5 に従って継続ポインタ(DSC)セグメントを採用することができる。 この決定には後続ポインタの表現方法も含まれる。（ 関連する HL7 Ver.2.5 は、2.10.2節、2.15.4節。）
  以下、他のメッセージも同様である。

6.3.2 RSP 患者情報応答メッセージ イベント(ZC1)

患者情報応答メッセージ(ZC1)は、患者情報照会メッセージに応答し、指定された患者の基本情報を応答するメッセージである。

RSP　患者基本情報応答メッセージ

RSP^ZC1^RSP_ZC1	Patient Information Response	Comment(JPN)	Chapter
MSH	Message Header	R	2
[{ SFT }]	Software	N	2
MSA	Message Acknowledgment	R	2
[ERR]	Error	RE	2
QAK	Query Acknowledgement	R	5
QPD	Query Parameter Definition Segment	R	5
[	--- Patient Information Begin		
PID	Patient Identification	RE	3
PV1	Patient Visit	RE	3
[{ NK1 }]	Next of Kin/Associated Parties	N	3
]	--- Patient Information End		
[DSC]	Continuation Pointer	N	2

- メッセージヘッダ(MSH)セグメントはメッセージに1つ必須である。
- メッセージ応答(MSA)セグメントはメッセージに1つ必須である。
- 応答時エラーが発生した場合はエラー(ERR)セグメントは必須である。
- 照会応答(QAK)セグメントはメッセージに1つ必須である。
- 照会パラメータ定義(QPD)セグメントはメッセージに1つ必須であり、QBPメッセージで記載されたものをそのまま記載する。
- MSH-9は「RSP^ZC1^RSP_ZC1」となる。
- 継続ポインタ(DSC)セグメントについて、本規約ではその使用を想定していないし、後出の「関連セグメント」でも説明していない。
  ただし、実装上、十分に大きなメッセージ単位（トランザクション）を扱えない場合は、当該システムの全ての関係システム・関係者の同意のもとに HL7 Ver.2.5 に従って継続ポインタ(DSC)セグメントを採用することができる。 この決定には後続ポインタの表現方法も含まれる。（ 関連する HL7 Ver.2.5 は、2.10.2節、2.15.4節。）
  以下、他のメッセージも同様である。

6.3.3 QBP 検査結果情報照会メッセージ イベント(ZB5)

検査結果照会メッセージ(ZB5)は、オーダ番号、採取日などを指定し、該当するオーダの検査結果を照会するメッセージである。照会可能な結果は、結果値が定量、定性、文書などのキャラクタで表現できるものである。

© JAHIS 2012

QBP　検査結果照会メッセージ

QBP^ZB5^QBP_Q11	Observation Reporting Query	Comment(JPN)	Chapter
MSH	Message Header	R	2
[{ SFT }]	Software	N	2
QPD	Query Parameter Definition Segment	R	5
RCP	Response Control Parameters	R	5
[DSC]	Continuation Pointer	N	2

- メッセージヘッダ(MSH)セグメントはメッセージに1つ必須である。
- 照会パラメータ定義(QPD)セグメントはメッセージに1つ必須である。
- MSH-9は「QBP^ZB5^QBP_Q11」となる。
- QPD-1は「ZB5^Observation Reporting^IOB_Qpd01」となる。
- 継続ポインタ(DSC)セグメントについて、本規約ではその使用を想定していないし、後出の「関連セグメント」でも説明していない。
  ただし、実装上、十分に大きなメッセージ単位（トランザクション）を扱えない場合は、当該システムの全ての関係システム・関係者の同意のもとに HL7 Ver.2.5 に従って継続ポインタ(DSC)セグメントを採用することができる。 この決定には後続ポインタの表現方法も含まれる。（ 関連する HL7 Ver.2.5 は、2.10.2節、2.15.4節。）
  以下、他のメッセージも同様である。

6.3.4　RSP 検査結果応答メッセージ イベント(ZB6)

検査結果応答メッセージ(ZB6)は、検査結果照会メッセージに応答し、指定されたオーダ番号、採取日等にマッチングした検査結果を応答するメッセージである。

RSP　検査結果応答メッセージ

RSP^ZB6^RSP_ZB6	Observation Reporting Response	Comment(JPN)	Chapter
MSH	Message Header	R	2
[{ SFT }]	Software	N	2
MSA	Message Acknowledgment	R	2
[ERR]	Error	RE	2
QAK	Query Acknowledgment	R	5
QPD	Query Parameter Definition Segment	R	5
[{	---Observation Reporting Begin		
PID	Patient Identification	R	3
{	---Specimen Begin		
SPM	Specimen Information	R	7
{	---Order Begin		
OBR	Observation Order	R	7
[{ TQ1 }]	Timing/Quantity	RE	4
[{ OBX }]	Observation Result	RE	7
}	---Order End		
}	---Specimen End		
}]	---Observation Reporting End		
[DSC]	Continuation Pointer	N	2

- メッセージヘッダ(MSH)セグメントはメッセージに1つ必須である。
- メッセージ応答(MSA)セグメントはメッセージに1つ必須である。
- 応答時エラーが発生した場合はエラー(ERR)セグメントは必須である。
- 照会応答(QAK)セグメントはメッセージに1つ必須である。
- 照会パラメータ定義(QPD)セグメントはメッセージに1つ必須であり、QBPメッセージで記載されたものをそのまま記載する。
- MSH-9は「RSP^ZB6^RSP_ZB6」となる。

© JAHIS 2012

- 継続ポインタ(DSC)セグメントについて、本規約ではその使用を想定していないし、後出の「関連セグメント」でも説明していない。
  ただし、実装上、十分に大きなメッセージ単位（トランザクション）を扱えない場合は、当該システムの全ての関係システム・関係者の同意のもとに HL7 Ver.2.5 に従って継続ポインタ(DSC)セグメントを採用することができる。 この決定には後続ポインタの表現方法も含まれる。（ 関連する HL7 Ver.2.5 は、2.10.2節、2.15.4節。）
  以下、他のメッセージも同様である。

6.3.5 QBP 患者基本属性照会メッセージ イベント(Q22)

患者基本属性照会(Patient Demographics Query)メッセージ(Q22)は、IHE IT Infrastructure テクニカルフレームワークのPDQプロファイルにおいて、患者IDなどを指定し、該当する患者の氏名、性別、年齢等、基本となる情報を照会するメッセージである。後述の患者基本属性及び所在照会(Patient Demographics and Visit Query)メッセージでは､患者所在情報が応答に付随するのに対して、本メッセージでは、患者の基本的な情報のみであり、入院外来の区別や所在情報は応答メッセージに含まれない。

本メッセージは、IHE IT Infrastructure テクニカルフレームワーク のPDQプロファイル使用時にのみ使用可能なメッセージである。

QBP　患者情報照会メッセージ

QBP^Q22^QBP_Q21	Patient Information Query	Comment(JPN)	Chapter
MSH	Message Header	R	2
QPD	Query Parameter Definition Segment	R	5
RCP	Response Control Parameters	R	5
[DSC]	Continuation Pointer	O	2

- メッセージヘッダ(MSH)セグメントはメッセージに1つ必須である。
- 照会パラメータ定義(QPD)セグメントはメッセージに1つ必須である。
- MSH-9は「QBP^Q22^QBP_Q21」とする。
- QPD-1(MessageQueryName)は「IHE PDQ Query」とする。
- QPD-3(Demographics Fields)は以下のように設定する。

  @<seg>.<field no>.<component no>.<subcomponent no>
- 継続ポインタ(DSC)セグメントについて、本規約ではその使用を想定していないし、後出の「関連セグメント」でも説明していない。
  ただし、実装上、十分に大きなメッセージ単位（トランザクション）を扱えない場合は、当該システムの全ての関係システム・関係者の同意のもとに HL7 Ver.2.5 に従って継続ポインタ(DSC)セグメントを採用することができる。 この決定には後続ポインタの表現方法も含まれる。（ 関連する HL7 Ver.2.5 は、2.10.2節、2.15.4節。）
  以下、他のメッセージも同様である。

6.3.6 RSP 患者基本属性応答メッセージ イベント(K22)

患者基本属性応答メッセージ(K22)は、患者基本属性照会メッセージに応答し、指定された患者の基本情報を応答するメッセージである。

RSP　患者基本属性応答メッセージ

RSP^K22^RSP_K22	Patient Information Response	Comment(JPN)	Chapter
MSH	Message Header	R	2
MSA	Message Acknowledgment	R	2
[{ERR}]	Error	RE	2
QAK	Query Acknowledgement	R	5
QPD	Query Parameter Definition Segment	R	5
[{	--- Patient Demographics Begin		

RSP^K22^RSP_K22	Patient Information Response	Comment(JPN)	Chapter
PID	Patient Identification	RE	3
[PD1]		N	
[QRI]	Query Response Instance	N	5
}]	--- Patient Demographics End		
[DSC]	Continuation Pointer	N	2

- メッセージヘッダ(MSH)セグメントはメッセージに1つ必須である。
- メッセージ応答(MSA)セグメントはメッセージに1つ必須である。
- 応答時エラーが発生した場合はエラー(ERR)セグメントは必須である。
- 照会応答(QAK)セグメントはメッセージに1つ必須である。
- 照会パラメータ定義(QPD)セグメントはメッセージに1つ必須であり、QBPメッセージで記載されたものをそのまま記載する。
- MSH-9は「RSP^K22^RSP_K22」となる。
- IHE-Jのコネクタソンでは、患者追加基本情報(PD1)セグメント，照会応答インスタンス(QRI)セグメント，継続ポインタ(DSC)セグメントは使用しない。
- 継続ポインタ(DSC)セグメントについて、本規約ではその使用を想定していないし、後出の「関連セグメント」でも説明していない。
  ただし、実装上、十分に大きなメッセージ単位（トランザクション）を扱えない場合は、当該システムの全ての関係システム・関係者の同意のもとに HL7 Ver.2.5 に従って継続ポインタ(DSC)セグメントを採用することができる。 この決定には後続ポインタの表現方法も含まれる。（ 関連する HL7 Ver.2.5 は、2.10.2節、2.15.4節。）
  以下、他のメッセージも同様である。

6.3.7 QBP 患者基本属性及び所在照会メッセージ イベント(ZV1)

患者基本属性及び所在照会(Patient Demographics and Visit Query)メッセージ(ZV1)は、IHE IT Infrastructure テクニカルフレームワークのPDVQプロファイルにおいて、患者IDなどを指定し、該当する患者の氏名、性別、年齢等、基本となる情報と、患者入外区分や病棟、病室などの患者所在情報を同時に照会するメッセージである。前述の患者基本属性照会(Patient Demographics Query)メッセージでは、患者の基本的な情報のみであったのに対して、本メッセージでは、患者所在情報が応答に付随し、入院外来の区別や所在情報が応答メッセージに含まれる。

本メッセージは、IHE IT Infrastructure テクニカルフレームワークのPDVQプロファイル使用時にのみ使用可能なメッセージである。

QBP　患者情報照会メッセージ

QBP^ZV1^QBP_Q21	Patient Information Query	Comment(JPN)	Chapter
MSH	Message Header	R	2
QPD	Query Parameter Definition Segment	R	5
RCP	Response Control Parameters	R	5
[DSC]	Continuation Pointer	O	2

- メッセージヘッダ(MSH)セグメントはメッセージに1つ必須である。
- 照会パラメータ定義(QPD)セグメントはメッセージに1つ必須である。
- MSH-9は「QBP^ZV1^QBP_Q21」とする。
- QPD-1は「IHE PDVQ Query」とする。
- QPD-3(Demographics Fields)は以下のように設定する。

  @<seg>.<field no>.<component no>.<subcomponent no>
- 継続ポインタ(DSC)セグメントについて、本規約ではその使用を想定していないし、後出の「関連セグメント」でも説明していない。
  ただし、実装上、十分に大きなメッセージ単位（トランザクション）を扱えない場合は、当該シス

テムの全ての関係システム・関係者の同意のもとに HL7 Ver.2.5 に従って継続ポインタ(DSC)セグメントを採用することができる。 この決定には後続ポインタの表現方法も含まれる。（ 関連する HL7 Ver.2.5 は、2.10.2節、2.15.4節。）
以下、他のメッセージも同様である。

6.3.8 RSP 患者基本属性及び所在応答メッセージ イベント(ZV2)

患者基本属性応答メッセージ(ZV2)は、患者基本属性及び所在照会メッセージに応答し、指定された患者の基本属性及び所在情報を応答するメッセージである。

RSP　患者基本属性および所在応答メッセージ

RSP^ZV2^RSP_ZV2	Patient Information Response	Comment(JPN)	Chapter
MSH	Message Header	R	2
MSA	Message Acknowledgment	R	2
[{ERR}]	Error	RE	2
QAK	Query Acknowledgement	R	5
QPD	Query Parameter Definition Segment	R	5
[{	--- Patient Demographics Begin	C	
PID	Patient Identification	RE	3
[PD1]		N	
PV1	Patient Visit	R	3
[PV2]	Patient Visit - Additional Information	O	3
[QRI]	Query Response Instance	N	5
}]	--- Patient Demographics End		
[DSC]	Continuation Pointer	N	2

- メッセージヘッダ(MSH)セグメントはメッセージに1つ必須である。
- メッセージ応答(MSA)セグメントはメッセージに1つ必須である。
- 応答時エラーが発生した場合はエラー(ERR)セグメントは必須である。
- 照会応答(QAK)セグメントはメッセージに1つ必須である。
- 照会パラメータ定義(QPD)セグメントはメッセージに1つ必須であり、QBPメッセージで記載されたものをそのまま記載する。
- 本メッセージでは患者識別(PID)セグメントが存在する場合、来院情報(PV1)セグメントが必須となる。
- MSH-9は「RSP^ZV2^RSP_ZV2」とする。
- IHE-Jのコネクタソンでは、患者追加基本情報(PD1)セグメント，照会応答インスタンス(QRI)セグメントは使用しない。
- 継続ポインタ(DSC)セグメントについて、本規約ではその使用を想定していないし、後出の「関連セグメント」でも説明していない。
  ただし、実装上、十分に大きなメッセージ単位（トランザクション）を扱えない場合は、当該システムの全ての関係システム・関係者の同意のもとに HL7 Ver.2.5 に従って継続ポインタ(DSC)セグメントを採用することができる。 この決定には後続ポインタの表現方法も含まれる。（ 関連する HL7 Ver.2.5 は、2.10.2節、2.15.4節。）
  以下、他のメッセージも同様である。

6.3.9 QBP 検査依頼情報照会メッセージ イベント(WOS)

検査依頼情報照会メッセージ(WOS)は、LD(Laboratory Device)からAM(Automation Manager)へ検査依頼情報を照会するメッセージである。

© JAHIS 2012

QBP^WOS　検査依頼情報照会メッセージ

QBP^WOS^QBP_Q11	Query By Parameter	Comment(JPN)	Chapter
MSH	Message Header	R	2
[{SFT}]	Software Segment	O	2
QPD	Query Parameter Definition Segment	R	5
RCP	Response Control Parameters	R	5
[DSC]	Continuation Pointer	O	2

- メッセージヘッダ(MSH)セグメントはメッセージに1つ必須である。
- 照会パラメータ定義(QPD)セグメントはメッセージに1つ必須である。
- MSH-9は「QBP^WOS^QBP_Q11」とする。
- QPD-1は「WOS^Work Order Step^IHE_LABTF」とする。
- QPD-3の詳細は「7.13 QPD - query parameter definition 照会パラメータ定義 /QPD-3 User parameters 使用者パラメータ/a)メッセージ問合せ名=WOS^Work Order Step^IHE_LABTF の場合」参照。
- RCP-1は"I" (=Immediate) 固定とする。値がない場合、デフォルト値は "I" とする。
- RCP-3は"R" (=Real Time) 固定とする。値がない場合、デフォルト値は "R" とする。
- 継続ポインタ(DSC)セグメントについて、本規約ではその使用を想定していないし、後出の「関連セグメント」でも説明していない。
  ただし、実装上、十分に大きなメッセージ単位（トランザクション）を扱えない場合は、当該システムの全ての関係システム・関係者の同意のもとに HL7 Ver.2.5 に従って継続ポインタ(DSC)セグメントを採用することができる。 この決定には後続ポインタの表現方法も含まれる。（ 関連する HL7 Ver.2.5 は、2.10.2節、2.15.4節。）
  以下、他のメッセージも同様である。

6.3.10　RSP 検査依頼情報応答メッセージ イベント(WOS)

検査依頼情報応答メッセージ(WOS)は、検査依頼情報照会メッセージ(WOS)に対してAM(Automation Manager)からLD(Laboratory Device)へ検査依頼情報を応答するメッセージである。

© JAHIS 2012

RSP^WOS　検査依頼情報応答メッセージ

RSP^WOS^RSP K11	Segment Pattern Response	Comment(JPN)	Chapter
MSH	Message Header	R	2
[{SFT}]	Software Segment	O	2
MSA	Message Acknowledgement	R	2
[ERR]	Error	O	2
QAK	Query Acknowledgement	R	5
QPD	Query Parameter Definition Segment	R	5
{	--- SPECIMEN begin	C	
SPM	Specimen	R	
[{OBX}]	Observation related to specimen	O	
[{SAC}]	Specimen Container	RE	
[	--- PATIENT begin	O	
PID	Patient Identification	R	
[{OBX}]	Observation related to the patient	O	
]	--- PATIENT end		
{	--- ORDER begin	R	
ORC	Common Order	R	
[{TQ1}]	Timing/Quantity	RE	
[	--- OBSERVATION REQUEST begin	O	
OBR	Observation Request	R	
[TCD]	Test Code Details	O	
[{	--- OBSERVATION begin	O	
OBX	Observation/Result	R	
[TCD]	Test Code Detail	O	
[{ NTE }]	Notes and Comments (for Results)	O	
}]	--- OBSERVATION end		
]	--- OBSERVATION REQUEST end		
[{	--- PRIOR RESULT begin	O	
PV1	Patient Visit - previous result	R	
{	--- ORDER PRIOR begin	R	
ORC	Common order - previous result	R	
OBR	Order detail - previous result	R	
{	--- OBSERVATION PRIOR begin	R	
OBX	Observation/Result - previous result	R	
[{NTE}]	Comment of the result	C	
}	--- OBSERVATION PRIOR end		
}	--- ORDER PRIOR end		
}]	--- PRIOR RESULT end		
}	--- ORDER end		
}	--- SPECIMEN end		
[DSC]	Continuation Pointer		2

- メッセージヘッダ(MSH)セグメントはメッセージに1つ必須である。
- メッセージ応答(MSA)セグメントはメッセージに1つ必須である。
- 応答時エラーが発生した場合はエラー(ERR)セグメントは必須である。
- 照会応答(QAK)セグメントはメッセージに1つ必須である。

© JAHIS 2012

- 照会パラメータ定義(QPD)セグメントはメッセージに1つ必須であり、QBPメッセージで記載されたものをそのまま記載する。
- LDによっては、OBSERVATION segment group の検査コード詳細(TCD)セグメント、注釈コメント(NTE)セグメントが必要な場合がある。
- 応答するデータが無い場合は、SPECIMEN segment groupは存在しない。（例 : barcode read error など）
- MSH-9は「RSP^WOS^RSP_K11」とする。
- QPD-1は「WOS^Work Order Step^IHE_LABTF」とする。
- QPD-3の詳細は「7.13 QPD - query parameter definition 照会パラメータ定義 /QPD-3 User parameters 使用者パラメータ/a)メッセージ問合せ名=WOS^Work Order Step^IHE_LABTF の場合」参照。
- PRIOR RESULT segment group は同一患者の前回値をあらわす。患者識別(PID)セグメントが無いのは同一患者であるからである。検査部門はこの患者の前回測定時異なる患者識別かどうかを気にする必要は無い。しかし、電文上前回値と今回値の判断ができなくなるため、前回値を記載する場合「Patient Visit – previous result」を表す来院情報(PV1)セグメントは必須である。
- PV1-2（患者区分）は、送信側がわからない場合は “U”(= patient class unknown)を用いる。
- PRIOR RESULT segment group のORC-1（オーダ制御）は “PR” (Prior results)とする。
- 検体セグメント(SPM)は、LD側ではSPM-2（検体ID）以外は取り扱わない。
- LDにおける患者識別(PID)セグメントについては、必須項目(R)であってもLDの取り扱い仕様に準じる。ただしIHE-Jのコネクタソンにおいては、識別のためPID-3（患者ID（内部ID））、PID-5（患者氏名）を必須とする。PID-5（患者氏名）については、漢字、カナ氏名いずれを取り扱うかはLDの取り扱い仕様に準じる。基本仕様はOML(O33)メッセージの患者識別(PID)セグメントの取り扱いに準じる。
- 共通オーダ(ORC)セグメントは、LD側ではORC-1（オーダ制御）のみ参照する。
- 継続ポインタ(DSC)セグメントについて、本規約ではその使用を想定していないし、後出の「関連セグメント」でも説明していない。
  ただし、実装上、十分に大きなメッセージ単位（トランザクション）を扱えない場合は、当該システムの全ての関係システム・関係者の同意のもとに HL7 Ver.2.5 に従って継続ポインタ(DSC)セグメントを採用することができる。 この決定には後続ポインタの表現方法も含まれる。（ 関連する HL7 Ver.2.5 は、2.10.2節、2.15.4節。）
  以下、他のメッセージも同様である。

6.3.11 QBP ラベル情報照会メッセージ イベント(SLI)

ラベル情報照会メッセージ(SLI)は、LB(Label Broker)からLIP(Label Information Provider)へラベル情報を照会するメッセージである。

QBP^SLI　ラベル情報照会メッセージ

QBP^SLI^QBP_Q11	Query By Parameter	Comment(JPN)	Chapter
MSH	Message Header	R	2
[{SFT}]	Software Segment	O	2
QPD	Query Parameter Definition Segment	R	5
RCP	Response Control Parameters	R	5
[DSC]	Continuation Pointer	O	2

- メッセージヘッダ(MSH)セグメントはメッセージに1つ必須である。
- 照会パラメータ定義(QPD)セグメントはメッセージに1つ必須である。
- MSH-9は「QBP^SLI^QBP_Q11」とする。
- QPD-1は「SLI^Specimen Labeling Instructions^IHE_LABTF」とする。

- QPD-3の詳細は「7.13 QPD - query parameter definition 照会パラメータ定義 /QPD-3 User parameters 使用者パラメータ/b)メッセージ問合せ名=SLI^Specimen Labeling Instructions^IHE_LABTF の場合」参照。
- RCP-1は"I" (=Immediate) 固定とする。値がない場合、デフォルト値は "I" とする。
- RCP-3は"R" (=Real Time) 固定とする。値がない場合、デフォルト値は "R" とする。
- 継続ポインタ(DSC)セグメントについて、本規約ではその使用を想定していないし、後出の「関連セグメント」でも説明していない。
  ただし、実装上、十分に大きなメッセージ単位（トランザクション）を扱えない場合は、当該システムの全ての関係システム・関係者の同意のもとに HL7 Ver.2.5 に従って継続ポインタ(DSC)セグメントを採用することができる。 この決定には後続ポインタの表現方法も含まれる。（ 関連する HL7 Ver.2.5 は、2.10.2節、2.15.4節。）
  以下、他のメッセージも同様である。

6.3.12 RSP ラベル情報応答メッセージ イベント(SLI)

ラベル情報応答メッセージ(SLI)は、ラベル情報照会メッセージ(SLI)に対してLIP(Label Information Provider) からLB(Label Broker)へラベル情報を応答するメッセージである。

RSP^WOS 検査依頼情報応答メッセージ

RSP^SLI^RSP_K11	Segment Pattern Response	Comment(JPN)	Chapter
MSH	Message Header	R	2
[{SFT}]	Software Segment	O	2
MSA	Message Acknowledgement	R	2
[ERR]	Error	O	2
QAK	Query Acknowledgement	R	5
QPD	Query Parameter Definition Segment	R	5
[	--- PATIENT begin	C	
PID	Patient Identification	R	
PV1	Patient Visit	O	
[{OBX}]	Observation related to the patient	O	
{	--- SPECIMEN begin	R	
SPM	Specimen	R	
[{OBX}]	Observation related to specimen	O	
[{SAC}]	Specimen Container	O	
{	--- ORDER begin	R	
ORC	Common Order	R	
[{TQ1}]	Timing/Quantity	RE	
[	--- OBSERVATION REQUEST begin	O	
OBR	Observation Request	R	
[TCD]	Test Code Details	O	
[{OBX}]	Observation Result	O	
]	--- OBSERVATION REQUEST end		
}	--- ORDER end		
}	--- SPECIMEN end		
]	--- PATIENT end		
[DSC]	Continuation Pointer		2

- メッセージヘッダ(MSH)セグメントはメッセージに1つ必須である。
- メッセージ応答(MSA)セグメントはメッセージに1つ必須である。

- 応答時エラーが発生した場合はエラー(ERR)セグメントは必須である。
- 照会応答(QAK)セグメントはメッセージに1つ必須である。
- 照会パラメータ定義(QPD)セグメントはメッセージに1つ必須であり、QBPメッセージで記載されたものをそのまま記載する。
- MSH-9は「RSP^SLI^RSP_K11」とする。
- 照会パラメータ定義(QPD)セグメントは、QBPメッセージ中の照会パラメータ定義(QPD)セグメントと同様の取り扱いとする。
- RCP-1は"I" (=Immediate) 固定とする。値がない場合、デフォルト値は "I" とする。
- RCP-3は"R" (=Real Time) 固定とする。値がない場合、デフォルト値は "R" とする。
- IHE-Jのコネクタソンにおいては、識別のためPID-3（患者ID（内部ID））、PID-5（患者氏名）を必須とする。
- 来院情報(PV1)セグメントは、基本仕様はOML(O33)メッセージの来院情報(PV1)セグメントの取り扱いに準じる。
- 検体セグメント(SPM)は、基本仕様はOML(O33)メッセージの検体セグメント(SPM)の取り扱いに準じる。
- 共通オーダ(ORC)セグメントは、基本仕様はOML(O33)メッセージの共通オーダ(ORC)セグメントの取り扱いに準じる。
- タイミング／数量(TQ1)セグメントは、基本仕様はOML(O33)メッセージのタイミング／数量(TQ1)セグメントの取り扱いに準じる。
- 検査要求(OBR)セグメントは、基本仕様はOML(O33)メッセージの検査要求(OBR)セグメントの取り扱いに準じる。
- LIPはLBからのクエリパラメータを解析し、施設の取り決めによって定められた適当な情報を構成してただちにLBに送信すべきである。
- 継続ポインタ(DSC)セグメントについて、本規約ではその使用を想定していないし、後出の「関連セグメント」でも説明していない。
  ただし、実装上、十分に大きなメッセージ単位（トランザクション）を扱えない場合は、当該システムの全ての関係システム・関係者の同意のもとに HL7 Ver.2.5 に従って継続ポインタ(DSC)セグメントを採用することができる。 この決定には後続ポインタの表現方法も含まれる。（ 関連する HL7 Ver.2.5 は、2.10.2節、2.15.4節。）
  以下、他のメッセージも同様である。

© JAHIS 2012

6.4　患者情報通知(ADT/ACK)

患者情報の通知には患者管理メッセージ(ADT)を用い、その場合のセグメントと構文規則は以下のとおりである。

HL7 Ver.2.5ではADTメッセージはイベントA01-A62が定義されているが、本規約ではIHE IT Infrastructure テクニカルフレームワークのPatient Administration Managementプロファイルに Required message(Patient Identity Feed) / Basic subset(Patient Encounter Management) として定義されている A01,A03,A04,A08,A11,A13,A24,A28,A31,A37,A40,A47 について記載する。

JAHIS臨床検査データ交換規約＜オンライン版＞Ver.2.0 では、「通常はA04及びA08のイベントを使用し、それ以外のイベントは双方合意の場合のみ使用できる。」としていた。

注：イベントタイプ(EVN)セグメントについて
ADTメッセージでは､MSH-9に含まれるイベントコードとEVNセグメントのEVN-1イベントコードが重複している。これは以前のバージョンとの互換性を保つためである。イベントコードの通知にはMSH-9を使用することを推奨する。EVN-1フィールドは重複しているがADTメッセージ構文でEVNセグメントを省略できることではないので注意が必要である。また、IHE IT Infrastructure テクニカルフレームワークではEVN-2 Recorded Date Time(TS)を必須としている。

6.4.1　ADT/ACK 患者情報の更新メッセージ イベント(A08)

ADT/ACK - 患者情報の更新 (イベント A08)

ADT^A08^ADT_A01	ADT Message	Comment(JPN)	Chapter
MSH	Message Header	R	2
[{ SFT }]	Software Segment	N	2
EVN	Event Type	R	3
PID	Patient Identification	R	3
[PD1]	Additional Demographics	O	3
[{ ROL }]	Role	O	15
[{ NK1 }]	Next of Kin / Associated Parties	O	3
PV1	Patient Visit	R	3
[PV2]	Patient Visit - Additional Info.	O	3
[{ ROL }]	Role	O	15
[{ DB1 }]	Disability Information	O	3
[{ OBX }]	Observation/Result	O	7
[{ AL1 }]	Allergy Information	O	3
[{ DG1 }]	Diagnosis Information	O	6
[DRG]	Diagnosis Related Group	O	6
[{	--- PROCEDURE begin	O	
PR1	Procedures	R	6
[{ ROL }]	Role	O	15
}]	--- PROCEDURE end		
[{ GT1 }]	Guarantor	O	6
[{	--- INSURANCE begin	O	
IN1	Insurance	R	6
[IN2]	Insurance Additional Info.	O	6
[{ IN3 }]	Insurance Additional Info - Cert.	O	6
[{ ROL }]	Role	O	15
}]	--- INSURANCE end		
[ACC]	Accident Information	O	6
[UB1]	Universal Bill Information	O	6
[UB2]	Universal Bill 92 Information	O	6
[PDA]	Patient Death and Autopsy	O	3

© JAHIS 2012

ACK^A08^ACK	General Acknowledgment	Comment(JPN)	Chapter
MSH	Message Header	R	2
[{ SFT }]	Software Segment	N	2
MSA	Message Acknowledgment	R	2
[{ ERR }]	Error	C	2

- メッセージヘッダ(MSH)セグメントはメッセージに1つ必須である。
- 患者識別(PID)セグメントはメッセージに1つ必須である。
- 来院補足情報(PV2)セグメントは省略ができる。
- 患者アレルギー情報(AL1)セグメントは、アレルギー情報がない場合は省略できる。
- エラー(ERR)セグメントは否定応答(MSA-1 = AE or AR)の場合に使用されるべきである。

6.4.2 ADT/ACK 個人情報の更新メッセージ イベント(A31)

A31イベントはMPI(MasterPersonIndex)の個人情報の更新に使うことができる。A08（患者情報の更新）イベントに似ているが、A08イベントは現在の出来事に対して患者情報を更新する際に使用される。A28（個人情報の追加）またはA31はMPI情報を個人情報として事後登録、あるいは履歴情報として個人情報に事後登録するためにも使用できる。

旧バージョンとの互換性を維持するため、PV1セグメントは必要である。しかしながら、PV1-2患者種別をN-適応外とすることで、この目的にPV1を使うことが出来る。

このメッセージにおいてROL（役割セグメント）は他の医療機関と通信するときに使用される。関係が進んでいる個人レベルの医療提供者は、PID/PD1セグメントに続くROLセグメントで通知する。PV1セグメントに対応する医療提供者は、PV1/PV2セグメントに続くROLセグメントで通知する。特定の保険に関連した医療機関はIN1,IN2,IN3セグメントに続くROLセグメントで通知する。医療機関にかかる最初の、そして最終の日付を通知する場合は、ROLセグメントの「ROL-5役割開始日時」と、「ROL-6役割終了日時」と、「ROL-3役割」を使用する。ROLセグメントの定義についてはHL7 Ver.2.5 15章を参照。

注：MPIは、患者、保証人、加入者、そして医療提供者をも含む個人(Person)を対象とし、個人の識別情報や異なるシステム間での相互参照を管理する目的で使用される。つまり、IDドメインの間の調整役として機能する。一般的にMPIは広域の、あるいはエンタープライズ識別子を持ち、その識別子によりそのMPI自体で個人を一意的に識別する。この識別子のためのドメインはMPIのクライアントであっても、なくてもよい。また、MPIは個人に対する識別子を供給する機能、その個人に与えられた特色セット、または患者基本情報を含む。

ADT/ACK – 個人情報の更新 (イベント A31)

ADT^A31^ADT_A05	ADT Message	Comment(JPN)	Chapter
MSH	Message Header	R	2
[{ SFT }]	Software Segment	N	2
EVN	Event Type	R	3
PID	Patient Identification	R	3
[PD1]	Additional Demographics	O	3
[{ ROL }]	Role	O	15
[{ NK1 }]	Next of Kin / Associated Parties	O	3
PV1	Patient Visit	R	3
[PV2]	Patient Visit - Additional Info.	X	3
[{ ROL }]	Role	O	15
[{ DB1 }]	Disability Information	O	3
[{ OBX }]	Observation/Result	O	7
[{ AL1 }]	Allergy Information	O	3
[{ DG1 }]	Diagnosis Information	O	6
[DRG]	Diagnosis Related Group	O	6
[{	--- PROCEDURE begin	O	

ADT^A31^ADT_A05	ADT Message	Comment(JPN)	Chapter
PR1	Procedures	R	6
{ ROL }	Role	O	15
}]	--- PROCEDURE end		
[{ GT1 }]	Guarantor	O	6
[{	--- INSURANCE begin	O	
IN1	Insurance	R	6
[IN2]	Insurance Additional Info.	O	6
[{ IN3 }]	Insurance Additional Info - Cert.	O	6
[{ ROL }]	Role	O	15
}]	--- INSURANCE end		
[ACC]	Accident Information	O	6
[UB1]	Universal Bill Information	O	6
[UB2]	Universal Bill 92 Information	O	6

ACK^A31^ACK	General Acknowledgment	Comment(JPN)	Chapter
MSH	Message Header	R	2
[{ SFT }]	Software Segment	N	2
MSA	Message Acknowledgment	R	2
[{ ERR }]	Error	C	2

- メッセージヘッダ(MSH)セグメントはメッセージに1つ必須である。
- 患者識別(PID)セグメントはメッセージに1つ必須である。
- 来院補足情報(PV2)セグメントは省略ができる。
- 患者アレルギー情報(AL1)セグメントは、アレルギー情報がない場合は省略できる。
- エラー(ERR)セグメントは否定応答(MSA-1 = AE or AR)の場合に使用されるべきである。

6.4.3 ADT/ACK 個人情報の追加メッセージ イベント(A28)

このメッセージは、複数のシステムを持ち、独立した患者データベースを持つ施設の間で、それぞれの施設での患者であるかどうかにかかわらず、一人の患者の活動を通信することを目的としている。関連施設間でデータを完全な状態に維持するために、個々のシステムは他システムのデータベース稼働状況を監視する。これらはADTメッセージセットの一部として定義されているが、これらメッセージは他の患者用のものとは異なる。ある記録において、ある人は関心対象になる可能性がある、患者になる可能性がある、保証人になる可能性がある。例えば、これらのイベントはMPI（Master Person Index）や癌登録システム、マネージドケア名簿、HIVデータベースなどで使うことができる。

これらイベントはA01（入院／来院の通知）、A03（退院／在院終了）、A04(患者の登録)、A08（患者情報の更新）などのイベントの代わりに使用してはいけない。これらはリアルタイムで動く患者管理イベントの通知として使うことを意図していない。これらイベントは主に患者基本情報用であるが、経時的非患者基本情報を送ってもかまわない。

データが送られた人は、その時に患者ではなく保証人の可能性がある人であっても、PIDセグメントの「PID-3患者IDリスト」で特定できる必要がある。A28は個人識別情報、例えば社会保障番号（Social Security Number）、保証人IDなど一意的な識別情報で成り立ち、そしてこれら個人識別情報は「PID-3個人IDリスト」に含まれる。必要な人は、それら識別情報と関係がある場合、ない場合があるかもしれない。そしてこのトランザクションにおいて、「患者」と標記されたフィールド名は「個人」と読み代えなければならない。この方法により、保証人に関する「個人情報」は保証人のいかなる患者との関係と独立して送ることができる。

例えば、入院患者システム、非入院患者システム、診療記録システムが独立した施設において、個々のシステムで個人情報を維持する必要があるかもしれない。入院に先立ち、入院患者システムのマスタデータベースに新しい個人情報が追加され、その結果、メッセージが他のシステムに

通知される。非入院患者システムはこのメッセージを受け取り、その患者が非入院患者になる日のためにデータベースに記録する。診療記録システムは、そのメッセージを受け取り、その個人が入院患者、非入院患者、検診患者として追跡できるようにデータベースに記録する。診療記録データベースまたはMPIは、このメッセージを受け取り、患者候補、保証人候補としてデータベースに記録する。

A28イベントは個人情報については何でも送ることができる。例えば、ICUへ患者が搬送される際に、患者のすべての患者基本情報をICUシステムに取り込ませるために、A02転科転棟イベントに追加してA28イベントを送ることができる。A28（個人情報の追加）またはA31（個人情報の更新）はまた、MPI情報を個人情報として事後登録する、また履歴情報を個人情報として事後登録することに使用できる。

さらに、個人情報の同期を維持するために同様な方法でデータベースに対する個人を登録、削除、更新、マージができる。個人が患者になったときに、どの程度データを送信、再送信するかは、その関連施設内で調整する必要がある。

旧バージョンとの互換性を維持するため、PV1セグメントは必要である。しかしながら、PV1-2患者種別をN-適応外とすることで、この目的にPV1を使うことが出来る。

このメッセージにおいてROL（役割セグメント）は他の医療機関と通信するときに使用される。関係が進んでいる個人レベルの医療提供者は、PID/PD1セグメントに続くROLセグメントで通知する。PV1セグメントに対応する医療提供者は、PV1/PV2セグメントに続くROLセグメントで通知する。特定の保険に関連した医療機関はIN1,IN2,IN3セグメントに続くROLセグメントで通知する。医療機関にかかる最初の、そして最終の日付を通知する場合は、ROLセグメントの「ROL-5役割開始日時」と、「ROL-6役割終了日時」と、「ROL-3役割」を使用する。ROLセグメントの定義についてはHL7 Ver.2.5 15章を参照。

ADT/ACK - 個人情報の追加 (イベント A28)

ADT^A28^ADT_A05	ADT Message	Comment(JPN)	Chapter
MSH	Message Header	R	2
[{ SFT }]	Software Segment	N	2
EVN	Event Type	R	3
PID	Patient Identification	R	3
[PD1]	Additional Demographics	O	3
[{ ROL }]	Role	O	15
[{ NK1 }]	Next of Kin / Associated Parties	O	3
PV1	Patient Visit	R	3
[PV2]	Patient Visit - Additional Info.	X	3
[{ ROL }]	Role	X	15
[{ DB1 }]	Disability Information	O	3
[{ OBX }]	Observation/Result	O	7
[{ AL1 }]	Allergy Information	O	3
[{ DG1 }]	Diagnosis Information	O	6
[DRG]	Diagnosis Related Group	O	6
[{	--- PROCEDURE begin	O	
PR1	Procedures	R	6
[{ ROL }]	Role	O	15
}]	--- PROCEDURE end		
[{ GT1 }]	Guarantor	O	6
[{	--- INSURANCE begin	O	
IN1	Insurance	R	6
[IN2]	Insurance Additional Info.	O	6
[{ IN3 }]	Insurance Additional Info - Cert.	O	6
[{ ROL }]	Role	O	15
}]	--- INSURANCE end		
[ACC]	Accident Information	O	6

ADT^A28^ADT_A05	ADT Message	Comment(JPN)	Chapter
[UB1]	Universal Bill Information	O	6
[UB2]	Universal Bill 92 Information	O	6

ACK^A28^ACK	General Acknowledgment	Comment(JPN)	Chapter
MSH	Message Header	R	2
[{ SFT }]	Software Segment	N	2
MSA	Message Acknowledgment	R	2
[{ ERR }]	Error	C	2

- メッセージヘッダ(MSH)セグメントはメッセージに1つ必須である。
- 患者識別(PID)セグメントはメッセージに1つ必須である。
- 来院補足情報(PV2)セグメントは省略ができる。
- 患者アレルギー情報(AL1)セグメントは、アレルギー情報がない場合は省略できる。
- エラー(ERR)セグメントは否定応答(MSA-1 = AE or AR)の場合に使用されるべきである。

6.4.4 ADT/ACK 患者 ID リストの変更メッセージ イベント(A47)

患者IDリストレベルでの変更である。これはひとつのPID-3患者IDリストの値が誤った時に修正するために使用する。

A47イベントはPID-3患者IDで誤って指定された値を変更するときに使用する。「誤った識別情報」の値はMRGセグメント（MRG-1前の患者IDリスト）で示され、PIDセグメント（PID-3患者IDリスト）で示される「正しい患者ID」の値に変更される。

患者を識別するための識別情報には会計情報を含むかもしれないし、含まないかもしれない。来院情報もあるかもしれないし、ないかもしれない。A47（患者IDリストの変更）イベントは他の下位の識別情報の変更なしで患者IDリストの値を変更することを意図している。「間違った識別情報」で示される他の下位の識別情報は、「正しい識別情報」で示される情報に更新される。しかし、下位の識別情報は必須ではない。

このイベント、メッセージの書式においては、しかしながら、（「PID-3患者IDリスト」に加えて）新しい下位の識別情報を含むことができる。そのような環境では、これら下位の識別情報をA47（患者IDリストの変更）で変更するには、旧識別情報と新識別情報が密接に対応していなければならない。

変更メッセージを導入する際の詳細についてはHL7 Ver.2.5 3章の「3.6.2患者／個人情報のマージ」「3.6.2.1.3転送」を参照。

このメッセージが送られる時の各フィールドはこのイベントを伝えるために適切な内容でなければならない。もし、他のフィールドの患者基本情報が変更になった時には、引き続きA31（個人情報の更新）イベントを送ることを推奨する。しかしながら、新しい患者IDに関連したすべてのPIDデータは、更新情報として扱われる。

ADT/ACK - 患者IDリストの変更 (イベント A47)

ADT^A47^ADT_A30	ADT Message	Comment(JPN)	Chapter
MSH	Message Header	R	2
[{ SFT }]	Software Segment	N	2
EVN	Event Type	R	3
PID	Patient Identification	R	3
[PD1]	Additional Demographics	O	3
MRG	Merge Information	R	3

ACK^A47^ACK	General Acknowledgment	Comment(JPN)	Chapter
MSH	Message Header	R	2
[{ SFT }]	Software Segment	N	2

ACK^A47^ACK	General Acknowledgment	Comment(JPN)	Chapter
MSA	Message Acknowledgment	R	2
[{ ERR }]	Error	C	2

- メッセージヘッダ(MSH)セグメントはメッセージに1つ必須である。
- 患者識別(PID)セグメントはメッセージに1つ必須である。
- エラー(ERR)セグメントは否定応答(MSA-1 = AE or AR)の場合に使用されるべきである。

6.4.5 ADT/ACK 患者情報のマージ-患者 ID リストメッセージ イベント(A40)

患者IDリストのマージを行う。2つの「PID-3患者IDリスト」を1つにマージする。

A40イベントは2つの異なる識別情報で示される誤ったフィールドを持つ患者の記録をマージするときの通知に使用される。「誤った識別情報」はMRGセグメント（MRG-1 前の患者IDリスト）で示され、PIDセグメント（PID-3患者IDリスト）に同じ種類の「正しい識別情報」を持つ情報でマージされる。「誤った識別情報」は二度と参照されることはない。しかしいくつかのシステムでは「間違った患者ID」を物理的に保持している場合があるが、それは監査の目的、あるいはデータベースを導入したときの仕様によるものである。

患者を識別するための患者IDは、来院情報があるかないか、会計情報があるかないか様々である。A40(患者情報のマージ-患者IDリスト)イベントは、患者情報のマージを意図したもので、下位の患者識別情報のマージを意図したものではない。他のいかなる不正確な患者ID他の識別情報は、正しい患者ID情報に関連付けられる。これら下位の患者識別情報は必ずしも必要ない。

このイベントとメッセージの書式では、しかしながら(PID-3患者IDリストに加えて)下位の識別情報を許している。そのような環境では、これら下位の識別情報をA40（患者情報のマージ-患者IDリスト）でマージするには、旧識別情報と新識別情報が密接に対応していなければならない。

マージメッセージに関連した詳細についてはHL7 Ver.2.5 3章の「3.6.2 患者／個人情報のマージ」、「3.6.2.1.2マージ」を参照（または以下の注記を参照）。

このメッセージが送られる時の各フィールドはこのイベントを伝えるために適切な内容でなければならない。もし、他の重要なフィールドの内容が変更になった時には、引き続きA08（患者情報の更新）イベントを送ることを推奨する。

注：マージイベントは、2つの独立した記録が1つの記録に結合され、１組の識別子とデータがマージレベルで生き残ることを通知する。マージ識別子に従属したすべての記録は、生き残る記録に結合される。例えば、A40（患者情報のマージ-患者IDリスト）イベントは（MGR-4-以前の患者IDとPID-2-患者IDで識別される）2つの個人記録が1つの記録にマージされたことを通知する。個人記録に属する会計、来院といった識別子は互いにマージされない。これらは同じ個人の記録の中でマージされる。図6.4.5-1:マージ 参照。

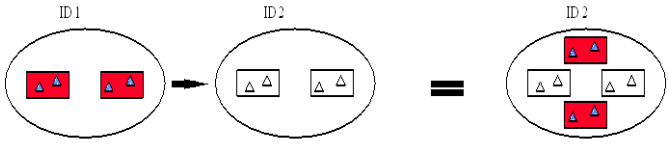


図 6.4.5-1: マージ

注：マージの定義においては様々なシステムや環境におけるアプリケーションや導入、非残存情報をどう使うか、扱うかといったことを定義することは意図していない。この資料における“非残存情報”とは、データセットが誤った様式の中に存在することを示す。新しいデータセットにマージするということは、2つのデータセットが1つになったことを示す。このことは、いかなるシステムや環境が新しいデータセットを運ぶことを意味し、前のデータセットをどうするかはアプリケーションの仕様次第である。いくつかのシステムでは、この“誤った”データセットを監査目的等の目的で物理的に保存していることも注意が必要である。

ADT/ACK - 患者情報のマージ-患者IDリスト (イベント A40)

ADT^A40^ADT_A39	ADT Message	Comment(JPN)	Chapter
MSH	Message Header	R	2
[{ SFT }]	Software Segment	N	2
EVN	Event Type	R	3
{	--- PATIENT begin	R	
PID	Patient Identification	R	3
[PD1]	Additional Demographics	O	3
MRG	Merge Information	R	3
[PV1]	Patient Visit	X	3
}	--- PATIENT end		

ACK^A40^ACK	General Acknowledgment	Comment(JPN)	Chapter
MSH	Message Header	R	2
[{ SFT }]	Software Segment	N	2
MSA	Message Acknowledgment	R	2
[{ ERR }]	Error	C	2

- メッセージヘッダ(MSH)セグメントはメッセージに1つ必須である。
- 患者識別(PID)セグメントはメッセージに1つ必須である。
- エラー(ERR)セグメントは否定応答(MSA-1 = AE or AR)の場合に使用されるべきである。

6.4.6 ADT/ACK 患者情報の関連付けメッセージ イベント(A24)

A24イベントは2つの患者識別情報が同じ患者を示す時に、最初のPIDセグメントと２番目のPIDセグメントを関連付ける必要があるときに使用する。２人またはそれ以上の患者は、実際に患者情報をマージする必要はない。リンクイベントを辿るだけで、関連付けられた患者情報は独立したままである。例えば、このイベントは大がかりな病院ネットワークシステムにおいて、それぞれの施設の記録をリンクするときに使用される。例えば、ある患者の医療記録が病院A、病院B、病院Cそれぞれ独立して存在しているとき、A24リンクイベントを共通MPIに送り、ひとつの共通IDにてID情報を関連付けることを可能とする。このイベントは共同のデータ管理システムなどで使用される。このイベントは母親と新生児をリンクするものではない。なぜならばこの目的で「PID-21母親の識別情報」があるからである。患者データの関連と、MPIについての詳細はHL7 Ver.2.5 3章の「3.6.3 患者記録の関連づけ」を参照（または以下の注記を参照）。

このイベントはある患者が入院患者から非入院患者に代わった時の2つの患者識別情報の関連づけにも使われる。逆も同じである。また、このイベントは同じ患者の２回の来院情報を関連づけるときにも使用される。

このメッセージが送られる時の各フィールドはこのイベントを伝えるために適切な内容でなければならない。もし、他の重要なフィールドの内容が変更になった時には、引き続きA08（患者情報の更新）イベントを送ることを推奨する。

注：2つ、もしくはそれ以上の患者情報をリンクすることで、HL7 Ver.2.5 3章の3.6.2節 “患者／個人情報のマージ”で論じたような実際に患者情報をマージする必要がなくなる。リンクトリガイベントを追うことで関連する患者データ記録は独立したまま残せる。しかしながら、データベース構造の差によってはシステム依存の制限があったり、リンクにおいて取り決めが必要な制約が発生するかもしれない。

MPIの実現については様々な方法がある。MPIの調整に有用なのは、２種類のリンクをサポートすることである。明示的なリンクにおいては、複数の識別子間のリンクを宣言するメッセージが必要である。暗黙的なリンクは、PID-3-患者IDリストにおいて複数の識別子が存在することにより形成される。

© JAHIS 2012

MPIの設定においては、A24-患者情報のリンクメッセージで明示的に複数識別子のリンクを通知する。その際、それら識別子は同一発行機関のものでも、異なる発行機関のものでも良い。A37-患者情報の関連付けの解除は、明示的に複数識別子のリンクを解除することを通知する。

複数識別子の暗黙的なリンクは、時々受動的なリンクと呼ばれるが、様々なメッセージを用いて実装される。一般に承認された方法は、PID-3-患者IDリストに含まれる複数の識別子に含まれ、受信側システムは暗黙的にリンクする。MPIまたはこのような暗黙的なリンクを実現するアプリケーションは他システムにこのことを伝えるためにA24-患者情報のリンクメッセージを作ることができる。

ADT/ACK - 患者情報の関連付け (イベント A24)

ADT^A24^ADT_A24	ADT Message	Comment(JPN)	Chapter
MSH	Message Header	R	2
[{ SFT }]	Software Segment	N	2
EVN	Event Type	R	3
PID	Patient (1) Identification	R	3
[PD1]	Patient (1) Additional Demographics	X	3
[PV1]	Patient (1) Visit	X	3
[{ DB1 }]	Patient (1) Disability Information	X	3
PID	Patient (2) Identification	R	3
[PD1]	Patient (2) Additional Demographics	X	3
[PV1]	Patient (2) Visit	X	3
[{ DB1 }]	Patient (2) Disability Information	X	3

ACK^A24^ACK	General Acknowledgment	Comment(JPN)	Chapter
MSH	Message Header	R	2
[{ SFT }]	Software Segment	N	2
MSA	Message Acknowledgment	R	2
[{ ERR }]	Error	C	2

- メッセージヘッダ(MSH)セグメントはメッセージに1つ必須である。
- 患者識別(PID)セグメントはメッセージに2つ必須である。
- エラー(ERR)セグメントは否定応答(MSA-1 = AE or AR)の場合に使用されるべきである。

6.4.7 ADT/ACK 患者情報の関連付けの解除メッセージ イベント(A37)

A37イベントは2つの患者識別情報の関連づけを解除する。

ADT/ACK - 患者情報の関連付けの解除 (イベント A37)

ADT^A37^ADT_A37	ADT Message	Comment(JPN)	Chapter
MSH	Message Header	R	2
[{ SFT }]	Software Segment	N	2
EVN	Event Type	R	3
PID	Patient (1) Identification	R	3
[PD1]	Additional Demographics	X	3
[PV1]	Patient (1) Visit	X	3
[{ DB1 }]	Disability Information	X	3
PID	Patient (2) Identification	R	3
[PD1]	Additional Demographics	X	3
[PV1]	Patient (2) Visit	X	3
[{ DB1 }]	Disability Information	X	3

ACK^A37^ACK	General Acknowledgment	Comment(JPN)	Chapter
MSH	Message Header	R	2
[{ SFT }]	Software Segment	N	2
MSA	Message Acknowledgment	R	2

ACK^A37^ACK	General Acknowledgment	Comment(JPN)	Chapter
[{ ERR }]	Error	C	2

- メッセージヘッダ(MSH)セグメントはメッセージに1つ必須である。
- 患者識別(PID)セグメントはメッセージ2つ必須である。
- エラー(ERR)セグメントは否定応答(MSA-1 = AE or AR)の場合に使用されるべきである。

6.4.8 ADT/ACK 入院／来院の通知メッセージ イベント(A01)

A01イベントは入院患者でのみ使われることを想定している。A01イベントは患者のベッドが割り当てられる処理の際に送られる。その患者が医療機関への滞在が始まることを知らせる。通常、この情報は患者管理システムに入力され、病棟や補助的なシステムへ伝送される。また、入院期間が短い場合や、身元不明者の入院の場合でもこの通知が使用される。A01イベントは次のようなことを知らせる時に使用する。薬剤システムに患者の入院と処方が発生する可能性があること。看護システムには患者が入院してケアプランの準備が必要なこと。財務システムには費用が発生し始めること。給食システムには患者の入院とともに給食が必要であること。臨床検査部、病理部、放射線システムには患者の入院とともに検査が発生するかもしれないこと。診療データ管理部門ではEMR(Electric Medical Record:電子診療録)に対して入院したことを記録すること。

会計の開始と終了の期間が特別に長い場合は、P01（患者会計加算）イベントを用いて会計の開始を通知すべきである。A01イベントは医療機関における患者の到着を通知するばかりではなく、費用の発生を通知することができる。患者の到着を通知することなく、費用の発生を通知する時はP01イベントを使用する。

このメッセージにおいてROL（役割セグメント）は他の医療機関と通信するときに使用される。関係が進んでいる個人レベルの医療提供者は、PID/PD1セグメントに続くROLセグメントで通知する。PV1セグメントに対応する医療提供者は、PV1/PV2セグメントに続くROLセグメントで通知する。特定の保険に関連した医療機関はIN1,IN2,IN3セグメントに続くROLセグメントで通知する。医療機関にかかる最初の、そして最終の日付を通知する場合は、ROLセグメントの「ROL-5役割開始日時」と、「ROL-6役割終了日時」と、「ROL-3役割」を使用する。ROLセグメントの定義についてはHL7 Ver.2.5 15章を参照。

ADT/ACK - 入院／来院の通知 (イベント A01)

ADT^A01^ADT_A01	ADT Message	Comment(JPN)	Chapter
MSH	Message Header	R	2
[{ SFT }]	Software Segment	N	2
EVN	Event Type	R	3
PID	Patient Identification	R	3
[PD1]	Additional Demographics	O	3
[{ ROL }]	Role	O	15
[{ NK1 }]	Next of Kin / Associated Parties	O	3
PV1	Patient Visit	R	3
[PV2]	Patient Visit - Additional Info.	O	3
[{ ROL }]	Role	O	15
[{ DB1 }]	Disability Information	O	3
[{ OBX }]	Observation/Result	O	7
[{ AL1 }]	Allergy Information	O	3
[{ DG1 }]	Diagnosis Information	O	6
[DRG]	Diagnosis Related Group	O	6
[{	--- PROCEDURE begin	O	
PR1	Procedures	R	6
[{ ROL }]	Role	O	15
}]	--- PROCEDURE end		
[{ GT1 }]	Guarantor	O	6
[{	--- INSURANCE begin	O	

ADT^A01^ADT_A01	ADT Message	Comment(JPN)	Chapter
IN1	Insurance	R	6
[IN2]	Insurance Additional Info.	O	6
[{ IN3 }]	Insurance Additional Info - Cert.	O	6
[{ ROL }]	Role	O	15
}]	--- INSURANCE end		
[ACC]	Accident Information	O	6
[UB1]	Universal Bill Information	O	6
[UB2]	Universal Bill 92 Information	O	6
[PDA]	Patient Death and Autopsy	O	3

ACK^A01^ACK	General Acknowledgment	Comment(JPN)	Chapter
MSH	Message Header	R	2
[{ SFT }]	Software Segment	N	2
MSA	Message Acknowledgment	R	2
[{ ERR }]	Error	C	2

- メッセージヘッダ(MSH)セグメントはメッセージに1つ必須である。
- 患者識別(PID)セグメントはメッセージに1つ必須である。
- 来院補足情報(PV2)セグメントは省略ができる。
- 患者アレルギー情報(AL1)セグメントは、アレルギー情報がない場合は省略できる。
- エラー(ERR)セグメントは否定応答(MSA-1 = AE or AR)の場合に使用されるべきである。

6.4.9 ADT/ACK 患者の登録メッセージ イベント(A04)

A04イベントは外来患者、通院患者の到着と受付を通知する時に用いられる。例えば、救急部への患者の到着などに用いられる。いくつかのシステムではこれらのイベントを外来患者の登録や救急患者の受入で使用している。「PV1-44入院日時」を到着時刻として使用する。

このメッセージにおいてROL（役割セグメント）は他の医療機関と通信するときに使用される。関係が進んでいる個人レベルの医療提供者は、PID/PD1セグメントに続くROLセグメントで通知する。PV1セグメントに対応する医療提供者は、PV1/PV2セグメントに続くROLセグメントで通知する。特定の保険に関連した医療機関はIN1,IN2,IN3セグメントに続くROLセグメントで通知する。医療機関にかかる最初の、そして最終の日付を通知する場合は、ROLセグメントの「ROL-5役割開始日時」と、「ROL-6役割終了日時」と、「ROL-3役割」を使用する。ROLセグメントの定義についてはHL7 Ver.2.5 15章を参照。

ADT/ACK - 患者の登録 (イベント A04)

ADT^A04^ADT_A01	ADT Message	Comment(JPN)	Chapter
MSH	Message Header	R	2
[{ SFT }]	Software Segment	N	2
EVN	Event Type	R	3
PID	Patient Identification	R	3
[PD1]	Additional Demographics	O	3
[{ ROL }]	Role	O	15
[{ NK1 }]	Next of Kin / Associated Parties	O	3
PV1	Patient Visit	R	3
[PV2]	Patient Visit - Additional Info.	O	3
[{ ROL }]	Role	O	15
[{ DB1 }]	Disability Information	O	3
[{ OBX }]	Observation/Result	O	7
[{ AL1 }]	Allergy Information	O	3
[{ DG1 }]	Diagnosis Information	O	6
[DRG]	Diagnosis Related Group	O	6

© JAHIS 2012

ADT^A04^ADT_A01	ADT Message	Comment(JPN)	Chapter
[{	--- PROCEDURE begin	O	
PR1	Procedures	R	6
[{ ROL }]	Role	O	15
}]	--- PROCEDURE end		
[{ GT1 }]	Guarantor	O	6
[{	--- INSURANCE begin	O	
IN1	Insurance	R	6
[IN2]	Insurance Additional Info.	O	6
[{ IN3 }]	Insurance Additional Info - Cert.	O	6
[{ ROL }]	Role	O	15
}]	--- INSURANCE end		
[ACC]	Accident Information	O	6
[UB1]	Universal Bill Information	O	6
[UB2]	Universal Bill 92 Information	O	6
[PDA]	Patient Death and Autopsy	O	3

ACK^A04^ACK	General Acknowledgment	Comment(JPN)	Chapter
MSH	Message Header	R	2
[{ SFT }]	Software Segment	N	2
MSA	Message Acknowledgment	R	2
[{ ERR }]	Error	C	2

- メッセージヘッダ(MSH)セグメントはメッセージに1つ必須である。
- 患者識別(PID)セグメントはメッセージに1つ必須である。
- 来院補足情報(PV2)セグメントは省略ができる。
- 患者アレルギー情報(AL1)セグメントは、アレルギー情報がない場合は省略できる。
- エラー(ERR)セグメントは否定応答(MSA-1 = AE or AR)の場合に使用されるべきである。

6.4.10 ADT/ACK 入院／外来通知(A01)の取消メッセージ イベント(A11)

入院患者に対してA11イベントは、A01入院／来院通知イベントが誤って送られた時、または入院させないことに決まった時に、A01イベントのキャンセルとして通知される。

非入院患者に対しては、A11イベントはA04患者の登録イベントが誤って送られた場合、または外来受診しないと決まった時にA11イベントのキャンセルとして送られる。A05患者の事前登録イベントをキャンセルする場合は、A38患者の事前登録の取消イベントを使用する。これはこのHL7Ver.2.3からの標準的な方法である。

このメッセージが送られる時の各フィールドはこのイベントを伝えるために適切な内容でなければならない。もし、他の重要なフィールドの内容が変更になった時には、引き続きA08（患者情報の更新）イベントを送ることを推奨する。

このメッセージにおいてDG1セグメントは旧バージョンとの互換性のためにのみ残されている。

ADT/ACK - 入院／外来通知(A01)の取消 (イベント A11)

ADT^A11^ADT_A09	ADT Message	Comment(JPN)	Chapter
MSH	Message Header	R	2
[{ SFT }]	Software Segment	N	2
EVN	Event Type	R	3
PID	Patient Identification	R	3
[PD1]	Additional Demographics	O	3
PV1	Patient Visit	R	3
[PV2]	Patient Visit - Additional Info.	O	3
[{ DB1 }]	Disability Information	O	3

ADT^A11^ADT_A09	ADT Message	Comment(JPN)	Chapter
[{ OBX }]	Observation/Result	O	7
[{ DG1 }]	Diagnosis Information	X	6

ACK^A11^ACK	General Acknowledgment	Comment(JPN)	Chapter
MSH	Message Header	R	2
[{ SFT }]	Software Segment	N	2
MSA	Message Acknowledgment	R	2
[{ ERR }]	Error	C	2

- メッセージヘッダ(MSH)セグメントはメッセージに1つ必須である。
- 患者識別(PID)セグメントはメッセージに1つ必須である。
- 来院補足情報(PV2)セグメントは省略ができる。
- エラー(ERR)セグメントは否定応答(MSA-1 = AE or AR)の場合に使用されるべきである。

6.4.11 ADT/ACK 退院/在院終了メッセージ イベント(A03)

A03イベントは医療機関における患者の滞在が終了したことを通知する。この通知により患者状態は「退院」に変更されるとともに退院日が記録される。患者はその医療機関からは居なくなる。退院直前の患者所在は「PV1-3患者に割り当てられた場所」で伝達する。

A03イベントは次のようなことを知らせる時に使用する。薬剤部門では患者は退院し、それに伴って薬剤の名称が変更されたこと。看護システムには患者の退院とケアプランの終了したこと。延長治療または在宅健康システムでは患者が退院し、新たな延長治療もしくは在宅ケアを始める審査を予定できること。財務システムには患者に対する会計期間が終了したこと、そして／または臨床データ記録部門には電子診療録に退院を記録すること。

非入院患者においてA03イベントは医療機関への滞在の終了を通知する。この通知により外来患者、通院患者の滞在が終了したことが通知される。この通知は救急部においても使用される。滞在終了日時を知らせるためには「PV1-45退院日時」を使用する。

会計の開始と終了の期間が特別に長い場合は、P06（会計終了）イベントを用いて会計の終了を通知すべきである。患者の死亡を通知する場合は、A03イベントで「PID-29患者死亡日時」、「PID-30患者死亡識別情報」を使用する。

このメッセージが送られる時の各フィールドはこのイベントを伝えるために適切な内容でなければならない。予定されている延長治療または在宅ケアを始める要求（例えば延長治療計画を完成させる準備のために看護評価を予定するなど）がある場合にはオプションのアレルギー、近親者、保険や保証人のフィールドを送らなければならない。もし、他の重要なフィールドの内容が変更になった時には、引き続きA08（患者情報の更新）イベントを送ることを推奨する。

このメッセージにおいてROL（役割セグメント）は他の医療機関と通信するときに使用される。関係が進んでいる個人レベルの医療提供者は、PID/PD1セグメントに続くROLセグメントで通知する。PV1セグメントに対応する医療提供者は、PV1/PV2セグメントに続くROLセグメントで通知する。特定の保険に関連した医療機関はIN1,IN2,IN3セグメントに続くROLセグメントで通知する。医療機関にかかる最初の、そして最終の日付を通知する場合は、ROLセグメントの「ROL-5役割開始日時」と、「ROL-6役割終了日時」と、「ROL-3役割」を使用する。ROLセグメントの定義についてはHL7 Ver.2.5 15章を参照。

ADT/ACK - 退院/在院終了 (イベント A03)

ADT^A03^ADT_A03	ADT Message	Comment(JPN)	Chapter
MSH	Message Header	R	2
[{ SFT }]	Software Segment	N	2
EVN	Event Type	R	3
PID	Patient Identification	R	3
[PD1]	Additional Demographics	O	3

ADT^A03^ADT_A03	ADT Message	Comment(JPN)	Chapter
[{ ROL }]	Role	O	15
[{ NK1 }]	Next of Kin / Associated Parties	O	3
PV1	Patient Visit	R	3
[PV2]	Patient Visit - Additional Info.	X	3
[{ ROL }]	Role	O	15
[{ DB1 }]	Disability Information	O	3
[{ AL1 }]	Allergy Information	O	3
[{ DG1 }]	Diagnosis Information	O	6
[DRG]	Diagnosis Related Group	O	6
[{	--- PROCEDURE begin	O	
PR1	Procedures	R	6
[{ ROL }]	Role	O	15
}]	--- PROCEDURE end		
[{ OBX }]	Observation/Result	O	7
[{ GT1 }]	Guarantor	O	6
[{	--- INSURANCE begin	O	
IN1	Insurance	R	6
[IN2]	Insurance Additional Info.	O	6
[{ IN3 }]	Insurance Additional Info - Cert.	O	6
[{ ROL }]	Role	O	15
}]	--- INSURANCE end		
[ACC]	Accident Information	O	6
[PDA]	Patient Death and Autopsy	O	3

ACK^A03^ACK	General Acknowledgment	Comment(JPN)	Chapter
MSH	Message Header	R	2
[{ SFT }]	Software Segment	N	2
MSA	Message Acknowledgment	R	2
[{ ERR }]	Error	C	2

- メッセージヘッダ(MSH)セグメントはメッセージに1つ必須である。
- 患者識別(PID)セグメントはメッセージに1つ必須である。
- 来院補足情報(PV2)セグメントは省略ができる。
- 患者アレルギー情報(AL1)セグメントは、アレルギー情報がない場合は省略できる。
- エラー(ERR)セグメントは否定応答(MSA-1 = AE or AR)の場合に使用されるべきである。

6.4.12 ADT/ACK 退院、通院終了（A03）の取消メッセージ イベント(A13)

A13イベントはA03退院・在院の終了イベントが誤入力に送られた場合、もしくは退院、在院終了しないことになった時に、A03イベントのキャンセルとして送られる。「PV1-3患者の割り当てられた場所」は、キャンセル後の正しい患者所在を反映しなければならない。この所在は誤入力前の所在と異なってもよい。前の所在は、誤入力された退院を示す目的で使われることがある。

このメッセージが送られる時の各フィールドはこのイベントを伝えるために適切な内容でなければならない。もし、他の重要なフィールドの内容が変更になった時には、引き続きA08（患者情報の更新）イベントを送ることを推奨する。

このメッセージにおいてROL（役割セグメント）は他の医療機関と通信するときに使用される。関係が進んでいる個人レベルの医療提供者は、PID/PD1セグメントに続くROLセグメントで通知する。PV1セグメントに対応する医療提供者は、PV1/PV2セグメントに続くROLセグメントで通知する。特定の保険に関連した医療機関はIN1,IN2,IN3セグメントに続くROLセグメントで通知する。医療機関にかかる最初の、そして最終の日付を通知する場合は、ROLセグメントの「ROL-5役割開始日時」と、「ROL-6役割終了日時」と、「ROL-3役割」を使用する。ROLセグメントの

定義についてはHL7 Ver.2.5 15章を参照。

ADT/ACK - 退院、通院終了（A03）の取消 (イベント A13)

ADT^A13^ADT_A01	ADT Message	Comment(JPN)	Chapter
MSH	Message Header	R	2
[{ SFT }]	Software Segment	N	2
EVN	Event Type	R	3
PID	Patient Identification	R	3
[PD1]	Additional Demographics	O	3
[{ ROL }]	Role	O	15
[{ NK1 }]	Next of Kin / Associated Parties	O	3
PV1	Patient Visit	R	3
[PV2]	Patient Visit - Additional Info.	O	3
[{ ROL }]	Role	O	15
[{ DB1 }]	Disability Information	O	3
[{ OBX }]	Observation/Result	O	7
[{ AL1 }]	Allergy Information	O	3
[{ DG1 }]	Diagnosis Information	O	6
[DRG]	Diagnosis Related Group	O	6
[{	--- PROCEDURE begin	O	
PR1	Procedures	R	6
[{ ROL }]	Role	O	15
}]	--- PROCEDURE end		
[{ GT1 }]	Guarantor	O	6
[{	--- INSURANCE begin	O	
IN1	Insurance	R	6
[IN2]	Insurance Additional Info.	O	6
[{ IN3 }]	Insurance Additional Info - Cert.	O	6
[{ ROL }]	Role	O	15
}]	--- INSURANCE end		
[ACC]	Accident Information	O	6
[UB1]	Universal Bill Information	O	6
[UB2]	Universal Bill 92 Information	O	6
[PDA]	Patient Death and Autopsy	O	3

ACK^A13^ACK	General Acknowledgment	Comment(JPN)	Chapter
MSH	Message Header	R	2
[{ SFT }]	Software Segment	N	2
MSA	Message Acknowledgment	R	2
[{ ERR }]	Error	C	2

- メッセージヘッダ(MSH)セグメントはメッセージに1つ必須である。
- 患者識別(PID)セグメントはメッセージに1つ必須である。
- 来院補足情報(PV2)セグメントは省略ができる。
- 患者アレルギー情報(AL1)セグメントは、アレルギー情報がない場合は省略できる。
- エラー(ERR)セグメントは否定応答(MSA-1 = AE or AR)の場合に使用されるべきである。

© JAHIS 2012

7. 関連セグメント

7. 関連セグメント 7-1
7.1 MSH - Message Header Segmentメッセージ・ヘッダ・セグメント 7-2
7.2 NTE - Notes and Comments Segment 注釈コメントセグメント 7-9
7.3 PID - Patient Identification Segment 患者識別セグメント 7-10
7.4 PV1 - Patient Visit Segment 来院情報セグメント 7-19
7.5 PV2 - Patient Visit - Additional Information Segment 来院補足情報セグメント 7-29
7.6 AL1 - Patient Allergy Information Segment 患者アレルギー情報 7-38
7.7 SPM - Specimen Segment 検体セグメント 7-40
7.8 ORC - Common Order Segment 共通オーダセグメント 7-48
7.9 TQ1 - Timing/Quantity Segment タイミング／数量セグメント 7-70
7.10 OBR - Observation Request Segment 検査要求セグメント 7-74
7.11 OBX - Observation /Result Segment 検査結果セグメント 7-86
7.12 QAK - query acknowledgment Segment 照会応答セグメント 7-95
7.13 QPD - query parameter definition 照会パラメータ定義 7-97
7.14 RCP - response contorol parameter segment 応答制御パラメータセグメント 7-101
7.15 MSA - Message Acknowledgment Segmentメッセージ応答セグメント 7-103
7.16 ERR - Error Segment エラーセグメント 7-105
7.17 EVN - Event Type Segment 事象型セグメント 7-109
7.18 ROL - Role Segment 役割セグメント 7-111
7.19 PR1 - Procedures Segment 処置セグメント 7-114
7.20 IN1 - Insurance Segment 保険セグメント 7-119
7.21 MRG - Merge Patient Information Segment 患者情報マージセグメント 7-128

セグメントの解説の最初にセグメント属性表を設けている。詳細は第5章 関連情報詳細の5.2フィールドならびにセグメント属性表を参照。以下にその要約を示す。

SEQ：セグメント IDに続くフィールド連番
LEN：フィールドの最大長
DT：フィールドのデータ型（データ型の解説を参照）
OPT/Japan：フィールドにおける値の省略の可否(Japan は JAHIS 使用での取り扱い)
- R - 必須
- RE - 存在すれば必須（送信側アプリケーションは、該当データがあれば送信しなければならないが、存在しなければ省略する）
- C - トリガイベントおよびその他のフィールド条件による
- O - オプション
- X - 本規約では使用しない
- B - HL7の旧バージョンとの互換性のために残されているフィールド
- N - 使用しない（関係者の合意のもとに関係システム内限定で使用可）
- W - 取り消し

RP#：フィールド成分の反復の可否
- N - 反復不可
- Y - 反復可、反復回数の制限がある場合続く数値で指定
- （整数）反復数の上限

ITEM#：HL7 規約全体で一意に付けられたフィールド番号
ELEMENT NAME：フィールドの名称

© JAHIS 2012

7.1　MSH - Message Header Segment メッセージ・ヘッダ・セグメント

MSHセグメントは、メッセージの構文の目的、発信源、宛先、特性を定義する。

HL7属性表－MSH - Message Header メッセージヘッダ

SEQ	LEN	DT	OPT	Japan	RP/#	ITEM #	ELEMENT NAME
1	1	ST	R	R		00001	Field Separator　フィールド区切文字
2	4	ST	R	R		00002	Encoding Characters　コード化文字
3	227	HD	O	O		00003	Sending Application　送信アプリケーション
4	227	HD	O	O		00004	Sending Facility　送信施設
5	227	HD	O	O		00005	Receiving Application　受信アプリケーション
6	227	HD	O	O		00006	Receiving Facility　受信施設
7	26	TS	O	R		00007	Date/Time Of Message　メッセージ日付／時間
8	40	ST	O	O		00008	Security　セキュリティ
9	15	MSG	R	R		00009	Message Type　メッセージ型
10	20	ST	R	R		00010	Message Control ID　メッセージ制御 ID
11	3	PT	R	R		00011	Processing ID　処理 ID
12	60	VID	R	R		00012	Version ID　バージョン ID
13	15	NM	O	O		00013	Sequence Number　シーケンス番号
14	180	ST	O	O		00014	Continuation Pointer　継続ポインタ
15	2	ID	O	O		00015	Accept Acknowledgment Type　受諾応答型
16	2	ID	O	O		00016	Application Acknowledgment Type　アプリケーション応答型
17	3	ID	O	O		00017	Country Code　国コード
18	16	ID	O	R	Y	00692	Character Set　文字セット
19	250	CWE	O	O		00693	Principal Language of Message　主要言語
20	20	ID	O	C		01317	Alternate Character Set Handling Scheme 代替文字セット操作法
21	427	EI	O	O		01598	Message Profile Identifier メッセージプロファイル識別子

MSH フィールド定義

MSH-1　Field Separator フィールド区切文字 (ST)　00001

定義：　セグメントIDと最初の実フィールド(MSH-2-コード化文字)間のセパレータ。そのようなセパレータとしての他に、残りのメッセージでセパレータとして使う文字を定義する。推奨値は「|」である。

MSH-2　Encoding Characters コード化文字 (ST)　00002

定義：　次の順番で並べられた4文字、つまり、成分セパレータ、反復セパレータ、エスケープ文字、副成分セパレータ。推奨値は「^~\&」である。メッセージ区切文字の解説を参照。

MSH-3　Sending Application 送信アプリケーション (HD)　00003

成分：　<Namespace ID (IS)> ^ <Universal ID (ST)> ^ <Universal ID Type (ID)>

定義：　送信アプリケーションを識別するために用いる。

MSH-4　Sending Facility 送信施設 (HD)　00004

成分：　<Namespace ID (IS)> ^ <Universal ID (ST)> ^ <Universal ID Type (ID)>

定義：　送信元施設を区別するため送信側の施設コードや略称などをセットする。

MSH-5　Receiving Application 受信アプリケーション (HD)　00005

成分：　<Namespace ID (IS)> ^ <Universal ID (ST)> ^ <Universal ID Type (ID)>

定義：　受信アプリケーションを識別するために用いる。

© JAHIS 2012

MSH-6　Receiving Facility 受信施設 (HD)　00006

成分：　<Namespace ID (IS)> ^ <Universal ID (ST)> ^ <Universal ID Type (ID)>

定義：　受信先施設を区別するため受信側の施設コードや略称などをセットする。

MSH-7　Date/time Of Message メッセージ日時 (TS)　00007

成分：　<Time (DTM)> ^ <DEPRECATED-Degree of Precision (ID)>

定義：　送信システムがメッセージを作成した日時。時間帯を指定した場合、それはメッセージ全体でデフォルトの時間帯として使われる。

MSH-8　Security セキュリティ (ST)　00008

定義：　セキュリティの実装に関する情報であるが、その使用法は未定である。

MSH-9　Message Type メッセージ型 (MSG)　00009

成分：　<message type (ID)> ^ <trigger event (ID)>^<Message Structure(ID)>

定義：　第1成分は、HL7表0076 - メッセージ型にリストされているメッセージ型である。第2成分は、HL7表0003 - 事象型コードにリストされているトリガイベントコードである。第3成分は、HL7表0354－メッセージ構造にリストされているメッセージ構造である。受信システムはこのフィールドを使い、認識すべきデータ・セグメントを知り、また、これを転送するアプリケーションを知る。

HL7表 0076 - Message type メッセージ型 (本規約関連のみ掲載)

Value	Description
ACK	General acknowledgment message　一般応答メッセージ
ADR	ADT response　患者管理(ADT)応答
ADT	ADT message　患者管理(ADT)メッセージ
OMG	General clinical order message 一般臨床検査オーダメッセージ
OML	Laboratory order message　検体検査オーダメッセージ
ORL	Laboratory acknowledgment message (unsolicited)　検体検査応答メッセージ（非同期）
ORU	Unsolicited transmission of an observation message 非同期検査結果転送メッセージ
OUL	Unsolicited laboratory observation message　非同期検体検査結果メッセージ
QBP	Query by parameter　変数による照会
RSP	Segment pattern response　セグメントパターン応答
ESU	Equipment Status Message　自動化装置ステータス更新メッセージ
ESR	Equipment Status Message　自動化装置ステータス要求メッセージ
SSU	Pre/Post Processor transmits a Specimen Status Update Message 検査前／後装置 検体状態通知
SSR	Specimen Status Message　検体ステータス要求メッセージ
INU	Inventory Update Message　自動化装置在庫更新メッセージ
INR	Inventory Request Message　自動化装置在庫要求メッセージ
EAC	Equipment Command Message　自動化装置コマンドメッセージ
EAR	Equipment Command Response　自動化装置応答メッセージ
EAN	Equipment Status Message　自動化装置通知メッセージ
TCU	Test Code Settings Update　自動化検査コード設定メッセージ
TCR	Test Code Settings Request　自動化検査コード要求メッセージ
LSU	Equipment Log/Service Message　自動化装置ログ／サービス更新メッセージ
LSR	Equipment Log/Service Request Message　自動化装置ログ／サービス要求メッセージ
MFD	Master files delayed application acknowledgment マスタファイル遅延アプリケーション応答
MFK	Master files application acknowledgment マスタファイルアプリケーション応答
MFN	Master files notification マスタファイル通知
MFQ	Master files query マスタファイル照会
MFR	Master files response マスタファイル応答

HL7表 0003 - Event type　事象型 (本規約関連のみ掲載)

Value	Description	Comment
A01	ADT/ACK -　Admit a patient　患者管理(ADT)/ACK - 入院／来院の通知	
A02	ADT/ACK -　Transfer a patient　患者管理(ADT)/ACK - 患者の転科・転棟	
A03	ADT/ACK -　Discharge/end visit　退院／来院終了	
A04	ADT/ACK -　Register a patient　患者管理(ADT)/ACK - 患者の登録	

© JAHIS 2012

Value	Description	Comment
A06	ADT/ACK - Transfer an outpatient to inpatient 患者管理(ADT)/ACK -外来患者を入院患者に変更	
A07	ADT/ACK - Transfer an inpatient to outpatient 患者管理(ADT)/ACK -入院患者を外来患者に変更	
A08	ADT/ACK - Update patient information 患者管理(ADT)/ACK -患者情報の更新	
A11	ADT/ACK - Cancel admit 患者管理(ADT)/ACK - 入院／来院通知を取り消す	
A12	ADT/ACK - Cancel transfer 患者管理(ADT)/ACK - 転科・転棟の取り消し	
A13	ADT/ACK - Cancel discharge/end visit 退院／来院終了の取り消し	
A19	QRY/ADR - Patient query 患者照会	
A24	ADT/ACK - Link patient information 患者情報のリンク	
A28	ADT/ACK - Add person information 個人情報の追加	
A31	ADT/ACK - Update person information 個人情報の更新	
A37	ADT/ACK - Unlink patient information 患者情報のリンクの解除	
A40	ADT/ACK - Merge patient – patient identifier list 患者のマージ-患者識別リスト	
A47	ADT/ACK - Change patient identifier list 患者識別リストの変更	
O19	OMG – General clinical order 一般臨床検査オーダ	
O20	ORG/ORL – General clinical order response 一般臨床検査オーダ応答	
O21	OML-Laboratory order 検体検査オーダ	
O22	ORL -General laboratory order response message to any OML OML に対する一般的な検体検査オーダ応答メッセージ	
O33	OML-Laboratory order for multiple orders related to a single specimen ある検体に関連した複数オーダのための検査オーダ	
O34	ORL-Laboratory order response message to a multiple order related to single specimen OML ある検体に関連した複数オーダのための検査オーダ OML の応答メッセージ	
O35	OML-Laboratory order for multiple orders related to a single container of a specimen ある検体の容器に関連した複数オーダのための検査オーダ	
O36	ORL-Laboratory order response message to a single container of a specimen OML ある検体の容器に関連した複数オーダのための検査オーダ OML の応答メッセージ	
R01	ORU/ACK - Unsolicited transmission of an observation message 非同期検査結果転送メッセージ	
R21	OUL-Unsolicited laboratory observation 非同期の検体検査結果	
R22	OUL-Unsolicited Specimen Oriented Observation Message 非同期の検体検査結果メッセージ	
R23	OUL-Unsolicited Specimen Container Oriented Observation Message 非同期の検体セット検査メッセージ	
R24	OUL-Unsolicited Order Oriented Observation Message 非同期のオーダに起因する検査メッセージ	
W01	ORU - Waveform result, unsolicited transmission of requested information	
U01	ESU/ACK – Equipment status update 自動化装置ステータスの更新／応答	
U02	ESR/ACK – Equipment status request 自動化装置ステータスの要求	
U03	SSU/ACK – Specimen status update 検体ステータスの更新／応答	
U04	SSR/ACK – Specimen status request 検体ステータスの要求	
U05	INU/ACK – Equipment inventory update 自動化装置在庫の更新／応答	
U06	INR/ACK – Equipment inventory request 自動化装置在庫の要求	
U07	EAC/ACK – Equipment command 自動化装置コマンドの送信、自動化装置通知のクリア	
U08	EAR/ACK – Equipment response 自動化装置応答の送信	
U09	EAN/ACK – Equipment notification 自動化装置通知の送信	
U10	TCU/ACK – Test code settings update 自動化検査コード設定の送信	
U11	TCR/ACK – Test code settings request 自動化検査コード設定の要求	
U12	LSU/ACK – Equipment log/service update 自動化装置ログ／サービスの更新／応答	
U13	LSR/ACK – Equipment log/service request 自動化装置ログ／サービスの要求	
M01	MFN/MFK - Master file not otherwise specified (for backward compatibility only) 他に特定されないマスタファイル(旧版互換のみ)	
M02	MFN/MFK - Master file – staff practitioner 職員／従事者マスタファイル	
M03	MFN/MFK - Master file - test/observation (for backward compatibility only) 検査項目マスタファイル(旧版互換のみ)	
M04	MFN/MFK - Master files charge description 課金明細マスタファイル	
M05	MFN/MFK - Patient location master file ロケーションマスタファイル	
M06	MFN/MFK - Clinical study with phases and schedules master file 相とスケジュールを伴う治験マスタファイル	
M07	MFN/MFK - Clinical study without phases but with schedules master file 相を除くスケジュールを伴う治験マスタファイル	
M08	MFN/MFK - Test/observation (numeric) master file 数値型検査項目マスタファイル	
M09	MFN/MFK - Test/observation (categorical) master file カテゴリ型検査項目マスタファイル	

© JAHIS 2012

Value	Description	Comment
M10	MFN/MFK - Test /observation batteries master file バッテリ（セット）検査項目マスタファイル	
M11	MFN/MFK - Test/calculated observations master file 計算型検査項目マスタファイル	
M12	MFN/MFK – Master file notification message マスタファイル通知メッセージ	
M13	MFN/MFK - Master file notification - general 一般マスタファイル通知メッセージ	
M14	MFN/MFK - Master file notification – site defined サイト定義マスタファイル通知メッセージ	
M15	MFN/MFK – Inventory item master file notification 在庫管理項目マスタファイル通知メッセージ	

HL7表 0354 – Message structure　メッセージ構造(本規約関連のみ掲載)

Value	Event	Comment
ACK	Varies	
ADR_A19	A19	
ADT_A01	A01, A04, A08, A13	
ADT_A02	A02	
ADT_A03	A03	
ADT_A05	A05, A14, A28, A31	
ADT_A06	A06, A07	
ADT_A09	A09, A10, A11, A12	
ADT_A24	A24	
ADT_A30	A30, A34, A35, A36, A46, A47, A48, A49	
ADT_A37	A37	
ADT_A39	A39, A40, A41, A42	
OMG_O19	O19	
OML_O21	O21	
OML_O33	O33	
OML_O35	O35	
ORG_O20	O20	
ORL_O22	O22	
ORL_O34	O34	
ORL_O36	O36	
ORU_R01	R01	
ORU_W01	W01	
OUL_R21	R21	
OUL_R22	R22	
OUL_R23	R23	
OUL_R24	R24	
QBP_Q11	Q11,WOS	
QBP_Q13	Q13	
QBP_Q15	Q15	
QBP_Q21	Q21, Q22, Q23,Q24, Q25	
RSP_K11	WOS	
EAC_U07	U07	
EAN_U09	U09	
EAR_U08	U08	
ESR_U02	U02	
ESU_U01	U01	
INR_U06	U06	
INU_U05	U05	
LSU_U12	U12, U13	
SSR_U04	U04	
SSU_U03	U03	
TCU_U10	U10, U11	
MFK_M01	M01, M02, M03, M04, M05, M06, M07, M08, M09, M10, M11	
MFN_M01	M01	
MFN_M02	M02	
MFN_M03	M03	
MFN_M04	M04	
MFN_M05	M05	
MFN_M06	M06	
MFN_M07	M07	
MFN_M08	M08	

© JAHIS 2012

Value	Event	Comment
MFN_M09	M09	
MFN_M10	M10	
MFN_M11	M11	
MFN_M12	M12	
MFN_M13	M13	
MFN_M15	M15	
MFQ_M01	M01, M02, M03, M04, M05, M06	
MFR_M01	M01, M02, M03, M04, M05, M06	

MSH-10　Message control ID メッセージ制御ID (ST)　00010

定義：　メッセージを一意に識別する番号または他の識別子。

MSH-11　Processing ID 処理ID (PT)　00011

成分：　<processing ID (ID)> ^<processing　mode (ID)>

定義：　メッセージを処理するかどうか決めるのに使用する。

HL7表 0103 - Processing ID 処理ID

Value	Description
D	Debugging デバギング
P	Production プロダクション
T	Training トレーニング

HL7表 0207 - Processing mode 処理モード

Value	Description
A	Archive
R	Restore from archive
I	Initial load
T	Current processing, transmitted at intervals(scheduled or on demand)
not present	Not present (the default, meaning current processing)

MSH-12　Version ID バージョンID (VID)　00012

成分：　<Version ID (ID)> ^ <Internationalization Code (CWE)> ^ <International Version ID (CWE)>

副成分 for Internationalization Code(CWE) :　<identifier (ST)> & <text (ST)> & <name of coding system (ID)> & <alternate identifier (ST)> &<alternate text (ST)> &<name of alternate coding system (ID)> & <coding system version ID (ST)> &< alternate coding system version ID (ST)> &<original text (ST)>

副成分 for International Version ID (CWE):　<identifier (ST)> & <text (ST)> & <name of coding system (ID)> & <alternate identifier (ST)> &<alternate text (ST)> &<name of alternate coding system (ID)> & <coding system version ID (ST)> &< alternate coding system version ID (ST)> &<original text (ST)>

定義：　受信システムは、バージョンIDを認識しメッセージが確実に解釈されるようにする。本規約のバージョンIDは2.5を指定する。

HL7表 0104 - Version ID バージョンID

Value	Description	HL7 Publication	JAHIS 臨床検査データ交換規約
2.3	Release 2.3	March 1997	Ver.1.0 (1998)
2.3.1	Release 2.3.1	May 1999	オンライン版 Ver.1.0 (1999) Ver.2.0 (2000)
2.4	Release 2.4	November 2000	オンライン版 Ver.2.0 (2002)
2.5	Release 2.5	May 2003	本規約

MSH-13　Sequence Number シーケンス番号 (NM)　00013

定義：　値がヌルでなければ、シーケンス番号管理が行われているものとする。送信側では受信アプリケーション・施設ごとにシーケンス管理することとし、増分は1とする。

MSH-14　Continuation Pointer 継続ポインタ (ST)　00014

定義:　アプリケーションに特有の方法で継続を定義するのに使用する。施設にて定義（ただし、推奨しない）。

© JAHIS 2012

MSH-15　Accept Acknowledgment Type 受諾応答型 (ID)　00015

定義：　このメッセージに応答して受諾応答を返すことが要求される条件を定義する。拡張応答モードで要求される。取りうる値をHL7表0155に示す。

MSH-16　Application Acknowledgment Type アプリケーション応答型 (ID)　00016

定義：　このメッセージに応答してアプリケーション応答を返すことが要求される条件を定義する。拡張応答モードで要求される。取りうる値をHL7表0155に示す。

HL7表 0155 – Accept/application acknowledgment conditions 受諾／アプリケーション応答条件

Value	Description
AL	Always 常に
NE	Never 決してない
ER	Error/reject conditions only エラー／リジェクト状態のみ
SU	Successful completion only 正常終了時のみ
注記： MSH-15 と MSH-16 が省略(または両方とも null)の場合、オリジナルの応答モード規則が使われる。	

MSH-17　Country Code 国コード (ID)　00017

定義：　メッセージの発信国を定義する。主に通貨単位などのデフォルト要素を指定するのに使用される。ISO 3166は、使用可能な国コードのリストを提供する。

HL7表 0399 – Country code 国コード

Value	Description	Comment
	use 3-character (alphabetic) form of ISO 3166	

MSH-18　Character Set 文字セット (ID)　00692

定義：文字セットを指定するためにフィールドMSH-18-文字セットを使用する。このフィールドの有効な値はHL7表0211、”代替文字セット”で指定されている。MSH-18-文字セットは空白、もしくは1つないしそれ以上の反復区切りで区切られている。もしこのフィールドが空白の場合、使用されている文字セットは10進数0～127(16進数00～7F)の7ビットASCIIセットと解釈される。この既定値は明確にASCIIと指定されている。

1つ以上の文字セットがメッセージ内で使用することができる。MSH-18の初期値はメッセージのデフォルトである。2回目やそれ以降のMSH-18-文字セットは使用されている追加文字セットを指定するために使用する。

単バイトもしくは複数バイトにかかわらず、どのような符号化システムも、MSH-18-文字セット内の既定文字符号を指定されなければならない。

HL7表 0211 - Alternate character sets 代替文字セット

Value	Description	Comment
ASCII	印刷可能な 7 ビットの文字セット	（このフィールドを省略する場合、これがデフォルトである）
ISO IR14	情報交換用コード(1 バイト)(JIS X 0201-1976)	コードはスペースを含んでいることに注意。すなわち"ISO IR14"
ISO IR87	日本のグラフィック文字集合用の情報交換コード(JIS X 0208-1990)	コードはスペースを含んでいることに注意。すなわち"ISO IR87" 日本では JIS X 0208 はエスケープシークエンスを必要としており、エスケープ技術は ISO 2022 である。標準 ASCII では、エスケープシークエンス”escape”$B(16 進数、1B 24 42)は以下のバイトは 2 バイトの幅であることを自身に知らせる。ASCII へのもどるには 1B 28 42 である
ISO IR159	補助的な日本のグラフィック文字集合用の情報交換コード (JIS X 0212-1990)	コードはスペースを含んでいることに注意。すなわち"ISO IR159"
UNICODE UTF-8	UCS 変換フォーマット、8-bit 形式	UTF-8 は可変長符号であり、それぞれのコードは 1,2 もしくは 3 バイトで表され、コード値に依存する。7 ビット ASCII は UTF-8 の下位集合である。このコードは UTF の前にスペースを含んでも良いが、ハイフンの前後にスペースを含んではならないことに注意
注: 文字セットにかかわらずフィールド区切り文字は 7-bit ASCII 文字セットである。		

a)もしフィールドに値が無い場合は、ASCIIとみなし、メッセージ中で他の文字セットは使用できない

© JAHIS 2012

b)もしこのフィールドが繰り返され、第1要素がNULL（すなわち存在するが値がない）ならば、ASCIIとみなす

c)シーケンスの残りの要素（すなわち要素2..n）は、使用可能な代替文字セットであり、マルチバイトの文字セットを使用することができる。

半角カタカナは全てのフィールドで使用しないようにすること。漢字を使用する場合~ISO IR87が一般的で、さらにJIS補助漢字を使用する場合続けて~ISO IR159とする。

MSH-19　Principal language of message 主要言語 (CWE)　00693

成分： <identifier (ST)> ^ <text (ST)> ^ <name of coding system (ID)> ^ <alternate identifier (ST)> ^ <alternate text (ST)> ^ <name of alternate coding system (ID)> ^ <coding system version ID (ST)> ^< alternate coding system version ID (ST)> ^ <original text (ST)>

定義：　メッセージの主要言語を定義する。コードはISO 639を使用。

MSH-20　Alternate character set handling scheme 代替文字セット操作法 (ID)　01317

定義：代替文字セットが使用され(第2又は以降のMSH-18-文字セットの成分において指定され)、もし特別な操作方法が必要なら、この成分はその操作方法を指定するのに用いられる。これは次に示すHL7表0356代替文字セット操作法に従う。本規格ではISO 2022-1994を使用する。

HL7 表 0356 – 代替文字セット操作法

Value	Description	Comment
ISO 2022-1994	この規格は、"情報技術 － 文字コード構造と拡張技術"と名付けられている。	この規格は、基本的な１バイト文字セットから指定された異なる文字セットとの間の、遷移する手順を指定する。その遷移手順は、明示的に起動される交代文字セットを指定する。このモードでは、実際の ASCII エスケープ文字が、参照される ISO 文書中で定義され使用される。代替文字セットへ（から）の遷移手順は、HL7 区切り文字間内で起きるべきである。言い換えれば、HL7 区切り文字は基本の１バイト文字だけであり、区切り文字の直前と直後の文字は、状態を符号化している基本的な１バイトセットであるべきである。
2.3	HL7 V2.5 の 2.7.2 節”複数文字セットをサポートするエスケープシークエンス”と 2.A.46 節”XPN-拡張人名で指定された、文字集合スイッチングモード。	このモードでの遷移手順は、ISO 2022-1994 で定義されているように ASCII "esc"文字は用いられないことに注意。
<null>	これはデフォルトであり、このメッセージ中に交代する文字セットが無いことを指定する。	これはデフォルトである。

MSH-21　Message Profile Identifier メッセージプロファイル識別子(EI) 01598

成分： <entity identifier (ST)> ^ <namespace ID (IS)> ^ <universal ID (ST)> ^ <universal ID type (ID)>

定義：各サイトもしくはHL7で制定された文書の為に用いる。適合文書は文法、構文及び特別なメッセージの為に詳細な説明, または、メッセージのセットを含む。適合文書の使用例はHL7 V2.5第5章の“照会”にある。
このフィールドの繰り返しはメッセージプロファイルの作成やネーミングにおいてより多くの柔軟性を許容する。繰り返しを用いることで、メッセージ適合性のメッセージプロファイル集を明確に出来る。例えば、最初の繰り返しで、ベンダーのメッセージプロファイルが参照できる。2番目で他の互換性のあるプロバイダーのプロファイルあるいは最初のベンダープロファイルの最新版を参照できる。詳しくはHL7 Ver.2.5 第2章2.12、"Conformance Using Message Profiles"を参照。

7.2　NTE - Notes and Comments Segment　注釈コメントセグメント

注釈とコメントを送るためのメッセージに共通のフォーマットである。
他のメッセージやセグメントで表現可能な事項をNTEセグメントで代用してはならない。受信アプリケーションではNTEセグメントの内容を表示や印刷する以外のシステム的取り扱いはされない事を前提とする。

HL7 属性表 - NTE - Notes and Comments 注釈コメント

SEQ	LEN	DT	OPT	Japan	RP/#	ITEM #	ELEMENT NAME
1	4	SI	O	O		00096	Set ID - NTE セット ID-NTE
2	8	ID	O	O		00097	Source of Comment コメント発生源
3	65536	FT	O	O	Y	00098	Comment コメント
4	250	CWE	O	O		01318	Comment Type コメントタイプ

NTE フィールド定義

NTE-1　Set ID - NTE セットID-NTE (SI)　00096

定義： ひとつのメッセージ中に複数のNTEセグメントが含まれる場合に使用される。番号付けについては、アプリケーション・メッセージの定義に記述されなければならない。

NTE-2　Source Of Comment コメント発生源 (ID)　00097

定義： このフィールドはコメントの発生源を識別するときに使用する。この表は実装時にローカルに拡張できる。有効な値はHL7表 0105 – コメントの発生源を参照。

HL7表 0105 - Source of comment コメントの発生源

Value	Description	Comment
L	Ancillary (filler) department is source of comment 関連部門（検査実施者）部がコメントの発生源	
P	Ordered (placer) is source of comment 指示者（検査依頼者）がコメントの発生源	
O	Other system is source of comment 他システムがコメントの発生源	

NTE-3　Comment コメント (FT)　00098

定義： このフィールドはセグメントに含まれるコメントを含んでいる。

注: v2.2から、このフィールドはTXデータ型ではなくFTデータ型である。フォーマッティング・コマンドが埋め込まれていないFTデータ型はTXデータ型との間に違いがないため、この変更は旧バージョンとの互換性のためにのみ残されている。

NTE-4　Comment type コメント型　(CWE)　01318

成分： <Identifier (ST)> ^ <Text (ST)> ^ <Name of Coding System (ID)> ^ <Alternate Identifier (ST)> ^ <Alternate Text (ST)> ^ <Name of Alternate Coding System (ID)> ^ <Coding System Version ID (ST)> ^ <Alternate Coding System Version ID (ST)> ^ <Original Text (ST)>

定義： このフィールドは、特定のコメントレコード中で送られた、コメントテキストの型を識別する値を含んでいる。推奨値は、使用者定義表　0364 – コメント型　を参照。

使用者定義表 0364 - Comment type コメント型

Value	Description	Comment
PI	Patient Instructions 患者指示	
AI	Ancillary Instructions 追加指示	
GI	General Instructions 一般的指示	
1R	Primary Reason 一次理由	
2R	Secondary Reason 二次理由	
GR	General Reason 一般的理由	
RE	Remark　備考	
DR	Duplicate/Interaction Reason 重複／指示理由	

注: フィールドは、コメントの発生源（例えば、関連部門、指示者、その他）を識別するNTEレコード上に既に存在する。けれども、いくつかのアプリケーションは、コメントテキスト（例えば、指示、理由、注意他）の他の型のサポートが必要である。NTEセグメントは、それぞれのコメントの型に応じて分離して使用することができる（例えば、指示は一つのNTE上にあり注意は他のNTE上）。

© JAHIS 2012

7.3　PID - Patient Identification Segment　患者識別セグメント

PIDセグメントは、患者識別情報を通信する主要な手段としてすべてのアプリケーションによって使用される。このセグメントは永久的な患者識別情報と患者基本情報を含むが、この大部分はそれほど頻繁に変化しない。

HL7属性表－PID - Patient Identification 患者識別

SEQ	LEN	DT	OPT	Japan	RP/#	ITEM#	ELEMENT NAME
1	4	SI	O	O		00104	Set ID - Patient ID　セット ID-患者 ID
2	20	CX	B	B		00105	Patient ID 患者 ID
3	250	CX	R	R	Y	00106	Patient Identifier List 患者 ID リスト
4	20	CX	B	B	Y	00107	Alternate Patient ID - PID 代替患者 ID
5	250	XPN	R	R	Y	00108	Patient Name 患者氏名
6	250	XPN	O	N		00109	Mother's Maiden Name 母親の旧姓
7	26	TS	O	O		00110	Date/Time of Birth 生年月日年齢
8	1	IS	O	O		00111	Administrative Sex 性別
9	250	XPN	B	N	Y	00112	Patient Alias 患者別名
10	250	CWE	O	N		00113	Race 人種
11	250	XAD	O	O	Y	00114	Patient Address 患者住所
12	4	IS	B	N		00115	County Code 郡コード
13	250	XTN	O	O	Y	00116	Phone Number - Home 電話番号－自宅
14	250	XTN	O	O	Y	00117	Phone Number - Business 電話番号－勤務先
15	250	CWE	O	N		00118	Primary Language 使用言語
16	250	CWE	O	O		00119	Marital Status 婚姻状況
17	250	CWE	O	N		00120	Religion 宗教
18	250	CX	O	O		00121	Patient Account Number 患者会計番号
19	16	ST	B	N		00122	SSN Number - Patient 社会保険番号
20	25	DLN	B	N		00123	Driver's License Num - Patient 運転免許証番号
21	250	CX	O	O		00124	Mother's Identifier 母親の識別情報
22	250	CWE	O	N		00125	Ethnic Group 民族
23	250	ST	O	N		00126	Birth Place 出生地
24	1	ID	O	N		00127	Multiple Birth Indicator 多胎児識別情報
25	2	NM	O	N		00128	Birth Order 誕生順序
26	250	CWE	O	N	Y	00129	Citizenship 市民権情報
27	250	CWE	O	N		00130	Veterans Military Status 退役軍人状況
28	250	CWE	B	B		00739	Nationality 国籍
29	26	TS	O	O		00740	Patient Death Date and Time　患者死亡日時
30	1	ID	O	O		00741	Patient Death Indicator　患者死亡識別情報
31	1	ID	O	O		01535	Identity Unknown Indicator　識別情報の有無
32	20	IS	O	O	Y	01536	Identity Reliability Code　識別情報の信頼性
33	26	TS	O	O		01537	Last Update Date/Time　最終更新日
34	241	HD	O	O		01538	Last Update Facility　最終更新施設
35	250	CWE	C	C		01539	Species Code　種コード
36	250	CWE	C	C		01540	Breed Code　品種コード
37	80	ST	O	O		01541	Strain　血統情報
38	250	CWE	O	O	2	01542	Production Class Code　生産分類コード
39	250	CWE	O	N	Y	01840	Tribal Citizenship　所属種族

PID フィールド定義

PID-1　Set ID - Patient ID セットID-患者ID (SI)　00104

定義 : セグメントの反復が許されるメッセージについては、反復を識別するためにセットIDフィールドが使用される。例えば、交換及び照会のトランザクションは、セットID値1、2、3、などの多数のPIDセグメントを持つことができる。

© JAHIS 2012

PID-2　Patient ID　患者ID (CX)　00105

定義：このフィールドは旧バージョンとの互換性のためにのみ残されている。旧バージョンでは「外部ID」と呼んでいた。PID-3患者IDリストをすべての患者識別情報として使うよう推奨されている。

PID-3　Patient Identifier List　患者IDリスト (CX)　00106

成分：　<ID Number (ST)> ^ <heck Digit (ST)> ^ <Check Digit Scheme　(ID)> ^ <Assigning Authority (HD)> ^ <Identifier Type Code (ID)> ^ <Assigning Facility (HD)> ^ <Effective Date (DT)> ^ <Expiration Date (DT)> ^ <Assigning Jurisdiction (CWE)> ^ <Assigning Agency or Department (CWE)>

副成分for Assigning Authority (HD)：　<Namespace ID (IS)> & <Universal ID (ST)> & <Universal ID Type (ID)>

副成分for Assigning Facility (HD)：　<Namespace ID (IS)> & <Universal ID (ST)> & <Universal ID Type (ID)>

副成分for Assigning Jurisdiction (CWE) :　<Identifier (ST)> & <Text (ST)> & <Name of Coding System (ID)> & <Alternate Identifier (ST)> & <Alternate Text (ST)> & <Name of Alternate Coding System (ID)> & <Coding System Version ID (ST)> & <Alternate Coding System Version ID (ST)> & <Original Text (ST)>

副成分for Assigning Agency or Department (CWE)：　<Identifier (ST)> & <Text (ST)> & <Name of Coding System (ID)> & <Alternate Identifier (ST)> & <Alternate Text (ST)> & <Name of Alternate Coding System (ID)> & <Coding System Version ID (ST)> & <Alternate Coding System Version ID (ST)> & <Original Text (ST)>

定義：患者を一意的に識別するID(例えば、患者IDやカルテ番号、請求書番号など)。患者番号を設定。

PID-4　Alternate Patient ID - PID 代替患者ID (CX)　00107

定義：このフィールドは旧バージョンとの互換性のためにのみ残されている。すべての患者識別情報は「PID-3患者IDリスト」を使用することを推奨する。もしこのフィールドを旧バージョンのとの互換性のために使う時は、このフィールドには代替え、一時的、もしくは必要な場合には保留中のオプション患者識別情報、または補足的な患者識別情報に使用する。

PID-5　Patient Name 患者氏名 (XPN)　00108

成分：　<Family Name 姓(FN)> ^ <Given Name 名(ST)> ^ <Second and Further Given names or Initials Thereof (ST)> ^ <Suffix (e.g., JR or III) (ST)> ^ <Prefix (e.g., DR) (ST)> ^ <Degree (e.g., MD) (IS)> ^ <Name Type Code 名前種別コード (ID)> ^ <Name Representation Code 名前表記コード(ID)> ^ <Name Context (CWE)> ^ <Name Validity Range (DR)> ^ <Name Assembly Order (ID)> ^ <Effective Date (TS)> ^ <Expiration Date (TS)> ^ <Professional Suffix (ST)>

副成分 for Family Name (FN):　<Surname (ST)> & <Own Surname Prefix (ST)> & <Own Surname (ST)> & <Surname Prefix From Partner/Spouse (ST)> & <Surname From Partner/Spouse (ST)>

副成分 for Name Context (CWE):　<identifier (ST)> ^ <text (ST)> ^ <name of coding system (ID)> ^ <alternate identifier (ST)> ^ <alternate text (ST)> ^ <name of alternate coding system (ID)> ^ <coding system version ID (ST)> ^< alternate coding system version ID (ST)> ^ <original text (ST)>

副成分 for Name Validity Range (DR):　<Range Start Date/Time (TS)> & <Range End Date/Time (TS)>

副成分 for Range Start Date/Time (TS):　<Time (DTM)> & <Degree of Precision (ID)>

副成分 for Range End Date/Time (TS):　<Time (DTM)> & <Degree of Precision (ID)>

副成分 for Effective Date (TS):　<Time (DTM)> & <Degree of Precision (ID)>

副成分 for Expiration Date (TS):　<Time (DTM)> & <Degree of Precision (ID)>

定義：このフィールドは患者の法律上の名前、またはその他の名前を示している。有効な値は、HL7表0200名前種別、HL7表0465名前表記コードを参照のこと。このフィールドは同じ名前について違う文字セットでの繰り返しが許されている。患者の名札や検査検体のラベルなどと本フィールドの内容が同じであるよう、法律上の名前「L」を用いることが望ましく、運用に注意すべきである。

患者氏名をMSH-18文字セットで指定した文字コードで使用する。例えばMSH-18に ASCII~ISO IR87をセットした場合、PID-5はYamada^Tarou^^^^^L^A~山田^太郎^^^^^L^I~ヤマダ^タロウ^^^^^L^Pとなる。反復の順序には意味を持たない。姓と名の区別が困難な場合、姓のフィールドを代用するものとする。半角カタカナは全てのフィールドで使用しないようにすること。

HL7表 0200 - Name Type 名前種別

Value	Description	Comment
A	Alias Name　別名	
B	Name at　Birth　誕生時の名前	
C	Adopted Name　養子、帰化等による変更後の名前	
D	Display Name　表示名	

Value	Description	Comment
I	Licensing Name　許可を得た名前	
L	Legal Name　法律上の名前	
M	Maiden Name　旧姓（婚姻前の名前）	
N	Nickname /"Call me" Name/Street Name　あだ名／よび名／名義	
P	Name of Partner/Spouse – obsolete　配偶者の名前－廃止	HL7V2.4 で廃止された
R	Registered Name (animals only)　登録名（動物のみ）	
S	Coded Pseudo-Name to ensure anonymity　匿名のためのコード化された偽名	
T	Indigenous/Tribal/Community Name　種族／部族／集落名	
U	Unspecified　未定義	

動物においては、名前種別が「R」が使われていた場合は、「Name Context」はこの動物の名前が登録されている機関を識別するために用いられる。

HL7表 0465 – Name Representation Code 名前表記コード

Value	Description
I	Ideographic (i.e., Kanji) 表意文字(漢字)
A	Alphabetic (i.e., Default or some single-byte) シングルバイトの英数字
P	Phonetic (i.e., ASCII, Katakana, Hiragana, etc.) 表音文字(ASCII,仮名)

PID-6　Mother's Maiden Name 母親の旧姓 (XPN)　00109

定義：母親の旧姓、同じラストネームを持つ患者を明確に識別するために使用する。本フィールドに出現する名前種別コードは「M」である。

PID-7　Date/Time Of Birth 生年月日 (TS) 年齢　00110

定義：患者の生年月日、新生児などは誕生時刻まで記述。
生年月日に続けて年齢nnnuを記載することもできる、また年齢単位uとして Y 年令、L 月令、W 週令、D 日令を使用、省略時は年令Yとする(YYYYLLDDHHMMSS^nnnu)。例えば、19900301^7 1990年3月1日生7才、^10 10才、^5D 5日齢など、和暦は不可。

PID-8　Administrative Sex 性別 (IS)　00111

定義：患者の性別。 使用者定義表0001－性別を参照のこと。

使用者定義表 0001 - Administrative Sex 性別

Value	Description
F	Female 女性
M	Male 男性
O	Other その他
U	Unknown 未知
A	Ambiguous 両性具有
N	Not applicable 適応外

PID-9　Patient Alias 患者の別名 (XPN)　00112

このフィールドは旧バージョンとの互換性のためにのみ残されている。患者の氏名はすべてPID-5患者氏名を使うことを推奨する。

PID-10　Race 人種 (CWE)　00113

定義：患者の同意を得て使用することができる。

使用者定義表 0005 – Race 人種

Value	Description	Comment
1002-5	American Indian or Alaska Native アメリカインディアン、アラスカ原住民	
2028-9	Asian アジア人	
2054-5	Black or African American 黒人またはアフリカ系アメリカ人	
2076-8	Native Hawaiian or Other Pacific Islander ハワイ原住民または他の太平洋島民	
2106-3	White 白人	
2131-1	Other Race 他の人種	

© JAHIS 2012

PID-11　Patient Address 患者住所 (XAD)　00114

成分：　<Street Address (SAD)> ^ <Other Designation (ST)> ^ <City (ST)> ^ <State or Province (ST)> ^ <Zip or Postal Code (ST)> ^ <Country (ID)> ^ <Address Type (ID)> ^ <Other Geographic Designation (ST)> ^ <County/Parish Code (IS)> ^ <Census Tract (IS)> ^ <Address Representation Code (ID)> ^ <Address Validity Range (DR)> ^ <Effective Date (TS)> ^ <Expiration Date (TS)>

副成分 for Street Address (SAD):　<Street or Mailing Address (ST)> & <Street Name (ST)> & <Dwelling Number (ST)>

副成分 for Address Validity Range (DR):　<Range Start Date/Time (TS)> & <Range End Date/Time (TS)>

副成分 for Range Start Date/Time (TS):　<Time (DTM)> & <Degree of Precision (ID)>

副成分 for Range End Date/Time (TS):　<Time (DTM)> & <Degree of Precision (ID)>

副成分 for Effective Date (TS):　<Time (DTM)> & <Degree of Precision (ID)>

副成分 for Expiration Date (TS):　<Time (DTM)> & <Degree of Precision (ID)>

定義：このフィールドは患者の郵送用の住所を示している。アドレス種別コードはHL7表0190-アドレス種別で定義している。同じ個人に対して複数の住所を次の順序で送ることができる：主たる郵送用住所は必ず最初になければならない（過去のバージョンへの互換性のため）；もし、郵送用アドレスを送らない場合は、必ず最初に反復区切り文字を送る必要がある。

HL7表 0190 - Address type 住所型

Value	Description	Comment
BA	Bad address	
N	Birth (nee) (birth address, not otherwise specified)	
BDL	Birth delivery location (address where birth occurred)	
F	Country Of Origin	
C	Current Or Temporary	
B	Firm/Business	
H	Home	
L	Legal Address	
M	Mailing	
O	Office	
P	Permanent	
RH	Registry home. Refers to the information system, typically managed by a public health agency, that stores patient information such as immunization histories or cancer data, regardless of where the patient obtains services.	
BR	Residence at birth (home address at time of birth)	

PID-12　County Code 郡コード (IS)　00115

定義：患者の郡コード。このフィールドは旧バージョンとの互換性のためにのみ残されている。

PID-13　Phone Number - Home 電話番号ー自宅 (XTN)　00116

定義：このフィールドでは患者の個人的な電話番号を示す。すべての患者の個人電話番号は次の順序で送られる。最初は主として使われると思われる電話番号（旧バージョンとの互換性のため）である。もし、主として使われる電話番号がない場合は、必ず最初に反復区切り文字を送る必要がある。有効な値についてはHL7表0201 電話連絡使用コードとHL7表0202電話連絡手段区分を参照。

HL7表 0201ーTelecommunication Use Code 電話連絡使用コード

Value	Description
PRN	主要な自宅番号
ORN	他の自宅番号
WPN	勤務先番号
VHN	別荘番号
ASN	留守電話応答サービス番号
EMR	緊急番号
NET	ネットワーク(電子メール)アドレス
BPN	ポケットベルの番号

© JAHIS 2012

HL7表 0202－Telecommunication Equipment Type 電話連絡手段区分

Value	Description
PH	電話
FX	ファックス
MD	モデム
CP	携帯電話
BP	ポケットベル
INTERNET	インターネットアドレス：通信使用コードが NET である場合のみ使用
X.400	X.400 電子メールアドレス：通信使用コードが NET である場合のみ使用

注：PID-13（電話番号）XTNの第1要素は 'B' になっているので注意。

PID-14 Phone Number - Business 電話番号－勤務先 (XTN) 00117

定義：このフィールドでは患者の職場の電話番号を示す。すべての職場の電話番号は次の順序で送られる。最初は主として使われる電話番号（旧バージョンとの互換性のため）である。もし主として使われる電話番号がない場合は、必ず最初に反復区切り文字を送る必要がある。有効な値についてはHL7表0201電話連絡使用コードとHL7表0202電話連絡手段区分を参照。

PID-15 Primary Language 言語－患者 (CWE) 00118

定義：患者の主要な言語。取りうる値は使用者定義表0296-主要言語を参照。

使用者定義表 0296 - Primary Language 主要言語

Value	Description	Comment
	no suggested values	

PID-16 Marital Status 婚姻状況 (CWE) 00119

定義：患者の(社会的)婚姻状況。 使用者定義表0002－婚姻状況を推奨する。

使用者定義表 0002 - Marital Status 婚姻状況

Value	Description	Comment
A	Separated 別居	
D	Divorced 離婚	
M	Married 既婚	
S	Single 独身	
W	Widowed 未亡人	
C	Common law 法的	
G	Living together 同居・同棲	
P	Domestic partner 配偶者	
R	Registered domestic partner 登録された配偶者	
E	Legally Separated 法的な別居	
N	Annulled 婚姻取消・無効	
I	Interlocutory 裁判中・調停中	
B	Unmarried 未婚	
U	Unknown 不明	
O	Other その他	
T	Unreported 未報告	

PID-17 Religion 宗教 (CWE) 00120

定義：このフィールドは患者の宗教からなる。推奨値は使用者定義表0006-宗教を参照。

使用者定義表 0006 – Religion 宗教

Value	Description	Comment
AGN	Agnostic	
ATH	Atheist	
BAH	Baha'i	
BUD	Buddhist	

© JAHIS 2012

Value	Description	Comment
BMA	Buddhist: Mahayana	
BTH	Buddhist: Theravada	
BTA	Buddhist: Tantrayana	
BOT	Buddhist: Other	
CFR	Chinese Folk Religionist	
CHR	Christian	
ABC	Christian: American Baptist Church	
AMT	Christian: African Methodist Episcopal	
AME	Christian: African Methodist Episcopal Zion	
ANG	Christian: Anglican	
AOG	Christian: Assembly of God	
BAP	Christian: Baptist	
CAT	Christian: Roman Catholic	
CRR	Christian: Christian Reformed	
CHS	Christian: Christian Science	
CMA	Christian: Christian Missionary Alliance	
COC	Christian: Church of Christ	
COG	Christian: Church of God	
COI	Christian: Church of God in Christ	
COM	Christian: Community	
COL	Christian: Congregational	
EOT	Christian: Eastern Orthodox	
EVC	Christian: Evangelical Church	
EPI	Christian: Episcopalian	
FWB	Christian: Free Will Baptist	
FRQ	Christian: Friends	
GRE	Christian: Greek Orthodox	
JWN	Christian: Jehovah's Witness	
LUT	Christian: Lutheran	
LMS	Christian: Lutheran Missouri Synod	
MEN	Christian: Mennonite	
MET	Christian: Methodist	
MOM	Christian: Latter-day Saints	
NAZ	Christian: Church of the Nazarene	
ORT	Christian: Orthodox	
COT	Christian: Other	
PRC	Christian: Other Protestant	
PEN	Christian: Pentecostal	
COP	Christian: Other Pentecostal	
PRE	Christian: Presbyterian	
PRO	Christian: Protestant	
QUA	Christian: Friends	
REC	Christian: Reformed Church	
REO	Christian: Reorganized Church of Jesus Christ-LDS	
SAA	Christian: Salvation Army	
SEV	Christian: Seventh Day Adventist	
SOU	Christian: Southern Baptist	
UCC	Christian: United Church of Christ	
UMD	Christian: United Methodist	
UNI	Christian: Unitarian	
UNU	Christian: Unitarian Universalist	
WES	Christian: Wesleyan	
WMC	Christian: Wesleyan Methodist	
CNF	Confucian	
ERL	Ethnic Religionist	
HIN	Hindu	
HVA	Hindu: Vaishnavites	
HSH	Hindu: Shaivites	
HOT	Hindu: Other	
JAI	Jain	

© JAHIS 2012

Value	Description	Comment
JEW	Jewish	
JCO	Jewish: Conservative	
JOR	Jewish: Orthodox	
JOT	Jewish: Other	
JRC	Jewish: Reconstructionist	
JRF	Jewish: Reform	
JRN	Jewish: Renewal	
MOS	Muslim	
MSU	Muslim: Sunni	
MSH	Muslim: Shiite	
MOT	Muslim: Other	
NAM	Native American	
NRL	New Religionist	
NOE	Nonreligious	
OTH	Other	
SHN	Shintoist	
SIK	Sikh	
SPI	Spiritist	
VAR	Unknown	

PID-18　Patient Account Number 患者会計番号 (CX)　00121

定義：料金、支払いなどがすべて記録される勘定によって割り当てられる数字。患者の会計を識別するために使用される。

PID-19　SSN Number - Patient 社会保険番号(ST)　00122

定義：患者の社会保障番号。

このフィールドは旧バージョンとの互換性のためにのみ残されている。

PID-20　Driver's License Number - Patient 患者の運転免許証番号 (DLN)　00123

定義：患者の運転免許証番号。

このフィールドは旧バージョンとの互換性のためにのみ残されている。患者に関するすべての識別情報はPID-3 患者IDリストを使うことを推奨する。

PID-21　Mother's Identifier 母親の識別情報(CX)　00124

定義：例えば、新生児用に関係を示すために使用される。一般的には患者IDあるいは会計番号が使用される。

PID-22　Ethnic Group 民族(CWE)　00125

定義：患者の民族的起源を定義する。

PID-23　Birth Place 出生地(ST)　00126

定義：患者の出生地を示す。

PID-24　Multiple Birth Indicator多胎児識別情報　(ID)　00127

定義：患者が多胎児の1人であったかどうか示す。Y/N識別子を以下に示す。

Y　多胎児の1人
N　一児

PID-25　Birth Order 誕生順序 (NM)　00128

定義：患者が多胎児の1人であった場合、誕生順序を示す値。

PID-26　Citizenship 市民権 (CWE)　00129

定義：患者の市民権の国を示す。

使用する場合は推奨値として、使用者定義表0171－市民権又はISO3166を参照。

© JAHIS 2012

使用者定義表 0171 – Citizenship 市民権

Value	Description	Comment
	no suggested values	

PID-27 Veterans Military Status 退役軍人状況 (CWE) 00130

PID-28 Nationality 国籍 (CWE) 00739

定義：国籍。このフィールドは旧バージョンとの互換性のためにのみ残されている。

PID-29 Patient Death Date and Time 患者死亡日時 (TS) 00740

定義：患者死亡日時、臨床研究や管理用。

PID-30 Patient Death Indicator 患者死亡識別情報 (ID) 00741

定義：患者が死亡したか否か以下のY/Nで示す。

Y 患者死亡
N 患者は死亡していない

PID-31 Identity unknown indicator 識別情報の有無 (ID) 01535

定義：このフィールドは患者確認が行われているかどうかをY/Nで示す。

Y 身元不明
N 身元確認済み

PID-32 Identity reliability code 識別情報の信頼性 (IS) 01536

定義：このフィールドは、トランザクション経由で送られた患者データの信頼性を示す。この値は、患者情報PIDの誕生日や社会保障番号が確認されたものかどうかを示す。使用者定義表0445 - 識別情報の信頼性コードを参照。

使用者定義表 0445 - Identity Reliability Code 識別情報の信頼性コード

Value	Description
US	Unknown/Default Social Security Number 社会保障番号不明
UD	Unknown/Default Date of Birth 誕生日不明
UA	Unknown/Default Address 住所不明
AL	Patient/Person Name is an Alias 患者名不明

PID-33 Last update date/time 最終更新日 (TS) 01537

定義： 患者情報PIDセグメントの最終更新日。このフィールドではPIDセグメントに含まれる患者／個人の識別情報や患者基本情報の最終更新日時を示す。受信側システムではこのフィールドを用いて、受信した患者情報をそのシステムで扱うかを判断するために使用する。もし、受信側システムが、既により新しい個人の情報を持っていた場合、そのトランザクションからの患者／個人基本情報、識別情報を使用しないと判断することができる。

PID-34 Last update facility 最終更新施設 (HD) 01538

定義：患者PIDセグメントの最終更新施設。これを元にこの情報を受信したデータを採用するかどうかを判断する。もし、受信したサイトはそのデータが信頼性の高い物であるならばそれを利用することの判断ができる。信頼の置ける施設からの更新情報は病院にとって信頼すべき物として扱われる。

PID-35 Species code 種コード (CWE) 01539

定義：このフィールドは生物学的種類を示す。これは、一般的，もしくは科学的な名称を含む。SNOMEDは推奨されるコーディングシステムである。このフィールドが指定されていなければ人間として扱われる。使用者定義表0446 - Species Code種コードを参照。

使用者定義表 0446 - Species Code 種コード

Value	Description
	No suggested values defined 推奨値は無い

© JAHIS 2012

条件付規則：もしPID-36品種コードまたはPID-38生産分類コードが値を持つ時は、このフィールドも値を持つ必要がある。例：

```
...|L-80700^Canine, NOS^SNM3|...
...|L-80100^Bovine^SNM3|...
...|L-80A00^Feline^SNM3|...
```

PID-36　Breed code 品種コード　(CWE)　01540

定義：動物の特定な品種。このフィールドは動物の種や血統に用いる物であり、すべてのものに使える訳ではない。SNOMEDは推奨されるコーディングシステムである。使用者定義表0447 - Breed Code 品種コードを参照。

使用者定義表 0447 - Breed Code 品種コード

Value	Description
	No suggested values defined 推奨値は無い

条件付規則：PID-37血統が値を持つ時は、このフィールドは値を持たなくてはならない。

例：例えば、動物飼育協会で使われている

```
...|L-80733^ Staffordshire bull terrier^SNM3^^American Staffordshire
Terrier^99AKC|...
...|L-80900^Weimaraner^SNM3|...
...|L-80439^Peruvian Paso Horse^SNM3|...
```

PID-37　Strain　血統情報 (ST)　01541

定義：このフィールドは動物の血統について示す。このフィールドはどのような生物の血統情報にも、また動物以外にも拡張することができる。

例：
```
...|DeKalb|...
...|Balb/c|...
...|DXL|...
```

PID-38　Production class code 生産分類コード　(CWE)　01542

定義：このフィールドは、動物の用途分類を示すコードとテキストを含む。使用者定義表0429 - Production class Code 生産分類コードを参照。

例：
```
...|DA^Dairy^L|...
...|MT^Meat^L|...
...|RA^Racing^L|...
```

使用者定義表 0429 - Production class Code 生産分類コード

Value	Description
BR	Breeding/genetic stock　種畜/遺伝材料
DA	Dairy　酪農
DR	Draft　荷引き用
DU	Dual Purpose　多目的
LY	Layer, Includes Multiplier flocks　皮革（羊毛を含む）
MT	Meat　食肉用
OT	Other　その他
PL	Pleasure　ペット
RA	Racing　競争用
SH	Show　ショウ
NA	Not Applicable　該当無し
U	Unknown　不明

PID-39　Tribal Citizenship　所属種族 (CWE)　01840

定義：このフィールドには個人の所属種族に関する情報が含まれる。

© JAHIS 2012

7.4　PV1 - Patient Visit Segment 来院情報セグメント

PV1セグメントは会計や来院に関する情報を交換するために用いられる。

HL7 属性表 －PV1 – Patient Visit 来院情報

SEQ	LEN	DT	OPT	JPN	RP/#	ITEM#	ELEMENT NAME
1	4	SI	O	O		00131	Set ID - PV1　セット ID- PV1
2	1	IS	R	R		00132	Patient Class　患者区分
3	80	PL	O	C		00133	Assigned Patient Location　患者所在場所
4	2	IS	O	O		00134	Admission Type　入院タイプ
5	250	CX	O	O		00135	Preadmit Number　事前入院番号
6	80	PL	O	O		00136	Prior Patient Location　以前の患者所在場所
7	250	XCN	O	O	Y	00137	Attending Doctor　主治医
8	250	XCN	O	O	Y	00138	Referring Doctor　紹介医師
9	250	XCN	B	N	Y	00139	Consulting Doctor　コンサルティング医師
10	3	IS	O	C		00140	Hospital Service　病院サービス
11	80	PL	O	N		00141	Temporary Location　一時的な所在場所
12	2	IS	O	N		00142	Preadmit Test Indicator　入院前検査標識
13	2	IS	O	N		00143	Re-admission Indicator　再入院標識
14	6	IS	O	O		00144	Admit Source　入院元
15	2	IS	O	O	Y	00145	Ambulatory Status　外来状況
16	2	IS	O	O		00146	VIP Indicator　VIP 標識
17	250	XCN	O	O	Y	00147	Admitting Doctor　入院時医師
18	2	IS	O	N		00148	Patient Type　患者タイプ
19	250	CX	O	O		00149	Visit Number　来院番号
20	50	FC	O	O	Y	00150	Financial Class　財務分類
21	2	IS	O	N		00151	Charge Price Indicator　課金表識別
22	2	IS	O	N		00152	Courtesy Code　優待コード
23	2	IS	O	N		00153	Credit Rating　信用等級
24	2	IS	O	N	Y	00154	Contract Code　契約コード
25	8	DT	O	N	Y	00155	Contract Effective Date　契約発効日
26	12	NM	O	N	Y	00156	Contract Amount　契約金額
27	3	NM	O	N	Y	00157	Contract Period　契約期間
28	2	IS	O	N		00158	Interest Code　利息コード
29	4	IS	O	N		00159	Transfer to Bad Debt Code　不良負債転換コード
30	8	DT	O	N		00160	Transfer to Bad Debt Date　不良負債転換日
31	10	IS	O	N		00161	Bad Debt Agency Code　不良負債代理店コード
32	12	NM	O	N		00162	Bad Debt Transfer Amount　不良負債転換額
33	12	NM	O	N		00163	Bad Debt Recovery Amount　不良負債回収額
34	1	IS	O	N		00164	Delete Account Indicator　会計情報削除標識
35	8	DT	O	N		00165	Delete Account Date　会計情報削除日
36	3	IS	O	O		00166	Discharge Disposition　退院配置
37	47	DLD	O	O		00167	Discharged to Location　退院先
38	250	CWE	O	O		00168	Diet Type　給食タイプ
39	2	IS	O	N		00169	Servicing Facility　サービス施設
40	1	IS	B	N		00170	Bed Status　ベッド状況
41	2	IS	O	N		00171	Account Status　会計状況
42	80	PL	O	N		00172	Pending Location　保留所在場所
43	80	PL	O	N		00173	Prior Temporary Location　事前の一時的所在
44	26	TS	O	O		00174	Admit Date/Time　入院日時
45	26	TS	O	O	Y	00175	Discharge Date/Time　退院日時
46	12	NM	O	N		00176	Current Patient Balance　未納額
47	12	NM	O	N		00177	Total Charges　総費用
48	12	NM	O	N		00178	Total Adjustments　総調整額
49	12	NM	O	N		00179	Total Payments　合計支払額
50	250	CX	O	O		00180	Alternate Visit ID　代替来院 ID
51	1	IS	O	N		01226	Visit Indicator　来院標識

© JAHIS 2012

SEQ	LEN	DT	OPT	JPN	RP/#	ITEM#	ELEMENT NAME
52	250	XCN	B	N	Y	01274	Other Healthcare Provider　他の医療提供機関

PV1 フィールド定義

PV1-1　Set ID - PV1 セットID - PV1　(SI)　00131

定義：トランザクション番号を示す。最初のセグメントはこのシーケンス番号は１でなければならない。次回以降は２，３，のように+１される。

PV1-2　Patient Class 患者区分　(IS)　00132

定義：その施設における患者の分類を行うために使用され共通の一致した定義はない。推奨値は使用者定義表004-患者区分を参照。

使用者定義表 0004 – Patient Class 患者区分

Value	Description	Comment
E	Emergency　救急	
I	Inpatient　入院患者	
O	Outpatient　外来患者	
P	Preadmit　事前登録	
R	Recurring patient　通院患者	
B	Obstetrics　産科来院	
C	Commercial Account　商用アカウント	
N	Not Applicable　適応無し	
U	Unknown　不明	

“Commercial Account” は第三者に検査費用を請求する時、検体の分析料のために外部検査機関で使用される。検体の登録により費用請求が発生する。患者の識別情報は判っている場合と判らない場合がある。両方の場合でも課金と統計の目的で、患者区分を第三者に対する費用責任のため商用アカウントとして扱う。

“Not Applicable”はPV1セグメント自体が適応されないが、旧バージョンとの互換性のためメッセージ定義上残されている時にのみ使用する。（例えば、マネージドケアシステムがA28,A29またはA31メッセージを患者の入会を示すためにシステムに送ったが、入院、来院の予定がない場合、PV1セグメントは適応されない。）

PV1-3　Assigned Patient Location 患者所在場所　(PL)　00133

成分：　<Point of Care (IS)> ^ <Room (IS)> ^ <Bed (IS)> ^ <Facility (HD)> ^ <Location Status (IS)> ^ <Person Location Type (IS)> ^ <Building (IS)> ^ <Floor (IS)> ^ <Location Description (ST)> ^ <Comprehensive Location Identifier (EI)> ^ <Assigning Authority for Location (HD)>

副成分for Facility (HD)：　<Namespace ID (IS)> & <Universal ID (ST)> & <Universal ID Type (ID)>

副成分for Comprehensive Location Identifier (EI)：　<Entity Identifier (ST)> & <Namespace ID (IS)> & <Universal ID (ST)> & <Universal ID Type (ID)>

副成分for Assigning Authority for Location (HD)：　<Namespace ID (IS)> & <Universal ID (ST)> & <Universal ID Type (ID)>

定義：このフィールドでは、看護詰所、診療室、病棟、病室、ベッドなど患者に対して割り当てた場所あるいは患者の移動先の場所をPLデータ型で表現する。トランザクションの取消や退院（取消事象後や退院事象前）の場合、現在の患者の所在場所をこのフィールドに表現する。第5成分(所在場所状況)が存在する場合は、この値がPV1-40ベッド状況の値に優先する。

例えば、患者所在場所のデータ型はPL型なので、
- 入院の場合 <病棟コード>^<病室コード>^<ベッド番号>^^^N
- 外来の場合 <診療科コード>^^^^^C

などと設定する。PL-6 person location typeには、C：診療室、D：部門、N：病棟を設定する（使用者定義表0305-所在場所タイプ参照）。

なお、診療科は入院・外来共にPV1-10やORC-17に表現する。ORC-17は入力者の所属を示すが、医師が入力するオーダ情報では診療科と扱うことにした。

例：A nursing unit at Community Hospital: 4 East, room 136, bed B

© JAHIS 2012

4E^136^B^CommunityHospital^^N

例：A clinic at University Hospitals: Internal Medicine Clinic located in the Briones building, 3rd floor.

InternalMedicine^^^UniversityHospitals^^C^Briones^3^

使用者定義表 0305 – 所在場所タイプ

Value	Description
C	Clinic　診療室
D	Department　部門
H	Home　在宅
N	Nursing Unit　病棟
O	Provider's Office
P	Phone
S	SNF

使用者定義表 0116 – Bed Status ベッド状況

Value	Description
C	Closed　閉鎖
H	Housekeeping　清掃
O	Occupied　使用
U	Unoccupied　空き
K	Contaminated　汚染
I	Isolated　隔離

注：以前のオンライン版規格ではPV1-3で患者所在（場所）と診療科（サービス）を混在して用いられていたが、明確に区別すること。

PV1-4　Admission Type 入院タイプ　(IS)　00134

定義：患者が入院する／した時の事情を示す。推奨値については使用者定義表0007-入院区分を参照。アメリカではUB92 FL 19の「Type of Admission」をこのフィールドで報告することが推奨されている。

使用者定義表 0007 – Admission Type 入院区分

Value	Description	Comments
A	Accident　事故	
E	Emergency　救急	US UB92 code "1"
L	Labor and Delivery　陣痛と出産	
R	Routine　通常	
N	Newborn (Birth in healthcare facility)　新生児（院内で誕生）	US UB92 code "4"
U	Urgent　緊急	US UB92 code "2"
C	Elective　選択	US UB92 code "3"

PV1-5　Preadmit Number 事前入院番号　(CX)　00135

成分：　<ID Number (ST)> ^ <heck Digit (ST)> ^ <Check Digit Scheme　(ID)> ^ <Assigning Authority (HD)> ^ <Identifier Type Code (ID)> ^ <Assigning Facility (HD)> ^ <Effective Date (DT)> ^ <Expiration Date (DT)> ^ <Assigning Jurisdiction (CWE)> ^ <Assigning Agency or Department (CWE)>

副成分for Assigning Authority (HD)：　<Namespace ID (IS)> & <Universal ID (ST)> & <Universal ID Type (ID)>

副成分for Assigning Facility (HD)：　<Namespace ID (IS)> & <Universal ID (ST)> & <Universal ID Type (ID)>

副成分for Assigning Jurisdiction (CWE)：　<Identifier (ST)> & <Text (ST)> & <Name of Coding System (ID)> & <Alternate Identifier (ST)> & <Alternate Text (ST)> & <Name of Alternate Coding System (ID)> & <Coding System Version ID (ST)> & <Alternate Coding System Version ID (ST)> & <Original Text (ST)>

副成分for Assigning Agency or Department (CWE)：　<Identifier (ST)> & <Text (ST)> & <Name of Coding System (ID)> & <Alternate Identifier (ST)> & <Alternate Text (ST)> & <Name of Alternate Coding System (ID)> & <Coding System Version ID (ST)> & <Alternate Coding System Version ID (ST)> & <Original Text (ST)>

定義：患者の入院前会計情報を一意的に識別する。いくつかのシステムでは事前入院番号をそのまま患者入院後の会計番号として継続使用することがある。過去のバージョンとの互換性のため、ST型で送ることもあり得るが、しかしながらHL7では新しい導入においては会計番号と同じCX型とすることを推奨している。登録機関や識別区分コードはCX型とすることを強く推奨する。

© JAHIS 2012

PV1-6　Prior Patient Location 以前の患者所在場所　(PL)　00136

成分：　<Point of Care (IS)> ^ <Room (IS)> ^ <Bed (IS)> ^ <Facility (HD)> ^ <Location Status (IS)> ^ <Person Location Type (IS)> ^ <Building (IS)> ^ <Floor (IS)> ^ <Location Description (ST)> ^ <Comprehensive Location Identifier (EI)> ^ <Assigning Authority for Location (HD)>

副成分for Facility (HD)：　<Namespace ID (IS)> & <Universal ID (ST)> & <Universal ID Type (ID)>

副成分for Comprehensive Location Identifier (EI)：　<Entity Identifier (ST)> & <Namespace ID (IS)> & <Universal ID (ST)> & <Universal ID Type (ID)>

副成分for Assigning Authority for Location (HD)：　<Namespace ID (IS)> & <Universal ID (ST)> & <Universal ID Type (ID)>

定義：患者が移送された時に直前の所在を示す。患者が入院した直後は「空(null)」である。第5成分（location status）に値がある場合は、この値がPV1-40ベッド状態の代わりとなる。

PV1-7　Attending Doctor 主治医　(XCN)　00137

成分：　<ID Number (ST)> ^ <Family Name (FN)> ^ <Given Name (ST)> ^ <Second and Further Given Names or Initials Thereof (ST)> ^ <Suffix (e.g., JR or III) (ST)> ^ <Prefix (e.g., DR) (ST)> ^ <Degree (e.g., MD) (IS)> ^ <Source Table (IS)> ^ <Assigning Authority (HD)> ^ <Name Type Code (ID)> ^ <Identifier Check Digit (ST)> ^ <Check Digit Scheme (ID)> ^ <Identifier Type Code (ID)> ^ <Assigning Facility (HD)> ^ <Name Representation Code (ID)> ^ <Name Context (CWE)> ^ <Name Validity Range (DR)> ^ <Name Assembly Order (ID)> ^ <Effective Date (TS)> ^ <Expiration Date (TS)> ^ <Professional Suffix (ST)> ^ < Assigning Jurisdiction (CWE)> ^ < Assigning Agency or Department (CWE)>

副成分for Family Name (FN)：　<Surname (ST)> & <Own Surname Prefix (ST)> & <Own Surname (ST)> & <Surname Prefix From Partner/Spouse (ST)> & <Surname From Partner/Spouse (ST)>

副成分for Assigning Authority (HD)：　<Namespace ID (IS)> & <Universal ID (ST)> & <Universal ID Type (ID)>

副成分for Assigning Facility (HD)：　<Namespace ID (IS)> & <Universal ID (ST)> & <Universal ID Type (ID)>

副成分for Name Context (CWE)：　<identifier (ST)> ^ <text (ST)> ^ <name of coding system (ID)> ^ <alternate identifier (ST)> ^ <alternate text (ST)> ^ <name of alternate coding system (ID)> ^ <coding system version ID (ST)> ^< alternate coding system version ID (ST)> ^ <original text (ST)>

副成分for Name Validity Range (DR)：　<Range Start Date/Time (TS)> & <Range End Date/Time (TS)>

副成分for Range Start Date/Time (TS)：　<Time (DTM)> & <Degree of Precision (ID)>

副成分for Range End Date/Time (TS)：　<Time (DTM)> & <Degree of Precision (ID)>

副成分for Effective Date (TS)：　<Time (DTM)> & <Degree of Precision (ID)>

副成分for Expiration Date (TS)：　<Time (DTM)> & <Degree of Precision (ID)>

副成分for Assigning Jurisdiction (CWE)：　<Identifier (ST)> & <Text (ST)> & <Name of Coding System (ID)> & <Alternate Identifier (ST)> & <Alternate Text (ST)> & <Name of Alternate Coding System (ID)> & <Coding System Version ID (ST)> & <Alternate Coding System Version ID (ST)> & <Original Text (ST)>

副成分for Assigning Agency or Department (CWE)：　<Identifier (ST)> & <Text (ST)> & <Name of Coding System (ID)> & <Alternate Identifier (ST)> & <Alternate Text (ST)> & <Name of Alternate Coding System (ID)> & <Coding System Version ID (ST)> & <Alternate Coding System Version ID (ST)> & <Original Text (ST)>

定義：担当医情報を示す。その同一の医師に対し、複数の氏名と識別情報を送ることができる。このフィールドの繰り返しにより複数の担当医を指定することはできない。最初に法的な名前を送らなければならないが、法的な名前が送られない時は、区分文字を最初に送らなければならない。導入施設の合意により、IDも氏名も空欄とすることができる。

PV1-8　Referring Doctor 紹介医　(XCN)　00138

定義：紹介医師の情報を示す。その同一の医師に対して複数の氏名と識別情報を送ることができる。このフィールドの繰り返しにより複数の紹介医を指定することはできない。最初に法的な名前を送らなければならないが、法的な名前が送られない時は、区分文字を最初に送らなければならない。導入施設の合意により、IDも氏名も空欄とすることがある。

PV1-9　Consulting Doctor コンサルティング医師　(XCN)　00139

定義：このフィールドはHL7 V2.4以降、旧バージョンとの互換性のためにのみ残されている。

PV1-10　Hospital Service 病院サービス　(IS)　00140

定義：患者が受ける治療や手術の種類（受診科、入院科等）を示す。このフィールドはトリガイベントA01（入院／来院）、A02（転科転棟）、A14（入院待ち）、A15（転科転棟待ち）では必須である。推奨値については使用者定義表0069診療部門を参照。

© JAHIS 2012

使用者定義表 0069 – Hospital Service 病院サービス

Values	Description	Comment
MED	Medical Service　内科	
SUR	Surgical Service　外科	
URO	Urology Service　泌尿器科	
PUL	Pulmonary Service　呼吸器科	
CAR	Cardiac Service　循環器科	

PV1-11　Temporary Location 一時的な所在　(PL)　00141

成分：　<Point of Care (IS)> ^ <Room (IS)> ^ <Bed (IS)> ^ <Facility (HD)> ^ <Location Status (IS)> ^ <Person Location Type (IS)> ^ <Building (IS)> ^ <Floor (IS)> ^ <Location Description (ST)> ^ <Comprehensive Location Identifier (EI)> ^ <Assigning Authority for Location (HD)>

副成分for Facility (HD)：　<Namespace ID (IS)> & <Universal ID (ST)> & <Universal ID Type (ID)>

副成分for Comprehensive Location Identifier (EI)：　<Entity Identifier (ST)> & <Namespace ID (IS)> & <Universal ID (ST)> & <Universal ID Type (ID)>

副成分for Assigning Authority for Location (HD)：　<Namespace ID (IS)> & <Universal ID (ST)> & <Universal ID Type (ID)>

定義：患者が指定されたられた場所と別の一時的な所在を示す。（例：手術部他）もし第5成分（location status）に値が存在する場合は、この値がPV1-40ベッド状態に代わる。

PV1-12　Preadmit Test Indicator 入院前検査標識　(IS)　00142

定義：入院のための入院前検査が終わっている必要があるか否かを示す。

PV1-13　Re-Admission Indicator 再入院標識　(IS)　00143

定義：患者がその医療機関に再入院で以前の状況が判るか否かを示す。再入院の時は「R」、そうではない時は「空(null)」を推奨する。使用者定義表0092-再入院標識を参照。

使用者定義表 0092 - Re-Admission Indicator 再入院標識

Value	Description	Comment
R	Re-admission	

PV1-14　Admit Source 入院元　(IS)　00144

定義：その患者がどこに入院していたかを示す。推奨値は使用者定義表-0023入院元を参照。

使用者定義表 0023 – Admit Source 入院元

Value	Description	Comment
1	Physician referral　医師による紹介	
2	Clinic referral　クリニックによる紹介	
3	HMO referral　HMO による紹介	
4	Transfer from a hospital　病院からの転送	
5	Transfer from a skilled nursing facility　専門看護施設からの転送	
6	Transfer from another health care facility その他の医療機関からの転送	
7	Emergency room　救急処置室	
8	Court/law enforcement　裁判所／法律による強制	
9	Information not available　不明	

PV1-15　Ambulatory Status 外来状況　(IS)　00145

定義：恒久的あるいは一時的な障害状況を示す。推奨値については使用者定義表0009外来状況を参照。

使用者定義表 0009 – Ambulatory Status 外来区分

Value	Description	Comment
A0	No functional limitations　制限なし	
A1	Ambulates with assistive device　補助具による歩行可能	
A2	Wheelchair/stretcher bound 車椅子／ストレッチャー必要	
A3	Comatose; non-responsive　昏睡状態、意識不明	
A4	Disoriented　痴呆状態	
A5	Vision impaired　視覚障害	

© JAHIS 2012

Value	Description	Comment
A6	Hearing impaired　聴覚障害	
A7	Speech impaired　言語障害	
A8	Non-English speaking　英語が通じない	
A9	Functional level unknown　障害レベル不明	
B1	Oxygen therapy　酸素治療	
B2	Special equipment (tubes, IVs, catheters)　特殊器具（チューブ、点滴、カテーテル）	
B3	Amputee　四肢欠損	
B4	Mastectomy　乳房切除	
B5	Paraplegic　対麻酔患者	
B6	Pregnant　妊娠中	

PV1-16　VIP Indicator VIP 標識　(IS)　00146

定義：VIPの種類を定義する。

PV1-17　Admitting Doctor 入院時医師　(XCN)　00147

定義：入院時の医師情報を示す。その同一医師に対して複数の氏名と識別情報を送ることができる。このフィールドの繰り返しにより複数の入院時医師を示すことにはできない。最初に法的な名前を送らなければならないが、法的な名前が送られない時は、区分文字を最初に送らなければならない。導入施設の合意により、IDも氏名も空欄とすることがある。

PV1-18　Patient Type 患者タイプ　(IS)　00148

定義：施設特有の患者の種類の識別情報を示す。

PV1-19　Visit Number 来院番号　(CX)　00149

成分：　<ID Number (ST)> ^ <heck Digit (ST)> ^ <Check Digit Scheme　(ID)> ^ <Assigning Authority (HD)> ^ <Identifier Type Code (ID)> ^ <Assigning Facility (HD)> ^ <Effective Date (DT)> ^ <Expiration Date (DT)> ^ <Assigning Jurisdiction (CWE)> ^ <Assigning Agency or Department (CWE)>

副成分for Assigning Authority (HD)：　<Namespace ID (IS)> & <Universal ID (ST)> & <Universal ID Type (ID)>

副成分for Assigning Facility (HD)：　<Namespace ID (IS)> & <Universal ID (ST)> & <Universal ID Type (ID)>

副成分for Assigning Jurisdiction (CWE)：　<Identifier (ST)> & <Text (ST)> & <Name of Coding System (ID)> & <Alternate Identifier (ST)> & <Alternate Text (ST)> & <Name of Alternate Coding System (ID)> & <Coding System Version ID (ST)> & <Alternate Coding System Version ID (ST)> & <Original Text (ST)>

副成分for Assigning Agency or Department (CWE)：　<Identifier (ST)> & <Text (ST)> & <Name of Coding System (ID)> & <Alternate Identifier (ST)> & <Alternate Text (ST)> & <Name of Alternate Coding System (ID)> & <Coding System Version ID (ST)> & <Alternate Coding System Version ID (ST)> & <Original Text (ST)>

定義：過去のバージョンとの互換性のため、データ型はNM型で送られるべきであるが、HL7では新しい導入においてはCX型で送ることを推奨する。このフィールドでは個々の患者の来院に対する一意的な番号を示す。発行機関、識別区分コードはすべてCX型とすることを強く推奨する。

PV1-20　Financial Class 財務分類　(FC)　00150

成分：　<Financial Class Code (IS)> ^ <Effective Date (TS)>

副成分for Effective Date (TS)：　<Time (DTM)> & <Degree of Precision (ID)>

定義：返済元を識別するため患者に指定された保険種別を示す。

PV1-21　Charge Price Indicator 課金表識別　(IS)　00151

定義：病室やベッド使用料に対してどの価格表を適応するかを決定するためのコードを示す。

PV1-22　Courtesy Code 優待コード　(IS)　00152

定義：特別な優待を受けるか否か識別情報を示す。

PV1-23　Credit Rating 信用等級　(IS)　00153

定義：過去の信用に関する経験からの判断を使用者定義コードで示す。

© JAHIS 2012

PV1-24　Contract Code 契約コード　(IS)　00154

定義：費用の支払いに関する医療機関と保証人との間で結ばれる契約の種類を示す。

PV1-25　Contract Effective Date　契約発効日　(DT)　00155

定義：その契約が開始する日または開始した日を示す。

PV1-26　Contract Amount 契約金額　(NM)　00156

定義：保証人が契約の各機関に支払う費用の総額を示す。

PV1-27　Contract Period 契約期間　(NM)　00157

定義：使用者が定義する契約期間を示す。

PV1-28　Interest Code 利息コード　(IS)　00158

定義：未払い費用に対して保証人が支払う利息の総額を示す。

PV1-29　Transfer to Bad Debt Code 不良負債転換コード　(IS)　00159

定義：費用が不良負債となったことと、その理由を示す。

PV1-30　Transfer to Bad Debt Date 不良負債転換日　(DT)　00160

定義：費用が不良負債となった日を示す。

PV1-31　Bad Debt Agency Code 不良負債代理店コード　(IS)　00161

定義：過去のバージョンとの互換性のためにST型を使用する。このフィールドでは費用が転換された不良負債代理店の一意的識別情報を示す。

PV1-32　Bad Debt Transfer Amount 不良負債転換額　(NM)　00162

定義：不良負債として転換された総額を示す。

PV1-33　Bad Debt Recovery Amount 不良負債回収額　(NM)　00163

定義：保証人から回収できた費用の総額を示す。

PV1-34　Delete Account Indicator 会計情報削除識別　(IS)　00164

定義：会計情報が削除されたことと、その理由を示す。

PV1-35　Delete Account Date 会計情報削除日　(DT)　00165

定義：会計情報が削除された日付を示す。

PV1-36　Discharge Disposition 退院配置　(IS)　00166

定義：退院時の患者の転出先を示す（例：退院して自宅へ、死亡、他）。推奨値については使用者定義表0112-退院配置を参照。

使用者定義表 0112 – Discharge Disposition 退院配置

Value	Description	Comment
01	Discharged to home or self care (routine discharge) 自宅または自己介護施設へ退院（通常退院）	
02	Discharged/transferred to another short term general hospital for inpatient care 短期間の入院管理のため他病院へ退院／転送	
03	Discharged/transferred to skilled nursing facility (SNF) 熟練看護施設（SNF）へ退院／転送	
04	Discharged/transferred to an intermediate care facility (ICF) 中間的な診療施設へ退院／転送	
05	Discharged/transferred to another type of institution for inpatient care or referred for outpatient services to another institution 異なる種類の入院診療施設へ退院／転送、または他の外来通院施設への紹介	
06	Discharged/transferred to home under care of organized home health service organization 退院／転送して在宅看護組織へのもとに在宅管理	

© JAHIS 2012

Value	Description	Comment
07	Left against medical advice or discontinued care 医療的なアドバイスを無視して離院、もしくは治療の継続中止	
08	Discharged/transferred to home under care of Home IV provider 退院／転送して在宅静脈注射供給者のもとで在宅管理	
09	Admitted as an inpatient to this hospital　この病院に入院	
10 …19	Discharge to be defined at state level, if necessary　退院可能と定義された状態（必要時）	
20	Expired (i.e. dead)　終了（死亡）	
21 ... 29	Expired to be defined at state level, if necessary　死亡と定義された状態（必要時）	
30	Still patient or expected to return for outpatient services (i.e. still a patient) 患者状態の継続か、外来通院が必要な患者（患者状態の継続）	
31 … 39	Still patient to be defined at state level, if necessary　(i.e. still a patient) 患者状態の継続と定義された状態（必要時、患者状態の継続）	
40	Expired (i.e. died) at home　自宅にて終了（死亡）	
41	Expired (i.e. died) in a medical facility; e.g., hospital, SNF, ICF, or free standing hospice 医療機関（例えば、病院、SNF、ICF、ホスピス）で終了（死亡）	
42	Expired (i.e. died)　- place unknown　終了（死亡）-場所不明	

PV1-37　Discharged to Location 退院先　(DLD)　00167

成分：　<Discharge Location (IS)> ^ <Effective Date (TS)>

副成分for Effective Date (TS)：　<Time (DTM)> & <Degree of Precision (ID)>

定義：退院後に患者が収容される医療機関を示す。

PV1-38　Diet Type 給食タイプ　(CWE)　00168

成分：　<Identifier (ST)> ^ <Text (ST)> ^ <Name of Coding System (ID)> ^ <Alternate Identifier (ST)> ^ <Alternate Text (ST)> ^ <Name of Alternate Coding System (ID)> ^ <Coding System Version ID (ST)> ^ <Alternate Coding System Version ID (ST)> ^ <Original Text (ST)>

定義：患者に対する特別な食事の種別を示す。

PV1-39　Servicing Facility サービス施設　(IS)　00169

定義：複数の施設を持つ環境において、今回の来院がどの医療機関と関係しているかを示している。この場所の代わりに、６番目のオプション成分、機関ID、がPV1に含まれる個々の場所について値を持つかも知れない。

PV1-40　Bed Status ベッド状況　(IS)　00170

定義：本フィールドは旧バージョンとの互換性のためにのみ残されている。この情報はPV1-3 PLデータ型の第5成分に記載する。推奨値は使用者定義表0116-ベッド状況を参照。

PV1-41　Account Status 会計状況　(IS)　00171

定義：会計状態を示す。

PV1-42　Pending Location 保留所在場所　(PL)　00172

成分：　<Point of Care (IS)> ^ <Room (IS)> ^ <Bed (IS)> ^ <Facility (HD)> ^ <Location Status (IS)> ^ <Person Location Type (IS)> ^ <Building (IS)> ^ <Floor (IS)> ^ <Location Description (ST)> ^ <Comprehensive Location Identifier (EI)> ^ <Assigning Authority for Location (HD)>

副成分for Facility (HD)：　<Namespace ID (IS)> & <Universal ID (ST)> & <Universal ID Type (ID)>

副成分for Comprehensive Location Identifier (EI)：　<Entity Identifier (ST)> & <Namespace ID (IS)> & <Universal ID (ST)> & <Universal ID Type (ID)>

副成分for Assigning Authority for Location (HD)：　<Namespace ID (IS)> & <Universal ID (ST)> & <Universal ID Type (ID)>

定義：患者が移動予定の診療場所、病室、ベッド、施設IDとベッド状況を示す。最初の成分は患者の所在地としてナースステーションを示すかもしれない。また、入院患者でなければクリニック、診療部門、自宅かもしれない。もし第5成分（location status）に値が存在する場合は、その値はPV1-40ベッド状況に優先する。

© JAHIS 2012

PV1-43　Prior Temporary Location 事前の一時的所在　(PL)　00173

成分：　<Point of Care (IS)> ^ <Room (IS)> ^ <Bed (IS)> ^ <Facility (HD)> ^ <Location Status (IS)> ^ <Person Location Type (IS)> ^ <Building (IS)> ^ <Floor (IS)> ^ <Location Description (ST)> ^ <Comprehensive Location Identifier (EI)> ^ <Assigning Authority for Location (HD)>

副成分for Facility (HD)：　<Namespace ID (IS)> & <Universal ID (ST)> & <Universal ID Type (ID)>

副成分for Comprehensive Location Identifier (EI)：　<Entity Identifier (ST)> & <Namespace ID (IS)> & <Universal ID (ST)> & <Universal ID Type (ID)>

副成分for Assigning Authority for Location (HD)：　<Namespace ID (IS)> & <Universal ID (ST)> & <Universal ID Type (ID)>

定義：（手術部または放射線部門のような）患者の一時的な場所を示す時に使用される。それは指定された場所へ移動する前の一時的な場所や、別の一時的な場所へ移動する前の一時的な場所でもある。入院患者の場合、最初の成分はナースステーションであるかもしれないし、非入院患者の場合はクリニック、診療部門、自宅のこともある。

PV1-44　Admit Date/Time 入院日時　(TS)　00174

成分：　<Time (DTM)> ^ <Degree of Precision (ID)>

定義：入院日時、外泊時の帰院日時を示す。例えば、事後更新の場合などには事象の日時は実際の入院日時と異なる場合がある。また、このフィールドは外来患者、救急患者の登録日時を反映するために使用される。

PV1-45　Discharge Date/Time 退院日時　(TS)　00175

成分：　<Time (DTM)> ^ <Degree of Precision (ID)>

定義：退院日時、外泊時の外泊開始日時を示す。例えば、事後更新の場合などには事象の日時は実際の退院日時と異なることがある。また、このフィールドは外来患者、救急患者の退院日時を反映するために使用される。

PV1-46　Current Patient Balance 未納額　(NM)　00176

定義：来院費用の未納額を示す。

PV1-47　Total Charges 総費用　(NM)　00177

定義：来院費用の総額を示す。

PV1-48　Total Adjustments 総調整額　(NM)　00178

定義：来院時の総調整額を示す。

PV1-49　Total Payments 合計支払額　(NM)　00179

定義：来院時の合計支払額を示す。

PV1-50　Alternate Visit ID 代替来院ID　(CX)　00180

成分：　<ID Number (ST)> ^ <heck Digit (ST)> ^ <Check Digit Scheme　(ID)> ^ <Assigning Authority (HD)> ^ <Identifier Type Code (ID)> ^ <Assigning Facility (HD)> ^ <Effective Date (DT)> ^ <Expiration Date (DT)> ^ <Assigning Jurisdiction (CWE)> ^ <Assigning Agency or Department (CWE)>

副成分：　for Assigning Authority (HD)：　<Namespace ID (IS)> & <Universal ID (ST)> & <Universal ID Type (ID)>

副成分：　for Assigning Facility (HD)：　<Namespace ID (IS)> & <Universal ID (ST)> & <Universal ID Type (ID)>

副成分：　for Assigning Jurisdiction (CWE)：　<Identifier (ST)> & <Text (ST)> & <Name of Coding System (ID)> & <Alternate Identifier (ST)> & <Alternate Text (ST)> & <Name of Alternate Coding System (ID)> & <Coding System Version ID (ST)> & <Alternate Coding System Version ID (ST)> & <Original Text (ST)>

副成分：　for Assigning Agency or Department (CWE)：　<Identifier (ST)> & <Text (ST)> & <Name of Coding System (ID)> & <Alternate Identifier (ST)> & <Alternate Text (ST)> & <Name of Alternate Coding System (ID)> & <Coding System Version ID (ST)> & <Alternate Coding System Version ID (ST)> & <Original Text (ST)>

定義：必要な時に使用される代替、一時的、もしくは保留中のオプションの来院番号を示す。発行機関と識別種別はCX型とすることを強く推奨する。

PV1-51　Visit Indicator 来院識別　(IS)　01226

定義：送られたデータのレベルを指定する。これは来院と会計の2種類のデータを送るために使用される識別子である。HL7ではそのメッセージが会計のレベルの場合は、「A」か、値を送らないことを推奨する。また、「V」の場合は来院レベルであることを示す。推奨値については使

© JAHIS 2012

用者定義表0326-来院標識を参照。

この成分の値は、PV1, PV2内のコンテキストデータ、ならびに階層的に関連するセグメント（例：DB1、AL1、DG1他）に影響する。

使用者定義表 0326 – Visit Indicator 来院標識

Value	Description	Comment
A	Account level (default)	
V	Visit level	

PV1-52 Other Healthcare Provider 他の医療提供機関 (XCN) 01274

定義：本フィールドはV2.4から旧バージョンとの互換性のためにのみ残されている。

© JAHIS 2012

7.5　PV2 - Patient Visit - Additional Information Segment 来院補足情報セグメント

PV2セグメントはPV1セグメントにおける情報の補足である。

HL7 属性表 - PV2 – Patient Visit - Additional Information 来院補足情報セグメント

SEQ	LEN	DT	OPT	Japan	RP/#	ITEM#	ELEMENT NAME
1	80	PL	C	C		00181	Prior Pending Location　事前保留所在場所
2	250	CWE	O	N		00182	Accommodation Code　宿泊設備コード
3	250	CWE	O	O		00183	Admit Reason　入院の理由
4	250	CWE	O	O		00184	Transfer Reason　転科転棟の理由
5	25	ST	O	N	Y	00185	Patient Valuables　患者貴重品情報
6	25	ST	O	N		00186	Patient Valuables Location　患者貴重品の保管場所
7	2	IS	O	O	Y	00187	Visit User Code　来院種別コード
8	26	TS	O	O		00188	Expected Admit Date/Time　予定入院日時
9	26	TS	O	O		00189	Expected Discharge Date/Time　予定退院日時
10	3	NM	O	O		00711	Estimated Length of Inpatient Stay　予定入院期間
11	3	NM	O	O		00712	Actual Length of Inpatient Stay 入院期間
12	50	ST	O	N		00713	Visit Description　来院時記述情報
13	250	XCN	O	O	Y	00714	Referral Source Code　紹介元情報
14	8	DT	O	O		00715	Previous Service Date　前回来院日
15	1	ID	O	N		00716	Employment Illness Related Indicator　職業由来疾病情報
16	1	IS	O	N		00717	Purge Status Code　削除状態標識
17	8	DT	O	N		00718	Purge Status Date　削除予定日
18	2	IS	O	N		00719	Special Program Code　特別プログラムコード
19	1	ID	O	N		00720	Retention Indicator　保持標識
20	1	NM	O	N		00721	Expected Number of Insurance Plans　適応可能保険の数
21	1	IS	O	N		00722	Visit Publicity Code　来院情報周知範囲
22	1	ID	O	N		00723	Visit Protection Indicator　来院情報保護標識
23	250	XON	O	O	Y	00724	Clinic Organization Name　診療部門名
24	2	IS	O	N		00725	Patient Status Code　患者状態
25	1	IS	O	N		00726	Visit Priority Code　受診優先指標
26	8	DT	O	N		00727	Previous Treatment Date　最終治療日
27	2	IS	O	N		00728	Expected Discharge Disposition　希望退院種別
28	8	DT	O	N		00729	Signature on File Date　署名日
29	8	DT	O	N		00730	First Similar Illness Date　発症日
30	250	CWE	O	N		00731	Patient Charge Adjustment Code　患者費用補正コード
31	2	IS	O	N		00732	Recurring Service Code　通院治療標識
32	1	ID	O	N		00733	Billing Media Code　請求媒体コード
33	26	TS	O	N		00734	Expected Surgery Date and Time　予定手術日時
34	1	ID	O	N		00735	Military Partnership Code　軍隊との契約の有無
35	1	ID	O	N		00736	Military Non-Availability Code 非軍隊施設の利用許可の有無
36	1	ID	O	N		00737	Newborn Baby Indicator　新生児標識
37	1	ID	O	N		00738	Baby Detained Indicator　新生児残留標識
38	250	CWE	O	O		01543	Mode of Arrival Code　患者到着手段
39	250	CWE	O	O	Y	01544	Recreational Drug Use Code　嗜好情報
40	250	CWE	O	O		01545	Admission Level of Care Code　入院時患者重症度
41	250	CWE	O	O	Y	01546	Precaution Code　要注意コード
42	250	CWE	O	O		01547	Patient Condition Code　患者容態標識
43	2	IS	O	O		00759	Living Will Code　延命希望標識
44	2	IS	O	O		00760	Organ Donor Code　臓器提供希望標識
45	250	CWE	O	N	Y	01548	Advance Directive Code　その他の患者要望
46	8	DT	O	O		01549	Patient Status Effective Date　患者状態(PV2-25)の発症日
47	26	TS	C	O		01550	Expected LOA Return Date/Time　予定帰院日時
48	26	TS	O	O		01841	Expected Pre-admission Testing Date/Time 入院前検査予定日時
49	20	IS	O	N	Y	01842	Notify Clergy Code　聖職者通知標識

© JAHIS 2012

PV2 フィールド定義

PV2-1 Prior Pending Location 事前保留所在場所 (PL) 00181

成分： <Point of Care (IS)> ^ <Room (IS)> ^ <Bed (IS)> ^ <Facility (HD)> ^ <Location Status (IS)> ^ <Person Location Type (IS)> ^ <Building (IS)> ^ <Floor (IS)> ^ <Location Description (ST)> ^ <Comprehensive Location Identifier (EI)> ^ <Assigning Authority for Location (HD)>

副成分for Facility (HD)： <Namespace ID (IS)> & <Universal ID (ST)> & <Universal ID Type (ID)>

副成分for Comprehensive Location Identifier (EI)： <Entity Identifier (ST)> & <Namespace ID (IS)> & <Universal ID (ST)> & <Universal ID Type (ID)>

副成分for Assigning Authority for Location (HD)： <Namespace ID (IS)> & <Universal ID (ST)> & <Universal ID Type (ID)>

定義：このフィールドは転科転棟待ちの取消（A26）メッセージに必須となる。他の事象ではオプションである。

PV2-2 Accommodation Code 宿泊設備コード (CWE) 00182

成分： <Identifier (ST)> ^ <Text (ST)> ^ <Name of Coding System (ID)> ^ <Alternate Identifier (ST)> ^ <Alternate Text (ST)> ^ <Name of Alternate Coding System (ID)> ^ <Coding System Version ID (ST)> ^ <Alternate Coding System Version ID (ST)> ^ <Original Text (ST)>

定義：このフィールドでは来院時に患者に必要な宿泊設備を示す。

PV2-3 Admit Reason 入院の理由 (CWE) 00183

成分： <Identifier (ST)> ^ <Text (ST)> ^ <Name of Coding System (ID)> ^ <Alternate Identifier (ST)> ^ <Alternate Text (ST)> ^ <Name of Alternate Coding System (ID)> ^ <Coding System Version ID (ST)> ^ <Alternate Coding System Version ID (ST)> ^ <Original Text (ST)>

定義：このフィールドは患者の入院理由の概要説明を示す。

PV2-4 Transfer Reason 転科転棟の理由 (CWE) 00184

成分： <Identifier (ST)> ^ <Text (ST)> ^ <Name of Coding System (ID)> ^ <Alternate Identifier (ST)> ^ <Alternate Text (ST)> ^ <Name of Alternate Coding System (ID)> ^ <Coding System Version ID (ST)> ^ <Alternate Coding System Version ID (ST)> ^ <Original Text (ST)>

定義：このフィールドでは患者の転科転棟理由の概要説明を示す。

PV2-5 Patient Valuables 患者貴重品情報 (ST) 00185

定義：このフィールドでは入院期間に確認された患者の貴重品に関する記述情報を示す。

PV2-6 Patient Valuables Location 患者貴重品の保管場所 (ST) 00186

定義：このフィールドでは患者の貴重品の保管場所を示す。

PV2-7 Visit User Code 来院種別コード (IS) 00187

定義：このフィールドでは個々の医療機関における必要に応じて患者の来院を分類するために、医療機関に応じた目的で用いられる。推奨値は使用者定義表0130-来院種別コードを参照のこと。

使用者定義表 0130 – Visit User Code 来院種別コード

Value	Description	Comment
TE	Teaching 教育	
HO	Home 自宅	
MO	Mobile Unit 移動単位	
PH	Phone 電話	

PV2-8 Expected Admit Date/Time 予定入院日時 (TS) 00188

成分： <Time (DTM)> ^ <Degree of Precision (ID)>

定義：このフィールドでは患者が入院する予定の日時を示す。このフィールドは非入院患者／救急患者が登録される日時を反映する。

PV2-9 Expected Discharge Date/Time 予定退院日時 (TS) 00189

成分： <Time (DTM)> ^ <Degree of Precision (ID)>

定義：このフィールドは患者の予定退院日時を示す。これは作業負荷計画をより正確に判断するために補助的に使用される事象に関連しない日付である。このフィールドは、非入院患者／救急

© JAHIS 2012

患者または入院患者の予測される退院日時を反映させるために使用する。

PV2-10　Estimated Length of Inpatient Stay 予定入院期間　(NM)　00711

定義：このフィールドは入院患者の予想入院期間を示す。

PV2-11　Actual Length of Inpatient Stay 入院期間　(NM)　00712

定義：このフィールドは入院患者が実際に入院していた日数を示す。実際に入院していた期間は入退院日からは計算されない。というのも、患者が外泊する可能性があるからである。

PV2-12　Visit Description 来院時記述情報　(ST)　00713

定義：このフィールドは来院における使用者定義の簡単な記述情報である。

PV2-13　Referral Source Code 紹介元情報　(XCN)　00714

成分：　<ID Number (ST)> ^ <Family Name (FN)> ^ <Given Name (ST)> ^ <Second and Further Given Names or Initials Thereof (ST)> ^ <Suffix (e.g., JR or III) (ST)> ^ <Prefix (e.g., DR) (ST)> ^ <Degree (e.g., MD) (IS)> ^ <Source Table (IS)> ^ <Assigning Authority (HD)> ^ <Name Type Code (ID)> ^ <Identifier Check Digit (ST)> ^ <Check Digit Scheme (ID)> ^ <Identifier Type Code (ID)> ^ <Assigning Facility (HD)> ^ <Name Representation Code (ID)> ^ <Name Context (CWE)> ^ <Name Validity Range (DR)> ^ <Name Assembly Order (ID)> ^ <Effective Date (TS)> ^ <Expiration Date (TS)> ^ <Professional Suffix (ST)> ^ < Assigning Jurisdiction (CWE)> ^ < Assigning Agency or Department (CWE)>

副成分for Family Name (FN)：　<Surname (ST)> & <Own Surname Prefix (ST)> & <Own Surname (ST)> & <Surname Prefix From Partner/Spouse (ST)> & <Surname From Partner/Spouse (ST)>

副成分for Assigning Authority (HD)：　<Namespace ID (IS)> & <Universal ID (ST)> & <Universal ID Type (ID)>

副成分for Assigning Facility (HD)：　<Namespace ID (IS)> & <Universal ID (ST)> & <Universal ID Type (ID)>

副成分for Name Context (CWE)：　<identifier (ST)> ^ <text (ST)> ^ <name of coding system (ID)> ^ <alternate identifier (ST)> ^ <alternate text (ST)> ^ <name of alternate coding system (ID)> ^ <coding system version ID (ST)> ^< alternate coding system version ID (ST)> ^ <original text (ST)>

副成分for Name Validity Range (DR)：　<Range Start Date/Time (TS)> & <Range End Date/Time (TS)>

副成分for Range Start Date/Time (TS)：　<Time (DTM)> & <Degree of Precision (ID)>

副成分for Range End Date/Time (TS)：　<Time (DTM)> & <Degree of Precision (ID)>

副成分for Effective Date (TS)：　<Time (DTM)> & <Degree of Precision (ID)>

副成分for Expiration Date (TS)：　<Time (DTM)> & <Degree of Precision (ID)>

副成分for Assigning Jurisdiction (CWE)：　<Identifier (ST)> & <Text (ST)> & <Name of Coding System (ID)> & <Alternate Identifier (ST)> & <Alternate Text (ST)> & <Name of Alternate Coding System (ID)> & <Coding System Version ID (ST)> & <Alternate Coding System Version ID (ST)> & <Original Text (ST)>

副成分for Assigning Agency or Department (CWE)：　<Identifier (ST)> & <Text (ST)> & <Name of Coding System (ID)> & <Alternate Identifier (ST)> & <Alternate Text (ST)> & <Name of Alternate Coding System (ID)> & <Coding System Version ID (ST)> & <Alternate Coding System Version ID (ST)> & <Original Text (ST)>

定義：このフィールドは患者の紹介を行った個人または組織の名前と識別番号を示す。この個人／組織は紹介医師とは異なる。例えば、Joe Smithは私をそのクリニック（またはそのクリニックのDr.Jones）に紹介した。

PV2-14　Previous Service Date 前回来院日　(DT)　00715

定義：このフィールドは通院患者における前回来院日を示す。この情報は第三者に対して特定の疾患（例：事故に関連した）請求をする際に求められているフィールドである。

PV2-15　Employment Illness Related Indicator 職業由来疾病標識　(ID)　00716

定義：このフィールドは患者が職業に由来した疾患にかかっているか否かを示す。有効値は以下のY/N識別を参照。

Y　患者の疾患は職業に由来している。
N　患者の疾患は職業に由来していない。

PV2-16　Purge Status Code 削除状態標識　(IS)　00717

定義：このフィールドは会計情報に関する削除状態を示す。アプリケーションプログラムにより削除プロセスを実行するかどうかの判断に使用される。推奨値については使用者定義表0123削除状態標識を参照のこと。

© JAHIS 2012

使用者定義表 0213 – Purge Status Code 削除状態標識

Value	Description	Comment
P	Marked for purge. User is no longer able to update the visit. 削除マーク有り。使用者は来院情報を更新できない。	
D	The visit is marked for deletion and the user cannot enter new data against it. 来院情報は削除マークがあり、使用者は新しいデータを入力不可。	
I	The visit is marked inactive and the user cannot enter new data against it. 来院情報には不活性マークがあり、使用者は新しいデータを入力不可。	

PV2-17 Purge Status Date 削除予定日 (DT) 00718

定義：このフィールドはデータがシステムから削除される予定日を示す。

PV2-18 Special Program Code 特別プログラムコード (IS) 00719

定義：このフィールドは来院時の医療費の支払いに必要な特別な健康保険プログラムを示す。推奨値については使用者定義表0214特別プログラムコードを参照のこと。

使用者定義表 0214 – Special Program Code 特別プログラムコード

Value	Description	Comment
CH	Child Health Assistance 小児健康補助	
ES	Elective Surgery Program 随意手術プログラム	
FP	Family Planning 家族計画	
O	Other その他	
U	Unknown 不明	

PV2-19 Retention Indicator 保持標識 (ID) 00720

定義:このフィールドは来院時の財務、患者基本情報の削除をコントロールするために使用する。特別な、優先度の高い来院に関する患者基本情報、財務データを維持するために使用される。有効値は以下のY/N標識を参照。

Y データは維持されている
N 通常の削除処理中

PV2-20 Expected Number of Insurance Plans 適応可能保険の数 (NM) 00721

定義：このフィールドは来院時の支払いに使用可能な保険の数を示す。

PV2-21 Visit Publicity Code 来院情報周知範囲 (IS) 00722

定義：このフィールドは使用者定義コードで、特定の来院についてどの程度の公開が許されるかを示す（例えば、非公開、家族のみ）。推奨値については使用者定義表0125周知標識を参照のこと。患者レベルの周知標識はPD1-11周知標識を参照のこと。

使用者定義表 0125 – Publicity Code 周知標識

Value	Description	Comment
F	Family only 家族のみ	
N	No Publicity 公開禁止	
O	Other その他	
U	Unknown 不明	

PV2-22 Visit Protection Indicator 来院情報保護標識 (ID) 00723

定義：このフィールドは特定の来院情報について十分な権限を持たない使用者に対して情報を保護するべきかどうかを判断する患者の保護標識を示す。有効値は以下のY/N標識を参照。

Y 患者情報へのアクセスを阻止する。
N 通常のアクセス制限

患者レベルの保護標識はPDI-12保護標識を参照のこと。

© JAHIS 2012

PV2-23　Clinic Organization Name 診療部門名　(XON)　00724

成分：　<Organization Name (ST)> ^ <Organization Name Type Code (IS)> ^ <ID Number (NM)> ^ <Check Digit (NM)> ^ <Check Digit Scheme　(ID)> ^ <Assigning Authority (HD)> ^ <Identifier Type Code (ID)> ^ <Assigning Facility (HD)> ^ <Name Representation Code (ID)> ^ <Organization Identifier (ST)>

副成分for Assigning Authority (HD)：　<Namespace ID (IS)> & <Universal ID (ST)> & <Universal ID Type (ID)>

副成分for Assigning Facility (HD)：　<Namespace ID (IS)> & <Universal ID (ST)> & <Universal ID Type (ID)>

定義：このフィールドは医療機関の名称、またはその部門や患者の（来院に関する）治療上の出来事に関係した識別情報を示す。例えば、医療機関内のアレルギーまたは腫瘍クリニックといった名前である。

PV2-24　Patient Status Code 患者状態　(IS)　00725

定義：このフィールドは治療上の出来事：例えば、現役の入院患者、退院した入院患者といった状態を示す。推奨値は使用者定義表-0216患者状態を参照のこと。

使用者定義表 0216 – Patient Status Code 患者状態

Value	Description	Comment
AI	Active Inpatient　入院中の患者	
DI	Discharged Inpatient　退院した患者	

PV2-25　Visit Priority Code 受診優先標識　(IS)　00726

定義：このフィールドは来院の優先度を示す。推奨値は使用者定義表0217 受診優先標識を参照のこと。

使用者定義表 0217 – Visit Priority Code 受診優先標識

Value	Description	Comment
1	Emergency　救急	
2	Urgent　緊急	
3	Elective　選択	

PV2-26　Previous Treatment Date 最終治療日　(DT)　00727

定義:このフィールドは今回の来院以前に、どんな状態でも患者が前回の治療を受けた日を示す。前回の病院訪問時は前回の退院日であることが多い。

PV2-27　Expected Discharge Disposition 希望退院種別　(IS)　00728

定義：このフィールドは退院時に患者が望む退院区分を示す。推奨値は使用者定義表0112退院区分を参照のこと。

PV2-28　Signature on File Date 署名日　(DT)　00729

定義：このフィールドは保険の支払い目的で、サインを得た日付を示す。

PV2-29　First Similar Illness Date 発症日　(DT)　00730

定義：このフィールドは患者が潜伏期間があったかどうかを判断することに利用する。

PV2-30　Patient Charge Adjustment Code 患者費用補正コード　(CWE)　00731

成分：　<Identifier (ST)> ^ <Text (ST)> ^ <Name of Coding System (ID)> ^ <Alternate Identifier (ST)> ^ <Alternate Text (ST)> ^ <Name of Alternate Coding System (ID)> ^ <Coding System Version ID (ST)> ^ <Alternate Coding System Version ID (ST)> ^ <Original Text (ST)>

定義：このフィールドは使用者定義コードで、この患者の支払いに対してどの補正がなされるべきかを示す。推奨値については、使用者定義表0218費用補正を参照のこと。このフィールドはGTI-26保証人支払い補正コードと同じである。

PV2-31　Recurring Service Code 通院治療標識　(IS)　00732

定義：このフィールドは治療が継続しているか否かを示す。

PV2-32　Billing Media Code 請求媒体コード　(ID)　00733

定義:このフィールドはテープ媒体による請求が拒否されるかどうかを示す。有効値は以下のY/N

標識を参照。

Y　テープ媒体による請求が拒否される
N　通常処理

PV2-33　Expected Surgery Date and Time 予定手術日時　(TS)　00734

成分：　<Time (DTM)> ^ <Degree of Precision (ID)>

定義：このフィールドは手術を予定している日時を示す。

PV2-34　Military Partnership Code 軍隊との契約の有無　(ID)　00735

定義：このフィールドは軍隊の医療機関が非軍事医療施設のサービスを受ける契約をしているか否かを示す。有効値は以下のY/N標識を参照。

Y　契約が存在する
N　契約は存在しない

PV2-35　Military Non-Availability Code 非軍隊施設の利用許可の有無　(ID)　00736

定義：このフィールドは患者が非軍事医療施設で治療を受ける許可を持っているか否かを示す。有効値は以下のY/N標識を参照。

Y　患者は非軍事医療施設で治療を受ける許可を持っている
N　患者は非軍事医療施設で治療を受ける許可を持っていない

PV2-36　Newborn Baby Indicator 新生児標識　(ID)　00737

定義：このフィールドは患者が新生児か否かを示す。有効値は以下のY/N標識を参照。

Y　患者は新生児である
N　患者は新生児ではない

PV2-37　Baby Detained Indicator 新生児残留標識　(ID)　00738

定義：このフィールドは母親が退院した後も新生児が病院に留まることを示す。有効値は以下のY/N標識を参照。

Y　新生児は残留
N　母親と新生児は通常退院

PV2-38　Mode of Arrival Code 患者到着手段　(CWE)　01543

成分：　<Identifier (ST)> ^ <Text (ST)> ^ <Name of Coding System (ID)> ^ <Alternate Identifier (ST)> ^ <Alternate Text (ST)> ^ <Name of Alternate Coding System (ID)> ^ <Coding System Version ID (ST)> ^ <Alternate Coding System Version ID (ST)> ^ <Original Text (ST)>

定義：どのように患者が医療機関に運ばれたかを示す。推奨値については使用者定義表0430-到着手段コードを参照。

使用者定義表 0430 – Mode of Arrival Code 到着手段コード

Value	Description	Comment
A	Ambulance　救急車	
C	Car　自動車	
F	On foot　徒歩	
H	Helicopter　ヘリコプタ	
P	Public Transport　公共輸送機関	
O	Other　その他	
U	Unknown　不明	

PV2-39　Recreational Drug Use Code 嗜好薬情報　(CWE)　01544

成分：　<Identifier (ST)> ^ <Text (ST)> ^ <Name of Coding System (ID)> ^ <Alternate Identifier (ST)> ^ <Alternate Text (ST)> ^ <Name of Alternate Coding System (ID)> ^ <Coding System Version ID (ST)> ^ <Alternate Coding System Version ID (ST)> ^ <Original Text (ST)>

定義：このフィールドは患者がどのような嗜好薬を用いているかを示す。これは部屋割りのために用いられる。推奨値は使用者定義表0431-嗜好薬コードを参照。

© JAHIS 2012

使用者定義表 0431 – Recreational Drug Use Code 嗜好薬コード

Value	Description	Comment
A	Alcohol　アルコール	
K	Kava　カバ	
M	Marijuana　マリファナ	
T	Tobacco - smoked　タバコ	
C	Tobacco - chewed　噛みタバコ	
O	Other　その他	
U	Unknown　不明	

PV2-40　Admission Level of Care Code 入院時患者重症度　(CWE)　01545

成分： <Identifier (ST)> ^ <Text (ST)> ^ <Name of Coding System (ID)> ^ <Alternate Identifier (ST)> ^ <Alternate Text (ST)> ^ <Name of Alternate Coding System (ID)> ^ <Coding System Version ID (ST)> ^ <Alternate Coding System Version ID (ST)> ^ <Original Text (ST)>

定義：このフィールドは入院時の患者重症度を示す。推奨値は使用者定義表0432-入院時重症度を参照。

使用者定義表 0432 – Admission Level of Care Code 入院時重症度

Value	Description	Comment
AC	Acute　急性	
CH	Chronic　慢性	
CO	Comatose　昏睡状態	
CR	Critical　重篤	
IM	Improved　改善	
MO	Moribund　瀕死	

PV2-41　Precaution Code 要注意コード　(CWE)　01546

成分： <Identifier (ST)> ^ <Text (ST)> ^ <Name of Coding System (ID)> ^ <Alternate Identifier (ST)> ^ <Alternate Text (ST)> ^ <Name of Alternate Coding System (ID)> ^ <Coding System Version ID (ST)> ^ <Alternate Coding System Version ID (ST)> ^ <Original Text (ST)>

定義 : このフィールドは患者を扱う上で医療以外の注意事項を示す。推奨値は使用者定義表0433-要注意コードを参照。

使用者定義表 0433 - Precaution Code 要注意コード

Value	Description	Comment
A	Aggressive　喧嘩好き	
B	Blind　視覚障害者	
C	Confused　困惑	
D	Deaf　聴覚障害者	
I	On IV　点滴中	
N	“No-code” (i.e. Do not resuscitate) 蘇生不要等	
P	Paraplegic　対麻酔患者	
O	Other　その他	
U	Unknown　不明	

PV2-42　Patient Condition Code 患者容態標識　(CWE)　01547

成分： <Identifier (ST)> ^ <Text (ST)> ^ <Name of Coding System (ID)> ^ <Alternate Identifier (ST)> ^ <Alternate Text (ST)> ^ <Name of Alternate Coding System (ID)> ^ <Coding System Version ID (ST)> ^ <Alternate Coding System Version ID (ST)> ^ <Original Text (ST)>

定義：このフィールドは医療関係者以外の、例えば、家族、雇用主、牧師、取材に対して患者の現在の容態説明を示す。推奨値については使用者定義表0434-患者容態コードを参照。

使用者定義表 0434 – Patient Condition Code 患者容態コード

Value	Description	Comment
A	Satisfactory　改善	
C	Critical　危機	
P	Poor　不安定	
S	Stable　安定	

© JAHIS 2012

Value	Description	Comment
O	Other　その他	
U	Unknown　不明	

PV2-43　Living Will Code 生前意志標識　(IS)　00759

定義：このフィールドは患者が延命を希望しているか否か、もしそうであれば延命希望を示す書類を医療機関が持っているかを示す。もし尊厳死を希望している場合は、この値は尊厳死希望の書類の保管場所を示す。推奨値は使用者定義表0315-生前意志標識を参照。また、PD1-7延命希望標識もあわせて参照。

使用者定義表 0315 – Living Will Code 生前意志標識

Value	Description	Comment
Y	Yes, patient has a living will 患者は生前意志表示を行っている	
F	Yes, patient has a living will but it is not on file 患者は生前意志表示があるが、文書ファイルにはなっていない	
N	No, patient does not have a living will and no information was provided 患者の生前意志表示が無く、情報も提供されていない	
I	No, patient does not have a living will but information was provided 患者の生前意志表示が無いが、情報は提供されている	
U	Unknown　不明	

PV2-44　Organ Donor Code 臓器提供希望標識　(IS)　00760

定義：このフィールドは患者が臓器提供を望むか否か、その医療機関においてドナーカードまたは類似の書類を保管しているか否かを示す。推奨値については使用者定義表0316-臓器提供コードを参照。

使用者定義表 0316 – Organ Donor Code 臓器提供コード

Value	Description	Comment
Y	Yes, patient is a documented donor and documentation is on file 患者は臓器提供を希望しており、ドナーカードを有している	
F	Yes, patient is a documented donor, but documentation is not on file 患者は臓器提供を希望しているが、ドナーカードは無い	
N	No, patient has not agreed to be a donor 患者は臓器提供に合意していない	
I	No, patient is not a documented donor, but information was provided 患者は臓器提供を希望していないが、情報は提供されている	
R	Patient leaves organ donation decision to relatives 患者は親戚の判断で臓器提供する	
P	Patient leaves organ donation decision to a specific person 患者は特定の人の判断で臓器提供する	
U	Unknown　不明	

PV2-45　Advance Directive Code その他の患者要望　(CWE)　01548

成分：　<Identifier (ST)> ^ <Text (ST)> ^ <Name of Coding System (ID)> ^ <Alternate Identifier (ST)> ^ <Alternate Text (ST)> ^ <Name of Alternate Coding System (ID)> ^ <Coding System Version ID (ST)> ^ <Alternate Coding System Version ID (ST)> ^ <Original Text (ST)>

定義：このフィールドは医療機関に対する患者の指示を示す。推奨値は使用者定義表0435-その他の患者要望を参照。またPD1-15-その他の患者要望もあわせて参照。

使用者定義表 0435 – Advance Directive Code その他の患者要望

Value	Description	Comment
DNR	Do not resuscitate　蘇生措置不要	

PV2-46　Patient Status Effective Date 患者状態（PV2-25）の発効日　(DT)　01549

定義：このフィールドはPV2-24患者状態が有効となった日付を示す。

© JAHIS 2012

PV2-47　Expected LOA Return Date/Time 予定帰院日時　(TS)　01550

成分：　<Time (DTM)> ^ <Degree of Precision (ID)>

定義：このフィールドはA21患者の外出・外泊開始において必要となる。同様に、A22患者の帰院、A52患者の外出・外泊の取消、A53患者の帰院の取消も同様である。このフィールドは患者が帰院する予定の日時を示す。

PV2-48　Expected Preadmission Testing Date/Time 入院前検査予定日時　(TS)　01841

成分：　<Time (DTM)> ^ <Degree of Precision (ID)>

定義：このフィールドは患者の入院前検査を予定している日時を示す。

PV2-49　Notify Clergy Code 聖職者通知標識　(IS)　01842

定義：このフィールドは聖職者に通知されるべきかを通知するために使用される。推奨値は使用者定義表0534-聖職者通知標識を参照。

使用者定義表0534 - Notify Clergy Code 聖職者通知標識

Value	Description	Comment
Y	Yes　必要あり	
N	No　必要なし	
L	Last Rites only　埋葬業者のみ	
O	Other　その他	
U	Unknown　不明	

© JAHIS 2012

7.6 AL1 - Patient Allergy Information Segment 患者アレルギー情報

AL1セグメントは、多様なタイプの患者アレルギー情報を含んでいる。ほとんどのこの情報は使用者定義表による。各AL1セグメントは単一の患者アレルギーについて記述する。

HL7属性表－AL1－Patient Allergy Information 患者アレルギー情報

SEQ	LEN	DT	OPT	Japan	RP/#	ITEM#	ELEMENT NAME
1	4	SI	R	R		00203	Set ID – Allergy セット ID － アレルギー
2	250	CWE	O	O		00204	Allergy Type アレルギータイプ
3	250	CWE	R	R		00205	Allergy Code/Mnemonic/Description コード/記憶法/記述
4	250	CWE	O	O		00206	Allergy Severity アレルギー重症度
5	15	ST	O	O	Y	00207	Allergy Reaction アレルギー反応
6	8	DT	B	B		00208	Identification Date 判定日付

AL1 フィールド定義

AL1-1 Set ID - Allergy セットID-アレルギー (SI) 00203

定義：このフィールドはトランザクションにおける番号を示す。そのセグメントが最初に現れたときはシーケンス番号１、2回目に現れたときは２という具合である。

AL1-2 Allergy Type アレルギータイプ (CWE) 00204

成分： <identifier (ST)> ^ <text (ST)> ^ <name of coding system (ID) > ^ <alternate identifier (ST)> ^ <alternate text (ST)> ^ <name of alternate coding system (ID)> ^ <Coding System Version ID (ST)> ^ <Alternate Coding System Version ID (ST)> ^ <Original Text (ST)>

定義：一般的なアレルギーごと(薬、食物、花粉など)を示す。使用者定義表0127を参照。

使用者定義表 0127 - Allergy Type アレルギータイプ

Value	Description	Comment
DA	Drug allergy 薬物アレルギー	
FA	Food allergy 食物アレルギー	
MA	Miscellaneous allergy 種々のアレルギー	
MC	Miscellaneous contraindication 種々の禁忌	
EA	Environmental Allergy 環境アレルギー	
AA	Animal Allergy 動物アレルギー	
PA	Plant Allergy 植物アレルギー	
LA	Pollen Allergy 花粉アレルギー	

AL1-3 Allergy Code/Mnemonic/Description アレルギーコード/記憶法/記述 (CWE) 00205

成分： <identifier (ST)> ^ <text (ST)> ^ <name of coding system (ID)> ^ <alternate identifier (ST)> ^ <alternate text (ST)> ^ <name of alternate coding system (ID)> ^ <Coding System Version ID (ST)> ^ <Alternate Coding System Version ID (ST)> ^ <Original Text (ST)>

定義：一意的に、特定のアレルギーを識別する。この要素は、外部標準のコード体系(それは識別されねばならない)によるか、ローカルな記述、主に文章の記述あるいは記憶法の記述によっても良い。

注：コードは両者間で調整の上、日本臨床検査医学会コード（第5章5.5節参照）または接頭語「L」を付けたローカル定義コードを用いる。

AL1-4 Allergy Severity アレルギー重症度 (CWE) 00206

成分： <identifier (ST)> ^ <text (ST)> ^ <name of coding system (ID)> ^ <alternate identifier (ST)> ^ <alternate text (ST)> ^ <name of alternate coding system (ID)> ^ <Coding System Version ID (ST)> ^ <Alternate Coding System Version ID (ST)> ^ <Original Text (ST)>

定義：アレルギー(重度、中程度、軽度など)の一般的な重症度を示す。使用者定義表0128を参照。

使用者定義表 0128 - Allergy Severity アレルギー重症度

Value	Description
SV	Severe 重度
MO	Moderate 中等度

© JAHIS 2012

MI	Mild　　軽度
U	Unknown　不明

AL1-5　Allergy Reaction アレルギー反応 (ST)　00207

定義：特定のアレルギー反応(震え、くしゃみ、発疹など)を短く文章で記述したもの。

AL1-6　Identification Date　判定日付 (DT)　00208

定義：このフィールドは旧バージョンとの互換性のためにのみ残されている。アレルギーが判定された日付。

© JAHIS 2012

7.7　SPM - Specimen Segment　検体セグメント

このセグメントの意図は検体の特性について記述することである。それは、OBRがオーダに特有の情報を示す点でOBRの意図と異なる。また、SACが検体容器情報を示す点でSACセグメントとも異なる。検体セグメントの分離によってもたらされる利点は、オーダ、結果、検体および検体容器の間の複数の関係を一般化するということである。
検体は「個人、グループ、アイテムあるいはグループ、クラスあるいは全体に関する結論を引き出す目的で観察や分析の対象である、より大きなグループ、クラスあるいは全体の部分代表である、物理的な実体」として定義される。宇宙のどんな物理的な実体も検体になる可能性を持っていることに注意されたい。
検体がどこから採取され、どこから分離されたかを明確にし、その違いを表わす。検体は、検査の間にすべて、もしくは部分的に消費される。また、検体の残る部分も持続的に保管することができる。
このセグメントも、「仮想の」検体についてある制約をもって記述するために使用されてもよい。特性を識別することは、特に、特定の観察か検査の状況で必要なため要求した。
まとめとして、SPMセグメントは検体の識別とその属性を認識するためにある。

HL7 属性表 – SPM – Specimen 検体

SEQ	LEN	DT	OPT	Japan	RP/#	ITEM #	ELEMENT NAME
1	4	SI	O	RE		01754	Set ID – SPM セット ID – SPM
2	80	EIP	O	RE		01755	Specimen ID 検体 ID
3	80	EIP	O	O	Y	01756	Specimen Parent IDs 親検体 ID
4	250	CWE	R	R		01900	Specimen Type 検体タイプ
5	250	CWE	O	O	Y	01757	Specimen Type Modifier 検体タイプ修飾子
6	250	CWE	O	O	Y	01758	Specimen Additives 検体添加物
7	250	CWE	O	O		01759	Specimen Collection Method 検体採取法
8	250	CWE	O	RE		01901	Specimen Source Site 検査材料・検査部位
9	250	CWE	O	O	Y	01760	Specimen Source Site Modifier 検査材料修飾子
10	250	CWE	O	O		01761	Specimen Collection Site 検体採取部位
11	250	CWE	O	O	Y	01762	Specimen Role 検体役割
12	20	CQ	O	O		01902	Specimen Collection Amount 検体採取量
13	6	NM	C	C		01763	Grouped Specimen Count 検体総数
14	250	ST	O	O	Y	01764	Specimen Description 検体記述
15	250	CWE	O	O	Y	01908	Specimen Handling Code 検体取り扱いコード
16	250	CWE	O	O	Y	01903	Specimen Risk Code 検体リスクコード
17	26	DR	O	RE		01765	Specimen Collection Date/Time 検体採取日時
18	26	TS	O	O		00248	Specimen Received Date/Time 検体受領日時
19	26	TS	O	O		01904	Specimen Expiration Date/Time 検体有効日時
20	1	ID	O	O		01766	Specimen Availability 検体有効性
21	250	CWE	O	C	Y	01767	Specimen Reject Reason 検体拒否理由
22	250	CWE	O	O		01768	Specimen Quality 検体品質
23	250	CWE	O	O		01769	Specimen Appropriateness 検体適合性
24	250	CWE	O	O	Y	01770	Specimen Condition 検体条件
25	20	CQ	O	O		01771	Specimen Current Quantity 検体量
26	4	NM	O	O		01772	Number of Specimen Containers 検体容器数
27	250	CWE	O	O		01773	Container Type 容器 タイプ
28	250	CWE	O	O		01774	Container Condition 容器状態
29	250	CWE	O	O		01775	Specimen Child Role 子検体役割

SPM フィールド定義

SPM-1　Set ID – SPM セットID – SPM (SI)　01754

定義：このフィールドはシーケンス番号を持ち、同じメッセージ中のSPMセグメントの繰り返しを識別する。

© JAHIS 2012

SPM-2　Specimen ID 検体ID　(EIP)　01755

成分：　<Placer Assigned Identifier (EI)> ^ <Filler Assigned Identifier (EI)>

副成分 for Placer Assigned Identifier (EI):　<Entity Identifier (ST)> & <Namespace ID (IS)> & <Universal ID (ST)> & <Universal ID Type (ID)>

副成分 for Filler Assigned Identifier (EI):　<Entity Identifier (ST)> & <Namespace ID (IS)> & <Universal ID (ST)> & <Universal ID Type (ID)>

定義：このフィールドは、依頼者アプリケーション、実施者アプリケーション、またはその両方で検体を識別するためのユニークなIDを持つ。

SPM-3　Specimen Parent IDs 親検体ID　(EIP)　01756

成分：　<Placer Assigned Identifier (EI)> ^ <Filler Assigned Identifier (EI)>

副成分 for Placer Assigned Identifier (EI):　<Entity Identifier (ST)> & <Namespace ID (IS)> & <Universal ID (ST)> & <Universal ID Type (ID)>

副成分 for Filler Assigned Identifier (EI):　<Entity Identifier (ST)> & <Namespace ID (IS)> & <Universal ID (ST)> & <Universal ID Type (ID)>

定義：このフィールドは、セグメント実例によって記述される検体に寄与した検体(複数可)のための確認を含んでいる

このフィールドが繰り返される場合、SPM-11-検体役割は「L」(プール検体)と評価される。その後、この項目の反復は、プールに寄与する親検体の検体IDを示す。

SPM-4　Specimen Type 検体タイプ (CWE)　01900

成分：　<Identifier (ST)> ^ <Text (ST)> ^ <Name of Coding System (ID)> ^ <Alternate Identifier (ST)> ^ <Alternate Text (ST)> ^ <Name of Alternate Coding System (ID)> ^ <Coding System Version ID (ST)> ^ <Alternate Coding System Version ID (ST)> ^ <Original Text (ST)>

定義：このフィールドは、検査の原材料の正確な性質について記述する。

身体から得られたどんなものでも検体となりうるだろう。それが複合の有機体(例えば、ダチョウ)であろうと、特有の細胞塊(例えば、特有の筋肉組織) であろうと、この属性の特定の実体についてできるだけ正確に記述する。

この属性はOBR-15– Specimen SourceとSAC-6 – Specimen Sourceの第1のコンポーネント– Specimen source name or codeに相当する。これらのコンポーネント、そしてSPSデータタイプはこのセグメントの開発において非難された。

一般に認識されるコーディング体系は、このフィールドのために使用されることになっている。このフィールドで有効なコードには次のものがある：

- 日本臨床検査医学会 臨床検査項目分類コード 材料コード表（第5章5.6節参照）
- HL7表 0487 – Specimen Type検体タイプ、HL7 Ver.2.5 第7章7.18.4節参照 (HL7表 0070 – Specimen source codes検査材料コード、HL7 Ver.2.5 第7章7.18.2節参照を置換)
- SNOMED、その他.
- 獣医学では、その分野で決定したこのフィールドの要素をサポートする表を選択してもよい。

SPM-5　Specimen Type Modifier 検体タイプ修飾子 (CWE)　01757

成分：　<Identifier (ST)> ^ <Text (ST)> ^ <Name of Coding System (ID)> ^ <Alternate Identifier (ST)> ^ <Alternate Text (ST)> ^ <Name of Alternate Coding System (ID)> ^ <Coding System Version ID (ST)> ^ <Alternate Coding System Version ID (ST)> ^ <Original Text (ST)>

定義：このフィールドは検体タイプについて修飾あるいは限定する記述からなる。

この属性の仕様は、SPM-4—検体タイプによって記述された実体を修正するか、制限するか、さらに限定するものである。SPM-4-検体タイプの中で使用されるコード・セットで完全に記述できない場合、これは特に有用である。例えば、もし検体の性格が「毛細血管静脈血」とすると、コード・セットが単に「静脈血」を使用したならば、修飾語「毛細血管」を加えるためにこの属性を使用することができる。必要に応じ、日本臨床検査医学会臨床検査項目分類コード材料コード表（第5章5.6節参照）を使用する。使用者定義表 0541 -検体タイプ修飾子を参照。

© JAHIS 2012

使用者定義表 0541 - Specimen Type Modifier 検体タイプ修飾子

Value	Description	Comment
	No suggested values	

SPM-6 Specimen Additives 検体添加物 (CWE) 01758

成分： <Identifier (ST)> ^ <Text (ST)> ^ <Name of Coding System (ID)> ^ <Alternate Identifier (ST)> ^ <Alternate Text (ST)> ^ <Name of Alternate Coding System (ID)> ^ <Coding System Version ID (ST)> ^ <Alternate Coding System Version ID (ST)> ^ <Original Text (ST)>

定義：このフィールドは、採取前に、あるいは採取時に検体に導入されたどんな添加物を識別する。これらの添加物は検体の特性や要素を、保存、維持、増強するために導入される。HL7表0371 – Additive/Preservative添加物、HL7 Ver.2.5 第7章7.18.5節参照。

SPM-7 Specimen Collection Method 検体採取法 (CWE) 01759

成分： <Identifier (ST)> ^ <Text (ST)> ^ <Name of Coding System (ID)> ^ <Alternate Identifier (ST)> ^ <Alternate Text (ST)> ^ <Name of Alternate Coding System (ID)> ^ <Coding System Version ID (ST)> ^ <Alternate Coding System Version ID (ST)> ^ <Original Text (ST)>

定義：検体の採取過程、方法について記述する

このフィールドには、SNOMEDを含む国家的に認識されたコード体系を使用する。代替としてHL7表0488- Specimen Collection Method検体採取法、HL7 Ver.2.5 第7章7.18.6節、が使用される。獣医学では、その分野で決定したこのフィールドの要素をサポートする表を選択してもよい。

SPM-8 Specimen Source Site 検査材料・検査部位 (CWE) 01901

成分： <Identifier (ST)> ^ <Text (ST)> ^ <Name of Coding System (ID)> ^ <Alternate Identifier (ST)> ^ <Alternate Text (ST)> ^ <Name of Alternate Coding System (ID)> ^ <Coding System Version ID (ST)> ^ <Alternate Coding System Version ID (ST)> ^ <Original Text (ST)>

定義：検体採取源を指定する（試料が得られた材料や臓器、サービスの適用部位を指定する）。例えば、肝臓バイオプシーが経皮的な針によって得られる時に、材料は肝臓となる。

このフィールドには、SNOMEDを含む国家的に認識されたコード体系を使用する。代替としてHL7表 0070が使用される。必要に応じ、日本臨床検査医学会臨床検査項目分類コード材料コード表（第5章5.6節）を使用する。獣医学では、その分野で決定したこのフィールドの要素をサポートする表を選択してもよい。

SPM-9 Specimen Source Site Modifier 検査材料修飾子 (CWE) 01760

成分： <Identifier (ST)> ^ <Text (ST)> ^ <Name of Coding System (ID)> ^ <Alternate Identifier (ST)> ^ <Alternate Text (ST)> ^ <Name of Alternate Coding System (ID)> ^ <Coding System Version ID (ST)> ^ <Alternate Coding System Version ID (ST)> ^ <Original Text (ST)>

定義：このフィールドは検査材料について修飾あるいは限定する記述からなる。

この属性の使用は、SPM-8-検査材料について記述された実体を修飾、制限、さらに限定するものである。SPM-8-検査材料の中で使用されるコード・セットが完全に記述できない場合、これは特に有用でる。例えば、もし検体が正確には「左橈骨静脈」とすると、コード・セットが単に「橈骨静脈」を使用したならば、修飾語「左」を加えるためにこの属性を使用することができる。

必要に応じ、日本臨床検査医学会臨床検査項目分類コード材料コード表（第5章5.6節）を使用する。獣医学では、その分野で決定したこのフィールドの要素をサポートする表を選択してもよい。使用者定義表0542 –検査材料タイプ修飾子を参照。

使用者定義表 0542 – Specimen Source Type Modifier 検査材料タイプ修飾子

Value	Description	Comment
	No suggested values	

SPM-10 Specimen Collection Site 検体採取部位 (CWE) 01761

成分： <Identifier (ST)> ^ <Text (ST)> ^ <Name of Coding System (ID)> ^ <Alternate Identifier (ST)> ^ <Alternate Text (ST)> ^ <Name of Alternate Coding System (ID)> ^ <Coding System Version ID (ST)> ^ <Alternate Coding System Version ID (ST)> ^ <Original Text (ST)>

定義：このフィールドは、特定の部位(例えば、解剖学的位置)経由で到達すべき原点部位である時にSPM-8-検査材料とは異なる。例えば、肝臓バイオプシーが経皮的な針によって得られる時に、

採取部位は針のエントリーのポイントになる。左のとう骨静脈から採取された静脈血については、採取部位が「肘前窩」となる。

必要に応じ、日本臨床検査医学会臨床検査項目分類コード材料コード表（第5章5.6節）を使用する。獣医学では、その分野で決定したこのフィールドの要素をサポートする表を選択してもよい。使用者定義表 0543 –検体採取部位を参照。

使用者定義表 0543 – Specimen Collection Site 検体採取部位

Value	Description	Comment
	No suggested values	

SPM-11 Specimen Role 検体役割 (CWE) 01762

成分： <Identifier (ST)> ^ <Text (ST)> ^ <Name of Coding System (ID)> ^ <Alternate Identifier (ST)> ^ <Alternate Text (ST)> ^ <Name of Alternate Coding System (ID)> ^ <Coding System Version ID (ST)> ^ <Alternate Coding System Version ID (ST)> ^ <Original Text (ST)>

定義：このフィールドは、検体の役割を示す（使用者定義表0369 –検体役割を参照）。それらの検体の役割はシステムにより異なり、検体関連データの管理や工程の管理などに使われる。

このフィールドは一般的ではない。記述された検体に対して検査のために特別の視点でみる役割である。そのような検体は、分析のために意図される患者検体、環境上の検体および他の検体を含んでいる。

グループ化された検体は、個々の確認者を持っていない多数の個人からのもの、および同じサービスが実行されない同一の検体タイプから成る。検体役割価値がそのとき「G」である場合、グループ化された検体数(SPM-13)は、グループに含まれていた検体の総数で評価される。

検体役割が「L」である場合、親検体ID(SPM-4)の反復はプールされたされた検体に関連する個々の親検体を表わす。使用者定義表0369 –検体役割を参照。

使用者定義表 0369 – Specimen Role 検体役割

Value	Description	Comment
B	Blind Sample 精度管理用ブラインド検体	
C	Calibrator キャリブレータ、used for initial setting of calibration	
E	Electronic QC 予測 QC 値、used with manufactured reference providing signals that simulate QC results	
F	Specimen used for testing proficiency of the organization performing the testing (Filler) 検査室検体	
G	Group (where a specimen consists of multiple individual elements that are not individually identified) 個別 ID なし	
L	Pool (aliquots of individual specimens combined to form a single specimen representing all of the components.) プール検体	
O	Specimen used for testing Operator Proficiency 検査者検体	
P	Patient 親検体	
Q	Control specimen 精度管理検体	
R	Replicate 複製	
V	Verifying Calibrator キャリブレーション検証、used for periodic calibration checks	

SPM-12 Specimen Collection Amount 検体採取量 (CQ) 01902

成分： <Quantity (NM)> ^ <Units (CWE)>

副成分 for Units (CWE): <Identifier (ST)> & <Text (ST)> & <Name of Coding System (ID)> & <Alternate Identifier (ST)> & <Alternate Text (ST)> & <Name of Alternate Coding System (ID)>

定義：このフィールドは採取された検体の総量(volume or mass)を示す。検体検査の場合それは検体採取量である。単位はISOにより決められた省略単位を使用すべきである (ISO-2955, 1977)。これは依頼者またはその関係者が既に検体に記載したものを除いて、ただ結果だけのフィールドである(HL7 Ver.2.5 第7章7.18.3節Common ISO derived units and ISO+ extensions単位を参照)。

SPM-13 Grouped Specimen Count 総検体数 (NM) 01763

定義：このフィールドは検体の実体によって表される特定タイプの個々の検体の数を示す。このフィールドの使用は、検体に関連する属性がすべて同一の検体に限られる。検体役割属性が値

© JAHIS 2012

「G」を持っている場合、この項目の意味はない。

SPM-14　Specimen Description 検体記述 (ST)　01764

定義：このフィールドはテキスト表現される。特別に検体情報を追加したい場合メッセージとして送信される。

SPM-15　Specimen Handling Code 検体取り扱いコード (CWE)　01908

成分：　<Identifier (ST)> ^ <Text (ST)> ^ <Name of Coding System (ID)> ^ <Alternate Identifier (ST)> ^ <Alternate Text (ST)> ^ <Name of Alternate Coding System (ID)> ^ <Coding System Version ID (ST)> ^ <Alternate Coding System Version ID (ST)> ^ <Original Text (ST)>

定義：これは採取から検査開始までの間に検体/容器をどのように扱うかを記載する。この項目は一般的ではないので条件により利用される。使用者定義表0376 –検体取り扱いコードを参照。

使用者定義表 0376 – Special Handling Code 検体取り扱いコード

Code	Description	Comment/Usage Note/Definition
C37	Body temperature　体温	Critical to keep at body temperature: 36 - 38° C.
AMB	Ambient temperature　環境温度	Keep at ambient (room) temperature, approximately 22 ± 2 degrees C. Accidental refrigeration or freezing is of little consequence
CAMB	Critical ambient temperature　重要な環境温度	Critical ambient – must not be refrigerated or frozen.
REF	Refrigerated temperature　冷蔵温度	Keep at refrigerated temperature: 4-8° C. Accidental warming or freezing is of little consequence
CREF	Critical refrigerated temperature　重要な冷蔵温度	Critical refrigerated –　must not be allowed to freeze or warm until immediately prior to testing
FRZ	Frozen temperature　冷凍温度	Keep at frozen temperature: -4° C. Accidental thawing is of little consequence
CFRZ	Critical frozen temperature 重要な冷凍温度	Critical frozen – must not be allowed to thaw until immediately prior to testing
DFRZ	Deep frozen　凍結	Deep frozen: -16 to -20° C.
UFRZ	Ultra frozen　氷結	Ultra cold frozen: ~ -75 to -85° C. (ultra cold freezer is typically at temperature of dry ice).
NTR	Liquid nitrogen　液体窒素	Keep in liquid nitrogen.
PRTL	Protect from light　暗視保存	Protect from light (e.g., wrap in aluminum foil).
CATM	Protect from air　真空保存	Critical. Do not expose to atmosphere. Do not uncap.
DRY	Dry　乾燥保存	Keep in a dry environment.
PSO	No shock　禁ショック	Protect from shock.
PSA	Do not shake　禁シェーク	Do not shake.
UPR	Upright　垂直保存	Keep upright. Do not turn upside down.
MTLF	Metal Free　金属可	Container is free of heavy metals including lead.

SPM-16　Specimen Risk Code 検体リスクコード (CWE)　01903

成分：　<Identifier (ST)> ^ <Text (ST)> ^ <Name of Coding System (ID)> ^ <Alternate Identifier (ST)> ^ <Alternate Text (ST)> ^ <Name of Alternate Coding System (ID)> ^ <Coding System Version ID (ST)> ^ <Alternate Coding System Version ID (ST)> ^ <Original Text (ST)>

定義：このフィールドは検体の知られている危険もしくは予見される危険いついて記載する。例えば､肝炎患者またはキャリアの血液｡一方のコードおよび(または)テキストは無いこともある。しかし、コードは、第2のコンポーネントに、第1の構成要素の位置および任意の自由なテキストがデリミッターの後に置かれる。使用者定義表0489 –リスクコードを参照。

使用者定義表 0489 – Risk Codes リスクコード

Code	Description	Comment/Usage Note/Definition
BIO	Biological　生物製剤	The dangers associated with normal biological materials. I.e. potential risk of unknown infections.　Routine biological materials from living subjects.
COR	Corrosive　腐食物	Material is corrosive and may cause severe injury to skin, mucous membranes and eyes. Avoid any unprotected contact.
ESC	Escape Risk　回避リスク	The entity is at risk for escaping from containment or control.
AGG	Aggressive　悪性	A danger that can be associated with certain living subjects, including humans.
IFL	Material Danger Inflammable 引火性物質	Material is highly inflammable and in certain mixtures (with air) may lead to explosions.　Keep away from fire, sparks and excessive heat.

© JAHIS 2012

Code	Description	Comment/Usage Note/Definition
EXP	Explosive　爆発物	Material is an explosive mixture.　Keep away from fire, sparks, and heat.
INF	Material Danger Infectious 感染性危険物質	Material known to be infectious with human pathogenic microorganisms. Those who handle this material must take precautions for their protection.
BHZ	Biohazard　バイオハザード	Material contains microorganisms that is an environmental hazard.　Must be handled with special care.
INJ	Injury Hazard　疾病障害	Material is solid and sharp (e.g., cannulas.)　Dispose in hard container.
POI	Poison　毒薬	Material is poisonous to humans and/or animals.　Special care must be taken to avoid incorporation, even of small amounts.
RAD	Radioactive　放射性物質	Material is a source for ionizing radiation and must be handled with special care to avoid injury of those who handle it and to avoid environmental hazards.

SPM-17　Specimen Collection Date/Time 検体採取日時 (DR)　01765

成分：　<Range Start Date/Time (TS)> ^ <Range End Date/Time (TS)>

副成分 for Range Start Date/Time (TS):　<Time (DTM)> & <DEPRECATED-Degree of Precision (ID)>

副成分 for Range End Date/Time (TS):　<Time (DTM)> & <DEPRECATED-Degree of Precision (ID)>

定義：採取元から検体を採取した日時。検体採取の終了時間を表現するため、日時範囲データタイプも許される（例えば、24時間採尿など）。
一時点で採取された検体のためには、第1コンポーネント(採取開始日時)が代入される。

SPM-18　Specimen Received Date/Time 検体受領日時 (TS)　00248

成分：　<Time (DTM)> ^ <DEPRECATED-Degree of Precision (ID)>

定義：検体受領日時は診断部門が検体を受け取った時間である。記録される実際の時間は、検体の受取がどのように管理されるかにより異なることもある。これは基本的にSPM-17 Specimen Collection date/time 検体採取日時とは異なる。

SPM-19　Specimen Expiration Date/Time 検体有効日時 (TS)　01904

成分：　<Time (DTM)> ^ <DEPRECATED-Degree of Precision (ID)>

定義：このフィールドは指示された検査目的のために検体がもはや使用することができない日付および時間である。例えば、血液銀行業務環境で、検体は輸血前の適合試験のために使用できないなど。

SPMセグメントはSPM-21-検体拒否理由の“EX”（期限切れ、この日付を過ぎている場合）を含む。

SPM-20　Specimen Availability 検体有効性 (ID)　01766

定義：　これは検体があれば、それが現在分析に使用できるかどうかを記載する。取りうる値はHL7表0136 – Yes/no標識を参照。

SPM-21　Specimen Reject Reason 検体拒否理由 (CWE)　01767

成分：　<Identifier (ST)> ^ <Text (ST)> ^ <Name of Coding System (ID)> ^ <Alternate Identifier (ST)> ^ <Alternate Text (ST)> ^ <Name of Alternate Coding System (ID)> ^ <Coding System Version ID (ST)> ^ <Alternate Coding System Version ID (ST)> ^ <Original Text (ST)>

定義：これは、依頼された検査/結果/分析のために検体が拒絶される1つ以上の理由について記述する。取りうる値はHL7表0490 –検体拒否理由を参照。

HL7表 0490 – Specimen Reject Reason 検体拒否理由

Value	Description	Comment
EX	Expired　期限切れ	
QS	Quantity not sufficient　量不足	
RB	Broken container　破損容器	
RC	Clotting　凝固	
RD	Missing collection date　採取日漏れ	
RA	Missing patient ID number　親検体 ID 漏れ	
RE	Missing patient name　患者名漏れ	
RH	Hemolysis　溶血	

© JAHIS 2012

Value	Description	Comment
RI	Identification problem　ID 不具合	
RM	Labeling　ラベル異常	
RN	Contamination　混濁	
RP	Missing phlebotomist ID（採血者、血液学者）ID 漏れ	
RR	Improper storage　不適切保管	
RS	Name misspelling　氏名間違い	

SPM-22　Specimen Quality 検体品質 (CWE)　01768

成分：　<Identifier (ST)> ^ <Text (ST)> ^ <Name of Coding System (ID)> ^ <Alternate Identifier (ST)> ^ <Alternate Text (ST)> ^ <Name of Alternate Coding System (ID)> ^ <Coding System Version ID (ST)> ^ <Alternate Coding System Version ID (ST)> ^ <Original Text (ST)>

定義：受領検体の状態の程度。実施者がこの属性を代入する。推奨値は使用者定義表0491–検体品質を参照。

使用者定義表 0491 – Specimen Quality 検体品質

Value	Description	Comment
E	Excellent　優秀	
G	Good　良好	
F	Fair　適正	
P	Poor　不適	

SPM-23　Specimen Appropriateness 検体適合性 (CWE)　01769

成分：　<Identifier (ST)> ^ <Text (ST)> ^ <Name of Coding System (ID)> ^ <Alternate Identifier (ST)> ^ <Alternate Text (ST)> ^ <Name of Alternate Coding System (ID)> ^ <Coding System Version ID (ST)> ^ <Alternate Coding System Version ID (ST)> ^ <Original Text (ST)>

定義：実施者によって決定されるような特別に計画された使用のための検体の適応性。推奨値は使用者定義表0492–検体適合性を参照。

使用者定義表 0492 – Specimen Appropriateness 検体適合性

Value	Description	Comment
P	Preferred　良好	
A	Appropriate　適切	
I	Inappropriate　不適切	
??	Inappropriate due to　期限切れ…	

SPM-24　Specimen Condition 検体状態 (CWE)　01770

成分：　<Identifier (ST)> ^ <Text (ST)> ^ <Name of Coding System (ID)> ^ <Alternate Identifier (ST)> ^ <Alternate Text (ST)> ^ <Name of Alternate Coding System (ID)> ^ <Coding System Version ID (ST)> ^ <Alternate Coding System Version ID (ST)> ^ <Original Text (ST)>

定義：検体の特性であるモードもしくは状態を記述する。推奨値は使用者定義表0493–検体条件を参照。

使用者定義表 0493 – Specimen Condition 検体状態

Value	Description	Comment
AUT	Autolyzed　自己溶解（溶血）	
CLOT	Clotted　凝固	
CON	Contaminated　混濁	
COOL	Cool　冷却	
FROZ	Frozen　凍結	
HEM	Hemolyzed　溶血	
LIVE	Live　生	
ROOM	Room temperature　室温	
SNR	Sample not received　検体未受領	

SPM-25　Specimen Current Quantity 検体量 (CQ)　01771

成分：　<Quantity (NM)> ^ <Units (CWE)>

© JAHIS 2012

副成分 for Units (CWE): <Identifier (ST)> & <Text (ST)> & <Name of Coding System (ID)> & <Alternate Identifier (ST)> & <Alternate Text (ST)> & <Name of Alternate Coding System (ID)>

定義：この属性は現在存在するあるいは次の検査に使用が可能である検体量からなる。

SPM-26 Number of Specimen Containers 検体容器数 (NM) 01772

定義：このフィールドは、与えられたサンプルのための容器の数を示す。サンプル受付時の検証目的で用いる。オーダに伴うサンプルの総数とは異なってもよい。

SPM-27 Container Type 容器タイプ (CWE) 01773

成分： <Identifier (ST)> ^ <Text (ST)> ^ <Name of Coding System (ID)> ^ <Alternate Identifier (ST)> ^ <Alternate Text (ST)> ^ <Name of Alternate Coding System (ID)> ^ <Coding System Version ID (ST)> ^ <Alternate Coding System Version ID (ST)> ^ <Original Text (ST)>

定義：検体を入れるあるいは載せて移送するための容器。

SPM-28 Container Condition 容器状態 (CWE) 01774

成分： <Identifier (ST)> ^ <Text (ST)> ^ <Name of Coding System (ID)> ^ <Alternate Identifier (ST)> ^ <Alternate Text (ST)> ^ <Name of Alternate Coding System (ID)> ^ <Coding System Version ID (ST)> ^ <Alternate Coding System Version ID (ST)> ^ <Original Text (ST)>

定義：検体が検査室から検査室に移される場合、各受付で記録されるべき検体が移送される容器の状態。容器がさまざまな(封印漏れ、容器破損、検体漏れなど)危険にさらされる場合、これを法的な理由で記録する必要がある。使用者定義表0544 –容器状態を参照。

使用者定義表 0544 – Container Condition 容器状態

Value	Description	Comment
	No suggested values	

SPM-29 Specimen Child Role 子検体役割 (CWE) 01775

成分： <Identifier (ST)> ^ <Text (ST)> ^ <Name of Coding System (ID)> ^ <Alternate Identifier (ST)> ^ <Alternate Text (ST)> ^ <Name of Alternate Coding System (ID)> ^ <Coding System Version ID (ST)> ^ <Alternate Coding System Version ID (ST)> ^ <Original Text (ST)>

定義：子検体と親検体の関係を示す。このフィールドが代入されるときSPM-3親検体IDも代入しなければならない。このフィールドはSPM-15-検体役割とは異なり、このフィールドがオーダされた検査上の検体の役割ではなく親検体に関するこの検体の役割を示す。HL7表0494 –子検体役割を参照。

HL7表 0494 – Specimen Child Role 子検体役割

Value	Description	Comment
A	Aliquot 分注検体	
C	Component 成分	
M	Modified from original specimen 加工（希釈など）	

© JAHIS 2012

7.8　ORC - Common Order Segment　共通オーダセグメント

共通オーダセグメント(ORC)は、すべてのオーダに共通なデータ要素を伝達するために使用される(要求されるすべてのタイプのサービス)。場合によっては、ORCは文字列ORC|OK|<依頼者オーダ番号>|<実施者オーダ番号>|<CR>のように単純になる。
詳細内容がオーダのために必要ないならば、オーダ詳細セグメントは省略してよい。例えば、オーダを保留するためには、ORCで次のフィールドを付けて伝達する(HDの値付きのORC-1-オーダ制御、ORC-2-依頼者オーダ番号、およびORC-3実施者オーダ番号)。
ORCのフィールドとオーダ詳細セグメントの中のフィールドとの間にいくつかの重複がある。これらは以下の節に述べる。原則として、ORCとOBRに重複する情報は、OBRセグメントのものを優先する。

ORC使用注記

a)依頼者オーダグループ

本規格では、複数のオーダを1つのグループに集めるメカニズムをサポートする。大抵の場合、これは1人の患者に対して「依頼セッション」を表すために使用される。

オーダグループは、ORC-4-依頼者グループ番号に関連するオーダ(ORCs)のリストである。グループは、依頼者が最初のオーダに依頼者グループ番号を付けた時に確立する。オーダグループは、同じ依頼者グループ番号を有するすべてのORCsおよびすべての詳細セグメントから成る。オーダは、グループからキャンセルを使用して除去したり、取換えや親子メカニズムを使用して追加したりできる。新規オーダは、その他の方法でのグループへの追加はできない。

b)重複フィールド

ORCは、すべてのオーダ(すなわち要求されたサービス)に共通なフィールドを一様に定義するよう意図されている。ただし、一部のORCフィールドは、一部のオーダ詳細セグメント(例えば、OBR、RXO)では重複する。例えば、ORC-2依頼者オーダ番号は、OBR-2依頼者オーダ番号フィールドと同じ意味および目的を持つ。これによって過去のバージョンおよびASTMとの上位互換性が保たれる。

これらのフィールドを使用する規則では、ORCに現れない値はオーダ詳細セグメントに現れなければならない。しかし、両方の箇所に値を入れて混乱を避けることが望ましい。

c)親/子　ー　キャンセル、保留、中断

親オーダのキャンセル、保留または中断の要求の伝達は、その要求は親オーダおよびすべての関連の子オーダに対して再帰的に適用されるよう意図されている。

例；
1) EKGアプリケーションが3回のEKGに対するオーダを受け、これが3日連続で毎朝行われるとする。
2) EKGアプリケーションは3つの子オーダを、各々の要求されたEKGに対して1つずつ作成する。
3) 元の親オーダを取り消す要求が受け取られた時に1日目のEKGが実施されていた。(親は取消せなかった)
4) 残りの、未実施の子は要求の結果として取り消される。

HL7属性表 – ORC - Common Order 共通オーダ

SEQ	LEN	DT	OPT	Japan	RP#	ITEM#	ELEMENT NAME
1	2	ID	R	R		00215	Order Control　オーダ制御
2	22	EI	C	C		00216	Placer Order Number　依頼者オーダ番号
3	22	EI	C	C		00217	Filler Order Number　実施者オーダ番号
4	22	EI	O	O		00218	Placer Group Number　依頼者グループ番号
5	2	ID	O	RE		00219	Order Status　オーダ状態
6	1	ID	O	O		00220	Response Flag　応答フラグ
7	200	TQ	B	B	Y	00221	Quantity/Timing　数量/タイミング
8	200	EIP	O	O		00222	Parent　親
9	26	TS	O	O		00223	Date/Time of Transaction　トランザクション日時
10	250	XCN	O	O	Y	00224	Entered By　入力者
11	250	XCN	O	O	Y	00225	Verified By　検証者

© JAHIS 2012

SEQ	LEN	DT	OPT	Japan	RP#	ITEM#	ELEMENT NAME
12	250	XCN	O	O	Y	00226	Ordering Provider　依頼者
13	80	PL	O	O		00227	Enterer's Location　入力場所
14	250	XTN	O	O	Y/2	00228	Call Back Phone Number コールバック用電話番号
15	26	TS	O	O		00229	Order Effective Date/Time　オーダ有効日時
16	250	CWE	O	O		00230	Order Control Code Reason オーダ制御コードの理由
17	250	CWE	O	O		00231	Entering Organization　入力組織
18	250	CWE	O	O		00232	Entering Device　入力装置
19	250	XCN	O	O	Y	00233	Action By　発動者
20	250	CWE	O	O		01310	Advanced Beneficiary Notice Code 受益者通知コード
21	250	XON	O	O	Y	01311	Ordering Facility Name　オーダ施設名
22	250	XAD	O	O	Y	01312	Ordering Facility Address　オーダ施設住所
23	250	XTN	O	O	Y	01313	Ordering Facility Phone Number　オーダ施設電話番号
24	250	XAD	O	O	Y	01314	Ordering Provider Address　オーダ依頼者住所
25	250	CWE	O	O		01473	Order Status Modifier　オーダ状態修飾子
26	250	CWE	C	O		01641	Advanced Beneficiary Notice Override Reason 受益者通知上書き理由
27	26	TS	O	O		01642	Filler's Expected Availability Date/Time 実施者可能日時
28	250	CWE	O	O		00615	Confidentiality Code 守秘コード
29	250	CWE	O	RE		01643	Order Type オーダタイプ
30	250	CNE	O	O		01644	Enterer Authorization Mode 入力者承認モード

ORC フィールド定義

ORC-1　Order Control オーダ制御 (ID)　00215

定義：オーダセグメントの機能を決定する。取りうる値はHL7表0119 -オーダ制御を参照。コードは大別すると次の3つのカテゴリに入る。

a) 事象要求
事象を発動するために、『NW』(新規オーダ)とか『CA』(オーダ要求のキャンセル)のようなコードが使用される。

b) 事象応答承認
事象要求に返答するために、『OK』(オーダが受け入れられた)とか『CR』(要求されたようにオーダが取り消された)のようなコードが使用される。

c) 事象通知
事象が発生したことを他のアプリケーションに知らせるために、『OC』(オーダが取り消された)とか『OD』(オーダが中断された)のようなコードが使用される。いかなるアプリケーション応答も必要としない。

事象要求コードは、事象を発動することを意図する。事象応答コードは、事象を要求したアプリケーションに応答することを意図する。事象通知コードは、他のアプリケーションに例えば、次のようなことを知らせることを意図する。すなわち実施者がオーダに対し何かアクションを取りそれを他のアプリケーション、例えば、依頼者が知る必要がある場合等である。

実施者、依頼者、および他のアプリケーションは、事象要求、事象応答、および事象通知型トリガイベントを相互互換的に使用できる。しかしながら、あるオーダ制御コード(例 CR)は実施者のみが生成することができ、他のオーダ制御コード(例 CA)は依頼者のみが生成することができる。

HL7表 0119 – Order Control Code オーダ制御コード

Value	Description	Comment
AF	Order/service refill request approval 補充オーダ要求承認	**Placer Applications.** AF は依頼者が補充または補充の量を許可する RF への応答である。
CA	Cancel order/service request オーダキャンセル要	**Placer Applications.** オーダキャンセルは、以前にオーダしたサービスを実施者に行わせないようにする依頼者からの要求である。キャンセル要求の確認は、実施者によって行わ

© JAHIS 2012

Value	Description	Comment
	求	れる、例えば、CR の ORC-1オーダ制御値）を持つメッセージである。 一般的な応答は、これらに限定されないが、以下のようなものが挙げられる、CR－要求通りオーダキャンセル完了、UC－オーダキャンセル不能。
CH	Child order/service 子オーダ	**Placer or Filler Applications.** PA とあわせて使用－親オーダコントロールコード。詳細は PA オーダコントロールコードを参照。
CN	Combined result 統合検査結果	**Filler Applications.** 統合検査結果コードは、複数のオーダに関連する結果を送るためのメカニズムを提供する。この状態は、放射線科医が通常複数のオーダで表示された複数の検査に対して単一のレポートを作成するときの放射線科レポートに見られる。例えば、放射線科医はリューマチ性の関節炎患者のひざと手のフイルムに対してひとつのレポートを生成することがある。 その結果報告のときに、最後の ORC を除く RE はすべて CN コードに置換される、結果は最後の ORC とその OBR に続く。以下3つの ORC に対する単一のレポート例は下記の通りである。 MSH|...<cr> PID|...<cr> ORC|CN|...<cr> OBR|1|A4461XA^HIS|81641^RAD|73666^Bilateral Feet|...<cr> ORC|CN|...<cr> OBR|2|A4461XB^HIS|81642^RAD|73642^Bilateral Hand PA|...<cr> ORC|RE|...<cr> OBR|3|A4461XC^HIS|81643^RAD|73916^Bilateral Knees|...<cr> OBX|1|CE|73916&IMP|1|Radiologist's Impression|...<cr> OBX|2|CE|73642&IMP|1|Radiologist's Impression|...<cr> OBX|3|FT|73642&GDT|1|Description|...<cr>
CR	Canceled as requested 要求通りオーダキャンセル完了	**Filler Applications.** キャンセル（依頼者アプリケーションからの CA）の要求が成功したことを示す実施者アプリケーションからの応答
DC	Discontinue order/service request オーダ中断要求	**Placer Applications.** 実施者アプリケーションに前もって要求したサービスを中断するための依頼者アプリケーションからの要求。中断とキャンセルの違いとして、中断はオーダ／サービスおよび今後起こるすべての動作に影響、キャンセルは現在のアクションだけに影響する。 一般的な応答は、これらに限定されないが、以下のようなものが挙げられる、CR－要求通りオーダキャンセル完了、UC－オーダキャンセル不能
DE	Data errors データエラー	**Placer or Filler Applications.**
DF	Order/service refill request denied 補充オーダ要求拒否	**Placer Applications.** 補充許可(RF)に対する実施者アプリケーションの応答、DF は依頼者がオーダの補充を許可しないことを意味する。ORC-16オーダ制御コードの理由は要求拒否の理由を意味する。提案された値は以下を含む： AA Patient unknown to the provider 患者は依頼者、 提供者、医療機関(provider)に知られていない。 AB Patient never under provider care 依頼者の看護下の患者ではない AC Patient no longer under provider care 依頼者の長期看護下の患者ではない AD Patient has requested refill too soon 患者はすぐに補充を要請した AE Medication never prescribed for the patient 患者の薬剤は一度も処方されていない。 AF Patient should contact provider first

<table>
<tr><th>Value</th><th>Description</th><th>Comment</th></tr>
<tr><td></td><td></td><td>患者は最初に依頼者に連絡しなければならない
AG Refill not appropriate
補充は適していない。
注：これらの値は NCPDP SCRIPT 応答セグメントコードリストに由来する。
資料の複製は©National Council for Prescription Drug Programs, Inc. （米国規格協会認定の機関）1988, 1992, 2002 NCPDP の承諾を得てください。</td></tr>
<tr><td>DR</td><td>Discontinued as requested
要求通りオーダ中断</td><td>Filler Applications.
実施者は、中断（依頼者アプリケーションからの DC）の要求に応じて、オーダ／サービスを中断する。</td></tr>
<tr><td>FU</td><td>Order/service refilled, unsolicited
補充オーダ済、未承諾</td><td>Filler Applications.
FU は依頼者に実施者が患者要求のオーダに対して補充を発行したことを通知する。</td></tr>
<tr><td>HD</td><td>Hold order request
オーダ保留要求</td><td>Placer Applications.
一般的な応答は、これらに限定されないが、以下のようなものが挙げられる、CR－要求通りオーダキャンセル完了、UC－オーダキャンセル不能。</td></tr>
<tr><td>HR</td><td>On hold as requested
要求通りオーダ保留</td><td>Filler Applications.</td></tr>
<tr><td>LI</td><td>Link order/service to patient care problem or goal
患者看護プロブレムまたはゴールへのリンクオーダ</td><td>Placer or Filler Applications.
本規約では取り扱わない。
詳細は HL7 Ver.2.5 第12章：患者看護を参照。</td></tr>
<tr><td>NA</td><td>Number assigned
割り当て番号</td><td>Placer Applications.
オーダ番号の要求に関与する3つの状態がある（ORC-2－依頼者オーダ番号または ORC-3－実施者オーダ番号）。

(1) 実施者アプリケーションが、例えば、HIS のような中央型アプリケーションから ORC-3－実施者オーダ番号を要求する必要があるとき。
SN－送信オーダ番号コードは、実施者が集中アプリケーション（下記の表で “other” と呼ばれている） 例えば、中央 HIS から ORC-3－実施者オーダ番号を要求するためのメカニズムを提供する。これは SN の ORC-1－オーダ制御値を含んでいる ORM メッセージを送ることによって行う。この ORC は Null の ORC-3－実施者オーダ番号と ORC-2－依頼者オーダ番号を持つ。これらは実施者がオーダを開始するとき、実施者アプリケーションによって作成されたものである。

オーダ（SN型）メッセージは、以下2つの方法のいずれかで応答される：
a) OK の ORC-1－オーダ制御値を持つオーダアプリケーション ACK メッセージ。未承諾オーダメッセージは、割り当てられた実際の数値を提供するために NA の ORC-1－オーダ制御値 NA の ORC を含み、後で送ることができる。
b) 以下に記載の NA の ORC-l－オーダ制御値を含むオーダアプリケーション ACK メッセージ

NA－コードを割り当てられた番号は“other”アプリケーションが最近割り当てられた実施者オーダ番号を実施者アプリケーションに知らせることを許可する。NAのORC-1－オーダ制御値は、ORC-2－依頼者オーダ番号（SN値を持つORCから）および最近割り当てられた実施者オーダ番号を含む。

<table>
<tr><th>Code</th><th>From</th><th>ORC-2-Placer Order Number</th><th>ORC-3-Filler Order Number</th></tr>
</table></td></tr>
</table>

Value	Description	Comment

SN	filler application	placer order number^filler applicat on ID	Null
NA	other application	placer order number^filler applica ion ID	filler order number^filler application ID
Note: Both the placer order number and the filler order number have the filler's application ID 注：依頼者オーダ番号と実施者オーダ番号は実施者のアプリケーション ID を持ちます。			

(2) 実施者アプリケーションはその他のアプリケーション（例：オーダエントリ）から ORC-2依頼者オーダ番号を要求する必要があるとき

SN －送信オーダ番号コードは、実施者アプリケーションが ORC-2－依頼者オーダ番号をその他のアプリケーション（下記表で“other”と記載）から要求するためのメカニズムを提供する。これは SN の ORC-1－オーダ制御値を含みオーダメッセージを送ることによって行う。この ORC は null の ORC-2－依頼者オーダ番号と ORC-3－実施者オーダ番号を持つ。これらは実施者がオーダを開始するとき、実施者アプリケーションによって作成されたものである。

オーダ（SN 型）メッセージは、2つの方法によって応答される。

a) OK の ORC-1－オーダ制御値を含むオーダアプリケーション ACK メッセージ。修正オーダメッセージは、割り当てられた実際の番号を提供するため NA の ORC-1－オーダ制御値を含んでいて、後で送られる。

b) 以下で述べるNAのORC-l－オーダ制御値を含むオーダACKメッセージ。

NA －コードを割り当てられた番号は、“other”アプリケーションが新しく割り当てられた ORC-2－依頼者オーダ番号を実施者アプリケーションに知らせることを許す。ORC は NA の ORC-1－オーダ制御値、新しく割り当てられた ORC-2－依頼者オーダ番号、および ORC-3－実施者オーダ番号（SN 値を持つ ORC から）を含む。

Code	From	ORC-2-Placer Order Number	ORC-3-Filler Order Number
SN	filler application	Null	filler order number^filler application ID
NA	other application	placer or filler number^placer application ID	filler orde number^filler application ID
Note: The new ORC-2-placer order number has the placer's application ID 注：新しい ORC-2依頼者のオーダ番号は依頼者のアプリケーション ID を持ちます。			

3) アプリケーション（実施者アプリケーションではない）が、新規オーダの ORC-3実施者オーダ番号を割り当てたい場合。

NW －オーダを作成するアプリケーション（実施者アプリケーションではない）が、新規オーダの実施者オーダ番号を割り当てたいとき。

または

RO －（RP に続く RO）この場合、“other”のアプリケーションが ORC3－実施者オーダ番号を完成する。このときには実施者オーダ番号の2番目の項目として、実施者アプリケーション ID を使用する。

© JAHIS 2012

<table>
<tr><th>Value</th><th>Description</th><th>Comment</th></tr>
<tr><td></td><td></td><td>
<table>
<tr><th>Code</th><th>From</th><th>ORC-2-Placer Order Number</th><th>ORC-3-Filler Order Number</th></tr>
<tr><td>NW
o
RO</td><td>Other application to filler application</td><td>placer order number^placer application ID</td><td>filler order number^filler application ID</td></tr>
</table>
</td></tr>
<tr><td>NW</td><td>New order/service
新規オーダ</td><td>Placer Applications.
NA のコメントを参照－番号は割り当て</td></tr>
<tr><td>OC</td><td>Order/service canceled
オーダキャンセル完了</td><td>Filler Applications.</td></tr>
<tr><td>OD</td><td>Order/service discontinued
オーダ中断</td><td>Filler Applications.</td></tr>
<tr><td>OE</td><td>Order/service released
オーダ開放</td><td>Filler Applications.</td></tr>
<tr><td>OF</td><td>Order/service refilled as requested
要求通り補充オーダ済</td><td>Filler Applications.
OF は依頼者システムからの補充要求に直接応答する。</td></tr>
<tr><td>OH</td><td>Order/service held
オーダ保留</td><td>Filler Applications.</td></tr>
<tr><td>OK</td><td>Order/service accepted & OK
オーダ受付&OK</td><td>Filler Applications.
NA のコメントを参照－番号割り当て。</td></tr>
<tr><td>OP</td><td>Notification of order for outside dispense
外部調剤へのオーダ通知</td><td>Placer Applications.
これらオーダ制御コードはオーダが情報提供目的とされるシステム間でオーダを通信するために使用される。例えば、通信システムの企業外部のベンダーによってオーダは実行される。通信システムでは、臨床継続性のためのオーダに関連した情報の維持が必要であるが、オーダされたサービスを実行するアクションを意図するものではない。
OP は NW の情報提供バージョンを表す。PY は RO だけの情報提供バージョンといえる。NW と RO の表注記は OP と PY それぞれにも適用できる。</td></tr>
<tr><td>OR</td><td>Released as requested
要求通りオーダ開放</td><td>Filler Applications.</td></tr>
<tr><td>PA</td><td>Parent order/service
親オーダ</td><td>Filler Applications.
親(PA)と子(CH)のオーダ制御コードは親（オリジナルオーダ）を変えることなく「親オーダ」から「子オーダ」を作成可能である。PA の ORC-1－オーダ制御値を持つ1個以上の ORC セグメントは CH の ORC-1－オーダ制御値を持つ1個以上の ORC セグメントが後に続く。ORC-6－応答フラグの値によって OBR セグメントが存在しなければならないかどうか決定される。

例えば､細菌培養で2つの細菌を生成しそれに対応する感受性試験の結果がでたと仮定して、そのときセグメントの順序は、次の通りである
<table>
<tr><th>Segment</th><th>Order Control</th><th>Comment</th></tr>
<tr><td>ORC</td><td>PA</td><td>1st parent ORC</td></tr>
<tr><td>ORC</td><td>CH</td><td>1st child ORC</td></tr>
<tr><td>OBR</td><td></td><td>1st child order</td></tr>
<tr><td></td><td></td><td></td></tr>
<tr><td>ORC</td><td>CH</td><td>2nd child ORC</td></tr>
<tr><td>OBR</td><td></td><td>2nd child order</td></tr>
</table>
</td></tr>
</table>

© JAHIS 2012

<table>
<tr><th>Value</th><th>Description</th><th>Comment</th></tr>
<tr><td></td><td></td><td>親－子パラダイムの依頼者番号の割り当ては、実施者あるいは依頼者が子オーダを生成するかどうか、または、後者の場合は依頼者が SN/NA トランザクションをサポートするかどうかに依存する。依頼者が子オーダを作成する場合、その通常の手続きに従い、依頼者番号を割り当てる。実施者が子オーダを作成する場合、そこで2つの可能性がある：それぞれの子はその親の依頼者番号を受け継ぐか、あるいは、実施者は依頼者が依頼者オーダ番号(placer order number.)を割り当てるよう要求するために SN/NA トランザクションを使用する。どちらのケースでも、実施者アプリケーションは、その通常の手続きに応じて子の実施者オーダ番号を作成する。

ORC セグメントの ORC-8－親に子オーダが送られるときは、親の実施者番号（実施者から開始するならば）および親の依頼者番号（実施者、あるいは依頼者から開始するならば）が割り振られる。

親子のメカニズムは、例えば、毎朝、連続して3回の EKG のオーダを発行するといったように、親オーダを拡張するために使用される。</td></tr>
<tr><td>PR</td><td>Previous Results with new order/service
以前の結果</td><td>Placer Applications.
PRはORCはオーダに組み込まれた過去の検査を含むORU構造の一部だと示す。

少なくとも2つの主要なユースケースは、過去の検査の完了結果をそのオーダとともに転送されるために必要とする。

• 診断検査室が結果（HIV等）の確認あるいは検査（遺伝子検査等）を行う設備がない等で他の検査機関に検査を問い合わせる。

• 診断検査室が検査報告に含まれる診断コメントの自動生成のための知識ベースに結果を送る。</td></tr>
<tr><td>PY</td><td>Notification of replacement order for outside dispense
外部調剤へのオーダ修正通知</td><td>Placer Applications.
OP（外部調剤へのオーダ通知）のコメントを参照。</td></tr>
<tr><td>RE</td><td>Observations/Performed Service to follow
検査付帯情報</td><td>Placer or Filler Applications.
検査付帯情報コードはオーダとともに患者固有情報を送るのに使用される。オーダ詳細セグメント（例えば、OBR）の後には1個またはそれ以上の検査セグメント(OBX)を続けることができる。ORU メッセージとして伝えることができるいかなる検査情報も、このメカニズムで伝えることができる。オーダとともに結果が送られる際は、サポートするためオーダの直後に結果が次にくる。

次の例は、3個の処方オーダのためのセグメントのシーケンスを、RE コードの使用例で示す。
<table>
<tr><th>Segment</th><th>Order Control</th><th>Comment</th></tr>
<tr><td>MSH</td><td></td><td></td></tr>
<tr><td>PI</td><td></td><td></td></tr>
<tr><td>ORC</td><td>NW</td><td>First new order</td></tr>
<tr><td>RXO</td><td></td><td>First order segment</td></tr>
<tr><td></td><td></td><td></td></tr>
<tr><td>ORC</td><td>NW</td><td>2nd new order</td></tr>
<tr><td>RXO</td><td></td><td>2nd order segment</td></tr>
<tr><td>[ORC</td><td>RE</td><td>Patient-specific observation, optiona in V 2.2</td></tr>
<tr><td>OBR]</td><td></td><td>Observation OBR, optional in V 2 2</td></tr>
</table></td></tr>
</table>

<table>
<tr><th>Value</th><th>Description</th><th>Comment</th></tr>
<tr><td></td><td></td><td>
<table>
<tr><td>OBX</td><td></td><td>An observation segment</td></tr>
<tr><td>OBX</td><td></td><td>Another observation segment</td></tr>
<tr><td>OBX</td><td></td><td>Another observation segment</td></tr>
<tr><td>OBX</td><td></td><td>Another observation segment</td></tr>
<tr><td></td><td></td><td></td></tr>
<tr><td>ORC</td><td>NW</td><td>3rd order</td></tr>
<tr><td>RXO</td><td></td><td>3rd order segment</td></tr>
</table>

HL7のこのバージョンにおいて、結果は1個あるいはそれ以上の OBX セグメントとしてオーダとともに送ることができる。ただし ORC と OBR セグメントを必ずしも含む必要はない。

検査情報は ORC を使用せずに ORU メッセージを用いて伝えることができる。ORU メッセージの OBR セグメントに含まれない情報を伝える必要が生じるときがある。この場合、ORC が ORU メッセージに含まれていることを推奨する。

オーダ制御値 RE はオーダの後に検査結果(OBX)が続くことを示すために ORM メッセージにおいてのみ要求される。RE コードは ORU メッセージでは必要ではない。なぜなら OBR セグメントの後に検査結果(OBX)を続けることができるからである。</td></tr>
<tr><td>RF</td><td>Refill order/service request
補充オーダ要求</td><td>Placer or Filler Applications.
RF は実施者または依頼者のどちらかによる要求を受け入れる。実施者は依頼者からの補充許可を要求することができる。依頼者システムは、補充が実施者システムによって行われるよう要求することができる。

標準的な応答は、これらに限定されないが、以下のようなものが挙げられる。実施者要求に関しては AF－補充オーダ要求承認、DF–補充オーダ要求拒否; 依頼者要求には、RE－検査付帯情報、UF－補充不能</td></tr>
<tr><td>RL</td><td>Release previous hold
前回保留オーダ開放</td><td>Placer Applications.</td></tr>
<tr><td>RO</td><td>Replacement order
修正後オーダ</td><td>Placer or Filler Applications.
オーダ修正依頼は以前に依頼された1個以上のオーダの置き換えである。

修正されたオーダはあたかも取り消されたオーダのように扱われる。依頼されたサービスが取り換えられるかどうか、いつ修正されるかは、現場独自で決定する。

オリジナルのオーダが元の状態を保つことをサイトが要求するならば、親／子オーダ制御コードを使用する。以下の場合は、オーダ修正コードを使用しない。

修正される各オーダには RP（実施者に対するオーダ修正依頼）の ORC-1－オーダ制御値または RU（実施者によって作成された未承認オーダ修正）を使用すること。RU は実施者によって使用され、依頼者および、または他のシステムに通知するためのものである。現場での取り決め(local agreement)によって、ORC セグメント（RP または RU と）の後には、そのオリジナルのオーダ詳細セグメントが続いてもよい。ORC セグメント（RP または RU を含む）の後には、RO（修正後オーダを示す）の ORC-1－オーダ制御値を持つ、ORC セグメントが続かなければならない。現場での取り決めによっては、RO 値を持つ ORC は、オーダ詳細セグメントが後に続いてもよい。

例えば、部門のアプリケーションが2個の OBR オーダを3つの異なったオーダで修正されていたと仮定して、セグメントの順序は、次の通りになる。
<table>
<tr><th>Seg</th><th>Order Control</th><th>Commen</th></tr>
<tr><td>ORC</td><td>RU</td><td>1st replaced ORC</td></tr>
</table></td></tr>
</table>

© JAHIS 2012

Value	Description	Comment

OBR		1st replaced order　s detail segment
ORC	RU	2nd replaced ORC
OBR		2nd replaced order's detail segment
ORC	RO	1st replacement ORC
OBR		1st replacement order's detail segment
ORC	RO	2nd replacement ORC
OBR		2nd replacement order's detail segment
ORC	RO	3rd replacement ORC
OBR		3rd replacement order's detail segment

ORC-6－応答フラグの値によってOBRセグメントが存在しなければならないかどうかが決定される。

この修正方法はすべての修正可能なケースを扱う：
1個から1個へ、多数から1個へ、1個から多数へ、および多数から多数へである。もし依頼者が実施者に2つのRP付き要求を送り実施者から依頼者への応答があるとすると、2つのRU（未承認のオーダ修正）は2つのRQ（要求どおりオーダ修正）となる。

Seg	Order Control	Comment
ORC	RQ	1st replaced ORC
OBR		1st repla　ed order's detail segment
ORC	RQ	2nd replaced ORC
OBR		2nd replaced order's detail segment
ORC	RO	1st replacement ORC
OBR		1st replacement order's detail segment
ORC	RO	2nd replacement ORC
OBR		2nd replacement order's detail segment
ORC	RO	3rd replacement ORC
OBR		3rd replacement order's detail segment

修正オーダコードは実施者のアプリケーションによってオーダされたサービスの正確な取り換えを指示する別なアプリケーションに送られる。それは上記のRPとRUのオーダ制御コードによって使用される。

ROの制御値を持つORCセグメントのオーダ番号の規則は修正型（RPまたはRU）によって決定される。

RU型（すなわち実施者からの未承諾オーダ修正）のときには、実施者オーダ番号は、実施者アプリケーションによって通常生成される。依頼者オーダ番号は、RUのオーダ制御値を含む最初に送られたORCの依頼者オーダ番号と全く同一である。

RP型（すなわち別のアプリケーションから実施者へのオーダ修正要求）のときには、依頼者オーダ番号は、新規オーダのための手続きを使用して、依頼者アプリケーションによって生成される。実施者オーダ番号は、新規オーダと同一の手順を使用して、実施者アプリケーションによって生成される。

© JAHIS 2012

Value	Description	Comment
		修正シーケンスがORUメッセージ（すなわち検査結果報告の間に）において使用されるときの、オーダ修正に使用されるべき推奨セグメントを以下に述べる。 オーダ制御値ROのORC。 任意のOBRセグメント（任意のオーダ詳細セグメントによって変えられる）。 任意に、検査結果セグメント(OBX)が後に続く。 NTE セグメントは、OBR（あるいはいかなるオーダ詳細セグメント）後、あるいは、通常の ORU メッセージにおけるのと同様に OBX セグメントの後に続けられる。
RP	Order/service replace request オーダ修正要求	**Placer Applications.** オーダ修正依頼は、以前に依頼された、1個あるいはそれ以上のオーダの置き換えである。今後の議論のためには、RO–修正後オーダのコメントを参照 オーダ修正要求コードは依頼者アプリケーションの要求に応じて、実施者が1個あるいはそれ以上の新規オーダを1個あるいはそれ以上の新規オーダと取り換えることを許可する。 RO の制御値を持つ ORC セグメントのオーダ番号の規則は修正型（RP または RU）によって決定される。 RU 型（すなわち実施者からの未承諾オーダ修正）のときには、実施者オーダ番号は、実施者アプリケーションによって通常生成される。依頼者オーダ番号は、RU のオーダ制御値つきの最初に送られた ORC の依頼者オーダ番号と全く同一である。 RP 型（すなわち別のアプリケーションから実施者へのオーダ修正要求）のときには、依頼者オーダ番号は、新規オーダのための手続きを使用して、依頼者アプリケーションによって生成される。実施者オーダ番号は、新規オーダと同一の手順を使用して、実施者アプリケーションによって生成される。 修正シーケンスがORUメッセージ（すなわち検査結果報告の間に）において使用されるときの、オーダ修正に使用されるべき推奨セグメントを以下に述べる。 a) オーダ制御値ROのORC b) 任意のOBRセグメント（任意のオーダ詳細セグメントによって変えられる） c) 任意に、検査結果セグメント(OBX)が後に続く d) NTE セグメントは、OBR（あるいはいかなるオーダ詳細セグメント）後、あるいは、通常の ORU メッセージにおけるのと同様に OBX セグメントの後に続けられる。
RQ	Replaced as requested 要求通りオーダ修正	**Filler Applications.** オーダ修正依頼は、以前に依頼された、1個あるいはそれ以上のオーダの置き換えである。今後の議論のためには、RO–修正後オーダのコメントを参照。

© JAHIS 2012

Value	Description	Comment
		オーダ修正要求コードは依頼者アプリケーションの要求に応じて、実施者が1個あるいはそれ以上の新規オーダを1個あるいはそれ以上の新規オーダと修正することを許可する。 修正後オーダコードは実施者アプリケーションによってオーダされたサービスの正確な修正を指示する別なアプリケーションに送られる。それは上記の RP と RU のオーダ制御コードによって使用される。 RO の制御値を持つ ORC セグメントのオーダ番号の規則は修正型（RP または RU）によって決定される。 RU 型（すなわち実施者からの未承諾オーダ修正）のときには、実施者オーダ番号は、実施者アプリケーションによって通常生成される。依頼者オーダ番号は、RU のオーダ制御値つきの最初に送られた ORC の依頼者オーダ番号と全く同一である。 RP 型（すなわち別のアプリケーションから実施者へのオーダ修正要求）のときには、依頼者オーダ番号は、新規オーダのための手続きを使用して、依頼者アプリケーションによって生成される。実施者オーダ番号は、新規オーダと同一の手順を使用して、実施者アプリケーションによって生成される。 修正シーケンスがORUメッセージ（すなわち検査結果報告の間に）において使用されるときの、オーダ修正に使用されるべき推奨セグメントを以下に述べる。 a) オーダ制御値ROのORC b) 任意のOBRセグメント（任意のオーダ詳細セグメントによって変えられる） c) オプションで、検査結果セグメント(OBX)が後に続く d) NTE セグメントは、OBR（あるいはいかなるオーダ詳細セグメント）後、あるいは、通常の ORU メッセージにおけるのと同様に OBX セグメントの後に続けられる。
RR	Request received 要求受付	**Placer or Filler Applications.** 旧バージョンとの互換性のため。現在のバージョンにおいては ACK（確認応答）の受諾に等しい。要求受信コードはオーダメッセージが受信されて、後で処理されることを示す。すなわち、そのオーダはより正確な応答をするための処理をまだ実行していないということである。
RU	Replaced unsolicited 未承諾オーダ修正	**Filler Applications.** オーダ修正依頼は以前に依頼された､1個あるいはそれ以上のオーダの置き換えである。今後の議論のためには RO–修正後オーダのコメントを参照。 未承諾オーダ修正コードは依頼者アプリケーションから要求されることなしに実施者アプリケーションが別なアプリケーションに知らせることを許可する。 RO の制御値を持つ ORC セグメントのオーダ番号の規則は取り換え型（RP または RU）によって決定される。 RU 型（すなわち実施者からの未承諾オーダ修正）のときには、実施者オーダ番号は実施者アプリケーションによって通常生成される。依頼者オーダ番号は RU のオーダ制御値つきの最初に送られた ORC の依頼者オーダ番号と全く同一である。 RP 型（すなわち別のアプリケーションから実施者へのオーダ修正要求）のとき

© JAHIS 2012

Value	Description	Comment
		には、依頼者オーダ番号は、新規オーダのための手続きを使用して、依頼者アプリケーションによって生成される。実施者オーダ番号は、新規オーダと同一の手順を使用して、実施者アプリケーションによって生成される。 取り換えシーケンスがORUメッセージ（すなわち検査結果報告の間に）において使用されるときの、オーダ修正に使用されるべき推奨セグメントを以下に述べる。 a) オーダ制御値ROのORC b) 任意のOBRセグメント（任意のオーダ詳細セグメントによって変えられる） c) 任意に、検査結果セグメント(OBX)が後に続く d) NTE セグメントは、OBR（あるいはいかなるオーダ詳細セグメント）後、あるいは、通常の ORU メッセージにおけるのと同様に OBX セグメントの後に続けられる。
SC	Status changed 状態変更	**Placer or Filler Applications.**
SN	Send order/service number 送信オーダ番号	**Placer Applications.** NA に関してはコメントを参照－番号割り当て
SR	Response to send order/service status request 送信オーダ状態要求応答	**Filler Applications.**
SS	Send order/service status request 送信オーダ状態要求	**Placer Applications.**
UA	Unable to accept order/service 受付オーダキャンセル	**Filler Applications.** オーダ受付不可コードが使用されるのは新しいオーダを実施者が受付できないときである。受付できない理由としては患者がアレルギーを起こす薬剤の処方を要求したこと、またはそのオーダを実施するための機器が利用できないこと（例えば、オーダが記入できないなど）が考えられる。これは MSA セグメント内で定義される通信レベルでの受付とは異なることに留意すること。
UC	Unable to cancel オーダキャンセル不能	**Filler Applications.** オーダキャンセル不能コードは依頼されたサービスが実施者によって取り消せない時点にあるとき、あるいは現場の取り決めで実施者によるキャンセルを禁止するとき使用される。このコードの使用は ORC-6－応答フラグに従う。
UD	Unable to discontinue オーダ中断不能	**Filler Applications.**
UF	Unable to refill 補充不能	**Filler Applications.** UFは実施者システムがRF－許可補充要求／サービス要求に対して否定応答で、受信アプリケーションが補充要求を完了できないことを示す
UH	Unable to put on hold オーダ保留不能	**Filler Applications.**
UM	Unable to replace オーダ修正不能	**Filler Applications.**
UN	Unlink order/service from patient care problem or goal 患者看護プロブレムまたはゴールからのリンクオーダ解除	**Placer or Filler Applications.** 詳細は、第12章： 患者看護を参照。
UR	Unable to release	**Filler Applications.**

Value	Description	Comment
	オーダ開放不能	
UX	Unable to change オーダ変更不能	**Filler Applications.**
XO	Change order/service request オーダ変更要求	**Placer Applications.**
XR	Changed as requested 要求通りオーダ変更	**Filler Applications.**
XX	Order/service changed unsolicited. オーダ変更（未承諾）	**Filler Applications.**
MC	Miscellaneous Charge – not associated with an order 雑費－オーダとは関連なし	**applies to DFT^P03^DFT_P03 and DFT^P11^DFT_P11** **DFT^P03^DFT_P03 と DFT^P11^DFT_P11を適用。**

注記：HL7 Ver.2.5の当該表は、オーダ制御コードに対応するメッセージの記述が不十分であるため、HL7 Ver.2.7の当該表を採用した。

ORC-2 Placer Order Number 依頼者オーダ番号 (EI) 00216

成分： <entity identifier (ST)> ^ <namespace ID (IS)> ^ <universal ID (ST)> ^ <universal ID type (ID)>

定義：依頼アプリケーションのオーダ番号

第1成分は、個々のオーダ(例えば、(OBR))を識別する文字列である。それは、依頼者(依頼アプリケーション)によって割り当てられる。それは、特定の依頼アプリケーションからのすべてのオーダの中から一意に1つのオーダを識別する。第2成分は依頼アプリケーションのアプリケーションIDを含む。アプリケーションIDは、アプリケーションに一意に関連する文字列である。ひとつの施設または相互に通信する施設のグループは、アプリケーションで一意のリストを確立すべきである。リストは潜在的な依頼者と実施者であってもよく、そして一意なアプリケーションIDを割り当ててもよい。2つの成分は、成分区切り文字によって分離される。

真の依頼者がややあいまいな（それで一意でない）3つの状況がある：

a) RU取替えに続く、ORC-1-オーダ制御値 ROの場合；

b) ORC-1-オーダ制御値 CH(子オーダ)の場合；

c) ORC-1-オーダ制御値 SN(番号を送ること)の場合。

ORC-2-依頼者オーダ番号がこれらの場合どのように割り当てられるかの詳細については、ORC-1-オーダ制御の下の表の注を参照すること。

アプリケーションIDリストは、マスタファイルの章で文書化されている、施設のマスタ辞書の1つになる。第三者アプリケーション(オーダの依頼者および実施者以外)がOMLとORLのメッセージ送受信ができるので、このフィールドの依頼アプリケーションIDは、ネットワーク上の送信および受信アプリケーションと同じでなくともよい(それはMSHセグメントで識別される)。

ORC-2-依頼者オーダ番号は、OBR-2-依頼者オーダ番号と同じである。依頼者オーダ番号がORCの中に存在していないならば、それは関連したOBR内に存在しなければならない。その逆もまた真である。もし両方のフィールド、すなわちORC-2-依頼者オーダ番号およびOBR-2-依頼者オーダ番号が設定されるならば、それらは同じ値でなければならない。結果がORU、OULメッセージで送られるとき、ORCは必要ないが、依頼者オーダ番号がOBRセグメント内に存在しなければならない。

これらの規則は、上位互換性のためORCとOBRの両方の中に存在している他のフィールドにも適用する。(例えば、数量／タイミング、親番号、オーダ依頼者、および依頼コールバック用電話番号)。

ORC-3　Filler Order Number 実施者オーダ番号 (EI)　 00217

成分： <entity identifier (ST)> ^ <namespace ID (IS)> ^ <universal ID (ST)> ^ <universal ID type (ID)>

定義： 実施アプリケーションに関連したオーダ番号。その第1成分は、オーダ詳述セグメントを識別する文字列である(例　OBR)。それは、オーダ実施(受け取る)アプリケーションによって割り当てられる。この文字列は、特定の実施アプリケーション(例　臨床検査)の他のオーダから、そのオーダ(オーダ詳細セグメントにおいて明示されるように)を、一意に識別しなければならない。一意性は長時間にわたって持続しなければならない。

第2成分は、実施アプリケーションIDを含んでいる。実施アプリケーションIDはアプリケーションをネットワーク上の他のアプリケーションから識別する。実施者オーダ番号の第2成分は、オーダの実際の実施者を常に識別する。

ある施設または相互通信施設グループは、アプリケーションの一意のリストを確立すべきである。リストは潜在的な依頼者と実施者であってもよく、そして一意なアプリケーションIDを割り当ててもよい。アプリケーションIDリストは、本規格の他の箇所で文書化されている、施設のマスタ辞書の1つになる。第三者アプリケーション(オーダの依頼者および実施者以外)がOMLとORLのメッセージ送受信ができるので、このフィールドの依頼アプリケーションIDは、ネットワーク上の送信および受信アプリケーションと同じでなくともよい(MSHセグメントにおいて確認したように)。

ORC-3-実施者オーダ番号は、OBR-3-実施者オーダ番号と同じある。実施者オーダ番号がORCの中に存在していないならば、それは関連したOBR内に存在しなければならない。(この規則はORCおよびOBRの中の他の同一フィールドに対するものと同じであり、上位互換性およびASTMとの互換性を促進する。)これが特に重要なのは、結果がOULメッセージで送られる場合である。この場合、ORCは必要ないが、実施者オーダ番号がOBRセグメント内に存在しなければならない。

実施者オーダ番号(OBR-3あるいはORC-3)は、オーダとその関連した検査を一意に識別する。例えば、ある施設が検査をいくつかの関連アプリケーションから集め、それを共通のデータベースの中に入れ、この共通のデータベースがまた別のアプリケーションによって検査のために照会される、と仮定する。この場合、共通のデータベースアプリケーションによって送られた実施者オーダ番号と依頼者オーダ番号は、それぞれオリジナルの実施者および依頼者であろう。すなわち共通のデータベースアプリケーションによって割り当てられた新しいものではない。
同様に、実施者あるいは依頼者でないオーダの第三者アプリケーションが、オーダの状態を修正する(例えば、それをキャンセルすること)権限があるならば、その第三者アプリケーションは、実施者にOMLメッセージを送る。そこには、『CA』に等しいORC-1オーダ制御の付いたORCセグメント、およびオリジナル依頼者オーダ番号および実施者オーダ番号を含む。いずれもそれ自身が割り当ることはない。

ORC-4　Placer Group Number　依頼者グループ番号 (EI)　 00218

成分： <entity identifier (ST)> ^ <namespace ID (IS)> ^ <universal ID (ST)> ^ <universal ID type (ID)>

定義 : オーダ依頼アプリケーションが複数セットのオーダを一緒にグループ化して後でそれらを識別できるようにする。
第1成分の文字列がすべての他のオーダグループを特定の依頼アプリケーションから一意に識別する。それは依頼アプリケーションによって割り当てられて、ORCの依頼者オーダ番号と同じシリーズでもよいが、これは必須ではない。
第2成分は、依頼アプリケーションIDであり、これはORC-2-依頼者オーダ番号の第2成分と同じである。

ORC-5　Order Status オーダ状態 (ID)　 00219

定義： オーダの状態。取りうる値についてはHL7表0038-オーダ状態を参照すること。このフィールドの目的は、要求された場合（同期）または状態が変更になった場合（非同期）に、オーダの状態を報告することであり、オーダ自体を処理する事ではない。オーダ状態は、メッセージが送られるとき送信アプリケーションに知られていた状態を反映させる。実施者だけがこのフィールドに値を付けることができる。

HL7表0038に示すオーダ状態は、HL7表0119-オーダ制御と同じ様な内容を含んでいるが、目的は異なる。オーダ状態は、ORC-1-オーダ制御値のSRまたはSCにおいて典型的に使用される。これはオーダの状態を、要求を受けた時または当事者に随時報告するためである。

HL7表 0038 - Order status　オーダ状態

Value	Description
A	Some, but not all, results available　部分的完了
CA	Order was canceled　オーダが取り消された
CM	Order is completed　オーダが完了した
DC	Order was discontinued　オーダが中断した
ER	Error, order not found　エラー、オーダが見つからない
HD	Order is on hold　オーダが保留
IP	In process, unspecified　進行中、不定
RP	Order has been replaced　オーダが取替えられた
SC	In process, scheduled　進行中、予定

ORC-6　Response Flag 応答フラグ (ID)　00220

定義：これによって依頼者(送信)アプリケーションは、実施者から返されるべき情報の量を決定できる。要求されたレベルの応答は、即時には可能ではないかもしれない、しかし、それが可能なときは、実施者(受信)アプリケーションは、情報を送らなければならない。フィールドがnullであるとき、フィールドのデフォルト値はDである。取りうる値についてはHL7表0121-応答フラグを参照。

HL7表 0121 - Response flag　応答フラグ

Value	Description
E	Report exceptions only　例外のみを報告
R	Same as E, also Replacement and Parent-Child　E と同じ、また取換えおよび親子
D	Same as R, also other associated segments　R と同じ、また他の関連セグメント
F	Same as D, plus confirmations explicitly　D と同じ、プラス明確な確認
N	Only the MSA segment is returned　MSA セグメントのみが返却される

ORC-7　Quantity/Timing 数量/タイミング (TQ)　00221

成分：　<Quantity (CQ)> ^ <Interval (RI)> ^ <Duration (ST)> ^ <Start Date/Time (TS)> ^ <End Date/Time (TS)> ^ <Priority (ST)> ^ <Condition (ST)> ^ <Text (TX)> ^ <Conjunction (ID)> ^ <Order Sequencing (OSD)> ^ <Occurrence Duration (CWE)> ^ <Total Occurrences (NM)>

副成分 for Quantity (CQ):　<Quantity (NM)> & <Units (CWE)>

注 副成分は副-副成分を含んでいる

副成分 for Interval (RI):　<Repeat Pattern (IS)> & <Explicit Time Interval (ST)>

副成分 for Start Date/Time (TS):　<Time (DTM)> & <DEPRECATED-Degree of Precision (ID)>

副成分 for End Date/Time (TS):　<Time (DTM)> & <DEPRECATED-Degree of Precision (ID)>

副成分 for Order Sequencing (OSD):　<Sequence/Results Flag (ID)> & <Placer Order Number: Entity Identifier (ST)> & <Placer Order Number: Namespace ID (IS)> & <Filler Order Number: Entity Identifier (ST)> & <Filler Order Number: Namespace ID (IS)> & <Sequence Condition Value (ST)> & <Maximum Number of Repeats (NM)> & <Placer Order Number: Universal ID (ST)> & <Placer Order Number: Universal ID Type (ID)> & <Filler Order Number: Universal ID (ST)> & <Filler Order Number: Universal ID Type (ID)>

副成分 for Occurrence Duration (CWE) :　<identifier (ST)> & <text (ST)> & <name of coding system (ID)> & <alternate identifier (ST)> &<alternate text (ST)> &<name of alternate coding system (ID)name of alternate coding system (ID)> & <coding system version ID (ST)> &< alternate coding system version ID (ST)> &<original text (ST)>

定義：このフィールドは、旧バージョンとの互換性のためにのみ残されている。TQ1、TQ2セグメントの説明を参照のこと。

優先度、数量、頻度およびアトミックサービスのタイミングを決定する。オーダセグメントは、アトミックサービスを記述するものとして考えられる必要がある。

例えば、OBRセグメントが血液の単位を記述するとし、このフィールドによって3つの単位が毎朝続けて与えられるように要求する。この場合ORC-7-数量／タイミングは『1-XQAM^X3』である。ORC-7-数量／タイミングは、OBR-27-数量／タイミングと同じである。

© JAHIS 2012

ORC-8　Parent 親 (EIP)　00222

成分：　<parent's placer order number (EI)> ^ <parent's filler order number (EI)>

副成分 of parent’s placer order number:　<entity identifier (ST)> & <application identifier 1(IS)> & <universal identifier (UI)>

副成分 of parent’s filler order number:　<entity identifier (ST)> & <application identifier 1(IS)> & <universal identifier (UI)>

定義:親子のメカニズムの関係が存在するとき子を親に関係付ける。親子のメカニズムは、ORC-1-オーダ制御の注のところで述べられる。

第1成分は、親オーダの依頼者オーダ番号を含んでいる。それは、オーダが子であるとき要求される。第2成分は、親オーダの実施者オーダ番号を含んでいる。依頼者オーダ番号と実施者オーダ番号との成分は、このフィールドの2つの成分の副成分として送られる。ORC-8-親は、OBR-29-親と同じである。ORCに親が記載されていない場合、関連づけられたOBRに記述されるべきである。（この規定は、ORCとOBRの他の同一フィールドと同じである。ASTM互換を推奨する）これは、結果がORUメッセージで送られる場合に特に重要である。この場合、そのORCは省略され、同一の実施者オーダ番号がOBRセグメントの中に記述される。

ORC-9　Date/Time Of Transaction　トランザクション日時 (TS)　00223

成分：　<Time (DTM)> ^ <DEPRECATED-Degree of Precision (ID)>

定義：このフィールドはORC-1オーダ制御コードに反映された現在の処理を始めた事象の日時からなる。このフィールドは、物理的メッセージの日時を反映したMSH-7メッセージ日時と同じではない。

ORC-10　Entered By　入力者 (XCN)　00224

成分：　<ID Number (ST)> ^ <Family Name (FN)> ^ <Given Name (ST)> ^ <Second and Further Given Names or Initials Thereof (ST)> ^ <Suffix (e.g., JR or III) (ST)> ^ <Prefix (e.g., DR) (ST)> ^ <Degree (e.g., MD) (IS)> ^ <Source Table (IS)> ^ <Assigning Authority (HD)> ^ <Name Type Code (ID)> ^ <Identifier Check Digit (ST)> ^ <Check Digit Scheme (ID)> ^ <Identifier Type Code (ID)> ^ <Assigning Facility (HD)> ^ <Name Representation Code (ID)> ^ <Name Context (CWE)> ^ <Name Validity Range (DR)> ^ <Name Assembly Order (ID)> ^ <Effective Date (TS)> ^ <Expiration Date (TS)> ^ <Professional Suffix (ST)> ^ < Assigning Jurisdiction (CWE)> ^ < Assigning Agency or Department (CWE)>

副成分 for Family Name (FN):　<Surname (ST)> & <Own Surname Prefix (ST)> & <Own Surname (ST)> & <Surname Prefix From Partner/Spouse (ST)> & <Surname From Partner/Spouse (ST)>

副成分 for Assigning Authority (HD):　<Namespace ID (IS)> & <Universal ID (ST)> & <Universal ID Type (ID)>

副成分 for Assigning Facility (HD):　<Namespace ID (IS)> & <Universal ID (ST)> & <Universal ID Type (ID)>

副成分 for Name Context (CWE) :　<identifier (ST)> & <text (ST)> & <name of coding system (ID)> & <alternate identifier (ST)> &<alternate text (ST)> &<name of alternate coding system (ID)> & <coding system version ID (ST)> &< alternate coding system version ID (ST)> &<original text (ST)>

副成分 for Name Validity Range (DR):　<Range Start Date/Time (TS)> & <Range End Date/Time (TS)>

副成分 for Range Start Date/Time (TS):　<Time (DTM)> & <Degree of Precision (ID)>

副成分 for Range End Date/Time (TS):　<Time (DTM)> & <Degree of Precision (ID)>

副成分 for Effective Date (TS):　<Time (DTM)> & <Degree of Precision (ID)>

副成分 for Expiration Date (TS):　<Time (DTM)> & <Degree of Precision (ID)>

副成分 for　Assigning Jurisdiction (CWE):　<Identifier (ST)> & <Text (ST)> & <Name of Coding System (ID)> & <Alternate Identifier (ST)> & <Alternate Text (ST)> & <Name of Alternate Coding System (ID)> & <Coding System Version ID (ST)> & <Alternate Coding System Version ID (ST)> & <Original Text (ST)>

副成分 for　Assigning Agency or Department (CWE):　<Identifier (ST)> & <Text (ST)> & <Name of Coding System (ID)> & <Alternate Identifier (ST)> & <Alternate Text (ST)> & <Name of Alternate Coding System (ID)> & <Coding System Version ID (ST)> & <Alternate Coding System Version ID (ST)> & <Original Text (ST)>

定義： 要求をアプリケーションに実際に打鍵した人のID、氏名、所属。これはORC-1オーダ制御コードに反映された現在のトランザクションを示すことに注意する。それは、要求が不正確に入れられ、関連部門が要求を明らかにする必要がある場合、監査証跡となる。現場の取り決めによって、ID 番号または名前成分は、省略されてもよい。

ORC-11　Verified By 検証者 (XCN)　00225

成分：　<ID Number (ST)> ^ <Family Name (FN)> ^ <Given Name (ST)> ^ <Second and Further Given Names or Initials Thereof (ST)> ^ <Suffix (e.g., JR or III) (ST)> ^ <Prefix (e.g., DR) (ST)> ^ <Degree (e.g., MD) (IS)> ^ <Source Table (IS)> ^ <Assigning Authority (HD)> ^ <Name Type Code (ID)> ^ <Identifier Check Digit (ST)> ^ <Check Digit Scheme (ID)> ^ <Identifier Type Code (ID)> ^ <Assigning Facility (HD)> ^ <Name Representation Code (ID)> ^ <Name Context (CWE)> ^ <Name Validity Range (DR)> ^ <Name Assembly Order (ID)> ^ <Effective Date (TS)> ^ <Expiration Date (TS)> ^ <Professional Suffix (ST)> ^ < Assigning Jurisdiction (CWE)> ^ < Assigning Agency or Department (CWE)>

© JAHIS 2012

副成分 for Family Name (FN): <Surname (ST)> & <Own Surname Prefix (ST)> & <Own Surname (ST)> & <Surname Prefix From Partner/Spouse (ST)> & <Surname From Partner/Spouse (ST)>

副成分 for Assigning Authority (HD): <Namespace ID (IS)> & <Universal ID (ST)> & <Universal ID Type (ID)>

副成分 for Assigning Facility (HD): <Namespace ID (IS)> & <Universal ID (ST)> & <Universal ID Type (ID)>

副成分 for Name Context (CWE) : <identifier (ST)> & <text (ST)> & <name of coding system (ID)> & <alternate identifier (ST)> &<alternate text (ST)> &<name of alternate coding system (ID)> & <coding system version ID (ST)> &< alternate coding system version ID (ST)> &<original text (ST)>

副成分 for Name Validity Range (DR): <Range Start Date/Time (TS)> & <Range End Date/Time (TS)>

副成分 for Range Start Date/Time (TS): <Time (DTM)> & <Degree of Precision (ID)>

副成分 for Range End Date/Time (TS): <Time (DTM)> & <Degree of Precision (ID)>

副成分 for Effective Date (TS): <Time (DTM)> & <Degree of Precision (ID)>

副成分 for Expiration Date (TS): <Time (DTM)> & <Degree of Precision (ID)>

副成分 for Assigning Jurisdiction (CWE): <Identifier (ST)> & <Text (ST)> & <Name of Coding System (ID)> & <Alternate Identifier (ST)> & <Alternate Text (ST)> & <Name of Alternate Coding System (ID)> & <Coding System Version ID (ST)> & <Alternate Coding System Version ID (ST)> & <Original Text (ST)>

副成分 for Assigning Agency or Department (CWE): <Identifier (ST)> & <Text (ST)> & <Name of Coding System (ID)> & <Alternate Identifier (ST)> & <Alternate Text (ST)> & <Name of Alternate Coding System (ID)> & <Coding System Version ID (ST)> & <Alternate Coding System Version ID (ST)> & <Original Text (ST)>

定義： 入れられた要求の精度を検証した人の所属氏名。これはORC-1オーダ制御コードに反映された現在のトランザクションを示すことに注意する。それが使用されるのは、要求が技師によって入力され、看護婦などのより高い権威者によって検証される必要がある場合である。現場の取り決めによって、ID 番号や名前成分は、省略されてもよい。

ORC-12 Ordering Provider オーダ依頼者 (XCN) 00226

成分： <ID Number (ST)> ^ <Family Name (FN)> ^ <Given Name (ST)> ^ <Second and Further Given Names or Initials Thereof (ST)> ^ <Suffix (e.g., JR or III) (ST)> ^ <Prefix (e.g., DR) (ST)> ^ <Degree (e.g., MD) (IS)> ^ <Source Table (IS)> ^ <Assigning Authority (HD)> ^ <Name Type Code (ID)> ^ <Identifier Check Digit (ST)> ^ <Check Digit Scheme (ID)> ^ <Identifier Type Code (ID)> ^ <Assigning Facility (HD)> ^ <Name Representation Code (ID)> ^ <Name Context (CWE)> ^ <Name Validity Range (DR)> ^ <Name Assembly Order (ID)> ^ <Effective Date (TS)> ^ <Expiration Date (TS)> ^ <Professional Suffix (ST)> ^ < Assigning Jurisdiction (CWE)> ^ < Assigning Agency or Department (CWE)>

副成分 for Family Name (FN): <Surname (ST)> & <Own Surname Prefix (ST)> & <Own Surname (ST)> & <Surname Prefix From Partner/Spouse (ST)> & <Surname From Partner/Spouse (ST)>

副成分 for Assigning Authority (HD): <Namespace ID (IS)> & <Universal ID (ST)> & <Universal ID Type (ID)>

副成分 for Assigning Facility (HD): <Namespace ID (IS)> & <Universal ID (ST)> & <Universal ID Type (ID)>

副成分 for Name Context (CWE) : <identifier (ST)> & <text (ST)> & <name of coding system (ID)> & <alternate identifier (ST)> &<alternate text (ST)> &<name of alternate coding system (ID)> & <coding system version ID (ST)> &< alternate coding system version ID (ST)> &<original text (ST)>

副成分 for Name Validity Range (DR): <Range Start Date/Time (TS)> & <Range End Date/Time (TS)>

副成分 for Range Start Date/Time (TS): <Time (DTM)> & <Degree of Precision (ID)>

副成分 for Range End Date/Time (TS): <Time (DTM)> & <Degree of Precision (ID)>

副成分 for Effective Date (TS): <Time (DTM)> & <Degree of Precision (ID)>

副成分 for Expiration Date (TS): <Time (DTM)> & <Degree of Precision (ID)>

副成分 for Assigning Jurisdiction (CWE): <Identifier (ST)> & <Text (ST)> & <Name of Coding System (ID)> & <Alternate Identifier (ST)> & <Alternate Text (ST)> & <Name of Alternate Coding System (ID)> & <Coding System Version ID (ST)> & <Alternate Coding System Version ID (ST)> & <Original Text (ST)>

副成分 for Assigning Agency or Department (CWE): <Identifier (ST)> & <Text (ST)> & <Name of Coding System (ID)> & <Alternate Identifier (ST)> & <Alternate Text (ST)> & <Name of Alternate Coding System (ID)> & <Coding System Version ID (ST)> & <Alternate Coding System Version ID (ST)> & <Original Text (ST)>

定義： 要求を作成することに責任がある人（すなわちオーダ医師など）のＩＤ、氏名、所属など。ORC-12-オーダ依頼者は、OBR-16－オーダ依頼者と同じである。

ORC-13 Enterer's Location 入力者の場所 (PL) 00227

成分： <Point of Care (IS)> ^ <Room (IS)> ^ <Bed (IS)> ^ <Facility (HD)> ^ <Location Status (IS)> ^ <Person Location Type (IS)> ^ <Building (IS)> ^ <Floor (IS)> ^ <Location Description (ST)> ^ <Comprehensive Location Identifier (EI)> ^ <Assigning Authority for Location (HD)>

副成分 for Facility (HD): <Namespace ID (IS)> & <Universal ID (ST)> & <Universal ID Type (ID)>

副成分 for Comprehensive Location Identifier (EI): <Entity Identifier (ST)> & <Namespace ID (IS)> & <Universal ID (ST)> & <Universal ID Type (ID)>

副成分 for Assigning Authority for Location (HD): <Namespace ID (IS)> & <Universal ID (ST)> & <Universal ID Type (ID)>

© JAHIS 2012

定義:このフィールドは要求を入力した人がその入力をしたときに居た場所（例えば、看護詰所、関連サービス場所、診療室、階）を指定する。これはORC-1オーダ制御コードに反映された現在のトランザクションを示すことに注意する。入力者の場所に関係のある副成分だけに限った値にするべきである（通常は共通的看護ユニット、施設、建物、階）。要求を入力した人はORC-10-入力者によって定義される。

ORC-14　Call Back Phone Number コールバック用電話番号 (XTN)　00228

成分：　<DEPRECATED-Telephone Number (ST)> ^ <Telecommunication Use Code (ID)> ^ <Telecommunication Equipment Type (ID)> ^ <Email Address (ST)> ^ <Country Code (NM)> ^ <Area/City Code (NM)> ^ <Local Number (NM)> ^ <Extension (NM)> ^ <Any Text (ST)> ^ <Extension Prefix (ST)> ^ <Speed Dial Code (ST)> ^ <Unformatted Telephone number　(ST)>

定義：　要求またはオーダに関して、必要な他の情報を確認するための電話番号。ORC-14-コールバック用電話番号は、OBR-17-オーダコールバック用電話番号と同じである。

ORC-15　Order Effective Date/Time オーダ有効の日時 (TS)　00229

成分：　<Time (DTM)> ^ <DEPRECATED-Degree of Precision (ID)>

定義：　変更要求が有効になった、あるいは、有効になる予定の日時。

ORC-9-トランザクション日時が、ORC-15-オーダ有効日時の後またはそれに等しくなっているならば、ORCおよびその下のセグメントにおけるデータ値はこの日時に有効になった。

ORC-9-トランザクション日時がORC-15-オーダ有効日時より前ならば、ORCおよびその下位セグメントのデータ値は、オーダ有効日時に有効になるよう計画される。

有効ORC-15-オーダ有効日時が空白にしておかれるならば、その値は、ORC-9-トランザクション日時と等しいと仮定される。また、トランザクション日時が空白であるならばMSH-7-メッセージ日時と等しいと仮定される。

ORC-15-オーダ有効日時(同じORCセグメントのオーダ制御コード事象のために)が、ORC-7-数量／タイミングと異なる場合は、ORC-15-オーダ有効日時が優先する。一例としてORC事象が実施者への連続オーダに対する中断要求であり、かつオーダ有効日時がORC-7-数量／タイミング終了日時の前にあるならば、オーダ有効日時が優先する。ORCの中で識別されたオーダが子を持っているならば、開始しなかった子は取り消される必要がある；プロセスに子がいるならば、それは中断される必要がある；子が中断できる点を超えて前進しているならば、その状態は影響されない。

ORC-16　Order Control Code Reason オーダ制御コード理由 (CWE)　00230

成分：　<identifier (ST)> ^ <text (ST)> ^ <name of coding system (ID)> ^ <alternate identifier (ST)> ^ <alternate text (ST)> ^ <name of alternate coding system (ID)> ^ <coding system version ID (ST)> ^< alternate coding system version ID (ST)> ^ <original text (ST)>

定義：　オーダ制御コード(HL7表0119)によって述べたオーダ事象の理由の説明。コード化したあるいはテキスト形式のどちらでもよい。オーダ特定のセグメント(例えば、RXO、ORO、OBR)の後のNTEは、その特定のセグメントのためにコメントとなる。もうひとつ、オーダ制御コード理由の目的には、そのオーダ事象の理由を拡張することがある。

ORC-1-オーダ制御がNWであるときは、ORC-16-オーダ制御コード理由に、普通は値を設定しない。ただし、設定できないわけではない。取り消されたオーダのときには、例えば、このフィールドは、一般的に、キャンセルの理由を説明するために使用される。良く実証されたアレルギーのために医者からの処方オーダをキャンセルした調剤システムは、このフィールドでアレルギーの事実が多分報告される。

それが薬理相互作用のためにこのオーダをキャンセルしたならば、このフィールドは、相互作用物質の少なくとも名称(および、必要とするならばコード)となる。文章で相互作用、および相互作用の激しさの程度を述べる。

ORC-17　Entering Organization 入力組織 (CWE)　00231

成分：　<identifier (ST)> ^ <text (ST)> ^ <name of coding system (ID)> ^ <alternate identifier (ST)> ^ <alternate text (ST)> ^ <name of alternate coding system (ID)> ^ <coding system version ID (ST)> ^< alternate coding system version ID (ST)> ^ <original text (ST)>

定義： 入力者がオーダを入力／更新した時に所属していた組織（医療グループや診療部門）を示す。要求を入力した人はORC-10-入力者によって定義される。

なお、診療科は入院・外来共にPV1-10やORC-17に表現する。ORC-17は入力者の所属を示すが、医師が入力するオーダ情報では診療科と扱うことにした。

ORC-18　Entering Device 入力装置識別 (CWE)　00232

成分： <identifier (ST)> ^ <text (ST)> ^ <name of coding system (ID)> ^ <alternate identifier (ST)> ^ <alternate text (ST)> ^ <name of alternate coding system (ID)> ^ <coding system version ID (ST)> ^< alternate coding system version ID (ST)> ^ <original text (ST)>

定義： オーダを入力するため使用された物理的装置(端末やPC)の識別子。

ORC-19　Action By 発動者 (XCN)　00233

成分： <ID Number (ST)> ^ <Family Name (FN)> ^ <Given Name (ST)> ^ <Second and Further Given Names or Initials Thereof (ST)> ^ <Suffix (e.g., JR or III) (ST)> ^ <Prefix (e.g., DR) (ST)> ^ <Degree (e.g., MD) (IS)> ^ <Source Table (IS)> ^ <Assigning Authority (HD)> ^ <Name Type Code (ID)> ^ <Identifier Check Digit (ST)> ^ <Check Digit Scheme (ID)> ^ <Identifier Type Code (ID)> ^ <Assigning Facility (HD)> ^ <Name Representation Code (ID)> ^ <Name Context (CWE)> ^ <Name Validity Range (DR)> ^ <Name Assembly Order (ID)> ^ <Effective Date (TS)> ^ <Expiration Date (TS)> ^ <Professional Suffix (ST)> ^ < Assigning Jurisdiction (CWE)> ^ < Assigning Agency or Department (CWE)>

副成分 for Family Name (FN): <Surname (ST)> & <Own Surname Prefix (ST)> & <Own Surname (ST)> & <Surname Prefix From Partner/Spouse (ST)> & <Surname From Partner/Spouse (ST)>

副成分 for Assigning Authority (HD): <Namespace ID (IS)> & <Universal ID (ST)> & <Universal ID Type (ID)>

副成分 for Assigning Facility (HD): <Namespace ID (IS)> & <Universal ID (ST)> & <Universal ID Type (ID)>

副成分 for Name Context (CWE) : <Identifier (ST)> & <Text (ST)> & <Name of Coding System (ID)> & <Alternate Identifier (ST)> & <Alternate Text (ST)> & <Name of Alternate Coding System (ID)> & <Coding System Version ID (ST)> & <Alternate Coding System Version ID (ST)> & <Original Text (ST)>

副成分 for Name Validity Range (DR): <Range Start Date/Time (TS)> & <Range End Date/Time (TS)>

副成分 for Range Start Date/Time (TS): <Time (DTM)> & <Degree of Precision (ID)>

副成分 for Range End Date/Time (TS): <Time (DTM)> & <Degree of Precision (ID)>

副成分 for Effective Date (TS): <Time (DTM)> & <Degree of Precision (ID)>

副成分 for Expiration Date (TS): <Time (DTM)> & <Degree of Precision (ID)>

副成分 for Assigning Jurisdiction (CWE): <Identifier (ST)> & <Text (ST)> & <Name of Coding System (ID)> & <Alternate Identifier (ST)> & <Alternate Text (ST)> & <Name of Alternate Coding System (ID)> & <Coding System Version ID (ST)> & <Alternate Coding System Version ID (ST)> & <Original Text (ST)>

副成分 for Assigning Agency or Department (CWE): <Identifier (ST)> & <Text (ST)> & <Name of Coding System (ID)> & <Alternate Identifier (ST)> & <Alternate Text (ST)> & <Name of Alternate Coding System (ID)> & <Coding System Version ID (ST)> & <Alternate Coding System Version ID (ST)> & <Original Text (ST)>

定義： 対応するオーダ制御コードによって表された事象を発動した人の所属氏名。たとえば、オーダ制御コードがCA(オーダキャンセル依頼)であるならば、このフィールドは、オーダキャンセルを要求した人を表す。

本規約ではオーダの更新者をセットするものとする。

ORC-20　Advanced beneficiary notice code　受益者通知コード (CWE)　01310

成分： <identifier (ST)> ^ <text (ST)> ^ <name of coding system (ID)> ^ <alternate identifier (ST)> ^ <alternate text (ST)> ^ <name of alternate coding system (ID)> ^ <Coding System Version ID (ST)> ^ <Alternate Coding System Version ID (ST)> ^ <Original Text (ST)>

定義 : このフィールドは潜在的な保険外サービスに対する支払い責任のための患者のまたは患者の代理人の承諾状態を示す。この要素は、外来患者に対するCMS医療要求を満たすことを促す。この要素は次のような内容で、(a)関連づけられたサービスの診断コードが医療上必要な処置の対象かどうか。(b)この種のサービスに対して、それらがサービスのための支払い責任があることを患者に通知されているか。(c)そして、患者がサービスにたいする請求に同意しているか。そのフィールドの値は、 使用者定義表0339 – 受益者通知コードから引用される。

使用者定義表 0339 – Advanced beneficiary notice code 受益者通知コード

Value	Description
1	Service is subject to medical necessity procedures サービスは医学の必要性がある手続きである
2	Patient has been informed of responsibility, and agrees to pay for service　患者は支払いの義務があり、それを通知されている
3	Patient has been informed of responsibility, and asks that the payer be billed　患者は支払いを了承し請求書

© JAHIS 2012

Value	Description
	を送ることを要求している
4	Advanced Beneficiary Notice has not been signed 受益者注意はサインされていない

ORC-21　Ordering facility name　オーダ施設名 (XON)　01311

成分：　<Organization Name (ST)> ^ <Organization Name Type Code (IS)> ^ <DEPRECATED-ID Number (NM)> ^ <Check Digit (NM)> ^ <Check Digit Scheme (ID)> ^ <Assigning Authority (HD)> ^ <Identifier Type Code (ID)> ^ <Assigning Facility (HD)> ^ <Name Representation Code (ID)> ^ <Organization Identifier (ST)>

副成分 for Assigning Authority (HD):　<Namespace ID (IS)> & <Universal ID (ST)> & <Universal ID Type (ID)>

副成分 for Assigning Facility (HD):　<Namespace ID (IS)> & <Universal ID (ST)> & <Universal ID Type (ID)>

定義：このフィールドは、オーダの発行施設名を記述する。オーダが発行された医療機関ID等。

ORC-22　Ordering facility address　オーダ施設住所 (XAD)　01312

成分：　<Street Address (SAD)> ^ <Other Designation (ST)> ^ <City (ST)> ^ <State or Province (ST)> ^ <Zip or Postal Code (ST)> ^ <Country (ID)> ^ <Address Type (ID)> ^ <Other Geographic Designation (ST)> ^ <County/Parish Code (IS)> ^ <Census Tract (IS)> ^ <Address Representation Code (ID)> ^ <DEPRECATED-Address Validity Range (DR)> ^ <Effective Date (TS)> ^ <Expiration Date (TS)>

副成分 for Street Address (SAD):　<Street or Mailing Address (ST)> & <Street Name (ST)> & <Dwelling Number (ST)>

副成分 for DEPRECATED-Address Validity Range (DR):　<Range Start Date/Time (TS)> & <Range End Date/Time (TS)>

注 副成分は副-副成分を含んでいる

副成分 for Effective Date (TS):　<Time (DTM)> & <DEPRECATED-Degree of Precision (ID)>

副成分 for Expiration Date (TS):　<Time (DTM)> & <DEPRECATED-Degree of Precision (ID)>

定義：　このフィールドは、オーダの発行施設の住所を記述する

ORC-23　Ordering facility phone number　オーダ施設電話番号　(XTN)　01313

成分：　<DEPRECATED-Telephone Number (ST)> ^ <Telecommunication Use Code (ID)> ^ <Telecommunication Equipment Type (ID)> ^ <Email Address (ST)> ^ <Country Code (NM)> ^ <Area/City Code (NM)> ^ <Local Number (NM)> ^ <Extension (NM)> ^ <Any Text (ST)> ^ <Extension Prefix (ST)> ^ <Speed Dial Code (ST)> ^ <Unformatted Telephone number　(ST)>

定義：このフィールドは、オーダの発行施設の電話番号を記述する

ORC-24　Ordering provider address　オーダ依頼者住所 (XAD)　01314

成分：　<Street Address (SAD)> ^ <Other Designation (ST)> ^ <City (ST)> ^ <State or Province (ST)> ^ <Zip or Postal Code (ST)> ^ <Country (ID)> ^ <Address Type (ID)> ^ <Other Geographic Designation (ST)> ^ <County/Parish Code (IS)> ^ <Census Tract (IS)> ^ <Address Representation Code (ID)> ^ <DEPRECATED-Address Validity Range (DR)> ^ <Effective Date (TS)> ^ <Expiration Date (TS)>

副成分 for Street Address (SAD):　<Street or Mailing Address (ST)> & <Street Name (ST)> & <Dwelling Number (ST)>

副成分 for DEPRECATED-Address Validity Range (DR):　<Range Start Date/Time (TS)> & <Range End Date/Time (TS)>

注 副成分は副-副成分を含んでいる

副成分 for Effective Date (TS):　<Time (DTM)> & <DEPRECATED-Degree of Precision (ID)>

副成分 for Expiration Date (TS):　<Time (DTM)> & <DEPRECATED-Degree of Precision (ID)>

定義：このフィールドはオーダを要求しているの医療提供者(ORC-12)の住所からなる。

ORC-25　Order status modifier　オーダ状態修飾子　(CWE)　01473

成分：　<identifier (ST)> ^ <text (ST)> ^ <name of coding system (ID)> ^ <alternate identifier (ST)> ^ <alternate text (ST)> ^ <name of alternate coding system (ID)> ^ <coding system version ID (ST)> ^ <alternate coding system version ID (ST)> ^ <original text (ST)>

定義：　このフィールドは、ORC-5オーダ状態フィールドの修正、推敲のためにある。このフィールドは定義されたオーダー状態コードに特定の付加レベルあるいは補足情報を提供するために使用される。HL7定義表により管理されるオーダ状態フィールドとは違って、このフィールドは、オーダ状態修飾子コードの制限のないライブラリを支援するアプリケーションを許すCWEデータタイプである。

使用規則：このフィールドはORC-5オーダ状態に値がある場合に限り使用される。

例：。ＬＩＳは、検査室でのオーダ進行を示すあるいはオーダが外部検査室に送られたことを示すといったオーダ状態修飾子を使用した更新を送るかもしれないをオーダ状態IPとしてオーダを処理する。医療以外のオーダの使用例として、電話がオーダされ患者の部屋に配送されたが、

© JAHIS 2012

一次的に切断された。ORC-5オーダ状態はIPを示しORC-25オーダ状態修飾子は切断された状態を示す。3番目の例は、薬局での調剤に関するものである。時々処方が調剤されている状況について知ることが不十分なことがある。ORC-25オーダ状態修飾子はラベルが印刷されているかどうか、処方箋が記入されたかどうか、処方箋が出されたかどうか、などを示す。

ORC-26　Advanced Beneficiary Notice Override Reason 受益者通知上書き理由 (CWE) 01641

成分： <identifier (ST)> ^ <text (ST)> ^ <name of coding system (ID)> ^ <alternate identifier (ST)> ^ <alternate text (ST)> ^ <name of alternate coding system (ID)> ^ <coding system version ID (ST)> ^ <alternate coding system version ID (ST)> ^ <original text (ST)>

定義：　このフィールドは、患者が受益者通知にサインしない理由からなる。理由はコード化されるかあるいは自由なテキスト形式で入力される。HL7表0552－受益者通知上書き理由を参照。

条件：　このフィールドはORC-20受益者通知コードの値が、通知にサインされていないを示している場合に必要となる。例えば、ORC-20が使用者定義表0339－受益者通知コードに「3」あるいは「4」の値が入力されている場合、または、関連する外部コード表で同様の値が入力されている場合、追加の限定的あるいは説明的情報が正しい値として認められる。

HL7表 0552 – Advanced beneficiary notice override reason 受益者通知上書き理由

値	内容	コメント

ORC-27　Filler's Expected Availability Date/Time　実施者サービス可能日時　(TS)　01642

成分： <Time(DTM)> ^ <DEPRECATED-Degree of Precision(ID)>

定義：　このフィールドは、実施者がサービス可能な日時を指定する。例えば、処方箋がいつ受け取り準備できるかあるいは供給がいつ送られるまたは受け取られる、或いは検査結果が利用可能となる。

ORC-28　Confidentiality Code　守秘コード　(CWE)　00615

成分： <identifier (ST)> ^ <text (ST)> ^ <name of coding system (ID)> ^ <alternate identifier (ST)> ^ <alternate text (ST)> ^ <name of alternate coding system (ID)> ^ <coding system version ID (ST)> ^< alternate coding system version ID (ST)> ^ <original text (ST)>

定義：このフィールドは、オーダを取り巻くセキュリティレベルまた或いは注意度に関する情報を含む（例えば厳重注意、注意不要、注意など）。使用者定義表0177-守秘コードを参照。特別な守秘レベルを持つデータの処理に関しては、現場特殊な交渉にゆだねる。

使用者定義表 0177 - Confidentiality code 秘匿コード

Value	Description
V	Very restricted 非常に限定
R	Restricted 限定
U	Usual control 通常管理
EMP	Employee 従業員
UWM	Unwed mother 未婚の母
VIP	Very important person or celebrity 重要人物や名士
PSY	Psychiatric patient 精神医学患者
AID	AIDS patient　AIDS 患者
HIV	HIV(+) patient　HIV(+)患者
ETH	Alcohol/drug treatment patient アルコール／薬物中毒治療患者

ORC-29　Order Type　オーダタイプ　(CWE)　00615

成分： <identifier (ST)> ^ <text (ST)> ^ <name of coding system (ID)> ^ <alternate identifier (ST)> ^ <alternate text (ST)> ^ <name of alternate coding system (ID)> ^ <coding system version ID (ST)> ^ <alternate coding system version ID (ST)> ^ <original text (ST)>

定義：このフィールドは、オーダが入院患者にセット、或いは外来患者にセットされ実行されるかどうかを示している。もしこのフィールドが値を持っていなければ、システムのデフォルト値が取られる。推奨値はHL7表0482－オーダタイプを参照。

例：退院に先立って理学療法を続行するために発行されるオーダ、或いは地域薬局で処方箋を受け取る。その患者はPV1によると入院患者だが、そのオーダ自体は外来患者オーダである。

HL7表 0482 – Order Type オーダタイプ

値	内容	コメント
I	入院患者オーダ	
O	外来患者オーダ	

ORC-30 Enterer Authorization Mode 入力者承認モード (CNE) 01644

成分： <Identifier (ST)> ^ <Text (ST)> ^ <Name of Coding System (ID)> ^ <Alternate Identifier (ST)> ^ <Alternate Text (ST)> ^ <Name of Alternate Coding System (ID)> ^ <Coding System Version ID (ST)> ^ <Alternate Coding System Version ID (ST)> ^ <Original Text (ST)>

定義： このフィールドは、オーダを作成或いは変更する責任を持った実行者からの記録を承認する形態を示している。推奨値はHL7表0483－承認モードを参照。

HL7表 0483 – Authorization Mode 承認モード

値	内容	コメント
EL	Electronic 電子的	
EM	E-mail 電子メール	
FX	Fax ファックス	
IP	In Person 本人自ら	
MA	Mail 郵便	
PA	Paper 紙	
PH	Phone 電話	
RE	Reflexive (Automated system) 再帰的 (自動化システム)	
VC	Video-conference TV 会議	
VO	Voice 口頭	

© JAHIS 2012

7.9　TQ1 - Timing/Quantity Segment タイミング／数量セグメント

TQ1セグメントは、事象とアクションの複雑なタイミングを指定するのに使用される。（例えば、オーダ管理やスケジューリングシステム）。このセグメントは、サービスの量、頻度、優先度、及びタイミングを決定する。このセグメントの繰返しを許すことで、あるサービス要求（時間にこだわらず）での量、頻度、優先度の値に幅を持たせることが可能になる。

繰り返しを要するTQ1のユースケース：

a. 心筋酵素を至急、その後4時間ごと。

b. ストレプトキナーゼ試験、至急実施し最初の結果を得、それから4時間ごと至急実施し結果を得る。

c. 今ゲンタマイシン100mg、そして2回目投与80mg 12時間ごと（初回の80mg投与）を100mg投与のちょうど12時間後に投与。（2つのサービス要求かもしれない）

d. 至急アクティベース15mgをボーラス投与、それから30分間で50mg、それから60分間で35mg。（2つのサービス要求かもしれない）

e. 最初にイモジウム4mg (2カプセル)経口、それから毎下痢後2mg (1カプセル)1日あたり最大16 mgで。（2つのサービス要求かもしれない）

f. 初日ジスロマック500mg(2錠)経口、それから1日ごと250mg(1錠)経口5日間。(2つのサービス要求かもしれない)

g. ザイバン(ブプロピオン) 150mg 経口 毎午前3日間から開始、それから150mg 経口1日2回7から12週に増量。

h. 今コルヒチン1mg (2錠)経口それから1～2時間ごとに1錠を痛みが軽減するか好ましくない副作用(下痢、胃腸障害)まで。(2つのサービス要求かもしれない)

i. 初日ドキシサイクリン100mg 経口1日2回それから1日ごと100mg 経口。

j. スコポラミン、xxx mg 、術前1時間。相対時間= -1^hour 、優先度= P (術前)、あるいは代替繰返しパターン= P1H^Preop 、術前1時間^99LocalCode、相対時間は空で優先度はP (術前)。

HL7属性表－TQ1－Timing/Quantity タイミング／数量

SEQ	LEN	DT	OPT	Japan	RP/#	ITEM #	ELEMENT NAME
1	4	SI	O	O		01627	Set ID - TQ1 セット ID
2	20	CQ	O	O		01628	Quantity 数量
3	540	RPT	O	O	Y	01629	Repeat Pattern 繰返しパターン
4	20	TM	O	O	Y	01630	Explicit Time 明示的な時間
5	20	CQ	O	O	Y	01631	Relative Time and Units 関連時間／単位
6	20	CQ	O	O		01632	Service Duration サービス継続期間
7	26	TS	O	RE		01633	Start date/time 開始日時
8	26	TS	O	O		01634	End date/time 終了日時
9	250	CWE	O	RE	Y	01635	Priority 優先度
10	250	TX	O	O		01636	Condition text 条件テキスト
11	250	TX	O	O		01637	Text instruction テキスト指令
12	10	ID	O	O		01638	Conjunction 連結
13	20	CQ	O	O		01639	Occurrence duration 発生期間
14	10	NM	O	O		01640	Total occurrence's 総発生

TQ1 フィールド定義

TQ1-1　Set ID - TQ1 セットID　(SI)　01627

定義：伝送ごとに、一件目の指定はシーケンス番号は１、二件目の指定はシーケンス番号は２、以下同様

© JAHIS 2012

TQ1-2　Quantity　数量　(CQ)　01628

成分：　<Quantity (NM)> ^ <Units (CWE)>

副成分 for Units (CWE):　<identifier (ST)> ^ <text (ST)> ^ <name of coding system (ID)> ^ <alternate identifier (ST)> ^ <alternate text (ST)> ^ <name of alternate coding system (ID)> ^ <coding system version ID (ST)> ^< alternate coding system version ID (ST)> ^ <original text (ST)>

定義：このフィールドは、サービスが各々のサービス間隔で提供されるべき数量を指定する。例えば、2つの血液培養を4時間ごとに入手する場合その量は２であり、また、３ユニットの血液が型判定とクロスマッチされる場合、量は３となる。このフィールドのデフォルトは１である。

もし、複数の同様なサービスが要求される場合、複数のサービス要求が発行され、各々のサービスに各自一意な依頼者／実施者番号を与えることを強く推奨する。

TQ1-3　Repeat Pattern 繰返しパターン　(RPT)　01629

成分：　<Repeat Pattern Code (CWE)> ^ <Calendar Alignment (ID)> ^ <Phase Range Begin Value (NM)> ^ <Phase Range End Value (NM)> ^ <Period Quantity (NM)> ^ <Period Units (IS)> ^ <Institution Specified Time (ID)> ^ <Event (ID)> ^ <Event Offset Quantity (NM)> ^ <Event Offset Units (IS)> ^ <General Timing Specification (GTS)>

副成分 for Repeat Pattern Code (CWE):　<Identifier (ST)> & <Text (ST)> & <Name of Coding System (ID)> & <Alternate Identifier (ST)> & <Alternate Text (ST)> & <Name of Alternate Coding System (ID)> & <Coding System Version ID (ST)> & <Alternate Coding System Version ID (ST)> & <Original Text (ST)>

定義：繰返し頻度はその治療においてが施行されるべき頻度である。オーダエントリシステムで使用されるSIGコード表と頻度は同様である。

このフィールドは、もっと複雑な繰返しパターンを構築するために繰り返される。例えば、毎就寝時は、「|QD~HS|」と表現する。

数量タイミング仕様がある期間の後異なる繰返しパターンに変化しなければならない時、新しいTQ1セグメントが新しい繰返しを示すために使用されなければならない。現状のTQ1の終了日は現状タイミング仕様の終了を示し、次のTQ1の開始日は新しいタイミング仕様が開始する時を示す。TQ1-12の結合フィールドが次のTQ1セグメントが連続して或いは平行して実行されるかを決定する。

TQ1-4　Explicit Time 明示的時間　(TM)　01630

定義：このフィールドはTQ1-3のコードによって参照された実際の時間を明示的にリストする。このフィールドは、実際の施行時間が施設内でまちまちであるケースでTQ1-3を明確化するために使用される。仮にサービスの時間が1日よりももっと長い期間を要求する場合、このフィールドはサービス要求があった各々の日に同じ施行時間が発生する場合にのみ実行が可能となる。仮にサービス要求（TQ1-7によって与えられる）の実際の開始時間が最初の明示的時間よりも後である場合、開始時間後、最初の明示的時間に最初の施行が行われる。患者が明示的時間の異なる組み合わせを持つ場所に移動したケースでは、既存のサービス要求は、変更された明示的時間を示す新しい数量／タイミングによって更新される。

使用上の注意：このフィールドは、TQ1-3繰返しパターンが存在しない場合には値を持たない。

TQ1-5　Relative Time and Units 相対的時間と単位　(CQ)　01631

成分：　<Quantity (NM)> ^ <Units (CWE)>

副成分 for Units (CWE):　<identifier (ST)> ^ <text (ST)> ^ <name of coding system (ID)> ^ <alternate identifier (ST)> ^ <alternate text (ST)> ^ <name of alternate coding system (ID)> ^ <coding system version ID (ST)> ^< alternate coding system version ID (ST)> ^ <original text (ST)>

定義：このフィールドはサービス要求或いはボトル記録のためのスケジュールの間隔を定義するために使用される。仮にこのフィールドが値を持つ場合、TQ1-4明示的時間間隔フィールドの値を上書きする。CQデータ型の単位成分は、時間の単位に制約される。

例:

```
TQ1|1|1|Q1H||60^min&&ANS+  - Q1Hはサービス間隔60分ごとと定義される
TQ1|1|1|Q6H||6^hr&&ANS+  - Q6Hはサービス間隔6時間ごとと定義される
TQ1|1|1|QD||1^d&&ANS+  - QDはサービス間隔1日ごとと定義される
```

TQ1-6　Service Duration サービス継続期間　(CQ)　01632

成分：　<Quantity (NM)> ^ <Units (CWE)>

副成分 for Units (CWE): <identifier (ST)> ^ <text (ST)> ^ <name of coding system (ID)> ^ <alternate identifier (ST)> ^ <alternate text (ST)> ^ <name of alternate coding system (ID)> ^ <coding system version ID (ST)> ^< alternate coding system version ID (ST)> ^ <original text (ST)>

定義：このフィールドは、サービスが要求される継続期間を含む。

このフィールドの数量成分は、ポジティブで、ゼロでない数字でなければならない。このフィールドの単位部分は、時間の単位に制約される。

例：ワールプール（whirlpool 渦流浴槽）を20分間1日3回、3日間。3日間はサービス継続期間。

```
TQ1|1||TID|||3^d&&ANS+||||||20^min&&ANS+|9<cr>
```

TQ1-7 Start date/time 開始日時 (TS) 01633

成分： <Time (DTM)> ^ <DEPRECATED-Degree of Precision (ID)>

定義：このフィールドは、サービスを開始すべき最初の日時を示す場合に、要求者によって指定される。しかしながら、多くの場合、開始日時は暗示されるかサービス要求記録（例えば、緊急-STAT）の他のフィールドによって定義される。これらの場合、このフィールドは空である。

サービス実施では、しばしばサービス要求を受け取った後、このフィールドに値が記録される。しかしながら、終了時間は、サービス実施の内部使用のため、開始日時をベースとして計算している。

TQ1-8 End date/time 終了日時 (TS) 01634

成分： <Time (DTM)> ^ <DEPRECATED-Degree of Precision (ID)>

定義：サービス要求者によって記入される場合、このフィールドはサービスが実行されるべき最終日時からなる。仮に指定された時間によってサービスが実行されなかった場合、そのサービスは全く実行されるべきではない。要求者はいつもこの値を記入するものではなく、サービス実施がそれを受け取りそして実際の開始時間の指示をベースとして終了日／時間を記入するかも知れない。。

終了日時の値にかかわらず、サービスは継続期間或いは終了日時によって指定された日時の早いほうで停止されるべきである。

TQ1-9 Priority 優先度 (CWE) 01635

成分： <Identifier (ST)> ^ <Text (ST)> ^ <Name of Coding System (ID)> ^ <Alternate Identifier (ST)> ^ <Alternate Text (ST)> ^ <Name of Alternate Coding System (ID)> ^ <Coding System Version ID (ST)> ^ <Alternate Coding System Version ID (ST)> ^ <Original Text (ST)>

定義：このフィールドは、要求の緊急性を記述する。仮にこのフィールドがブランクならデフォルトはRである。推奨値は使用者定義表0485—拡張優先度コードを参照。

使用者定義表 0485 - Extended Priority Codes 拡張優先度コード

値	内容	コメント
S	Stat 緊急	最も高い優先度
A	ASAP できるだけ早く	Sオーダの後
R	Routine ルーチン	デフォルト
P	Preop 術前	
C	Callback 返信	
T	Timing critical タイミングが重要	要求は、要求された時間に最も近いことが重要であるという意味である。例えば、抗生物質血中濃度である
TS<integer>		タイミングは<整数値＞秒以内であることが重要
TM<integer>		タイミングは<整数値＞分以内であることが重要
TH<integer>		タイミングは<整数値＞時間以内であることが重要
TD<integer>		タイミングは<整数値＞日以内であることが重要
TW<integer>		タイミングは<整数値＞週以内であることが重要
TL<integer>		タイミングは<整数値＞月以内であることが重要
PRN	As needed 必要に応じて	

TQ1-10 Condition text 条件テキスト (TX) 01636

定義: これは薬が与えられる条件を記述する自由テキストのフィールドである。例えば、**疼痛時**、

或いは血圧を１１０以下に保つこと。

このフィールドのテキストの表現は、この薬をどのように、いつ投与すべきかを決定するために人のレビューが必要であるということを意味するためである。

複合コードの条件はTQ2セグメントを参照。（本規約ではTQ2は取り扱わない）

TQ1-11 Text instruction テキスト指令 (TX) 01637

定義：このフィールドは、指示のフルテキスト版である。

TQ1-12 Conjunction 連結 (ID) 01638

定義：このフィールドは、2番目のTQ1セグメントを従える。取りうる値はHL7表0472− TQ連結ID を参照。

HL7 表 0472 - TQ Conjunction ID TQ連結ID

値	内容	コメント
S	同期（Synchronous）	同期. 今回の指定の後に次の指定を行う(TQ1-7ー開始日時、および TQ1-8ー終了日時により制限を受けなければ）。 “S”指定は、最初のタイミング･シーケンスの後に２番目のタイミング･シーケンスが続くことを示す。例えば、最初の１時間は Q15 分ごとに血圧を測定し、次の日には２時間ごとに血圧を測定するよう依頼する。
A	非同期（Asynchronous）	今回の指定と並行して次の指定を行う(TQ1-7ー開始日時、および TQ1-8ー終了日時により制限を受けなければ）。連結“A”により、投薬時などに散見される、２つの指示の並行指定が可能になる。例えば、月曜、水曜、金曜にプレドニゾン１錠、火曜、木曜、土曜、日曜には 1／2 錠。
C	これは開始時間である (Actuation Time)	このコードの後にはサービスの終了時間が続く。このコードにより、サービスを起動すべき（採血など）時間･優先度から、サービスを終了すべき（結果報告など）時間･優先度が区別できるようになる。

連続サービスあるいは循環サービスの場合、サービスを実際に停止するポイントは、TQ1-8 終了日時及び TQ1-6 継続時間の、どちらかより早い停止時間を示す成分により決定される。通常、この2つの成分のうち1つだけが存在する。

条件ルール：TQ1セグメントがメッセージ内で繰り返される場合、TQ1セグメントに続く連続を意味する適切な継続時間コードで入力されるべきである。

TQ1-13 Occurrence duration 事象継続期間 (CQ) 01639

成分： <Quantity (NM)> ^ <Units (CWE)>

副成分 for Units (CWE): <identifier (ST)> ^ <text (ST)> ^ <name of coding system (ID)> ^ <alternate identifier (ST)> ^ <alternate text (ST)> ^ <name of alternate coding system (ID)> ^ <coding system version ID (ST)> ^< alternate coding system version ID (ST)> ^ <original text (ST)>

定義：このフィールドはサービスの単独能力についての継続期間からなる。このフィールドの数量成分は、入力時ポジティブかつゼロでない数字でなければならない。単位成分は、時間の単位に制約される。

例えば、ワールプール（whirlpool 渦流浴槽）を20分間1日3回、3日間。20分間は事象継続期間である。

```
TQ1|1||TID|||3^d&&ANS+||||||20^min&&ANS+|9<cr>
```

TQ1-14 Total occurrence's 事象総数 (NM) 01640

定義：このフィールドは、サービス要求の結果であるべきサービスの事象総数を含む。仮に終了日時 (TQ1-8)と事象総数の両方が値を持ち、その事象数が終了日時を越えて延びる場合は、終了日時を優先する。その他の場合は事象数を優先する。

例：ワールプール（whirlpool 渦流浴槽）を1日3回20分間、3日間、総事象数が９回。

```
TQ1|1||TID|||3^d&&ANS+||||||20^min&&ANS+|9<cr>
```

© JAHIS 2012

7.10 OBR - Observation Request Segment　検査要求セグメント

概説(ASTM E1238から抜粋し一部修正)

検査要求(OBR)セグメントは、診断、検査、身体検査あるいは所見などを要求するオーダに特有な情報を伝送する。

検査要求セグメントは、診断要求(例えば、生理検査、EKG)あるいは検査要求(例えば、生体検査、身体検査)など特定要求の属性を定義する。依頼者があるまとまった検査を要求する場合、必ずオーダセグメントを指定する。生理検査の場合、通常はオーダセグメント内の情報が1つの検体に適用される。しかし、依頼と生理検査には1対1の関係があるわけではない。互いに異なる複数の検査項目が1つの検体に対し実行できるとしても、それぞれの検査項目は通常、自分専用のオーダセグメントを必要とする。この場合、その検体を扱うそれぞれのオーダセグメント内でその検体情報を複写しなければならない。その他の診断検査(例えば、胸部X線検査)では通常、個々の診断検査ごとに1つの独立したオーダセグメントを生成する。

単一のオーダセグメントにより複数の検査項目セットを依頼することができるが、検査実施者は、それぞれの実施項目セット(電解質、CBC、バイタルサインなど)ごとに、単独のオーダセグメントを生成するものとする。サービス担当は、検査の報告に際し、オリジナルのオーダセグメントから新規オーダセグメントそれぞれに適切なオーダ(検体)情報を複写し、1つ1つの“オーダ”セグメントが各検査項目セットの“ヘッダ”として依頼者に返信されるようにする。

例えば、血液検体に溶血が見られたために、依頼された検査項目セットを実行できない場合、オーダセグメントは、X(検査が実行されなかったことを示す)相当の「OBR-25－結果状態」と共に依頼者に返される。この場合、検査セグメントは伝送されない。

検査がうまく終了した場合、依頼者に帰ってくるメッセージには、オーダにより生成された検査ごとに、オーダセグメント(OBR)と検査(OBX)セグメントがこの順番で含まれる。そのような検査セグメントの数は、プロセスで実行されたそれぞれの測定の数によって異なる。

依頼者は、依頼のさいOBXセグメントを送信し、結果診断に必要な臨床データをサービス担当者に提供することができる。

HL7属性表 － OBR － Observation Request 検査要求

SEQ	LEN	DT	OPT	Japan	RP/#	ITEM #	ELEMENT NAME
1	4	SI	O	C		00237	Set ID – Observation Request ID 設定　－　検査要求
2	22	EI	C	C		00216	Placer Order Number 依頼者オーダ番号
3	22	EI	C	O		00217	Filler Order Number + 実施者オーダ番号
4	250	CWE	R	R		00238	Universal Service ID 検査項目 ID
5	2	ID	B	B		00239	Priority 優先度
6	26	TS	B	B		00240	Requested Date/time 要求日時
7	26	TS	C	C		00241	Observation Date/Time # 検査日時
8	26	TS	O	O		00242	Observation End Date/Time # 検査終了日時
9	20	CQ	O	O		00243	Collection Volume * 採取量
10	250	XCN	O	O	Y	00244	Collector Identifier * 採取者識別子
11	1	ID	O	O		00245	Specimen Action Code * 検体処置コード
12	250	CWE	O	O		00246	Danger Code 危険(検体)コード
13	300	ST	O	O		00247	Relevant Clinical Info. 関連臨床情報
14	26	TS	B	B		00248	Specimen Received Date/Time * 検体受理日時
15	300	SPS	B	B		00249	Specimen Source * 検査材料
16	250	XCN	O	O	Y	00226	Ordering Provider 依頼者
17	250	XTN	O	O	Y/2	00250	Order Callback Phone Number オーダコールバック用電話番号
18	60	ST	O	O		00251	Placer field 1 依頼者フィールド 1
19	60	ST	O	O		00252	Placer field 2 依頼者フィールド 2
20	60	ST	O	O		00253	Filler Field 1 + 実施者フィールド 1
21	60	ST	O	O		00254	Filler Field 2 + 実施者フィールド 2
22	26	TS	C	O		00255	Results Rpt/Status Chng – Date／Time+ 結果報告／状態変更-日時
23	40	MOC	O	O		00256	Charge to Practice + 課金
24	10	ID	O	O		00257	Diagnostic Serv Sect ID 診断部門 ID
25	1	ID	C	C		00258	Result Status + 結果状態
26	400	PRL	O	O		00259	Parent Result + 親結果
27	200	TQ	B	B	Y	00221	Quantity／Timing 数量／タイミング

© JAHIS 2012

SEQ	LEN	DT	OPT	Japan	RP/#	ITEM #	ELEMENT NAME
28	250	XCN	O	O	Y/5	00260	Result Copies To 結果配布先
29	200	EIP	O	O		00261	Parent Number * 親番号
30	20	ID	O	O		00262	Transportation Mode 患者搬送モード
31	250	CWE	O	O	Y	00263	Reason for Study 検査理由
32	200	NDL	O	O		00264	Principal Result Interpreter + 結果判定責任者
33	200	NDL	O	O	Y	00265	Assistant Result Interpreter + 結果判定アシスタント
34	200	NDL	O	O	Y	00266	Technician + 医療技術者
35	200	NDL	O	N	Y	00267	Transcriptionist + 転記者
36	26	TS	O	O		00268	Scheduled Date／Time + 予定日時
37	4	NM	O	O		01028	Number of Sample Containers * 検体容器数
38	250	CWE	O	O	Y	01029	Transport Logistics of Collected Sample * 採取検体搬送
39	250	CWE	O	O	Y	01030	Collector's Comment * 採取者コメント
40	250	CWE	O	O		01031	Transport Arrangement Responsibility 搬送調整者
41	30	ID	O	O		01032	Transport Arranged 搬送調整結果
42	1	ID	O	O		01033	Escort Required 随行者要否
43	250	CWE	O	O	Y	01034	Planned Patient Transport Comment 計画患者搬送コメント
44	250	CWE	O	O		00393	Procedure Code 手続きコード
45	250	CWE	O	O	Y	01316	Procedure Code Modifier 手続きコード修飾子
46	250	CWE	O	O	Y	01474	Placer Supplemental Service Information 依頼者補給サービス情報
47	250	CWE	O	O	Y	01475	Filler Supplemental Service Information 実施補給サービス情報
48	250	CWE	C	C		01646	Medically Necessary Duplicate Procedure Reason 医学的に必要な重複手続きの理由
49	2	IS	O	O		01647	Result Handling 結果の取り扱い

OBR フィールド定義

このセグメント内の(+)項目は依頼者ではなく実施者が作成し、その値は、OBRセグメントが報告書の一部として返信されたとき必要に応じて設定する。したがって、実施者が新規オーダを受理する場合、(+)項目の値を設定することはない。ただし実施者がオーダを開始する場合は例外である。その場合、実施者オーダ番号が設定されるが、依頼者オーダ番号はブランクでもよい。

検体関連検査の場合、星印(＊)の付いたフィールドのみが関係する。依頼者が検体を受理する場合は、依頼者がこれらのフィールドを指定する。実施者が検体を受理する場合、実施者がこれらのフィールドを指定する。

OBR-7－検査／採取日時およびOBR-8－検査／採取終了日時(フラグを#に設定)は生体関連検査時間である。検体検査の場合、この2つの情報は検体採取の開始と終了を表す。患者を直接検査する(すなわち血圧や胸部X線など)場合は、検査の開始・終了時刻を表す。

これらの日時はSPMセグメント（SPM-17－検体採取日時）にも存在する。この様にHL7 Ver.2.5では、各検体についての情報を記載するSPMセグメントや、オーダ全体のタイミングについての情報を記載するTQ1セグメントが追加されたため、OBR上に存在していた検体やタイミングのフィールドについては、同一メッセージにSPMセグメントやTQ1セグメントなどが存在する場合そちらのフィールドを優先する。

OBR-1 Set ID - Observation Request セットID - OBR (SI) 00237

定義：オーダ依存型の臨床検査依頼（ORM,OMG^O19,OML^O21）の場合、必要に応じメッセージ内で1から始まる通番とする（オプション）。検体依存型の検体検査依頼の場合（OML^O33,OML^O35）の場合、SPM以下で1から始まる通番とする（必須）。

OBR-2 Placer Order Number 依頼者オーダ番号 (EI) 00216

成分：<entity identifier (ST)> ^ <namespace ID (IS)> ^ <universal ID (ST)> ^ <universal ID type (ID)>

定義：ORC-2-依頼者オーダ番号に同じ。依頼側検体番号など。
第1成分の文字列で個々のOBRを識別する。これは依頼者(依頼アプリケーション)によって割り当てられ、ある依頼アプリケーションから送信されるすべてのオーダの中から特定のオーダを一意に識別する。アプリケーションIDは特定のアプリケーションと一意に結び付けられている。

© JAHIS 2012

OBR-3　Filler Order Number　実施者オーダ番号 (EI)　00217

成分：<entity identifier (ST)> ^ <namespace ID (IS)> ^ <universal ID (ST)> ^ <universal ID type (ID)>

定義：オーダおよびその関連する検査に対する永久的な識別子。LIS側検体番号など。
第1成分は個々のOBRを識別する文字列である。これは実施(受信)アプリケーションによって割り当てられ、ある実施アプリケーション(例えば、臨床生理検査室)からのすべてのオーダの中から特定のオーダを一意に識別する。第2成分は実施アプリケーションIDである。OBR-3-実施者オーダ番号はORC-3と同一である。

OBR-4　Universal Service ID　検査項目ID (CWE)　00238

成分：<identifier (ST)> ^ <text (ST)> ^ <name of coding system (ID)> ^ <alternate identifier (ST)> ^ <alternate text (ST)> ^ <name of alternate coding system (ID)> ^ <Coding System Version ID (ST)> ^ <Alternate Coding System Version ID (ST)> ^ <Original Text (ST)>

定義 : 要求された検査／試験／セットの識別子コード。このコードは、ローカルコードまたは“汎用”コードのいずれか、もしくはその両方を基準に設定できる。“汎用”手順による識別子を使用することが望ましい。
個々の検査項目を指示する場合は日本臨床検査医学会臨床検査項目分類コードを使用する(第5章5.5検査項目コードについて参照)。
個々の検査項目をOBXセグメントで指定する場合は、検査分野、検査セットや検査項目見出しをセットすることができる。そのコードや名称が施設固有である場合はコード体系Lで明示する。
例：C123^生化学^L。

OBR-5　Priority　優先度 (ID)　00239

定義：このフィールドは、旧バージョンとの互換性のためにのみ残されている。

OBR-6　Requested Date/Time　要求日時 (TS)　00240

成分：<Time (DTM)> ^ <DEPRECATED-Degree of Precision (ID)>

定義：このフィールドは、旧バージョンとの互換性のためにのみ残されている。

OBR-7　Observation Date/Time　検査／採取日時 (TS)　00241

成分：<Time (DTM)> ^ <DEPRECATED-Degree of Precision (ID)>

定義 : 臨床検査関連日時。患者を直接検査した場合は、検査を実施した実際の日時である。検体関連検査の場合、このフィールドは検体を採取した日時を表すものとする。これは結果専用フィールドである。ただし、依頼者あるいは第三者が検体をすでに採取している場合はこの限りでない。又、メッセージ上にSPMセグメントが存在する場合、本情報はSPMセグメントにて記述するものとする。

OBR-8　Observation End Date/Time　検査／採取終了日時 (TS)　00242

成分：<Time (DTM)> ^ <DEPRECATED-Degree of Precision (ID)>

定義 : 検査あるいは経時検体採取の終了日時。検査が長時間にわたって実施される場合、検査期間の終了時期を表す。検査が瞬時に終わる場合は、このフィールドはnullになる。これは結果フィールドである。ただし、依頼者、あるいは実施者以外の第三者がすでに検体を採取してしまっている場合はこの限りでない。又、メッセージ上にSPMセグメントが存在する場合、本情報はSPMセグメントにて記述するものとする。

OBR-9　Collection Volume　採取量 (CQ)　00243

成分：<Quantity (NM)> ^ <Units (CWE)>

副成分 for Units (CWE) : <Identifier (ST)> & <Text (ST)> & <Name of Coding System (ID)> & <Alternate Identifier (ST)> & <Alternate Text (ST)> & <Name of Alternate Coding System (ID)> & <Coding System Version ID (ST)> & <Alternate Coding System Version ID (ST)> & <Original Text (ST)>

定義：検体検査の場合検体量。デフォルト単位はMLである。特に、単位はISO標準単位略語(ISO－2955、1977年)の表記に従うべきである。これは結果専用フィールドである。ただし、依頼者あるいは第三者が検体をすでに採取している場合はこの限りでない。又、メッセージ上にSPMセグメントが存在する場合、本情報はSPMセグメントにて記述するものとする。
検体検査の場合、検査項目の特性により採取量の明示が必須の場合がある。この場合、それぞれの検査項目に指定された採取量の明示を行うこと。例えば、24時間蓄尿であれば、採取の如何に

© JAHIS 2012

かかわらず1日量を記載すること。

注：検査材料が蓄尿の場合、一般的に24時間蓄尿量を記載する。OBR-7,OBR-8及びOBR-9が明示される場合でもOBR-9は1日量とみなす。採取時間帯の総量ではないことに注意。OBR-9の明示がない場合、1日量検体とはみなさない。

OBR-10　Collector Identifier　採取者ID (XCN)　00244

成分：　<ID Number (ST)> ^ <Family Name (FN)> ^ <Given Name (ST)> ^ <Second and Further Given Names or Initials Thereof (ST)> ^ <Suffix (e.g., JR or III) (ST)> ^ <Prefix (e.g., DR) (ST)> ^ <Degree (e.g., MD) (IS)> ^ <Source Table (IS)> ^ <Assigning Authority (HD)> ^ <Name Type Code (ID)> ^ <Identifier Check Digit (ST)> ^ <Check Digit Scheme (ID)> ^ <Identifier Type Code (ID)> ^ <Assigning Facility (HD)> ^ <Name Representation Code (ID)> ^ <Name Context (CWE)> ^ <Name Validity Range (DR)> ^ <Name Assembly Order (ID)> ^ <Effective Date (TS)> ^ <Expiration Date (TS)> ^ <Professional Suffix (ST)> ^ < Assigning Jurisdiction (CWE)> ^ < Assigning Agency or Department (CWE)>

副成分 for Family Name (FN):　<Surname (ST)> & <Own Surname Prefix (ST)> & <Own Surname (ST)> & <Surname Prefix From Partner/Spouse (ST)> & <Surname From Partner/Spouse (ST)>

副成分 for Assigning Authority (HD):　<Namespace ID (IS)> & <Universal ID (ST)> & <Universal ID Type (ID)>

副成分 for Assigning Facility (HD):　<Namespace ID (IS)> & <Universal ID (ST)> & <Universal ID Type (ID)>

副成分 for Name Context (CWE) :　<identifier (ST)> & <text (ST)> & <name of coding system (ID)> & <alternate identifier (ST)> &<alternate text (ST)> &<name of alternate coding system (ID)> & <coding system version ID (ST)> &< alternate coding system version ID (ST)> &<original text (ST)>

副成分 for Name Validity Range (DR):　<Range Start Date/Time (TS)> & <Range End Date/Time (TS)>

副成分 for Range Start Date/Time (TS):　<Time (DTM)> & <Degree of Precision (ID)>

副成分 for Range End Date/Time (TS):　<Time (DTM)> & <Degree of Precision (ID)>

副成分 for Effective Date (TS):　<Time (DTM)> & <Degree of Precision (ID)>

副成分 for Expiration Date (TS):　<Time (DTM)> & <Degree of Precision (ID)>

副成分 for　Assigning Jurisdiction (CWE):　<Identifier (ST)> & <Text (ST)> & <Name of Coding System (ID)> & <Alternate Identifier (ST)> & <Alternate Text (ST)> & <Name of Alternate Coding System (ID)> & <Coding System Version ID (ST)> & <Alternate Coding System Version ID (ST)> & <Original Text (ST)>

副成分 for　Assigning Agency or Department (CWE):　<Identifier (ST)> & <Text (ST)> & <Name of Coding System (ID)> & <Alternate Identifier (ST)> & <Alternate Text (ST)> & <Name of Alternate Coding System (ID)> & <Coding System Version ID (ST)> & <Alternate Coding System Version ID (ST)> & <Original Text (ST)>

定義：検体検査が要求された場合、このフィールドは、検体を採取した個人、部門あるいは施設を識別する。名前もしくはIDコード(あるいはその両方)を指定できる。

OBR-11　Specimen Action Code　検体処置コード (ID)　00245

定義：このオーダに伴ってあるいは先行して実施される検体処置。検体に関する一般処置は、このフィールドに付随するORCセグメント内のオーダ制御コードにより示されるが、このフィールドで一般処置をさらに詳細に規定する。例えば、新規オーダ(ORC－“NW”)が検査室へ送られた場合、検査室で検体を採取すべきかどうか(“L”あるいは“O”)がこのフィールドによって伝えられる。HL7表0065－検体処置コードを参照。

HL7表 0065 - Specimen action code 検体処置コード

Value	Description	
A	Add ordered tests to the existing specimen　依頼検査を既存の検体に追加する	
G	Generated order; reflex order　生成オーダ；反映オーダ	
L	Lab to obtain specimen from patient　検査室が患者から検体を採取する	
O	Specimen obtained by service other than Lab　検査室以外のサービスによる検体採取	
P	Pending specimen; Order sent prior to delivery　保留検体；採取以前に依頼されたオーダ	
R	Revised order　改訂オーダ	
S	Schedule the tests specified below　指定した検査をスケジュールする	
B	検体・作成標本の返却	左記（B=N）は、日本での追加コードである。
D	希釈測定	
K	特別な検体保管指定	
C	測定項目優先順位指定あり	
F	強制測定；検体量不足時希釈測定	
U	強制測定；測定上限値を超えての最終値測定	
T	採血者指定、特別な手技を持った人の採血	
N	新生児採血	

OUL（到着確認／検査結果）メッセージでは、OMLメッセージでの同フィールドを返す。

© JAHIS 2012

OBR-12　Danger Code　危険(検体)コード (CWE)　00535

成分：<identifier (ST)> ^ <text (ST)> ^ <name of coding system (ID)> ^ <alternate identifier (ST)> ^ <alternate text (ST)> ^ <name of alternate coding system (ID)> ^ <Coding System Version ID (ST)> ^ <Alternate Coding System Version ID (ST)> ^ <Original Text (ST)>

定義：危険であることが知られている、あるいは疑われる患者・検体を示すコードかテキスト、あるいはその両方(例えば、陽性結核患者、肝炎患者の血液などの感染情報)。コードとテキストのどちらかあるいはいずれも指定しない場合がある。しかしながらコードは第1成分の位置に置かれ、フリーテキストは第2成分の位置に置かれる。したがって、フリーテキストのみが記述される場合、フリーテキストの前に区切り記号が先行しておかれる。

OBR-13　Relevant Clinical Information　関連臨床情報 (ST)　00247

定義：このフィールドには、患者あるいは検体に関する追加臨床情報が記述される。このフィールドは、検査診断が要求された場合、疑われる病状や臨床所見を報告するのに使用する。例えば、血中ガスの二酸化炭素量、パップ試験時の月経周期、および検査診断に影響を及ぼすその他の条件を報告する場合など。
ただし、オーダセグメントの直後に一連のOBXセグメントを追加することで、より構造化された形式でこの種の情報を送ることが可能である。したがって、身体情報(身長・体重やバイタルサインなど)、検査情報、投薬情報などはOBXセグメントを利用することを推奨する。

OBR-14　Specimen Received Date/Time　検体受領日時 (TS)　00248

成分：　<Time (DTM)> ^ <DEPRECATED-Degree of Precision (ID)>

定義：このフィールドは、旧バージョンとの互換性のためにのみ残されている。本情報はSPMセグメント（SPM-18検体受領日時）にて記述される。

OBR-15　Specimen Source　検査材料 (SPS)　00249

成分：　<Specimen Source Name or Code (CWE)> ^ <Additives (CWE)> ^ <Specimen Collection Method (TX)> ^ <Body Site (CWE)> ^ <Site Modifier (CWE)> ^ <Collection Method Modifier Code (CWE)> ^ <Specimen Role (CWE)>

副成分　for Specimen Source Name or Code (CWE):　<Identifier (ST)> & <Text (ST)> & <Name of Coding System (ID)> & <Alternate Identifier (ST)> & <Alternate Text (ST)> & <Name of Alternate Coding System (ID)> & <Coding System Version ID (ST)> & <Alternate Coding System Version ID (ST)> & <Original Text (ST)>

副成分　for Additives (CWE):　<Identifier (ST)> & <Text (ST)> & <Name of Coding System (ID)> & <Alternate Identifier (ST)> & <Alternate Text (ST)> & <Name of Alternate Coding System (ID)> & <Coding System Version ID (ST)> & <Alternate Coding System Version ID (ST)> & <Original Text (ST)>

副成分　for Body Site (CWE):　<Identifier (ST)> & <Text (ST)> & <Name of Coding System (ID)> & <Alternate Identifier (ST)> & <Alternate Text (ST)> & <Name of Alternate Coding System (ID)> & <Coding System Version ID (ST)> & <Alternate Coding System Version ID (ST)> & <Original Text (ST)>

副成分　for Site Modifier (CWE):　<Identifier (ST)> & <Text (ST)> & <Name of Coding System (ID)> & <Alternate Identifier (ST)> & <Alternate Text (ST)> & <Name of Alternate Coding System (ID)> & <Coding System Version ID (ST)> & <Alternate Coding System Version ID (ST)> & <Original Text (ST)>

副成分　for Collection Method Modifier Code (CWE):　<Identifier (ST)> & <Text (ST)> & <Name of Coding System (ID)> & <Alternate Identifier (ST)> & <Alternate Text (ST)> & <Name of Alternate Coding System (ID)> & <Coding System Version ID (ST)> & <Alternate Coding System Version ID (ST)> & <Original Text (ST)>

副成分　for Specimen Role (CWE):　<Identifier (ST)> & <Text (ST)> & <Name of Coding System (ID)> & <Alternate Identifier (ST)> & <Alternate Text (ST)> & <Name of Alternate Coding System (ID)> & <Coding System Version ID (ST)> & <Alternate Coding System Version ID (ST)> & <Original Text (ST)>

定義：　このフィールドは、旧バージョンとの互換性のためにのみ残されている。HL7 Ver.2.5では、SPMセグメントを使用する。

OBR-16　Ordering Provider　依頼者 (XCN)　00226

成分：　<ID Number (ST)> ^ <Family Name (FN)> ^ <Given Name (ST)> ^ <Second and Further Given Names or Initials Thereof (ST)> ^ <Suffix (e.g., JR or III) (ST)> ^ <Prefix (e.g., DR) (ST)> ^ <Degree (e.g., MD) (IS)> ^ <Source Table (IS)> ^ <Assigning Authority (HD)> ^ <Name Type Code (ID)> ^ <Identifier Check Digit (ST)> ^ <Check Digit Scheme (ID)> ^ <Identifier Type Code (ID)> ^ <Assigning Facility (HD)> ^ <Name Representation Code (ID)> ^ <Name Context (CWE)> ^ <Name Validity Range (DR)> ^ <Name Assembly Order (ID)> ^ <Effective Date (TS)> ^ <Expiration Date (TS)> ^ <Professional Suffix (ST)> ^ < Assigning Jurisdiction (CWE)> ^ < Assigning Agency or Department (CWE)>

副成分　for Family Name (FN):　<Surname (ST)> & <Own Surname Prefix (ST)> & <Own Surname (ST)> & <Surname Prefix From Partner/Spouse (ST)> & <Surname From Partner/Spouse (ST)>

副成分　for Assigning Authority (HD):　<Namespace ID (IS)> & <Universal ID (ST)> & <Universal ID Type (ID)>

副成分　for Assigning Facility (HD):　<Namespace ID (IS)> & <Universal ID (ST)> & <Universal ID Type (ID)>

© JAHIS 2012

副成分 for Name Context (CWE) : <identifier (ST)> & <text (ST)> & <name of coding system (ID)> & <alternate identifier (ST)> &<alternate text (ST)> &<name of alternate coding system (ID)> & <coding system version ID (ST)> &< alternate coding system version ID (ST)> &<original text (ST)>

副成分 for Name Validity Range (DR): <Range Start Date/Time (TS)> & <Range End Date/Time (TS)>

副成分 for Range Start Date/Time (TS): <Time (DTM)> & <Degree of Precision (ID)>

副成分 for Range End Date/Time (TS): <Time (DTM)> & <Degree of Precision (ID)>

副成分 for Effective Date (TS): <Time (DTM)> & <Degree of Precision (ID)>

副成分 for Expiration Date (TS): <Time (DTM)> & <Degree of Precision (ID)>

副成分 for Assigning Jurisdiction (CWE): <Identifier (ST)> & <Text (ST)> & <Name of Coding System (ID)> & <Alternate Identifier (ST)> & <Alternate Text (ST)> & <Name of Alternate Coding System (ID)> & <Coding System Version ID (ST)> & <Alternate Coding System Version ID (ST)> & <Original Text (ST)>

副成分 for Assigning Agency or Department (CWE): <Identifier (ST)> & <Text (ST)> & <Name of Coding System (ID)> & <Alternate Identifier (ST)> & <Alternate Text (ST)> & <Name of Alternate Coding System (ID)> & <Coding System Version ID (ST)> & <Alternate Coding System Version ID (ST)> & <Original Text (ST)>

定義：検査依頼者のID。IDコードあるいは名前、またはその両方を指定できる。これはORC-12-依頼者と同じである。検査依頼医師をセットする。

OBR-17 Order Callback Phone Number オーダコールバック用電話番 (XTN) 00250

成分： <DEPRECATED-Telephone Number (ST)> ^ <Telecommunication Use Code (ID)> ^ <Telecommunication Equipment Type (ID)> ^ <Email Address (ST)> ^ <Country Code (NM)> ^ <Area/City Code (NM)> ^ <Local Number (NM)> ^ <Extension (NM)> ^ <Any Text (ST)> ^ <Extension Prefix (ST)> ^ <Speed Dial Code (ST)> ^ <Unformatted Telephone number (ST)>

定義：状態あるいは結果を標準フォーマットで報告するさいの電話番号。可能であれば、内線または呼出番号(あるいはその両方)も併せて指定する。

OBR-18 Placer Field #1 依頼者フィールド#1 (ST) 00251

定義：依頼者フィールド#1。依頼者によって送られたテキストは、結果と共に返される。

OBR-19 Placer Field #2 依頼者フィールド#2 (ST) 00252

定義：依頼者フィールド#1に類似。

OBR-20 Filler Field #1 実施者フィールド#1 (ST) 00253

定義：実施者(診断サービス)により任意の使用目的に定義可能。

OBR-21 Filler Field #2 実施者フィールド#2 (ST) 00254

定義： 実施者フィールド#1に類似（実施者により任意の使用目的に定義可能）。

OBR-22 Results Rpt/Status Cheng - Date/Time 結果報告／状態変更ー日時 (TS) 00255

成分： <Time (DTM)> ^ <DEPRECATED-Degree of Precision (ID)>

定義： 結果の報告日時、あるいは状態の変更日時。このフィールドでは、結果を報告書に書込み・発行した日時を示す。あるいはオーダ状態に定義にされたような状態が入力・変更された日時を示す。通常、依頼側は最後に結果を受信した日時(前回更新日)より後で報告された結果だけ入力すべきである。(電文発信日ではない)

OBR-23 Charge To Practice 課金 (MOC) 00256

成分： <Monetary Amount (MO)> ^ <Charge Code (CWE)>

副成分 for Monetary Amount (MO): <Quantity (NM)> & <Denomination (ID)>

副成分 for Charge Code (CWE) : <Identifier (ST)> & <Text (ST)> & <Name of Coding System (ID)> & <Alternate Identifier (ST)> & <Alternate Text (ST)> & <Name of Alternate Coding System (ID)> & <Coding System Version ID (ST)> & <Alternate Coding System Version ID (ST)> & <Original Text (ST)>

定義： 適用可能な場合、実行された検査の為のオーダ全体の料金である。HISは検査項目から課金情報を生成する。

OBR-24 Diagnostic Serv Sect ID 診断サービス部門ID (ID) 00257

定義： 診断を実施した診断サービス部門。検査が外部サービスによって実施された場合、そのサービスのIDがここに記録される。採りうる値はHL7表0074ー診断サービス部門ID-を参照。外注先検査センターをセットする。

© JAHIS 2012

HL7表 0074 - Diagnostic service section ID　診断サービス部門ID

Value	Description	Value	Description
AU	Audiology	OUS	OB Ultrasound
BG	Blood gases	OT	Occupational Therapy
BLB	Blood bank	OTH	Other
CUS	Cardiac Ultrasound	OSL	Outside Lab
CTH	Cardiac catheterization	PHR	Pharmacy
CT	CAT scan	PT	Physical Therapy
CH	Chemistry	PHY	Physician (Hx. Dx, admission note, etc.l)
CP	Cytopathology	PF	Pulmonary function
EC	Electrocardiac (e.g., EKG,　EEC, Holter)	RAD	Radiology
EN	Electroneuro (EEG, EMG,EP,PSG)	RX	Radiograph
HM	Hematology	RUS	Radiology ultrasound
ICU	Bedside ICU Monitoring	RC	Respiratory Care (therapy)
IMM	Immunology	RT	Radiation therapy
LAB	Laboratory	SR	Serology
MB	Microbiology	SP	Surgidal Pathology
MCB	Mycobacteriology	TX	Toxicology
MYC	Mycology	VUS	Vascular Ultrasound
NMS	Nuclear medicine scan	VR	Virology
NMR	Nuclear magnetic resonance	XRC	Cineradiograph
NRS	Nursing service measures		

OBR-25　Result Status　結果状態 (ID)　00258

定義：　このオーダの結果状態。状態は、オーダに関連する結果すべてに適用される。オーダ状態の照会のさい、OBXセグメントで実現されるレベルの応答より詳細なレベルの応答が必要でないときに、このフィールドがよく使用される。このフィールドへは、実施者しか値を設定することができない。各結果の状態が必要な場合、OBX-11－検査結果状態を使用することができる。取り得る値はHL7表0123－結果状態を参照。

HL7表 0123 - Result status 結果状態

Value	Description
O	Order received; specimen not yet received　オーダ受信；検体未到着
I	No results available; specimen received, procedure incomplete　結果無効；検体到着、手続き不完全
S	No results available; procedure scheduled, but not done　結果無効；手続き予定未実施
A	Some, but not all, results available　部分的結果あり
P	Preliminary: A verified early result is available, final results not yet obtained　予備；初期結果確認無効、最終結果未確認
C	Correction to results　結果訂正
R	Results stored; not yet verified　結果ストア；未確認
F	Final results; results stored and verified. Can only be changed with a corrected result.　最終結果；結果格納・確認済。訂正結果のみ書き換え可能
X	No results available; Order canceled.　結果無効；オーダキャンセル
Y	No order on record for this test. (Used only on queries)　オーダによらない検査結果(参照のみ可能)
Z	No record of this patient. (Used only on queries)　患者に対する結果なし(参照のみ可能)

到着確認時‘I’、部分結果報告時‘A’、未承認結果報告時‘R’、最終結果報告時‘F’とする

OBR-26　Parent Result　親結果 (PRL)　00259

Component: <OBX-3-observation identifier of parent result(CWE)> ^ <OBX-4-sub-ID of parent result(ST)> ^ <OBX-5-observation results from parent (*)>

副成分 for Parent Observation Identifier (CWE):　<Identifier (ST)> & <Text (ST)> & <Name of Coding System (ID)> & <Alternate Identifier (ST)> & <Alternate Text (ST)> & <Name of Alternate Coding System (ID)> & <Coding System Version ID (ST)> & <Alternate Coding System Version ID (ST)> & <Original Text (ST)>

定義:　このフィールドは他のタイプ(例えば､毒物学)との連携を可能にするために定義される。この重要な情報は、OBR-29-親番号の情報と組み合わせて、このオーダに関する親結果のOBXセグメントを一意に識別する。親結果内のOBXセグメント値は、この検査セットが報告する生物や化学種を示す。例えば、現在の検査セットが感受性試験である場合、親結果の一意なOBXは、この感受性試験の対象となる生物である。親結果内の生物名が最終的に決定される前にいくつか変遷をたどることがあるので、この間接的な連係を使用するとよい。
第3成分には直接親結果の微生物名を記録する。この場合の生物は、親培養検査の結果どおりに

© JAHIS 2012

記載すべきである。
このフィールドは、親結果がOBR-29-親番号によって識別される場合のみ必要になる。
標準に検査結果セグメント(OBX)を使用してこの情報を伝達する方法もある。生物が複数存在する場合、OBX-4－サブIDで複数の生物種から個々を識別する。この場合、サブID　Nを持つ最初のOBXは、N番目の微生物を識別する値を持つ。また、サブID　Nを持つ後続のOBXはそれぞれ、この生物の感受性試験に使用する感受性値を持つ。

OBR-27　Quantity／Timing　数量／タイミング (TQ)　00221

成分：　<Quantity (CQ)> ^ <Interval (RI)> ^ <Duration (ST)> ^ <Start Date/Time (TS)> ^ <End Date/Time (TS)> ^ <Priority (ST)> ^ <Condition (ST)> ^ <Text (TX)> ^ <Conjunction (ID)> ^ <Order Sequencing (OSD)> ^ <Occurrence Duration (CWE)> ^ <Total Occurrences (NM)>

副成分 for Quantity (CQ):　<Quantity (NM)> & <Units (CWE)>

注 副成分は副-副成分を含んでいる

副成分 for Interval (RI):　<Repeat Pattern (IS)> & <Explicit Time Interval (ST)>

副成分 for Start Date/Time (TS):　<Time (DTM)> & <DEPRECATED-Degree of Precision (ID)>

副成分 for End Date/Time (TS):　<Time (DTM)> & <DEPRECATED-Degree of Precision (ID)>

副成分 for Order Sequencing (OSD):　<Sequence/Results Flag (ID)> & <Placer Order Number: Entity Identifier (ST)> & <Placer Order Number: Namespace ID (IS)> & <Filler Order Number: Entity Identifier (ST)> & <Filler Order Number: Namespace ID (IS)> & <Sequence Condition Value (ST)> & <Maximum Number of Repeats (NM)> & <Placer Order Number: Universal ID (ST)> & <Placer Order Number: Universal ID Type (ID)> & <Filler Order Number: Universal ID (ST)> & <Filler Order Number: Universal ID Type (ID)>

副成分 for Occurrence Duration (CWE):　<Identifier (ST)> & <Text (ST)> & <Name of Coding System (ID)> & <Alternate Identifier (ST)> & <Alternate Text (ST)> & <Name of Alternate Coding System (ID)> & <Coding System Version ID (ST)> & <Alternate Coding System Version ID (ST)> & <Original Text (ST)>

定義：　このフィールドは、旧バージョンとの互換性のためにのみ残されている。本情報はTQ1セグメントにて記述される。
このフィールドは1回のサービスで施すサービスの数、そのサービスの繰り返し数に関する情報を含んでいる。これにより要求の継続時間が決まる。

OBR-28　Result Copies To　結果配布先 (XCN)　00260

成分：　<ID Number (ST)> ^ <Family Name (FN)> ^ <Given Name (ST)> ^ <Second and Further Given Names or Initials Thereof (ST)> ^ <Suffix (e.g., JR or III) (ST)> ^ <Prefix (e.g., DR) (ST)> ^ <Degree (e.g., MD) (IS)> ^ <Source Table (IS)> ^ <Assigning Authority (HD)> ^ <Name Type Code (ID)> ^ <Identifier Check Digit (ST)> ^ <Check Digit Scheme (ID)> ^ <Identifier Type Code (ID)> ^ <Assigning Facility (HD)> ^ <Name Representation Code (ID)> ^ <Name Context (CWE)> ^ <Name Validity Range (DR)> ^ <Name Assembly Order (ID)> ^ <Effective Date (TS)> ^ <Expiration Date (TS)> ^ <Professional Suffix (ST)> ^ < Assigning Jurisdiction (CWE)> ^ < Assigning Agency or Department (CWE)>

副成分 for Family Name (FN):　<Surname (ST)> & <Own Surname Prefix (ST)> & <Own Surname (ST)> & <Surname Prefix From Partner/Spouse (ST)> & <Surname From Partner/Spouse (ST)>

副成分 for Assigning Authority (HD):　<Namespace ID (IS)> & <Universal ID (ST)> & <Universal ID Type (ID)>

副成分 for Assigning Facility (HD):　<Namespace ID (IS)> & <Universal ID (ST)> & <Universal ID Type (ID)>

副成分 for Name Context (CWE):　<Identifier (ST)> & <Text (ST)> & <Name of Coding System (ID)> & <Alternate Identifier (ST)> & <Alternate Text (ST)> & <Name of Alternate Coding System (ID)> & <Coding System Version ID (ST)> & <Alternate Coding System Version ID (ST)> & <Original Text (ST)>

副成分 for Name Validity Range (DR):　<Range Start Date/Time (TS)> & <Range End Date/Time (TS)>

副成分 for Range Start Date/Time (TS):　<Time (DTM)> & <Degree of Precision (ID)>

副成分 for Range End Date/Time (TS):　<Time (DTM)> & <Degree of Precision (ID)>

副成分 for Effective Date (TS):　<Time (DTM)> & <Degree of Precision (ID)>

副成分 for Expiration Date (TS):　<Time (DTM)> & <Degree of Precision (ID)>

副成分 for　Assigning Jurisdiction (CWE):　<Identifier (ST)> & <Text (ST)> & <Name of Coding System (ID)> & <Alternate Identifier (ST)> & <Alternate Text (ST)> & <Name of Alternate Coding System (ID)> & <Coding System Version ID (ST)> & <Alternate Coding System Version ID (ST)> & <Original Text (ST)>

副成分 for　Assigning Agency or Department (CWE):　<Identifier (ST)> & <Text (ST)> & <Name of Coding System (ID)> & <Alternate Identifier (ST)> & <Alternate Text (ST)> & <Name of Alternate Coding System (ID)> & <Coding System Version ID (ST)> & <Alternate Coding System Version ID (ST)> & <Original Text (ST)>

定義：　検査報告書を受け取る人。ローカルの取り決めによって、ID番号あるいは名前のいずれかを省略してもよい。報告書送付先として科別や病棟を指示してもよい。

OBR-29　Parent Number　親番号 (EIP)　00261

成分：　<Placer Assigned Identifier (EI)> ^ <Filler Assigned Identifier (EI)>

© JAHIS 2012

副成分 for Placer Assigned Identifier (EI): <Entity Identifier (ST)> & <Namespace ID (IS)> & <Universal ID (ST)> & <Universal ID Type (ID)>

副成分 for Filler Assigned Identifier (EI): <Entity Identifier (ST)> & <Namespace ID (IS)> & <Universal ID (ST)> & <Universal ID Type (ID)>

定義： ORC-8-親と同一。ただし、OULメッセージ（到着確認／検査結果）では、OMLメッセージのORC-2(ORC-3)と同一。LIS内での受付時はOULメッセージのORC-2と同一。

親子関係が存在する場合、このフィールドにより子供をその親に関連づける。例えば、前回の検査(例えば、血液培養で展開された抗生物質感受性)によって展開された検査は、このフィールドに親(血液培養)の実施者オーダ番号を記録する必要がある。子オーダの場合に、このフィールドが必要になる。
親フィールドには、成分が2つある。第1成分には親の依頼者オーダ番号が入る。第2成分はオプションであり、ここには親の実施者オーダ番号が入る。このフィールドは、副成分をもつ、依頼者オーダ番号成分と実施者オーダ番号成分の2つの成分で伝達される。

OBR-30 Transportation Mode 患者搬送モード (ID) 00262

定義： 適用可能な場合、患者を搬送するかどうか(あるいは移動方法)。取り得る値はHL7表0124－患者移動モードーを参照。

HL7表 0124 - Transportation Mode 移動モード

Value	Description
CART	Cart - patient travels on cart or gurney 患者はカートまたは担架で移動する
PORT	The examining device goes to patient's location 検査装置が患者のもとへ移動する
WALK	Patient walks to diagnostic service 患者は歩行により移動する
WHLC	Wheelchair 車いすを使用する

OBR-31 Reason For Study 検査理由 (CWE) 00263

成分： <identifier (ST)> ^ <text (ST)> ^ <name of coding system (ID)> ^ <alternate identifier (ST)> ^ <alternate text (ST)> ^ <name of alternate coding system (ID)> ^ <Coding System Version ID (ST)> ^ <Alternate Coding System Version ID (ST)> ^ <Original Text (ST)>

定義： 適切な回答をうるのにこのフィールドを使用しなければならない検査もある。

OBR-32 Principal Result Interpreter 結果判定責任者 (NDL) 00264

成分： <Name (CNN)> ^ <Start Date/time (TS)> ^ <End Date/time (TS)> ^ <Point of Care (IS)> ^ <Room (IS)> ^ <Bed (IS)> ^ <Facility (HD)> ^ <Location Status (IS)> ^ <Patient Location Type (IS)> ^ <Building (IS)> ^ <Floor (IS)>

副成分 for Name (CNN): <ID Number (ST)> & <Family Name (ST)> & <Given Name (ST)> & <Second and Further Given Names or Initials Thereof (ST)> & <Suffix (e.g., JR or III) (ST)> & <Prefix (e.g., DR) (ST)> & <Degree (e.g., MD (IS)> & <Source Table (IS)> & <Assigning Authority - Namespace ID (IS)> & <Assigning Authority - Universal ID (ST)> & <Assigning Authority - Universal ID Type (ID)>

副成分 for Start Date/time (TS): <Time (DTM)> & <DEPRECATED-Degree of Precision (ID)>

副成分 for End Date/time (TS): <Time (DTM)> & <DEPRECATED-Degree of Precision (ID)>

副成分 for Facility (HD): <Namespace ID (IS)> & <Universal ID (ST)> & <Universal ID Type (ID)>

定義： 検査を診断し、報告書の内容に責任を負う医師あるいは臨床医のID。

OBR-33 Assistant Result Interpreter 結果判定アシスタント (NDL) 00265

成分： <Name (CNN)> ^ <Start Date/time (TS)> ^ <End Date/time (TS)> ^ <Point of Care (IS)> ^ <Room (IS)> ^ <Bed (IS)> ^ <Facility (HD)> ^ <Location Status (IS)> ^ <Patient Location Type (IS)> ^ <Building (IS)> ^ <Floor (IS)>

副成分 for Name (CNN): <ID Number (ST)> & <Family Name (ST)> & <Given Name (ST)> & <Second and Further Given Names or Initials Thereof (ST)> & <Suffix (e.g., JR or III) (ST)> & <Prefix (e.g., DR) (ST)> & <Degree (e.g., MD (IS)> & <Source Table (IS)> & <Assigning Authority - Namespace ID (IS)> & <Assigning Authority - Universal ID (ST)> & <Assigning Authority - Universal ID Type (ID)>

副成分 for Start Date/time (TS): <Time (DTM)> & <DEPRECATED-Degree of Precision (ID)>

副成分 for End Date/time (TS): <Time (DTM)> & <DEPRECATED-Degree of Precision (ID)>

副成分 for Facility (HD): <Namespace ID (IS)> & <Universal ID (ST)> & <Universal ID Type (ID)>

定義： この検査の診断を支援した立会臨床医。

OBR-34 Technician 医療技術者 (NDL) 00266

成分： <Name (CNN)> ^ <Start Date/time (TS)> ^ <End Date/time (TS)> ^ <Point of Care (IS)> ^ <Room (IS)> ^ <Bed (IS)> ^ <Facility (HD)> ^ <Location Status (IS)> ^ <Patient Location Type (IS)> ^ <Building (IS)> ^ <Floor (IS)>

© JAHIS 2012

副成分 for Name (CNN): <ID Number (ST)> & <Family Name (ST)> & <Given Name (ST)> & <Second and Further Given Names or Initials Thereof (ST)> & <Suffix (e.g., JR or III) (ST)> & <Prefix (e.g., DR) (ST)> & <Degree (e.g., MD (IS)> & <Source Table (IS)> & <Assigning Authority - Namespace ID (IS)> & <Assigning Authority - Universal ID (ST)> & <Assigning Authority - Universal ID Type (ID)>

副成分 for Start Date/time (TS): <Time (DTM)> & <DEPRECATED-Degree of Precision (ID)>

副成分 for End Date/time (TS): <Time (DTM)> & <DEPRECATED-Degree of Precision (ID)>

副成分 for Facility (HD): <Namespace ID (IS)> & <Universal ID (ST)> & <Universal ID Type (ID)>

定義： 実施担当臨床技師。

OBR-35 Transcriptionist 転記者 (NDL) 00267

成分： <Name (CNN)> ^ <Start Date/time (TS)> ^ <End Date/time (TS)> ^ <Point of Care (IS)> ^ <Room (IS)> ^ <Bed (IS)> ^ <Facility (HD)> ^ <Location Status (IS)> ^ <Patient Location Type (IS)> ^ <Building (IS)> ^ <Floor (IS)>

副成分 for Name (CNN): <ID Number (ST)> & <Family Name (ST)> & <Given Name (ST)> & <Second and Further Given Names or Initials Thereof (ST)> & <Suffix (e.g., JR or III) (ST)> & <Prefix (e.g., DR) (ST)> & <Degree (e.g., MD (IS)> & <Source Table (IS)> & <Assigning Authority - Namespace ID (IS)> & <Assigning Authority - Universal ID (ST)> & <Assigning Authority - Universal ID Type (ID)>

副成分 for Start Date/time (TS): <Time (DTM)> & <DEPRECATED-Degree of Precision (ID)>

副成分 for End Date/time (TS): <Time (DTM)> & <DEPRECATED-Degree of Precision (ID)>

副成分 for Facility (HD): <Namespace ID (IS)> & <Universal ID (ST)> & <Universal ID Type (ID)>

定義：報告書を記録する人を示している。

OBR-36 Scheduled - Date/Time スケジュール日時 (TS) 00268

成分： <Time (DTM)> ^ <DEPRECATED-Degree of Precision (ID)>

定義： 実施者がスケジュールした検査日時。このフィールドは、ある特定の検査をスケジュールして欲しいという要求に対する結果を表しており、これによりスケジュールされた検査日時を依頼者に通知することができる(結果専用)。

OBR-37 Number Of Sample Containers 検体容器数 (NM) 01028

定義：受領検体容器の数。検体受領の検証のために使用、オーダの全検体数とは異なるかもしれない。同一検体・同一採取容器での採取量オーバーフロー時の採取容器本数を記述する。記述なしの場合を含め、通常は１と解釈する。本情報はSPMセグメントにて記述される。

OBR-38 Transport Logistics Of Collected Sample 採取検体搬送 (CWE) 01029

成分： <identifier (ST)> ^ <text (ST)> ^ <name of coding system (ID)> ^ <alternate identifier (ST)> ^ <alternate text (ST)> ^ <name of alternate coding system (ID)> ^ <Coding System Version ID (ST)> ^ <Alternate Coding System Version ID (ST)> ^ <Original Text (ST)>

定義：このフィールドは診断サービス実施者への検体到着で意味がある。これにより検査スケジュールや結果に要する期間などが可能となる。例えば、定期トラック便、郵便など。

OBR-39 Collector's Comment 採取者コメント (CWE) 01030

成分： <identifier (ST)> ^ <text (ST)> ^ <name of coding system (ID)> ^ <alternate identifier (ST)> ^ <alternate text (ST)> ^ <name of alternate coding system (ID)> ^ <Coding System Version ID (ST)> ^ <Alternate Coding System Version ID (ST)> ^ <Original Text (ST)>

定義：検体に関する付加的コメント、例えば、「変性により凝固困難」、「-15℃にて凍結」。検体採取時のコメントを記述する。

OBR-40 Transport Arrangement Responsibility 搬送調整者 (CWE) 01031

成分： <identifier (ST)> ^ <text (ST)> ^ <name of coding system (ID)> ^ <alternate identifier (ST)> ^ <alternate text (ST)> ^ <name of alternate coding system (ID)> ^ <Coding System Version ID (ST)> ^ <Alternate Coding System Version ID (ST)> ^ <Original Text (ST)>

定義：予約検査などで検体搬送の手配などを行った者。例えば、依頼者、実施者、患者など。

OBR-41 Transport Arranged 搬送調整結果 (ID) 01032

定義：検体搬送手配の結果状態。

HL7表 0224 - Transport Arranged 搬送調整

Value	Description
A	Arranged 手配済み

N	Not Arranged　未手配
U	Unknown　　不明

OBR-42　Escort Required　随行者要否 (ID)　01033

定義：患者が診断サービス部門へ出向くに必要な随行者の要否。OBR-43の併用が一般的。

HL7表 0225 - Escort Required 随行者要否

Value	Description
R	Required　　必要
N	Not Required　不要
U	Unknown　　不明

OBR-43　Planned Patient Transport Comment　患者搬送コメント (CWE)　01034

成分： <identifier (ST)> ^ <text (ST)> ^ <name of coding system (ID)> ^ <alternate identifier (ST)> ^ <alternate text (ST)> ^ <name of alternate coding system (ID)> ^ <Coding System Version ID (ST)> ^ <Alternate Coding System Version ID (ST)> ^ <Original Text (ST)>

定義：患者が診断サービス部門へ出向く際の搬送や随行に関するコメント。

OBR-44　Procedure code　手続きコード (CWE)　00393

成分： <identifier (ST)> ^ <text (ST)> ^ <name of coding system (ID)> ^ <alternate identifier (ST)> ^ <alternate text (ST)> ^ <name of alternate coding system (ID)> ^ <Coding System Version ID (ST)> ^ <Alternate Coding System Version ID (ST)> ^ <Original Text (ST)>

定義： このフィールドは、もしあればOBR-4において報告された汎用サービスIDと共に関連した手続きに割り当てられた唯一の識別子である。使用者定義表0088－手続きコードを参照。このフィールドは、臨床関連のシステムと互換性を取る為CWEタイプである。

使用者定義表 0088 - Procedure Code 手続きコード

Value	Description	Comment
	推奨値なし	

OBR-45　Procedure code modifier　手続きコード修飾子　(CWE)　01316

成分： <identifier (ST)> ^ <text (ST)> ^ <name of coding system (ID)> ^ <alternate identifier (ST)> ^ <alternate text (ST)> ^ <name of alternate coding system (ID)> ^ <Coding System Version ID (ST)> ^ <Alternate Coding System Version ID (ST)> ^ <Original Text (ST)>

定義：このフィールドはOBR-44において報告された手続きコードに適用できれば手続きコード修飾子を含む。手続きコード修飾子は、HCFAやAMAのような監督官庁によって定義される。 多重修飾子が報告される場合もある。推奨値は使用者定義表0340 - Procedure code modifier手続きコード修飾子を参照。

使用者定義表 0340 - Procedure Code Modifier 手続きコード修飾子

Value	Description	Comment
	推奨値なし	

OBR-46　Placer supplemental service information　依頼者補給サービス情報 (CWE) 01474

成分： <identifier (ST)> ^ <text (ST)> ^ <name of coding system (ID)> ^ <alternate identifier (ST)> ^ <alternate text (ST)> ^ <name of alternate coding system (ID)> ^ <Coding System Version ID (ST)> ^ <Alternate Coding System Version ID (ST)> ^ <Original Text (ST)>

定義： このフィールドは、依頼者システムからOBR-4汎用サービスIDで報告された手続きコードにより実施者システムまで送られた補給サービス情報を含む。このフィールドはOBRセグメントの他の不明なオーダ詳細情報を解決する為に使われる。複数の補助サービス情報の要素が報告されるかもしれない。使用者定義表 0411 - Supplemental service information value 補助サービス情報値を参照。

このフィールドは、検査が右部にされたか左部にされたか、例えば、検査部位が腕のどこかになされたがオーダマスタファイルには右腕か左腕か区別されない場合とか、(オーダマスタファイルに区別はなく)検査が対比有りか無しかで実施されたかというような詳細情報を記述するのに使われる。

OBR-47　Filler supplemental service information　実施者発行の追加サービス情報 (CWE) 01475

成分：　<identifier (ST)> ^ <text (ST)> ^ <name of coding system (ID)> ^ <alternate identifier (ST)> ^ <alternate text (ST)> ^ <name of alternate coding system (ID)> ^ <Coding System Version ID (ST)> ^ <Alternate Coding System Version ID (ST)> ^ <Original Text (ST)>

定義：このフィールドは、OBR-4汎用サービスIDで報告されている処理コードのための実施者から依頼者に送付される補助サービス情報を含んでいる。このフィールドは、OBRセグメントの特別なフィールドとして、オーダでは利用できないオーダリング情報の詳細を報告するのに使われるであろう。実施者システムがこのフィールドを使って実際に果たした事を報告するケースでオーダが改変されない限りにおいては、典型的には、それはOBR-46－依頼者発行の追加サービス情報の中の実施者システムへ送られた情報と同じ情報を反映するであろう。複数の補助サービス情報の要素が報告されるかもしれない。使用者定義表0411 - Supplemental service information values. 補助サービス情報値を参照。

このフィールドは、検査が右部にされたか左部にされたか、例えば、検査部位が腕のどこかになされたがオーダマスタファイルには右腕か左腕か区別されない場合とか、(オーダマスタファイルに区別はなく)検査が対比有りか無しかで実施されたかというような詳細情報を記述するのに使われる。

使用者定義表0411 - Supplemental service information values　補助サービス情報値

Value	Description
	推奨値なし Individual implementations may use vocabularies such as the SNOMED DICOM Micro-glossary (SDM) or private (local) entries. 特別な導入では SNOMED や DICOM、マイクログロッサリ、そして私用な物も用いられる

OBR-48　Medically Necessary Duplicate Procedure Reason 医学的に必要な重複手続きの理由 (CWE) 01646

成分：　<Identifier (ST)> ^ <Text (ST)> ^ <Name of Coding System (ID)> ^ <Alternate Identifier (ST)> ^ <Alternate Text (ST)> ^ <Name of Alternate Coding System (ID)> ^ <Coding System Version ID (ST)> ^ <Alternate Coding System Version ID (ST)> ^ <Original Text (ST)>

定義：このフィールドは、OBR-44 – 手続きコード内の手続きが、同じ患者に関する同じ日のサービスに対して既にオーダ或いは課金されたものと重複している場合に文書化する目的で使用される。かつ医学的に必要と判断された場合に限る。理由は、コードかされるか自由なテキスト形式で入力される。

このフィールドは、誰に重複した手続きによって請求するかの会計システム情報を提供することを意図している。 推奨値は使用者定義表0476―医学的に必要な重複手続きの理由を参照。

使用者定義表 0476 - Medically Necessary Duplicate Procedure Reason 医学的に必要な重複手続きの理由

Value	Description	Comment
	推奨値なし	

OBR-49　Result Handling　結果の取り扱い　(IS)　01647

定義：結果の取り扱いに関する情報伝達。例えば、あるオーダでは、結果（例えば、X線フィルム）は患者に与えられるべきで、これは請求者に対する成果である。推奨値に関しては、使用者定義表0507―結果の取り扱いを参照のこと。仮にこのフィールドが入力されていない場合、通常の取り扱いを意味する。

使用者定義表 0507 - Result Handling 結果の取り扱い

Value	Description	Comment
F	患者へのフィルム提供	
N	準備が出来次第通知	

© JAHIS 2012

7.11 OBX - Observation /Result Segment　検査結果セグメント

OBXセグメントは単一検査あるいは検査分画を転送するのに使用される。それは分割不可能な報告の最小単位を表現する。OBXセグメントはCDAドキュメントやDICOMイメージのようなカプセル化されたデータも含むことが出来る。

その主な機能は報告メッセージで検査関連情報を伝達することである。しかし、OBXを検査オーダに含めることもできる。この場合、OBXは実施者が作成する検査の解釈のために実施者が必要とする臨床情報を伝送する。例えば、血中酸素濃度を血液ガス検査室へオーダする場合に呼気酸素を報告するのにOBXは必要であり、あるいはパパコロニー塗末試験を細胞診検査室へオーダする場合に含まれているべき月経周期情報を報告するためにもOBXは必要である。またOBRで多項目検査の内容が不明確な場合、OBXで個々の検査項目を指示することも可能である。例えばOBRで肝炎セット、OBXでGOT,GPT,HBs抗体や、OBRで100g糖負荷試験、OBXで血糖前値、血糖30分値など。また、検査結果コメントをセットしたい場合、検査結果コメントの扱いを参照すること。

HL7属性表－OBX-検査結果

SEQ	LEN	DT	OPT	Japan	RP/#	ITEM#	ELEMENT NAME
1	4	SI	O	C		00569	Set ID – OBX セット ID-OBX
2	2	ID	C	C		00570	Value Type 値型
3	250	CWE	R	R		00571	Observation Identifier 検査項目
4	20	ST	C	C		00572	Observation Sub-ID 検査副 ID
5	99999	varies	C	C	Y	00573	Observation Value 検査値
6	250	CWE	O	O		00574	Units 単位
7	60	ST	O	O		00575	References Range 基準値範囲
8	5	IS	O	O	Y	00576	Abnormal Flags 異常フラグ
9	5	NM	O	O		00577	Probability 確率
10	2	ID	O	O	Y	00578	Nature of Abnormal Test 異常検査の性質
11	1	ID	R	R		00579	Observation Result Status 検査結果状態
12	26	TS	O	O		00580	Effective Date of Reference Range 基準値範囲有効日付
13	20	ST	O	O		00581	User Defined Access Checks 使用者定義アクセス点検
14	26	TS	O	O		00582	Date/Time of the Observation 検査日時
15	250	CWE	O	O		00583	Producer's ID 実施者 ID
16	250	XCN	O	O		00584	Responsible Observer 検査責任者
17	250	CWE	O	O	Y	00936	Observation Method　検査方法
18	22	EI	O	O	Y	01479	Equipment Instance Identifier　装置 ID
19	26	TS	O	O		01480	Date/Time of the Analysis　分析日時

検査結果コメントの例（第5章5.7.検査結果コメントの扱い参照）

検査材料、検査方法、検査結果への補足、検査できなかったことへの説明、などのコメントは検査結果のOBXに続くOBXで表現する。コメントの値型はSTやTXが代表的と考えられるがコメントコードでの運用しか出来ない場合は二者間の協議で値型CWEでコードでの運用も可能である。出来る限りコメント内容に制限のないフリーテキストを推奨する。コードでの運用について、ＭＥＤＩＳ－ＤＣ臨床検査データ交換規約暫定版にて統一結果コメントを定めていたのでその場合のsuffixも参考にされたい。下記はその例である。

OBX||NM|3A016000002327101^A/G比^JC10||2.33||1.30-2.00|H|||F　　検査結果

OBX||CWE|3A016000002327101&TCM^^JC10||E01^参考値です^L|||||F　　そのコメント

OBX フィールド定義

OBX-1　Set ID – OBX セットID-OBX (SI)　00569

定義：　同一のOBRセグメントに対し１から付番される通し番号。

OBX-2　Value Type　値型　(ID)　00570

定義： OBX内の検査結果値のフォーマット。値がCWEである場合、結果はコード化入力値でなければならない。値型がTXまたはFTである場合、結果はテキスト群である。値型の検査で採りうる値はHL7表0125-値型に列記される。例えば、PNは成分区切り文字により分離した6つの成分から成る。NMは有効な型であるが、通常数字として報告される検査では、結果の一部として非数値文字が報告されることが多いので(結果が測定器で計りきれないことを示すために>300を使

© JAHIS 2012

う場合など)、文字列(ST)データ型を持つことがある。例えば、">300"では、">"は記号であり桁"300"は数値と考えられる。（この場合SNデータ型を用いるのがよい。）
以下を除くすべてのHL7データ型が有効である。

CM: 特定のデータ型でないから、
CQ: OBX-5-検査値の単位は、OBX-6-単位に必ず明示的に指定されるから、
SI及びID: HL7メッセージセグメント以外に適用されないから。

実際の検査値がOBXでは送られていないが、他のどこかに存在する場合、RP値(参照ポインタ)を使用しなければならない。例えば、検査が画像(ドキュメント関連画像あるいは医学関連画像)から成る場合、画像そのものはOBXで送ることができない。その場合送信システムは、参照ポインタを送信するよう選択することができる。受信システム側は、DICOMなどの他の標準インターフェースにより、あるいは適切なデータベースサーバーにより実際の画像へアクセスする必要がある場合は、いつでもこの参照ポインタを使用することができる。

HL7表 0125 - Value type 値型

Value	Description
AD	Address
CWE	Coded With Exceptions
CF	Coded Element With Formatted Values
CK	Composite ID With Check Digit
CN	Composite ID And Name
CP	Composite Price
CX	Extended Composite ID With Check Digit
DT	Date
ED	Encapsulated Data
FT	Formatted Text (Display)
MO	Money
NM	Numeric
PN	Person Name
RP	Reference Pointer
SN	Structured Numeric
ST	String Data.
TM	Time
TN	Telephone Number
TS	Time Stamp (Date & Time)
TX	Text Data (Display)
XAD	Extended Address
XCN	Extended Composite Name And Number For Persons
XON	Extended Composite Name And Number For Organizations
XPN	Extended Person Number
XTN	Extended Telecommunications Number

値型の詳細については第5章5.4.データ型を参照のこと。

構造化数値データ型（SN）は、範囲報告(e.g., 3-5 or 10-20)、力値(e.g., 1:10)、範囲外指標(e.g., >50)などを構造化ならびにコンピュータで理解できる方法で提供する。

OBXセグメントではFTデータ型の使用を許しているが推奨しない。書式化テキストは、例えば、独立した3つの診断を夫々の行で報告するようなリストなど、通常意味のある構造を持っている。しかし理想的には、独立した3つの診断文の構造は3つの個別のOBXセグメントとして報告すべきである。

TXデータ型は大量のテキストを送るとき以外使用すべきではない。TXデータ型は反復区切記号が段落の区切として使用できるだけである。短くそしておそらくコード化できるテキスト文字列を送るためにはSTデータ型を使用すべきである。

CDAドキュメントはMDMまたはORUのようなドキュメントを交換できるすべてのメッセージ中のOBXセグメントによって交換される。OBXセグメント内ではMIMEパッケージはカプセル化（ED）データ型としてコード化される。

© JAHIS 2012

OBX-3　Observation Identifier　検査項目ID (CWE)　00571

成分：　<identifier (ST)> ^ <text (ST)> ^ <name of coding system (ID)> ^ <alternate identifier (ST)> ^ <alternate text (ST)> ^ <name of alternate coding system (ID)> ^ <Coding System Version ID (ST)> ^ <Alternate Coding System Version ID (ST)> ^ <Original Text (ST)>

定義：　検査項目を表す一意な識別子。例：5F190143002315151^HSV-1抗原^JC10。日本臨床検査医学会臨床検査項目分類コード体系に則りコーディングされた検査項目コードを使用(結果識別も含む)。検査結果コメントをセットする場合、検査項目IDを接尾辞で修飾したコードを用いる。検査項目コードならびに検査結果コメントについては第5章を参照すること。

大半のシステムでは、識別子は受信システムが検査情報を処理するために、他の検査属性を列記した検査項目マスタ表を参照するために使用される。検査IDと検査項目マスタ表との関係は、請求記録中の課金コードと課金マスタ表の関係に類似している。検査項目マスタのようなメッセージ転送については第10章マスターファイルに記述されている。

このフィールドの第1識別子にローカルコードを使用する場合、普遍的な識別子もあわせて送信することを強く推奨する。それにより、さまざまな提供者が同じサービスについてそれぞれ結果を送信してきた場合(例えば、病院検査室と検査センターが老人ホームに生化学データを報告してきた場合)、受信側でそれらの結果を同じにすることができる。使用できる“普遍的な”識別子には、国内においては前述の日本臨床検査医学会のコードがある（第5章5.5節参照）。

OBX-3のコードとして日本臨床検査医学会検査項目分類コードを用いた場合、そのコード体系による検査依頼項目コードには検査材料も含まれているが、その検査材料と異なる検査材料で検査を実施する場合もある。実際に提出する検査材料はSPMセグメントで明示する。

OBX-4　Observation Sub-ID　検査サブID (ST)　00572

定義：　1つのOBRの下で編成された複数のOBXセグメントが同じ検査項目IDを持つ場合、それぞれのOBXセグメントを識別するのに使う。例えば、胸部X線レポートには独立した3つの診断が含まれることがある。標準では、3つのOBXセグメント(1つの診断所見に1つのOBXセグメント)が必要である。これらのOBXセグメントの1番目のサブIDに1、2番目のサブIDに2、および3番目のサブIDに3を入れることにより、編集あるいは交換に際し各OBXセグメントを一意に識別することができる。
サブ識別子は、外科病理学などのレポートで関連成分をグループ化するのにも使われる。外科病理学レポートでは、1回の手術により得られた組織をすべて1つのレポートにまとめるということは昔からよくある。胆嚢および虫垂の検査を記述した単一の外科病理学レポートを考えてみる。このレポートは概ね以下に示すように転送されるだろう。

Example of sub-identifier usage

```
OBR|1||1234^LAB|88304&SURG PATH REPORT|...<cr>
OBX|1|CWE|88304&ANT|1|T57000^GALLBLADDER^SNM|...<cr>
OBX|2|TX|88304&GDT|1|THIS IS A NORMAL GALLBLADDER|...<cr>
OBX|3|TX|88304&MDT|1|MICROSCOPIC EXAM SHOWS HISTOLOGICALLY
   NORMAL GALLBLADDER TISSUE|...<cr>
OBX|4|CWE|88304&IMP|1|M-00100^NML^SNM|...<cr>
OBX|5|CWE|88304&ANT|2|T66000^APPENDIX^SNM|...<cr>
OBX|6|TX|88304&GDT|2|THIS IS A RED, INFLAMED, SWOLLEN, BOGGY APPENDIX|...<cr>
OBX|7|TX|88304&MDT|2|INFILTRATION WITH MANY PMN's - INDICATING INFLAMATORY CHANGE|...<cr>
OBX|8|CWE|88304&IMP|2|M-40000^INFLAMMATION NOS^SNM|...<cr>
```

この例では、レポートの各成分に対して2つのセグメントがある(2つある組織のそれぞれに対して1つのセグメント)。このように、88304&ANTセグメントが2個存在する；88304&GDTセグメントが2個存在する。88304&MDTセグメントが2個存在する。胆嚢に適用されるセグメントはすべてサブ識別子として1を持つ。虫垂に適用されるセグメントはすべてサブ識別子「2」を持つ。

検査サブIDはその他の目的でグループ化する場合にも使用できる。それはいくつかの種類の体液摂取及び排泄のレポートを編成するのに使用することができる。例えば、複数の静脈より採血を実施した場合、それぞれ、多くの個別の検査(OBXセグメント)、採取量、採取の型(血液、D5W、血漿など)、静脈の部位などが必要になる。つまりそれぞれの部位ごとに個別のOBXセグメントを必要とする。複数の静脈部位による場合、HL7では、第1の静脈部位に関係するOBXセグメントすべてに検査サブID「1」を割り当てることにより、それらのOBXセグメントを論理上リンクすることができる。同様に、サブID2を割り当てることにより、第2の静脈部位に関して、すべてのOBXをリンクすることができる。複数の外科的ドレインが存在する場合に、その排泄に対しても

© JAHIS 2012

同様のことができる。複数指定する必要がない場合、nullか1を使用すること。

```
OBX|8|CWE|880304&IMP|2|M-40000^INFLAMMATION NOS^SNM|...<cr>
OBX|9|CWE|880304&IMP|2|M-30280^FECALITH^SNM|...<cr>
```

上記の例の場合、8番目のOBXの検査結果は9番目の検査結果で上書きされるであろう。そのような場合サブID2は以下のようにすべきである。

```
OBX|8|CWE|880304&IMP|2.1|M-40000^INFLAMMATION NOS^SNM|...<cr>
OBX|9|CWE|880304&IMP|2.2|M-30280^FECALITH^SNM|...<cr>
```

特に検査結果をグループ化する必要がない場合、以下のように通番等でよい。

```
OBX|1|CWE|8601-7^EKG IMPRESSION ^LN|1|^atrial fibrillation|...<cr>
OBX|2|CWE|8601-7^EKG IMPRESSION ^LN|2|^OLD SEPTAL MYOCARDIAL INFARCT|...<cr>
OBX|3|CWE|8601-7^EKG IMPRESSION ^LN|3|^poor R wave progression|...<cr>
```

OBX-5　Observation Value　検査結果値 (varies)　00573

定義：　検査実施者により検査された検査結果値。検査結果値はこのセグメント中のOBX-2－値型で設定されるデータ型に応じて表記される。そのフィールドはOBXセグメントの必須フィールドである。数値なのかあるいは短いテキストなのかどうかにこだわらず、回答はASCII文字コードで記録されるものとする。
数値型の検査結果であっても比較演算子や接尾辞を持つ場合、値型が文字列STの場合と構造化数値SNの場合によって、検査結果値の表記が異なるので注意、例えば、ST型では100以上(>100)や 2+であるが、SN型では >^100 や ^2^+ となる。可能な限りSN型を使用することを推奨する。

論理上独立している検査の報告
放射線検査や「病歴・身体計測」などの叙述的レポートの主要箇所は、個別のOBXセグメントとして報告される。また、論理上独立している個々の検査は、個別のOBXセグメントで報告すべきである；つまり、1個のOBXセグメントには、論理上独立している複数検査の“結果”を含んではならない。この要求事項により、OBX-6－単位およびOBX-8－異常フラグ、およびOBX-9－確率の内容が明白に解釈ができるようになる。例えば、電解質およびバイタルサイン・セットは、4つの個別のOBXセグメントとして報告されるだろう。2つの診断(うっ血性心不全と肺炎など)は、それが退院サマリの一部として報告されたのかあるいは胸部X線レポートの一部として報告されたのかにこだわらず、さらに2つの個別のOBXセグメントとして報告されるだろう。同様に、単一の細菌培養内で分離された2つの細菌性生物は、2つの個別のOBXセグメントとして報告されるだろう。
1つのOBXセグメントで、独立した2つの診断“記述文”を報告することはできないが、2つの診断“記述文”がそれぞれ一部(修飾子)として一緒になって1つの診断記述文を構築するのであれば、定性値として複数回応答することができる(通常、反復区切り文字により分離されたCWEデータ型として)。例えば、右上葉(1つのコードとして記録される)と肺炎(別のコードとして記録される)の両方を1つのOBXセグメントで報告できるだろう。そのような複数の“値”は反復区切り文字により分離されるだろう。

共通の検査IDとサブIDを持つ複数のOBXセグメント
いくつかのシステムでは、単一の検査に複数データ型の“一部”が含まれることがある。よくある例は、数値結果の後にコード化注記(CWE)が続くことである。この場合、論理検査情報は複数のOBXセグメントで送ることができる。例えば、あるセグメントは、数値結果を表すための数値データ型あるいは文字列データ型であるが、もう1つのセグメントはコード化注記を表すCWEデータ型である場合など。実施者が複数のコード化注記を報告しているとすると、その複数のコード化注記はすべて単一の論理検査情報を修正してしまうので、反復区切り文字で分離された1つのOBXセグメントで送信されるだろう。同じ検査IDとサブIDを持つ複数のOBXセグメントは、最も重要なOBXセグメント(正常なフラグ／単位、および／あるいは、基準値および状態フラグを持つOBXセグメント)を最初に指定して、常に連続して送信すべきである。OBX-6～12の値は、同じOBX-3－検査項目とOBX-4－検査サブIDを持つ後続のOBXセグメントではnullとすべきである。置換または削除をする場合、同じ検査IDとサブIDを持つ複数のOBXセグメントは1単位として扱われる。どれか1つが置換または削除されると、すべてが置換される。

コード化値
OBXセグメントにCWEデータ型の値が含まれる場合、検査はコードおよび(または)テキストの組

み合わせとして保管される。(「OBR　1」の1番目と2番目のOBXセグメント、「OBR　2」の1番目と2番目のOBXセグメントに記述されている結果。)検査は、(推奨検査を表す)検査セットID、(診断を表す)診断コードか所見、または病理学レポートで使う部位、あるいは他の任意の種類のコード化結果などである。
コード化検査に保管された情報は必ずしもコード化する必要はない。例えば、胸部X線診断がCWEデータ型であったとしても、純粋テキストとして転送することができるだろう。この場合は、例えば、以下のように記述して、“結果コード”の第2成分としてテストを記録しなければならない。

```
OBX|1|CWE|71020&IMP|1|^CONGESTIVE HEART FAILURE.|...<cr>
```

しかし、個別の診断、指導などは、純粋テキストとして記録するとしても、個別の結果セグメントに記録すべきである。すなわち、うっ血性心不全と肺炎は、

```
OBX|1|CWE|71020&IMP|1|^CONGESTIVE HEART FAILURE AND PNEUMONIA|...<cr>
```

ように送信するのでなく、以下のように送信すること。

```
OBX|1|CWE|71020&IMP|1|^CONGESTIVE HEART FAILURE|...<cr>
OBX|2|CWE|71020&IMP|2|^PNEUMONIA|....<cr>
```

以下のように、テキスト記述(成分2)の代わりに、あるいはテキスト記述(成分2)に加えて、コンピュータが理解し得るコードを含む完全コード化結果(成分1)を送信すればさらによい。

```
OBX|1|CWE|710120&IMP^CXR|1|428.0^CONGESTIVE HEART FAILURE^I9C~^MASSIVE HEART|...<cr>
```

OBX-6　Units　単位 (CWE)　00574

成分：　<identifier (ST)> ^ <text (ST)> ^ <name of coding system (ID)> ^ <alternate identifier (ST)> ^ <alternate text (ST)> ^ <name of alternate coding system (ID)> ^ <Coding System Version ID (ST)> ^ <Alternate Coding System Version ID (ST)> ^ <Original Text (ST)>

定義：　単位のデータ型はCWEデータ型である。国内の臨床検査においては、現在普遍的な単位コード体系が定められていないので、検査結果に単位が付属する場合、必須フィールドとし、次のような成分で記載するものとする。

< 単位(ASCII)(ST) > ^ < 単位名称(漢字可)(ST) > ^ < コード体系名(ID) >
識別子成分またテキスト成分のいずれかは省略可能とする。

OBX-7　References Range　基準値範囲 (ST)　00575

成分：　数値型データの場合の書式は次のようである：

a)　下限値-上限値 (下限値と上限値の両方が定義された場合。例えば、3.5 - 4.5の様に記載する)
b)　>下限値　(上限値が存在しない場合。例えば、>10)
c)　<上限値　(下限値が存在しない場合。例えば、<15)

文字型データの場合：　正常値をこのフィールドに記載する。

定義：　OBX-3で示された検査項目の、基準値範囲を記載する。検査で有毒物質の量を計測する場合、範囲の上限により毒性限界を表す。検査で薬剤の量を計測する場合、下限により治療の期待できる最小量を表し、上限によりそれ以上の薬剤投与により通常副作用が発生し得ることを表す。

OBX-8　Abnormal Flags　異常フラグ (IS)　00576

定義：　結果の正常状態を示す表ルックアップを含んでいる。適用できる場合は、この値を送ることを強く推奨する。検査が抗生物質感受性の場合、解釈コードは次のとおりである：　S=敏感；R=耐性；I=中間；MS=少し敏感；VS=過敏。(詳細については、ASTM　1238－調査－を参照)。
採りうる値は使用者定義表0078－異常フラグ－を参照。
検査室で、胸部X線あるいは微生物培養などのテキスト・レポートの正常状態を識別できる場合、正常な場合はN、異常な場合はAとして報告すべきである。複数のコード(例えば、異常と悪化)を報告する場合は、反復区切り文字(例えば、A～W)により分離されるだろう。

使用者定義表 0078　Abnormal Flags 異常フラグ

Value	Description
space	基準値内
L	Below low normal　基準値下限以下
H	Above high normal　基準値上限以上

Value	Description
LL	Below lower panic limits　パニック下限以下
HH	Above upper panic limits　パニック上限以上
<	Below absolute low-off instrument scale　測定限界下限未満
>	Above absolute high-off instrument scale　測定限界上限越
N	Normal (applies to non-numeric results)　正常(非数値結果に適用)
A	Abnormal (applies to non-numeric results)　異常(非数値結果に適用)
AA	Very abnormal (applies to non-numeric units, analagous to panic limits for numeric units)　非常に異常(数値単位のパニック値に対応するが、これは非数値単位に適用される)
null	No range defined, or normal ranges don't apply　範囲未定義、もしくは正常が適用されない
U	Significant change up　大幅な上昇変化
D	Significant change down　大幅な下降変化
B	Better--use when direction not relevant　改善　－　方向が適用されない場合使用
W	Worse--use when direction not relevant　悪化　－　方向が適用されない場合使用
	For microbiology sensitivities only：微生物感受性の場合のみ
S	Sensitive　敏感
R	Resistant　耐性
I	Intermediate　中間
MS	Moderately sensitive　少し敏感
VS	Very sensitive　過敏

OBX-9　Probability　確率 (NM)　00577

定義：　定性値を持つ結果の場合、結果が真である確率(結果が特定のコードとなる確率)。主として離散的コード化結果に適用される。0～1(0と1を含む)のASCII文字列で表した10進数である。

OBX-10　Nature Of Abnormal Test　異常検査の特質 (ID)　00578

定義：判定の元になった集団を指示する。採りうるコードについては、HL7表0080－異常検査の特質－を参照。複数のコードを適用できる。コードは反復区切記号で分離され、例えば、年齢、性別および人種に基づいた正常値は、A ~ S ~ Rとなる。

HL7表 0080　Nature Of Abnormal Testing 異常検査の特質

Value	Description
A	An age-based population　年齢別集団
N	None - generic normal range　無し　－　一般正常範囲
R	A race-based population　人種別集団
S	A sex-based population　性別集団
SP	Species 種
B	Breed 品種
ST	Strain 血統

OBX-11　Observation Result Status　検査結果状態 (ID)　00579

定義：　採りうるコードについては、HL7表0085－検査結果状態を参照。このフィールドは、1つの検査項目についての、現在の結果完了状態を反映する。

検査依頼時に動的に検査要求を指定しなければならない場合、例えば、糖負荷試験におけるサンプリング時間（前、30、60、120分など）、OBXセグメントの結果状態を"O"とすることでOMG、OMLメッセージにおける検査項目の定義として使用できる。その場合検査項目は必須であるがOBX-2、OBX-5はNullである。到着確認メッセージの場合もこのフィールドの値は“I”とする。

コードFは結果が正しくかつ最終であると検証されたことを示す。コードWは結果が誤っている（正しくない）と検証されたことを示す；置換（修正）された結果が後で送信されるであろう。コードCはOBX-5-検査値フィールドに含まれたデータで、同じ検査IDやサブIDを持つ以前に送信された検証済み最終結果データを、通常以前の結果が間違っていたから、置換すべきであることを示す。コードDは以前に送信された同じ検査IDおよびサブIDの結果セグメントを削除することを示す。結果を変更・削除する場合、同じ検査IDおよびサブIDの複数のOBXセグメントは、1単位として置換・削除される。中間（例えば、「グラム陽性球菌」）から最終（例えば、「ぶどう状球菌アウレウス」）といった結果の正常な進行の場合、C（修正）として送信すべきでない；

© JAHIS 2012

それらは最終になるまでPあるいはS（特定の場合に依存）として送信すべきである。

HL7表 0085 - Observation Result Status Codes Interpretation 検査結果状態

Value	Description
C	Record coming over is a correction and thus replaces a final result　到着レコードは修正であり結果を書き換え
D	Deletes the OBX record　OBX レコードを削除する
F	Final results;　Can only be changed with a corrected result.　最終結果：　修正結果でのみ変更可能
I	Specimen in lab; results pending　臨床検査室の検体；結果保留
N	Not asked; used to affirmatively document that the observation identified in the OBX was not sought when the universal service ID in OBR-4 implies that it would be sought.
O	Order detail desctiption only (no result) 依頼詳細記述　（結果なし）
P	Preliminary results　事前結果
R	Results entered -- not verified　結果を入力　ーー　未検証
S	Partial results　部分結果
X	Results cannot be obtained for this observation　この検査では、結果は得られない
U	Results status change to Final.　without retransmitting results already sent as ‘preliminary.　結果状態を最終へ変更。結果は変化しなかった(テストを転送しない) 例えば、放射線科により状態が事前から最終へ変更される
W	Post original as wrong, e.g., transmitted for wrong patient

OBX-12　Effective Date of Reference Range　基準値範囲有効日付 (TS)　00580

成分：　<Time (DTM)> ^ <DEPRECATED-Degree of Precision (ID)>

定義：　測定方法の変更により、旧方式で得られた値が新規方式で得られた値と比較できなくなる場合、そのような測定方法の変更日付などを表す。
正常値または単位がない場合null。存在する場合、記録日付と対応するこの日付の変更。新規結果と旧結果を区別するためにローカルシステムで新規検査項目IDに現IDを割り当てるべきかどうかを判断できるよう、受信システムは、結果をマニュアルで見直すようトリガーをかけるべきである。

OBX-13　User Defined Access Checks　使用者定義アクセス点検 (ST)　00581

定義：　これにより実施者は、受信システムで検査を分類するのに使用する結果依存コードを記録できるようになる。
ほとんどの分類は固定の検査ID属性であり、関連検査マスタファイルで定義することができるので、このフィールドはめったに必要とされない。
しかし、受信システムが計算のやり直しを望まない場合がまれにあり、この場合そのような制御の仕方も検査結果値により変わることがある。例えば、抗酸菌感受性結果の場合である。生物、検体採取部位、あるいは患者アレルギー状態に応じて、安価な抗生物質の感受性結果だけ表示したいと望むシステムもあるだろう。送信部門側では、特権ユーザ(例えば、感染症の専門医)はすべての結果を閲覧し、非特権ユーザは生物が反応した(敏感だった)“所望の”抗生物質だけを閲覧できるよう、すべての感受性を送信したいと思う。HL7では、その他のケースも生じると想定している。

又IHE-Jでは、OML送信時、OBX-13に、TQ1-9　優先度と同様に、HL7表0485－拡張優先度コードーセットする事で、依頼項目ごとの優先度を指定するものとしている（通常R：デフォルトか、S：最も高い優先度　のみを用いる）。これは他のオーダに対する優先度を示すものではなく、同一オーダ内の他の項目に対する優先度を指示するものとなる。例えば、OBX-13に“S”がセットされた項目は、同一オーダ内のほかの項目に対して、早く処理する事が望まれている。

OBX-14　Date-Time Of the Observation　検査日時 (TS)　00582

成分：　<Time (DTM)> ^ <DEPRECATED-Degree of Precision (ID)>

定義：　次の2つの状態で必要になる。まず、1つのレポートーヘッダー(OBR)の下で報告された複数の検査が互いに異なる日付を持つ場合である。これが起こりえるのは、同じセットのある測定と別の測定が異なる時間を持つ可能性がある、照会、負荷試験・シーケンス、あるいはクリアランス検査の場合である。
次に、OBXセグメントを依頼者から実施者へ送る場合にも検査日時は必要である。この場合には、転送中の検査の日付は要求検査の日付とは何の関係もないだろう。フランスでは慣例として、要求側部門が、新規セットの検査要求に加えて、1セットの最終検査結果を送る。これらの検査の

日付は実施者検査室にとって重要である。
どのような場合でも、検査日時は生理学的日時あるいは生理学的日時に最も近い日時である。検体に対して行われるテストの場合は、該当日時は検体採集日時である。患者に対して直接行われる測定(例えば、X線画像、病歴、身体測定)の場合には、検査日時は測定が行われた日時である。

OBX-15　Producer's ID　実施者ID (CWE)　00583

成分： <identifier (ST)> ^ <text (ST)> ^ <name of coding system (ID)> ^ <alternate identifier (ST)> ^ <alternate text (ST)> ^ <name of alternate coding system (ID)> ^ <Coding System Version ID (ST)> ^ <Alternate Coding System Version ID (ST)> ^ <Original Text (ST)>

定義:　検査実施責任者の一意な識別子。例えば、検査結果が外部検査室により提供される場合、実施者IDを明示的に報告すべきである。このフィールドがnullの場合、受信システム側は、送信施設が検査を実施したと仮定する。外注先検査センターをセットする。

OBX-16　Responsible Observer　検査責任者 (XCN)　00584

成分： <ID Number (ST)> ^ <Family Name (FN)> ^ <Given Name (ST)> ^ <Second and Further Given Names or Initials Thereof (ST)> ^ <Suffix (e.g., JR or III) (ST)> ^ <Prefix (e.g., DR) (ST)> ^ <Degree (e.g., MD) (IS)> ^ <Source Table (IS)> ^ <Assigning Authority (HD)> ^ <Name Type Code (ID)> ^ <Identifier Check Digit (ST)> ^ <Check Digit Scheme (ID)> ^ <Identifier Type Code (ID)> ^ <Assigning Facility (HD)> ^ <Name Representation Code (ID)> ^ <Name Context (CWE)> ^ <Name Validity Range (DR)> ^ <Name Assembly Order (ID)> ^ <Effective Date (TS)> ^ <Expiration Date (TS)> ^ <Professional Suffix (ST)> ^ < Assigning Jurisdiction (CWE)> ^ < Assigning Agency or Department (CWE)>

副成分 for Family Name (FN): <Surname (ST)> & <Own Surname Prefix (ST)> & <Own Surname (ST)> & <Surname Prefix From Partner/Spouse (ST)> & <Surname From Partner/Spouse (ST)>

副成分 for Assigning Authority (HD): <Namespace ID (IS)> & <Universal ID (ST)> & <Universal ID Type (ID)>

副成分 for Assigning Facility (HD): <Namespace ID (IS)> & <Universal ID (ST)> & <Universal ID Type (ID)>

副成分 for Name Context (CWE) : <identifier (ST)> & <text (ST)> & <name of coding system (ID)> & <alternate identifier (ST)> &<alternate text (ST)> &<name of alternate coding system (ID)> & <coding system version ID (ST)> &< alternate coding system version ID (ST)> &<original text (ST)>

副成分 for Name Validity Range (DR): <Range Start Date/Time (TS)> & <Range End Date/Time (TS)>

副成分 for Range Start Date/Time (TS): <Time (DTM)> & <Degree of Precision (ID)>

副成分 for Range End Date/Time (TS): <Time (DTM)> & <Degree of Precision (ID)>

副成分 for Effective Date (TS): <Time (DTM)> & <Degree of Precision (ID)>

副成分 for Expiration Date (TS): <Time (DTM)> & <Degree of Precision (ID)>

副成分 for Assigning Jurisdiction (CWE): <Identifier (ST)> & <Text (ST)> & <Name of Coding System (ID)> & <Alternate Identifier (ST)> & <Alternate Text (ST)> & <Name of Alternate Coding System (ID)> & <Coding System Version ID (ST)> & <Alternate Coding System Version ID (ST)> & <Original Text (ST)>

副成分 for Assigning Agency or Department (CWE): <Identifier (ST)> & <Text (ST)> & <Name of Coding System (ID)> & <Alternate Identifier (ST)> & <Alternate Text (ST)> & <Name of Alternate Coding System (ID)> & <Coding System Version ID (ST)> & <Alternate Coding System Version ID (ST)> & <Original Text (ST)>

定義：　要求された場合、検査に直接責任を負う個人(つまり検査を実行、もしくは検証した人)の識別子。看護部門では、検査実施者は通常、検査(血圧測定)を実行した専門家である。検査室では、検査実施者は解析を実行・検証した医療技術者である。検査実施者を表すコードはCWEデータ型として記録される。ローカルコードとしてコードを送る場合、OBX-15－実施者IDと組み合わせた時に、一意にして明白でなければならない。

OBX-17　Observation Method　検査方法 (CWE)　00936

成分： <identifier (ST)> ^ <text (ST)> ^ <name of coding system (ID)> ^ <alternate identifier (ST)> ^ <alternate text (ST)> ^ <name of alternate coding system (ID)> ^ <Coding System Version ID (ST)> ^ <Alternate Coding System Version ID (ST)> ^ <Original Text (ST)>

定義 : 検査項目案内などで公表している検査方法と異なる検査方法を実施した場合などはここに明示する。OBX-3のコードとして日本臨床検査医学会検査項目分類コードを用いた場合、そのコード体系に検査方法も含まれる。その検査方法と異なる検査方法によって検査結果を得た場合は、本フィールドに実施した検査方法を明示する。

OBX-18　Equipment instance identifier　装置ID　(EI)　01479

成分： <entity identifier (ST)> ^ <namespace ID (IS)> ^ <universal ID (ST)> ^ <universal ID type (ID)>

定義 : このフィールドは検査の実施に関わった実際の装置（例えば、分析器、分析器モジュール、分析器のグループ、・・・）を識別する。これは、ネームスペースIDであるいはそれが空白の場合「実施者ID」(OBX-15)で特定される施設にある、装置の施設でのマスタリストからの識別子で

© JAHIS 2012

ある。それは、装置タイプ、シリアル番号、などのマスタリストから検索可能であるが、OBXごとにこの情報を転送するようには計画されていない。このフィールドの繰返しが装置(最下位レベルが最初)の階層的表現のために許されている、例えば、ひとつの機器のモジュール、複数のモジュールからなる機器、多数の機器の集合体、など。

OBX-19　Date/time of the analysis　分析日時　(TS)　01480

成分：　<Time (DTM)> ^ <DEPRECATED-Degree of Precision (ID)>

定義：このフィールドは装置ID(上記参照)で特定される機器によって、分析結果の生成と関連したタイムスタンプを転送するために用いられる。

© JAHIS 2012

7.12 QAK - query acknowledgment Segment 照会応答セグメント

QAKセグメントは問合せの応答と共に送られる情報である。QAKは拡張照会に対する応答の中で必要とされるセグメントであるが､オリジナルモードの照会に対するどんな応答メッセージの中でもERRセグメント(optional)の後にオプショナルセグメントとして表れてもよい。

HL7属性表－QAK－Query Acknowledgment 照会応答

SEQ	LEN	DT	OPT	Japan	RP/#	ITEM#	ELEMENT NAME
1	32	ST	C	C		00696	Query Tag 問合せタグ
2	2	ID	O	O		00708	Query Response Status 問合せ応答ステータス
3	250	CWE	O	O		01375	Message Query Name メッセージ問合せ名
4	10	NM	O	O		01434	Hit Count 合致データトータル数
5	10	NM	O	O		01622	This payload この応答中の合致データ数
6	10	NM	O	O		01623	Hits remaining 残りの合致データ数

QAK フィールド定義

QAK-1 Query tag 問合せタグ (ST) 00696

定義： 問合せを識別するために、問合せ側システムがこのフィールドに値を設定する。このフィールドは問合せメッセージと応答メッセージの組み合わせ照合に用いられる。もしこの値が存在するならば、応答システムは問合せ応答セグメント(QAK)の最初のフィールドとしてこの値を返す必要がある。このフィールドはMSA-2-message control IDとは異なる。その値はある問合せに関係した各メッセージ(すなわち、すべての継続するメッセージ)に対して一定である。一方、MSA-2-message control IDは継続するメッセージで変化するかもしれない。なぜなら、それは問合せ全体としてではなく独立したメッセージに関係するためである。オリジナルモードの照会の時、QAK-1-Query Tagは使用しない。

QAK-2 Query response status 問合せ応答ステータス (ID) 00708

定義： このフィールドは応答システムが正確な応答ステータスを返すためのものである。このフィールドは、特に問合せパラメータに合致するデータが見つからなかったが、エラーは発生しなかった場合に有効である。値はHL7 表0208 - Query response statusにて定義される。

HL7表 0208 - Query response status 問合せ応答ステータス

Value	Description
OK	Data found, no errors (this is the default) データ検出、エラーなし（デフォルト）
NF	No data found, no errors データ未検出、エラーなし
AE	Application error アプリケーションエラー
AR	Application reject アプリケーション拒絶

QAK-3 Message query name メッセージ問合せ名 (CWE) 01375

成分： <identifier (ST)> ^ <text (ST)> ^ <name of coding system (ID)> ^ <alternate identifier (ST)> ^ <alternate text (ST)> ^ <name of alternate coding system (ID)> ^ <Coding System Version ID (ST)> ^ <Alternate Coding System Version ID (ST)> ^ <Original Text (ST)>

定義： このフィールドは問合せの名称を含む。これらの名称は、機能ごとの章にて割当てられる。サイト固有の事象の場合、問合せ名は”Z”で始まる。 使用者定義表 0471 - Query nameを参照。

QAK-4 Hit Count Total 合致データトータル数 (NM) 01434

定義： このフィールドが用いられる場合、このフィールドはサーバが検出した問合せに対する合致データのトータル数を含む。表形式の応答(tabular response)では、これは検出した列の数に相当する。その他の応答タイプでは、Conformance Statementにて “合致”の意味を定義する。

QAK-5 This payload この応答中の合致データ数 (NM) 01622

定義： このフィールドが用いられる場合、このフィールドはサーバがカレントの応答の中で送る合致データの数を含む。継続プロトコルが応答伝達に用いられる場合、この数はQAK-4-Hit

© JAHIS 2012

count totalで送られる値とは一致しない。

QAK-6　Hits remaining　　残りの合致データ数　(NM) 01623

定義：　このフィールドが用いられる場合、このフィールドはサーバがまだ送っていない合致データの数を含む。このフィールドは、サーバが応答を伝達するのに継続プロトコルを用いる場合にのみ意味がある。

© JAHIS 2012

7.13 QPD - query parameter definition　照会パラメータ定義

QPDセグメントは照会のパラメータを定義する。

HL7属性表 – QPD – Query Parameter Definition 照会パラメータ定義

SEQ	LEN	DT	OPT	JAPAN	RP/#	ITEM#	ELEMENT NAME
1	250	CWE	R	R		01375	Message Query Name 照会メッセージ名
2	32	ST	C	C		00696	Query Tag 照会タグ
3-n	256	varies		C		01435	User Parameters (in successive fields) 使用者パラメータ

QPD フィールド定義

QPD-1　Message query name 照会メッセージ名 (CWE) 01375

成分：　<Identifier (ST)> ^ <Text (ST)> ^ <Name of Coding System (ID)> ^ <Alternate Identifier (ST)> ^ <Alternate Text (ST)> ^ <Name of Alternate Coding System (ID)> ^ <Coding System Version ID (ST)> ^ <Alternate Coding System Version ID (ST)> ^ <Original Text (ST)>

定義：　このフィールドは照会名を含む。これらの名前は、この仕様の機能に特定した章に指定されている。照会名に関しては、コンフォーマンス・ステートメントと一対一であり、実は、そのコンフォーマンス・ステートメントのための識別子である。サイトで定義した照会名は、文字「Z」から始まる。提案された値については、使用者定義表0471－照会名参照。

使用者定義表 0471 – Query name 照会名

Value	Description	Comment
	推奨値なし	

例）
患者情報照会メッセージ イベント(ZC0): ZC0^Get Patient Information^IOB_Qpd01
検査結果情報照会メッセージ イベント(ZB5): ZB5^Observation Reporting^IOB_Qpd01
患者基本属性照会メッセージ イベント(Q22): IHE PDQ Query
患者基本属性及び所在照会メッセージ イベント(ZV1): IHE PDVQ Query
検査依頼情報照会メッセージ イベント(WOS): WOS^Work Order Step^IHE_LABTF
ラベル情報照会メッセージ イベント(SLI): SLI^Specimen Labeling Instructions^IHE_LABTF

QPD-2　Query tag 照会タグ (ST)　00696

定義：このフィールドは、照会を識別するために開始するシステムによって値が入れられ、そして応答メッセージを起こされた照会に合わせるために使われる。もしこのフィールドの値が評価されれば、応答するシステムは、照会承認セグメント(QAK)の最初のフィールドとしてそれをエコーバックすることを要求される。

その値が照会に関係があるそれぞれのメッセージ(すなわちすべての継続メッセージ)では定数として残っているので、このフィールドは、MSA - 2 -メッセージ・コントロールIDと異なる。MSA - 2 -メッセージ・コントロールIDは、それが全体としての照会ではなく、それぞれの個々のメッセージに関係があるので、それぞれの継続メッセージによって異なるかもしれない。

[実装時の考慮：ソケットの返答メッセージだけが、今送られた照会に対して唯一の応答になる場合には、実装でこのフィールドに値を入れる必要がない。逆に、多くの照会、応答、および他のメッセージが、同じソケットを越えて双方向に伝えられる「非同期」の場合には、サーバがどちらの照会に答えているかをクライアントが知れるように、このフィールドに値が入ることが必須である。]

QPD-3　User parameters 使用者パラメータ (Varies)　01435

定義：これらの連続的なパラメーター・フィールドは、クライアントがサーバにパスする値を保持する。

クライアント・データは、一連のHL７フィールドとして存在する。QPD - 3 -ユーザー・パラメータから始まって、QPDセグメントの残っているフィールドは、ユーザー・パラメーター・データを伝える。それぞれのQPDユーザー・パラメーター・フィールドは、それぞれの名前、タイプ、オプション、および繰り返しが指定されている、コンフォーマンス・ステートメントで定義され

© JAHIS 2012

た１つのパラメータに相当する。これらのパラメータが通常共に“接続される(anded)”されると知られている一方で、ユーザは、適切にそれぞれを理解するために、要求されたコンフォーマンス・ステートメントを注意深く調べなくてはいけない。QSC別形を除いて、パラメータ名は照会で述べられる必要がなく、それらは、コンフォーマンス・ステートメントに基づいた位置にあると理解される。

それぞれのパラメーター・フィールドは、複雑なQIPおよびQSCタイプを含めて、どんな単一のデータタイプとしてでもコンフォーマンス・ステートメントに指定できる。パラメーター・フィールドは、また、以下のセクション5.4.5.3.1、および5.4.5.3.2で定義された、ソート・コントロール(SRT)フィールドあるいはセグメントグループ(ID)フィールドを含んでもよい。

QPDセグメントのパラメーター・フィールドは、コンフォーマンス・ステートメントのように同じオーダに現れる。

Query by example variantのためのQPD使用法の注意

注意: Query By Example: Query by exampleは、Query By Parameter(QBP)の拡張である。QBPの検索パラメータはそれらを運ぶセグメントのなかでそれらを送ることにより渡される。したがってQuery by exampleを用いて”find_candidates”問合せを実行したいならば、問合せパラメータでないフィールドは空のままでPIDかつ／またはPD1セグメントで検索するための情報を送るだろう。例えば、もし“宗教”が問合せパラメータの１つでなかったら、PIDが問合せで送られるときPID-17は空のままであろう。HL7メッセージのなかで自然に発生しないパラメータ—検索アルゴリズム、信頼レベル、など—はQPDセグメントの中で送られ続けるだろう。問合せパラメータとして使用するために利用できるセグメントとフィールドは、問合せのためのConformance Statementで宣言されるだろう。

QPD-1にて推奨したメッセージ問合せ名に対応するユーザ定義パラメータを以下に示す。

a) メッセージ問合せ名=WOS^Work Order Step^IHE_LABTF の場合

QPD Input Parameter Specification

Field Seq (Query ID=Znn)	Col Name	Key/ Search	Sort	LEN	TYPE	Opt	Rep	Match Op	TBL	Segment Field Name	Service Identifier Code	Element Name
1	MessageQuery Name			705	CWE	R						
2	QueryTag			32	ST	R						
3	Specimen Identification			80	EIP	C	Y	=		SPM-2		01756
4	Container Identification			80	EI	C	Y	=		SAC-3		01331
5	Carrier Identification			80	EI	C		=		SAC-10		01337
6	Position in Carrier			80	NA	C		=		SAC-11		01338
7	Tray Identification			80	EI	C		=		SAC-13		01340
8	Position in Tray			80	NA	C		=		SAC-14		01341
9	Location			705	CWE	C	Y	=		SAC-15		01342

b)メッセージ問合せ名=SLI^Specimen Labeling Instructions^IHE_LABTF　の場合

QPD Input Parameter Specification

Field Seq (Query ID=SLI)	Col Name	Key/ Search	Sort	LEN	TYPE	Opt	Rep	Match Op	TBL	Segment Field Name	Service Identifier Code	Element Name
1	MessageQuery Name			705	CWE	R						01375
2	QueryTag			32	ST	R						00696
3	Patient ID			80	CK	C		=		PID-3		00105
4	Patient Visit Number			80	CX	C		=		PV1-19		00149
5	Placer Group Number			80	EI	C		=		ORC-4		00218
6	Placer Order Number			80	EI	C		=		ORC-2		00216
7	Filler Order Number			80	EI	C		=		ORC-3		00217
8	Search Period			53	DR	C						

c)メッセージ問合せ名=ZC0^Get Patient Information^IOB_Qpd01の場合

QPD Input Parameter Specification

Field Seq (Query ID = ZRD)	Name	Key/ Search	Sort	LEN	TYPE	Opt	Rep	Match Op	TBL	Segment Field Name	Service Identifier Code	Element Name
1	Message Query Name			705	CWE	R						
2	Query Tag			32	ST	R						
3	Patient Identifier List	S		250	CX	R				PID.3		PID-3: Patient Identifier List

d)メッセージ問合せ名=ZB5^Observation Reporting^IOB_Qpd01の場合

QPD Input Parameter Specification

Field Seq (Query ID = ZRD)	Name	Key/ Search	Sort	LEN	TYPE	Opt	Rep	Match Op	TBL	Segment Field Name	Service Identifier Code	Element Name
1	Message Query Name			705	CWE	R						
2	Query Tag			32	ST	R						
3	Patient Identifier List	S		250	CX	O				PID.3		PID-3: Patient Identifier List
4	Universal Service Identifier	S			CWE	O				OBR.4		OBR-4: Universal Service Identifier
5	Ordering Provider List	S			XCN	O				ORC.12 OBR.16		ORC-12 / OBR-16: Ordering Provider
6	Report Date	S			TQ	O				OBX.14		OBX-14: Date/Time of the Observation
7	Collect Date	S			TQ	O				SPM.17-1		SPM-17: Specimen Collection Date/Time
8	Observe Result Status				ID	O				OBR-25		OBR-25: Result Status

© JAHIS 2012

e)メッセージ問合せ名=IHE PDQ Query　の場合

QPD Input Parameter Specification

Field Seq (Query ID=)	Col Name	Key/ Search	Sort	LEN	TYPE	Opt	Rep	Match Op	TBL	Segment Field Name	Service Identifier Code	Element Name
1	MessageQuery Name			705	CWE	R			**01375**			
2	QueryTag			32	ST	R			**00696**			
3	Demographics Fields			80	QIP	R						
8	What Domains Returned			80	CX	O						

f)メッセージ問合せ名=IHE PDVQ Query　の場合

QPD Input Parameter Specification

Field Seq (Query ID=)	Col Name	Key/ Search	Sort	LEN	TYPE	Opt	Rep	Match Op	TBL	Segment Field Name	Service Identifier Code	Element Name
1	MessageQuery Name			705	CWE	R			**01375**			
2	QueryTag			32	ST	R			**00696**			
3	Demographics Fields			80	QIP	R						
8	What Domains Returned			80	CX	O						

© JAHIS 2012

7.14 RCP - response control parameter segment　応答制御パラメータセグメント

RCPセグメントは、照会に対する応答で返送されるべきデータの、量を制限するために使われる。

HL7属性表 – RCP – Response Control Parameter 応答制御パラメータ

SEQ	LEN	DT	OPT	Japan	RP/#	ITEM#	ELEMENT NAME
1	1	ID	O	O		00027	Query Priority　問合せ優先度
2	10	CQ	O	O		00031	Quantity Limited Request　量限定要求
3	250	CWE	O	O		01440	Response Modality　応答モダリティ
4	26	TS	C	N		01441	Execution and Delivery Time　実行伝達時間
5	1	ID	O	N		01443	Modify Indicator　修正フラグ
6	512	SRT	O	N	Y	01624	Sort-by Field　フィールドごとのソート制御
7	256	ID		O	Y	01594	Segment group inclusion　セグメントグループ包含

RCP フィールド定義

RCP-1　Query Priority 照会優先度　(ID)　00027

定義：このフィールドは応答が期待されるタイムフレームが含まれる。

提案される値については、HL7表0091－照会優先度を参照。表値とその後のフィールドは、応答のためのタイムフレームを指定する。

HL7表 0091 - Query priority 照会優先度

Value	Description	Comment
D	Deferred	
I	Immediate	

RCP-2　Quantity limited request　数量限定要求　(ID)　00031

成分：　<Quantity (NM)> ^ <Units (CWE)>

副成分 for Units (CWE):　<identifier (ST)> ^ <text (ST)> ^ <name of coding system (ID)> ^ <alternate identifier (ST)> ^ <alternate text (ST)> ^ <name of alternate coding system (ID)> ^ <coding system version ID (ST)> ^< alternate coding system version ID (ST)> ^ <original text (ST)>

定義：このフィールドは、要求しているシステムにより受け入れられる応答の最大長が含まれる。有効な入力は、第2のコンポーネントで指定されたユニットで与えられる数値(最初のコンポーネントに)である。デフォルトはLI（ライン）。

第2のコンポーネントの有効なエントリーは、HL7表0126 －数量制限要求を参照。セグメントパターン応答では、ラインは1つのセグメントとして定義される。

HL7表 0126 - Quantity limited request 数量制限要求

Value	Description	Message Usage	Comment
CH	Characters	RSP/RTB/RDY	Used where size of input buffer has limitations
LI	Lines	RTB/RDY	
PG	Pages	RDY	
RD	Records	RSP/RTB/RDY	In RSP record = hit
ZO	Locally defined		

例）1RD

RCP-3　Response Modality 応答様式　(CWE)　01440

成分：　<identifier (ST)> ^ <text (ST)> ^ <name of coding system (ID)> ^ <alternate identifier (ST)> ^ <alternate text (ST)> ^ <name of alternate coding system (ID)> ^ <coding system version ID (ST)> ^< alternate coding system version ID (ST)> ^ <original text (ST)>

定義：このフィールドは、応答メッセージのタイミングとグルーピングを指定する。有効な値については、HL7表0394－応答形式を参照。

HL7表 0394 – Response modality 応答様式

Value	Description
R	Real Time

© JAHIS 2012

Value	Description
T	Bolus (a series of responses sent at the same time without use of batch formatting)
B	Batch

RCP-4 Execution and Delivery Time 実行及び配送時間 (TS) 01441

成分： <Time (DTM)> ^ <DEPRECATED-Degree of Precision (ID)>

返送される応答の時間を指定する。このフィールドは、RCP-1照会優先度がD (遅延)の値の時に限り、評価される（値が入れられる）

RCP-5 Modify Indicator 変更表示子 (ID) 01443

定義：このフィールドは、申し込みが新しいものか、あるいは変更がされつつあるのかを指定する。有効な値については、HL7表0395－変更インジケータを参照。

HL7表 0395 – Modify indicator 変更指示子

Value	Description	Comment
N	New Subscription	
M	Modified Subscription	

RCP-6 Sort-by Field ソートするフィールド (SRT) 01624

成分： <Sort-by Field (ST)> ^ <Sequencing (ID)>

定義： 表になっている返答を求める照会のために、このフィールドは、どちらのフィールドによって、応答がソートされるかということ、そして、区分けをする順序を指定する。QSC別形が用いられていないときに、このフィールドの最初のコンポーネントのために指定された値は、アウトプット仕様および注釈のColNameフィールドから引き出される。セクション5.3.3.1を参照。QSC別形が使われるときには、これらの値はインプット／アウトプット仕様および注釈のColNameフィールドから引き出される。例についてはセクション5.9.4.1を参照。

このフィールドのそれぞれの繰り返しは、1つのソート・フィールドを指定する。このように、このフィールドの最初の繰り返しは、第一次的なソート・フィールドを指定する; 第2の繰り返しは、第二次的なソート・フィールドを指定する; etc。.

RCP-7 Segment Group Inclusion セグメントグループ包含 (ID) 01594

定義：応答に含まれるオプション・セグメント・グループを指定する。セグメントグループの値については、HL7表0391－セグメントグループを参照。これは、複数のセグメントグループを含めるための繰り返しフィールドである。このフィールドのデフォルト（表されていない）は、すべての関連するグループが含まれることを意味する。.

注：セグメントグループのためのコードは、HL7表0391から取り出されるが、セグメントグループ（e.g. PIDG）の正確なセグメント-レベルの定義は、そのセグメントグループが現れる、その照会のコンフォーマンス・ステートメントの中だけから与えられる。.

例：

HL7表 0391 – Segment group セグメントグループ

Value	Description	Comment
PIDG	PID group	
OBRG	OBR group	
ORCG	ORC group	
RXAG	RXA group	
RXDG	RXD group	
RXEG	RXE group	
RXOG	RXO group	
Etc		

注： HL７表0391－セグメントグループは、現在、HL7によって定義されたいかなる値も含まない。値はHL7技術委員会によって投票により同意されたものがコンフォーマンス・ステートメント中にあるので、それらがこの表に含まれるだろう。.

© JAHIS 2012

7.15 MSA - Message Acknowledgment Segment メッセージ応答セグメント

MSAセグメントは、送られた他のメッセージの受諾応答の情報からなる。

HL7 属性表 - MSA - Message Acknowledgment メッセージ応答セグメント

SEQ	LEN	DT	OPT	Japan	RP/#	ITEM #	ELEMENT NAME
1	2	ID	R	R		00018	Acknowledgment Code 応答コード
2	20	ST	R	R		00010	Message Control ID メッセージ制御 ID
3	80	ST	B	B		00020	Text Message テキストメッセージ
4	15	NM	O	O		00021	Expected Sequence Number 予想シーケンス
5			W	W		00022	Delayed Acknowledgment Type 遅延応答タイプ
6	250	CWE	B	B		00023	Error Condition エラー状態

MSA フィールド定義

MSA-1 Acknowledgment Code 応答コード (ID) 00018

定義： このフィールドでは応答コードを含んでおり、メッセージ処理規則に従っている。HL7表0008－応答コードを参照。

HL7表 0008 - Acknowledgment code 応答コード

Value	Description	Comment
AA	基本モード：アプリケーション受諾 拡張モード：アプリケーション応答：受諾	
AE	基本モード：アプリケーションエラー 拡張モード:アプリケーション応答:エラー	
AR	基本モード:アプリケーションリジェクト 拡張モード:アプリケーション応答:リジェクト	
CA	拡張モード:受諾応答:コミット受諾	
CE	拡張モード:受諾応:コミットエラー	
CR	拡張モード:受諾応:コミットリジェクト	

MSA-2 Message Control ID メッセージ制御ID （ST） 00010

定義 : このフィールドは送信システムから送られてきたメッセージのメッセージ制御IDを含んでいる。送信システムは、この応答と、それが目的とするメッセージを関連づける。

MSA-3 Text Message テキストメッセージ （ST） 00020

定義： エラー条件をより詳細に記述するオプションのテキストフィールド。このテキストは、エラーログに印刷するか、あるいはエンドユーザに提示することができる。

MSA-3はHL7 V2.4で否定された。ERRセグメントを参照して頂きたい。ERRセグメントはエラー状況についてより詳細な記述がされている。

MSA-4 Expected Sequence Number 期待されるシーケンス番号 （NM） 00021

定義： シーケンス番号プロトコルで使用するオプションの数値フィールド。

MSA-5 Delayed Acknowledgment Type 遅延応答タイプ （ID） 00022

注意: MSA-5はHL7 V2.2で否定されたので、詳細はHL7 V2.5の規格からは削除されている。

MSA-6 Error Condition エラー条件 （CWE） 00023

成分： <identifier (ID)> ^ <text (ST)> ^ <name of coding system (ST)> ^ <alternate identifier (ID)> ^ <alternate text (ST)> ^ <name of alternate coding system (ST)>

※エラーコードに関しては両者間で調整の上用いる。

定義：このフィールドは、応答システムがAR、AE型の応答を使用者定義エラーコードによりさらに詳細に指定するためにある。

© JAHIS 2012

MSA-6はHL7 V2.4で否定された。ERRセグメントを参照して頂きたい。ERRセグメントはエラー状況についてより詳細な記述が可能である。

有効な値はHL7表0357 – メッセージエラー条件コードを参照。

© JAHIS 2012

7.16 ERR - Error Segment　エラーセグメント

ERRセグメントを使用して、エラーコメントを応答メッセージに加える。

HL7 属性表 - ERR - エラーセグメント

SEQ	LEN	DT	OPT	Japan	RP#	ITEM #	ELEMENT NAME
1	493	ELD	B	B	Y	00024	Error Code and Location エラーコードと位置
2	18	ERL	O	O	Y	01812	Error Location エラー位置
3	705	CWE	R	R		01813	HL7 Error Code HL7 エラーコード
4	2	ID	R	R		01814	Severity 影響度
5	705	CWE	O	O		01815	Application Error Code アプリケーションエラーコード
6	80	ST	O	O	Y/10	01816	Application Error Parameter アプリケーションエラーパラメータ
7	2048	TX	O	O		01817	Diagnostic Information 診断情報
8	250	TX	O	O		01818	User Message ユーザメッセージ
9	20	IS	O	O	Y	01819	Inform Person Indicator 人への通知指標
10	705	CWE	O	O		01820	Override Type 無効型
11	705	CWE	O	O	Y	01821	Override Reason Code 無効理由コード
12	652	XTN	O	O	Y	01822	Help Desk Contact Point ヘルプデスクコンタクトポイント

ERR フィールド定義

ERR-1　Error Code and Location エラーコードとロケーション　(ELD)　00024

成分：　<Segment ID (ST)> ^ <Segment Sequence (NM)> ^ <Field Position (NM)> ^ <Code Identifying Error (CWE)>

副成分 for Code Identifying Error (CWE):　<Identifier (ST)> & <Text (ST)> & <Name of Coding System (ID)> & <Alternate Identifier (ST)> & <Alternate Text (ST)> & <Name of Alternate Coding System (ID)>

定義：このフィールドは別のメッセージ内の誤ったセグメントを識別する。V2.5のみにおいて旧バージョンとの互換性のためにのみ残されている:ERR-2とERR-3を代わりに参照。

有効な値についてはHL7表0357 –メッセージエラー条件コードを参照。

ERR-2　Error Location エラー位置　(ERL)　01812

成分：　<Segment ID (ST)> ^ <Segment Sequence (NM)> ^ <Field Position (NM)> ^ <Field Repetition (NM)> ^ <Component Number (NM)> ^ <Sub-Component Number (NM)>

定義:識別されたエラー、警告、もしくはメッセージに関係するメッセージ内の位置を識別する。もし複数の反復が存在した場合、エラーは場所を組み合わせた値に起因する。

ERR-3　HL7 Error Code　HL7エラーコード　(CWE)　01813

成分：　<Identifier (ST)> ^ <Text (ST)> ^ <Name of Coding System (ID)> ^ <Alternate Identifier (ST)> ^ <Alternate Text (ST)> ^ <Name of Alternate Coding System (ID)> ^ <Coding System Version ID (ST)> ^ <Alternate Coding System Version ID (ST)> ^ <Original Text (ST)>

定義：HL7(コミュニケーション)エラーコードを識別する。有効な値についてはHL7表0357 –メッセージエラー条件コードを参照。

HL7表 0357 – Message error condition codes メッセージエラー条件コード

Value	Description	Comment
0	Message accepted メッセージ受諾	Success. Optional, as the AA conveys success. Used for systems that must always return a status code. 成功。オプションでは、AA が成功を伝えるだけ。常時状態コードを返す必要があるシステムのために利用される
100	Segment sequence error セグメントシーケンスエラー	Error: The message segments were not in the proper order, or required segments are missing. エラー:メッセージセグメントが適当な順番でないか、要求されたセグメントが失われている
101	Required field missing 要求されたフィールドの消失	Error: A required field is missing from a segment エラー:要求されたセグメントが消失している
102	Data type error データ型エラー	Error: The field contained data of the wrong data type, e.g. an NM field contained "FOO". エラー:フィールドが不正なエラーを含んでいる。例えば、NM フィールドが"FOO"を含んでいる
103	Table value not found 表	Error: A field of data type ID or IS was compared against the corresponding table, and no match

© JAHIS 2012

Value	Description	Comment
	の値が見つからない	was found. エラー: データ型 ID か IS のフィールドが対応する表と比較され、合致するものが無い
200	Unsupported message type 提供されていないメッセージ型	Rejection: The Message Type is not supported. 却下:そのメッセージ型は提供されていない
201	Unsupported event code 提供されていない事象コード	Rejection: The Event Code is not supported. 却下:その事象コードは提供されていない
202	Unsupported processing id 提供されていない処理 ID	Rejection: The Processing ID is not supported. 却下:その処理 ID は提供されていない
203	Unsupported version id 提供されていないバージョン ID	Rejection: The Version ID is not supported. 却下:そのバージョン ID は提供されていない
204	Unknown key identifier 不明なキー識別子	Rejection: The ID of the patient, order, etc., was not found. Used for transactions other than additions, e.g. transfer of a non-existent patient. 却下: 患者、オーダ等の ID が見つからない。付加以外ではトランザクションに用いられる。例えば、存在しない患者の転送
205	Duplicate key identifier キー識別子の重複	Rejection: The ID of the patient, order, etc., already exists. Used in response to addition transactions (Admit, New Order, etc.). 却下:患者やオーダ等の ID が既に存在している。付加トランザクションの応答で用いられる（許可、新オーダ等）
206	Application record locked アプリケーションレコードがロックされている	Rejection: The transaction could not be performed at the application storage level, e.g., database locked. トランザクションが、アプリケーション格納レベルで実行することができなかった（例えば、データベースのロック）
207	Application internal error アプリケーション内部エラー	Rejection: A catchall for internal errors not explicitly covered by other codes. 却下: 他のコードで明示的に対象としていない、包括的な内部エラー用

ERR-4 Severity 影響度 (ID) 01814

定義：アプリケーションエラーの影響度を識別する。もし何かがエラーであるとわかると、警告や情報にアプリケーションがそのエラー内容に対処する方法が示される。有効な値はHL7表0516 – エラー影響度を参照。もしERR-3の値が”0”の場合、ERR-4の値は”I”となる。

例:警告は、注意すべきことがあるが、それは自動的に処理されず、さらに情報が消失してしまったこと示すために使われる。

情報の例:要求を受理した際、受理者は下限値の範囲内であることを示してよい。

HL7表 0516 – Error severity エラー影響度

Value	Description	Comment
W	Warning 警告	Transaction successful, but there may issues トランザクションは成功したが、何か問題がある
I	Information 情報	Transaction was successful but includes information e.g., inform patient トランザクションは成功したが、何か情報を含む、例）患者へ伝えるべき情報
E	Error エラー	Transaction was unsuccessful トランザクションが失敗した。

ERR-5 Application Error Code アプリケーションエラーコード (CWE) 01815

成分： <Identifier (ST)> ^ <Text (ST)> ^ <Name of Coding System (ID)> ^ <Alternate Identifier (ST)> ^ <Alternate Text (ST)> ^ <Name of Alternate Coding System (ID)> ^ <Coding System Version ID (ST)> ^ <Alternate Coding System Version ID (ST)> ^ <Original Text (ST)>

定義：発生した特定のエラーを識別するためのアプリケーション特定のコード。推奨値は使用者定義表0533 –アプリケーションエラーコードを参照。

もしコードと関連するメッセージにパラメータがある場合、メッセージは java .text.MessageFormat approachフォーマットで表されることが推奨されている。このスタイルはパラメータ型の情報に数値、データ、時間を供給することができ、それらは言語に合わせて適当にフォーマットされる。

使用者定義表 0533 – アプリケーションエラーコード

Value	Description	Comment
	推奨値なし	

ERR-6 Application Error Parameter アプリケーションエラーパラメータ (ST) 01816

定義：特別なエラー条件／警告／その他を理解するために、アプリケーションエラーコードと共に付加される追加情報。このフィールドは最大10パラメータまで反復が可能である。

例：ERR-5で指定されているアプリケーションエラーコードが英語のメッセージ”この患者は、{1,日付、媒体}までの期間、｛0,数字、通貨単位}の免責を受けることができる”と一致し、ERR-6の最初の2つの反復が”250”と”20021231”であった場合、アメリカの受信アプリケーションは”この患者は2002年12月31日までの期間、250ドルの免責をうけることができる”というメッセージを表示する。

ERR-7 Diagnostic Information 診断情報 (TX) 01817

定義：ヘルプデスクや、問題を診断するサポート人物によって使われる情報。

ERR-8 User Message ユーザメッセージ (TX) 01818

定義：アプリケーションユーザに対して表示されるテキストメッセージ。

例：

｜このプログラムは他のシステムとの通信トラブルがあります。ヘルプデスクに連絡して下さい。｜

これは実際のエラーコードと違い、より詳細な診断情報を提供する。

ERR-9 Inform Person Indicator 人への通知指標 (IS) 01819

定義：誰(だれでも)に対してエラーを知らせるかを示すコード。このフィールドはまた、特定の人物にエラーを知らせてはいけない場合にも使用される（患者に知らせてはいけない場合など）。推奨値は使用者定義表0517-情報人物コードを参照。

使用者定義表 0517- Inform person code 情報人物コード

Value	Description	Comment
PAT	Inform patient 患者に知らせる	
NPAT	Do NOT inform patient 患者に知らせてはいけない	
USR	Inform User ユーザに知らせる	
HD	Inform help desk ヘルプデスクに知らせる	

ERR-10 Override Type 無効型 (CWE) 01820

成分： <Identifier (ST)> ^ <Text (ST)> ^ <Name of Coding System (ID)> ^ <Alternate Identifier (ST)> ^ <Alternate Text (ST)> ^ <Name of Alternate Coding System (ID)> ^ <Coding System Version ID (ST)> ^ <Alternate Coding System Version ID (ST)> ^ <Original Text (ST)>

定義：特定のエラーを無効にする際に使われる無効型を識別する。推奨値は使用者定義表0518 – 無効型を参照。

使用者定義表 0518 – Override type 無効型

Value	Description	Comment
EXTN	Extension Override 拡張無効	Identifies an override where a service is being performed for longer than the ordered period of time. 命令された期間より長くサービスを実行する際に指定する無効
INLV	Interval Override 間隔無効	Identifies an override where a repetition of service is being performed sooner than the ordered frequency. 命令された間隔よりも早くサービスの反復を実行する際に指定される無効
EQV	Equivalence Override 等価無効	Identifies an override where a service is being performed against an order that the system does not recognize as equivalent to the ordered service. システムが事前に命令されたサービスと等価であると認識できない命令を実行する際に指定される無効

© JAHIS 2012

ERR-11　Override Reason Code 無効理由コード　(CWE)　01821

成分：　<Identifier (ST)> ^ <Text (ST)> ^ <Name of Coding System (ID)> ^ <Alternate Identifier (ST)> ^ <Alternate Text (ST)> ^ <Name of Alternate Coding System (ID)> ^ <Coding System Version ID (ST)> ^ <Alternate Coding System Version ID (ST)> ^ <Original Text (ST)>

定義 : エラーを発生させたアプリケーション規則を無効にした際に使われた無効コードのリストを提供する。推奨値は使用者定義表 0519－無効理由を参照。

使用者定義表 0519－Override reason 無効理由

Value	Description	Comment
	推奨値なし	

ERR-12　Help Desk Contact Point ヘルプデスクコンタクトポイント　(XTN)　01822

成分：　<DEPRECATED-Telephone Number (ST)> ^ <Telecommunication Use Code (ID)> ^ <Telecommunication Equipment Type (ID)> ^ <Email Address (ST)> ^ <Country Code (NM)> ^ <Area/City Code (NM)> ^ <Local Number (NM)> ^ <Extension (NM)> ^ <Any Text (ST)> ^ <Extension Prefix (ST)> ^ <Speed Dial Code (ST)> ^ <Unformatted Telephone number　(ST)>

定義：特定のエラーに関係するヘルプデスクサポートの電話、Eメール、ファックスその他関係のある番号のリスト。

© JAHIS 2012

7.17 EVN - Event Type Segment 事象型セグメント

EVNセグメントは受信アプリケーションに必要なトリガイベント情報を通知するときに使用する。

HL7属性表- EVN – Event Type 事象型

SEQ	LEN	DT	OPT	Japan	RP/#	ITEM#	ELEMENT NAME
1	3	ID	B	B		00099	Event Type Code　事象型コード
2	26	TS	R	R		00100	Recorded Date/Time　事象記録日時
3	26	TS	O	C		00101	Date/Time Planned Event　事象計画日時
4	3	IS	O	O		00102	Event Reason Code　事象理由コード
5	250	XCN	O	O	Y	00103	Operator ID　操作者 ID
6	26	TS	O	C		01278	Event Occurred　事象発生日時
7	241	HD	O	RE		01534	Event Facility　事象施設

EVN フィールド定義

EVN-1　Event Type Code　事象型コード　(ID)　00099

定義 : このフィールドは旧バージョンとの互換性のためにのみ残されている。事象型コード情報の伝達のためには、「MSH-9メッセージ型」の2番目の成分（トリガイベント）を用いることが推奨される。このフィールドは、入院、転科転棟、または患者登録などのトリガイベントに相当する事象からなる。有効な値についてはHL7表003を参照のこと。

EVN-2　Recorded Date/Time 事象記録日時　(TS)　00100

成分：　<Time (DTM)> ^ <Degree of Precision (ID)>

定義 : 殆どのシステムではトランザクションが入力されたシステム日時をデフォルトとしているが、上書きすることも許可されている。

EVN-3　Date/Time Planned Event 事象計画日時 (TS)　00101

成分：　<Time (DTM)> ^ <Degree of Precision (ID)>

定義：このフィールドはこの事象が計画された日時からなる。PV2-8 予定入院日時、PV2-9予定退院日時、PV2-47予定帰院日時の場合できる限り使用するよう推奨する。

EVN-4　Event Reason Code 事象理由コード　(IS)　00102

定義：このフィールドはこの事象についての理由からなる。推奨値は使用者定義表0062-事象理由を参照。

使用者定義表 0062 - Event reason 事象理由

Value	Description	Comment
01	Patient request　患者の要求	
02	Physician/health practitioner order　医者／医療提供者のオーダ	
03	Census management　調査管理	
O	Other　その他	
U	Unknown　不明	

EVN-5　Operator ID 操作者ID　(XCN)　00103

成分：　<ID Number (ST)> ^ <Family Name (FN)> ^ <Given Name (ST)> ^ <Second and Further Given Names or Initials Thereof (ST)> ^ <Suffix (e.g., JR or III) (ST)> ^ <Prefix (e.g., DR) (ST)> ^ <Degree (e.g., MD) (IS)> ^ <Source Table (IS)> ^ <Assigning Authority (HD)> ^ <Name Type Code (ID)> ^ <Identifier Check Digit (ST)> ^ <Check Digit Scheme (ID)> ^ <Identifier Type Code (ID)> ^ <Assigning Facility (HD)> ^ <Name Representation Code (ID)> ^ <Name Context

© JAHIS 2012

(CWE)> ^ <Name Validity Range (DR)> ^ <Name Assembly Order (ID)> ^ <Effective Date (TS)> ^ <Expiration Date (TS)> ^ <Professional Suffix (ST)> ^ < Assigning Jurisdiction (CWE)> ^ < Assigning Agency or Department (CWE)>

副成分 for Family Name (FN): <Surname (ST)> & <Own Surname Prefix (ST)> & <Own Surname (ST)> & <Surname Prefix From Partner/Spouse (ST)> & <Surname From Partner/Spouse (ST)>

副成分 for Assigning Authority (HD): <Namespace ID (IS)> & <Universal ID (ST)> & <Universal ID Type (ID)>

副成分 for Assigning Facility (HD): <Namespace ID (IS)> & <Universal ID (ST)> & <Universal ID Type (ID)>

副成分 for Name Context (CWE): <identifier (ST)> ^ <text (ST)> ^ <name of coding system (ID)> ^ <alternate identifier (ST)> ^ <alternate text (ST)> ^ <name of alternate coding system (ID)> ^ <coding system version ID (ST)> ^< alternate coding system version ID (ST)> ^ <original text (ST)>

副成分 for Name Validity Range (DR): <Range Start Date/Time (TS)> & <Range End Date/Time (TS)>

副成分 for Range Start Date/Time (TS): <Time (DTM)> & <Degree of Precision (ID)>

副成分 for Range End Date/Time (TS): <Time (DTM)> & <Degree of Precision (ID)>

副成分 for Effective Date (TS): <Time (DTM)> & <Degree of Precision (ID)>

副成分 for Expiration Date (TS): <Time (DTM)> & <Degree of Precision (ID)>

副成分 for Assigning Jurisdiction (CWE): <Identifier (ST)> & <Text (ST)> & <Name of Coding System (ID)> & <Alternate Identifier (ST)> & <Alternate Text (ST)> & <Name of Alternate Coding System (ID)> & <Coding System Version ID (ST)> & <Alternate Coding System Version ID (ST)> & <Original Text (ST)>

副成分 for Assigning Agency or Department (CWE): <Identifier (ST)> & <Text (ST)> & <Name of Coding System (ID)> & <Alternate Identifier (ST)> & <Alternate Text (ST)> & <Name of Alternate Coding System (ID)> & <Coding System Version ID (ST)> & <Alternate Coding System Version ID (ST)> & <Original Text (ST)>

定義：このフィールドはトリガイベントに対して責任のある個人を識別する。推奨値は使用者定義表0188-操作者IDを参照。

使用者定義表0188 - Operator ID 操作者ID

Value	Description	Comment
	推奨値なし	

EVN-6 Event Occurred 事象発生日時 (TS) 01278

成分： <Time (DTM)> ^ <Degree of Precision (ID)>

定義：このフィールドは事象が実際に発生した日時からなる。例えば、転科転棟（A02転科転棟）で、このフィールドは実際に患者が転科転棟した日時からなる。取消事象で、このフィールドは実際に取消が発生した日時からなる。

EVN-7 Event Facility 事象施設 (HD) 01534

成分： <Namespace ID (IS)> ^ <Universal ID (ST)> ^ <Universal ID Type (ID)>

定義：このフィールドはその事象が発生した実際の施設を識別しメッセージを送信した施設（MSH-4）と区別される。おそらく操作者（EVN-5）がその事象を入力した施設である。

使用例：システムAはその患者が最初に登録されたところにある。この登録メッセージはMPI、システムBに送信される。MPIはこの更新事象を同報する必要があり、送信施設となる。この新しいフィールドにより事象が発生した最初の施設情報を保持することができる。MPIは最初の事象発生施設について権限割当機能を実行しているといえるID番号について権限を割り当てることができる。

© JAHIS 2012

7.18 ROL - Role Segment 役割セグメント

役割セグメントは個人に関連したレコードの追加、更新、修正、削除はもちろん、それらの伝達されるアクティビティについての機能的関連性にも、必要なデータからなる。

HL7属性表 - ROL - Role 役割

SEQ	LEN	DT	OPT	Japan	RP/#	ITEM #	ELEMENT NAME
1	60	EI	C	C		01206	Role Instance ID 役割実体 ID
2	2	ID	R	R		00816	Action Code アクションコード
3	250	CWE	R	R		01197	Role-ROL 役割
4	250	XCN	R	R	Y	01198	Role Person 役割者
5	26	TS	O	O		01199	Role Begin Date/Time 役割開始日時
6	26	TS	O	O		01200	Role End Date/Time 役割終了日時
7	250	CWE	O	O		01201	Role Duration 役割継続時間
8	250	CWE	O	O		01205	Role Action Reason 役割行為理由
9	250	CWE	O	O	Y	01510	Provider Type 提供者タイプ
10	250	CWE	O	O		01461	Organization Unit Type 組織単位タイプ
11	250	XAD	O	O	Y	00679	Office/Home Address/Birthplace 職場／自宅住所／出生地
12	250	XTN	O	O	Y	00678	Phone 電話

ROL フィールド定義

ROL-1 Role instance ID 役割実体ID (EI) 01206

成分： <Entity Identifier (ST)> ^ <Namespace ID (IS)> ^ <Universal ID (ST)> ^ <Universal ID Type (ID)>

定義：このフィールドは特定の役割レコードの一意な識別子からなる。

条件適応規則：患者ケアと人事管理メッセージで使用されるときこのフィールドは必要である。ADTと財務メッセージで使用されるときこのフィールドはオプションである。

ROL-2 Action code アクションコード (ID) 00816

定義：このフィールドはメッセージの意図を明確にする。取りうる値はHL7表0287 –プロブレム／ゴールアクションコードを参照。

ROL-3 Role-ROL 役割 (CWE) 01197

成分： <Identifier (ST)> ^ <Text (ST)> ^ <Name of Coding System (ID)> ^ <Alternate Identifier (ST)> ^ <Alternate Text (ST)> ^ <Name of Alternate Coding System (ID)> ^ <Coding System Version ID (ST)> ^ <Alternate Coding System Version ID (ST)> ^ <Original Text (ST)>

定義:このセグメントは伝達されるアクティビティについての機能的関連性を識別する（例えば、ケースマネージャー、評価者、記録者、看護従事者、助産婦、副医師、など）。取りうる値は使用者定義表0443 – 提供者の役割を参照。ROLセグメントがPV1セグメントにおける主治医、紹介医師、入院許可医師に関して使用されるとき、HL7特定の表を使用すべきである。付加的サイトでは相互に打ち合わせた値が可能である。

注：表0443は表0286と同様の使用や同様の値を持つと思われるが、より一般的な概念を支援するものである。

使用者定義表0443 - Provider role 提供者の役割

Value	Description	Used with
AD	Admitting 入院許可	PV1-17 Admitting doctor 入院許可医師
AT	Attending 治療・看護担当	PV1-7 Attending doctor 主治医
CP	Consulting Provider コンサルティング提供者	
FHCP	Family Health Care Professional 家庭医専門者	
PP	Primary Care Provider プライマリケア提供者	
RP	Referring Provider 紹介提供者	PV1-8 Referring doctor 紹介医師
RT	Referred to Provider 紹介受託者	

* ADTと財務メッセージにおけるROLセグメントの位置づけは関連性を識別することである。セグメントがIN3に続いて使用されるとき、そして役割-ROLの値がPP あるいはFHCPであるとき、

© JAHIS 2012

PP あるいはFHCPは医療計画に関係している。セグメントがPIDに続いて使用されるとき、そして役割-ROLの値がPP あるいはFHCPであるとき、PP あるいはFHCPは個人に関係している。セグメントがPV2に続いて使用されるとき、そして役割-ROLの値がPCP（訳注：PPの誤記） あるいはFHCPであるとき、PP あるいはFHCPは来院に関係している。

ROL-4 Role person 役割者 (XCN) 01198

成分： <ID Number (ST)> ^ <Family Name (FN)> ^ <Given Name (ST)> ^ <Second and Further Given Names or Initials Thereof (ST)> ^ <Suffix (e.g., JR or III) (ST)> ^ <Prefix (e.g., DR) (ST)> ^ <DEPRECATED-Degree (e.g., MD) (IS)> ^ <Source Table (IS)> ^ <Assigning Authority (HD)> ^ <Name Type Code (ID)> ^ <Identifier Check Digit (ST)> ^ <Check Digit Scheme (ID)> ^ <Identifier Type Code (ID)> ^ <Assigning Facility (HD)> ^ <Name Representation Code (ID)> ^ <Name Context (CWE)> ^ <DEPRECATED-Name Validity Range (DR)> ^ <Name Assembly Order (ID)> ^ <Effective Date (TS)> ^ <Expiration Date (TS)> ^ <Professional Suffix (ST)> ^ <Assigning Jurisdiction (CWE)> ^ <Assigning Agency or Department (CWE)>

副成分 for Family Name (FN): <Surname (ST)> & <Own Surname Prefix (ST)> & <Own Surname (ST)> & <Surname Prefix From Partner/Spouse (ST)> & <Surname From Partner/Spouse (ST)>

副成分 for Assigning Authority (HD): <Namespace ID (IS)> & <Universal ID (ST)> & <Universal ID Type (ID)>

副成分 for Assigning Facility (HD): <Namespace ID (IS)> & <Universal ID (ST)> & <Universal ID Type (ID)>

副成分 for Name Context (CWE): <identifier (ST)> ^ <text (ST)> ^ <name of coding system (ID)> ^ <alternate identifier (ST)> ^ <alternate text (ST)> ^ <name of alternate coding system (ID)> ^ <coding system version ID (ST)> ^< alternate coding system version ID (ST)> ^ <original text (ST)>

副成分 for DEPRECATED-Name Validity Range (DR): <Range Start Date/Time (TS)> & <Range End Date/Time (TS)>

Note subcomponent contains sub-subcomponents

副成分 for Effective Date (TS): <Time (DTM)> & <DEPRECATED-Degree of Precision (ID)>

副成分 for Expiration Date (TS): <Time (DTM)> & <DEPRECATED-Degree of Precision (ID)>

副成分 for Assigning Jurisdiction (CWE): <Identifier (ST)> & <Text (ST)> & <Name of Coding System (ID)> & <Alternate Identifier (ST)> & <Alternate Text (ST)> & <Name of Alternate Coding System (ID)> & <Coding System Version ID (ST)> & <Alternate Coding System Version ID (ST)> & <Original Text (ST)>

副成分 for Assigning Agency or Department (CWE): <Identifier (ST)> & <Text (ST)> & <Name of Coding System (ID)> & <Alternate Identifier (ST)> & <Alternate Text (ST)> & <Name of Alternate Coding System (ID)> & <Coding System Version ID (ST)> & <Alternate Coding System Version ID (ST)> & <Original Text (ST)>

定義：このフィールドは伝達されている役割を担当している人の識別からなる。このフィールドはSTF-2職員IDコードとSTF-3職員名に相互に関連する。

ROL-5 Role begin date/time 役割開始日時 (TS) 01199

成分： <Time (DTM)> ^ <DEPRECATED-Degree of Precision (ID)>

定義：このフィールドは役割が開始された日時からなる。

ROL-6 Role end date/time 役割終了日時 (TS) 01200

成分： <Time (DTM)> ^ <DEPRECATED-Degree of Precision (ID)>

定義：このフィールドは役割を終えた日時からなる。

ROL-7 Role duration 役割継続期間 (CWE) 01201

成分： <Identifier (ST)> ^ <Text (ST)> ^ <Name of Coding System (ID)> ^ <Alternate Identifier (ST)> ^ <Alternate Text (ST)> ^ <Name of Alternate Coding System (ID)> ^ <Coding System Version ID (ST)> ^ <Alternate Coding System Version ID (ST)> ^ <Original Text (ST)>

定義：このフィールドは役割の履行についての質的時間長からなる（例えば、次のアセスメントまで、４日間、退院まで、など）。

ROL-8 Role action reason 役割の行動理由 (CWE) 01205

成分： <Identifier (ST)> ^ <Text (ST)> ^ <Name of Coding System (ID)> ^ <Alternate Identifier (ST)> ^ <Alternate Text (ST)> ^ <Name of Alternate Coding System (ID)> ^ <Coding System Version ID (ST)> ^ <Alternate Coding System Version ID (ST)> ^ <Original Text (ST)>

定義：このフィールドはなぜ個人がこの役割を担当（あるいは変更）しているかの理由を識別する（例えば、シフト変更、新規主看護婦、など）。

ROL-9 Provider type 提供者タイプ (CWE) 01510

成分： <Identifier (ST)> ^ <Text (ST)> ^ <Name of Coding System (ID)> ^ <Alternate Identifier (ST)> ^ <Alternate Text (ST)> ^ <Name of Alternate Coding System (ID)> ^ <Coding System Version ID (ST)> ^ <Alternate Coding System Version ID (ST)> ^ <Original Text (ST)>

© JAHIS 2012

定義：このフィールドは提供者のタイプを識別するコードからなる。この属性は続くマスタファイル属性：STF-4職員タイプと相互に関連する。相互に関連するマスタファイル表からのコード値が使用される；使用者定義マスタファイル表はこの属性のためにコーディング体系として使用される。例えば、もしSTF-2職員タイプからの値を使用しようとするとコーディング体系は使用者定義職員タイプ表の表番号であるところのHL7 0182であろう。このフィールドはこのセグメントが国際的要求を支援することを含んでおり、そしてマスタファイル更新については意図されていない。

ROL-10　Organization unit type　組織単位タイプ (CWE)　01461

成分：　<Identifier (ST)> ^ <Text (ST)> ^ <Name of Coding System (ID)> ^ <Alternate Identifier (ST)> ^ <Alternate Text (ST)> ^ <Name of Alternate Coding System (ID)> ^ <Coding System Version ID (ST)> ^ <Alternate Coding System Version ID (ST)> ^ <Original Text (ST)>>

定義：このフィールドはROL-3で特定された役割を提供者が実施する環境を識別する。提供者の環境は提供者の専門性ではない。提供者の専門性についての情報はPRAセグメントにおいて定義される。ROLセグメントに含まれているこの属性は提供者情報がマスタファイルで事前に通信されなかったかもしれないときこのデータの通信で可能とするものである。この属性はマスタファイル属性ORG-3組織単位タイプと同表の参照と相互に関連する。使用者定義表0406 – 組織単位型を参照。このフィールドはこのセグメントが国際的要求を支援することを含んでおり、そしてマスタファイル更新については意図されていない。

使用者定義表0406 - Organization unit type 組織単位タイプ

Value	Description
H	Home 家庭
O	Office 職場
1	Hospital 病院
2	Physician Clinic 医院
3	Long Term Care 長期療養
4	Acute Care 急性期療養
5	Other その他

ROL-11　Office/home address/Birthplace 職場／自宅住所／出生地 (XAD) 00679

成分：　<Street Address (SAD)> ^ <Other Designation (ST)> ^ <City (ST)> ^ <State or Province (ST)> ^ <Zip or Postal Code (ST)> ^ <Country (ID)> ^ <Address Type (ID)> ^ <Other Geographic Designation (ST)> ^ <County/Parish Code (IS)> ^ <Census Tract (IS)> ^ <Address Representation Code (ID)> ^ <DEPRECATED-Address Validity Range (DR)> ^ <Effective Date (TS)> ^ <Expiration Date (TS)>

副成分 for Street Address (SAD):　<Street or Mailing Address (ST)> & <Street Name (ST)> & <Dwelling Number (ST)>

副成分 for DEPRECATED-Address Validity Range (DR):　<Range Start Date/Time (TS)> & <Range End Date/Time (TS)>

Note subcomponent contains sub-subcomponents

副成分 for Effective Date (TS):　<Time (DTM)> & <DEPRECATED-Degree of Precision (ID)>

副成分 for Expiration Date (TS):　<Time (DTM)> & <DEPRECATED-Degree of Precision (ID)>

定義：このフィールドは提供者の職場の住所と自宅の住所からなる。これは繰り返しフィールドである。ROLセグメントに含まれているこの属性は提供者情報がマスタファイルで事前に通信されなかったかもしれないときこのデータの通信で可能とするものである。このフィールドはこのセグメントが国際的要求を支援することを含んでおり、そしてマスタファイル更新については意図されていない。このフィールドはSTF-11職場／自宅住所と相互に関連する。

ROL-12　Phone 電話 (XTN)　00678

成分：　<DEPRECATED-Telephone Number (ST)> ^ <Telecommunication Use Code (ID)> ^ <Telecommunication Equipment Type (ID)> ^ <Email Address (ST)> ^ <Country Code (NM)> ^ <Area/City Code (NM)> ^ <Local Number (NM)> ^ <Extension (NM)> ^ <Any Text (ST)> ^ <Extension Prefix (ST)> ^ <Speed Dial Code (ST)> ^ <Unformatted Telephone number　(ST)>

定義：このフィールドは提供者の電話番号からなる。ROLセグメントに含まれているこの属性は提供者情報がマスタファイルで事前に通信されなかったかもしれないときこのデータの通信で可能とするものである。このフィールドはこのセグメントが国際的要求を支援することを含んでおり、そしてマスタファイル更新については意図されていない。このフィールドはSTF-10電話と相互に関連する。

© JAHIS 2012

7.19 PR1 - Procedures Segment　処置セグメント

PR1セグメントは患者に施される処置の種々のタイプに関する情報からなる。PR1セグメントは例えば、外科、核医学、X線造影撮影などの処置情報を送るために用いることが出来る。PR1セグメントは例えば、診療録符号化あるいは請求システムのための複数の処置を送信することに使用される。

HL7属性表 - PR1 – Procedures 処置

SEQ	LEN	DT	OPT	Japan	RP/#	ITEM#	ELEMENT NAME
1	4	SI	R	R		00391	Set ID - PR1　セット ID－PR1
2	3	IS	(B) R	(B) R		00392	Procedure Coding Method 処置コード化方法
3	250	CWE	R	R		00393	Procedure Code 処置コード
4	40	ST	B	B		00394	Procedure Description 処置説明
5	26	TS	R	R		00395	Procedure Date/Time 処置日時
6	2	IS	O	O		00396	Procedure Functional Type 処置機能タイプ
7	4	NM	O	O		00397	Procedure Minutes 処置時間（分）
8	250	XCN	B	B	Y	00398	Anesthesiologist 麻酔科医
9	2	IS	O	O		00399	Anesthesia Code　麻酔コード
10	4	NM	O	O		00400	Anesthesia Minutes　麻酔時間(分)
11	250	XCN	B	B	Y	00401	Surgeon　外科医
12	250	XCN	B	B	Y	00402	Procedure Practitioner　処置提供者
13	250	CWE	O	O		00403	Consent Code　同意コード
14	2	ID	O	O		00404	Procedure Priority 処置優先度
15	250	CWE	O	O		00772	Associated Diagnosis Code 関連診断コード
16	250	CWE	O	O	Y	01316	Procedure Code Modifier 処置コード修飾子
17	20	IS	O	O		01501	Procedure DRG Type 処置 DRG 型
18	250	CWE	O	O	Y	01502	Tissue Type Code 組織型コード
19	427	EI	C	C		01848	Procedure Identifier 処置識別子
20	1	ID	C	C		01849	Procedure Action Code 処置行為コード

PR1 フィールド定義

PR1-1　Set ID - PR1 セットID - PR1　(SI)　00391

定義：このフィールドは当該トランザクションを識別する番号からなる。このセグメントの最初の出現には連番を１、第2番目は２といった具合に。

PR1-2　Procedure Coding Method　処置コード化法 (IS)　00392

定義：このフィールドはV2.3のような旧版互換を維持するためのみにある。このフィールドの代わりにPR1-3 – 処置コードの成分を使用する。

旧版互換のために使用するとき、PR1-2 – 処置コード化法は処置のためのコード（例えば、CPT4）を割り当てる方法論からなる。もし1つ以上のコード化法が1つの処置に必要なら、このフィールドとPR1-3 – 処置コードとPR1-4 – 処置説明の関連する値が繰り返される。この実体では、3つのフィールド（PR1-2からPR1-4）がそれぞれ直接に関連する。推奨値として使用者定義表 0089 – 処置コード化法を参照。

使用者定義表0089 - Procedure Coding Method 処置コード化法

Value	Description	Comment
	推奨値なし	

PR1-3　Procedure Code　処置コード　(CWE)　00393

成分：　<Identifier (ST)> ^ <Text (ST)> ^ <Name of Coding System (ID)> ^ <Alternate Identifier (ST)> ^ <Alternate Text (ST)> ^ <Name of Alternate Coding System (ID)> ^ <Coding System Version ID (ST)> ^ <Alternate Coding System Version ID (ST)> ^ <Original Text (ST)>

定義：PR1-2 – 処置コード化法とPR1-4 – 処置説明の代わりにこのフィールドを使用する。これら2つのフィールドは旧版互換を維持するためのみである。このフィールドは処置に割り当てられた一意な識別子からなる。推奨値として使用者定義表0088 – 処置コードを参照。このフィールドは臨床と補助システムと互換性のためCWEデータ型である。

© JAHIS 2012

PR1-4 Procedure Description 処置説明 (ST) 00394

定義：このフィールドはV2.3のような旧版互換を維持するためのみにある。このフィールドの代わりにPR1-3 – 処置コードの成分を使用する。このフィールドは処置を説明するテキスト記述からなる。

PR1-5 Procedure Date/Time 処置日時 (TS) 00395

成分： <Time (DTM)> ^ <DEPRECATED-Degree of Precision (ID)>

定義：このフィールドは処置が実施された日時からなる。

PR1-6 Procedure Functional Type 処置機能型 (IS) 00396

定義：このフィールドは処置のタイプを追加定義するオプションのコードからなる。推奨値として使用者定義表0230 – 処置機能型を参照。

使用者定義表0230 – Procedure Functional Type処置機能型

Value	Description	Comment
A	Anesthesia	
P	Procedure for treatment (therapeutic, including operations)	
I	Invasive procedure not classified elsewhere (e.g., IV, catheter, etc.)	
D	Diagnostic procedure	

PR1-7 Procedure Minutes 処置時分 (NM) 00397

定義：このフィールドは処置が完了するに要した全体の時間（分）を示す。

PR1-8 Anesthesiologist 麻酔科医 (XCN) 00398

成分： <ID Number (ST)> ^ <Family Name (FN)> ^ <Given Name (ST)> ^ <Second and Further Given Names or Initials Thereof (ST)> ^ <Suffix (e.g., JR or III) (ST)> ^ <Prefix (e.g., DR) (ST)> ^ <DEPRECATED-Degree (e.g., MD) (IS)> ^ <Source Table (IS)> ^ <Assigning Authority (HD)> ^ <Name Type Code (ID)> ^ <Identifier Check Digit (ST)> ^ <Check Digit Scheme (ID)> ^ <Identifier Type Code (ID)> ^ <Assigning Facility (HD)> ^ <Name Representation Code (ID)> ^ <Name Context (CWE)> ^ <DEPRECATED-Name Validity Range (DR)> ^ <Name Assembly Order (ID)> ^ <Effective Date (TS)> ^ <Expiration Date (TS)> ^ <Professional Suffix (ST)> ^ <Assigning Jurisdiction (CWE)> ^ <Assigning Agency or Department (CWE)>

副成分 for Family Name (FN): <Surname (ST)> & <Own Surname Prefix (ST)> & <Own Surname (ST)> & <Surname Prefix From Partner/Spouse (ST)> & <Surname From Partner/Spouse (ST)>

副成分 for Assigning Authority (HD): <Namespace ID (IS)> & <Universal ID (ST)> & <Universal ID Type (ID)>

副成分 for Assigning Facility (HD): <Namespace ID (IS)> & <Universal ID (ST)> & <Universal ID Type (ID)>

副成分 for Name Context (CWE): <identifier (ST)> ^ <text (ST)> ^ <name of coding system (ID)> ^ <alternate identifier (ST)> ^ <alternate text (ST)> ^ <name of alternate coding system (ID)> ^ <coding system version ID (ST)> ^< alternate coding system version ID (ST)> ^ <original text (ST)>

副成分 for DEPRECATED-Name Validity Range (DR): <Range Start Date/Time (TS)> & <Range End Date/Time (TS)>

Note subcomponent contains sub-subcomponents

副成分 for Effective Date (TS) : <Time (DTM)> & <DEPRECATED-Degree of Precision (ID)>

副成分 for Expiration Date (TS): <Time (DTM)> & <DEPRECATED-Degree of Precision (ID)>

副成分 for Assigning Jurisdiction (CWE): <Identifier (ST)> & <Text (ST)> & <Name of Coding System (ID)> & <Alternate Identifier (ST)> & <Alternate Text (ST)> & <Name of Alternate Coding System (ID)> & <Coding System Version ID (ST)> & <Alternate Coding System Version ID (ST)> & <Original Text (ST)>

副成分 for Assigning Agency or Department (CWE): <Identifier (ST)> & <Text (ST)> & <Name of Coding System (ID)> & <Alternate Identifier (ST)> & <Alternate Text (ST)> & <Name of Alternate Coding System (ID)> & <Coding System Version ID (ST)> & <Alternate Coding System Version ID (ST)> & <Original Text (ST)>

定義:HL7は1つの処置に関連した提供者の役割を広範に報告するためにROLセグメントを導入した。処置に関連したすべての提供者の役割の報告にROLセグメントを使用することを推奨する。

このフィールドが旧版互換のために使用されるとき、XCNデータ型が適用される。それは麻酔を投与した麻酔科医からなる。第1成分の推奨値はHL7第3章の使用者定義表0010 – 医師IDを参照。複数の麻酔科医には用いるのでなく、同じ人に対して複数の名前とIDをこのフィールドで送るべきである。法的名前が第1反復フィールドにあると仮定している。法的名前を送らないときは、反復区切文字を第1反復フィールドとして最初に送らなければならない。

PR1-9 Anesthesia Code 麻酔コード (IS) 00399

定義：このフィールドは処置中に使用された麻酔の一意の識別子からなる。推奨値は使用者定義

表0019 – 麻酔コードを参照。

使用者定義表0019 - Anesthesia Code 麻酔コード

Value	Description	Comment
	推奨値なし	

PR1-10 Anesthesia Minutes 麻酔時間（分） (NM) 00400

定義：このフィールドは麻酔が実施された時間（分）からなる。

PR1-11 Surgeon 外科医 (XCN) 00401

成分： <ID Number (ST)> ^ <Family Name (FN)> ^ <Given Name (ST)> ^ <Second and Further Given Names or Initials Thereof (ST)> ^ <Suffix (e.g., JR or III) (ST)> ^ <Prefix (e.g., DR) (ST)> ^ <DEPRECATED-Degree (e.g., MD) (IS)> ^ <Source Table (IS)> ^ <Assigning Authority (HD)> ^ <Name Type Code (ID)> ^ <Identifier Check Digit (ST)> ^ <Check Digit Scheme (ID)> ^ <Identifier Type Code (ID)> ^ <Assigning Facility (HD)> ^ <Name Representation Code (ID)> ^ <Name Context (CWE)> ^ <DEPRECATED-Name Validity Range (DR)> ^ <Name Assembly Order (ID)> ^ <Effective Date (TS)> ^ <Expiration Date (TS)> ^ <Professional Suffix (ST)> ^ <Assigning Jurisdiction (CWE)> ^ <Assigning Agency or Department (CWE)>

副成分 for Family Name (FN): <Surname (ST)> & <Own Surname Prefix (ST)> & <Own Surname (ST)> & <Surname Prefix From Partner/Spouse (ST)> & <Surname From Partner/Spouse (ST)>

副成分 for Assigning Authority (HD): <Namespace ID (IS)> & <Universal ID (ST)> & <Universal ID Type (ID)>

副成分 for Assigning Facility (HD): <Namespace ID (IS)> & <Universal ID (ST)> & <Universal ID Type (ID)>

副成分 for Name Context (CWE): <identifier (ST)> ^ <text (ST)> ^ <name of coding system (ID)> ^ <alternate identifier (ST)> ^ <alternate text (ST)> ^ <name of alternate coding system (ID)> ^ <coding system version ID (ST)> ^< alternate coding system version ID (ST)> ^ <original text (ST)>

副成分 for DEPRECATED-Name Validity Range (DR): <Range Start Date/Time (TS)> & <Range End Date/Time (TS)>

Note subcomponent contains sub-subcomponents

副成分 for Effective Date (TS): <Time (DTM)> & <DEPRECATED-Degree of Precision (ID)>

副成分 for Expiration Date (TS): <Time (DTM)> & <DEPRECATED-Degree of Precision (ID)>

副成分 for Assigning Jurisdiction (CWE): <Identifier (ST)> & <Text (ST)> & <Name of Coding System (ID)> & <Alternate Identifier (ST)> & <Alternate Text (ST)> & <Name of Alternate Coding System (ID)> & <Coding System Version ID (ST)> & <Alternate Coding System Version ID (ST)> & <Original Text (ST)>

副成分 for Assigning Agency or Department (CWE): <Identifier (ST)> & <Text (ST)> & <Name of Coding System (ID)> & <Alternate Identifier (ST)> & <Alternate Text (ST)> & <Name of Alternate Coding System (ID)> & <Coding System Version ID (ST)> & <Alternate Coding System Version ID (ST)> & <Original Text (ST)>

定義:HL7は1つの処置に関連した提供者の役割を広範に報告するためにROLセグメントを導入した。処置に関連したすべての提供者の役割の報告にROLセグメントを使用することを推奨する。

このフィールドが旧版互換のために使用されるとき、XCNデータ型が適用される。それは処置を実施した外科医からなる。第1成分の推奨値はHL7第3章の使用者定義表0010 – 医師IDを参照。複数の外科医には用いるのでなく、同じ人に対して複数の名前とIDをこのフィールドで送るべきである。法的名前が第1反復フィールドにあると仮定している。法的名前を送らないときは、反復区切文字を第1反復フィールドとして最初に送らなければならない。

PR1-12 Procedure Practitioner 処置提供者 (XCN) 00402

成分： <ID Number (ST)> ^ <Family Name (FN)> ^ <Given Name (ST)> ^ <Second and Further Given Names or Initials Thereof (ST)> ^ <Suffix (e.g., JR or III) (ST)> ^ <Prefix (e.g., DR) (ST)> ^ <DEPRECATED-Degree (e.g., MD) (IS)> ^ <Source Table (IS)> ^ <Assigning Authority (HD)> ^ <Name Type Code (ID)> ^ <Identifier Check Digit (ST)> ^ <Check Digit Scheme (ID)> ^ <Identifier Type Code (ID)> ^ <Assigning Facility (HD)> ^ <Name Representation Code (ID)> ^ <Name Context (CWE)> ^ <DEPRECATED-Name Validity Range (DR)> ^ <Name Assembly Order (ID)> ^ <Effective Date (TS)> ^ <Expiration Date (TS)> ^ <Professional Suffix (ST)> ^ <Assigning Jurisdiction (CWE)> ^ <Assigning Agency or Department (CWE)>

副成分 for Family Name (FN): <Surname (ST)> & <Own Surname Prefix (ST)> & <Own Surname (ST)> & <Surname Prefix From Partner/Spouse (ST)> & <Surname From Partner/Spouse (ST)>

副成分 for Assigning Authority (HD): <Namespace ID (IS)> & <Universal ID (ST)> & <Universal ID Type (ID)>

副成分 for Assigning Facility (HD): <Namespace ID (IS)> & <Universal ID (ST)> & <Universal ID Type (ID)>

副成分 for Name Context (CWE): <identifier (ST)> ^ <text (ST)> ^ <name of coding system (ID)> ^ <alternate identifier (ST)> ^ <alternate text (ST)> ^ <name of alternate coding system (ID)> ^ <coding system version ID (ST)> ^< alternate coding system version ID (ST)> ^ <original text (ST)>

副成分 for DEPRECATED-Name Validity Range (DR): <Range Start Date/Time (TS)> & <Range End Date/Time (TS)>

Note subcomponent contains sub-subcomponents

副成分 for Effective Date (TS): <Time (DTM)> & <DEPRECATED-Degree of Precision (ID)>

副成分 for Expiration Date (TS): <Time (DTM)> & <DEPRECATED-Degree of Precision (ID)>

副成分 for Assigning Jurisdiction (CWE): <Identifier (ST)> & <Text (ST)> & <Name of Coding System (ID)> & <Alternate Identifier (ST)> & <Alternate Text (ST)> & <Name of Alternate Coding System (ID)> & <Coding System Version ID (ST)> & <Alternate Coding System Version ID (ST)> & <Original Text (ST)>

副成分 for Assigning Agency or Department (CWE): <Identifier (ST)> & <Text (ST)> & <Name of Coding System (ID)> & <Alternate Identifier (ST)> & <Alternate Text (ST)> & <Name of Alternate Coding System (ID)> & <Coding System Version ID (ST)> & <Alternate Coding System Version ID (ST)> & <Original Text (ST)>

定義:HL7は1つの処置に関連した提供者の役割を広範に報告するためにROLセグメントを導入した。処置に関連したすべての提供者の役割の報告にROLセグメントを使用することを推奨する。

このフィールドはこの処置に関する提供者の異なったタイプからなる。IDと名前の成分は複合名（XCN）フィールドに定義された標準ルールに従う。最後の成分、識別子コードは示されている処置の提供者の型を示す。識別子成分に値が無いとき、割り当てられた提供者はレジデントであることを仮定している。第1成分の推奨値はHL7第3章の使用者定義表0010 – 医師IDを参照。識別子型成分の推奨値として使用者定義表0133 – 処置提供者識別子コード型を参照。

使用者定義表0133 - Procedure Practitioner Identifier Code Type 処置提供者識別子コード型

Value	Description	Comment
AN	Anesthesiologist/Anesthetist	
PR	Procedure MD/ Surgeon	
RD	Radiologist	
RS	Resident	
NP	Nurse Practitioner	
CM	Certified Nurse Midwife	
SN	Scrub Nurse	
PS	Primary Surgeon	
AS	Assistant Surgeon	

PR1-13 Consent Code 同意コード (CWE) 00403

成分： <Identifier (ST)> ^ <Text (ST)> ^ <Name of Coding System (ID)> ^ <Alternate Identifier (ST)> ^ <Alternate Text (ST)> ^ <Name of Alternate Coding System (ID)> ^ <Coding System Version ID (ST)> ^ <Alternate Coding System Version ID (ST)> ^ <Original Text (ST)>

定義：このフィールドは患者の治療について許可を得た同意のタイプからなる。推奨値として使用者定義表0059 – 同意コードを参照。

使用者定義表0059 - Consent Code 同意コード

Value	Description	Comment
	推奨値なし	

PR1-14 Procedure Priority 処置優先度 (ID) 00404

定義：このフィールドは処置コードの重要度あるいは優先度を識別する番号からなる。取りうる値はHL7表0418 – 処置優先度を参照。

HL7表0418 - Procedure Priority 処置優先度

Value	Description	Comment
0	the admitting procedure 承認されている処置	
1	the primary procedure 優先的処置	
2 …	for ranked secondary procedures 二次的処置	

PR1-15 Associated Diagnosis Code 関連診断コード (CWE) 00772

成分： <Identifier (ST)> ^ <Text (ST)> ^ <Name of Coding System (ID)> ^ <Alternate Identifier (ST)> ^ <Alternate Text (ST)> ^ <Name of Alternate Coding System (ID)> ^ <Coding System Version ID (ST)> ^ <Alternate Coding System Version ID (ST)> ^ <Original Text (ST)>>

定義：このフィールドにはこの処置が実施された主たる理由となる診断からなる、例えば、米国ではメディケアがどの診断の処置か知りたいためCMS1500様式に含めて提出する。推奨値として使用者定義表0051 - 診断コードを参照。

© JAHIS 2012

PR1-16　Procedure Code Modifier　処置コード修飾子 (CWE)　01316

成分：　<Identifier (ST)> ^ <Text (ST)> ^ <Name of Coding System (ID)> ^ <Alternate Identifier (ST)> ^ <Alternate Text (ST)> ^ <Name of Alternate Coding System (ID)> ^ <Coding System Version ID (ST)> ^ <Alternate Coding System Version ID (ST)> ^ <Original Text (ST)>

定義：このフィールドは、適用できる場合、フィールド3に報告された処置コードの修飾子コードからなる。処置コード修飾子はCMSとAMAのような規制当局によって定義されている。複数の修飾子が報告できる。推奨値は使用者定義表0340 – 処置コード修飾子を参照。

PR1-17　Procedure DRG Type　処置DRG型 (IS)　01501

定義：このフィールドはそのDRGに関係した処置の優先度を示す。推奨値として使用者定義表0416 – 処置 DRG型を参照。

使用者定義表0416 - Procedure DRG Type 処置DRG型

Value	Description	Comment
1	1st non-Operative	
2	2nd non-Operative	
3	Major Operative	
4	2nd Operative	
5	3rd Operative	

PR1-18　Tissue Type Code　組織型コード (CWE)　01502

成分：　<Identifier (ST)> ^ <Text (ST)> ^ <Name of Coding System (ID)> ^ <Alternate Identifier (ST)> ^ <Alternate Text (ST)> ^ <Name of Alternate Coding System (ID)> ^ <Coding System Version ID (ST)> ^ <Alternate Coding System Version ID (ST)> ^ <Original Text (ST)>

定義 : 当該処置で患者から切除された組織タイプのコード表現。推奨値は使用者定義表0417 – 組織型コードを参照。

使用者定義表0417 - Tissue Type Code 組織タイプコード

Value	Description	Comment
1	Insufficient Tissue	
2	Not abnormal	
3	Abnormal-not categorized	
4	Mechanical abnormal	
5	Growth alteration	
6	Degeneration & necrosis	
7	Non-acute inflammation	
8	Non-malignant neoplasm	
9	Malignant neoplasm	
0	No tissue expected	
B	Basal cell carcinoma	
C	Carcinoma-unspecified type	
G	Additional tissue required	

PR1-19　Procedure Identifier　処置識別子 (EI)　01848

成分：　<Entity Identifier (ST)> ^ <Namespace ID (IS)> ^ <Universal ID (ST)> ^ <Universal ID Type (ID)>

定義 : このフィールドは被処置者のための単一の処置を一意な識別子の値からなる。それは被処置者のすべてのセグメントとメッセージに渡って一意である。このフィールドは最新の診断／処置(P12)メッセージを採用するすべての導入に要求される。

PR1-20　Procedure Action Code　処置行為コード (ID)　01849

定義：このフィールドはこの処置を取る行為を定義する。採りうる値はHL7第２章HL7表0206 – セグメント行為コードを参照。このフィールドは最新の診断／処置(P12)メッセージに要求される。他のすべての事象ではオプションである。

© JAHIS 2012

7.20 IN1 - Insurance Segment 保険セグメント

IN1セグメントは適切に比例配分された患者と保険請求書を作成するために必要な保険適用範囲情報からなる。

HL7属性表 - IN1 - Insurance 保険

SEQ	LEN	DT	OPT	Japan	RP/#	ITEM#	ELEMENT NAME
1	4	SI	R	R		00426	Set ID – IN1 セット ID - IN1
2	250	CWE	R	R		00368	Insurance Plan ID 保険プラン ID
3	250	CX	R	R	Y	00428	Insurance Company ID 保険会社 ID
4	250	XON	O	O	Y	00429	Insurance Company Name 保険会社名
5	250	XAD	O	O	Y	00430	Insurance Company Address 保険会社住所
6	250	XPN	O	O	Y	00431	Insurance Co Contact Person 保険会社連絡者
7	250	XTN	O	O	Y	00432	Insurance Co Phone Number 保険会社電話番号
8	12	ST	O	O		00433	Group Number グループ番号
9	250	XON	O	O	Y	00434	Group Name グループ名
10	250	CX	O	O	Y	00435	Insured's Group Emp ID 被保険者グループ雇用者 ID
11	250	XON	O	O	Y	00436	Insured's Group Emp Name 被保険者グループ雇用者名
12	8	DT	O	O		00437	Plan Effective Date プラン有効日付
13	8	DT	O	O		00438	Plan Expiration Date プラン失効日付
14	239	AUI	O	O		00439	Authorization Information 承認情報
15	3	IS	O	O		00440	Plan Type プランタイプ
16	250	XPN	O	O	Y	00441	Name Of Insured 被保険者名
17	250	CWE	O	O		00442	Insured's Relationship To Patient 被保険者と患者の関係
18	26	TS	O	O		00443	Insured's Date Of Birth 被保険者生年月日
19	250	XAD	O	O	Y	00444	Insured's Address 被保険者住所
20	2	IS	O	O		00445	Assignment Of Benefits 給付割当
21	2	IS	O	O		00446	Coordination Of Benefits 給付金の調整
22	2	ST	O	O		00447	Coord Of Ben. Priority 給付金優先順位調整
23	1	ID	O	O		00448	Notice Of Admission Flag 入院フラグ通知
24	8	DT	O	O		00449	Notice Of Admission Date 入院通知日付
25	1	ID	O	O		00450	Report Of Eligibility Flag 有資格フラグ報告
26	8	DT	O	O		00451	Report Of Eligibility Date 有資格報告日付
27	2	IS	O	O		00452	Release Information Code 情報コードの開放
28	15	ST	O	O		00453	Pre-Admit Cert (PAC) 入院前認定書(PAC)
29	26	TS	O	O		00454	Verification Date/Time 検証日時
30	250	XCN	O	O	Y	00455	Verification By 検証者
31	2	IS	O	O		00456	Type Of Agreement Code 同意コード型
32	2	IS	O	O		00457	Billing Status 請求状態
33	4	NM	O	O		00458	Lifetime Reserve Days 予約残日数
34	4	NM	O	O		00459	Delay Before L.R. Day 全予約日数以前遅延
35	8	IS	O	O		00460	Company Plan Code 会社プランコード
36	15	ST	O	O		00461	Policy Number ポリシー番号
37	12	CP	O	O		00462	Policy Deductible 免責ポリシー
38	12	CP	B	B		00463	Policy Limit - Amount ポリシーー総額
39	4	NM	O	O		00464	Policy Limit - Days ポリシーー限度日数
40	12	CP	B	B		00465	Room Rate - Semi-Private 室料ー準個室
41	12	CP	B	B		00466	Room Rate - Private 室料ー個室
42	250	CWE	O	O		00467	Insured's Employment Status 被保険者雇用状態
43	1	IS	O	O		00468	Insured's Administrative Sex 被保険者性別
44	250	XAD	O	O	Y	00469	Insured's Employer's Address 被保険者雇用者住所
45	2	ST	O	O		00470	Verification Status 検証状態
46	8	IS	O	O		00471	Prior Insurance Plan ID 以前の保険プラン ID
47	3	IS	O	O		01227	Coverage Type 適用範囲型
48	2	IS	O	O		00753	Handicap ハンディキャップ
49	250	CX	O	O	Y	01230	Insured's ID Number 被保険者 ID 番号
50	1	IS	O	O		01854	Signature Code 署名コード

© JAHIS 2012

SEQ	LEN	DT	OPT	Japan	RP/#	ITEM#	ELEMENT NAME
51	8	DT	O	O		01855	Signature Code Date 署名日付
52	250	ST	O	O		01899	Insured's Birth Place 被保険者出生地
53	2	IS	O	O		01852	VIP Indicator VIP 識別子

IN1 フィールド定義

IN1-1 Set ID - IN1 セットID - IN1 (SI) 00426

定義 : IN1-1 - set ID - IN1は当該トランザクションを示す番号である。最初の本セグメントが発生したときにシーケンス番号を１とする。続いて２という具合に番号付けを行う。IN1セグメントのセットIDは保険セグメントのグループ化の集合として使用される。例えば、２つの保険プランを持っている患者は保険セグメントの2つのグループ化を行う。セットID１の保険プランAに対するIN1、IN2とIN3セグメント、続いてセットID2の保険プランBにたいするIN1、IN2、とIN3である。IN1、IN2、IN3のグループ化しているのを含んでいるためIN2ではセットIDは無く、不要である。IN3セグメントのセットIDは同一のプランに対して複数の認定があるならIN3セグメントの複数の繰り返しがあるかもしれないので用意されている。例えば、IN1（セットID）、IN2、IN3(セットID2)、IN3(セットID3)。

IN1-2 Insurance Plan ID 保険プランID (CWE) 00368

成分： <Identifier (ST)> ^ <Text (ST)> ^ <Name of Coding System (ID)> ^ <Alternate Identifier (ST)> ^ <Alternate Text (ST)> ^ <Name of Alternate Coding System (ID)> ^ <Coding System Version ID (ST)> ^ <Alternate Coding System Version ID (ST)> ^ <Original Text (ST)>

定義 : このフィールドは保険プランの一意の識別子である。推奨値として使用者定義表 0072 - 保険プランIDを参照。プランを削除するためには、そのプランはそれぞれの後続する要素にNULL値で送信しなければならない。それぞれのシステムがそれをサポート出来る場合NULL値はプランフィールドで送ることができる。

IN1-3 Insurance Company ID 保険会社ID (CX) 00428

成分： <ID Number (ST)> ^ <Check Digit (ST)> ^ <Check Digit Scheme (ID)> ^ <Assigning Authority (HD)> ^ <Identifier Type Code (ID)> ^ <Assigning Facility (HD)> ^ <Effective Date (DT)> ^ <Expiration Date (DT)> ^ <Assigning Jurisdiction (CWE)> ^ <Assigning Agency or Department (CWE)>

副成分 for Assigning Authority (HD): <Namespace ID (IS)> & <Universal ID (ST)> & <Universal ID Type (ID)>

副成分 for Assigning Facility (HD): <Namespace ID (IS)> & <Universal ID (ST)> & <Universal ID Type (ID)>

副成分 for Assigning Jurisdiction (CWE): <Identifier (ST)> & <Text (ST)> & <Name of Coding System (ID)> & <Alternate Identifier (ST)> & <Alternate Text (ST)> & <Name of Alternate Coding System (ID)> & <Coding System Version ID (ST)> & <Alternate Coding System Version ID (ST)> & <Original Text (ST)>

副成分 for Assigning Agency or Department (CWE): <Identifier (ST)> & <Text (ST)> & <Name of Coding System (ID)> & <Alternate Identifier (ST)> & <Alternate Text (ST)> & <Name of Alternate Coding System (ID)> & <Coding System Version ID (ST)> & <Alternate Coding System Version ID (ST)> & <Original Text (ST)>

定義 : このフィールドは保険会社を一意になる識別子からなる。割り当て機関とID型コードは全てCXデータ型を強く推奨する。

IN1-4 Insurance Company Name 保険会社名 (XON) 00429

成分： <Organization Name (ST)> ^ <Organization Name Type Code (IS)> ^ <DEPRECATED-ID Number (NM)> ^ <Check Digit (NM)> ^ <Check Digit Scheme (ID)> ^ <Assigning Authority (HD)> ^ <Identifier Type Code (ID)> ^ <Assigning Facility (HD)> ^ <Name Representation Code (ID)> ^ <Organization Identifier (ST)>

副成分 for Assigning Authority (HD): <Namespace ID (IS)> & <Universal ID (ST)> & <Universal ID Type (ID)>

副成分 for Assigning Facility (HD): <Namespace ID (IS)> & <Universal ID (ST)> & <Universal ID Type (ID)>

定義 : このフィールドは保険会社の名前からなる。同一保険会社の複数の名前がこのフォールドで送られる。法的名称が第1反復フィールドにあるものとする。法的名称を送らないときは、反復区切文字を第1反復として最初に送らなければならない。

IN1-5 Insurance Company Address 保険会社住所 (XAD) 00430

成分： <Street Address (SAD)> ^ <Other Designation (ST)> ^ <City (ST)> ^ <State or Province (ST)> ^ <Zip or Postal Code (ST)> ^ <Country (ID)> ^ <Address Type (ID)> ^ <Other Geographic Designation (ST)> ^ <County/Parish Code (IS)> ^ <Census Tract (IS)> ^ <Address Representation Code (ID)> ^ <DEPRECATED-Address Validity Range (DR)> ^ <Effective Date (TS)> ^ <Expiration Date (TS)>

© JAHIS 2012

副成分 for Street Address (SAD): <Street or Mailing Address (ST)> & <Street Name (ST)> & <Dwelling Number (ST)>

副成分 for DEPRECATED-Address Validity Range (DR): <Range Start Date/Time (TS)> & <Range End Date/Time (TS)>

Note subcomponent contains sub-subcomponents

副成分 for Effective Date (TS): <Time (DTM)> & <DEPRECATED-Degree of Precision (ID)>

副成分 for Expiration Date (TS): <Time (DTM)> & <DEPRECATED-Degree of Precision (ID)>

定義：このフィールドは保険会社の住所からなる。同一保険会社の複数の住所がこのフォールドで送られる。郵送のための住所が第1反復フィールドにあるものとする。郵送にための住所を送らないときは、反復区切文字を第1反復として最初に送らなければならない。

IN1-6 Insurance Co Contact Person 保険会社連絡者 (XPN) 00431

成分： <Family Name (FN)> ^ <Given Name (ST)> ^ <Second and Further Given Names or Initials Thereof (ST)> ^ <Suffix (e.g., JR or III) (ST)> ^ <Prefix (e.g., DR) (ST)> ^ <DEPRECATED-Degree (e.g., MD) (IS)> ^ <Name Type Code (ID)> ^ <Name Representation Code (ID)> ^ <Name Context (CWE)> ^ <DEPRECATED-Name Validity Range (DR)> ^ <Name Assembly Order (ID)> ^ <Effective Date (TS)> ^ <Expiration Date (TS)> ^ <Professional Suffix (ST)>

副成分 for Family Name (FN): <Surname (ST)> & <Own Surname Prefix (ST)> & <Own Surname (ST)> & <Surname Prefix From Partner/Spouse (ST)> & <Surname From Partner/Spouse (ST)>

副成分 for Name Context (CWE): <identifier (ST)> ^ <text (ST)> ^ <name of coding system (ID)> ^ <alternate identifier (ST)> ^ <alternate text (ST)> ^ <name of alternate coding system (ID)> ^ <coding system version ID (ST)> ^< alternate coding system version ID (ST)> ^ <original text (ST)>

副成分 for DEPRECATED-Name Validity Range (DR): <Range Start Date/Time (TS)> & <Range End Date/Time (TS)>

Note subcomponent contains sub-subcomponents

副成分 for Effective Date (TS): <Time (DTM)> & <DEPRECATED-Degree of Precision (ID)>

副成分 for Expiration Date (TS): <Time (DTM)> & <DEPRECATED-Degree of Precision (ID)>

定義：このフィールドは保険会社の連絡者の名前からなる。同一連絡者の複数の名前はこのフィールドで送ることが出来る。法的名称が第1反復フィールドにあるものとする。法的名称を送らないときは、反復区切文字を第1反復として最初に送らなければならない。

IN1-7 Insurance Co Phone Number 保険会社電話番号 (XTN) 00432

成分： <DEPRECATED-Telephone Number (ST)> ^ <Telecommunication Use Code (ID)> ^ <Telecommunication Equipment Type (ID)> ^ <Email Address (ST)> ^ <Country Code (NM)> ^ <Area/City Code (NM)> ^ <Local Number (NM)> ^ <Extension (NM)> ^ <Any Text (ST)> ^ <Extension Prefix (ST)> ^ <Speed Dial Code (ST)> ^ <Unformatted Telephone number (ST)>

定義：このフィールドは保険会社の電話番号からなる。同一保険会社の複数の電話番号がこのフォールドで送られる。主電話番号が第1反復フィールドにあるものとする。主電話番号を送らないときは、反復区切文字を第1反復として最初に送らなければならない。

IN1-8 Group Number グループ番号 (ST) 00433

定義：このフィールドは被保険者のグループ番号からなる。

IN1-9 Group Name グループ名 (XON) 00434

成分： <Organization Name (ST)> ^ <Organization Name Type Code (IS)> ^ <DEPRECATED-ID Number (NM)> ^ <Check Digit (NM)> ^ <Check Digit Scheme (ID)> ^ <Assigning Authority (HD)> ^ <Identifier Type Code (ID)> ^ <Assigning Facility (HD)> ^ <Name Representation Code (ID)> ^ <Organization Identifier (ST)>

副成分 for Assigning Authority (HD): <Namespace ID (IS)> & <Universal ID (ST)> & <Universal ID Type (ID)>

副成分 for Assigning Facility (HD): <Namespace ID (IS)> & <Universal ID (ST)> & <Universal ID Type (ID)>

定義：このフィールドは被保険者のグループ名からなる。

IN1-10 Insured's Group Emp. ID 被保険者グループ雇用者ID (CX) 00435

成分： <ID Number (ST)> ^ <Check Digit (ST)> ^ <Check Digit Scheme (ID)> ^ <Assigning Authority (HD)> ^ <Identifier Type Code (ID)> ^ <Assigning Facility (HD)> ^ <Effective Date (DT)> ^ <Expiration Date (DT)> ^ <Assigning Jurisdiction (CWE)> ^ <Assigning Agency or Department (CWE)>

副成分 for Assigning Authority (HD): <Namespace ID (IS)> & <Universal ID (ST)> & <Universal ID Type (ID)>

副成分 for Assigning Facility (HD): <Namespace ID (IS)> & <Universal ID (ST)> & <Universal ID Type (ID)>

副成分 for Assigning Jurisdiction (CWE): <Identifier (ST)> & <Text (ST)> & <Name of Coding System (ID)> & <Alternate Identifier (ST)> & <Alternate Text (ST)> & <Name of Alternate Coding System (ID)> & <Coding System Version ID (ST)> & <Alternate Coding System Version ID (ST)> & <Original Text (ST)>

副成分 for Assigning Agency or Department (CWE): <Identifier (ST)> & <Text (ST)> & <Name of Coding System (ID)> & <Alternate Identifier (ST)> & <Alternate Text (ST)> & <Name of Alternate Coding System (ID)> & <Coding System Version ID (ST)> & <Alternate Coding System Version ID (ST)> & <Original Text (ST)>

© JAHIS 2012

定義：このフィールドは被保険者にたいするグループ雇用者IDを保持している。割り当て機関とID型コードは全てCXデータ型を強く推奨する。

IN1-11　Insured's Group Emp Name 被保険者グループ雇用者名 (XON)　00436

成分：　<Organization Name (ST)> ^ <Organization Name Type Code (IS)> ^ <DEPRECATED-ID Number (NM)> ^ <Check Digit (NM)> ^ <Check Digit Scheme (ID)> ^ <Assigning Authority (HD)> ^ <Identifier Type Code (ID)> ^ <Assigning Facility (HD)> ^ <Name Representation Code (ID)> ^ <Organization Identifier (ST)>

副成分 for Assigning Authority (HD):　<Namespace ID (IS)> & <Universal ID (ST)> & <Universal ID Type (ID)>

副成分 for Assigning Facility (HD):　<Namespace ID (IS)> & <Universal ID (ST)> & <Universal ID Type (ID)>

定義：このフィールドは雇用保険を提供する雇用者の名称からなる。同一雇用者の複数の名称がこのフォールドで送られる。法的名称が第1反復フィールドにあるものとする。法的名称を送らないときは、反復区切文字を第1反復として最初に送らなければならない。

IN1-12　Plan Effective Date プラン有効日付　(DT)　00437

定義：このフィールドは保険が有効になる日時からなる。

IN1-13　Plan Expiration Date プラン失効日付　(DT)　00438

定義：このフィールドは保険がカバーできるあるいは責務がある最終日時を示す。

IN1-14　Authorization Information　認定情報 (AUI)　00439

成分：　<Authorization Number (ST)> ^ <Date (DT)> ^ <Source (ST)>

定義：保険の型に基づいて、ある保険補償範囲は、全ての救急外入院前と救急入院の48時間以内に得られる認定番号かコードを必要とする。保険請求書はこの番号なしでは許されない。日付と認定元はこのフィールドの成分である。

IN1-15　Plan Type プラン型　(IS)　00440

定義：このフィールドは、たとえばメディケア、メディケイド、ブルークロス、HMOなどの種々のプラン型を識別するコーディング構造からなる。推奨値として使用者定義表 0086 - プランIDを参照。

使用者定義表0086 - Plan ID プランID

Value	Description	Comment
	推奨値なし	

IN1-16　Name of Insured　被保険者名　(XPN)　00441

成分：　<Family Name (FN)> ^ <Given Name (ST)> ^ <Second and Further Given Names or Initials Thereof (ST)> ^ <Suffix (e.g., JR or III) (ST)> ^ <Prefix (e.g., DR) (ST)> ^ <DEPRECATED-Degree (e.g., MD) (IS)> ^ <Name Type Code (ID)> ^ <Name Representation Code (ID)> ^ <Name Context (CWE)> ^ <DEPRECATED-Name Validity Range (DR)> ^ <Name Assembly Order (ID)> ^ <Effective Date (TS)> ^ <Expiration Date (TS)> ^ <Professional Suffix (ST)>

副成分 for Family Name (FN):　<Surname (ST)> & <Own Surname Prefix (ST)> & <Own Surname (ST)> & <Surname Prefix From Partner/Spouse (ST)> & <Surname From Partner/Spouse (ST)>

副成分 for Name Context (CWE):　<identifier (ST)> ^ <text (ST)> ^ <name of coding system (ID)> ^ <alternate identifier (ST)> ^ <alternate text (ST)> ^ <name of alternate coding system (ID)> ^ <coding system version ID (ST)> ^< alternate coding system version ID (ST)> ^ <original text (ST)>

副成分 for DEPRECATED-Name Validity Range (DR):　<Range Start Date/Time (TS)> & <Range End Date/Time (TS)>

Note subcomponent contains sub-subcomponents

副成分 for Effective Date (TS):　<Time (DTM)> & <DEPRECATED-Degree of Precision (ID)>

副成分 for Expiration Date (TS):　<Time (DTM)> & <DEPRECATED-Degree of Precision (ID)>

定義：このフィールドは被保険者名からなる。被保険者は保険ポリシーにより保証されている個人に医療サービスを提供する保険会社と同意した個人である。同一被保険者の複数の名称がこのフォールドで送られる。法的名称が第1反復フィールドにあるものとする。法的名称を送らないときは、反復区切文字を第1反復として最初に送らなければならない。

IN1-17　Insured’s Relationship to Patient 患者と被保険者の関係 (CWE)　00442

成分：　<Identifier (ST)> ^ <Text (ST)> ^ <Name of Coding System (ID)> ^ <Alternate Identifier (ST)> ^ <Alternate Text (ST)> ^ <Name of Alternate Coding System (ID)> ^ <Coding System Version ID (ST)> ^ <Alternate Coding System Version ID (ST)> ^ <Original Text (ST)>

© JAHIS 2012

定義：このフィールドは患者と被保険者との関係を示す。推奨値としてHL7 V2.5第3章の使用者定義表 0063 - 関係を参照。

IN1-18 Insured's Date of Birth 被保険者生年月日 (TS) 00443

成分： <Time (DTM)> ^ <DEPRECATED-Degree of Precision (ID)>

定義：このフィールドは被保険者の生年月日からなる。

IN1-19 Insured's Address 被保険者住所 (XAD) 00444

成分： <Street Address (SAD)> ^ <Other Designation (ST)> ^ <City (ST)> ^ <State or Province (ST)> ^ <Zip or Postal Code (ST)> ^ <Country (ID)> ^ <Address Type (ID)> ^ <Other Geographic Designation (ST)> ^ <County/Parish Code (IS)> ^ <Census Tract (IS)> ^ <Address Representation Code (ID)> ^ <DEPRECATED-Address Validity Range (DR)> ^ <Effective Date (TS)> ^ <Expiration Date (TS)>

副成分 for Street Address (SAD): <Street or Mailing Address (ST)> & <Street Name (ST)> & <Dwelling Number (ST)>

副成分 for DEPRECATED-Address Validity Range (DR): <Range Start Date/Time (TS)> & <Range End Date/Time (TS)>

Note subcomponent contains sub-subcomponents

副成分 for Effective Date (TS): <Time (DTM)> & <DEPRECATED-Degree of Precision (ID)>

副成分 for Expiration Date (TS): <Time (DTM)> & <DEPRECATED-Degree of Precision (ID)>

定義：このフィールドは被保険者の住所からなる。被保険者は保険ポリシーにより保証されている個人に医療サービスを提供する保険会社と同意した個人である。同一被保険者の複数の住所がこのフォールドで送られる。郵送のための住所が第1反復フィールドにあるものとする。法的名称を送らないときは、反復区切文字を第1反復として最初に送らなければならない。

IN1-20 Assignment of Benefits 給付金の配分 (IS) 00445

定義：このフィールドは医療提供者と保険金の割り当てを同意した被保険者かどうか示している。もしそうであるなら、保険は直接提供者に支払われる。推奨値として使用者定義表0135 - 給付金の配分を参照。

使用者定義表0135 - Assignment of Benefits 給付金の配分

Value	Description	Comment
Y	Yes	
N	No	
M	Modified assignment	

IN1-21 Coordination of Benefits 給付金の調整 (IS) 00446

定義：このフィールドは、他の保険ポリシーと連携した補償かどうか、また、独立した補償範囲と患者に対して有効である他の保険と関係がない給付金の支払いかどうかを示している。推奨値として使用者定義表 0173 - 給付金の調整を参照。

使用者定義表0173 - Coordination of Benefits 給付金の調整

Value	Description	Comment
CO	Coordination	
IN	Independent	

IN1-22 Coord of Ben. Priority 給付金優先順位の調整 (ST) 00447

定義：もし保険が他の保険プランと調整することがある場合、このフィールドは優先順位を指定する。1、2、3のような値である。

IN1-23 Notice of Admission Flag 入会フラッグの通知 (ID) 00448

定義：このフィールドは保険会社が医療提供者から入院の書かれた通知を必要とするかどうかを示す。取り得る値はHL7表0136 - Yes/no識別子を参照。

Y written notice of admission required 入院通知書面必要
N no notice required 通知を必要としない

IN1-24 Notice of Admission Date 入院通知日付 (DT) 00449

定義：通知が必要であるなら、このフィールドはそれが送られた日付を示す。

© JAHIS 2012

IN1-25　Report of Eligibility Flag　有資格フラッグの報告 (ID)　00450

定義：このフィールドは、当該保険保有者がその患者が給付金の資格があることを示す記録を送るかどうか、あるいはこれらの給付金かどうかを識別するかどうかを示す。有効値としてHL7 table 0136 - Yes/no識別子を参照のこと

Y　eligibility report is sent 有資格報告の送信
N　no eligibility report is sent 無資格報告の送信

IN1-26　Report of Eligibility Date 資格報告日付 (DT)　00451

定義：このフィールドは資格報告（ROE: Report of eligibility）を受け取ったかどうか、と受け取った日付とともに指定する。

IN1-27　Release Information Code 情報コードの解放　(IS)　00452

定義：このフィールドは医療提供者が患者の情報を公開できるか、どんな情報を解放できるかを示す。推奨値として使用者定義表 0093 - 情報解放を参照。

使用者定義表0093 - Release Information 情報解放

Value	Description	Comment
Y	Yes	
N	No	
…	user-defined codes	

IN1-28　Pre-admit Cert (PAC) 入院前認定書(PAC)　(ST)　00453

定義：このフィールドは入院前認定コードを示す。もし入院が入院前に認定されなければ、これは入院に関するコードである。

IN1-29　Verification Date/Time 検証日時 (TS)　00454

成分：　<Time (DTM)> ^ <DEPRECATED-Degree of Precision (ID)>

定義：このフィールドは医療提供者が患者に指示された給付があることを検証した日時からなる。

IN1-30　Verification by　検証者　(XCN)　00455

成分：　<ID Number (ST)> ^ <Family Name (FN)> ^ <Given Name (ST)> ^ <Second and Further Given Names or Initials Thereof (ST)> ^ <Suffix (e.g., JR or III) (ST)> ^ <Prefix (e.g., DR) (ST)> ^ <DEPRECATED-Degree (e.g., MD) (IS)> ^ <Source Table (IS)> ^ <Assigning Authority (HD)> ^ <Name Type Code (ID)> ^ <Identifier Check Digit (ST)> ^ <Check Digit Scheme (ID)> ^ <Identifier Type Code (ID)> ^ <Assigning Facility (HD)> ^ <Name Representation Code (ID)> ^ <Name Context (CWE)> ^ <DEPRECATED-Name Validity Range (DR)> ^ <Name Assembly Order (ID)> ^ <Effective Date (TS)> ^ <Expiration Date (TS)> ^ <Professional Suffix (ST)> ^ <Assigning Jurisdiction (CWE)> ^ <Assigning Agency or Department (CWE)>

副成分 for Family Name (FN):　<Surname (ST)> & <Own Surname Prefix (ST)> & <Own Surname (ST)> & <Surname Prefix From Partner/Spouse (ST)> & <Surname From Partner/Spouse (ST)>

副成分 for Assigning Authority (HD):　<Namespace ID (IS)> & <Universal ID (ST)> & <Universal ID Type (ID)>

副成分 for Assigning Facility (HD):　<Namespace ID (IS)> & <Universal ID (ST)> & <Universal ID Type (ID)>

副成分 for Name Context (CWE):　<identifier (ST)> ^ <text (ST)> ^ <name of coding system (ID)> ^ <alternate identifier (ST)> ^ <alternate text (ST)> ^ <name of alternate coding system (ID)> ^ <coding system version ID (ST)> ^< alternate coding system version ID (ST)> ^ <original text (ST)>

副成分 for DEPRECATED-Name Validity Range (DR):　<Range Start Date/Time (TS)> & <Range End Date/Time (TS)>

Note subcomponent contains sub-subcomponents

副成分 for Effective Date (TS):　<Time (DTM)> & <DEPRECATED-Degree of Precision (ID)>

副成分 for Expiration Date (TS):　<Time (DTM)> & <DEPRECATED-Degree of Precision (ID)>

副成分 for Assigning Jurisdiction (CWE):　<Identifier (ST)> & <Text (ST)> & <Name of Coding System (ID)> & <Alternate Identifier (ST)> & <Alternate Text (ST)> & <Name of Alternate Coding System (ID)> & <Coding System Version ID (ST)> & <Alternate Coding System Version ID (ST)> & <Original Text (ST)>

副成分 for Assigning Agency or Department (CWE):　<Identifier (ST)> & <Text (ST)> & <Name of Coding System (ID)> & <Alternate Identifier (ST)> & <Alternate Text (ST)> & <Name of Alternate Coding System (ID)> & <Coding System Version ID (ST)> & <Alternate Coding System Version ID (ST)> & <Original Text (ST)>

定義：給付を検証した個人を示す。同一被保険者の複数の名称がこのフォールドで送られる。法的名称が第1反復フィールドにあるものとする。法的名称を送らないときは、反復区切文字を第1反復として最初に送らなければならない。

© JAHIS 2012

IN1-31　Type of Agreement Code 同意コード型　(IS)　00456

定義：このフィールドは保険プランをさらに定義するために使用する。推奨値として使用者定義表0098 - 同意型を参照。

使用者定義表0098 - Type of Agreement 同意型

Value	Description	Comment
S	Standard	
U	Unified	
M	Maternity	

IN1-32　Billing Status 請求状態　(IS)　00457

定義：このフィールドは特定の保険が請求されたかどうか、もしそうであるなら請求タイプを示す。推奨値としては使用者定義表0022 - 請求状態を参照。

使用者定義表0022 - Billing Status 請求状態

Value	Description	Comment
	推奨値なし	

IN1-33　Lifetime Reserve Days 予約残日数 (NM)　00458

定義：このフィールドは保険ポリシーに基づいて提供あるいはカバーされているサービスに対する残りの日数からなる。

IN1-34　Delay Before L.R. Day 全予約日数以前遅延　(NM)　00459

定義：このフィールドは全予約日数以前の遅延を示す。

IN1-35　Company Plan Code 会社プランコード (IS)　00460

定義：このフィールドはIN1-3 -保険会社IDのデータを詳細に定義するためのオプション情報である。推奨値として使用者定義表0042 - 会社プランコードを参照。この表は保険会社を一意に識別するために使用するコードである。

使用者定義表0042 - Company Plan Code 会社プランコード

Value	Description	Comment
	推奨値なし	

IN1-36　Policy Number ポリシー番号 (ST)　00461

定義：このフィールドは当該患者のプランを一意に識別するための被保険者の個々のポリシー番号からなる。保険の特別なタイプとして、Medicaid、Medicare、Champus（例、IN2-6 - Medicare Health Ins Card Number, IN2-8 - Medicaid Case Number, IN2-10 - Military ID Number）のためのIN2セグメントの特殊なフィールドも存在する。しかし、本フィールド（IN1-36 - Policy Number）に、その患者の保険番号がこれらの他のフィールドにあるとしても、記入することを推奨する。

IN1-37　Policy Deductible 免責ポリシー　(CP)　00462

成分：　<Price (MO)> ^ <Price Type (ID)> ^ <From Value (NM)> ^ <To Value (NM)> ^ <Range Units (CWE)> ^ <Range Type (ID)>

副成分 for Price (MO):　<Quantity (NM)> & <Denomination (ID)>

副成分 for Range Units (CWE):　<identifier (ST)> ^ <text (ST)> ^ <name of coding system (ID)> ^ <alternate identifier (ST)> ^ <alternate text (ST)> ^ <name of alternate coding system (ID)> ^ <coding system version ID (ST)> ^< alternate coding system version ID (ST)> ^ <original text (ST)>

定義：このフィールドは保証人（例　控除額、超過額など）の責任である保険プランによって特化されている総額からなる。

IN1-38　Policy Limit - Amount 限度額ポリシー (CP)　00463

成分：　<Price (MO)> ^ <Price Type (ID)> ^ <From Value (NM)> ^ <To Value (NM)> ^ <Range Units (CWE)> ^ <Range Type (ID)>

副成分 for Price (MO):　<Quantity (NM)> & <Denomination (ID)>

副成分 for Range Units (CWE):　<identifier (ST)> ^ <text (ST)> ^ <name of coding system (ID)> ^ <alternate identifier (ST)> ^ <alternate text (ST)> ^ <name of alternate coding system (ID)> ^ <coding system version ID (ST)> ^< alternate coding system version ID (ST)> ^ <original text (ST)>

定義：このフィールドはHL7 V2.3のような旧版との互換性のためにある。このフィールドの代わ

りにIN2-29 - Policy Type/Amountを使用すること。このフィールドは支払われる保険ポリシーの最大総額からなる。時にはこの限度額が１回の受診であるかもしれない。

IN1-39 Policy Limit – Days 限度日数のポリシー (NM) 00464

定義：このフィールドは保険ポリシーがカバーする最大日数からなる。

IN1-40 Room Rate - Semi-Private 室料-準個室 (CP) 00465

成分： <Price (MO)> ^ <Price Type (ID)> ^ <From Value (NM)> ^ <To Value (NM)> ^ <Range Units (CWE)> ^ <Range Type (ID)>

副成分 for Price (MO): <Quantity (NM)> & <Denomination (ID)>

副成分 for Range Units (CWE): <identifier (ST)> ^ <text (ST)> ^ <name of coding system (ID)> ^ <alternate identifier (ST)> ^ <alternate text (ST)> ^ <name of alternate coding system (ID)> ^ <coding system version ID (ST)> ^< alternate coding system version ID (ST)> ^ <original text (ST)>

定義：このフィールドはV2.3のような旧版との互換性のためにある。このフィールドの代わりIN2-28 - Room Coverage Type/Amountを使用すること。旧版との互換性を取るときは、IN1-40 - Room Rate Semi-Privateはポリシーがカバーする平均的室料である。

IN1-41 Room Rate – Private 室料-個室 (CP) 00466

成分： <Price (MO)> ^ <Price Type (ID)> ^ <From Value (NM)> ^ <To Value (NM)> ^ <Range Units (CWE)> ^ <Range Type (ID)>

副成分 for Price (MO): <Quantity (NM)> & <Denomination (ID)>

副成分 for Range Units (CWE): <identifier (ST)> ^ <text (ST)> ^ <name of coding system (ID)> ^ <alternate identifier (ST)> ^ <alternate text (ST)> ^ <name of alternate coding system (ID)> ^ <coding system version ID (ST)> ^< alternate coding system version ID (ST)> ^ <original text (ST)>

定義：このフィールドはHL7 V2.3のような旧版との互換性のためにある。このフィールドの代わりにIN2-28 - Room Coverage Type/Amountを使用すること。旧版との互換性を取るときは、IN1-41 - Room Rate - Privateはポリシーでカバーする最高の個室料金である。

IN1-42 Insured’s Employment Status 被保険者雇用状態 (CWE) 00467

成分： <Identifier (ST)> ^ <Text (ST)> ^ <Name of Coding System (ID)> ^ <Alternate Identifier (ST)> ^ <Alternate Text (ST)> ^ <Name of Alternate Coding System (ID)> ^ <Coding System Version ID (ST)> ^ <Alternate Coding System Version ID (ST)> ^ <Original Text (ST)>

定義：このフィールドは被保険者の雇用状態を保持する。推奨値として使用者定義表0066-雇用状態を参照。このフィールドはUB92フィールド64を含む。このフィールド要素に対して、US CMS UB92の値と他のものが使用される。

IN1-43 Insured’s Administrative Sex 被保険者の性別 (IS) 00468

定義：このフィールドは被保険者の性別からなる。推奨値として第３章の使用者定義表0001 - 性別を参照。

IN1-44 Insured's Employer’s Address 被保険者の雇用者の住所 (XAD) 00469

成分： <Street Address (SAD)> ^ <Other Designation (ST)> ^ <City (ST)> ^ <State or Province (ST)> ^ <Zip or Postal Code (ST)> ^ <Country (ID)> ^ <Address Type (ID)> ^ <Other Geographic Designation (ST)> ^ <County/Parish Code (IS)> ^ <Census Tract (IS)> ^ <Address Representation Code (ID)> ^ <DEPRECATED-Address Validity Range (DR)> ^ <Effective Date (TS)> ^ <Expiration Date (TS)>

副成分 for Street Address (SAD): <Street or Mailing Address (ST)> & <Street Name (ST)> & <Dwelling Number (ST)>

副成分 for DEPRECATED-Address Validity Range (DR): <Range Start Date/Time (TS)> & <Range End Date/Time (TS)>

Note subcomponent contains sub-subcomponents

副成分 for Effective Date (TS): <Time (DTM)> & <DEPRECATED-Degree of Precision (ID)>

副成分 for Expiration Date (TS): <Time (DTM)> & <DEPRECATED-Degree of Precision (ID)>

定義：このフィールドは被保険者である従業員の雇用者の住所からなる。同一雇用者の複数の住所がこのフォールドで送られる。郵送のための住所が第1反復フィールドにあるものとする。郵送のための住所を送らないときは、反復区切文字を第1反復として最初に送らなければならない。

IN1-45 Verification Status 検証状態 (ST) 00470

定義：このフィールドは保険保有者と当該患者との関係状態からなる。

© JAHIS 2012

IN1-46　Prior Insurance Plan ID 以前保険プランID　(IS)　00471

定義：このフィールドはプランIDが変更になった時の前の保険プランを一意に識別する。推奨値として使用者定義表0072 - 保険プランIDを参照。

IN1-47　Coverage Type 適用範囲型　(IS)　01227

定義：このフィールドは保険適用範囲の型の識別の符号化構造、あるいは請求システムの目的のための適用範囲のサービスの型からなる。たとえば、医師の請求システムは医師/専門家課金に適用するプランに対する保険情報のみを受け取りたいという場合である。推奨値として使用者定義表0309 - 適用範囲型を参照。

使用者定義表0309 - Coverage Type 適用範囲型

Value	Description	Comment
H	Hospital/institutional	
P	Physician/professional	
B	Both hospital and physician	

IN1-48　Handicap　ハンディキャップ　(IS)　00753

定義：このフィールドは被保険者の障害を記述するためのコードからなる。推奨値としてHL7 V2.5第3章の使用者定義表0295 - ハンディキャップを参照。

IN1-49　Insured's ID Number 被保険者ID番号 (CX)　01230

成分：　<ID Number (ST)> ^ <Check Digit (ST)> ^ <Check Digit Scheme　(ID)> ^ <Assigning Authority (HD)> ^ <Identifier Type Code (ID)> ^ <Assigning Facility (HD)> ^ <Effective Date (DT)> ^ <Expiration Date (DT)> ^ <Assigning Jurisdiction (CWE)> ^ <Assigning Agency or Department (CWE)>

副成分 for Assigning Authority (HD):　<Namespace ID (IS)> & <Universal ID (ST)> & <Universal ID Type (ID)>

副成分 for Assigning Facility (HD):　<Namespace ID (IS)> & <Universal ID (ST)> & <Universal ID Type (ID)>

副成分 for Assigning Jurisdiction (CWE):　<Identifier (ST)> & <Text (ST)> & <Name of Coding System (ID)> & <Alternate Identifier (ST)> & <Alternate Text (ST)> & <Name of Alternate Coding System (ID)> & <Coding System Version ID (ST)> & <Alternate Coding System Version ID (ST)> & <Original Text (ST)>

副成分 for Assigning Agency or Department (CWE):　<Identifier (ST)> & <Text (ST)> & <Name of Coding System (ID)> & <Alternate Identifier (ST)> & <Alternate Text (ST)> & <Name of Alternate Coding System (ID)> & <Coding System Version ID (ST)> & <Alternate Coding System Version ID (ST)> & <Original Text (ST)>

定義：このデータ要素は被保険者に対する医療機関識別子からなる。割当機関とID型コードは全てCXデータ型とすることを強く推奨する。

IN1-50　Signature Code 署名コード　(IS)　01854

定義：本フィールドは患者／引受人の承認署名がいかに得られたか、いかに提供者によって維持されたかを示すためのコードからなる。推奨値として使用者定義表0535-署名コードを参照。

使用者定義表0535 - Signature Code 署名コード

Value	Description	Comment
C	Signed CMS-1500 claim form on file, e.g. authorization for release of any medical or other information necessary to process this claim and assignment of benefits.	
S	Signed authorization for release of any medical or other information necessary to process this claim on file.	
M	Signed authorization for assignment of benefits on file.	
P	Signature generated by provider because the patient was not physically present for services.	

IN1-51　Signature Code Date 署名コード日　(DT)　01855

定義：患者/引受人の承認署名が得られた日付。

IN1-52　Insured's Birth Place 被保険者出生地　(ST)　01899

定義：被保険者の出生地の記述、たとえば「St. Francis Community Hospital of Lower South Side.」からなる。実際の住所は識別子「N」を伴ったIN1-19 – 被保険者住所で報告される。

IN1-53　VIP Indicator　VIP識別　(IS)　01852

定義：本フィールドは被保険者のためのVIPの型を識別する。推奨値としてHL7 V2.5第３章の使用者定義表0099 – VIP識別を参照。

© JAHIS 2012

7.21 MRG - Merge Patient Information Segment 患者情報マージセグメント

MRGセグメントは受信側アプリケーションに患者データのみならず記録群のマージを行うに必要な情報を提供する。このセグメントは特定のアプリケーションにおける登録、会計、診療情報のマージを実現するための標準として使われることを意図している。
患者識別情報の4番目の成分である発行機関はHDデータ型であり、発行機関により一意的に関連つけられた固有の番号である。発行機関のIDを与えた機関、相互連絡機関は患者識別情報（そして他の重要な識別情報）を付与する可能性のある発行機関のリストを作成しなければならない。そのリストはその発行機関の最も重要なマスターリストのひとつとなる。（患者IDを付与した機関とは別の）第三者機関は患者識別情報を含むHL7メッセージを送信あるいは受信するかもしれないので、患者IDに含まれる発行機関はMSHで示される送信システムや受信システムと同じであってはならない。発行機関は、その地域では唯一である必要がある。このフィールドはHL7の導入に際して、複数の患者管理アプリケーションにおいてこのような番号を割り当てる必要がある。

HL7属性表 - MRG - Merge Patient Information 患者情報マージ

SEQ	LEN	DT	OPT	Japan	RP/#	ITEM#	ELEMENT NAME
1	250	CX	R	R	Y	00211	Prior Patient Identifier List 以前の患者 ID リスト
2	250	CX	B	B	Y	00212	Prior Alternate Patient ID 以前の代替患者 ID
3	250	CX	O	O		00213	Prior Patient Account Number 以前の患者会計番号
4	250	CX	B	B		00214	Prior Patient ID 以前の患者 ID
5	250	CX	O	O		01279	Prior Visit Number 以前の来院番号
6	250	CX	O	O		01280	Prior Alternate Visit ID 以前の代替来院 ID
7	250	XPN	O	O	Y	01281	Prior Patient Name 以前の患者氏名

MRG フィールド定義

MRG-1 Prior Patient Identifier List 以前の患者IDリスト (CX) 00211

成分： <ID Number (ST)> ^ <heck Digit (ST)> ^ <Check Digit Scheme (ID)> ^ <Assigning Authority (HD)> ^ <Identifier Type Code (ID)> ^ <Assigning Facility (HD)> ^ <Effective Date (DT)> ^ <Expiration Date (DT)> ^ <Assigning Jurisdiction (CWE)> ^ <Assigning Agency or Department (CWE)>

副成分 for Assigning Authority (HD): <Namespace ID (IS)> & <Universal ID (ST)> & <Universal ID Type (ID)>

副成分 for Assigning Facility (HD): <Namespace ID (IS)> & <Universal ID (ST)> & <Universal ID Type (ID)>

副成分 for Assigning Jurisdiction (CWE): <Identifier (ST)> & <Text (ST)> & <Name of Coding System (ID)> & <Alternate Identifier (ST)> & <Alternate Text (ST)> & <Name of Alternate Coding System (ID)> & <Coding System Version ID (ST)> & <Alternate Coding System Version ID (ST)> & <Original Text (ST)>

副成分 for Assigning Agency or Department (CWE): <Identifier (ST)> & <Text (ST)> & <Name of Coding System (ID)> & <Alternate Identifier (ST)> & <Alternate Text (ST)> & <Name of Alternate Coding System (ID)> & <Coding System Version ID (ST)> & <Alternate Coding System Version ID (ST)> & <Original Text (ST)>

定義：このフィールドは以前の患者IDリストからなる。このフィールドは合致する「古い」番号と位置づけられるリストからなる。トランザクションでは1つの古い番号のみ1つの新しい番号にマージできる。有効値はHL7表0061 - チェックデジットスキーマを参照。発行機関と識別型コードはすべてCXデータ型であることを強く推奨する。

MRG-2 Prior Alternate Patient ID 以前の代替患者ID (CX) 00212

成分： <ID Number (ST)> ^ <heck Digit (ST)> ^ <Check Digit Scheme (ID)> ^ <Assigning Authority (HD)> ^ <Identifier Type Code (ID)> ^ <Assigning Facility (HD)> ^ <Effective Date (DT)> ^ <Expiration Date (DT)> ^ <Assigning Jurisdiction (CWE)> ^ <Assigning Agency or Department (CWE)>

副成分 for Assigning Authority (HD): <Namespace ID (IS)> & <Universal ID (ST)> & <Universal ID Type (ID)>

副成分 for Assigning Facility (HD): <Namespace ID (IS)> & <Universal ID (ST)> & <Universal ID Type (ID)>

副成分 for Assigning Jurisdiction (CWE): <Identifier (ST)> & <Text (ST)> & <Name of Coding System (ID)> & <Alternate Identifier (ST)> & <Alternate Text (ST)> & <Name of Alternate Coding System (ID)> & <Coding System Version ID (ST)> & <Alternate Coding System Version ID (ST)> & <Original Text (ST)>

副成分 for Assigning Agency or Department (CWE): <Identifier (ST)> & <Text (ST)> & <Name of Coding System (ID)> & <Alternate Identifier (ST)> & <Alternate Text (ST)> & <Name of Alternate Coding System (ID)> & <Coding System Version ID (ST)> & <Alternate Coding System Version ID (ST)> & <Original Text (ST)>

定義：このフィールドは旧バージョンとの互換性のためにのみ残されている。患者の識別情報は

すべてMRG-1以前の患者IDリストを使用すること。このフィールドは前の代替患者IDからなる。有効値はHL7表0061 - チェックデジットスキーマを参照。発行機関と識別型コードはすべてCXデータ型であることを強く推奨する。

MRG-3 Prior Patient Account Number 以前の患者会計番号 (CX) 00213

成分： <ID Number (ST)> ^ <heck Digit (ST)> ^ <Check Digit Scheme (ID)> ^ <Assigning Authority (HD)> ^ <Identifier Type Code (ID)> ^ <Assigning Facility (HD)> ^ <Effective Date (DT)> ^ <Expiration Date (DT)> ^ <Assigning Jurisdiction (CWE)> ^ <Assigning Agency or Department (CWE)>

副成分 for Assigning Authority (HD): <Namespace ID (IS)> & <Universal ID (ST)> & <Universal ID Type (ID)>

副成分 for Assigning Facility (HD): <Namespace ID (IS)> & <Universal ID (ST)> & <Universal ID Type (ID)>

副成分 for Assigning Jurisdiction (CWE): <Identifier (ST)> & <Text (ST)> & <Name of Coding System (ID)> & <Alternate Identifier (ST)> & <Alternate Text (ST)> & <Name of Alternate Coding System (ID)> & <Coding System Version ID (ST)> & <Alternate Coding System Version ID (ST)> & <Original Text (ST)>

副成分 for Assigning Agency or Department (CWE): <Identifier (ST)> & <Text (ST)> & <Name of Coding System (ID)> & <Alternate Identifier (ST)> & <Alternate Text (ST)> & <Name of Alternate Coding System (ID)> & <Coding System Version ID (ST)> & <Alternate Coding System Version ID (ST)> & <Original Text (ST)>

定義：このフィールドは以前の患者会計番号からなる。有効値はHL7表0061 - チェックデジットスキーマを参照。発行機関と識別型コードはすべてCXデータ型であることを強く推奨する。

MRG-4 Prior Patient ID 以前の患者ID (CX) 00214

成分： <ID Number (ST)> ^ <heck Digit (ST)> ^ <Check Digit Scheme (ID)> ^ <Assigning Authority (HD)> ^ <Identifier Type Code (ID)> ^ <Assigning Facility (HD)> ^ <Effective Date (DT)> ^ <Expiration Date (DT)> ^ <Assigning Jurisdiction (CWE)> ^ <Assigning Agency or Department (CWE)>

副成分 for Assigning Authority (HD): <Namespace ID (IS)> & <Universal ID (ST)> & <Universal ID Type (ID)>

副成分 for Assigning Facility (HD): <Namespace ID (IS)> & <Universal ID (ST)> & <Universal ID Type (ID)>

副成分 for Assigning Jurisdiction (CWE): <Identifier (ST)> & <Text (ST)> & <Name of Coding System (ID)> & <Alternate Identifier (ST)> & <Alternate Text (ST)> & <Name of Alternate Coding System (ID)> & <Coding System Version ID (ST)> & <Alternate Coding System Version ID (ST)> & <Original Text (ST)>

副成分 for Assigning Agency or Department (CWE): <Identifier (ST)> & <Text (ST)> & <Name of Coding System (ID)> & <Alternate Identifier (ST)> & <Alternate Text (ST)> & <Name of Alternate Coding System (ID)> & <Coding System Version ID (ST)> & <Alternate Coding System Version ID (ST)> & <Original Text (ST)>

定義：このフィールドは旧バージョンとの互換性のためにのみ残されている。患者の識別情報はすべてMRG-1前の患者IDリストを使用すること。このフィールドは以前の患者IDを示す。有効値はHL7表0061 - チェックデジットスキーマを参照。発行機関と識別型コードはすべてCXデータ型であることを強く推奨する。

MRG-5 Prior Visit Number 以前の来院番号 (CX) 01279

成分： <ID Number (ST)> ^ <heck Digit (ST)> ^ <Check Digit Scheme (ID)> ^ <Assigning Authority (HD)> ^ <Identifier Type Code (ID)> ^ <Assigning Facility (HD)> ^ <Effective Date (DT)> ^ <Expiration Date (DT)> ^ <Assigning Jurisdiction (CWE)> ^ <Assigning Agency or Department (CWE)>

副成分 for Assigning Authority (HD): <Namespace ID (IS)> & <Universal ID (ST)> & <Universal ID Type (ID)>

副成分 for Assigning Facility (HD): <Namespace ID (IS)> & <Universal ID (ST)> & <Universal ID Type (ID)>

副成分 for Assigning Jurisdiction (CWE): <Identifier (ST)> & <Text (ST)> & <Name of Coding System (ID)> & <Alternate Identifier (ST)> & <Alternate Text (ST)> & <Name of Alternate Coding System (ID)> & <Coding System Version ID (ST)> & <Alternate Coding System Version ID (ST)> & <Original Text (ST)>

副成分 for Assigning Agency or Department (CWE): <Identifier (ST)> & <Text (ST)> & <Name of Coding System (ID)> & <Alternate Identifier (ST)> & <Alternate Text (ST)> & <Name of Alternate Coding System (ID)> & <Coding System Version ID (ST)> & <Alternate Coding System Version ID (ST)> & <Original Text (ST)>

定義：このフィールドは以前の来院番号からなる。有効値はHL7表0061 - チェックデジットスキーマを参照。発行機関と識別型コードはすべてCXデータ型であることを強く推奨する。

MRG-6 Prior Alternate Visit ID 以前の代替来院ID (CX) 01280

成分： <ID Number (ST)> ^ <heck Digit (ST)> ^ <Check Digit Scheme (ID)> ^ <Assigning Authority (HD)> ^ <Identifier Type Code (ID)> ^ <Assigning Facility (HD)> ^ <Effective Date (DT)> ^ <Expiration Date (DT)> ^ <Assigning Jurisdiction (CWE)> ^ <Assigning Agency or Department (CWE)>

副成分 for Assigning Authority (HD): <Namespace ID (IS)> & <Universal ID (ST)> & <Universal ID Type (ID)>

副成分 for Assigning Facility (HD): <Namespace ID (IS)> & <Universal ID (ST)> & <Universal ID Type (ID)>

副成分 for Assigning Jurisdiction (CWE): <Identifier (ST)> & <Text (ST)> & <Name of Coding System (ID)> & <Alternate Identifier (ST)> & <Alternate Text (ST)> & <Name of Alternate Coding System (ID)> & <Coding System Version ID (ST)> & <Alternate Coding System Version ID (ST)> & <Original Text (ST)>

© JAHIS 2012

副成分 for Assigning Agency or Department (CWE): <Identifier (ST)> & <Text (ST)> & <Name of Coding System (ID)> & <Alternate Identifier (ST)> & <Alternate Text (ST)> & <Name of Alternate Coding System (ID)> & <Coding System Version ID (ST)> & <Alternate Coding System Version ID (ST)> & <Original Text (ST)>

定義：このフィールドは以前の代替来院番号からなる。有効値はHL7表0061 - チェックデジットスキーマを参照。発行機関と識別型コードはすべてCXデータ型であることを強く推奨する。

MRG-7 Prior Patient Name 以前の患者氏名 (XPN) 01281

成分： <Family Name (FN)> ^ <Given Name (ST)> ^ <Second and Further Given Names or Initials Thereof (ST)> ^ <Suffix (e.g., JR or III) (ST)> ^ <Prefix (e.g., DR) (ST)> ^ <Degree (e.g., MD) (IS)> ^ <Name Type Code (ID)> ^ <Name Representation Code (ID)> ^ <Name Context (CWE)> ^ <Name Validity Range (DR)> ^ <Name Assembly Order (ID)> ^ <Effective Date (TS)> ^ <Expiration Date (TS)> ^ <Professional Suffix (ST)>

副成分 for Family Name (FN): <Surname (ST)> & <Own Surname Prefix (ST)> & <Own Surname (ST)> & <Surname Prefix From Partner/Spouse (ST)> & <Surname From Partner/Spouse (ST)>

副成分 for Name Context (CWE): <identifier (ST)> ^ <text (ST)> ^ <name of coding system (ID)> ^ <alternate identifier (ST)> ^ <alternate text (ST)> ^ <name of alternate coding system (ID)> ^ <coding system version ID (ST)> ^< alternate coding system version ID (ST)> ^ <original text (ST)>

副成分 for Name Validity Range (DR): <Range Start Date/Time (TS)> & <Range End Date/Time (TS)>

副成分 for Range Start Date/Time (TS): <Time (DTM)> & <Degree of Precision (ID)>

副成分 for Range End Date/Time (TS): <Time (DTM)> & <Degree of Precision (ID)>

副成分 for Effective Date (TS): <Time (DTM)> & <Degree of Precision (ID)>

副成分 for Expiration Date (TS): <Time (DTM)> & <Degree of Precision (ID)>

定義：このフィールドは前の患者の名前からなる。このフィールドは患者の名前を変更するためには使われない。有効値はHL7表0200 - 名前種別を参照。

© JAHIS 2012

8. 臨床検査自動化用 メッセージ構文

8. 臨床検査自動化用 メッセージ構文 8-1
8.1. 自動化装置ステータス(ESU/ESR) 8-2
8.1.1. ESU/ACK – 自動化装置ステータス更新 イベント (U01) 8-2
8.1.2. ESR/ACK – 自動化装置ステータス要求 イベント (U02) 8-3
8.2. 検体ステータス(SSU/SSR) 8-4
8.2.1. SSU/ACK 検体ステータス更新 イベント(U03) 8-4
8.2.2. SSR/ACK 検体ステータス要求 イベント(U04) 8-5
8.3. 自動化装置在庫 (INU/INR) 8-6
8.3.1. INU/ACK 自動化装置在庫更新 イベント(U05) 8-6
8.3.2. INR/ACK 自動化装置在庫要求 イベント(U06) 8-7
8.4. 自動化装置コマンド(EAC/EAR) 8-8
8.4.1. EAC/ACK 自動化装置コマンド イベント(U07) 8-8
8.4.2. EAR/ACK 自動化装置応答 イベント(U08) 8-10
8.5. 自動化装置通知(EAN/ACK) 8-11
8.5.1. EAN/ACK 自動化装置通知 イベント(U09) 8-11
8.5.2. EAC/ACK 自動化装置コマンド(通知クリア) イベント(U07) 8-12
8.6. 自動化装置検査コード設定(TCU/TCR) 8-13
8.6.1. TCU/ACK 自動化検査コード設定 イベント(U10) 8-13
8.6.2. TCR/ACK 自動化検査コード要求 イベント(U11) 8-13
8.7. 自動化装置ログ／サービス (LSU/LSR) 8-15
8.7.1. LSU/ACK 自動化装置ログ/サービス更新 イベント(U12) 8-15
8.7.2. LSR/ACK 自動化装置ログ/サービス要求 イベント(U13) 8-16

メッセージ構文での表記規則：

- Comment(JPN) (JAHIS仕様での取り扱い)
  - R - 必須。
  - O - オプション。
  - C - トリガイベントまたはメッセージの使用条件による。
  - X - 本規約では使用しない。
  - N - 使用しない（関係者の合意のもとに関係システム内限定で使用可。
- 注： [ ] は省略可能、{ } は繰返し可能を示す。

© JAHIS 2012

8.1. 自動化装置ステータス(ESU/ESR)

装置または装置ステータスに関する情報の要求には自動化装置ステータス要求(ESR)を用い、その場合の応答には自動化装置ステータス更新(ESU)を使用する。
なお、自動化装置ステータス更新(ESU)は自発的に装置または装置ステータスに関する情報の更新を行うために送信できる。

8.1.1. ESU/ACK – 自動化装置ステータス更新　イベント（U01）

このメッセージは、1つのアプリケーションから別のアプリケーションに装置または装置のステータスに関する情報を送信するために使用される（例： Equipment → LAS）。
ステータス更新は、自発的に，または「自動化装置ステータス要求」トリガへの応答として送信できる。

ESU/ACK　自動化装置ステータス更新メッセージ

ESU^U01　　Equipment Status Message

ESU^U01^ESU_U01	Equipment Status Message	Comment(JPN)	Chapter
MSH	Message Header	R	2
[{ SFT }]	Software Segment	N	2
EQU	Equipment Detail	R	13
{ [ISD] }	Interaction Status Detail	O	13
[ROL]	Role Detail	O	12

ACK^U01　　General Acknowledgment

ACK^U01^ACK	General Acknowledgement	Comment(JPN)	Chapter
MSH	Message Header	R	2
[{ SFT }]	Software segment	N	2
MSA	Message Acknowledgment	R	2
[{ ERR }]	Error[1]	C	2

- MSHはメッセージに1つ必須である。
- MSAはメッセージに1つ必須である。
- EQUはメッセージに1つ必須である。
- SFTセグメントは省略ができる。
- ISDセグメントは省略ができる。
- ROLセグメントは省略ができる。
- ERRセグメントは否定応答（MSA-1 = AE or AR）の場合に使用されるべきである。

[1] このエラーセグメントは否認トランザクションの起因となったフィールドを示す。

© JAHIS 2012

8.1.2. ESR/ACK – 自動化装置ステータス要求　イベント（U02）

このメッセージは、1つのアプリケーションから別のアプリケーションに機器または装置のステータスに関する情報を要求するために使用される（例： LAS → Equipment）。
EQUセグメントで指定された装置は、「自動化装置ステータス更新」を使ってステータスを返す必要がある。

ESR/ACK　自動化装置ステータス要求メッセージ

ESR^U02　　Equipment Status Message

ESR^U02^ESR_U02	Equipment Status Message	Comment(JPN)	Chapter
MSH	Message Header	R	2
[{ SFT }]	Software Segment	N	2
EQU	Equipment Detail	R	13
[ROL]	Role Detail	O	12

ACK^U02　　General Acknowledgment

ACK^U02^ACK	General Acknowledgment	Comment(JPN)	Chapter
MSH	Message Header	R	2
[{ SFT }]	Software segment	N	2
MSA	Message Acknowledgment	R	2
[{ ERR }]	Error	C	2

- MSHはメッセージに1つ必須である。
- MSAはメッセージに1つ必須である。
- EQUはメッセージに1つ必須である。
- SFTセグメントは省略ができる。
- ERRセグメントは否定応答（MSA-1 = AE or AR）の場合に使用されるべきである。

© JAHIS 2012

8.2. 検体ステータス(SSU/SSR)

8.2.1. SSU/ACK 検体ステータス更新 イベント(U03)

このメッセージは、検体の位置とステータスに関する情報を 1 つのアプリケーションから他のアプリケーションに送信するために使用される。（例：自動化装置から臨床検査自動化システムへ）

SAC セグメントの後の OBX セグメントは SAC セグメントに含まれない情報を転送するために使われる。

SPM セグメントの後の OBX セグメントは SPM セグメントに関連する情報を転送するために使われる。

注）このメッセージは IHE 臨床検査テクニカルフレームワーク LDA プロファイルの LAB-26 トランザクションに使用される。

SSU/ACK 検体ステータス更新メッセージ

SSU^U03 Specimen Status Message

SSU^U03^SSU_U03	Specimen Status Message	Comment(JPN)	Chapter
MSH	Message Header	R	2
[{ SFT }]	Software Segment	N	2
EQU	Equipment Detail	R	13
{	--- SPECIMEN_CONTAINER begin		
SAC	Specimen Container Detail	R	13
{ [OBX] }	Additional specimen characteristics	O	7
[{	--- SPECIMEN begin		
SPM	Specimen	O	7
{ [OBX] }	Specimen related observation	O	7
}]	--- SPECIMEN end		
}	--- SPECIMEN_CONTAINER end		
[ROL]	Role Detail	N	12

ACK^U03 General Acknowledgment

ACK^U03^ACK	General Acknowledgment	Comment(JPN)	Chapter
MSH	Message Header	R	2
[{ SFT }]	Software segment	N	2
MSA	Message Acknowledgment	R	2
[{ ERR }]	Error	C	2

- MSH セグメントは、メッセージに 1 つ必須である。
- MSA セグメントは、ACK メッセージに 1 つ必須である。
- EQU セグメントは、メッセージに 1 つ必須である。
- SAC セグメントは、メッセージに 1 つ必須である。
- SFT セグメントは省略ができる。
- OBX セグメントは省略ができる。
- SPM セグメントは省略ができる。
- ROL セグメントは省略ができる。
- ERR セグメントは否定応答（MSA-1 = AE or AR）の場合に使用されるべきである。

8.2.2.SSR/ACK　検体ステータス要求 イベント(U04)

このメッセージは、検体の位置とステータスに関する情報を 1 つのアプリケーションから他のアプリケーションに要求するために使用される（例：自動化装置から臨床検査自動化システムへ）。
この要求は SAC セグメントの内容の組み合わせー容器、キャリア、トレイ、検体位置によって実現される。
EQU セグメントで指定された装置は「検体ステータス更新」を使って応答する必要がある。

SSR/ACK　検体ステータス要求メッセージ

SSR^U04　Specimen Status Message

SSR^U04^SSR_U04	Specimen Status Message	Comment(JPN)	Chapter
MSH	Message Header	R	2
[{ SFT }]	Software Segment	N	2
EQU	Equipment Detail	R	13
{	--- SPECIMEN_CONTAINER begin		
SAC	Specimen Container Detail	R	13
{ [SPM] }	Specimen	O	7
}	--- SPECIMEN_CONTAINER end		
[ROL]	Role Detail	O	12

ACK^U04　General Acknowledgment

ACK^U04^ACK	General Acknowledgment	Comment(JPN)	Chapter
MSH	Message Header	R	2
[{ SFT }]	Software segment	N	2
MSA	Message Acknowledgment	R	2
[{ ERR }]	Error	C	2

- MSH セグメントは、メッセージに 1 つ必須である。
- MSA セグメントは、ACK メッセージに 1 つ必須である。
- EQU セグメントは、メッセージに 1 つ必須である。
- SAC セグメントは、メッセージに 1 つ必須である。
- SFT セグメントは省略ができる。
- SPM セグメントは省略ができる。
- ROL セグメントは省略ができる。
- ERR セグメントは否定応答（MSA-1 = AE or AR）の場合に使用されるべきである。

© JAHIS 2012

8.3. 自動化装置在庫 (INU/INR)

8.3.1. INU/ACK 自動化装置在庫更新 イベント(U05)

このメッセージは、在庫項目に関する情報を 1 つのアプリケーションから別のアプリケーションに送信するために使用される（例： 自動化装置から臨床検査自動化システムへ)。

INU/ACK　自動化装置在庫更新メッセージ

INU^U05　　Inventory Update Message

INU^U05^INU_U05	Inventory Update Message	Comment(JPN)	Chapter
MSH	Message Header	R	2
[{ SFT }]	Software Segment	N	2
EQU	Equipment Detail	R	13
{ INV }	Inventory Detail	R	13
[ROL]	Role Detail	O	12

ACK^U05　　General Acknowledgment

ACK^U05^ACK	General Acknowledgment	Comment(JPN)	Chapter
MSH	Message Header	R	2
[{ SFT }]	Software segment	N	2
MSA	Message Acknowledgment	R	2
[{ ERR }]	Error	C	2

- MSH はメッセージに 1 つ必須である。
- MSA は ACK メッセージに 1 つ必須である。
- EQU セグメントは、EQU-1（装置 ID）と EQU-2（イベントの日付／時刻）のみ使用し、他のフィールドは使用しない。
- INV は一連の在庫情報の通知に 1 個以上必須である。 複数の在庫情報がまとめて伝送される場合、INV が在庫項目毎の区切りとなる。
- INV セグメントに含まれる主題フィルター(INV-1、物資 ID)は、照会システム(LIS/LAS)と自動化装置の間のローカルな取り決めによって定義される。
- SFT セグメントは省略ができる。
- ROL セグメントは省略ができる。
- ERR セグメントは否定応答（MSA-1 = AE or AR）の場合に使用されるべきである。

8.3.2. INR/ACK 自動化装置在庫要求 イベント(U06)

このメッセージは、在庫項目に関する情報を 1つのアプリケーションから別のアプリケーションに要求するために使用される（例： 臨床検査自動化システムから自動化装置へ)。EQU セグメントで指定された装置は、「自動化装置在庫更新」を使って INV セグメントに指定された在庫項目（またはすべての項目）を返す必要がある。

INR/ACK　自動化装置在庫要求メッセージ

INR^U06　　Inventory Request Message

INR^U06^INR_U06	Inventory Request Message	Comment(JPN)	Chapter
MSH	Message Header	R	2
[{ SFT }]	Software Segment	N	2
EQU	Equipment Detail	R	13
{ INV }	Inventory Detail	R	13
[ROL]	Role Detail	O	12

ACK^U06　　General Acknowledgment

ACK^U06^ACK	General Acknowledgment	Comment(JPN)	Chapter
MSH	Message Header	R	2
[{ SFT }]	Software segment	N	2
MSA	Message Acknowledgment	R	2
[{ ERR }]	Error	C	2

- MSH はメッセージに 1 つ必須である。
- MSA は ACK メッセージに 1 つ必須である。
- EQU セグメントは、EQU-1（装置 ID）と EQU-2（イベントの日付／時刻）のみ使用し、他のフィールドは使用しない。
- 複数の在庫情報がまとめて要求する場合、INV が要求項目毎の区切りとなる。
  INV は一連の在庫情報の要求に最低 1 個必須である。（すべての在庫情報を要求する時は、INV-1 の物資 ID に'ALL'に相当するコード、文字列などを CWE 型で指定する。）
- INV セグメントに含まれる主題フィルター(INV-1､物資 ID)は､照会システム(LIS/LAS)と自動化装置の間のローカルな取り決めによって定義される。
- INR に対する回答(INU)では、INV セグメントに含まれる問い合わせ内容(INV-1、など)をエコーバックする。
  また、同じの数だけの INV セグメントを繰り返す。
- INU があった時、先行する INR の回答である保証はしない。必要あれば、要求側(LIS/LAS)が再度要求する。
- SFT セグメントは省略ができる。
- ROL セグメントは省略ができる。
- ERR セグメントは否定応答（MSA-1 = AE or AR）の場合に使用されるべきである。

8.4. 自動化装置コマンド(EAC/EAR)

自動化装置コマンド、自動化装置応答にはメッセージ(EAC/EAR)を用いる。その場合のセグメントと構文規則は以下のとおりである。
EACメッセージは、自動化装置コマンド、自動化装置通知(クリア)の2種類のコマンドに使用される。自動化装置通知での使用方法については、次節に記載する。

8.4.1. EAC/ACK 自動化装置コマンド　イベント(U07)

このメッセージは、装置コマンドを、ひとつのアプリケーションから別のアプリケーションに送信するために使用される。（例：LAS→Equipment）

EAC/ACK 自動化装置コマンドメッセージ

EAC^U07　　Equipment Command Message

EAC^U07^EAC_U07	Equipment Command Message	Comment(JPN)	Chapter
MSH	Message Header	R	2
[{ SFT }]	Software Segment	N	2
EQU	Equipment Detail	R	13
{	--- COMMAND begin		
ECD	Equipment Command Detail	R	13
[TQ1]	Timing/quantity	O	?
[	--- SPECIMEN_CONTAINER begin		
SAC	Specimen Container Detail	O	13
{ [SPM] }	Specimen	O	7
]	--- SPECIMEN_CONTAINER end		
[CNS]	Clear Notification	O	13
}	--- COMMAND end		
[ROL]	Role Detail	O	12

ACK^U07　　General Acknowledgment

ACK^U07^ACK	General Acknowledgment	Comment(JPN)	Chapter
MSH	Message Header	R	2
[{ SFT }]	Software segment	N	2
MSA	Message Acknowledgment	R	2
[{ ERR }]	Error	C	2

- MSH セグメントは、メッセージに 1 つ必須である。
- MSA セグメントは、ACK メッセージに 1 つ必須である。
- EQU セグメントは、1 つのコマンド情報送信に対応して 1 セグメント必要である。
- 1 つの ECD セグメントに対して、SAC，CNS セグメントで情報を補足することができる。
- SAC セグメントは省略ができる。
- CNS は、メッセージ構造上定義されているが、装置コマンドとしてのメッセージ交換では使用しない。(次節の通知メッセージで使用する)
- ECD-2 リモート制御コマンドは、テーブル 0368 をベースに、個々の施設でテーブルを追加できる。
- *HL7 自体に明確な規定はないが、本仕様では、ECD-2 リモート制御コマンドに、詳細な情報を付加する必要がある場合には、ECD-5 パラメータに詳細を記述する。(ECD-2 が"EX"に限らない)*SFT セグメントは省略ができる。

- TQ1 セグメントは省略ができる。
- SPM セグメントは省略ができる。
- ROL セグメントは省略ができる。
- ERR セグメントは否定応答（MSA-1 = AE or AR）の場合に使用されるべきである。

© JAHIS 2012

8.4.2. EAR/ACK 自動化装置応答　イベント(U08)

このメッセージは、直前に発行されたコマンドに対する自動化装置応答を、ひとつのアプリケーションから別のアプリケーションに送信するために使用される。（例：Equipment→LAS）

EAR/ACK 自動化装置応答メッセージ

EAR^U08　　Equipment Command Response

EAR^U08^EAR_U08	Equipment Command Message	Comment(JPN)	Chapter
MSH	Message Header	R	2
[{ SFT }]	Software Segment	N	2
EQU	Equipment Detail	R	13
{	--- COMMAND_RESPONSE begin		
ECD	Equipment Command Detail	R	13
[	--- SPECIMEN_CONTAINER begin		
SAC	Specimen Container Detail	O	13
{ [SPM] }	Specimen	O	7
]	--- SPECIMEN_CONTAINER end		
ECR	Equipment Command Response	R	13
}	--- COMMAND_RESPONSE end		
[ROL]	Role Detail	O	12

ACK^U08　　General Acknowledgment

ACK^U08^ACK	General Acknowledgment	Comment(JPN)	Chapter
MSH	Message Header	R	2
[{ SFT }]	Software segment	N	2
MSA	Message Acknowledgment	R	2
[{ ERR }]	Error	C	2

- MSH セグメントは、メッセージに 1 つ必須である。
- MSA セグメントは、ACK メッセージに 1 つ必須である。
- ECD セグメントは、1 つのコマンド情報送信への応答として、1 セグメント必要である。
- EAR メッセージの ECD セグメントは、EAC メッセージの ECD セグメントをエコーバックする。
- 1 つの ECD セグメントに、1 つの ECR セグメントを対で付加する。
- 1 つの ECD セグメントに対して、SAC セグメントおよび SPM セグメントで情報を補足することができる。
- SFT セグメントは省略ができる。
- SAC セグメントは省略ができる。
- SPM セグメントは省略ができる。
- ROL セグメントは省略ができる。
- ERR セグメントは否定応答（MSA-1 = AE or AR）の場合に使用されるべきである。

8.5. 自動化装置通知(EAN/ACK)

自動化装置通知及びクリアにはメッセージ(EAN/ EAC)を用いる。その場合のセグメントと構文規則は以下のとおりである。
EANメッセージは自動化装置からのメッセージをひとつのアプリケーションから別のアプリケーションに送信するために使用される。（例えば警報をEquipment→LAS）

8.5.1. EAN/ACK 自動化装置通知　イベント(U09)

このメッセージは、装置からの通知を、ひとつのアプリケーションから別のアプリケーションに送信するために使用される。（例：Equipment→LAS）

EAN/ACK 自動化装置通知メッセージ

EAN^U09　　Equipment Status Message

EAN^U09^EAN_U09	Equipment Status Message	Comment(JPN)	Chapter
MSH	Message Header	R	2
[{ SFT }]	Software Segment	N	2
EQU	Equipment Detail	R	13
{	--- NOTIFICATION begin		
NDS	Notification Detail	R	13
[NTE]	Notification Note	O	2
}	--- NOTIFICATION end		
[ROL]	Role Detail	O	12

ACK^U09　　General Acknowledgment

ACK^U09^ACK	General Acknowledgment	Comment(JPN)	Chapter
MSH	Message Header	R	2
[{ SFT }]	Software segment	N	2
MSA	Message Acknowledgment	R	2
[{ ERR }]	Error	C	2

- MSH セグメントは、メッセージに 1 つ必須である。
- MSA セグメントは、ACK メッセージに 1 つ必須である。
- EQU セグメントは、メッセージに 1 つ必須である。
- NDS セグメントによる通知は、EAN メッセージ内で複数の使用が可能である。
- NTE セグメントは省略ができる。
- NDS-4 通知コードは、接続仕様ごとに、機種間でエラーコードなどの取り決めを行い使用する。
- HL7 自体に明確な規定はないが、本仕様では、NDS-2 は、送信日時ではなく、通知するイベントの発生日時とする。
- SFT セグメントは省略ができる。
- ROL セグメントは省略ができる。
- ERR セグメントは否定応答（MSA-1 = AE or AR）の場合に使用されるべきである。

8.5.2.EAC/ACK 自動化装置コマンド(通知クリア) イベント(U07)

このメッセージは、ひとつのアプリケーションから別のアプリケーションに行った通知を送信するために使用される。（例：LAS→Equipment）
EACメッセージはEANメッセージで送信された通知をクリアするコマンドとしても用いる事ができる。

EAC/ACK 自動化装置コマンドメッセージ

EAC^U07 Equipment Command Message

EAC^U07^EAC_U07	Equipment Command Message	Comment(JPN)	Chapter
MSH	Message Header	R	2
[{ SFT }]	Software Segment	N	2
EQU	Equipment Detail	R	13
{	--- COMMAND begin		
ECD	Equipment Command Detail	R	13
[TQ1]	Timing/quantity		?
[	--- SPECIMEN_CONTAINER begin		
SAC	Specimen Container Detail	O	13
{ [SPM] }	Specimen	O	7
]	--- SPECIMEN_CONTAINER end		
[CNS]	Clear Notification	O	13
}	--- COMMAND end		
[ROL]	Role Detail	O	12

ACK^U07 General Acknowledgment

ACK^U07^ACK	General Acknowledgment	Comment(JPN)	Chapter
MSH	Message Header	R	2
[{ SFT }]	Software segment	N	2
MSA	Message Acknowledgment	R	2
[{ ERR }]	Error	C	2

- MSH セグメントは、メッセージに 1 つ必須である。
- MSA セグメントは、ACK メッセージに 1 つ必須である。
- EQU セグメントは、1 つのコマンド情報送信に対応して 1 セグメント必要である。
- ECD-2 リモート制御コマンドは、テーブル 0368 をベースに、個々の施設でテーブルを追加できる。
- SAC は、メッセージ構造上定義されているが、装置コマンド(通知クリア)としてのメッセージ交換では使用しない。
- EAC メッセージは、EAN(自動化装置通知)メッセージで送信したメッセージのクリアコマンドとして使用する。
- SFT セグメントは省略ができる。
- TQ1 セグメントは省略ができる。
- SPM セグメントは省略ができる。
- CNS セグメントは省略ができる。
- ROL セグメントは省略ができる。
- ERR セグメントは否定応答（MSA-1 = AE or AR）の場合に使用されるべきである。

8.6. 自動化装置検査コード設定(TCU/TCR)

8.6.1. TCU/ACK 自動化検査コード設定　イベント(U10)

TCU メッセージは、検査コードとパラメータに関する情報を 1 つのアプリケーションから別のアプリケーションに送信するために使用される（例。自動化装置から臨床検査自動化システムへ）。このメッセージは、送り側システムの現在の測定パラメータを送信する。送信されたパラメータセットは、このメッセージの受け取り側のそれまでのパラメータセットに置き換わるとみなされる。（「追加」および「削除」はできない）

TCU/ACK　自動化検査コード設定メッセージ

TCU ^U10　　Test Code Settings Update

TCU^U10^TCU_U10	Test Code Settings Update	Comment(JPN)	Chapter
MSH	Message Header	R	2
[{ SFT }]	Software Segment	N	2
EQU	Equipment Detail	R	13
{	--- TEST_CONFIGURATION begin		
[SPM]	Specimen	C	7
{ TCC }	Test Code Configuration	R	13
}	--- TEST_CONFIGURATION end		
[ROL]	Role Detail	O	12

ACK^U10　　General Acknowledgment

ACK^U10^ACK	General Acknowledgment	Comment(JPN)	Chapter
MSH	Message Header	R	2
[{ SFT }]	Software segment	N	2
MSA	Message Acknowledgment	R	2
[{ ERR }]	Error	C	2

- MSH はメッセージに 1 つ必須である。
- MSA は ACK メッセージに 1 つ必須である。
- EQU セグメントは、EQU-1（装置 ID）と EQU-2（イベントの日付／時刻）のみ使用し、他のフィールドは使用しない。
- TCC セグメントはメッセージに最低 1 つ必須である。
- SFT セグメントは省略ができる。
- SPM セグメントは省略ができる。使用される場合は検査材料の指定に使用されるべきである。
- ROL セグメントは省略ができる。
- ERR セグメントは否定応答（MSA-1 = AE or AR）の場合に使用されるべきである。

8.6.2. TCR/ACK 自動化検査コード要求　イベント(U11)

TCR メッセージは、検査コードとパラメータに関する情報を 1 つのアプリケーションから別のアプリケーションに要求するために使用される（例．臨床検査自動化システムから自動化装置へ）。EQU セグメントで指定された装置は、「自動化検査コード設定」を使って検査コードとパラメータを返す必要がある。

TCR/ACK　自動化検査コード要求メッセージ

TCR ^U11　　Test Code Settings Request

TCR^U11^TCU_U10	Test Code Settings Request	Comment(JPN)	Chapter
MSH	Message Header	R	2
[{ SFT }]	Software Segment	N	2
EQU	Equipment Detail	R	13
{	--- TEST_CONFIGURATION begin		
[SPM]	Specimen	C	7
{ TCC }	Test Code Configuration	R	13
}	--- TEST_CONFIGURATION end		
[ROL]	Role Detail	O	12

ACK^U11　　General Acknowledgment

ACK^U11^ACK	General Acknowledgment	Comment(JPN)	Chapter
MSH	Message Header	R	2
[{ SFT }]	Software segment	N	2
MSA	Message Acknowledgment	R	2
[{ ERR }]	Error	C	2

- MSH はメッセージに 1 つ必須である。
- MSA は ACK メッセージに 1 つ必須である。
- EQU セグメントは、EQU-1（装置 ID）と EQU-2（イベントの日付／時刻）のみ使用し、他のフィールドは使用しない。
- TCC セグメントはメッセージに最低 1 つ必須である。
- SFT セグメントは省略ができる。
- SPM セグメントは省略ができる。使用される場合は検査材料の指定に使用されるべきである。
- ROL セグメントは省略ができる。
- ERR セグメントは否定応答（MSA-1 = AE or AR）の場合に使用されるべきである。

© JAHIS 2012

8.7. 自動化装置ログ／サービス (LSU/LSR)

8.7.1. LSU/ACK 自動化装置ログ／サービス更新 イベント(U12)

このメッセージは、ログ／サービスのイベントのどちらかまたは両方を 1 つのアプリケーションから別のアプリケーションに送信するために使用される （例： 自動化装置から臨床検査自動化システムへ)。

LSU/ACK　自動化装置ログ／サービス更新メッセージ

LSU^U12　　Equipment Log/Service Message

LSU^U12^LSU_U12	Equipment Log/Service Message	Comment(JPN)	Chapter
MSH	Message Header	R	2
[{ SFT }]	Software Segment	N	2
EQU	Equipment Detail	R	13
{ EQP }	Equipment Log/Service	R	13
[ROL]	Role Detail	O	12

ACK^U12　　General Acknowledgment

ACK^U12^ACK	General Acknowledgment	Comment(JPN)	Chapter
MSH	Message Header	R	2
[{ SFT }]	Software segment	N	2
MSA	Message Acknowledgment	R	2
[{ ERR }]	Error	C	2

- MSH はメッセージに 1 つ必須である。
- MSA は ACK メッセージに 1 つ必須である。
- EQU セグメントは、EQU-1（装置 ID）と EQU-2（イベントの日付／時刻）のみ使用し、他のフィールドは使用しない。
- EQP は一連のログ／サービス情報の通知に 1 個以上必須である。複数の情報がまとめて伝送される場合、EQP が在庫項目毎の区切りとなる。
- EQP セグメントに含まれる主題フィルター(EQP-1、EQP-2) （内容精査の必要有り）は、照会システム(LIS/LAS)と自動化装置の間のローカルな取り決めによって定義される。
- LSR に対する回答(LSU)では、EQP セグメントに含まれる問い合わせ内容(EQP-1、EQP-2)をエコーバックする。(内容精査の必要有り）
  また、同じの数だけの EQP セグメントを繰り返す。
- LSU があった時、先行する LSR の回答である保証はしない。必要あれば、要求側(LIS/LAS)が再度要求する。
- SFT セグメントは省略ができる。
- ROL セグメントは省略ができる。
- ERR セグメントは否定応答（MSA-1 = AE or AR）の場合に使用されるべきである。

8.7.2. LSR/ACK 自動化装置ログ／サービス要求 イベント(U13)

このメッセージは、ログ／サービスのイベントのどちらかまたは両方を 1 つのアプリケーションから別のアプリケーションに要求するために使用される（例： 臨床検査自動化システムから自動化装置へ)。

EQU セグメントで指定された装置は、「自動化装置ログ／サービス更新」を使って EQP セグメントに指定された内容を返す必要がある。（ひとつの LSR に複数の LSU を返すことができる。）

LSR/ACK 自動化装置ログ／サービス要求メッセージ

LSR^U13 Equipment Log/Service Request Message

LSR^U13^LSU_U12	Equipment Log/Service Message	Comment(JPN)	Chapter
MSH	Message Header	R	2
[{ SFT }]	Software Segment	N	2
EQU	Equipment Detail	R	13
{ EQP }	Equipment Log/Service	R	13
[ROL]	Role Detail	O	12

ACK^U13 General Acknowledgment

ACK^U13^ACK	General Acknowledgment	Comment(JPN)	Chapter
MSH	Message Header	R	2
[{ SFT }]	Software segment	N	2
MSA	Message Acknowledgment	R	2
[{ ERR }]	Error	C	2

- MSH はメッセージに 1 つ必須である。
- MSA は ACK メッセージに 1 つ必須である。
  LSR の要求に対して LSU で回答することができない時は、MSA でリジェクトを応答する
  （例えば、要求されたデータ種がない、要求範囲が大きすぎる)。（内容精査の必要有り）
- EQU セグメントは、EQU-1（装置 ID）と EQU-2（イベントの日付／時刻）のみ使用し、他のフィールドは使用しない。
- 複数のログ／サービス情報をまとめて要求する場合、EQP が要求項目毎の区切りとなる。 EQP は最低 1 個必須である。
- EQP セグメントに含まれる主題フィルター(EQP-1、EQP-2、EQP-3、EQP-4)は、照会システム(LIS/LAS)と自動化装置の間のローカルな取り決めによって定義される。
- SFT セグメントは省略ができる。
- ROL セグメントは省略ができる。
- ERR セグメントは否定応答（MSA-1 = AE or AR）の場合に使用されるべきである。

9. 臨床検査自動化用セグメント詳細

9. 臨床検査自動化用セグメント詳細 9-1
9.1. EQU - Equipment Detail Segment 装置詳細セグメント..... 9-2
9.1.1. EQU フィールド定義..... 9-2
9.2. ISD - interaction status detail segment インタラクションステータスの詳細セグメント9-4
9.2.1. ISD フィールド定義..... 9-4
9.3. SAC - Specimen And Container Detail Segment 材料と採取容器の詳細セグメント..... 9-5
9.3.1. SAC フィールド定義..... 9-7
9.4. INV - Inventory Detail Segment 在庫詳細セグメント..... 9-19
9.4.1. INV フィールド定義..... 9-20
9.5. ECD - Equipment Command Segment 装置コマンドセグメント..... 9-25
9.5.1. ECD フィールド定義..... 9-25
9.6. ECR - Equipment Command Response Segment 装置コマンド応答セグメント..... 9-27
9.6.1. ECR フィールド定義..... 9-27
9.7. NDS - Notification Detail Segment 通知詳細セグメント..... 9-28
9.7.1. NDS フィールド定義..... 9-28
9.8. CNS - Clear Notification Segment 通知クリアセグメント..... 9-29
9.8.1. CNS フィールド定義..... 9-29
9.9. TCC - Test Code Configuration 検査コード設定セグメント..... 9-30
9.9.1. TCC フィールド定義..... 9-30
9.10. TCD - Test Code Detail Segment 検査コード詳細セグメント 9-33
9.10.1. TCD フィールド定義 9-33
9.11. SID - Substance Identifier Segment 試薬等識別セグメント 9-35
9.11.1. SID フィールド定義 9-35
9.12. EQP - Equipment Log/Service Segment 装置ログ／サービスセグメント..... 9-36
9.12.1. EQP フィールド定義 9-36

© JAHIS 2012

9.1. EQU - Equipment Detail Segment 装置詳細セグメント

EQUセグメントは、臨床検査自動化システムで使われる装置の識別と保守に必要なデータである。

HL7 属性表 -EQU- 装置詳細セグメント

SEQ	LEN	DT	OPT	Japan	RP/#	TBL#	ITEM #	ELEMENT NAME	NOTE
1	22	EI	R	R			01479	Equipment Instance Identifier 装置 ID	
2	26	TS	R	R			01322	Event Date/Time イベントの日付／時刻	
3	250	CWE	C	C		0365	01323	Equipment State 装置ステータス	
4	250	CWE	O	O		0366	01324	Local/Remote Control State ローカル／リモート制御のステータス	
5	250	CWE	O	O		0367	01325	Alert Level 警報レベル	

9.1.1. EQUフィールド定義

EQU-1 Equipment instance identifier 装置ID (EI) 01479

Components: <entity identifier (ST)> ^ <namespace ID (IS)> ^ <universal ID (ST)> ^ <universal ID type (ID)>

定義：このフィールドは、装置を示す。このIDは、部署 (施設) 全体の装置のマスタリストから取得される。<namespace ID> は装置名称を示す識別子である。

EQU-2 Event Date/Time イベントの日付／時間 (TS) 01322

定義：このフィールドは、イベント発生時点の装置の日付と時刻を示す（イベント例：状態の遷移、コマンド発行、コマンド実行終了）。

EQU-3 Equipment State 装置ステータス (CWE) 01323

Components: <identifier (ST)> ^ <text (ST)> ^ <name of coding system (IS)> ^ <alternate identifier (ST)> ^ <alternate text (ST)> ^ <name of alternate coding system (IS)>

定義：このフィールドは、装置の通信時点でのステータスの識別コードを示す。

HL7 表 0365 - Equipment state 装置ステータス

この表は LECIS に基づく

Value	Description
PU	Powered Up 電源 ON
IN	Initializing 初期化中
ID	Idle アイドル
CO	Configuring 設定中
OP	Normal Operation 通常オペレーション
CL	Clearing クリア中
PA	Pausing 休止中
PD	Paused 休止
ES	E-stopped 緊急停止
	(null) No state change ステータス変化なし

EQU-4 Local/remote control state ローカル/リモート制御のステータス (CWE) 01324

Components: <identifier (ST)> ^ <text (ST)> ^ <name of coding system (IS)> ^ <alternate identifier (ST)> ^ <alternate text (ST)> ^ <name of alternate coding system (IS)>

定義：このフィールドは、装置のリモート制御のステータスを示す。

HL7 表 0366 - Local/remote control state ローカル/リモート制御のステータス

この表は LECIS に基づく

Value	Description
L	Local ローカル
R	Remote リモート
	(null) No state change ステータス変化なし

EQU-5 Alert level 警報レベル (CWE) 01325

Components: <identifier (ST)> ^ <text (ST)> ^ <name of coding system (IS)> ^ <alternate identifier (ST)> ^ <alternate text (ST)> ^ <name of alternate coding system (IS)>

定義：このフィールドは、指示された装置に関連付けられている最高位の警報ステータス（最高位の警報重要性）を示す（例：処理イベント、在庫イベント、QCｲﾍﾞﾝﾄ）。

HL7 表 0367 - Alert level 警報レベル

Value	Description	Note
N	Normal	No Corrective Action Needed 修正作業は不要
W	Warning	Corrective Action Anticipated 修正作業が期待される
S	Serious	Corrective Action Required 修正作業が必要
C	Critical	Shut Down, Fix Problem and Re-init シャットダウン、問題修正、再起動
	(null) No level change	変化なし

9.2. ISD - interaction status detail segment インタラクションステータスの詳細セグメント

ISDセグメントは、特定の装置に対する特定のインタラクション（処理など）のステータスに関するデータである。

HL7 属性表 -ISD- インタラクションステータスの詳細セグメント

SEQ	LEN	DT	OPT	Japan	RP/#	TBL#	ITEM #	ELEMENT NAME	NOTE
1	20	NM	R	R			01326	Reference Interaction Number (unique identifier) 参照インタラクション番号(一意の ID)	
2	250	CWE	O	O		0368	01327	Interaction Type Identifier インタラクションタイプ ID	
3	250	CWE	R	R		0387	01328	Interaction Active State インタラクションアクティブステータス	

9.2.1.ISDフィールド定義

ISD-1 Reference interaction number 参照インタラクション番号 (NM) 01326

定義：この番号は、インタラクションを一意に示す。インタラクションがコマンドにより実行される場合は、参照コマンド番号（Reference Command Number）を使用する（NCCLS AUTO3のLECIS Comparison Section 5.2.1を参照）。それ以外の場合は、ユーザまたは装置の専用のテーブルを定義すること。

ISD-2 Interaction type identifier インタラクションタイプID (CWE) 01327

Components: <identifier (ST)> ^ <text (ST)> ^ <name of coding system (IS)> ^ <alternate identifier (ST)> ^ <alternate text (ST)> ^ <name of alternate coding system (IS)>

定義：このフィールドは、インタラクションのタイプを指定する。インタラクションがコマンドの効果として実行される場合は、ECDフィールド定義中の「使用者定義表0368 リモート制御コマンド」（9.5節）のIDを使用する。それ以外の場合は、ユーザまたは装置の専用のテーブルを定義すること。

ISD-3 Interaction active state インタラクションアクティブステータス (CWE) 01328

Components: <identifier (ST)> ^ <text (ST)> ^ <name of coding system (IS)> ^ <alternate identifier (ST)> ^ <alternate text (ST)> ^ <name of alternate coding system (IS)>

定義：このフィールドは、インタラクションのステータスを伝える。インタラクションがコマンドにより実行される場合は、ステータスとしてコマンド応答を使用できる（「使用者定義表0387 コマンド応答」（9.6節）を参照）。これを使用しない場合、ステータスはインタラクションに特定されているLECISステータストランザクションを参照する。それ以外の場合は、ユーザまたは装置の専用のテーブルを定義すること。

9.3. SAC - Specimen And Container Detail Segment 材料と採取容器の詳細セグメント

採取容器詳細セグメントは臨床検査自動化システムで使用される採取容器の取り扱いに必要なデータである。普通、検査室では検体は採取容器で輸送され、処理される。SPMセグメントとSACセグメントが同一メッセージ上で使われる場合は、概念的に同一な値はSPMセグメントだけに記述されるべきである。
SAC-6 (Specimen Source), SAC-27 (Additives),　SAC-43 (Special Handling Considerations).が適用される。
（注：SPM-8(Specimen Source Site), SPM-6(Specimen Additives), SPM-15(Specimen Handling Code)）

HL7 属性表 −SAC− 材料と採取容器の詳細セグメント

SEQ	LEN	DT	OPT	Japan	RP/#	TBL#	ITEM #	ELEMENT NAME	NOTE
1	80	EI	O	O			01329	External accession identifier 外部識別 ID	
2	80	EI	O	O			01330	Accession identifier 識別 ID	
3	80	EI	C	C			01331	Container identifier 採取容器 ID	
4	80	EI	C	C			01332	Primary (parent) container identifier 親採取容器 ID	
5	80	EI	O	O			01333	Equipment container identifier 装置採取容器 ID	
6	300	SPS	C	C		0369	00249	Specimen source 検査材料	
7	26	TS	O	O			01334	Registration date/time 登録の日付／時間	
8	250	CWE	O	O		0370	01335	Container status 採取容器ステータス	
9	250	CWE	O	O		0378	01336	Carrier type キャリアタイプ	
10	80	EI	O	O			01337	Carrier identifier キャリア ID	
11	80	NA	O	O			01338	Position in carrier キャリア内の位置	
12	250	CWE	O	O		0379	01339	Tray type トレイタイプ	
13	80	EI	O	O			01340	Tray identifier トレイ ID	
14	80	NA	O	O			01341	Position in tray トレイ内の位置	
15	250	CWE	O	O	Y		01342	Location ロケーション	
16	20	NM	O	O			01343	Container height 採取容器高さ	
17	20	NM	O	O			01344	Container diameter 採取容器直径	
18	20	NM	O	O			01345	Barrier delta バリアデルタ	
19	20	NM	O	O			01346	Bottom delta ボトムデルタ	
20	250	CWE	O	O			01347	Container diameter/height/delta units 採取容器高さ／直径／デルタの単位	
21	20	NM	O	O			00644	Container volume 採取容器容積	
22	20	NM	O	O			01349	Available volume 利用可能容積	
23	20	NM	O	O			01350	Initial specimen volume 初期検体体積	
24	250	CWE	O	O			01351	Volume units 体積の単位	
25	250	CWE	O	O		0380	01352	Separator type 分離剤タイプ	
26	250	CWE	O	O		0381	01353	Cap type キャップタイプ	
27	250	CWE	O	O	Y	0371	00647	Additive 添加剤	
28	250	CWE	O	O			01355	Specimen component 材料成分	
29	20	SN	O	O			01356	Dilution factor 希釈率	
30	250	CWE	O	O		0373	01357	Treatment 処置	
31	20	SN	O	O			01358	Temperature 温度	
32	20	NM	O	O			01359	Hemolysis index 溶血指数	
33	250	CWE	O	O			01360	Hemolysis index units 溶血指数の単位	
34	20	NM	O	O			01361	Lipemia index 乳び指数	
35	250	CWE	O	O			01362	Lipemia index units 乳び指数の単位	
36	20	NM	O	O			01363	Icterus index 黄疸指数	
37	250	CWE	O	O			01364	Icterus index units 黄疸指数の単位	
38	20	NM	O	O			01365	Fibrin index フィブリン指数	
39	250	CWE	O	O			01366	Fibrin index units フィブリン指数の単位	
40	250	CWE	O	O	Y	0374	01367	System induced contaminants システム由来の汚染物質	
41	250	CWE	O	O	Y	0382	01368	Drug interference 薬剤干渉	
42	250	CWE	O	O		0375	01369	Artificial blood 人工血液	
43	250	CWE	O	O	Y	0376	01370	Special handling considerations 特別の取り扱い注意	
44	250	CWE	O	O	Y	0377	01371	Other environmental factors その他の環境因子	

*　**SEQ3,4,5**の第一要素は２０桁以内で運用されることが望ましい

© JAHIS 2012

9.3.1.SACフィールド定義

SAC-1　External accession identifier 外部識別ID(EI) 01329

Components: <entity identifier (ST)> ^ <namespace ID (IS)> ^ <universal ID (ST)> ^ <universal ID type (ID)>

定義：このフィールドは、臨床検査のIDを示す。このIDは外部臨床検査情報システムによって割り当てられる。

例：ラボAからラボBへ検体が移送されたとき、ラボBではこのフィールドの内容をラボAとする。

SAC-2　Accession identifier 識別ID(EI) 01330

Components: <entity identifier (ST)> ^ <namespace ID (IS)> ^ <universal ID (ST)> ^ <universal ID type (ID)>

定義：このフィールドは臨床検査のIDを示す。このIDは検査を実施している臨床検査の情報システムにより割り当てられる。

識別IDは１本以上の採取容器を参照させる事が可能である。採取容器ID（後述）は採取容器毎にユニークな識別子である。

SAC-3　Container identifier 採取容器ID(EI)　01331

Components: <entity identifier (ST)> ^ <namespace ID (IS)> ^ <universal ID (ST)> ^ <universal ID type (ID)>

定義：このフィールドは採取容器を示す。このフィールドは採取容器の一意なIDで、対応する装置により割り当てられる。１つの採取容器には、親材料または、材料の分注検体が入る。親検体の場合はこのフィールド親採取容器IDが入り、バーコード付きでない分注検体（例：micro-titter プレート）の場合は空白となる。

NCCLS規格では臨床検査情報システムに導入される採取容器にはそれぞれ一意のIDが要求される。親採取容器ID、採取容器ID、キャリアID／位置、トレイID／位置のフィールドの組み合わせにより、LAS内の採取容器が一意に識別される必要がある。自然で最良の方法は、機械で読みとれる一意のID（当然、このIDはフィールドの組み合わせの一意性を保証する）を採取容器に貼付することである。このIDを記号化するバーコードは、NCCLS AUTO2(Laboratory Automation: Bar Codes for Specimen Container Identification）
の規格案に適合すること。

SAC-4　Primary (parent) container identifier 親採取容器ID　(EI)　01332

Components: <entity identifier (ST)> ^ <namespace ID (IS)> ^ <universal ID (ST)> ^ <universal ID type (ID)>

定義：このフィールドに内容がある場合は、その検体の元の採取容器を示す。親検体の場合は、このフィールドは空白となる。分注検体の場合は、このフィールドには親採取容器のIDが入る。

SAC-5　Equipment container identifier 装置採取容器ID(EI) 01333

Components: <entity identifier (ST)> ^ <namespace ID (IS)> ^ <universal ID (ST)> ^ <universal ID type (ID)>

定義：このフィールドは、特定の装置内の採取容器IDを示す。
例：分析機内のカローセルまたはラック内の特定の検体、または分析機に特定のバーコード

の割り当てなど。

各種サンプルタイプの採取容器IDフィールドの使用例

SAC field	Primary container 親採取容器	Aliquot container with Bar-code バーコード付き分注採取容器	Aliquot container without Bar-code, e.g. microtiter well バーコード無し分注採取容器
“Container ID” 採取容器 ID(SAC-3)	Primary container ID 親採取容器 ID	Aliquot container ID 分注採取容器 ID	—
“Primary (parent) Container ID” 親採取容器 ID(SAC-4)	—	Primary container ID 親採取容器 ID	Primary container ID 親採取容器 ID

SAC-6 Specimen source 検査材料 (SPS) 00249

Components: <Specimen Source Name or Code (CWE)> ^ <Additives (CWE)> ^ <Specimen Collection Method (TX)> ^ <Body Site (CWE)> ^ <Site Modifier (CWE)> ^ <Collection Method Modifier Code (CWE)> ^ <Specimen Role (CWE)>
Subcomponents for Specimen Source Name or Code (CWE): <Identifier (ST)> & <Text (ST)> & <Name of Coding System (ID)> & <Alternate Identifier (ST)> & <Alternate Text (ST)> & <Name of Alternate Coding System (ID)> & <Coding System Version ID (ST)> & <Alternate Coding System Version ID (ST)> & <Original Text (ST)>
Subcomponents for Additives (CWE): <Identifier (ST)> & <Text (ST)> & <Name of Coding System (ID)> & <Alternate Identifier (ST)> & <Alternate Text (ST)> & <Name of Alternate Coding System (ID)> & <Coding System Version ID (ST)> & <Alternate Coding System Version ID (ST)> & <Original Text (ST)>
Subcomponents for Body Site (CWE): <Identifier (ST)> & <Text (ST)> & <Name of Coding System (ID)> & <Alternate Identifier (ST)> & <Alternate Text (ST)> & <Name of Alternate Coding System (ID)> & <Coding System Version ID (ST)> & <Alternate Coding System Version ID (ST)> & <Original Text (ST)>
Subcomponents for Site Modifier (CWE): <Identifier (ST)> & <Text (ST)> & <Name of Coding System (ID)> & <Alternate Identifier (ST)> & <Alternate Text (ST)> & <Name of Alternate Coding System (ID)> & <Coding System Version ID (ST)> & <Alternate Coding System Version ID (ST)> & <Original Text (ST)>
Subcomponents for Collection Method Modifier Code (CWE): <Identifier (ST)> & <Text (ST)> & <Name of Coding System (ID)> & <Alternate Identifier (ST)> & <Alternate Text (ST)> & <Name of Alternate Coding System (ID)> & <Coding System Version ID (ST)> & <Alternate Coding System Version ID (ST)> & <Original Text (ST)>
Subcomponents for Specimen Role (CWE): <Identifier (ST)> & <Text (ST)> & <Name of Coding System (ID)> & <Alternate Identifier (ST)> & <Alternate Text (ST)> & <Name of Alternate Coding System (ID)> & <Coding System Version ID (ST)> & <Alternate Coding System Version ID (ST)> & <Original Text (ST)>

定義：このフィールドはHL7 旧バージョンとの互換性のためにのみ残されている。SPMセグメントとSACセグメントが同時に使用される場合はSPMセグメントを優先する。SPMセグメントについては7章を参照。
このフィールドは、検体の採取部位またはサービスの実施部位を示す。
最初の要素には検体の名前またはコード（CWEデータタイプの要素としての）が入る。（診察名が材料を暗示している場合でも、材料の指定が必要なことがある。例：血液培養、心血）。有効なエントリについては、JLAC10 を推奨。

２番目はコード化要素で、必要に応じて検体への添加剤（例：ヘパリン、EDTA、シュウ酸塩など）を記入する。

３番目はコード化要素で、この情報が依頼の一部である場合に採取方法を説明する。採取方法が理論的に診察結果である場合は、この要素は結果セグメントとして含まれなければならない。

４番目の要素は材料の採取元の身体部位を特定し、５番目の要素は部位の修飾子である。例えば、検体が ″anticubital foss″ （肘の内側の窪み）で、部位修飾子が ″right″ （右）な

ど。CWEフィールドの要素はサブ要素になる。有効なエントリについては、JLAC10 を推奨。

６番目の要素は、検体が採取法の一部として凍結されているかどうかを示す。値として F(Frozen) と R(Refrigerated) を提案する。要素が空白の場合は、検体は室温と見なされる。

７番目の要素は検体の役割を示す。提案される値については「使用者定義表 0369-Specimen role」を参照。これらの値は通常、システムによって識別され、検体のデータ処理に影響する。

使用者定義表 0369 - Specimen role

Value	Description
P	Patient (default if blank component value)　患者検体（ブランクで既定値）
Q	Control specimen　コントロール検体
C	Calibrator　キャリブレーター
B	Blind Sample　ブラインド検体
R	Replicate (of patient sample as a control)　多重測定用患者検体（精度管理のため）

SAC-7　Registration date/time 登録日付と時刻 (TS)　01334

定義：このフィールドは、その採取容器が最後に自動システムに登録された日付と時刻を示す。例：採取容器バーコードが装置によって読まれた。

SAC-8　Container status 採取容器ステータス(CWE)　01335

Components: <identifier (ST)> ^ <text (ST)> ^ <name of coding system (IS)> ^ <alternate identifier (ST)> ^ <alternate text (ST)> ^ <name of alternate coding system (IS)>

定義：このフィールドは、そのトランザクションが開始された時点で検体が属していた一意の採取容器のステータスを示す。値については　「HL7表 0370 - Container status」　を参照。必要なら、装置に特定の採取容器ステータスを <alternate identifier> として送信する。

HL7 表 0370 - Container status

Value	Description
I	Identified　識別されている
P	In Position　装置の中にある
O	In Process　処理中
R	Process Completed　処理終了
L	Left Equipment　機器から解放された
M	Missing　ミッシング
X	Container Unavailable　採取容器利用不能
U	Unknown　不明

採取容器ステータスは（LAS内の）装置間の情報交換に関係する。全てではないが、LIS-LAS間のデータ転送にも関連する。

以下の記述はLASまたは機器と他のLASまたは機器とのインターフェースに関するものである。

Identified　はシステムが他のシステムに対して採取容器を受け取った事を通知する。

LASとLIS間での情報交換では Identified は検体を受け取った「このラボ」のステータスをレポートする事が可能である。
最初のサンプルの認識と同一にはならないケースもある。

In Position はシステムから他のシステムに対して検体搬送中の採取容器の位置を通知する。（例：採取容器がラックから取り出された。ピペッティング中、等）

In Process はシステムから他のシステムに対して特定の採取容器が機器によって処理されていることを通知する。これは特定の処理ステップが適切で無いとき、採取容器ステータスについてのクエリーを応答するのに有用である。

Process Completed はシステムから他のシステムに対して処理が終了したが、採取容器は未だシステムから解放されていない状態を示す。

Left Equipment はシステムから他のシステムに対して採取容器が解放されたことを示す。

Missing はシステムから他のシステムに対して採取容器が予想された位置に無い事を示す。

Cancelled はシステムから他のシステムへこのシステムの範疇で採取容器がもはや利用不可能であることを示す。（例：採取容器破損、破棄）

Unknown はシステムから他のシステムに対して採取容器を受け取っていないことを示す。

SAC-9　Carrier type キャリアタイプ(CWE)　01336

Components: <identifier (ST)> ^ <text (ST)> ^ <name of coding system (IS)> ^ <alternate identifier (ST)> ^ <alternate text (ST)> ^ <name of alternate coding system (IS)>

定義：このフィールドはキャリアのタイプを示す。（用語集参照）
使用者定義表 0378 に提案する値を示す。
それぞれの形状が異なるので、可能ならキャリアタイプかキャリア内のポジションの数を示すようにする。

この定義は階層的に表現できると想定している。「採取容器はキャリアの中にあり、キャリアはトレイの中にある。」のように表現するには、SAC-10～15のフィールドと組み合わせて定義する。

使用者定義表 0378 – Carrier type

Value	Description
	No suggested values defined　推奨値は定義されない

値の例：　R01 (one position carrier), R05 (five position carrier)

SAC-10　Carrier identifier キャリアID (EI)　01337

Components: <entity identifier (ST)> ^ <namespace ID (IS)> ^ <universal ID (ST)> ^ <universal ID type (ID)>

定義：このフィールドはキャリアを示す。このID（例：番号、バーコード）は、採取容器（例：採取容器）が置かれているキャリアを示す。

例：キャリアが、１、または複数の検体採取容器用のラックである場合、キャリアは通常、

自動検体搬送に使用される。複数のキャリアをトレイにストックして、そのトレイを手動または自動で搬送してもよい。

SAC-11　Position in carrier キャリア内の位置(NA)　01338

定義：このフィールドはキャリア内の採取容器の位置を示す。（例：1,2,3・・）必要なら、複数の座標軸情報（例：2次元ならx^y）を送るためにサブ要素を使用できる。

SAC-12　Tray type トレイタイプ(CWE)　01339

Components: <identifier (ST)> ^ <text (ST)> ^ <name of coding system (IS)> ^ <alternate identifier (ST)> ^ <alternate text (ST)> ^ <name of alternate coding system (IS)>

定義：このフィールドはトレイのタイプを示す（用語集参照）。使用者定義表 0379 に提案する値を示す。
それぞれの形状が異なるので、可能ならトレイ内のポジションの数を示すようにする。
この定義は階層的にネストされていると想定している。「採取容器はキャリアの中にあり、キャリアはトレイの中にある。」のように。

使用者定義表 0379 – Tray type

Value	Description
	No suggested values defined 推奨値は定義されない

SAC-13　Tray identifier トレイID(EI)　01340

Components: <entity identifier (ST)> ^ <namespace ID (IS)> ^ <universal ID (ST)> ^ <universal ID type (ID)>

定義：このフィールドは採取容器キャリアがあるトレイのID（例：トレイの番号またはトレイ上のバーコード）を示す。

SAC-14　Position in tray トレイ内の位置(NA)　01341

定義：このフィールドはトレイ内のキャリアの位置を示す。必要なら、複数の座標軸情報（例：2次元ならx^y）を送るためにサブ要素を使用できる。

SAC-15　Location ロケーション(CWE)　01342

Components: <identifier (ST)> ^ <text (ST)> ^ <name of coding system (IS)> ^ <alternate identifier (ST)> ^ <alternate text (ST)> ^ <name of alternate coding system (IS)>

定義：このフィールドは、トランザクションが開始した時点での物理的な場所を示す。ロケーションの記述はLASにより異なる。例えば、ストレージ内のＸＹＺ座標で表したり、採取容器キャリアのトレイがある冷蔵庫の番号や引き出しの番号で表したり、現在採取容器を所有している部署と臨床検査の名前で表す場合がある。このフィールドを繰り返すことにより、ロケーションを階層的に表現できる。（最下位レベルから順に示す）例えば、棚番号、冷蔵庫ID、ラボ名、施設名など。

SAC-16　Container height 採取容器高さ(NM)　01343

定義：このフィールドは採取容器の高さを示す。

SAC-17　Container diameter 採取容器直径(NM)　01344

定義：このフィールドは採取容器の直径を示す。

SAC-18　Barrier delta バリアデルタ(NM)　01345

定義：このフィールドは規格点（Point of Reference）から分離剤までの距離を示す。この距離は、おそらくＬＡＳによって与えられ、機器あるいは検体操作を行う装置が分離剤への接触なしにサンプリングプローブを検体に挿入するのに有用である。
Point of Reference の定義についてはNCCLS規格のAUTO5 (Laboratory Automation: Electromechanical Interfaces)を参照。

SAC-19　Bottom delta ボトムデルタ(NM)　01346

定義：このフィールドは規格点（Point of Reference）から採取容器の底（外壁）までの距離を示す。Point of Reference の定義についてはNCCLS規格のAUTO5 (Laboratory Automation: Electromechanical Interfaces)を参照。

SAC-20　Container diameter/height/delta units 採取容器直径／高さデルタの単位 (CWE)　01347

Components: <identifier (ST)> ^ <text (ST)> ^ <name of coding system (IS)> ^ <alternate identifier (ST)> ^ <alternate text (ST)> ^ <name of alternate coding system (IS)>

定義：このフィールドは、採取容器の直径、高さ、デルタを記述されるために使用される単位を示す。ISO+単位の場合は、省略形で記録される。ANS+またはL(ローカル）の場合は単位とソースコードの表を記録する必要がある。それ以外の場合は、要素の区切り文字はサブ要素の区切り文字に置き換えられなければならない。デフォルトの単位はミリメートル(mm)で単位が示されていない場合はこの単位が仮定される。

SAC-21　Container volume 採取容器容量(NM)　00644

定義：このフィールドは採取容器の容量を示す。

SAC-22　Available volume 利用可能容量(NM)　01349

定義：このフィールドは、この採取容器で現在利用できる容量を示す。

SAC-23　Initial specimen volume 初期検体容量 (NM)　01350

定義：このフィールドは採取容器の吸引体積を示す。

© JAHIS 2012

SAC-24　Volume units 体積単位 (CWE)　01351

Components: <identifier (ST)> ^ <text (ST)> ^ <name of coding system (IS)> ^ <alternate identifier (ST)> ^ <alternate text (ST)> ^ <name of alternate coding system (IS)>

定義：このフィールドは、採取容器の容量を示すために使用される単位を示す。ISO+単位の場合は、省略形で記録される。デフォルトの単位はミリリットル（mL）で、単位が示されていない場合はこの単位が仮定される。

SAC-25　Separator type 分離剤タイプ (CWE)　01352

Components: <identifier (ST)> ^ <text (ST)> ^ <name of coding system (IS)> ^ <alternate identifier (ST)> ^ <alternate text (ST)> ^ <name of alternate coding system (IS)>

定義：このフィールドは、採取容器で使用する分離剤のタイプを示す。（例えば、ゲル状の分離剤のことであって、通信上のセパレータと混同しないこと）使用者定義表0380 に提案する値を示す。テーブルの最初のエントリが"NO"なら「分離剤なし」を示す。

使用者定義表 0380 – Separator type

Value	Description
	No suggested values defined　推奨値は定義されない

Examples of values 値の例: NO (no separator　分離剤なし), GEL (gel separator　ゲル状の分離剤), M01 (manufacturer specific　メーカ独自のもの)

SAC-26　Cap type キャップタイプ (CWE)　01353

Components: <identifier (ST)> ^ <text (ST)> ^ <name of coding system (IS)> ^ <alternate identifier (ST)> ^ <alternate text (ST)> ^ <name of alternate coding system (IS)>

定義：このフィールドは、採取容器の開栓、ピアシングなどの機構に使用されるキャップのタイプを示す。使用者定義表0381 に提案する値を示す。

使用者定義表 0381 – Cap type

Value	Description
	No suggested values defined　推奨値は定義されない

値の例: SCR (screw cap スクリュー栓), PSH (push cap プッシュ栓), FOIL (foil シール栓)

SAC-27　Additive 添加剤(CWE)　00647

Components: <identifier (ST)> ^ <text (ST)> ^ <name of coding system (IS)> ^ <alternate identifier (ST)> ^ <alternate text (ST)> ^ <name of alternate coding system (IS)>

定義：このフィールドは、採取前または採取の時点で検体に添加された添加剤を示す。繰り返し可能。使用者定義表0371 に提案する値を示す。
この表の値はNCCLS AUTO4による。ユーザによる拡張が可能である。

使用者定義表 0371 – Additive

Value	Description
EDTK	Potassium/K EDTA
EDTN	Sodium/Na EDTA

Value	Description
HEPL	Lithium/Li　Heparin　ヘパリン
HEPN	Sodium/Na　Heparin　ヘパリン
C32	3.2%　Citrate クエン酸
C38	3.8% Citrate　クエン酸
BOR	Borate　ホウ酸
HCL6	6N HCL　塩酸

注）このフィールドはHL7 旧バージョンとの互換性のためにのみ残されている。SPMセグメントとSACセグメントが同時に使用される場合はSPMセグメントを優先する。SPMセグメントについては第7章を参照。

SAC-28　Specimen component 検体成分(CWE)　01355

Components: <identifier (ST)> ^ <text (ST)> ^ <name of coding system (IS)> ^ <alternate identifier (ST)> ^ <alternate text (ST)> ^ <name of alternate coding system (IS)>

定義：このフィールドは、検体成分（上清、沈殿など）を示す。使用者定義表0372 に提案する値を示す。
この表の値はNCCLS AUTO4による。ユーザによる拡張が可能である。

使用者定義表 0372 - Specimen component

Value	Description
SUP	Supernatant　上清
SED	Sediment　沈殿
BLD	Whole blood, homogeneous　全血
BSEP	Whole blood, separated　分離された全血
PRP	Platelet rich plasma　多血小板血漿
PPP	Platelet poor plasma　乏血小板血漿
SER	Serum, NOS (not otherwise specified)血清（他に特徴のない）
PLAS	Plasma, NOS (not otherwise specified)　血漿（他に特徴のない）

SAC-29　Dilution factor 希釈率(SN)　01356

Components:　<comparator (ST)> ^ <num1 (NM)> ^ <separator/suffix (ST)> ^ <num2 (NM)>

定義：このフィールドは、既に検体に実施されている希釈の希釈率を示す。希釈率を変更する装置はこの情報を他の装置に送信する必要がある。内因性の希釈剤内容物が濃度計算に必要な場合は、マスタファイルまたは他の方法で特定の値がシステム間で交換される必要がある。

例：
|^1^:^5|　- means dilution 1 to 5, i.e., 1 part sample, 4 parts diluent
５倍希釈　例えば、１が検体、４が希釈剤

|^1^+|　- sample is diluted, but the factor is unknown
サンプルが希釈されたが、希釈率は不明

|^1^:^1|　- not diluted sample

希釈されなかった

|| - dilution not changed
希釈率は普遍

SAC-30 Treatment 処置(CWE) 01357

Components: <identifier (ST)> ^ <text (ST)> ^ <name of coding system (IS)> ^ <alternate identifier (ST)> ^ <alternate text (ST)> ^ <name of alternate coding system (IS)>

定義 : このフィールドは、検体採取時の処置を示す。使用者定義表0373 に提案する値を示す。この表の値はNCCLS AUTO4による。ユーザによる拡張が可能である。

使用者定義表 0373 – Treatment

Value	Description
LDLP	LDL Precipitation LDL 沈殿
RECA	Recalcification カルシウム再添加
DEFB	Defibrination フィブリン除去
ACID	Acidification 酸化
NEUT	Neutralization 中和
ALK	Alkalization アルカリ化
FILT	Filtration 濾過
UFIL	Ultrafiltration 限外濾過

SAC-31 Temperature 温度(SN) 01358

Components: <comparator (ST)> ^ <num1 (NM)> ^ <separator/suffix (ST)> ^ <num2 (NM)>

定義：このフィールドは、EQUセグメントにトランザクションが指定されたときの検体の温度（℃）を示す。

SAC-32 Hemolysis index 溶血指数 (NM) 01359

定義：このフィールドは、検体の溶血指数を表すために使用される。

SAC-33 Hemolysis index units 溶血指数の単位 (CWE) 01360

Components: <identifier (ST)> ^ <text (ST)> ^ <name of coding system (IS)> ^ <alternate identifier (ST)> ^ <alternate text (ST)> ^ <name of alternate coding system (IS)>

定義：このフィールドは、検体の溶血指数の単位を表すために使用される。推奨される単位は g/L である。（OBXのオリジナルの使用法に換わり、この指数値の送信が追加された。理由は検体の詳細情報の送信頻度の点から、より効率的な機構の使用が望ましいためである。

このフィールドが空の場合は推奨値と見なされる。

SAC-34　Lipemia index 乳び指数 (NM)　01361

定義：このフィールドは、検体の乳び指数を表すために使用される。600nmで測定した光学的濁度（単位は absorbance）が推奨される。

SAC-35　Lipemia index units　乳び指数の単位(CWE)　01362

Components: <identifier (ST)> ^ <text (ST)> ^ <name of coding system (IS)> ^ <alternate identifier (ST)> ^ <alternate text (ST)> ^ <name of alternate coding system (IS)>

定義：このフィールドは、検体の乳び指数の単位を表すために使用される。

このフィールドが空の場合は推奨値と見なされる。

SAC-36　Icterus index 黄疸指数 (NM)　01363

定義：このフィールドは、検体の黄疸指数を表すために使用される。

SAC-37　Icterus index units 黄疸指数の単位 (CWE)　01364

Components: <identifier (ST)> ^ <text (ST)> ^ <name of coding system (IS)> ^ <alternate identifier (ST)> ^ <alternate text (ST)> ^ <name of alternate coding system (IS)>

定義：このフィールドは、検体の黄疸指数の単位を表すために使用される。
ビリルビンのmMOL/L が推奨される。

このフィールドが空の場合は推奨値と見なされる。

SAC-38　Fibrin index フィブリン指数 (NM)　01365

定義：このフィールドは、検体のフィブリン指数を表すために使用される。フィブリンの有り／無しの違いしか無い場合に限り、それぞれ１または０を用い、単位は空とする。

SAC-39　Fibrin index units フィブリン指数の単位 (CWE)　01366

Components: <identifier (ST)> ^ <text (ST)> ^ <name of coding system (IS)> ^ <alternate identifier (ST)> ^ <alternate text (ST)> ^ <name of alternate coding system (IS)>

定義：このフィールドは、検体のフィブリン指数の単位を表すために使用される。

SAC-40　System induced contaminants システム由来の汚染物質 (CWE)　01367

Components: <identifier (ST)> ^ <text (ST)> ^ <name of coding system (IS)> ^ <alternate identifier (ST)> ^ <alternate text (ST)> ^ <name of alternate coding system (IS)>

定義：このフィールドは、検体に関連する汚染物質を示す。使用者定義表0374 に提案する値を示す。この表の値はNCCLS AUTO4による。ユーザによる拡張が可能である。

使用者定義表 0374 - System induced contaminants

Value	Description
CNTM	Present, type of contamination unspecified　検体汚

Value	Description
	染有り、詳細不明

SAC-41 Drug interference 薬剤干渉(CWE) 01368

Components: <identifier (ST)> ^ <text (ST)> ^ <name of coding system (IS)> ^ <alternate identifier (ST)> ^ <alternate text (ST)> ^ <name of alternate coding system (IS)>

定義：このフィールドは、検体に関連する妨害物質を示す。使用者定義表0382に提案する値を示す。

使用者定義表 0382 – Drug interference

Value	Description
	No suggested values defined 推奨値は定義されない

SAC-42 Artificial blood 人工血液 (CWE) 01369

Components: <identifier (ST)> ^ <text (ST)> ^ <name of coding system (IS)> ^ <alternate identifier (ST)> ^ <alternate text (ST)> ^ <name of alternate coding system (IS)>

定義：このフィールドは、検体に関連する人工血液を示す。使用者定義表0375 に提案する値を示す。この表の値はNCCLS AUTO4による。ユーザによる拡張が可能である。

使用者定義表 0375 - Artificial blood

Value	Description
SFHB	Stromal free hemoglobin preparations 基質遊離ヘモグロビン製剤
FLUR	Fluorocarbons フルオロカルボン

SAC-43 Special handling considerations 特別な取り扱い (CWE) 01370

Components: <identifier (ST)> ^ <text (ST)> ^ <name of coding system (IS)> ^ <alternate identifier (ST)> ^ <alternate text (ST)> ^ <name of alternate coding system (IS)>

定義：このフィールドは、検体に関連する特別の取り扱いを示す。（例：遠心分離）使用者定義表0376 に提案する値を示す。この表の値はNCCLS AUTO4による。ユーザによる拡張が可能である。

使用者定義表 0376 - Special handling considerations

Value	Description
PRTL	Protect from light 遮光
CFRZ	Critical Frozen 凍結
CATM	Critical do not expose to atmosphere – Do not uncap 嫌気ー栓を開けない
CREF	Critical refrigerated 要冷蔵
CAMB	Critical ambient temperature 室温
C37	Critical maintain at 37C (e.g., cryoglobulin specimen

Value	Description
	３７℃に保温（例：サイログロブリン検体）

注）このフィールドはHL7 旧バージョンとの互換性のためにのみ残されている。SPMセグメントとSACセグメントが同時に使用される場合はSPMセグメントを優先する。SPMセグメントについては第7章を参照。

SAC-44　Other environmental factors その他の環境因子 (CWE)　01371

Components: <identifier (ST)> ^ <text (ST)> ^ <name of coding system (IS)> ^ <alternate identifier (ST)> ^ <alternate text (ST)> ^ <name of alternate coding system (IS)>

定義：このフィールドは、検体に関連するその他の環境因子を示す(例：大気への露出)))。使用者定義表0377 に提案する値を示す。この表の値はNCCLS AUTO4による。ユーザによる拡張が可能である。

使用者定義表 0377 - Other environmental factors

Value	Description
ATM	Opened container, atmosphere/duration unspecified　開栓された採取容器の露出時間は規定しない
A60	Opened container, indoor atmosphere, 60 minutes duration 開栓された採取容器の露出時間は室内で６０分

9.4. INV - Inventory Detail Segment 在庫詳細セグメント

在庫詳細セグメントは、装置の試薬等 （試薬の他、チップ、廃液など）の在庫（量）の追跡記録もしくは管理のために必要なデータである。 在庫量としては、消費(減少)するものと蓄積(増加)するものとがある。

INV使用注記

a) 同様の内容を持つセグメントに SID セグメントがある。 SID は、分析に必要な試薬等を確認する為に ORC/OBR および TCD セグメントと共に使用される。 つまり、使用する目的とタイミングが異なり、INV と SID を混同してはならない。 但し、同じ試薬等を指すのに両者の内容に矛盾があってはならない。

b) 装置内で製造日、製造ロットが異なる複数の容器を単一の試薬等として扱う場合、試薬等ステータスは最悪の状態、有効期限は現在に最も近い日時、使用開始日時は最悪の状態を表す容器/ロットのものを示すこととする。 製造元ロット番号は区切り文字(^)で羅列する。

c) 検体(検液/体液)を扱う場合では、SAC セグメントを使用することを推奨する。
SAC では、SAC-3 採取容器 ID（INV-4 に相当）、SAC-10 採取容器キャリア ID（INV-5 に相当）、SAC-11 キャリア内の位置（INV-6 に相当）、SAC-22 利用可能容積（INV-9 に相当）、SAC-23 初期検体体積（INV-7 に相当）、SAC-24 体積の単位（INV-11 に相当）を扱うことができる。

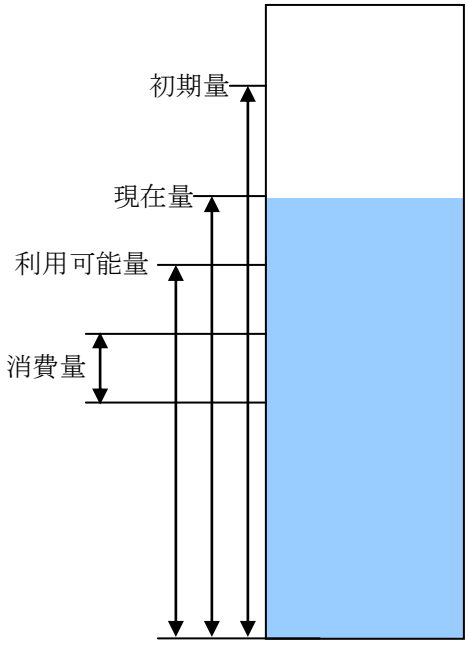


図 13-6. 採取容器の測定規格タイプの情報

HL7 属性表 -INV- 在庫詳細セグメント

SEQ	LEN	DT	OPT	Japan	RP/#	TBL#	ITEM #	ELEMENT NAME	NOTE
1	250	CWE	R	R		0451	01372	Substance identifier 試薬等 ID	
2	250	CWE	R	R	Y	0383	01373	Substance status 試薬等の在庫ステータス	
3	250	CWE	O	O		0384	01374	Substance type 試薬等タイプ	
4	250	CWE	O	O			01532	Inventory container identifier 在庫容器 ID	
5	250	CWE	O	O			01376	Container carrier identifier 在庫容器キャリア ID	
6	250	CWE	O	O			01377	Position on carrier キャリア上の位置	
7	20	NM	O	O			01378	Initial quantity 初期量	
8	20	NM	O	O			01379	Current quantity 現在量	
9	20	NM	O	O			01380	Available quantity 利用可能量	
10	20	NM	O	O			01381	Consumption quantity 消費量	
11	250	CWE	O	O			01382	Quantity units 量の単位	
12	26	TS	O	O			01383	Expiration date/time 有効期限	
13	26	TS	O	O			01384	First used date/time 使用開始日時	
14	200	TQ	B	B			01385	On board stability duration 機上の安定期間	
15	250	CWE	O	O	Y		01386	Test/fluid identifier(s) 検体/試薬 ID	
16	200	ST	O	O			01387	Manufacturer lot number 製造元ロット番号	
17	250	CWE	O	O		0385	00286	Manufacturer Identifier 製造元 ID	
18	250	CWE	O	O		0386	01389	Supplier identifier 供給元 ID	
19	20	CQ	O	O			01626	Manufacturer lot number 機上の安定時間	
20	20	CQ	O	O			01896	Target Value 目標値	

9.4.1.INVフィールド定義

INV-1 Substance identifier 試薬等 ID (CWE) 01372

Components: <identifier (ST)> ^ <text (ST)> ^ <name of coding system (ST)> ^ <alternate identifier (ST)> ^ <alternate text (ST)> ^ <name of alternate coding system (ST)>

定義: 在庫に関わる試薬等の一意のID。試薬等の製造元特有のID。

使用者定義表 0451 試薬等 ID

Value	Description
ALL	すべての在庫項目を要求
	その他は、示唆できる値はない

INV-2 Substance status 試薬等の在庫ステータス (CWE) 01373

Components: <identifier (ST)> ^ <text (ST)> ^ <name of coding system (ST)> ^ <alternate identifier (ST)> ^ <alternate text (ST)> ^ <name of alternate coding system (ST)>

定義: 試薬等の在庫ステータス。ステータスはその試薬等の現在のステータスを示す。 次の表を参照。
(リアルタイムに知らせる)警報や警告が必要な場合は、INU メッセージ/INV セグメントではなく、EAN メッセージ/NDS セグメントを使用する。

HL7 表 0383 試薬等の在庫ステータス

Value	Description
EW	警告：期限切れ
EE	エラー：期限切れエラー
CW	警告：校正
CE	エラー：校正
QW	警告：QC
QE	エラー：QC
NW	警告：利用不可能
NE	エラー：利用不可能
OW	警告：その他
OE	エラー：その他
OK	OK

INV-3 Substance type 試薬等タイプ (CWE) 01374

Components: <identifier (ST)> ^ <text (ST)> ^ <name of coding system (ST)> ^ <alternate identifier (ST)> ^ <alternate text (ST)> ^ <name of alternate coding system (ST)>

定義: 試薬等のタイプ。 次の表を参照。

HL7 表 0384 試薬等タイプ

Value	Description
SR	単一検査試薬
MR	複数検査試薬 (消費量は単位テストの依頼に結びつけられない)
DI	希釈剤
PT	予備処置
RC	試薬校正
CO	制御
PW	精製水
LW	廃棄物(液体)
SW	廃棄物(固体)
SC	計数可能な固形項目(例：チップなど)
LI	計量可能な液体項目
OT	その他

INV-4 Inventory container identifier 在庫容器ID (CWE) 01532

Components: <identifier (ST)> ^ <text (ST)> ^ <name of coding system (ST)> ^ <alternate identifier (ST)> ^ <alternate text (ST)> ^ <name of alternate coding system (ST)>

定義: 採取容器を含む在庫容器のIDで、特定の試薬等を例証する特定容器の唯１つのID。製造元の特定のID。

INV-5　Container carrier identifier 在庫容器キャリアID (CWE)　01376

Components: <identifier (ST)> ^ <text (ST)> ^ <name of coding system (ST)> ^ <alternate identifier (ST)> ^ <alternate text (ST)> ^ <name of alternate coding system (ST)>

定義: 採取容器を含む試薬等容器を搬送するために使用されるキャリア (例: 試薬瓶付きの脱着式ローター)。

INV-6　Position on carrier キャリア上の位置 (CWE)　01377

Components: <identifier (ST)> ^ <text (ST)> ^ <name of coding system (ST)> ^ <alternate identifier (ST)> ^ <alternate text (ST)> ^ <name of alternate coding system (ST)>

定義: キャリア上の位置 (例: インデックス)を示す。

INV-7　Initial quantity 初期量 (NM)　01378

定義: このフィールドは、在庫試薬等の初期の在庫量を示す。
値が不明(Unknown)な時は、null（“”）で表す。

INV-8　Current quantity 現在量 (NM)　01379

定義: このフィールドは現在の量、つまり初期量から実際に使用された量を引いたもの、または、増加された量を示す。
値が不明(Unknown)な時は、null（“”）で表す。

INV-9　Available quantity 利用可能量 (NM)　01380

定義: このフィールドは試薬等の利用可能量または廃棄可能量を示す。例えば、試薬の場合で、現在量から予定されている消費量 (例: 予定されている検査) を引いたものを示す。
値が不明(Unknown)な時は、null（“”）で表す。

INV-10　Consumption quantity 消費量 (NM)　01381

定義: このフィールドは、装置がこの試薬等を使用するたびに消費または廃棄される量を示す。

INV-11　Quantity units 量の単位 (CWE)　01382

Components: <identifier (ST)> ^ <text (ST)> ^ <name of coding system (ST)> ^ <alternate identifier (ST)> ^ <alternate text (ST)> ^ <name of alternate coding system (ST)>

定義: このフィールドは、利用可能量(INV-9)に使用される単位を示す。ISO+ 単位の場合は、省略形で記録される。ANS+ または L (ローカル) 単位の場合は、単位とソースコードの表を記録する必要がある。それ以外の場合は、成分の区切り文字は副成分の区切り文字に置き換えられなければならない。例えば、"L"はリットルを示すが、pt&&ANS+ はパイント (ANSI 単位) を示す。デフォルトの単位はミリリットル (mL) で、単位が示されていない場合は、この単位が仮定される。

INV-12　Expiration date/time 有効期限 (TS)　01383

定義: このフィールドは、試薬等の有効期限 (日付と時刻) を示す。

INV-13　First used date/time 使用開始日時 (TS)　01384

定義: このフィールドは、試薬等が最初に使用された日付と時刻を示す。この日付と時刻は、試薬等の安定性を判断するために必須にしても良い。

INV-14　On board stability duration 機上の安定期間 (TQ)　01385

Components: <quantity (CQ)> ^ <interval (CM)> ^ <duration (ST)> ^ <start date/time (TS)> ^ <end date/time (TS)> ^ <priority (ST)> ^ <condition (ST)> ^ <text (TX)> ^ <conjunction (ST)> ^ <order sequencing (CM)>

定義: このフィールドは、試薬等が安定している期間を示す。
下位互換の為に残された。INV-19（機上の安定期間）が代わりに使われるべきである。

INV-15　Test/fluid identifier(s) 検体/試薬ID (CWE)　01386

Components: <identifier (ST)> ^ <text (ST)> ^ <name of coding system (ST)> ^ <alternate identifier (ST)> ^ <alternate text (ST)> ^ <name of alternate coding system (ST)>

定義: このフィールドは、この試薬等に適用される検査項目と検体(材料/部位)のリストである。反復フィールドである。空白のフィールドは、この試薬等が検査に特定でなく、すべての検査に適用されることを示す。

INV-16　Manufacturer lot number 製造元ロット番号 (ST)　01387

定義: このフィールドは、その試薬等の製造時に製造元が割り当てたロット番号を示す。

INV-17　Manufacturer Identifier 製造元ID (CWE)　00286

Components: <identifier (ST)> ^ <text (ST)> ^ <name of coding system (ST)> ^ <alternate identifier (ST)> ^ <alternate text (ST)> ^ <name of alternate coding system (ST)>

定義: このフィールドは、その試薬等の製造元を示す。 次の表を参照。

使用者定義表 0385 製造元 ID

Value	Description
	示唆できる値はない

INV-18　Supplier identifier 供給元ID (CWE)　01389

Components: <identifier (ST)> ^ <text (ST)> ^ <name of coding system (ST)> ^ <alternate identifier (ST)> ^ <alternate text (ST)> ^ <name of alternate coding system (ST)>

定義: このフィールドは、その試薬等の供給元を示す。 次の表を参照。

使用者定義表 0386 供給元 ID

Value	Description
	示唆できる値はない

INV-19　On Board Stability Time 機上の安定時間 (CQ)　01626

Components: <Quantity (NM)> ^ <Units (CWE)>

Subcomponents for Units (CWE): <Identifier (ST)> & <Text (ST)> & <Name of Coding System (ID)> & <Alternate Identifier (ST)> & <Alternate Text (ST)> & <Name of Alternate Coding System (ID)>

定義：この項目は試薬の利用/キャリブレーションで安定している時間である。この時間はINV-13開始時間にINV-19安定時間をくわえ有効時間を計算するのに利用される。
第一要素は時間表現で第二要素は時間の単位を定義する。「使用者定義表 0255 – 期間属性」(10.6.8節)を参照。推奨する形式は日時分（"minutes", "hours" and "days"）である。

INV-20 Target Value 目標値(CQ) 01896

Components: <Quantity (NM)> ^ <Units (CWE)>
Subcomponents for Units (CWE): <Identifier (ST)> & <Text (ST)> & <Name of Coding System (ID)> & <Alternate Identifier (ST)> & <Alternate Text (ST)> & <Name of Alternate Coding System (ID)>

定義：この項目は試薬の検査結果の目標値を示す。このQCのための目標値は検査管理者や関連する参考値として利用される。第一要素は値で第二要素はその単位である。

9.5. ECD - Equipment Command Segment 装置コマンドセグメント

ECDセグメントは、受信側の構成要素に、これから何が起こるかを通知するために必要な情報を定義する。

HL7 属性表 -ECD- 装置コマンドセグメント

SEQ	LEN	DT	OPT	Japan	RP/#	TBL#	ITEM#	ELEMENT NAME	NOTE
1	20	NM	R	R			01390	Reference Command Number 参照コマンド番号	
2	250	CWE	R	R		0368	01391	Remote Control Command リモート制御コマンド	
3	80	ID	O	R		0136	01392	Response Required 応答要求	
4	200	TQ	B	B			01393	Requested Completion Time 応答完了時間	
5	65536	TX	O	O	Y		01394	Parameters パラメータ	

9.5.1.ECDフィールド定義

ECD-1 Reference Command Number 参照コマンド番号 (NM) 01390

定義： 様々な構成要素から、このコマンドに対して参照が行われたときに、このコマンドを識別するためのユニークな識別子である。MSH-10フィールドのメッセージコントロールIDと似ているが、Equipment Command/Responseでは、この数字は、このコマンドの発行元によって生成される。

ECD-2 Remote Control Command リモート制御コマンド (CWE) 01391

Components: <identifier識別子 (ST)> ^ <text (ST)> ^ <name of coding systemコーディングシステム名 (IS)> ^ <alternate identifier 代替識別子(ST)> ^ <alternate text (ST)> ^ <name of alternate coding system代替コーディングシステム名 (IS)>

定義： このフィールドは、構成要素が開始すべきコマンドを示す。正確には、「使用者定義表0368-リモート制御コマンド」を参照。詳細は、LECIS Standardを参照。
HL7自体に規定はないが，本仕様では，”EX”以外のコードを使用した場合でも，ECD-5のパラメータを使用できるものとする。

使用者定義表 0368 リモート制御コマンド

Value	Description
SA	Sampling サンプリング
LO	Load ロード
UN	Unload アンロード
LK	Lock ロック
UC	Unlock アンロック
TT	Transport To 移送先
CN	Clear Notification 通知クリア
IN	Initialize/Initiate 初期化/開始
SU	Setup セットアップ
CL	Clear クリア
PA	Pause 休止
RE	Resume 再開
ES	Emergency –stop 緊急停止
LC	Local Control Request ローカル制御要求
RC	Remote Control Request リモート制御要求
AB	Abort 中断
EN	Enable Sending Events イベント送信イネーブル
DI	Disable Sending Events イベント送信ディゼーブル
EX	Execute (command specified in field Parameters (ST) 01394) 実行（パラメータ01394のフィールドで規定される）

ECD-3 Response Required 応答要求 (ID) 01392

定義: このフィールドは、コマンドの実行に関連して使用される同期のモードを示す。”Yes”

は、実行の直後に応答が必要であることを示し、”No”は応答が全く必要ないことを示す。
「HL7表0136 -Yes/no 指示」（7.7節）を参照。
HL7自体に規定はないが，本規約では，ECD-3は必須のフィールドとする。

ECD-4 Requested Completion Time 応答完了時間 (TQ) 01393

Components: <Quantity (CQ)> ^ <Interval (RI)> ^ <Duration (ST)> ^ <Start Date/Time (TS)> ^ <End Date/Time (TS)> ^ <Priority (ST)> ^ <Condition (ST)> ^ <Text (TX)> ^ <Conjunction (ID)> ^ <Order Sequencing (OSD)> ^ <Occurrence Duration (CWE)> ^ <Total Occurrences (NM)>
Subcomponents for Quantity (CQ): <Quantity (NM)> & <Units (CWE)>
Note subcomponent contains sub-subcomponents
Subcomponents for Interval (RI): <Repeat Pattern (IS)> & <Explicit Time Interval (ST)>
Subcomponents for Start Date/Time (TS): <Time (DTM)> & <DEPRECATED-Degree of Precision (ID)>
Subcomponents for End Date/Time (TS): <Time (DTM)> & <DEPRECATED-Degree of Precision (ID)>
Subcomponents for Order Sequencing (OSD): <Sequence/Results Flag (ID)> & <Placer Order Number: Entity Identifier (ST)> & <Placer Order Number: Namespace ID (IS)> & <Filler Order Number: Entity Identifier (ST)> & <Filler Order Number: Namespace ID (IS)> & <Sequence Condition Value (ST)> & <Maximum Number of Repeats (NM)> & <Placer Order Number: Universal ID (ST)> & <Placer Order Number: Universal ID Type (ID)> & <Filler Order Number: Universal ID (ST)> & <Filler Order Number: Universal ID Type (ID)>
Subcomponents for Occurrence Duration (CWE): <Identifier (ST)> & <Text (ST)> & <Name of Coding System (ID)> & <Alternate Identifier (ST)> & <Alternate Text (ST)> & <Name of Alternate Coding System (ID)>

定義: このフィールドは、リモート制御動作が終了すべき時間を示す。LAS内で管理される装置の間で時間を同期する必要がある (HL7のオリジナルのメッセージ NMQ、NMDとシステムクロックセグメントNCLを使用)。相対時間量を使用する場合は、EQUセグメントで送信される時間を規格時間とする。
HL7 Ver.2.5においてはこの項目は下位互換のためにある。ECDセグメントで使われている関連時間はTQ1セグメントのTQ1-4に明示的時間、TQ1-5に相対的時間が定義されている。

ECD-5 Parameters パラメータ (ST) 01394

定義： このフィールドは、コマンドのパラメータを示す。（別のセグメントにパラメータが含まれていない場合）

NOTE：遠心分離機、分別機、ソーター、開栓機、閉栓機、自動倉庫などの目的が明確な装置のために、セグメントの要素(あるいはここで否定されない他の要素)が、要求されるかもしれない。

9.6. ECR - Equipment Command Response Segment 装置コマンド応答セグメント

ECRセグメントは、直前に受信したコマンドの、受信側構成要素の応答を定義する。

HL7 属性表 -ECR- 装置コマンド応答セグメント

SEQ	LEN	DT	OPT	Japan	RP/#	TBL#	ITEM#	ELEMENT NAME	NOTE
1	250	CWE	R	R		0387	01395	Command Response コマンド応答	
2	26	TS	R	R			01396	Date/Time Completed 終了日時	
3	65536	TX	O	O	Y		01397	Command Response Parameters コマンド応答パラメータ	

9.6.1.ECRフィールド定義

ECR-1 Command Response コマンド応答 (CWE) 01395

Components: <identifier識別子 (ST)> ^ <text (ST)> ^ <name of coding systemコーディングシステム名 (IS)> ^ <alternate identifier代替識別子 (ST)> ^ <alternate text (ST)> ^ <name of alternate coding system代替コーディングシステム名 (IS)>

定義： このフィールドは、直前に発行されたコマンドの応答を示す。使用者定義表0387を参照。

使用者定義表 0387 コマンド応答

Value	Description
OK	Command completed successfully 正常終了されたコマンド
TI	Command cannot be completed within requested completion time 要求された終了時間内に完了しなかったコマンド
ER	Command cannot be completed because of error condition (see response parameters) エラー状態のため完了しなかったコマンド(応答パラメータを参照)
ST	Command cannot be completed because of the status of the requested equipment (要求された装置のステータスのため完了しなかったコマンド)
UN	Command cannot be completed for unknown reasons (不明な理由のために完了しなかったコマンド)

ECR-2 Date/Time Completed 終了日時 (TS) 01396

定義： このフィールドは、受信側構成要素が、要求されたコマンドを完了した日時を示す。

ECR-3 Command Response Parameters コマンド応答パラメータ (ST) 01397

定義： このフィールドは、返される応答コマンドに関連するパラメータを示す。

© JAHIS 2012

9.7. NDS - Notification Detail Segment 通知詳細セグメント

NDSセグメントは、適当な監査記録とイベントの通知を維持するために必要なデータである。
(例：装置の特定の部位で発生したアラーム)

HL7 属性表 -NDS- 通知詳細セグメント

SEQ	LEN	DT	OPT	Japan	RP/#	TBL#	ITEM#	ELEMENT NAME	NOTE
1	20	NM	R	R			01398	Notification Reference Number 通知参照番号	
2	26	TS	R	R			01399	Notification Date/Time 通知日時	
3	250	CWE	R	R		0367	01400	Notification Alert Severity 通知警報の重要度	
4	250	CWE	R	R			01401	Notification Code 通知コード	

9.7.1.NDSフィールド定義

NDS-1 Reference Command Number 参照コマンド番号 (NM) 01398

定義： このフィールドは、このトランザクションを参照するために、様々な構成要素によって使用されるユニークで連続的な参照番号である。この番号は、この通知の発行者によって生成される。

NDS-2 Notification Date/Time 通知日時 (TS) 01399

定義： このフィールドは、通知の日時を示す。
HL7自体に規定はないが，本仕様では，イベントの発生日時を示すものとする。

NDS-3 Notification Alert Severity 通知警報の重要度 (CWE) 01400

Components: <identifier識別子 (ST)> ^ <text (ST)> ^ <name of coding systemコーディングシステム名 (IS)> ^ <alternate identifier 代替識別子(ST)> ^ <alternate text (ST)> ^ <name of alternate coding system代替コーディングシステム名 (IS)>

定義： このフィールドは、特定の通知の重要度を示す。「HL7表0367－警報レベル」（9.1節）を参照。

NDS-4 Notification Code 通知コード (CWE) 01401

Components: <identifier識別子 (ST)> ^ <text (ST)> ^ <name of coding systemコーディングシステム名 (IS)> ^ <alternate identifier 代替識別子(ST)> ^ <alternate text (ST)> ^ <name of alternate coding system代替コーディングシステム名 (IS)>

定義： このフィールドは、送信されている通知のタイプを示す。これらはメーカや装置固有のエラー・状態コードである。(例：AQN-0123－分別エラー－凝固検知)

9.8. CNS - Clear Notification Segment 通知クリアセグメント

CNSセグメントは、受信側の装置が関連する通知をクリアするために必要なデータを示す。

HL7 属性表 -CNS- 通知クリアセグメント

SEQ	LEN	DT	OPT	Japan	RP/#	TBL#	ITEM#	ELEMENT NAME	NOTE
1	20	NM	O	O			01402	Starting Notification Reference Number 最初の通知参照番号	
2	20	NM	O	O			01403	Ending Notification Reference Number 最後の通知参照番号	
3	26	TS	O	O			01404	Starting Notification Date 最初の通知日時	
4	26	TS	O	O			01405	Ending Notification Date 最後の通知日時	
5	250	CWE	O	O			01406	Starting Notification Code 最初の通知コード	
6	250	CWE	O	O			01407	Ending Notification Code 最後の通知コード	

9.8.1.CNSフィールド定義

HL7自体に規定はないが，本仕様では各指定の組み合わせは可とする。CNS-1,2，CNS-3,4，CNS-5,6，の評価が異なる範囲となった場合，そのANDの領域が指定された対象とする。

CNS-1 Starting Notification Reference Number 最初の通知参照番号 (NM) 01402

定義： このフィールドは、クリアされるべき最初の通知参照番号を示す。

CNS-2 Ending Notification Reference Number 最後の通知参照番号 (NM) 01403

定義： このフィールドは、クリアされるべき最後の通知参照番号を示す。もしこのフィールドが空であれば、最初の通知参照番号のみがクリアされる。

CNS-3 Starting Notification Date 最初の通知日時 (TS) 01404

定義： このフィールドは、クリアされるべき最初の通知の日時を示す。このフィールドが空で、最後の通知日時が埋められていれば、最後の通知日時より前の全ての通知がクリアされる。

CNS-4 Ending Notification Date 最後の通知日時 (TS) 01405

定義： このフィールドは、クリアされるべき最後の通知の日時を示す。このフィールドが空で、最初の通知日時が埋められていれば、最初の通知日時より後の全ての通知がクリアされる。

CNS-5 Starting Notification Code 最初の通知コード (CWE) 01406

Components: <identifier識別子 (ST)>^<text (ST)>^<name of coding systemコーディングシステム名 (IS)>^<alternate identifier 代替識別子(ST)>^<alternate text (ST)>^<name of alternate coding system代替コーディングシステム名 (IS)>

定義： このフィールドは、クリアされるべき最初の通知コードを示す。(NDS-4の通知コード(CWE)01401を参照)

CNS-6 Ending Notification Code 最後の通知コード (CWE) 01407

Components: <identifier識別子 (ST)>^<text (ST)>^<name of coding systemコーディングシステム名 (IS)>^<alternate identifier 代替識別子(ST)>^<alternate text (ST)>^<name of alternate coding system代替コーディングシステム名 (IS)>

定義： このフィールドは、クリアされるべき最後の通知コードを示す。(NDS-4の通知コード(CWE)01401を参照)。このフィールドが空で、最初の通知コードが埋められていれば、最初の通知コードの通知のみがクリアされる。

9.9. TCC - Test Code Configuration 検査コード設定セグメント

検査（例：分析）コード設定セグメントは、自動システム全体で使用される検査コードに関する情報を維持および送信するために必要なデータである。

HL7 属性表 -TCC- 検査コード設定セグメント

SEQ	LEN	DT	OPT	Japan	RP/#	TBL#	ITEM #	ELEMENT NAME	NOTE
1	250	CWE	R	R			00238	Universal service Identifier 汎用サービス ID	
2	80	EI	R	R			01408	Equipment test application identifier 装置試験 APID	
3	300	SPS	B	B			00249	Specimen source 検査材料	
4	20	SN	O	O			01410	Auto-dilution factor default 自動希釈率のデフォルト	
5	20	SN	O	O			01411	Rerun dilution factor default 再検希釈率のデフォルト	
6	20	SN	O	O			01412	Pre-dilution factor default 予備希釈率のデフォルト	
7	20	SN	O	O			01413	Pre-dilution factor default 予備希釈の希釈剤の内容量	
8	10	NM	O	O			01414	Inventory limits warning level 残量警告レベル	
9	1	ID	O	O			01415	Automatic rerun allowed 自動再検許可	
10	1	ID	O	O			01416	Automatic repeat allowed 多重測定許可	
11	1	ID	O	O			01417	Automatic reflex allowed 追加許可	
12	20	SN	O	O			01418	Equipment dynamic range 装置のダイナミックレンジ	
13	250	CWE	O	O			00574	Units 単位	
14	250	CWE	O	O			01419	Processing type 処理タイプ	

9.9.1.TCCフィールド定義

TCC-1 Universal service Identifier 汎用サービスID（CWE）00238

Components: <identifier (ST)> ^ <text (ST)> ^ <name of coding system (IS)> ^ <alternate identifier (ST)> ^ <alternate text (ST)> ^ <name of alternate coding system (IS)

定義：このフィールドは、情報が送信される検査コードを示す。代替要素は、装置や試薬メーカによりこの検査コードに割り当てられた検査コードを示す。

TCC-2 Equipment test application identifier 装置試験APID（ＥＩ）01408

Components: <entity identifier (ST)> ^ <namespace ID (IS)> ^ <universal ID (ST)> ^ <universal ID type (ID)>

定義：このフィールドは、装置や試薬のメーカによって割り当てられ、テスト項目によって指定される特定のテストを行なう時に関連付けられるテストアプリケーションコードを示す。

TCC-3 Specimen source 検査材料（SPS）00249

検査材料SAC-6参照
V2.5においてはこの項目はHL7 旧バージョンとの互換性のためにのみ残されている。SPMセグメントとTCCセグメントが同時に使用される場合はSPMセグメントを優先する。SPMセグメントについては第7章を参照。

TCC-4　Auto-dilution factor default 自動希釈率のデフォルト　(SN)　01410

Components:　<comparator (ST)> ^ <num1 (NM)> ^ <separator/suffix (ST)> ^ <num2 (NM)>

定義：このフィールドは、この検査コードについて装置が自動的に行う希釈のデフォルト希釈率として使用される値である。（「検体コンテナ詳細セグメント」の「希釈率」を参照）

TCC-5　Rerun dilution factor default 再検希釈率のデフォルト (SN) 01411

Components:　<comparator (ST)> ^ <num1 (NM)> ^ <separator/suffix (ST)> ^ <num2 (NM)>

定義：このフィールドは、この検査コードについて装置が再検する場合のデフォルト希釈率として使用される値である。

TCC-6　Pre-dilution factor default 予備希釈率のデフォルト (SN) 01412

Components:　<comparator (ST)> ^ <num1 (NM)> ^ <separator/suffix (ST)> ^ <num2 (NM)>

定義：このフィールドは、この検査コードの予備希釈のために臨床検査自動化システムに配送される検体のフォルト希釈率として使用される値である。

TCC-7　Endogenous content of pre-dilution diluent 予備希釈の希釈剤容量 (SN) 01413

定義：このフィールドは、検体中の希釈剤の測定済み残濃度を示す。この値は、この検査コードのために予備希釈された検体の濃度を計算するために使用される。

TCC-8　Inventory limits warning level 残量警告レベル (NM) 01414

定義：このフィールドは、試薬等在庫の残量警告を出す閾値として使用される。

TCC-9　Automatic rerun allowed 自動再検許可 (ID) 01415

定義：このフィールドは、この検査コード項目を、自動的に再検を行なうかどうかを指定する。「HL7表 0136 -Yes/no指示」（7.7節）を参照。

TCC-10　Automatic repeat allowed 多重測定許可 (ID) 01416

定義：このフィールドは、この検査コード項目を、自動的に２重測定を行なうかどうかを指定する。「HL7表 0136 -Yes/no指示」（7.7節）を参照。

TCC-11　Automatic reflex allowed 追加許可　(ID) 01417

定義：このフィールドは、この検査コード項目を、自動的または手動で追加項目の検査を行なうかどうかを指定する。「HL7表 0136 -Yes/no指示」（7.7節）を参照。

TCC-12　Equipment dynamic range 装置のダイナミックレンジ (SN) 01418

Components:　<comparator (ST)> ^ <num1 (NM)> ^ <separator/suffix (ST)> ^ <num2 (NM)>

定義：装置のダイナミックレンジを示す。

TCC-13　Units 単位（CWE）　00574

Components: <identifier (ST)> ^ <text (ST)> ^ <name of coding system (IS)> ^ <alternate identifier (ST)> ^ <alternate text (ST)> ^ <name of alternate coding system (IS)>

定義：このフィールドはデータタイプCWEを持つ単位である。単位のデフォルトのコード体系は、ISO+省略型（ISO 2955-83）およびISO省略型と衝突しない拡張により構成される。 このコード体系をISO+として指定する。ISO単位の省略型と拡張の両方は未定セクションで定義

され、HL7 図7-9 に示される。ISO+省略型はデフォルトコード体系のコードである。従って ISO+単位を使用する場合は、単位フィールドの内容はHL7バージョン2.1との互換性を持つ。このフィールドの詳細については、HL7 7章セクション4.2.6を参照。

TCC-14 Processing type 処理タイプ (CWE) 01419

Components: <identifier (ST)> ^ <text (ST)> ^ <name of coding system (IS)> ^ <alternate identifier (ST)> ^ <alternate text (ST)> ^ <name of alternate coding system (IS)>

定義：このフィールドは、この検査コードに適用される処理タイプを示す。この属性が省略されている場合は、通常処理がデフォルトとなる。

HL7 表 0388 処理タイプ

Value	Description
P	通常処理
E	評価

9.10. TCD - Test Code Detail Segment 検査コード詳細セグメント

検査コード詳細セグメントは、臨床検査自動化システムによるオペレーション、計算、意思決定を行なうために必要なデータで、オリジナルのHL7の依頼セグメント（ORC、OBR）によりサポートされていないものである。このセグメントは、OBRに添付するか、HL7の調整の後にHL7の対応するセグメントの中に含める。

HL7 属性表 -TCD- 検査コード詳細セグメント

SEQ	LEN	DT	OPT	Japan	RP/#	TBL#	ITEM #	ELEMENT NAME	NOTE
1	250	CWE	R	R			00238	Universal service Identifier 汎用サービスID	
2	20	SN	O	O			01420	Auto-dilution factor 自動希釈率	
3	20	SN	O	O			01421	Rerun dilution factor 再検希釈率	
4	20	SN	O	O			01422	Pre-dilution factor 予備希釈率	
5	20	SN	O	O			01413	Endogenous content of pre-dilution diluent 予備希釈の希釈剤容量	
6	1	ID	O	O			01423	Automatic repeat allowed 自動再検許可	
7	1	ID	O	O			01424	Reflex allowed 追加許可	
8	250	CWE	O	O			01425	Analyte repeat status 分析反復ステータス	

9.10.1. TCDフィールド定義

TCD-1 Universal service Identifier 汎用サービスID（CWE） 00238

Components: <identifier (ST)> ^ <text (ST)> ^ <name of coding system (IS)> ^ <alternate identifier (ST)> ^ <alternate text (ST)> ^ <name of alternate coding system (IS)>

定義：このフィールドは、情報が送信される検査コードを示す。

TCD-2 Auto-dilution factor 自動希釈率 （ＳＮ）01420

Components: <comparator (ST)> ^ <num1 (NM)> ^ <separator/suffix (ST)> ^ <num2 (NM)>

定義：このフィールドは、この検査コードについて装置が自動的に行う希釈の希釈率として使用される値である。

TCD-3 Rerun dilution factor 再検希釈率（ＳＮ） 01421

Components: <comparator (ST)> ^ <num1 (NM)> ^ <separator/suffix (ST)> ^ <num2 (NM)>

定義：このフィールドは、この検査コードの再検時自動希釈の希釈率として使用される値である。

TCD-4 Pre-dilution factor 予備希釈率（ＳＮ） 01422

Components: <comparator (ST)> ^ <num1 (NM)> ^ <separator/suffix (ST)> ^ <num2 (NM)>

定義：このフィールドは、この検査コードの予備希釈のために臨床検査自動化システムに配送される検体の希釈率として使用される値である。

TCD-5 Endogenous content of pre-dilution diluent 予備希釈の希釈剤容量（ＳＮ） 01413

Components: <comparator (ST)> ^ <num1 (NM)> ^ <separator/suffix (ST)> ^ <num2 (NM)>

定義：このフィールドは、検体中の希釈剤の測定済み残濃度を示す。この値は、この検査コ

ードのために予備希釈された検体の濃度を計算するために使用される。

TCD-6　Automatic repeat allowed 自動再検許可（ID） 01423

定義：このフィールドは、この検査コード項目を、自動的に再検を行なうかどうかを指定する。「HL7 -Yes/no指示」（7.7節）を参照。

TCD-7　Reflex allowed 追加許可（ID）01424

定義：このフィールドは、この検査コード項目を、自動的または手動で追加項目の検査を行なうかどうかを指定する。「HL7表 0136 -Yes/no指示」（7.7節）を参照。

TCD-8　Analyte repeat status 分析反復ステータス（CWE） 01425

定義:　このフィールドは結果の反復ステータスを識別する．(例えば: 初期値､再測定, 反復 , 追加).　　「HL7表 0389 – 結果反復ステータス」を参照。

このフィールドの目的は次のように仮定する：

希釈剤なしの反復検査—正しい結果を確認することを行われる (例、“パニック”または機械的失敗としての結果の場合) 。

希釈剤ありの反復検査 —通常、測定限界（技術上の限界）を超えたケースで行われる。

反射作用検査—他のテスト結果に基づいて、このテストは行われる 。

HL7 表 0389 – 結果反復ステータス

Value	Description
O	オリジナル/初期値
R	再検査 (e.g. フラグの設定による)
D	検体希釈後の再測定
F	再追加. (e.g.条件による、または他の結果からの追加)

9.11. SID - Substance Identifier Segment 試薬等識別セグメント

試薬等識別セグメントは分析の過程で使用される試薬等（例えば、試薬）を確認するのに必要なデータを含んでいる。これらの分野の結合は試薬等をユニークに確認しなければならない。すなわちメーカに依存することも必要である。分析が複数の試薬等を必要とする場合は、このセグメントは各試薬等の毎に繰り返される。このセグメントはTCDセグメントと組み合わせて使われる。
もう１つのこのセグメントの目的は、コントロール製造業者、ロットなどの情報を通知することである。この場合 SID セグメントはコントロール検体で採取容器を記述しているSACセグメントに置かれるべきである。

HL7 属性表 -SID- 試薬等識別セグメント

SEQ	LEN	DT	OPT	Japan	RP/#	TBL#	ITEM #	ELEMENT NAME	NOTE
1	250	CWE	C	C			01426	Application / method identifier アプリケーション／方法 ID	
2	20	ST	C	C			01129	Substance lot number 試薬等ロット番号	
3	200	ST	C	C			01428	Substance container identifier 試薬等容器 ID	
4	250	CWE	C	C			01429	Substance manufacturer identifier 試薬等製造元 ID	

9.11.1. SIDフィールド定義

SID-1 Application / method identifier アプリケーション／方法ID（CWE） 01426

Components: <identifier (ST)> ^ <text (ST)> ^ <name of coding system (IS)> ^ <alternate identifier (ST)> ^ <alternate text (ST)> ^ <name of alternate coding system (IS)>

定義：このフィールドは分析に使用されるアプリケーション／方法を示す。
例：糖負荷試験は「順番付けが可能」な検査である。様々なアプリケーション／方法（メーカのIDを持っている）を使用して血糖を分析することができる。

SID-2 Substance lot number 試薬等ロット番号（ＳＴ） 01129

定義：このフィールドは試薬等の製造時にメーカが割り当てた番号を指定する。

SID-3 Substance container identifier 試薬等容器ID（ＳＴ） 01428

定義：このフィールドは試薬等の製造時にメーカが割り当てた容器を指定する。このIDは特定のアプリケーション／方法の特定のロットの中でユニークでなければならない。

SID-4 Substance manufacturer identifier 試薬等製造元ID（CWE） 01429

Components: <identifier (ST)> ^ <text (ST)> ^ <name of coding system (IS)> ^ <alternate identifier (ST)> ^ <alternate text (ST)> ^ <name of alternate coding system (IS)>

定義：このフィールドはこの試薬等の製造元を示す。これはユーザで定義された表である。
「使用者定義表 0451 – 試薬等ID」（9.4節）を参照。

9.12. EQP - Equipment Log/Service Segment 装置ログ／サービスセグメント

装置のログまたはサービスのセグメントは、特定の装置で発生したイベントの適切な監査記録を維持するために必要なデータである。

EQP使用注記

a) 受信側アプリケーションではファイルの新規宣言、追加、重複受信/置換が行われるが、自己責任でこれらを認識し適切に処理すること（本セグメントはこれを規定しない）。

HL7 属性表 -EQP- 装置ログ／サービスセグメント

SEQ	LEN	DT	OPT	Japan	RP/#	TBL#	ITEM #	ELEMENT NAME	NOTE
1	250	CWE	R	R		0450	01430	Event type イベントタイプ	
2	20	ST	O	O			01431	File name ファイル名	
3	26	TS	R	R			01202	Start date/time 開始日時	
4	26	TS	O	O			01432	End date/time 終了日時	
5	65536	FT	R	R			01433	Transaction data トランザクションデータ	

9.12.1. EQPフィールド定義

EQP-1 Event type イベントタイプ (CWE) 01430

Components: <identifier (ST)> ^ <text (ST)> ^ <name of coding system (ST)> ^ <alternate identifier (ST)> ^ <alternate text (ST)> ^ <name of alternate coding system (ST)>

定義: このフィールドは、メッセージが持つイベントのタイプを指定する。 次の表を参照。

HL7 表 0450 イベント

Value	Description
LOG	ログイベント
SER	サービスイベント

EQP-2 File name ファイル名 (ST) 01431

定義: このフィールドは、送信されるログイベントまたはサービスイベントに関する情報の保存に使用される物理ファイル名を示す。 または、個別のログ/サービスを示す代用名称。

EQP-3 Start date/time 開始日時 (TS) 01202

定義: このフィールドは、(EQP-5で示す)イベントが開始した日付と時刻を示す。
要求メッセージの場合は、要求範囲の始点を示す。

EQP-4 End date/time 終了日時 (TS) 01432

定義: このフィールドは、(EQP-5で示す)イベントが終了した日付と時刻を示す。
要求メッセージの場合は、要求範囲の終点を示す。

EQP-5 Transaction data トランザクションデータ (FT) 01433

定義: このフィールドは、ログイベントまたはサービスイベントが関連し、記録されるデータである。

アプリケーションは表示テキストに在る反復セパレータ(MSH-2で定義される)をCR/LFと見なす。

10.マスタファイル Master Files

10. マスタファイル Master Files 10-1
10.1 目的 10-2
10.2 トリガイベント 10-2
10.3 メッセージ 10-3
10.3.1 MFN/MFK - master files notification マスタファイル通知メッセージ 10-3
10.3.2 MFQ/MFR - マスタファイル照会(事象 M01-M14) 10-3
10.3.3 コンフォーマンスに基づくマスタファイル照会の例 10-4
10.4 マスタファイル通知メッセージ共通セグメント 10-7
10.4.1 MFI - Master file identification segment マスタファイル識別セグメント 10-7
10.4.2 MFE - master file entry segment マスタファイルエントリセグメント 10-8
10.4.3 MFA - マスタファイル応答セグメント 10-9
10.5 一般マスタファイル 10-10
10.5.1 MFN 一般マスタファイル通知メッセージ 10-10
10.5.2 対象とするコード表 10-11
10.5.3 ZGN 一般マスタファイルセグメント （事象 M14） 10-12
10.5.4 一般マスタファイル更新のMFNメッセージ例 10-12
10.6 検査項目マスタファイル 10-13
10.6.1 検査項目マスタファイル全般 10-13
10.6.2 MFN/MFK - マスタファイル通知 - 検査/観察（事象 M03） 10-14
10.6.3 MFN/MFK - マスタファイル通知 - 検査/観察（数値）（事象 M08） 10-15
10.6.4 MFN/MFK - マスタファイル通知 - 検査/観察（カテゴリー値）（事象 M09） 10-15
10.6.5 MFN/MFK - マスタファイル通知 - 検査/観察バッテリ（事象 M10） 10-16
10.6.6 MFN/MFK - マスタファイル通知 - 計算型検査/観察（事象 M11） 10-16
10.6.7 MFN/MFK - マスタファイル通知 - 付加的基本的観察/サービス属性（事象 M12） 10-17
10.6.8 OM1 - general segment 検査項目一般セグメント 10-17
10.6.9 OM2 - numeric observation segment 数値結果検査項目セグメント 10-28
10.6.10 OM3 - categorical test/observation segment カテゴリー値結果項目セグメント 10-30
10.6.11 OM4 - observations that require specimens segment 要検体検査セグメント 10-31
10.6.12 OM5 - observation batteries (sets) segment セット検査セグメント 10-34
10.6.13 OM6 - Observations that are Calculated from Other Observations Segments 計算値結果項目セグメント 10-35
10.6.14 OM7 - Additional Basic Attributes (Fields That Apply to Most Observations/Services) 付加的基本属性 10-35

© JAHIS 2012

10.1　目的

臨床検査データ交換を運用するにあたり、相互に情報を認識するために同じ内容を持ったマスタファイルが不可欠である。本章では必要となる各種マスタファイル情報を設定更新する場合に使用する標準的メッセージを規定する。
マスタファイル通知メッセージはオンラインやバッチモードを問わずシステム間における種々のマスタファイルに対する設定更新情報の配布を支援する。これらの応答モードはオリジナル、拡張、遅延アプリケーションを提供する。これらのメッセージは基本的な事象コード（マスタファイル通知または応答）を受け渡すためにMSHセグメントを使う。MFI（マスタファイル識別）セグメントは更新すべきマスタファイルのみならず初期化やいつ適用するかといった「ファイルレベル」事象（「ファイル置換」ような）のための要求日付を識別する。変更すべき各レコードのためのMFE（マスタファイルエントリ）セグメントはレコードレベル事象コード（例えば、追加、更新など）、事象のための初期化や要求日付、そしてマスタファイルのエントリーを識別するレコードレベルキーを持つ。MFA（マスタファイル応答）セグメントはレコードに特有の応答情報を返す。
注: MFEセグメントは、マスタファイルレコードでなく、その識別子、事象と事象日付を指定するだけである。そこで識別されたマスタファイルレコードはMFEセグメントに続くZ-セグメントやHL7定義セグメントを含んでいる。このレコードは単一のセグメントよりなるフラットレコード、あるいはそのデータと（通常階層的）構造より導き出される多くの単一セグメントを必要とする複合レコードである。
一般に、受信側システムが変更通知メッセージを処理する方法は、受信側システムの設計とそのサイトの要件に依存し、特定のマスタファイルに対する変更を手動で行う場合もあるし、自動的に行う場合もある。

10.2　トリガイベント

マスタファイル変更通知メッセージMFNのメッセージ型はMFNであり、対象となる臨床検査マスタファイルや各種表を次のトリガイベント(参照 HL7表 0003-事象型)を用いて通知する。（メッセージ型およびトリガイベントはMSH-9に指定）

HL7 表 0003 - Event type 事象型（マスタファイル関連のみ）

Value	Description
M01	MFN/MFK - 他に特定されないマスタファイル(旧版互換のみ)
M02	MFN/MFK - 職員／従事者マスタファイル
M03	MFN/MFK - 検査項目マスタファイル(旧版互換のみ)
M04	MFN/MFK - 課金明細マスタファイル
M05	MFN/MFK - ロケーションマスタファイル
M06	MFN/MFK - 相とスケジュールを伴う治験マスタファイル
M07	MFN/MFK - 相を除くスケジュールを伴う治験マスタファイル
M08	MFN/MFK - 数値型検査項目マスタファイル
M09	MFN/MFK - カテゴリ型検査項目マスタファイル
M10	MFN/MFK - バッテリ（セット）検査項目マスタファイル
M11	MFN/MFK - 計算型検査項目マスタファイル
M12	MFN/MFK - 付加的基本的観察サービス属性マスタファイル
M13	MFN/MFK - 一般マスタファイル
M14	MFN/MFK - サイト定義マスタファイル
M15	MFN/MFK - 在庫管理項目マスタファイル

MFNメッセージはMFIセグメントで指定される次のようなファイルレベル事象を含む。

REP:　置換　Replace current version of this master file with the version contained in this message.
UPD:　更新　Change file records as defined in the record-level event codes for each record that follows.

REPはすべてのMFEセグメントがレコードレベルの削除通知なしにMAD（追加）され、UPDは次のMFEセグメントのレコードレベル事象コードで定義されることを意味する。
MFNメッセージはMFEセグメントで指定される次のようなレコードレベル事象を含む。

MAD:　追加　Add record to master file.

MDL:　削除　Delete record from master file.
MUP:　更新　Update record for master file.
MDC:　無効　Deactivate: discontinue using record in master file, but do not delete from database.
MAC:　復活　Reactivate deactivated record.

MFDトランザクションは次のトリガイベントで用いられる:

MFA:　マスタファイル遅延アプリケーション応答。

10.3　メッセージ

マスタファイル更新のためにMFNマスタファイル通知、MFKマスタファイルアプリケーション応答、MFDマスタファイル遅延アプリケーション応答、MFQマスタファイル照会メッセージを定義する。
応答や照会（MFK、MFD、MFQ、QBP等）はファイル交換では使用しない。

10.3.1　MFN／MFK - master files notification　マスタファイル通知メッセージ

MFN メッセージは次のように定義される：詳細は各マスタファイルの節を参照。

MFN^Mnn^MFN_Mnn	マスタファイル 通知	Comment(JPN)	HL7V25 章
MSH	Message Header	R	2
[{ SFT }]	Software	N	2
MFI	Master File Identification	R	8
{	--- MF begin	R	
MFE	Master File Entry	R	8
[...]	MFE セグメントで識別されたデータを持つセグメント	C	(varies)
}	--- MF end		

MFK^Mnn^MFK_M01	マスタファイル アプリケーション 応答	Comment(JPN)	HL7V25 章
MSH	Message Header	R	2
[{ SFT }]	Software	N	2
MSA	Acknowledgment	R	2
[{ ERR }]	Error	C	2
MFI	Master File Identification	R	8
[{ MFA }]	Master File ACK segment	C	8

注：MFKメッセージはオリジナルまたは拡張応答モード両者でアプリケーション応答に使用される。

10.3.2　MFQ/MFR - マスタファイル照会(事象 M01-M14)

MFQ処理はシステムが特定のマスタファイルの主キーで定義される特定のレコード群を照会する。

注：　照会はHL7 V2.5第５章で定義されるコンフォーマンスに基づく照会を優先し、MFQ処理のようなオリジナルモード照会の使用は避けるべきである。 10.3.3節のコンフォーマンスに基づくマスタファイル照会の例を参照。

MFQマスタファイル照会は次のように定義される：

MFQ^Mnn^MFQ_M01	マスタファイルレコード照会	Comment(JPN)	HL7V25 章
MSH	Message Header	R	2
[{ SFT }]	Software	N	2
QRD	Query Definition	R	5
[QRF]	Query Filter	O	5
[DSC]	Continuation	N	2

MFR^Mnn^MFR_M01	マスタファイル応答	Comment(JPN)	HL7V25 章
MSH	Message Header	R	2
[{ SFT }]	Software	N	2
MSA	Acknowledgment	R	2
[{ ERR }]	Error	C	2
[QAK]	Query Acknowledgment	C	5
QRD	Query Definition	R	5
[QRF]	Query Filter	O	5
MFI	Master File Name	R	8
{	--- MF_QUERY begin	R	
MFE	Master File Entry	R	8
[...]	One or more HL7 and/or Z-segments carrying the data for the entry identified in the MFE segment.	C	(varies)
}	--- MF_QUERY end		
[DSC]	Continuation	N	2

MFQ注釈

QRDセグメントのQRD-9 - What Subject Filter の値「MFQ」はマスタファイル照会を意味し、QRDセグメントのQRD-10 - What Department Data Codeは照会するマスタファイルの名前である。QRDセグメントのQRD-11 - What Data Code Value Qual.は応答として返されるマスタファイルMFEセグメント（および「…」によって示される随伴するマスタファイルレコード）の主キー（または複数のキーやキーの範囲）を定義する。QRFセグメントは、時間範囲、特にMFN レコードレベル事象符号を定義するために用いられる。特段の指定のないかぎり、その応答はアクティブな現在のレコードを返す。

10.3.3 コンフォーマンスに基づくマスタファイル照会の例

以下はサイト定義コンフォーマンスに基づくマスタファイル照会の例である。この例では、使用者はロケーションマスタファイルの特定のロケーションに関する情報を照会する。実際の照会コンフォーマンス文において、「Znn」は「Z」に続く照会の２桁の数字に置き換えられる。

ロケーションマスタファイル照会のためのコンフォーマンス文の例

照会文ID (照会ID=Znn):	Znn
型:	Query
照会名称:	Znn Find Location
照会トリガー (= MSH-9):	QBP^Znn^QBP_Q11
照会モード:	Real time
応答トリガー (= MSH-9):	RSP^Znn^RSP_Q11
照会特性:	
目的:	Find the characteristics for the specified location.
応答特性:	
基本セグメント形式:	

QBP^Znn^QBP_Q11	照会文法： 変数による照会	Comment(JPN)	HL7V25 章
MSH	Message Header	R	2
[{ SFT }]	Software	N	2
QPD	Query Parameter Definition Segment	R	5
RCP	Response Control Parameters	R	5
[DSC]	Continuation Pointer	N	2

RSP^Znn^RSP_Q11	応答文法： セグメント形式の応答	Comment(JPN)	HL7V25 章
MSH	Message Header	R	2
[{ SFT }]	Software	N	2
MSA	Message Acknowledgement	R	2
[{ ERR }]	Error	C	2
QAK	Query Acknowledgement	R	5
QPD	Query Parameter Definition Segment	R	5
[	--- QUERY_RESULT_CLUSTER begin	R	
MFE	Master File Entry	R	8
LOC	Patient Location Master	R	8
[{ LCH }]	Location Characteristic	C	8
[{ LRL }]	Location Relationship	C	8
{	--- MF_LOC_DEPT begin	C	
LDP	Location Department	C	8
[{ LCH }]	Location Characteristic	C	8
[{ LCC }]	Location Charge Code	C	8
}	--- MF_LOC_DEPT end		
]	--- QUERY_RESULT_CLUSTER end		
[DSC]	Continuation Pointer	N	2

QPD 入力変数仕様

フィールド順 (照会 ID=Znn)	名称	キー／探索	ソート	長	型	オプション	繰り返し	一致性オプション	表	セグメントフィールド名	サービス識別コード	要素名
1	メッセージ照会名称			705	CWE	R				QPD-1		Message Query Name
2	照会タグ			32	ST	R				QPD-2		Query Tag
3	マスタファイル識別子			705	CWE	R				MFI-1		Master File Identifier
4	マスタファイルアプリケーション識別子			227	HD	O				MFI-2		Master File Application Identifier
5	主キー			1230	PL	R				MFE-4		Primary Key Value - MFE

QPD 入力変数フィールド説明と備考

入力変数 (Query ID=Znn)	成分名	データ型	説明
メッセージ照会名称		CWE	成分： <Identifier (ST)> ^ <Text (ST)> ^ <Name of Coding System (ID)> ^ <Alternate Identifier (ST)> ^ <Alternate Text (ST)> ^ <Name of Alternate Coding System (ID)> ^ <Coding System Version ID (ST)> ^ <Alternate Coding System Version ID (ST)> ^ <Original Text (ST)>
	識別子	ST	値は Znn である
	テキスト	ST	値は Find Location である
	コード体系名称	IS	値は HL70471 である
照会タグ		ST	値はこの照会メッセージ実体ための一意な識別子である
マスタファイル識別子		CWE	成分： <Identifier (ST)> ^ <Text (ST)> ^ <Name of Coding System (ID)> ^ <Alternate Identifier (ST)> ^ <Alternate Text (ST)> ^ <Name of Alternate Coding System (ID)> ^ <Coding System Version ID (ST)> ^ <Alternate Coding System Version ID (ST)> ^

入力変数 (Query ID=Znn)	成分名	データ型	説明
			<Original Text (ST)>
	識別子	ST	値は LOC である
	コード体系名称	IS	値は HL70175 である
マスタファイルアプリケーション識別子		HD	成分： <namespace ID (IS)> ^ <universal ID (ST)> ^ <universal ID type (ID)>
主キー		PL	成分： <point of care (IS)> ^ <room (IS)> ^ <bed (IS)> ^ <facility (HD)> ^ < location status (IS)> ^ <person location type (IS)> ^ <building (IS)> ^ <floor (IS)> ^ <location description (ST)>
			このフィールドはロケーションのための施設の識別コードからなる。少なくともこのフィールドの第1成分は必須である。第一成分は入院ロケーションのための看護詰所、あるいは診療所、入院患者以外の患者ロケーションとしての部門や家庭の、識別コードでありえる。

RCP　応答管理変数フィールド説明と備考

フィールド順(照会 ID=Znn)	名称	成分名	長	データ型	説明
1	照会優先度		1	ID	値は I (即時) である
3	応答規則		705	CWE	値は R (リアルタイム)である

ロケーションマスタファイル照会の使用例

以下はロケーションマスタファイル照会の使用例である。以下の照会は看護詰所2N、101号室のロケーションマスタファイル情報を要求：

```
MSH|^~\&|BEDMGMT|HSP1|HIS|HSP1|200105311135||QBP^Znn^QBP_Q11|1|P|2.5
QPD|Znn^Find Location^HL70471|1022|LOC^Location Master^HL70175|HSP1|2N^101^^HSP1
RCP|I||R
```

以下は応答の例：

```
MSH|^~\&|HIS|HSP1|BEDMGMT|HSP1|200105311136||RSP^Znn^RSP_Q11|1|P|2.5|
MSA|AA|8699|
QAK|1022|OK| Znn^Find Location^HL70471|1|1|0
QPD|Znn^Find Location^HL70471|1022|LOC^Location Master^HL70175|HSP1|2N^101^^HSP1
MFE|MAD|||2N^101^^HSP1|PL
LOC|2N^101^^HSP1|Station 2 North, room 101|R||(407)804-5000||IVP|P
LCH|2N^101^^HSP1|||PRL^Privacy level^HL70324|S^Semi-private room^HL70262
LCH|2N^101^^HSP1|||SMK^Smoking^HL70324|Y^^HL70136
```

QAKセグメントで識別された単一の一致が返された。そのロケーション定義と特性はLOCとLCHセグメントで返される。

10.4　マスタファイル通知メッセージ共通セグメント

10.4.1　MFI - Master file identification segment マスタファイル識別セグメント

HL7 属性表　MFI - Master File Identification マスタファイル識別

SEQ	LEN	DT	OPT	RP/#	ITEM#	ELEMENT NAME
1	250	CWE	R		00658	Master File Identifier マスタファイル識別
2	180	HD	O		00659	Master File Application Identifier マスタファイルアプリケーション識別
3	3	ID	R		00660	File-Level Event Code ファイルレベル事象コード
4	26	TS	O		00661	Entered Date/Time 入力日時
5	26	TS	O		00662	Effective Date/Time 有効日時
6	2	ID	R		00663	Response Level Code 応答レベルコード

MFI フィールド定義

MFI-1　Master file identifier マスタファイル識別 (CWE)　00658

成分：　<Identifier (ST)> ^ <Text (ST)> ^ <Name of Coding System (ID)> ^ <Alternate Identifier (ST)> ^ <Alternate Text (ST)> ^ <Name of Alternate Coding System (ID)> ^ <Coding System Version ID (ST)> ^ <Alternate Coding System Version ID (ST)> ^ <Original Text (ST)>

定義：HL7 マスタファイルを識別するものであり、取りうる値は HL7 表 0175 に示す。この表にはサイト特有の拡張が含まれる場合がある。

HL7 表 0175s - Master file identifier code マスタファイル識別コード(日本仕様を含む)

Value	Description	Coding system
nnnn	HL7 table (nnnn table number) HL7 表	HL7
RCM	Result comment 結果コメント	MEDIS
ANA	Analyte 分析物コード	JC10
DISC	Discrimination 識別コード	JC10
SP	Specimen 材料コード	JC10
MET	Method 測定法コード	JC10
RTC	Result type (common) 結果識別コード 共通	JC10
RTD	Result type (dependent) 結果識別コード 固有	JC10
OMA	Numerical observation master file 数値型検査項目	JC10
OMB	Categorical observation master file 判定値型検査項目	JC10
OMC	Observation batteries master file セット検査項目	JC10
OMD	Calculated observations master file 計算値型検査項目	JC10
OME	Other Observation/Service Item master file その他の検査属性	
CDM	Charge description master file 課金明細マスタ	
CMA	Clinical study with phases and scheduled master file 相とスケジュールされた治験マスタ	
CMB	Clinical study without phases but with scheduled master file 相を除くスケジュールされた治験マスタ	
LOC	Location master file ロケーションマスタ	
PRA	Practitioner master file 従事者マスタ	
STF	Staff master file 職員マスタ	
CLN	Clinic master file 医院マスタ	
INV	Inventory master file 在庫マスタ	

MFI-2　Master files application identifier マスタファイルアプリケーション識別 (HD)　00659

成分：　<namespace ID (IS) ^ <universal ID (ST) ^ <universal ID type (ID)

定義：マスタファイルが適用される適切な場所のアプリケーションを一意に識別する。

MFI-3　File-level event code ファイルレベル事象コード (ID)　00660

定義：ファイルレベルの事象コード

HL7 表 0178 - File level event code ファイルレベル事象コード

Value	Description
REP	置換 Replace current version of this master file with the version contained in this message
UPD	更新 Change file records as defined in the record-level event codes for each record that follows

Note: ファイルレベル事象コードMFI-3 - File-Level Event Codeが“REP”(replace file)であるならば各MFEセグメントのレコードレベル事象コードMFE-1 - Record-Level Event Codeは“MAD” (add record to master file)である。

MFI-4 Entered date/time 入力日時 (TS) 00661

成分： <Time (DTM)> ^ <DEPRECATED-Degree of Precision (ID)>

定義：原本側のファイルレベル事象日時

MFI-5 Effective date/time 有効日時 (TS) 00662

成分： <Time (DTM)> ^ <DEPRECATED-Degree of Precision (ID)>

定義：ファイルレベルの処理において、変更を有効とする日時、送り側ではこの日時には変更されていることを期待する。指定がない場合、メッセージを受け取った日時とする。

MFI-6 Response level code 応答レベルコード (ID) 00663

定義：アプリケーションレベルでの応答レベルを表 0179 の値で指定する。メッセージレベルでの応答レベルは MSH で指定する。（ファイル交換では NE 応答不要と設定する）

HL7 表 0179 - Response level 応答レベル

Value	Description
NE	アプリケーションレベル応答不要
ER	エラー/リジェクトの場合のみアプリケーションレベル応答を返す。
AL	常時アプリケーションレベル応答を返す。
SU	更新成功のみアプリケーションレベル応答を返す。

10.4.2 MFE - master file entry segment マスタファイルエントリセグメント

HL7 属性表 MFE - Master File Entry マスタファイルエントリ

SEQ	LEN	DT	OPT	RP/#	ITEM#	ELEMENT NAME
1	3	ID	R		00664	Record-Level Event Code レコードレベル事象コード
2	20	ST	C		00665	MFN Control ID MFN 制御 ID
3	26	TS	O		00662	Effective Date/Time 有効日時
4	200	Varies	R	Y	00667	Primary Key Value – MFE 主キー値
5	3	ID	R	Y	01319	Primary Key Value Type 主キー値型

MFE フィールド定義

MFE-1 Record-level event code レコードレベル事象コード (ID) 00664

定義：レコードレベル事象を指定

HL7 表 0180 - Record-level event code レコードレベル事象コード

Value	Description
MAD	追加 Add record to master file
MDL	削除 Delete record from master file
MUP	更新 Update record for master file
MDC	無効 Deactivate: discontinue using record in master file, but do not delete from database
MAC	復活 Reactivate deactivated record

Note:	ファイルレベル事象コードMFI-3 - File-Level Event Codeが“REP”(replace file)であるならば各MFEセグメントのレコードレベル事象コードMFE-1 - Record-Level Event Codeは“MAD” (add record to master file)である。

MFE-2 MFN control ID MFN制御ID (ST) 00665

定義：原本側システムの視点で受側システムのレコード更新が一意に識別できる数字や識別子。MFI の応答レベルコードが NE 以外のとき、この応答は MFA セグメントで行われる。

MFE-3 Effective date/time 有効日時 (TS) 00662

成分： <Time (DTM)> ^ <DEPRECATED-Degree of Precision (ID)>

定義：レコードレベルの処理において、変更を有効とする日時、送り側ではこの日時には変更されていることを期待する。指定がない場合、メッセージを受け取った日時とする。

MFE-4 Primary key value 主キー値 (Varies) 00667

定義：MFIセグメントで指定されるマスタファイルのレコードレベル事象コードで定義される変更のレコードを一意に識別する。場所マスタファイル更新ではPLデータータイプ、それ以外はCWEデータタイプである。CWEデータタイプの場合第1成分のオプションである副成分のアプリケーションIDがプライマリキー生成のためのアプリケーションを一意に示す。アプリケーションID副成分は複数のアプリケーションにおいてプライマリキーの一意性を保証するために用いられる。

プライマリキーの反復によりレコードレベル事象コードの対象としての複合レコードの独立したの成分の識別を可能としている。この仕様によりマスタファイルプロトコルが複合レコードの単一成分の修正に使用できるようになる。このフィールドが反復される場合、MFE-5 - Value typeフィールドも反復（同じ反復回数で）すべきであり、 MFE-4 - Primary key valueの各反復のデータ型はMFE-5 - Value typeの適切な反復より特定される。

MFE-5 Primary key value type 主キー値型 (ID) 01319

定義：MFE-4 プライマリキー値のデータ型を表 0355 の値で指定する。

HL7 表 0355 - Primary key value type 主キー値型

Value	Description
PL	Person location 人物ロケーション
CWE	Coded element 符号化要素

10.4.3 MFA - マスタファイル応答セグメント

MFAセグメントはHL7 属性表 - MFA - マスタファイル応答で定義される以下のフィールドからなる。

HL7 属性表 MFA - Master File Acknowledgment マスタファイル応答

SEQ	LEN	DT	OPT	RP/#	ITEM#	ELEMENT NAME
1	3	ID	R		00664	Record-Level Event Code レコードレベル事象コード
2	20	ST	C		00665	MFN Control ID MFN 制御 ID
3	26	TS	O		00668	Event Completion Date/Time 事象完了日時
4	250	CWE	R		00669	MFN Record Level Error Return MFN レコードレベルエラー戻値
5	250	Varies	R	Y	01308	Primary Key Value – MFA 主キー値
6	3	ID	R	Y	01320	Primary Key Value Type – MFA 主キー値型

MFA フィールド定義

MFA-1 Record-level event code レコードレベル事象コード (ID) 00664

定義：このフィールドはMFIセグメントよって識別されるマスタファイルレコードとそのセグメントの主キーのためのレコードレベル事象を定義する。取りうる値は表0180 -レコードレベル事象コードを参照。

注： もしMFI-3 - File-level event codeが“REP”(置換)であるならば各MFA セグメントのMFA-1 - Record-level event codeは“MAD” (マスタファイルにレコード追加)である。

MFA-2　MFN control ID　MFN制御ID (ST)　00665

定義 : このフィールドは原本側システムの視点でレコード更新が一意に識別できる番号や識別子からなる。このフィールドはこのMFAセグメントによって応答される特定のレコード（MFEセグメントで識別される）を一意に識別する。MFAセグメントを通して原本側システムに返されるとき、このフィールドは目標となるシステムのどのレコードが変更されたか通知されることにより正確に識別することを可能とする。それはMFI-6 - Response level codeがレコードレベル（NE以外の値）における応答を要求する場合のみ必要である。

MFA-3　Event Completion Date/Time 事象完了日時 (TS)　00668

成分：　<Time (DTM)> ^ <DEPRECATED-Degree of Precision (ID)>

定義 : このフィールドの要否は与えられるマスタファイル、マスタファイル事象、および受信側施設に対するサイトの仕様に依存する。

MFA-4　MFN Record Level Error Return　MFNレコードレベルエラー戻値 (CWE)　00669

成分：　<Identifier (ST)> ^ <Text (ST)> ^ <Name of Coding System (ID)> ^ <Alternate Identifier (ST)> ^ <Alternate Text (ST)> ^ <Name of Alternate Coding System (ID)> ^ <Coding System Version ID (ST)> ^ <Alternate Coding System Version ID (ST)> ^ <Original Text (ST)>

定義 : このフィールドは要求された更新の状況からなる。サイト定義表、このトランザクションを介して更新される個々のマスタファイルに特定される。取りうる値は使用者定義表0181 - MFNレコードレベルエラー戻値を参照。

使用者定義表 0181 - MFN record-level error return レコードレベルエラー戻値

Value	Description
S	MFE セグメントで定義されたレコードの成功記録
U	MFE セグメントで定義されたレコードの非成功記録

MFA-5　Primary Key Value - MFA　主キー値 (Varies)　01308

定義 : MFN-4 - Record level error returnフィールドで定義される応答すべき変更状況のMFIセグメントで識別されるマスタファイルレコードを一意に識別する。フィールドのデータ型はMFA-6 - Value type - MFA の値で定義され、取りうる値は表 0355 –プライマリキー値型において定義される。

プライマリキーの反復によりレコードレベル事象コードの対象としての複合レコードの独立した成分の識別を可能としている。この仕様によりマスタファイルプロトコルが複合レコードの単一成分の修正に使用できるようになる。このフィールドが反復される場合、MFA-6 - Primary key value type - MFAフィールドも反復（同じ反復回数で）すべきであり、 MFA-5 - Primary key value - MFAの各反復のデータ型はMFA-6 - Value type - MFAの適切な反復より特定される。

MFA-6　Primary Key Value Type – MFA 主キー値型　(ID)　01320

定義 : MFA-5 - Primary key value - MFAのデータ型を表0355の値で指定する。

10.5　一般マスタファイル

標準HL7表やコードと名称といった単階層のコード表の更新に用いる。

10.5.1　MFN 一般マスタファイル通知メッセージ

10.5.1.1 MFN/MFK - マスタファイル通知 - 一般 (事象 M13)

サイト定義「Z」セグメントでない場合。このメッセージ型は要求されたマスタファイル情報すべてを扱うために標準のHL7セグメントが適用できるときに使用する（テキスト値であるひとつのキーのみからなる単純なマスタファイルの場合）。

一般マスタファイル通知は次のように定義される。（事象 M13）

MFN^M13^MFN_M13	マスタファイル通知ー一般	Comment(JPN)	HL7V25 章
MSH	Message Header	R	2
[{ SFT }]	Software	N	2
MFI	Master File Identification	R	8
{ MFE }	Master File Entry	R	8

MFK^M13^MFK_M01	マスタファイルアプリケーション応答	Comment(JPN)	HL7V25 章
MSH	Message Header	R	2
[{ SFT }]	Software	N	2
MSA	Acknowledgment	R	2
[{ ERR }]	Error	C	2
MFI	Master File Identification	R	8
[{ MFA }]	Master File ACK segment	C	8

10.5.1.2 MFN/MFK - マスタファイル通知 - サイト定義 (事象 M14)

サイト定義「Z」使用の場合。 このメッセージ型は要求されたマスタファイル情報すべてを扱うために標準のHL7セグメントが適用できないときに使用する。このメッセージ型は標準のHL7セグメントが適用できるが、処理型が現状HL7で定義されていない場合にも使用される。

サイト定義マスタファイル通知は次のように定義される。（事象 M14）

MFN^M14^MFN_ZGN	マスタファイル通知ーサイト定義	Comment(JPN)	HL7V25 章
MSH	Message Header	R	2
[{ SFT }]	Software	N	2
MFI	Master File Identification	R	8
{	--- MF_SITE_DEFINED begin	R	
MFE	Master File Entry	R	8
[ZGN]	MFE セグメントで識別された HL7 あるいは ZGN セグメント	C	
}	--- MF_SITE_DEFINED end		

MFK^M14^MFK_M01	マスタファイルアプリケーション応答	Comment(JPN)	HL7V25 章
MSH	Message Header	R	2
[{ SFT }]	Software	N	2
MSA	Acknowledgment	R	2
[{ ERR }]	Error	C	2
MFI	Master File Identification	R	8
[{ MFA }]	Master File ACK segment	C	8

10.5.2 対象とするコード表

HL7 表のほか以下のコード表を対象とする。

コード表一覧

対象	コード制定組織	組織コード	マスタファイル識別コード
HL7 表	HL7	HL7	nnnn HL7 表番号
MEDIS-DC 暫定版の結果コメントコード表	MEDIS-DC	MEDIS	RCM
分析物 Analyte	日本臨床検査医学会	JC10（第 10 改訂）	ANA
識別 Discrimination	日本臨床検査医学会	JC10（第 10 改訂）	DISC
材料 Specimen	日本臨床検査医学会	JC10（第 10 改訂）	SP

検査方法 Method	日本臨床検査医学会	JC10（第 10 改訂）	MET
結果識別（共通）Test result type (common)	日本臨床検査医学会	JC10（第 10 改訂）	RTC
結果識別（固有）Test result type (dependent)	日本臨床検査医学会	JC10（第 10 改訂）	RTD
採取方法	（未定）	（未定）	（未定）

10.5.3 ZGN 一般マスタファイルセグメント （事象 M14）

HL7 属性表 ZGN 一般マスタファイル

SEQ	LEN	DT	OPT	RP/#	ITEM#	ELEMENT NAME
1	250	CWE	R			Table entry for table xxxx xxxx 表エントリー
2	5	NM	O			Display-sort-key 表示ソートキー

ZGN フィールド定義

ZGN-1 表エントリー (CWE)

成分： <Identifier (ST)> ^ <Text (ST)> ^ <Name of Coding System (ID)> ^ <Alternate Identifier (ST)> ^ <Alternate Text (ST)> ^ <Name of Alternate Coding System (ID)> ^ <Coding System Version ID (ST)> ^ <Alternate Coding System Version ID (ST)> ^ <Original Text (ST)>

定義：更新すべきマスタファイル表の値(行要素)を識別子とテキストを CWE データタイプで記述する。MFE-4 で指示されたレコードへのデータ。

ZGN-2 Display-sort-key (NM)

定義：HL7表の表示や印刷の際、コード順でない場合の表示順を指示する。

10.5.4 一般マスタファイル更新の MFN メッセージ例

10.5.4.1 メッセージ例 MFNメッセージオリジナル応答モード

この例では、メッセージはサイト定義「Z」セグメントを含む。以下のメッセージが応答システムへ送信される：

```
MSH|^~\&|HL7REG|UH|HL7LAB|CH|200106290544||MFN^M14^MFN_ZGN|MSGID001|P|2.5
MFI|HL70006^RELIGION^HL70175||UPD|||AL
MFE|MAD|6772331|200106290500|BUD^Buddhist^HL70006|CWE
ZGN|BUD^Buddhist^HL70006|3
MFE|MAD|6772332|200106290500|BOT^Buddhist: Other^HL70006|CWE
ZGN|BOT^Buddhist: Other^HL70006|4
```

応答側はメッセージを受信しそしてメッセージについて必要な検証を行う。この例では、受信したメッセージは処理可能と判断し、MFN^M14メッセージを開始側システムへ送信する：

```
MSH|^~\&|HL7LAB|CH|HL7REG|UH|200106290545||MFK^M14^MFK_M01|MSGID99001|P|2.5
MSA|AA|MSGID001
MFI|HL70006^RELIGION^HL70175||UPD|||AL
MFA|MAD|6772331|200106290545|S|BUD^Buddhist^HL70006|CWE
MFA|MAD|6772332|200106290545|S|BOT^Buddhist: Other^HL70006|CWE
```

MSA-1 - Acknowledgment Code はメッセージが受信され成功裏に処理されたことを示す「AA」を含んでいることに注意。この値はメッセージが受信されたが成功裏に処理しなかったことを示す「AE」または「AR」であることもある。MSA-2 - Message Control ID は開始側メッセージへの応答と連携する開始側MFN^M14 メッセージ(MSGID001)のMSH-10 - Message Control ID からの値を含む。

日本臨床検査医学会臨床検査項目分類コード材料コード表の更新例（応答不要例、ファイル交換向き）、この例では既存の材料コード表を更新する（「蓄尿」を「24 時間蓄尿」と変更）。

```
MSH|^~\&|JSCPREG|JSCP|LAB|OAL|20000313143000||MFN^M14^MFN_ZGN|MSGID1|P|2.5|||NE|NE
MFI|SP^材料コード^JC10||UPD|||NE
MFE|MUP||200003150000|004^蓄尿&pooled urine^JC10|CWE
ZGN|004^24 時間蓄尿&24h pooled urine^JC10
```

10.5.4.2 メッセージ例 MFNメッセージ拡張モードアプリケーションレベル応答

この例では、メッセージはサイト定義「Z」セグメントを含まない。以下のメッセージが応答側

システムへ送信される：

```
MSH|^~\&|HL7REG|UH|HL7LAB|CH|200106290544||MFN^M13^MFN_M01|MSGID004|P|2.5|||AL|AL
MFI|HL70006^RELIGION^HL70175||UPD|||AL
MFE|MAD|6772333|200106290500|BUD^Buddhist^HL70006|CWE
MFE|MAD|6772334|200106290500|BOT^Buddhist: Other^HL70006|CWE
```

応答側はメッセージを受信しそしてメッセージについて必要な検証を行う。この例では、受信したメッセージは処理可能と判断する。開始側メッセージのMSH-15 - Accept Acknowledgmentは受信応答が必要（「AL」）と識別しているので、以下のACKメッセージが応答側によって組み立てられMFN^M13メッセージの応答と識別して開始側システムへ送信する：

```
MSH|^~\&|HL7LAB|CH|HL7REG|UH|200106290545||ACK^M13^ACK|MSGID99004|P|2.5
MSA|CA|MSGID004
```

MSA-1 - Acknowledgment Code はメッセージが受信されそして安全に保管することを約束した識別である「CA」を含んでいることに注意。この値はメッセージが受信されたが成功裏に処理しなかったことを示す「CE」または「CR」であることもある。MSA-2 - Message Control ID は開始側メッセージへの応答と連携する開始側MFN^M13 メッセージ(MSGID004)のMSH-10 - Message Control ID からの値を含む。

開始側システムはこの例ではアプリケーションレベル応答（「AL」）を要求していることをMSH-16 - Application Acknowledgment Typeによって識別している。応答側は、開始側システムに上記ACKメッセージの送信することに続きある時点で、MFN^M13メッセージの処理を行うであろう。メッセージ処理が完結すれば、アプリケーション応答はメッセージが処理された識別で応答側から開始側システムへ送信される。応答側はMFK^M13応答メッセージを組み立て、そしてそれを開始側システムへ送信する：

```
MSH|^~\&|HL7LAB|CH|HL7REG|UH|200106290550||MFK^M13^MFK_M01|MSGID99501|P|2.5|||AL|
MSA|AA|MSGID004
MFI|HL70006^RELIGION^HL70175||UPD|||AL
MFA|MAD|6772333|200106290550|S|BUD^Buddhist^HL70006|CWE
MFA|MAD|6772334|200106290550|S|BOT^Buddhist: Other^HL70006|CWE
```

MSA-1 - Acknowledgment Code はメッセージが受信され成功裏に処理されたことを示す「AA」を含んでいることに注意。この値はメッセージが受信されたが成功裏に処理しなかったことを示す「AE」または「AR」であることもある。この値は後続のすべてのMFAセグメントに適用する。MSA-2 - Message Control ID は開始側メッセージへのアプリケーション応答と連携する開始側MFN^M13 メッセージ(MSGID004)のMSH-10 - Message Control ID からの値を含む。

開始側システムは応答側からのアプリケーション応答メッセージを受信し、そしてその応答であるACKメッセージを形成する。以下のメッセージが応答側システムへ送信される：

```
MSH|^~\&|HL7REG|UH|HL7LAB|CH|200106290551||ACK^M13^ACK|MSGID445|P|2.5
MSA|CA|MSGID99501
```

MSA-2 - Message Control IDは、開始側からのMFN^M13でなく、ちょうど受信したMFK^M13メッセージ(MSGID99501)のMSH-10 - Message Control IDからの値を含んでいることに注意。

日本臨床検査医学会臨床検査項目分類コード材料コード表の更新例（応答不要例、ファイル交換向き）、この例では既存の材料コード表を更新する（「蓄尿」を「24 時間蓄尿」と変更）。

```
MSH|^~\&|JSCPREG|JSCP|LAB|OAL|20000313143000||MFN^M13^MFN_M01|MSG01|P|2.5|||NE|NE
MFI|SP^材料コード^JC10||UPD|||NE
MFE|MUP||200003150000|004^24時間蓄尿&24h pooled urine^JC10|CWE
```

10.6 検査項目マスタファイル

10.6.1 検査項目マスタファイル全般

臨床や診断サービスの実施やクライアントへの送付ための臨床検査項目に関する情報フォーマットを定める。このフォーマットはすべての検査項目あるいは一部の限られた検査項目の手法や技術や解釈の変更などを送ることができる。

OM1　検査項目共通事項 contains the attributes that apply to all observations

OM2　数値結果検査項目用 applies to numerically-valued observations

OM3　判定値結果検査項目用 applies to text or code-valued observations

OM4　検体を必要とする検査項目用 applies to observations or batteries that require specimens

OM5　セット検査用 contains the attributes of batteries, or sets of observations or other batteries

OM6　計算値結果検査項目用 contains the quantities (observations in a most general sense) that are calculated from one or more other observations

OM7　付加的基本的属性に関する事項 contains additional basic attributes that apply to the definition of most observations/services

すなわち、数値結果の検体検査項目の全定義は OM1, OM2, OM4 を必要とする。

OMx セグメントの各インスタンスはひとつの検査項目やバッテリの情報を含んでいる。これらの OMx セグメントは包括的にいかなる種類の検査属性をも適用できるようデザインされている。全てのセグメントやフィールドを使用する必要はなく、検査実施者やクライアントの要件により使用するフィールドの組み合わせを選択する。

これらセグメントの TX データ型フィールドの多くは診断サービスのユーザーマニュアルなどに反映すべきデータの解釈などの情報であり、コンピュータ処理のためのものではない。

処置の多くは検査結果と見なし、これらのセグメントで検査結果として表現することに留意すること。いくつかの例をあげる。血液ガスの場合、オーダ側は酸素治療の吸入量を OBX セグメントでオーダとともに通知する。血中薬物濃度を求める場合、薬剤の最終投与の量と時刻を OBX セグメントで通知する。薬剤システムは通常外来患者の調剤ごとに平均一日投与量を診療記録システムへ送る。これらのケースでは、処置量は受信側システムにとっては検査結果であり OBX セグメントで送信される。受信時それらは他の検査結果同様に扱われる。それから診療記録システムは検査結果のフローチャートや関連の処置を加味した検査結果を生成する。

10.6.2　MFN/MFK - マスタファイル通知 - 検査／観察 (事象 M03)

マスタファイル通知MFNメッセージとマスタファイル照会MFRメッセージにおけるOMxセグメントは、10.4.1「MFN/MFK - マスタファイル通知」と10.4.4「MFQ/MFR -マスタファイル照会」の記述のMFIおよびMFEセグメントに続く[...]部分に相当する。以下のメッセージ構成図の[other segment(s)他のセグメント]はOM1セグメントに関連するOMxセグメントである。

注:　MFN^M03 は旧版互換性にためのみに残す。新規導入に適用する場合(MFN^M08, MFN^M09, MFN^M10, MFN^M11, および MFN^M12)のような特定のマスタファイルメッセージを使用することを推奨する。

MFN^M03^MFN_M03	マスタファイル通知 ― 検査/観察	Comment(JPN)	HL7V25 章
MSH	Message Header	R	2
[{ SFT }]	Software	N	2
MFI	Master File Identification	R	8
{	--- MF_TEST begin	R	
MFE	Master File Entry	R	8
OM1	General Segment (Fields That Apply to Most Observations)	R	8
[...]	[other segment(s)]	O	
}	--- MF_TEST end		

MFK^M03^MFK_M01	マスタファイルアプリケーション応答	Comment(JPN)	HL7V25 章
MSH	Message Header	R	2
[{ SFT }]	Software	N	2
MSA	Acknowledgment	R	2
[{ ERR }]	Error	C	2
MFI	Master File Identification	R	8
[{ MFA }]	Master File ACK segment	C	8

10.6.3 MFN/MFK - マスタファイル通知 - 検査／観察（数値） (事象 M08)

MFI-1 – マスタファイル識別コード = OMA、数値型検査項目用

検査結果値が数値および／またはカテゴリ値両者である場合、OM2 (数値)およびOM3 (カテゴリ値)セグメントの両方をこのメッセージで扱う場合もある。

MFN^M08^MFN_M08	マスタファイル通知 ー 検査/観察（数値）	Comment(JPN)	HL7V25 章
MSH	Message Header	R	2
[{ SFT }]	Software	N	2
MFI	Master File Identification	R	8
{	--- MF_TEST_NUMERIC begin	R	
MFE	Master File Entry	R	8
OM1	General Segment (Fields That Apply to Most Observations)	R	8
[OM2]	Numeric Observation Segment	C	8
[OM3]	Categorical Service/Test/Observation Segment	O	8
[{ OM4 }]	Observations that Require Specimens	O	8
}	--- MF_TEST_NUMERIC end		

MFK^M08^MFK_M01	マスタファイルアプリケーション応答	Comment(JPN)	HL7V25 章
MSH	Message Header	R	2
[{ SFT }]	Software	N	2
MSA	Acknowledgment	R	2
[{ ERR }]	Error	C	2
MFI	Master File Identification	R	8
[{ MFA }]	Master File ACK segment	C	8

10.6.4 MFN/MFK - マスタファイル通知 - 検査／観察（カテゴリ値） (事象 M09)

MFI-1 – マスタファイル識別コード = OMB、カテゴリ値型検査項目用

MFN^M09^MFN_M09	マスタファイル通知 – 検査/観察（カテゴリ値）	Comment(JPN)	HL7V25 章
MSH	Message Header	R	2
[{ SFT }]	Software	N	2
MFI	Master File Identification	R	8
{	--- MF_TEST_CATEGORICAL begin	R	
MFE	Master File Entry	R	8
OM1	General Segment (Fields That Apply to Most Observations)	R	8
[	--- MF_TEST_CAT_DETAIL begin	C	
OM3	Categorical Service/Test/Observation Segment	C	8
[{ OM4 }]	Observations that Require Specimens	O	8
]	--- MF_TEST_CAT_DETAIL end		
}	--- MF_TEST_CATEGORICAL end		

MFK^M09^MFK_M01	マスタファイルアプリケーション応答	Comment(JPN)	HL7V25 章
MSH	Message Header	R	2
[{ SFT }]	Software	N	2
MSA	Acknowledgment	R	2
[{ ERR }]	Error	C	2
MFI	Master File Identification	R	8
[{ MFA }]	Master File ACK segment	C	8

© JAHIS 2012

10.6.5 MFN/MFK - マスタファイル通知 - 検査／観察バッテリ (事象 M10)

MFI-1 – マスタファイル識別コード = OMC、セット検査項目用

MFN^M10^MFN_M10	マスタファイル通知 – 検査/観察バッテリ	Comment(JPN)	HL7V25 章
MSH	Message Header	R	2
[{ SFT }]	Software	N	2
MFI	Master File Identification	R	8
{	--- MF_TEST_BATTERIES begin	R	
MFE	Master File Entry	R	8
OM1	General Segment (Fields That Apply to Most Observations)	R	8
[	--- MF_TEST_BATT_DETAIL begin	C	
OM5	Observation Batteries	C	8
[{ OM4 }]	Observations that Require Specimens	O	8
]	--- MF_TEST_BATT_DETAIL end		
}	--- MF_TEST_BATTERIES end		

MFK^M10^MFK_M01	マスタファイルアプリケーション応答	Comment(JPN)	HL7V25 章
MSH	Message Header	R	2
[{ SFT }]	Software	N	2
MSA	Acknowledgment	R	2
[{ ERR }]	Error	C	2
MFI	Master File Identification	R	8
[{ MFA }]	Master File ACK segment	C	8

10.6.6 MFN/MFK - マスタファイル通知 - 計算型検査／観察 (事象 M11)

MFI-1 – マスタファイル識別コード = OMD、計算値型検査項目用

MFN^M11^MFN_M11	マスタファイル通知 – 計算型検査/観察	Comment(JPN)	HL7V25 章
MSH	Message Header	R	2
[{ SFT }]	Software	N	2
MFI	Master File Identification	R	8
{	--- MF_TEST_CALCULATED begin	R	
MFE	Master File Entry	R	8
OM1	General Segment (Fields That Apply to Most Observations)	R	8
[	--- MF_TEST_CALC_DETAIL begin	C	
OM6	Observations Calculated from Other Observations	C	8
OM2	Numeric Observation Segment	C	8
]	--- MF_TEST_CALC_DETAIL end		
}	--- MF_TEST_CALCULATED end		

MFK^M11^MFK_M01	マスタファイルアプリケーション応答	Comment(JPN)	HL7V25 章
MSH	Message Header	R	2
[{ SFT }]	Software	N	2
MSA	Acknowledgment	R	2
[{ ERR }]	Error	C	2
MFI	Master File Identification	R	8
[{ MFA }]	Master File ACK segment	C	8

10.6.7 MFN/MFK - マスタファイル通知 - 付加的基本的観察／サービス属性 (事象 M12)

MFI-1 – マスタファイル識別コード = OME、付加的基本検査／サービス属性用

MFN^M12^MFN_M12	マスタファイル通知 – 付加的基本的観察/サービス属性	Comment(JPN)	HL7V25 章
MSH	Message Header	R	2
[{ SFT }]	Software	N	2
MFI	Master File Identification	R	8
{	--- MF_OBS_ATTRIBUTES begin	R	
MFE	Master File Entry	R	8
OM1	General Segment (Fields That Apply to Most Observations)	R	8
[OM7]	Other Basic Observation/Service Attributes	C	8
}	--- MF_OBS_ATTRIBUTES end		

MFK^M12^MFK_M01	マスタファイルアプリケーション応答	Comment(JPN)	HL7V25 章
MSH	Message Header	R	2
[{ SFT }]	Software	N	2
MSA	Acknowledgment	R	2
[{ ERR }]	Error	C	2
MFI	Master File Identification	R	8
[{ MFA }]	Master File ACK segment	C	8

10.6.8 OM1 - general segment 検査項目一般セグメント

OM1 セグメントはほとんどの検査項目定義に関する属性からなる。またこのセグメントはこの検査項目定義のための追加セグメントがあるかを明示するフィールド属性も含んでいる。

HL7 属性表 - OM1 - General Segment 一般セグメント

SEQ	LEN	DT	OPT	RP/#	ITEM#	ELEMENT NAME
1	4	NM	R		00586	Sequence Number 連番
2	250	CWE	R		00587	Producer's Test/Observation ID 実施者検査項目 ID
3	12	ID	O	Y	00588	Permitted Data Types 許容データ型
4	1	ID	R		00589	Specimen Required 検体要否
5	250	CWE	R		00590	Producer ID 実施者 ID
6	200	TX	O		00591	Observation Description 検査詳細
7	250	CWE	O		00592	Other Test/Observation IDs for the Observation 他の検査項目 ID
8	200	ST	R	Y	00593	Other Names 別名
9	30	ST	O		00594	Preferred Report Name for the Observation 報告名称
10	8	ST	O		00595	Preferred Short Name or Mnemonic for Observation 略称
11	200	ST	O		00596	Preferred Long Name for the Observation 正式名称
12	1	ID	O		00597	Orderability オーダ可否
13	250	CWE	O	Y	00598	Identity of Instrument Used to Perform this Study 検査機器 ID
14	250	CWE	O	Y	00599	Coded Representation of Method 検査法コード
15	1	ID	O		00600	Portable 可搬性
16	250	CWE	O	Y	00601	Observation Producing Department/Section 検査部門
17	250	XTN	O		00602	Telephone Number of Section 部門の電話番号
18	1	IS	R		00603	Nature of Test/Observation 検査特性
19	250	CWE	O		00604	Report Subheader 報告サブヘッダ
20	20	ST	O		00605	Report Display Order 報告表示順
21	26	TS	O		00606	Date/time stamp for any change in Def. for Obs. 検査項目変更日時
22	26	TS	O		00607	Effective Date/Time of Change 変更適用日時
23	20	NM	O		00608	Typical Turn-Around Time 典型的所要時間
24	20	NM	O		00609	Processing Time 処理時間

25	40	ID	O	Y	00610	Processing Priority　処理優先度
26	5	ID	O		00611	Reporting Priority　報告優先度
27	250	CWE	O	Y	00612	Outside Site(s) Where Observation may be Performed　外部検査施設
28	250	XAD	O		00613	Address of Outside Site(s)　外部施設住所
29	250	XTN	O		00614	Phone Number of Outside Site　外部施設電話番号
30	250	CWE	O		00615	Confidentiality Code　秘匿コード
31	250	CWE	O		00616	Observations Required to Interpret the Obs　必要な所見
32	65536	TX	O		00617	Interpretation of Observations　判断情報
33	250	CWE	O	Y	00618	Contraindications to Observations　禁忌
34	250	CWE	O	Y	00619	Reflex Tests/Observations　反映する検査
35	80	TX	O		00620	Rules that Trigger Reflex Testing　反映検査起動規則
36	250	CWE	O		00621	Fixed Canned Message　定型文
37	200	TX	O		00622	Patient Preparation　患者の準備
38	250	CWE	O		00623	Procedure Medication　薬剤処置
39	200	TX	O		00624	Factors that may Effect the Observation　検査に影響する要因
40	60	ST	O	Y	00625	Test/Observation Performance Schedule 検査実施スケジュール
41	65536	TX	O		00626	Description of Test Methods　検査方法解説
42	250	CWE	O		00937	Kind of Quantity Observed　検査値の種類
43	250	CWE	O		00938	Point Versus Interval　測定間隔
44	200	TX	O		00939	Challenge Information　負荷試験情報
45	250	CWE	O		00940	Relationship Modifier　関係修飾子
46	250	CWE	O		00941	Target Anatomic Site Of Test　検査対象解剖学的部位
47	250	CWE	O		00942	Modality Of Imaging Measurement　画像検査モダリティ

OM1 フィールド定義

OM1-1　Sequence number 連番-検査項目マスタファイル (NM)　00586

定義：メッセージの最初の OM1 セグメントは１と表記、２番目は２というように表記する。

OM1-2　Producer's test/observation ID 実施者検査項目ID (CWE)　00587

成分： <Identifier (ST)> ^ <Text (ST)> ^ <Name of Coding System (ID)> ^ <Alternate Identifier (ST)> ^ <Alternate Text (ST)> ^ <Name of Alternate Coding System (ID)> ^ <Coding System Version ID (ST)> ^ <Alternate Coding System Version ID (ST)> ^ <Original Text (ST)>

定義：検査実施者側の検査項目コード。3 つの要素 <ID code> ^ <service text name / description> ^ <source list of code> は必須である。日本臨床病理学会臨床検査項目分類コード体系に則りコーディングされた検査項目コードを使用(結果識別も含む)。

OM1-3　Permitted data types 許容データ型 (ID)　00588

定義：この検査の結果データ型。これらのコード型は OBX（検査の状況により異なるデータ型を取る場合がある）のためにリストアップされたのと同じである。実際、限られた環境において検査は 1 つ以上の異なるデータ型の分画よりなることもある。複数のデータ型を持つ場合、例えば、コード値(CWE)や数値(NM)など許容されるデータ型を反復区切り文字で繰り返す。取りうる値は表 0125－結果値タイプを参照。

OM1-4　Specimen required 検体要否 (ID)　00589

定義：　検査のために検体が必要か否かのフラグ。通常検体が必要な場合は検体毎に OM4 セグメントを伴う。

Y　　1つ以上の検体が必要　one or more specimens are required to obtain this observation
N　　検体は不要　a specimen is not required

OM1-5　Producer ID 実施者ID (CWE)　00590

成分： <Identifier (ST)> ^ <Text (ST)> ^ <Name of Coding System (ID)> ^ <Alternate Identifier (ST)> ^ <Alternate Text (ST)> ^ <Name of Alternate Coding System (ID)> ^ <Coding System Version ID (ST)> ^ <Alternate Coding System Version ID (ST)> ^ <Original Text (ST)>

定義：このセグメントを記述する検査の実施者を一意に識別する実施者 ID。CWE 型で 323-5678^Acme Special Lab^MC のようにコーディングする。米国では通常メディケア提供者番号(MC)や HIBCC 場所コードが使用される。それぞれの国で適切なコード体系を設定することを望むかも知れない。処置の量や呼吸装置など機器のセッティングなども検査と見なすことに留意。このような場合、薬局や呼吸器看護部門を検査の実施者のように扱う。

OM1-6　Observation description 検査詳細 (TX)　00591

定義：検査の説明。

OM1-7　Other test/observation IDs for the observation 他の検査項目ID (CWE)　00592

成分： <Identifier (ST)> ^ <Text (ST)> ^ <Name of Coding System (ID)> ^ <Alternate Identifier (ST)> ^ <Alternate Text (ST)> ^ <Name of Alternate Coding System (ID)> ^ <Coding System Version ID (ST)> ^ <Alternate Coding System Version ID (ST)> ^ <Original Text (ST)>

定義:この検査の代替識別コード､複数ある場合は CWE データ型を反復区切り文字で繰り返す。用語マッピングができるほどのコード(e.g., ICD9, ACR-NEMA, SNOMED, and READ)をあげることを推奨する。また、処置の量なども検査として扱うので処置の識別コード(e.g., NDC, ICCS)も対象である。各々の CWE 型の要素の 3 つ（ID，テキスト、コード体系）は省略不可。

OM1-8　Other names (recognized by the producer for the observation) 別名 (ST)　00593

定義：この検査のコード体系と関係なく用いられる別名や同義語。

OM1-9　Preferred report name for the observation 報告名称 (ST)　00594

定義：検査報告書に使用する適切な名称を空白を含む 30 文字以内で表現。桁数の固定された報告書で用いる。

OM1-10　Preferred short name or mnemonic for the observation 略称 (ST)　00595

定義 : 検体ラベルなどのようにスペースが限られた報告書に人が読める利便性のために検査を特定する名称を 8 文字以内で表現。

OM1-11　Preferred long name for the observation 正式名称 (ST)　00596

定義：検査の正式な名称、可能な限り科学的であり、省略されない単語で 200 文字以内で表現。

OM1-12　Orderability オーダ可否 (ID)　00597

定義 : オーダ可能な検査であるか否かのフラグ。例えば、血球分類算定で MCV(平均赤血球容積)は血算に含まれてオーダされ通常単独ではオーダされない。

Y　　オーダ可　the test/observation is an orderable code
N　　オーダ不適　the test/observation is not orderable

OM1-13　Identity of Instrument used to perform this study 検査機器ID (CWE)　00598

成分： <Identifier (ST)> ^ <Text (ST)> ^ <Name of Coding System (ID)> ^ <Alternate Identifier (ST)> ^ <Alternate Text (ST)> ^ <Name of Alternate Coding System (ID)> ^ <Coding System Version ID (ST)> ^ <Alternate Coding System Version ID (ST)> ^ <Original Text (ST)>

定義：検査に使用する装置や機器の識別に使用。例えば、自動分析器、放射線画像装置とモデル番号、病棟の自動血圧装置など。

OM1-14　Coded representation of method 検査法コード (CWE)　00599

成分： <Identifier (ST)> ^ <Text (ST)> ^ <Name of Coding System (ID)> ^ <Alternate Identifier (ST)> ^ <Alternate Text (ST)> ^ <Name of Alternate Coding System (ID)> ^ <Coding System Version ID (ST)> ^ <Alternate Coding System Version ID (ST)> ^ <Original Text (ST)>

定義： 検査方法をコンピュータで判別できる形(コード)で表現。以降のフィールドでの叙述記録と同じ方法とすべきである。臨床的に 1 つの方法では判別できない場合に限り複数の方法を反復区切文字により列記できる。

OM1-15　Portable 可搬性 (ID)　00600

定義： 検査に用いる機器が携帯可能か否かのフラグ。

Y　　携帯機器により患者の所在場所で検査可能
N　　患者あるいは検体を機器のあるところに搬送

OM1-16　Observation producing department/section 検査部門 (CWE)　00601

成分： <Identifier (ST)> ^ <Text (ST)> ^ <Name of Coding System (ID)> ^ <Alternate Identifier (ST)> ^ <Alternate Text (ST)> ^ <Name of Alternate Coding System (ID)> ^ <Coding System Version ID (ST)> ^ <Alternate Coding System Version ID (ST)> ^ <Original Text (ST)>

定義：検査実施部門を識別するために使用。識別子を使用しない場合フリーテキストで第 2 要素に記録する。複数の部門がある場合反復区切文字によって分割する。

OM1-17　Telephone number of section 部門の電話番号 (XTN)　00602

成分： <DEPRECATED-Telephone Number (ST)> ^ <Telecommunication Use Code (ID)> ^ <Telecommunication Equipment Type (ID)> ^ <Email Address (ST)> ^ <Country Code (NM)> ^ <Area/City Code (NM)> ^ <Local Number (NM)> ^ <Extension (NM)> ^ <Any Text (ST)> ^ <Extension Prefix (ST)> ^ <Speed Dial Code (ST)> ^ <Unformatted Telephone number (ST)>

定義：結果の問い合わせや示唆を求める場合の対応可能な部門の電話番号。

OM1-18　Nature of test/observation 検査特性 (IS)　00603

定義：検査の性格の定義。バッテリなのか、総合的な処置や機能試験なのか、単一検査なのか、依頼可能なバッテリや機能試験が複数の検査からなるのか、他の独立した検査から計算される単一検査なのか、など。取りうる値は表 0174- 検査特性を参照。

使用者定義表 0174 - Nature of test/observation 検査特性

Value	Description
P	プロフィールやバッテリは通常一装置で一検体で実施されるいくつかの独立した単一検査項目より成り立つ。（例えば、SMA12 、電解質）
F	いくつかの関連付けられた測定(例えば、糖負荷試験、クレアチンクリアランス)からなる機能試験、通常異なる時間や検体で実施される。
A	単一検査項目 Atomic service/test/observation (test code or treatment code)
S	スーパーセット　－　構成要素が単一検査項目のみならず別々のバッテリの場合。（例えば、ルーチン = 血球算定、尿酸、電解質） このセットは多数の検査やバッテリを依頼するために記述されているコードが使われることを示す。例えば、外来患者プロフィールとしてルーチンで血球算定，血液像，サイロキシンをこれら 3 つのバッテリをそれぞれの依頼コードの替りに 1 つの特定のコードで依頼する。
C	一定の規則や形式で他の独立した検査から計算して得られる検査項目。 (e.g., 肺胞-動脈血比，心拍出量)

コード P、F および S はセット(バッテリ)を示し、その要素は随伴する OM5 セグメントで定義される。その構成要素の定義はそれぞれに他の独立した OMx セグメントで送られなければならない。ASTM では、例えば、退院要約、admission H&Ps、胸部 X 線報告などの、多くのテキスト報告はセットと見なされ、報告書の各部（例えば、X 線報告書の記述、所見および勧告）は、個別の検査と考えられる。
コード A は単一の直接の検査を示し、通常 OM2 や OM3 セグメントを伴う。
コード C は演算された量であることを示し、通常 OM6 セグメントを伴う。
これらすべてのコードは 1 つ以上の OM4(検体)セグメントを伴うことができる。

OM1-19　Report subheader 報告サブヘッダ (CWE)　00604

成分： <Identifier (ST)> ^ <Text (ST)> ^ <Name of Coding System (ID)> ^ <Alternate Identifier (ST)> ^ <Alternate Text (ST)> ^ <Name of Alternate Coding System (ID)> ^ <Coding System Version ID (ST)> ^ <Alternate Coding System Version ID (ST)> ^ <Original Text (ST)>

定義：標準的に検査が列記される場合の適切な見出しとなるオプションの文字列で、代表名や総称などがある。例えば、検査がヘモグロビンの場合、この文字列は「全血球算定」である。それは CWE データ型で表記され、バッテリ名称が見出しとなる。このサブヘッダに関連するコードがない場合、文字列の表記のみの場合がある。一連の検査が次のソート順によって表示される場合、これらの検査グループのサブヘッダは、サブヘッダが変わるごとに表示する。

OM1-20　Report display order 報告表示順 (ST)　00605

定義：標準的に検査が列記される場合のソート順序を定義するオプションの文字列。

OM1-21　Date/time stamp for any change in definition for the observation 検査項目変更日時 (TS) 00606

成分：　<Time (DTM)> ^ <DEPRECATED-Degree of Precision (ID)>

定義：OM1 セグメントに対応するホストのレコードで最新の変更があった日時。

OM1-22　Effective date/time of change in test procedure that make results non-comparable 変更適用日時 (TS)　00607

成分：　<Time (DTM)> ^ <DEPRECATED-Degree of Precision (ID)>

定義：以前の結果と新しい結果との互換性がなくなる検査方法の最新の変更日時。例えば、数値検査項目の基準値や単位が変更になった最新の日時
我々は、測定方法が変更され、新法での結果が旧法での結果と臨床的に異なる場合、検査実施者は同じ検査 ID を使用しないよう強く推奨する。むしろ実施者は旧法との結果が臨床的に変わらないように新法の調整に努力すべきである。それができない場合、新法での検査のため新しい検査項目 ID を作るべきである。
まれに、手順が変更されたが上記の 2 つのオプションいずれも不可能な場合、新法の有効となる日時を送信するのに使用する。受信システムは、この検査 ID で送られるいかなる値もこの日時以降新法によるものとし、新旧の検査を識別する適切な手段を取ること。
この日時は、検査結果について疑問を持つ場合、検査実施サービスに問い合わせる手段を提供する目的もある。

OM1-23　Typical turn-around time from receipt of specimen/subject to result produced 典型的所要時間 (NM)　00608

定義：1 つの検査実施の典型的な所要時間。診断サービスへの検体集配や患者搬送と待ち時間を含む試験の完了までの時間を分で表す。

OM1-24　Processing time 処理時間 (NM)　00609

定義：検査手順の開始から完了までの通常の時間を分で表す。

OM1-25　Processing priority　(ID) 処理優先度　00610

定義：検査を実行するための利用可能な 1 つ以上の優先度。これは TQ1-9 - Priority（旧版 OBR-28－数量／タイミング）で使用される。多重優先度が与えられることがあり、反復区切文字で分離される。例えば、S~A~R~P~T は、検査が優先度 S、A、R、P または T を使用して依頼されることを示す。検体を得るための優先権は OM4-13-Specimen Priorities に含まれる。取りうる値は、HL7 表 0168－処理優先度を参照。

HL7 表 0168 - Processing priority 処理優先度

Value	Description
S	Stat (do immediately) すぐ実施
A	As soon as possible (a priority lower than stat) できるだけ早く（Stat より低い優先度）
R	Routine 定期
P	Preoperative (to be done prior to surgery) 術前（手術に先立って実施）
T	Timing critical (do as near as possible to requested time) 時間指定
C	Measure continuously (e.g., arterial line blood pressure) 連続測定（例えば動脈血圧）
B	Do at bedside or portable (may be used with other codes) ベッドサイド又は可搬機器で実施（おそらく他のコードと用いる）

OM1-26　Reporting priority 報告優先度 (ID)　00611

定義：ユーザが処理優先度と別に報告優先度を指定するよう依頼される場合、検査結果の利用可能な報告優先度。取りうる値は HL7 表 0169－報告優先度を参照。

HL7 表 0169 - Reporting priority 報告優先度

Value	Description
C	Call back results 電話連絡
R	Rush reporting 至急報告

OM1-27 Outside site(s) where observation may be performed 外部検査施設 (CWE) 00612

成分： <Identifier (ST)> ^ <Text (ST)> ^ <Name of Coding System (ID)> ^ <Alternate Identifier (ST)> ^ <Alternate Text (ST)> ^ <Name of Alternate Coding System (ID)> ^ <Coding System Version ID (ST)> ^ <Alternate Coding System Version ID (ST)> ^ <Original Text (ST)>

定義：検査を実施する外部委託先の識別。この CWE 型フィールドは、実施者 ID(OM1-5-実施者 ID で定義)と成分区切文字で分離されたサービスの名称である。例えば、...|39221^ACME lab^MC|... である。複数のサービスが使用される場合反復区切文字により繰り返す。

OM1-28 Address of outside site(s) 外部施設住所 (XAD) 00613

成分： <Street Address (SAD)> ^ <Other Designation (ST)> ^ <City (ST)> ^ <State or Province (ST)> ^ <Zip or Postal Code (ST)> ^ <Country (ID)> ^ <Address Type (ID)> ^ <Other Geographic Designation (ST)> ^ <County/Parish Code (IS)> ^ <Census Tract (IS)> ^ <Address Representation Code (ID)> ^ <DEPRECATED-Address Validity Range (DR)> ^ <Effective Date (TS)> ^ <Expiration Date (TS)>

副成分 Street Address (SAD): <Street or Mailing Address (ST)> & <Street Name (ST)> & <Dwelling Number (ST)>

副成分 DEPRECATED-Address Validity Range (DR): <Range Start Date/Time (TS)> & <Range End Date/Time (TS)>

副成分は副副成分を含むことに注意

副成分 Effective Date (TS): <Time (DTM)> & <DEPRECATED-Degree of Precision (ID)>

副成分 Expiration Date (TS): <Time (DTM)> & <DEPRECATED-Degree of Precision (ID)>

定義：OM1-27 外部施設の住所。複数のサービスが使用される場合出現順に対応して反復区切文字により繰り返す。

OM1-29 Phone number of outside site 外部施設電話番号 (XTN) 00614

成分： <DEPRECATED-Telephone Number (ST)> ^ <Telecommunication Use Code (ID)> ^ <Telecommunication Equipment Type (ID)> ^ <Email Address (ST)> ^ <Country Code (NM)> ^ <Area/City Code (NM)> ^ <Local Number (NM)> ^ <Extension (NM)> ^ <Any Text (ST)> ^ <Extension Prefix (ST)> ^ <Speed Dial Code (ST)> ^ <Unformatted Telephone number (ST)>

定義：外部施設の電話番号。

OM1-30 Confidentiality code 秘匿コード (CWE) 00615

成分： <Identifier (ST)> ^ <Text (ST)> ^ <Name of Coding System (ID)> ^ <Alternate Identifier (ST)> ^ <Alternate Text (ST)> ^ <Name of Alternate Coding System (ID)> ^ <Coding System Version ID (ST)> ^ <Alternate Coding System Version ID (ST)> ^ <Original Text (ST)>

定義：この検査に適用される特別な機密保持の度合い。例えば、HIV 検査では血球算定よりもきつい管理がなされるかもしれない。取りうる値は表 0177 秘匿コードを参照。

使用者定義表 0177 - Confidentiality code 秘匿コード

Value	Description
V	Very restricted 非常に限定
R	Restricted 限定
U	Usual control 通常管理
EMP	Employee 従業員
UWM	Unwed mother 未婚の母
VIP	Very important person or celebrity 重要人物や名士
PSY	Psychiatric patient 精神医学患者
AID	AIDS patient AIDS 患者
HIV	HIV(+) patient HIV(+)患者
ETH	Alcohol/drug treatment patient アルコール／薬物中毒治療患者

OM1-31 Observations required to interpret this observation 必要な所見 (CWE) 00616

成分： <Identifier (ST)> ^ <Text (ST)> ^ <Name of Coding System (ID)> ^ <Alternate Identifier (ST)> ^ <Alternate Text (ST)> ^ <Name of Alternate Coding System (ID)> ^ <Coding System Version ID (ST)> ^ <Alternate Coding System Version ID (ST)> ^ <Original Text (ST)>

定義：診断サービスが依頼された検査の結果を判断するために必要な所見のリスト。ここに指定された所見は、オーダ(OBR)セグメントとともに OBX セグメントで診断サービスに送られるべきである。

子宮頚部パパニコロースミア試験（細胞診の一種）の例：

```
...|2000.32^date last menstrual period^AS4 ~ 2000.33^menstrual state^AS4|...
```

動脈血液ガスの例：

```
...|94700^inspired O2^AS4|...
```

OM1-32　Interpretation of observations 判断情報 (TX)　00617

定義：検査結果の判断するための臨床情報。例えば、虚偽の異常値を起こす条件(薬)や診断のための検査の感度と特異性についての情報である。

OM1-33　Contraindications to observations 禁忌 (CWE)　00618

成分： <Identifier (ST)> ^ <Text (ST)> ^ <Name of Coding System (ID)> ^ <Alternate Identifier (ST)> ^ <Alternate Text (ST)> ^ <Name of Alternate Coding System (ID)> ^ <Coding System Version ID (ST)> ^ <Alternate Coding System Version ID (ST)> ^ <Original Text (ST)>

定義：検査が禁忌かまたは危険である診断やプロブレム。(例えば、ペースメーカー、妊娠、糖尿病)。例えば、もし OM1 の検査項目が経静脈性腎盂造影法ならば、このフィールドには糖尿病における造影剤の使用についての注意が含まれるであろう。禁忌は反復区切文字によって繰り返す。

OM1-34　Reflex tests/observations 反映する検査 (CWE)　00619

成分： <Identifier (ST)> ^ <Text (ST)> ^ <Name of Coding System (ID)> ^ <Alternate Identifier (ST)> ^ <Alternate Text (ST)> ^ <Name of Alternate Coding System (ID)> ^ <Coding System Version ID (ST)> ^ <Alternate Coding System Version ID (ST)> ^ <Original Text (ST)>

定義：依頼されたバッテリの結果から診断サービスが自動的にオーダを発生させるであろう検査名を CWE 型(つまり<コード> ˆ <テキスト名> ˆ <コード体系名>)で記述。もしヘモグロビンが 12 未満であるなら、血球算定は網状赤血球算定をオーダするかもしれない。複数の反映される検査は反復区切文字によって繰り返す。

OM1-35　Rules that trigger reflex testing 反映検査起動規則 (TX)　00620

定義：上記の反映検査を起動する規則。複数の反映検査が反復区切文字で分離された OM1-34-反映検査中で列記される場合、対応する規則セットがこの節に含まれる。第 1 の規則は第 1 の検査に、第 2 の規則は第 2 の検査に適用され、以下同様である。

OM1-36　Fixed canned message 定型文 (CWE)　00621

成分： <Identifier (ST)> ^ <Text (ST)> ^ <Name of Coding System (ID)> ^ <Alternate Identifier (ST)> ^ <Alternate Text (ST)> ^ <Name of Alternate Coding System (ID)> ^ <Coding System Version ID (ST)> ^ <Alternate Coding System Version ID (ST)> ^ <Original Text (ST)>

定義：略語に常に関係している符号、および固定テキストメッセージ。反復区切文字で分離された複数のメッセージを含む場合がある。

OM1-37　Patient preparation 患者の準備 (TX)　00622

定義：検査に要求される特別の準備、食事、薬物投与などの記載。胃腸の造影剤検査の場合、検査前食、例えば、胃の残留物が少ないような 2 日分の食事、検査前の絶食および適切な下剤となる。個々の薬物投与、食事また準備は反復区切文字によって区切られる。

例：S 字結腸切除：

```
...| 術前日は終日流動食とする~8oz のクエン酸マグネシウムを術前日午後６時に投与~2 ducat 錠(5m)を術前日午後４時に投与~真夜中を過ぎより絶食 |
```

OM1-38　Procedure medication 薬剤処置 (CWE)　00623

成分： <Identifier (ST)> ^ <Text (ST)> ^ <Name of Coding System (ID)> ^ <Alternate Identifier (ST)> ^ <Alternate Text (ST)> ^ <Name of Alternate Coding System (ID)> ^ <Coding System Version ID (ST)> ^ <Alternate Coding System Version ID (ST)> ^ <Original Text (ST)>

定義：検査手順の一環としての処置などを記載。例えば、甲状腺スクリーンニングの放射性ヨウ

素や、メタコリン肺活量負荷試験のためのメタコリンがある。

OM1-39　Factors that may effect the observation 検査に影響する要因 (TX)　00624

定義：検査に影響を及ぼす可能性のある食物、疾病、薬剤、他の状態などを記述。及ぼす影響の情報、検査に先立つ食事や状態や薬剤に関する勧告。

OM1-40　Test/observation performance schedule 検査実施スケジュール (ST)　00625

定義：労働日や週で実施される診断検査のスケジュールを記載。ここでは実施される検査の最大間隔を示す。(検査はより頻繁に実施されることがある)。数量・タイミングの節による繰返しパターンの書式を用いる。必要ならば反復区切文字で分離された複数のコードを記載。複数のコードが使用される場合、検査が複数の発生する間隔で実施されることを示す。例えば、、Q6H は検査が少なくとも 6 時間ごとに実施されることを示す。QJ1 は検査が少なくとも毎週月曜日に実施されることを示す。QAM~QPM は検査が少なくとも毎朝と毎夕実施されることを示す。
QJ1~QJ3~QJ5 は検査が少なくとも毎週月曜日、水曜日および金曜日に実施されることを示す。C は検査が週 7 日間いつでも実施されることを示す。

OM1-41　Description of test methods (may include bibliographic citations) 検査方法解説 (TX)　00626

定義：検査を実施や生成するにあたっての方法についての説明。引用文献も含む。

OM1-42　Kind of quantity observed 検査値（量）の種類 (CWE)　00937

成分：　<Identifier (ST)> ^ <Text (ST)> ^ <Name of Coding System (ID)> ^ <Alternate Identifier (ST)> ^ <Alternate Text (ST)> ^ <Name of Alternate Coding System (ID)> ^ <Coding System Version ID (ST)> ^ <Alternate Coding System Version ID (ST)> ^ <Original Text (ST)>

定義：この検査結果がもつ特性(検査結果のプロパティ)。この属性には、全量濃度、モル濃度、分圧などがある。取りうる値は、HL7 表 0254-量の種類-に列記される。この表でいう特性は、主として次元解析に基づいている。表は、単純な計数に関するもの(数、数濃度など)、量に関するもの(量、重量濃度など)、酵素活性に関するもの(触媒物質、触媒濃度など)、およびモル数または当量数(構成物質、構成物質濃度)、など多くを含んでいる。
この分類によると、グルコースは重量濃度として分類される。ナトリウムは構成物質濃度(当量)として分類される。また、患者の体重のプロパティは含有量ではなく量そのものである。ナトリウムやグルコースに例示されるように、多くの化学的計測は濃度で提示される。しかしながら、24 時間の尿タンパク質は重量濃度ではなく重量比率(単位時間当たりの量)である。通常、含有変量(例えば、重量濃度、構成物質濃度)は組織重量当たりの量を反映している。マスタファイル上のこの属性は、マスタファイルを送るサービスが測定原理によって検査を分類している場合に限り、値を持つものである。

HL7 表 0254 - Kind of quantity 量の種類

Enzymatic Activity 酵素的活性	
CACT	*Catalytic Activity 触媒活性
CNC	*Catalytic Concentration 触媒濃度
CCRTO	Catalytic Concentration Ratio 触媒濃度比
CCNT	*Catalytic Content 触媒成分
CFR	*Catalytic Fraction 触媒分画
CRAT	*Catalytic Rate 触媒率
CRTO	Catalytic Ratio 触媒比
Entitic 実体	
ENT	*Entitic 実体
ENTSUB	*Entitic Substance of Amount 量の実体物質
ENTCAT	*Entitic Catalytic Activity 実体触媒活性
ENTNUM	*Entitic Number 実体数
ENTVOL	*Entitic Volume 実体体積
Mass 質量	
MASS	*Mass 質量
MCNC	*Mass Concentration 質量濃度

Other Properties	
ABS	Absorbance 吸光度
ACT	*Activity 活性
APER	Appearance 出現
ARB	*Arbitrary 任意
AREA	Area 面積
ASPECT	Aspect 方向
CLAS	Class クラス
CNST	*Constant 定数
COEF	*Coefficient 係数
COLOR	Color 色調
CONS	Consistency 硬度
DEN	Density 密度
DEV	Device 装置
DIFF	*Difference 差
ELAS	Elasticity 弾性
ELPOT	Electrical Potential (Voltage) 電圧 (ボルト)

MCRTO	*Mass Concentration Ratio 質量濃度比
MCNT	Mass Content 質量成分
MFR	*Mass Fraction 質量分画
MINC	*Mass Increment 質量増分
MRAT	*Mass Rate 質量率
MRTO	*Mass Ratio 質量比
Counts 計数	
NUM	*Number 数量
NCNC	*Number Concentration 数量濃度
NCNT	*Number Content 数量成分
NFR	*Number Fraction 数量分画
NRTO	*Number Ratio 数量比
Substance Amount (Moles/Millequivalents)物質量(モル／当量)	
SUB	*Substance Amount 物質量
SCNC	*Substance Concentration 物質濃度
SCRTO	*Substance Concentration Ratio 物質濃度比
SCNT	*Substance Content 物質成分
SCNTR	*Substance Content Rate 物質成分率
SFR	*Substance Fraction 物質分画
SCNCIN	*Substance Concentration Increment 物質濃度増分
SRAT	*Substance Rate 物質率
SRTO	*Substance Ratio 物質比
Volumes 体積	
VOL	*Volume 体積
VCNT	*Volume Content 体積成分
VFR	*Volume Fraction 体積分画
VRAT	*Volume Rate 体積率
VRTO	*Volume Ratio 体積比
Miscellaneous Unit Measures	
ACNC	Concentration, Arbitrary Substance 濃度,任意物質
RLMCNC	*Relative Mass Concentration 相対質量濃度
RLSCNC	*Relative Substance Concentration 相対物質濃度
THRMCNC	*Threshold Mass Concentration 閾値質量濃度
THRSCNC	*Threshold Substance Concentration 閾値物質濃度
Time 時間	
TIME	*Time (e.g. seconds) 時間 (例えば 秒)
TMDF	*Time Difference 時間差
TMSTP	*Time Stamp-Date and Time タイムスタンプ–日時
TRTO	*Time Ratio 時間比
RCRLTM	*Reciprocal Relative Time 相互相対時間
RLTM	*Relative Time 相対時間

ELRAT	Electrical current (amperage) 電流 (アンペア)
ELRES	Electrical Resistance 電気抵抗
ENGR	Energy エネルギー
EQL	Equilibrium 当量
FORCE	Mechanical force 機械的力
FREQ	Frequency 頻度
IMP	Impression/ interpretation of study 所見
KINV	*Kinematic Viscosity 運動粘性率
LEN	Length 長さ
LINC	*Length Increment 長さ増分
LIQ	*Liquifaction 溶解
MGFLUX	Magnetic flux 磁力線
MORPH	Morphology 形態学
MOTIL	Motility 運動性
OD	Optical density 吸光度
OSMOL	*Osmolality 浸透圧（重量モル濃度）
PRID	Presence/Identity/Existence 存在
PRES	*Pressure (Partial) 圧力 (部分)
PWR	Power (wattage) 力 (ワット)
RANGE	*Ranges 範囲
RATIO	*Ratios 比
RDEN	*Relative Density 相対密度
REL	*Relative 相対
SATFR	*Saturation Fraction 飽和分画
SHAPE	Shape 形状
SMELL	Smell 臭い
SUSC	*Susceptibility 感受性
TASTE	Taste 味
TEMP	*Temperature 温度
TEMPDF	*Temperature Difference 温度差
TEMPIN	*Temperature Increment 温度増分
TITR	*Dilution Factor (Titer) 希釈係数 (希釈率)
TYPE	*Type 型
VEL	*Velocity 速度
VELRT	*Velocity Ratio 速度比
VISC	*Viscosity 粘稠度

*印の項目が IUPAC シルバーブックからの引用、無印の項目は拡張子である。

OM1-43 Point versus interval 測定間隔 (CWE) 00938

成分： <Identifier (ST)> ^ <Text (ST)> ^ <Name of Coding System (ID)> ^ <Alternate Identifier (ST)> ^ <Alternate Text (ST)> ^ <Name of Alternate Coding System (ID)> ^ <Coding System Version ID (ST)> ^ <Alternate Coding System Version ID (ST)> ^ <Original Text (ST)>

定義：患者状態の測定の検査を、ある時点(例えば、スポット尿、無作為の尿、血清カリウム)とするか、ある時間の平均(例えば、24 時間で収集した濃度、全量、クリアランス)とするか分類できる。時間による測定はしばしば尿や便の検体に適用される(例えば、24 時間尿、3 日間の便脂肪)。これらはまた、シフト合計や 24 時間合計として報告される尿排泄量のような臨床測定、および 24 時間ホルターモニタ上の PVC 数のような生理学的モニタ上の事象カウント、にも適用される。

このフィールドがトランザクション中で値を持つのは、このマスタファイルメッセージを送信するサービスが時間間隔対ポイントによってその検査を分類している場合に限る。このフィールドは特定のサンプルのための時間収集間隔の記録には使用しない。それは、正常範囲が定義された

検査の特徴を特定するためや、同じ種類の検査であるがいくつかの時点で行った検査を識別するために使用される。ある時点の尿中ナトリウムの場合このフィールドに PT を入れる。24 時間の尿中ナトリウムや 24 時間のホルターモニタの場合ここに 24H を入れる。この属性が値を持つのは実施側がタイミングによって検査を分類している場合に限る。取りうる値は表 0255-期間属性カテゴリを参照。

使用者定義表 0255 - Duration categories 期間属性カテゴリ

PT	To identify measures at a point in time. This is a synonym for "spot" or "random" as applied to urine measurements. 時点での測定を識別。 これは尿測定に適用される「スポット」あるいは「ランダム」と同義である。				
* (star)	Life of the "unit." Used for blood products. (アスタリスク)「unit 」の寿命。血液製剤に使用。				
30M	30 分	7H	7 時間	6D	6 日
1H	1 時間	8H	8 時間	1W	1 週
2H	2 時間	12H	12 時間	2W	2 週
2.5H	2½ 時間	24H	24 時間	3W	3 週
3H	3 時間	2D	2 日	4W	4 週
4H	4 時間	3D	3 日	1L	1 月 (30 日)
5H	5 時間	4D	4 日	2L	2 月
6H	6 時間	5D	5 日	3L	3 月

OM1-44 Challenge information 負荷試験情報 (TX) 00939

定義：負荷により検査が特定される場合負荷よる分類のための情報。例えば、データベースに負荷成分を持っている検査を区別するでことある。これらは生理学的あるいは薬剤の測定に本質的な負荷に共通に扱われる。例えば、糖負荷試験を識別すること。
このテキスト文字列の構成は次のテンプレートを使用すること（注：このフィールドはフリーテキストフィールドで形式的に定義された成分から構成されるものではない。成分区切文字は使用されず、またいくつかの「成分」が使用されない場合でも空の区切文字を置く必要はない）。
遅延時間は次の文法：n＜S｜M｜H｜D｜W> n は数(おそらく 10 進)； S は秒、M は分、H は時、D は日、W は週。遅延時間は大小符号>をその前に付加できる。例えば、>4H。
取りうる値は HL7 表 0256－負荷後遅延時間に列記する。

例

```
PRE 100 GM GLUCOSE PO
PRE 100 GM GLUCOSE PO
30M POST 100 GM GLUCOSE PO
2H POST 100 GM GLUCOSE PO
TROUGH
```

薬物濃度の場合負荷物質と分析物が同じであるのでここに含まれなくてよい。
我々は、薬物投与経路のための略号によって負荷の経路も表現する(HL7 第 4 章 4.8.3.1 節投与経路、HL7 表 0162－投与経路を参照)。経口投与は｢PO｣で、径静脈投与は｢IV｣で表現される。
薬物投与の詳細、投与時間、投与経路などは、個別の OBX で扱われ、そして検査項目マスタに格納された対応する検査定義は薬物濃度に関するマスタファイルセグメントに格納された異なるレコードにマッピングされる。

HL7 表 0256 - Time delay post challenge 負荷後遅延時間

BS	Baseline (time just before the challenge) 基準線 (負荷直前時)		
PEAK	The time post drug dose at which the highest drug level is reached (differs by drug) 薬物投与後の最高薬物濃度に達した時間 (薬物により異なる)		
TROUGH	The time post drug dose at which the lowest drug level is reached (varies with drug) 薬物投与後の最低薬物濃度に達した時間 (薬物によりまちまち)		
RANDOM	Time from the challenge, or dose not specified. (random) 負荷後、または指定なし (ランダム)		
n minutes/hours/days/weeks/months/etc. after challenge begun: 負荷開始後ｎ分/時間/日/週/月/等			
1M	負荷後１分	6H	負荷後６時間
2M	負荷後２分	7H	負荷後７時間
3M	負荷後３分	8H	負荷後８時間
4M	負荷後４分	8H SHIFT	8 時間 看護シフトに設定
5M	負荷後５分	12H	負荷後１２時間
6M	負荷後６分	24H	負荷後２４時間

7M	負荷後７分	2D	２日間
8M	負荷後８分	3D	３日間
9M	負荷後９分	4D	４日間
10M	負荷後１０分	5D	５日間
15M	負荷後１５分	6D	６日間
20M	負荷後２０分	7D	７日間
25M	負荷後２５分	1W	１週間
30M	負荷後３０分	10D	１０日間
1H	負荷後１時間	2W	２週間
2H	負荷後２時間	3W	３週間
2.5H	負荷後２１/２時間	4W	４週間
3H	負荷後３時間	1L	負荷後 1 ヶ月 (30 日間)
4H	負荷後４時間	2L	負荷後 2 ヶ月 (60 日間)
5H	負荷後５時間	3L	負荷後 3 ヶ月 (90 日間)

生理学的(非薬物)負荷の性質は、HL7 表 0257－負荷の性質の用語を使用されることがある。

HL7 表 0257 - Nature of challenge 負荷の性質

Value	Description
CFST	Fasting (no calorie intake) for the period specified in the time component of the term 用語の時間成分で特定の時期のための 絶食 (カロリー非摂取), 例., 1H POST CFST
EXCZ	Exercise undertaken as challenge (can be quantified) 負荷として行われる 運動 (定量可能)
FFST	No fluid intake for the period specified in the time component of the term 用語の時間成分で特定の時期のための 水分非摂取

OM1-45 Relation modifier 関係修飾子 (CWE) 00940

成分： <Identifier (ST)> ^ <Text (ST)> ^ <Name of Coding System (ID)> ^ <Alternate Identifier (ST)> ^ <Alternate Text (ST)> ^ <Name of Alternate Coding System (ID)> ^ <Coding System Version ID (ST)> ^ <Alternate Coding System Version ID (ST)> ^ <Original Text (ST)>

定義 : 結果が「患者」データとして保存される患者との関連に関する情報。例えば、慣行として、対照群、ドナー、血液製剤も患者と同様にその値を報告され患者記録に格納される(これはこのような情報をモデル化する最善の方法ではないかもしれないが、このような方法で通常報告されている)。2 つの結果が(例えば、1 つは患者そして 1 つは血液製剤)、さもなければ混同することがある場合、このフィールドの値を持つ。デフォルト値は“Patient”、特定されない場合も同様。人に関する副成分は HL7 表 0258-関係修飾子を参照。

HL7 表 0258 - Relationship modifier 関係修飾子

Value	Description
CONTROL	Control コントロール
PATIENT	Patient 患者
DONOR	Donor ドナー
BPU	Blood product unit 血液製剤単位

OM1-46 Target anatomic site of test 検査対象解剖学的部位 (CWE) 00941

成分： <Identifier (ST)> ^ <Text (ST)> ^ <Name of Coding System (ID)> ^ <Alternate Identifier (ST)> ^ <Alternate Text (ST)> ^ <Name of Alternate Coding System (ID)> ^ <Coding System Version ID (ST)> ^ <Alternate Coding System Version ID (ST)> ^ <Original Text (ST)>

定義：検査の部位を形式的に示す(システムがある身体部位に関するすべての検査を容易に見出すため)。それは試験の対象部位によって検査を分類するために使用できる。例えば、「心臓」は、心電図、心エコーおよびタリウム運動試験の対象として記録されるであろう。この属性は多くの画像検査および電気生理学試験に適用可能である。SNOMED T 軸は解剖部位のコード化方式の例である。ユーザテーブルも適用されることがある。

OM1-47 Modality of imaging measurement 画像検査モダリティ (CWE) 00942

成分： <Identifier (ST)> ^ <Text (ST)> ^ <Name of Coding System (ID)> ^ <Alternate Identifier (ST)> ^ <Alternate Text (ST)> ^ <Name of Alternate Coding System (ID)> ^ <Coding System Version ID (ST)> ^ <Alternate Coding System Version ID (ST)> ^ <Original Text (ST)>

定義：検査を分類するモダリティ、例えば、放射線写真、超音波、CT スキャン、NMR など。この属性は画像検査にとって特に重要である。取りうる値は、DICOM C.7.3.1.1.1 モダリティから引用の、表 0259－モダリティを参照。これが使用される場合第 3 成分のコーディング組織として DCM を指定すること。

使用者定義表 0259 – Modality モダリティ

Value	Description	Value	Description
AS	Angioscopy 血管内視鏡	FS	Fundoscopy 眼底検査
BS	Biomagnetic Imaging 生体磁気画像	LP	Laparoscopy 腹腔鏡検査
CD	Color Flow Doppler カラードップラー	LS	Laser Surface Scan
CP	Colposcopy 膣鏡検査	MA	Magnetic Resonance Angiography 磁気共鳴血管造影
CR	Computed Radiography コンピュータ X 線撮影	MS	Magnetic Resonance Spectroscopy 磁気共鳴スペクトル法
CS	Cystoscopy 膀胱鏡検査	NM	Nuclear Medicine (radioisotope study) 核医学（放射性同位元素試験）
CT	Computed Tomography コンピュータ断層撮影	OT	Other その他
DD	Duplex Doppler	PT	Positron Emission Tomography (PET) 陽電子射出断層撮影(PET)
DG	Diapanography	RF	Radio Fluoroscopy 放射線透視撮影
DM	Digital Microscopy デジタル顕微鏡	ST	Single Photon Emission Computed Tomography (SPECT) 単一光子放射形コンピュータ断層撮影(SPECT)
EC	Echocardiography 心エコー検査法	TG	Thermography サーモグラフィー
ES	Endoscopy 内視鏡	US	Ultrasound 超音波
FA	Fluorescein Angiography 蛍光眼底血管撮影	XA	X-ray Angiography X 線血管造影

10.6.9 OM2 - numeric observation segment 数値結果検査項目セグメント

このセグメントは連続的値を持つ検査についての属性からなる(数値、日付やタイムスタンプなどのデータ型を含む)。このセグメントは OM1-18 nature of test/observation で指定されるタイプ A と C のバッテリに適用される。

HL7 属性表 - OM2 - Numeric Observation 数値結果検査項目

SEQ	LEN	DT	OPT	RP/#	ITEM#	ELEMENT NAME
1	4	NM	O		00586	Sequence Number 連番
2	250	CWE	O		00627	Units of Measure 測定単位
3	10	NM	O	Y	00628	Range of Decimal Precision 有効数字
4	250	CWE	O		00629	Corresponding SI Units of Measure SI 単位
5	60	TX	O		00630	SI Conversion Factor SI 変換係数
6	250	RFR	O	Y	00631	Reference (Normal) Range - Ordinal & Continuous Obs 基準(正常)範囲
7	250	RFR	O	Y	00632	Critical Range for Ordinal & Continuous Obs クリティカル範囲
8	250	RFR	O		00633	Absolute Range for Ordinal & Continuous Obs 測定限界範囲
9	250	DLT	O	Y	00634	Delta Check Criteria デルタチェック基準
10	20	NM	O		00635	Minimum Meaningful Increments 有意な変動値

OM2 フィールド定義

OM2-1 Sequence number 連番 (NM) 00586

定義：関連する OM1 セグメントの OM1-1 と同値であること。

OM2-2 Units of measure (CWE) 測定単位 00627

成分： <Identifier (ST)> ^ <Text (ST)> ^ <Name of Coding System (ID)> ^ <Alternate Identifier (ST)> ^ <Alternate Text (ST)> ^ <Name of Alternate Coding System (ID)> ^ <Coding System Version ID (ST)> ^ <Alternate Coding System Version ID (ST)> ^ <Original Text (ST)>

定義：OM1-18-nature of test/observation に nature code A または C で指定された数値結果を持つ単一検査項目の測定の習慣的な単位。

OM2-3　Range and decimal precision 有効数字 (NM)　00628

定義：OM1-18-nature of test/observation に nature code A または C で指定された数値結果を持つ単一検査項目の、結果を表示するに必要な全文字数と小数点以下の桁数を指定。この書式は<全長>.<少数以下の桁数>である。例えば、6.2 は全長 6 文字(小数点や符号を含む)で小数点以下 2 桁をあらわす。整数のために<decimal-digits>は省略可能(5.0 と 5 は同じ)。複数の指定が必要な場合反復区切文字で繰り返し定義する。

OM2-4　Corresponding SI units of measure SI単位 (CWE)　00629

成分： <Identifier (ST)> ^ <Text (ST)> ^ <Name of Coding System (ID)> ^ <Alternate Identifier (ST)> ^ <Alternate Text (ST)> ^ <Name of Alternate Coding System (ID)> ^ <Coding System Version ID (ST)> ^ <Alternate Coding System Version ID (ST)> ^ <Original Text (ST)>

定義：OM2-2 で指定した習慣的単位と SI 単位が異なる場合、ここに SI 単位を記述。

OM2-5　SI conversion factor SI変換係数 (TX)　00630

定義：OM1-18-nature of test/observation に nature code A または C で指定された連続的数値結果を持つ単一検査項目の習慣的単位から SI 単位への変換係数。検査の単位が SI 単位でない場合、報告された単位から SI 単位へ変換する方程式を含む形式を提示する。変換係数が単純な掛け算の場合は変換係数のみである。例えば、(結果 SI 単位)= c *(結果報告単位)のとき、この c のみこのフィールドに格納される。他のいかなる関係式の場合も全方程式をテストのために格納すべきである。

OM2-6　Reference (normal) range for ordinal and continuous observations 基準(正常)範囲 (RFR) 00631

成分： <Numeric Range (NR)> ^ <Administrative Sex (IS)> ^ <Age Range (NR)> ^ <Gestational Age Range (NR)> ^ <Species (ST)> ^ <Race/subspecies (ST)> ^ <Conditions (TX)>

副成分 Numeric Range (NR): <Low Value (NM)> & <High Value (NM)>

副成分 Age Range (NR): <Low Value (NM)> & <High Value (NM)>

副成分 Gestational Age Range (NR): <Low Value (NM)> & <High Value (NM)>

定義: OM1-18-nature of test/observation に nature code A または C で指定された数値結果の基準値(正常値)。年齢、性別、人種、その他の状況による異なった基準値(正常値)も識別可能。

例を以下に示す。

アルブミンのように無条件に適用される基準値は次のように伝達:

```
...|3.0&5.5|...
```

ヘモグロビンのように性別に依存する正常値は次の様に伝達:

```
...|13.5&18^M~12.0&16^F|...
```

年齢、性別、人種に依存する場合の例:

```
...|10&13^M^0&2^^^B~11&13.5^M^2&20^^^B~12&14.5^M^20&70^^^B~13&16.0^M^70&^^^B|...
```

値が特定されない場合はすべてのカテゴリに適用される。例えば、人種が指定されない場合範囲は人種に関係なく人間に適用される。年齢が指定されない場合正常値はすべての年齢に適用される。範囲の下限あるいは上限がない場合、それぞれ無限と考えられる。
異なる2つの方法で2つの異なる基準値で得られた結果は、異なる2つの検査としてOM x セグメントで定義されるべきである。

OM2-7　Critical range for ordinal and continuous observations クリティカル範囲 (RFR) 00632

成分： <Numeric Range (NR)> ^ <Administrative Sex (IS)> ^ <Age Range (NR)> ^ <Gestational Age Range (NR)> ^ <Species (ST)> ^ <Race/subspecies (ST)> ^ <Conditions (TX)>

副成分 Numeric Range (NR): <Low Value (NM)> & <High Value (NM)>

副成分 Age Range (NR): <Low Value (NM)> & <High Value (NM)>

副成分 Gestational Age Range (NR): <Low Value (NM)> & <High Value (NM)>

定義: OM1-18-nature of test/observation に nature code A または C で指定された数値結果を持つ単一検査項目のクリティカル値を OM2-6-reference (normal) range-ordinal and continuous obs と同様の

書式で定義する。

OM2-8　Absolute range for ordinal and continuous observations 測定限界範囲 (RFR)　00633

成分：　<Numeric Range (NR)> ^ <Administrative Sex (IS)> ^ <Age Range (NR)> ^ <Gestational Age Range (NR)> ^ <Species (ST)> ^ <Race/subspecies (ST)> ^ <Conditions (TX)>

副成分 Numeric Range (NR):　<Low Value (NM)> & <High Value (NM)>

副成分 Age Range (NR):　<Low Value (NM)> & <High Value (NM)>

副成分 Gestational Age Range (NR):　<Low Value (NM)> & <High Value (NM)>

定義: OM1-18-nature of test/observation に nature code A または C で指定された数値結果を持つ単一検査項目の測定限界を定義する。この範囲をはずれた結果はありえない。フィールドは基準範囲やクリティカル範囲と同様の書式で定義する。

OM2-9　Delta check criteria デルタチェック基準 (DLT)　00634

成分：　<Normal Range (NR)> ^ <Numeric Threshold (NM)> ^ <Change Computation (ID)> ^ <Days Retained (NM)>

副成分 Normal Range (NR):　<Low Value (NM)> & <High Value (NM)>

定義: OM1-18-nature of test/observation に nature code A または C で指定された数値結果を持つ検査項目のデルタチェック管理の情報を 4 つの要素で記述する。

1) 適用される範囲: <low & high>

OM2-2-units of measureによる習慣的単位による両端の値で範囲を定義。

2) 検出される変動の閾値、例えば、10。

3) 変動の算出が百分率(相対的変動)あるいは絶対的な変動(具体的な数値)なのかの表現。取りうる値は次の2つ:

% パーセント　Indicates a percent change
a　絶対値　Absolute change

4) デルタチェックが有効であるための期間を日数で表現。
複数のデルタチェック規則も適用できる。13&16^10^%^100~16.1&20^2^a^100は結果値が13から16の範囲のとき10%の変動がトリガーとなり、結果値が16.1から20の範囲のとき絶対値が2の変動がトリガーとなる。いずれも最新の結果を100日以上保持していると考えられる。この例では100日を越えてはデルタチェックの計算をしない。

OM2-10　Minimum meaningful increments 有意な変動値 (NM)　00635

定義: OM1-18-nature of test/observation に nature code A または C で指定された数値結果を持つ検査項目に対し、報告された値の意味のある最小の差(測定装置の分解能や連続的データのための技術的影響、個々のデータ間の不連続最小間隔)。

10.6.10　OM3 - categorical test/observation segment カテゴリ値結果項目セグメント

このセグメントはフリーテキストやその他の非数値データ型に適用される。

HL7 属性表 - OM3 - Categorical Service/Test/Observation カテゴリ値結果検査項目

SEQ	LEN	DT	OPT	RP/#	ITEM#	ELEMENT NAME
1	4	NM	O		00586	Sequence Number 連番
2	250	CWE	O		00636	Preferred Coding System　コード体系
3	250	CWE	O		00637	Valid Coded “Answers”　有効なコード値リスト
4	250	CWE	O	Y	00638	Normal Text/Codes for Categorical Observations　正常値のテキスト／コード
5	250	CWE	O	Y	00639	Abnormal Text/Codes for Categorical Observations　異常値のテキスト／コード
6	250	CWE	O	Y	00640	Critical Text Codes for Categorical Observations　クリティカル値のテキスト／コード
7	2	ID	O		00570	Value Type　値型

OM3 field definitions

OM3-1　Sequence number 連番 (NM)　00586

定義： 関連付けられた OM1 セグメントの連番と同値であること。

OM3-2　Preferred coding system コード体系 (CWE)　00636

成分： <Identifier (ST)> ^ <Text (ST)> ^ <Name of Coding System (ID)> ^ <Alternate Identifier (ST)> ^ <Alternate Text (ST)> ^ <Name of Alternate Coding System (ID)> ^ <Coding System Version ID (ST)> ^ <Alternate Coding System Version ID (ST)> ^ <Original Text (ST)>

定義： 検査結果のカテゴリ値が特定のコード表から引用される場合、そのコーディングシステムを記述。(CWE 型データ型で、例えば、ICD9 や SNOMED III)。

OM3-3　Valid coded “answers” 有効なコード値リスト (CWE)　00637

成分： <Identifier (ST)> ^ <Text (ST)> ^ <Name of Coding System (ID)> ^ <Alternate Identifier (ST)> ^ <Alternate Text (ST)> ^ <Name of Alternate Coding System (ID)> ^ <Coding System Version ID (ST)> ^ <Alternate Coding System Version ID (ST)> ^ <Original Text (ST)>

定義：有効なコード結果リスト 。可能な場合、OM3-2-preferred coding system で定義したコーディングシステムを使用した有効な結果コードをリストアップ。例えば、VDRL の場合、有効な結果は 陰性、86^疑陽性（判定保留）、と 87^陽性であろう。

OM3-4　Normal text/codes for categorical observations 正常値のテキスト／コード (CWE)　00638

成分： <Identifier (ST)> ^ <Text (ST)> ^ <Name of Coding System (ID)> ^ <Alternate Identifier (ST)> ^ <Alternate Text (ST)> ^ <Name of Alternate Coding System (ID)> ^ <Coding System Version ID (ST)> ^ <Alternate Coding System Version ID (ST)> ^ <Original Text (ST)>

定義: OM1-18-nature of test/observation に nature code A または C で指定された検査がテキストや文字の検査結果(reactive, nonreactive など)を持つ場合の正常値を記述リスト。
このフィールドの書式は次のようである：
最初の成分は標準コードソースリストからのコード。第 2 成分はそのコードと関連するテキスト。第 3 成分はそのコードのコード化組織名。テキストの記述のみも可能で^<text>とする。
ケアにおいてこの検査の正常値だけを送るべきである。薬物スクリーニングでは「陰性」と「陽性」の結果がありうるが、正常値としては「陰性」のみである。

OM3-5　Abnormal text/codes for categorical observations 異常値のテキスト／コード (CWE)　00639

成分： <Identifier (ST)> ^ <Text (ST)> ^ <Name of Coding System (ID)> ^ <Alternate Identifier (ST)> ^ <Alternate Text (ST)> ^ <Name of Alternate Coding System (ID)> ^ <Coding System Version ID (ST)> ^ <Alternate Coding System Version ID (ST)> ^ <Original Text (ST)>

定義：この検査のテキストや文字の異常値の記述リスト。書式等は OM3-4 と同様。

OM3-6　Critical abnormal text/codes for categorical observations クリティカル値のテキスト／コード (CWE)　00640

成分： <Identifier (ST)> ^ <Text (ST)> ^ <Name of Coding System (ID)> ^ <Alternate Identifier (ST)> ^ <Alternate Text (ST)> ^ <Name of Alternate Coding System (ID)> ^ <Coding System Version ID (ST)> ^ <Alternate Coding System Version ID (ST)> ^ <Original Text (ST)>

定義：この検査のテキストや文字のクリティカルな異常値の記述リスト。書式等は OM3-4 と同様。

OM3-7　Value type 値型 (ID)　00570

定義：OM1-18-nature of test/observation に nature code A または C で指定された単一カテゴリ値検査結果のデータ型。取りうる値は HL7 表 0125 値型を参照。

10.6.11　OM4 - observations that require specimens segment 要検体検査セグメント

このセグメントは検体を必要とする検査・バッテリに適用される。検査・バッテリが複数の検体を必要とする場合(例えば、クレアチニンクリアランスは 24 時間の尿検体および血清検体を必要

とする)、検体タイプ毎に 1 つのセグメントで表記するものとする。

HL7 属性表 - OM4 - Observations that Require Specimens 要検体検査項目

SEQ	LEN	DT	OPT	RP/#	TBL#	ITEM#	ELEMENT NAME
1	4	NM	O			00586	Sequence Number
2	1	ID	O		0170	00642	Derived Specimen　検体親子識別
3	60	TX	O			00643	Container Description　容器説明
4	20	NM	O			00644	Container Volume　容器容量
5	250	CWE	O			00645	Container Units　容器単位
6	250	CWE	O			00646	Specimen　検査材料
7	250	CWE	O			00647	Additive　添加剤
8	10240	TX	O			00648	Preparation　処置
9	10240	TX	O			00649	Special Handling Requirements　特別取扱要件
10	20	CQ	O			00650	Normal Collection Volume　標準採取量
11	20	CQ	O			00651	Minimum Collection Volume　最低採取量
12	10240	TX	O			00652	Specimen Requirements　検体要件
13	1	ID	O	Y	0027	00653	Specimen Priorities　検体優先度
14	20	CQ	O			00654	Specimen Retention Time　検体保持時間

OM4 フィールド定義

OM4-1　Sequence number 連番 (NM)　00586

定義：　関連する OM1 セグメントの連番と同値。

OM4-2　Derived specimen 検体親子識別 (ID)　00642

定義：診断試験のための親・子を識別するコード。—とりわけ細菌検査において—最初の検体は(血液など)処理され結果を得る(例えば、培養され細菌が同定される)。また処理は新しい検体を生成する(例えば、ぶどう球菌や大腸菌の純粋培養)、これらは第 2 のオーダの処理によって検査される(感受性試験)。このような場合、親(例えば、血液培養)および子(例えば、ペニシリン MIC)が識別される。取りうる値は HL7 表 0170 を参照。

HL7 表 0170 - Derived specimen

Value	Description
P	Parent Observation 親検査
C	Child Observation 子検査
N	Not Applicable 非適用

OM4-3　Container description 容器説明 (TX)　00643

定義：容器の蓋の色、形状、物質などを含む物理的外観を記述(例えば、赤色蓋のガラスチューブ)。ここで色は容器の使用や添加物を区別するに必要ではない。このことはとりわけ上から見ることができる黒や青の蓋についていえる。色はユーザの利便性のために含まれている。

OM4-4　Container volume 容器容量 (NM)　00644

定義：　容器に収容できる容量

OM4-5　Container units 容器容量単位 (CWE)　00645

成分：<Identifier (ST)> ^ <Text (ST)> ^ <Name of Coding System (ID)> ^ <Alternate Identifier (ST)> ^ <Alternate Text (ST)> ^ <Name of Alternate Coding System (ID)> ^ <Coding System Version ID (ST)> ^ <Alternate Coding System Version ID (ST)> ^ <Original Text (ST)>

定義：　容器の容量の単位。単位が ISO+単位である場合、単一ケース(大文字か小文字)の省略形で記録。単位が ANS+あるいは L(ローカル)である場合、単位およびソースコード表を記録しなければならなく、この場合成分区切文字は副成分区切文字となる。例えば、l はリットルを示し、

pt&&ANS+は pints (ANSI units)を示す。デフォルトの単位はミリリットル(ml)であり、単位の報告がない場合デフォルトと見なされる。

OM4-6　Specimen 検査材料 (CWE)　00646

成分： <Identifier (ST)> ^ <Text (ST)> ^ <Name of Coding System (ID)> ^ <Alternate Identifier (ST)> ^ <Alternate Text (ST)> ^ <Name of Alternate Coding System (ID)> ^ <Coding System Version ID (ST)> ^ <Alternate Coding System Version ID (ST)> ^ <Original Text (ST)>

定義：　検査材料を日本臨床病理学会臨床検査分類コード材料コードであらわす。複数の検査材料について記述する場合、各々について OM4 セグメントを使用する。

OM4-7　Additive 添加剤 (CWE)　00647

成分： <Identifier (ST)> ^ <Text (ST)> ^ <Name of Coding System (ID)> ^ <Alternate Identifier (ST)> ^ <Alternate Text (ST)> ^ <Name of Alternate Coding System (ID)> ^ <Coding System Version ID (ST)> ^ <Alternate Coding System Version ID (ST)> ^ <Original Text (ST)>

定義：　添加剤を示す。コードの例として NCCLS の提供するもの一部を示す。

NAME	NCCLS Code	Color	DESCRIPTION	
(1) Lithium Heparin - anticoagulant	LIH	Green	Dry powder.	10 to 30 USP units per mL of blood
(2) Sodium Heparin - anticoagulant	NAH	Green	Dried solution.	10 to 30 U.S.P. units per mL of blood
(3) EDTA(K_2)	K2E	Lavender	Dry powder.	1.5 to 2.2 mg per mL of blood
(4) EDTA (K_3)	K3E	Lavender	Clear solution.	1.5 to 2.2 mg per mL of blood
(5) EDTA (Na_2)	N2E	Lavender		

OM4-8　Preparation 処置 (TX)　00648

定義：　この容器に応用される特別な処置、例えば、搬送前に酸化剤を添加するなど。

OM4-9　Special handling requirements 取扱要件 (TX)　00649

定義：　特別扱い要件、例えば、凍結検体、2 時間以内の処理など。

OM4-10　Normal collection volume 標準採取量 (CQ)　00650

成分： <Quantity (NM)> ^ <Units (CWE)>

副成分 Units (CWE): <Identifier (ST)> ^ <Text (ST)> ^ <Name of Coding System (ID)> ^ <Alternate Identifier (ST)> ^ <Alternate Text (ST)> ^ <Name of Alternate Coding System (ID)> ^ <Coding System Version ID (ST)> ^ <Alternate Coding System Version ID (ST)> ^ <Original Text (ST)>

定義：　検査室で必要とする標準的な検体量。これは標準的な方法で使用する容量であって少なくとも一回分の再測定に十分なものである。デフォルト単位はミリリットル(ml)である。

OM4-11　Minimum collection volume 最小採取量 (CQ)　00651

成分： <Quantity (NM)> ^ <Units (CWE)>

副成分 Units (CWE): <Identifier (ST)> ^ <Text (ST)> ^ <Name of Coding System (ID)> ^ <Alternate Identifier (ST)> ^ <Alternate Text (ST)> ^ <Name of Alternate Coding System (ID)> ^ <Coding System Version ID (ST)> ^ <Alternate Coding System Version ID (ST)> ^ <Original Text (ST)>

定義：　もっとも少量で可能な方法で必要とされる検体量(例えば、微量測定を行うなど)。この最少量は一回限りの測定ためである。デフォルト単位はミリリットル(ml)である。

OM4-12　Specimen requirements 検体要件 (TX)　00652

定義：　配送や特別扱いのためのその他の要件(例えば、1 時間以内の配送、氷冷)。

OM4-13　Specimen priorities 検体優先度 (ID)　00653

定義：　検体採取の優先度。OM1-25-processing priority の処理優先度と異なる場合もあることに注意。検査が要求されたとき検体優先度は OBR-27-quantity/timing で示される。複数の優先度は反復区切文字で区切られる。取りうる値は HL7 表 0027 – 優先度を参照。

HL7 表 0027 – Priority 優先度

Value	Description
S	Stat (do immediately) すぐ実施
A	As soon as possible (a priority lower than stat) できるだけ早く

R	Routine 定期
P	Preoperative (to be done prior to surgery) 術前
T	Timing critical (do as near as possible to requested time) 時間指定

OM4-14 Specimen retention time 検体保持時間 (CQ) 00654

成分： <Quantity (NM)> ^ <Units (CWE)>

副成分 Units (CWE): <Identifier (ST)> ^ <Text (ST)> ^ <Name of Coding System (ID)> ^ <Alternate Identifier (ST)> ^ <Alternate Text (ST)> ^ <Name of Alternate Coding System (ID)> ^ <Coding System Version ID (ST)> ^ <Alternate Coding System Version ID (ST)> ^ <Original Text (ST)>

定義： 検査が完了後、追加の検査のために保存しておく通常の時間を指定。最初の成分は期間で、第2成分はISO時間単位である。

10.6.12 OM5 - observation batteries (sets) segment セット検査セグメント

このセグメントはバッテリ(セット検査)やスーパーセットについての情報を扱う。
(OM1-18-nature of test/observation が F, P あるいは S の場合)

HL7 属性表 - OM5 - Observation Batteries (Sets) セット検査項目

SEQ	LEN	DT	OPT	RP/#	ITEM#	ELEMENT NAME
1	4	NM	O		00586	Sequence Number 連番
2	250	CWE	O	Y	00655	Test/Observations Included w/an Ordered Test Battery バッテリに含まれる検査項目
3	250	ST	O		00656	Observation ID Suffixes 検査 ID 接尾辞

OM5 フィールド定義

OM5-1 Sequence number 連番 (NM) 00586

定義： 関連する OM1 セグメントの連番と同値。

OM5-2 Tests/observations included within an ordered test battery バッテリに含まれる検査項目 (CWE) 00655

成分： <Identifier (ST)> ^ <Text (ST)> ^ <Name of Coding System (ID)> ^ <Alternate Identifier (ST)> ^ <Alternate Text (ST)> ^ <Name of Alternate Coding System (ID)> ^ <Coding System Version ID (ST)> ^ <Alternate Coding System Version ID (ST)> ^ <Original Text (ST)>

定義： このフィールドは OM1-18-nature of test/observation の nature code が P の単一バッテリ、nature code が F の単一機能試験、nature code が S のスーパーセットを含むすべての検査のコードと名称からなる。送信側はこれらのセグメントを送信する前にこれらのセグメントが参照するすべての要素を定義するセグメントを確実に送っておくべきである。このリストのエントリーはそれ自体がバッテリでありえる。
個々の検査 ID は CWE データ型、つまり検査項目 ID の標準形式、として記録されるべきである。血清電解質を定義した場合次のようであろう：

```
...|84132^potassium^AS4~84295^sodium^AS4~82435^chloride^AS4~82374^HCO3^^AS4|...
```

パラメータが S の場合、スーパーバッテリの中にバッテリを含む。例えば、ルーチンセットは次のように定義される:

```
...|402^Electrolytes~352^Urinalysis~432^CBC~520^SMA12|...
```

OM5-3 Observation ID suffixes 検査項目ID接尾辞 (ST) 00656

定義： 検査項目 ID に続いて検査項目接尾辞を持つ場合に記述。このフィールドは可能なオプションをリストする。使用可能な 3 文字の略号は、第？章結果コメントの扱いの図 7-1 検査項目接尾辞にリストアップされている。これらは反復区切文字により分離される。例えば、、胸部 X 線撮影は IMP, REC, DEV,その他の接尾辞を使用するであろう。使用する可能性のある接尾辞をリストアップする。

10.6.13 OM6 - Observations that are Calculated from Other Observations Segments 計算値結果項目セグメント

このセグメントは1つないし複数の定量値や直接的検査から数学的あるいは論理的に導かれる定量値についての情報を扱う。

HL7 属性表 - OM6 - Observations that are Calculated from Other Observations 計算値結果項目

SEQ	LEN	DT	OPT	RP/#	ITEM#	ELEMENT NAME
1	4	NM	O		00586	Sequence Number 連番
2	10240	TX	O		00657	Derivation Rule 導出規則

OM6 フィールド定義

OM6-1 Sequence number 連番 (NM) 00586

定義： 関連する OM1 セグメントの連番と同値。

OM6-2 Derivation rule 導出規則 (TX) 00657

定義： このフィールドは１つあるいは複数の患者の変数(例えば、クレアチニンクリアランス、理想体重、日最高体温、グルコース平均値、framingham risk)から導かれる患者の変数について使用され、この変数の値が導かれるルールを含んでいる。これらは人が理解できる式や説明で記述される。

10.6.14 OM7 - Additional Basic Attributes (Fields That Apply to Most Observations/Services) 付加的基本属性

OM7セグメントはほとんどの検査／サービスの定義に適用する付加的基本属性からなる。

HL7 属性表 - OM7 - Additional Basic Attributes 付加的基本属性

SEQ	LEN	DT	OPT	RP/#	TBL#	ITEM#	ELEMENT NAME
1	4	NM	R			00586	Sequence Number - Test/Observation Master File 連番
2	250	CWE	R			00238	Universal Service Identifier 汎用サービス識別子
3	250	CWE	O	Y	0412	01481	Category Identifier カテゴリ識別子
4	200	TX	O			01482	Category Description カテゴリ解説
5	200	ST	O	Y		01483	Category Synonym カテゴリ同義語
6	26	TS	O			01484	Effective Test/Service Start Date/Time 開始有効日時
7	26	TS	O			01485	Effective Test/Service End Date/Time 終了有効日時
8	5	NM	O			01486	Test/Service Default Duration Quantity デフォルト所要量
9	250	CWE	O		9999	01487	Test/Service Default Duration Units デフォルト所要単位
10	60	IS	O		0335	01488	Test/Service Default Frequency デフォルト頻度
11	1	ID	O		0136	01489	Consent Indicator 同意要否
12	250	CWE	O		0413	01490	Consent Identifier 同意識別子
13	26	TS	O			01491	Consent Effective Start Date/Time 同意有効開始日時
14	26	TS	O			01492	Consent Effective End Date/Time 同意有効終了日時
15	5	NM	O			01493	Consent Interval Quantity 同意間隔数量
16	250	CWE	C		0414	01494	Consent Interval Units 同意間隔単位
17	5	NM	O			01495	Consent Waiting Period Quantity 同意待ち期間数量
18	250	CWE	C		0414	01496	Consent Waiting Period Units 同意待ち期間単位
19	26	TS	O			00607	Effective Date/Time of Change 変更の有効日時
20	250	XCN	O			00224	Entered By 入力者
21	200	PL	O	Y		01497	Orderable-at Location オーダ可能ロケーション
22	1	IS	O		0473	01498	Formulary Status 公式処方状況
23	1	ID	O		0136	01499	Special Order Indicator 特別オーダ標識
24	250	CWE	O	Y	0132	01306	Primary Key Value – CDM 主キー値-CDM

OM7 フィールド定義

OM7-1 Sequence Number - Test/Observation Master File 連番-検査／観察マスタファイル (NM) 00586

定義： このフィールドは連番としての値からなる。

OM7-2 Universal Service Identifier 汎用サービス識別子 (CWE) 00238

成分： <Identifier (ST)> ^ <Text (ST)> ^ <Name of Coding System (ID)> ^ <Alternate Identifier (ST)> ^ <Alternate Text (ST)> ^ <Name of Alternate Coding System (ID)> ^ <Coding System Version ID (ST)> ^ <Alternate Coding System Version ID (ST)> ^ <Original Text (ST)>

定義： このフィールドは実施者の通常また適切な検査またはサービスの識別からなる。検査／サービスIDは ASTM 表3と5、あるいはローカルコードのいずれかに含まれる。

OM7-3 Category Identifier カテゴリ識別子 (CWE) 01481

成分： <Identifier (ST)> ^ <Text (ST)> ^ <Name of Coding System (ID)> ^ <Alternate Identifier (ST)> ^ <Alternate Text (ST)> ^ <Name of Alternate Coding System (ID)> ^ <Coding System Version ID (ST)> ^ <Alternate Coding System Version ID (ST)> ^ <Original Text (ST)>

定義： このフィールドはカテゴリ名称（用語はサービス項目の分類のためのグループに付与）からなる。例：検査室、薬局、画像診断、など。

OM7-4 Category Description カテゴリ解説 (TX) 01482

定義： このフィールドは検査／サービス項目のカテゴリについての解説テキストからなる。

例：カテゴリ「病理」は疾患のすべての局面、基本的な自然原因と異常状態の発生の特化した参考、同様に疾患過程の結果として生じる構造的機能的な変化、に関係した専門業務と解説されるかもしれない。

OM7-5 Category Synonym カテゴリ同義語 (ST) 01483

定義： このフィールドは検査／サービスのカテゴリについての別名からなる。例：カテゴリ「放射線」はカテゴリ「画像診断」と同義の名称である。

OM7-6 Effective Test/Service Start Date/Time 検査／サービス開始有効日時 (TS) 01484

成分： <Time (DTM)> ^ <DEPRECATED-Degree of Precision (ID)>

定義： このフィールドはサービス項目がオーダや遂行などが可能となる日時からなる。

OM7-7 Effective Test/Service End Date/Time 検査／サービス終了有効日時

成分： <Time (DTM)> ^ <DEPRECATED-Degree of Precision (ID)>

定義： このフィールドはサービス項目がオーダや遂行などの権限付与がもう行われない日時からなる。

OM7-8 Test/Service Default Duration Quantity 検査／サービスデフォルト所要量 (NM) 01486

定義： このフィールドはサービスのためのデフォルトの所要量を示す。

OM7-9 Test/Service Default Duration Units 検査／サービスデフォルト所要単位 (CWE) 01487

成分： <Identifier (ST)> ^ <Text (ST)> ^ <Name of Coding System (ID)> ^ <Alternate Identifier (ST)> ^ <Alternate Text (ST)> ^ <Name of Alternate Coding System (ID)> ^ <Coding System Version ID (ST)> ^ <Alternate Coding System Version ID (ST)> ^ <Original Text (ST)>

定義： このフィールドはサービスのためのデフォルトの所要の単位を示す。

OM7-10 Test/Service Default Frequency 検査／サービスデフォルト頻度 (IS) 01488

定義： このフィールドはこのサービスがオーダや遂行されるデフォルトの頻度（どの程度起こる）を示す。

OM7-11 Consent Indicator　同意要否 (ID)　01489

定義：このフィールドはサービス項目について同意が必要であれば標識する。

Y　　サービス項目をオーダ／遂行するために同意が必要。
N　　サービス項目をオーダ／遂行するための同意は不要。

OM7-12 Consent Identifier　同意識別子　(CWE)　01490

成分： <Identifier (ST)> ^ <Text (ST)> ^ <Name of Coding System (ID)> ^ <Alternate Identifier (ST)> ^ <Alternate Text (ST)> ^ <Name of Alternate Coding System (ID)> ^ <Coding System Version ID (ST)> ^ <Alternate Coding System Version ID (ST)> ^ <Original Text (ST)>

定義：　このフィールドは特定のサービス項目についての同意の識別子からなる。

OM7-13 Consent Effective Start Date/Time　同意有効開始日時　(TS)　01491

成分： <Time (DTM)> ^ <DEPRECATED-Degree of Precision (ID)>

定義：　このフィールドはサービス項目について有効な同意日時からなる。

OM7-14 Consent Effective End Date/Time　同意有効終了日時　(TS)　01492

成分： <Time (DTM)> ^ <DEPRECATED-Degree of Precision (ID)>

定義：　このフィールドは検査／サービスのための同意がもう有効でない日時からなる。

OM7-15 Consent Interval Quantity　同意間隔数量　(NM)　01493

定義：　このフィールドは特定のサービス項目に有効な同意について一定の時間を指定する。

OM7-16 Consent Interval Units　同意間隔単位 (CWE)　01494

成分： <Identifier (ST)> ^ <Text (ST)> ^ <Name of Coding System (ID)> ^ <Alternate Identifier (ST)> ^ <Alternate Text (ST)> ^ <Name of Alternate Coding System (ID)> ^ <Coding System Version ID (ST)> ^ <Alternate Coding System Version ID (ST)> ^ <Original Text (ST)>

定義：　このフィールドはOM7-15 - Consent interval quantityに対する時間の単位を指定する。

注：　同意間隔数量が指定される場合、同意間隔単位が必要。

OM7-17 Consent Waiting Period Quantity　同意待ち期間数量 (NM)　01495

定義：　このフィールドは同意に署名した時間と処置が遂行できる間の期間からなる。

OM7-18 Consent Waiting Period Units　同意待ち期間単位 (CWE)　01496

成分： <Identifier (ST)> ^ <Text (ST)> ^ <Name of Coding System (ID)> ^ <Alternate Identifier (ST)> ^ <Alternate Text (ST)> ^ <Name of Alternate Coding System (ID)> ^ <Coding System Version ID (ST)> ^ <Alternate Coding System Version ID (ST)> ^ <Original Text (ST)>

定義：このフィールドはOM7-17 - Consent waiting period quantityに対する時間の単位を指定する。

注：　同意待ち期間数量が指定される場合、同意待ち期間単位が必要。

OM7-19 Effective Date/Time of Change　変更の有効日時　(TS)　00607

成分： <Time (DTM)> ^ <DEPRECATED-Degree of Precision (ID)>

定義：　このフィールドは以前の結果が新しい結果と非互換となる検査手順の最新の変更日時からなる。

OM7-20 Entered By 入力者 (XCN)　00224

成分： <ID Number (ST)> ^ <Family Name (FN)> ^ <Given Name (ST)> ^ <Second and Further Given Names or Initials Thereof (ST)> ^ <Suffix (e.g., JR or III) (ST)> ^ <Prefix (e.g., DR) (ST)> ^ <DEPRECATED-Degree (e.g., MD) (IS)> ^ <Source Table (IS)> ^ <Assigning Authority (HD)> ^ <Name Type Code (ID)> ^ <Identifier Check Digit (ST)> ^ <Check Digit Scheme (ID)> ^ <Identifier Type Code (ID)> ^ <Assigning Facility (HD)> ^ <Name Representation Code (ID)> ^ <Name Context (CWE)> ^ <DEPRECATED-Name Validity Range (DR)> ^ <Name Assembly Order (ID)> ^ <Effective Date (TS)> ^ <Expiration Date (TS)> ^ <Professional Suffix (ST)> ^ <Assigning Jurisdiction (CWE)> ^ <Assigning Agency or Department (CWE)>

副成分 Family Name (FN): <Surname (ST)> & <Own Surname Prefix (ST)> & <Own Surname (ST)> & <Surname Prefix From Partner/Spouse (ST)> & <Surname From Partner/Spouse (ST)>

副成分 Assigning Authority (HD): <Namespace ID (IS)> & <Universal ID (ST)> & <Universal ID Type (ID)>

副成分 Assigning Facility (HD): <Namespace ID (IS)> & <Universal ID (ST)> & <Universal ID Type (ID)>

副成分 Name Context (CWE): <Identifier (ST)> ^ <Text (ST)> ^ <Name of Coding System (ID)> ^ <Alternate Identifier (ST)> ^ <Alternate Text (ST)> ^ <Name of Alternate Coding System (ID)> ^ <Coding System Version ID (ST)> ^ <Alternate Coding System Version ID (ST)> ^ <Original Text (ST)>

副成分 DEPRECATED-Name Validity Range (DR): <Range Start Date/Time (TS)> & <Range End Date/Time (TS)>

副成分は副副成分を含むことに注意

副成分 Effective Date (TS): <Time (DTM)> & <DEPRECATED-Degree of Precision (ID)>

副成分 Expiration Date (TS): <Time (DTM)> & <DEPRECATED-Degree of Precision (ID)>

副成分 Assigning Jurisdiction (CWE): <Identifier (ST)> & <Text (ST)> & <Name of Coding System (ID)> & <Alternate Identifier (ST)> & <Alternate Text (ST)> & <Name of Alternate Coding System (ID)> & <Coding System Version ID (ST)> & <Alternate Coding System Version ID (ST)> & <Original Text (ST)>

副成分 Assigning Agency or Department (CWE): <Identifier (ST)> & <Text (ST)> & <Name of Coding System (ID)> & <Alternate Identifier (ST)> & <Alternate Text (ST)> & <Name of Alternate Coding System (ID)> & <Coding System Version ID (ST)> & <Alternate Coding System Version ID (ST)> & <Original Text (ST)>

定義： このフィールドはアプリケーションにサービス項目を入力した実行者の識別からなる。それは要求が不適切に入力されそして間接部門が要求を明確にする必要がある場合の監査証跡を提供する。

OM7-21 Orderable-at Location オーダ可能ロケーション (PL) 01497

成分： <Point of Care (IS)> ^ <Room (IS)> ^ <Bed (IS)> ^ <Facility (HD)> ^ <Location Status (IS)> ^ <Person Location Type (IS)> ^ <Building (IS)> ^ <Floor (IS)> ^ <Location Description (ST)> ^ <Comprehensive Location Identifier (EI)> ^ <Assigning Authority for Location (HD)>

副成分 Facility (HD): <Namespace ID (IS)> & <Universal ID (ST)> & <Universal ID Type (ID)>

副成分 Comprehensive Location Identifier (EI): <Entity Identifier (ST)> & <Namespace ID (IS)> & <Universal ID (ST)> & <Universal ID Type (ID)>

副成分 Assigning Authority for Location (HD): <Namespace ID (IS)> & <Universal ID (ST)> & <Universal ID Type (ID)>

定義： このフィールドは検査/サービスをオーダできるロケーションからなる。

OM7-22 Formulary Status 公式処方状況 (IS) 01498

定義： このフィールドはサービス（薬）が公式処方であるか否かを示す。取りうる値は使用者定義表 0473 - 公式処方状況を参照。

使用者定義表 0473 – Formulary Status 公式処方状況

値	説明
G	公定の検査／サービスであり、ガイドラインがある
N	公定の検査／サービスでない
R	公定の検査／サービスであるが限定されている
Y	公定の検査/サービスである

OM7-23 Special Order Indicator 特別オーダ標識 (ID) 01499

定義： このフィールドはサービス（薬）が特別なオーダか否かを示す。

Y これは特別オーダである。
N これは特別オーダでない。

OM7-24 Primary Key Value – CDM 主キー値 - CDM (CWE) 01306

成分： <Identifier (ST)> ^ <Text (ST)> ^ <Name of Coding System (ID)> ^ <Alternate Identifier (ST)> ^ <Alternate Text (ST)> ^ <Name of Alternate Coding System (ID)> ^ <Coding System Version ID (ST)> ^ <Alternate Coding System Version ID (ST)> ^ <Original Text (ST)>

定義： サービス／検査／観察項目をCIM（charge item master 課金項目マスタ）と関連付ける。単一 SIM 項目に複数の課金項目を許すことは可能である。

付録1.　メッセージ例

注：以下の例文中に出現する“99zzz”は、次のような意味で用いている。

99S01 職員などスタッフを表すローカルコード
99U01 単位を表すローカルコード
99C01 容器を表すローカルコード
99T01 端末を表すローカルコード
99E01 設備を表すローカルコード
99I01 検査項目を表すローカルコード
99M01 検査材料を表すローカルコード
99R01 診療科を表すローカルコード
99P01 病棟を表すローカルコード
99D01 部門を表すローカルコード
99N01 ネームスペースを表すローカルコード
99V01 値を表すローカルコード
99F01 マスタファイル体系を表すローカルコード
99A01 添加物を表すローカルコード
99Y01 薬剤を表すローカルコード
99B01 病名を表すローカルコード
99L01 その他のローカルコード

1.　患者情報照会メッセージの例

1-1.　LISからHISへ患者IDが123456の患者情報を照会する。

```
MSH|^~\&|LIS||HIS||20070101115956||QBP^ZC0^QBP_Q11|LIS0001|P|2.5||||||~ISO IR87||ISO
  2022-1994<cr>
QPD|ZC0^Get Patient Infomation^IOB_Qpd01||123456<cr>
RCP|I<cr>
```

1-2.　HISからLISへ患者IDが123456の患者情報を回答する。

```
MSH|^~\&|HIS||LIS||20070101115956||RSP^ZC1^RSP_ZC1|HIS0001|P|2.5||||||~ISO IR87||ISO
  2022-1994<cr>
MSA|AA|HIS0001<cr>
QAK||OK<cr>
QPD|ZC0^Get Patient Infomation^IOB_Qpd01||123456<cr>
PID|||123456^^^^PI||山田^太郎^^^^^L^I~ヤマダ^タロウ^^^^^L^P||19971110|M<cr>
PV1||O|01^^^^^C||||0010^鈴木^花子^^^^^^L^^^^^I<cr>
```

2.　患者情報メッセージの例

2-1.　HISからLISへ山田太郎の患者情報を登録する。

```
MSH|^~\&|HIS||LIS||20070101115956||ADT^A08^ADT_A01|19990702103045|P|2.5||||||~ISO IR8
  7||ISO 2022-1994<cr>
EVN||19990701<cr>
PID|||123456^^^^PI||山田^太郎^^^^^L^I~ヤマダ^タロウ^^^^^L^P||19971110|M<cr>
PV1||O|01^^^^^C||||0010^鈴木^花子^^^^^^^L^^^^^I<cr>
```

2-2.　LISからHISへ山田太郎の患者情報を受付けた応答を返す。

```
MSH|^~\&|LIS||HIS||20070101115956||ACK^A08^ACK|19990702103045|P|2.5||||||~ISO IR87||I
  SO 2022-1994<cr>
MSA|AA|19990702103045<cr>
```

© JAHIS 2012

3. 検体検査結果照会メッセージの例

3-1. HISからLISへ患者IDが123456の結果情報を照会する。

```
MSH|^~\&|HIS||LIS||20060203102731||QBP^ZB5^QBP_Q11|2006020310273101|P|2.5||||||~ISO I
  R87||ISO 2022-1994<cr>
QPD|ZB5^Observation Reporting^IOB_Qpd01|2006020310273101|123456|||||||^^^20060201^200
  60201<cr>
RCP|I|10^RD|R<cr>
```

3-2. LISからHISへ患者IDが123456の結果情報を回答する。

```
MSH|^~\&|LIS||HIS||20060203102550||RSP^ZB6^RSP_ZB6|2006020310273101|P|2.5||||||~ISO I
  R87||ISO 2022-1994<cr>
MSA|AA|2006020310273101<cr>
QAK|20060203102731|OK|ZB5^Observation Reporting^IOB_Qpd01|1<cr>
QPD|ZB5^Observation Reporting^IOB_Qpd01|2006020310273101|123456|||||||^^^20060201^200
  60201<cr>
PID|1||123456^^^^PI||山田^太郎^^^^^L^I~ヤマダ^タロウ^^^^^L^P||19971110|M|||^^^^105-0004
  ^^H^東京都港区新橋2丁目5番5号||^PRN^PH^^^^^^^^^03-3506-8010<cr>
SPM|1|12345678001&&12345678001^0720100001001&&0602010001||023^血清^JC10||||||||0.5^mL
  |||||20060201|||||||||002^灰・血糖^99C01<cr>
OBR|1|0123456789||E002^生化学学的検査^IOB_Obgrp||||||||||||12345678^鈴木^一郎^^^^^^^L^^^
  ^^I~^スズキ^イチロウ^^^^^^^L^^^^^P||||||||F<cr>
OBX|1|NM|3D010000002327201^血糖^JC10||100|^mg/dL^99U01|70-109||||F||R<cr>
SPM|2|12345678002&&12345678002^0720100001002&&0602010002||019^全血（添加物入り）^JC10||
  ||||||2.0^mL|||||20060201|||||||||201^紫・血算^99C01<cr>
OBR|1|0123456789||E001^血液学的検査^IOB_Obgrp||||||||||||12345678^鈴木^一郎^^^^^^^L^^^^
  ^I~^スズキ^イチロウ^^^^^^^L^^^^^P||||||||F<cr>
OBX|1|NM|2A010000001930101^ＷＢＣ^JC10||4.0|10**3/ul^10**3/ul^99U01|3.9-9.8||||F||S<c
  r>
OBX|2|NM|2A020000001930101^ＲＢＣ^JC10||5000|10**3/ul^10**3/ul^99U01|4300-5700||||F||
  S<cr>
OBX|3|NM|2A030000001930101^Ｈｂ^JC10||14.0|g/dL^g/dL^99U01|13.5-17.5||||F||S<cr>
```

4. 検体検査依頼送信メッセージの例

HL7 Ver.2.5仕様の日本語を含む検体検査依頼メッセージmn123を2007/10/11に訓練として送信。
このメッセージはMerit-9の検査依頼例であることを依頼側が注釈。
患者氏名は大塚太郎(OTSUKA TARO、おおつか たろう)、男、1950年5月23日生、患者IDはPID001である。
患者さんは外来で第一内科（診療科コード 01）にかかっており主治医は大塚二郎先生である。
中程度の発疹を1965.1.1に起こしたことがありピリン系薬物アレルギーと認められる。
大塚二郎先生は2007/10/11 9:30に、本日（10/11）通常の優先度で、HbA1c、生化学肝セット(GOT,GPT,LDH-ISO)および100g糖負荷試験(前,30分,60分,120分)を実施するよう依頼、オーダ番号はそれぞれ0523001,0523002,0523003、そのオーダグループ番号は0523001で、オーダ先はLABである。
それら検査のための検体は2007/10/11に採取され、HbA1cは全血（添加物入り）で検体番号1001で1検体、生化学は血清で検体番号2001で1検体、100g糖負荷試験は前値,30分,60分,120分のヘパリン血漿で検体番号は3001～3004の4検体である。

4-1-1. 検体検査依頼送信OML_O21メッセージの例（検体情報が必要な場合）

```
MSH|^~\&|||||20071011115956||OML^O21^OML_O21|mn123|T|2.5||||||~ISO IR87||ISO 2022-199
  4<cr>
PID|||PID001||OTSUKA^TARO^^^^^L^A~大塚^太郎^^^^^L^I~おおつか^たろう^^^^^L^P||19500523|M<
  cr>
PV1||O|01^^^^^C||||^大塚^二郎^^^^^^^L^^^^^I|||01<cr>
AL1|1|DA|^ピリン系薬物|MO|発疹|19650101<cr>
ORC|NW|0523001||0523001|||||200710110930||||||||||||||||||O<cr>
```

© JAHIS 2012

```
TQ1|||||||20071011||R<cr>
OBR||0523001||3D0450000019204^HbA1c^JC10|||20071011||||||||019|^大塚^二郎^^^^^^^L^^^^^
  I||||||||LAB||||||||||||||1<cr>
SPM||1001||019^全血（添加物入り）^JC10||||||||||||20071011||||||||1<cr>
ORC|NW|0523002||0523001|||||200710110930|||||||||||||||||||O<cr>
TQ1|||||||20071011||R<cr>
OBR||0523002||^生化学肝set^99I01|||20071011||||||||023|^大塚^二郎^^^^^^^L^^^^^I||||||||
  LAB||||||||||||||1<cr>
OBX|||3B0350000023272^GOT^JC10||||||||O<cr>
OBX|||3B0450000023272^GPT^JC10||||||||O<cr>
OBX|||3B0550000023233^LDH-ISO^JC10||||||||O<cr>
SPM||2001||023^血清^JC10||||||||||||||20071011||||||||1<cr>
ORC|NW|0523003-1||0523001|||||200710110930|||||||||||||||||||O<cr>
TQ1|||||||20071011||R<cr>
OBR||0523003-1||^100gOGTT^99I01|||20071011||||||||^大塚^二郎^^^^^^^L^^^^^I||||||||LAB
  ||||||||||||||1<cr>
OBX|||3D0101000022272^血糖前値^JC10||||||||O<cr>
SPM||3001||022^血漿^JC10||ヘパリン^ヘパリン^99A01||||||||||20071011||||||||1<cr>
ORC|NW|0523003-2||0523001|||||200710110930|||||||||||||||||||O<cr>
TQ1|||||||20071011||R<cr>
OBR||0523003-2||^100gOGTT^99I01|||20071011||||||||^大塚^二郎^^^^^^^L^^^^^I||||||||LAB
  ||||||||||||||1<cr>
OBX|||3D0101030022272^血糖30M^JC10||||||||O<cr>
SPM||3002||022^血漿^JC10||ヘパリン^ヘパリン^99A01||||||||||20071011||||||||1<cr>
ORC|NW|0523003-3||0523001|||||200710110930|||||||||||||||||||O<cr>
TQ1|||||||20071011||R<cr>
OBR||0523003-3||^100gOGTT^99I01|||20071011||||||||^大塚^二郎^^^^^^^L^^^^^I||||||||LAB
  ||||||||||||||1<cr>
OBX|||3D0101060022272^血糖60M^JC10||||||||O<cr>
SPM||3003||022^血漿^JC10||ヘパリン^ヘパリン^99A01||||||||||20071011||||||||1<cr>
ORC|NW|0523003-4||0523001|||||200710110930|||||||||||||||||||O<cr>
TQ1|||||||20071011||R<cr>
OBR||0523003-4||^100gOGTT^99I01|||20071011||||||||^大塚^二郎^^^^^^^L^^^^^I||||||||LAB
  ||||||||||||||1<cr>
OBX|||3D0101120022272^血糖120M^JC10||||||||O<cr>
SPM||3004||022^血漿^JC10||ヘパリン^ヘパリン^99A01||||||||||20071011||||||||1<cr>
```

4-1-2.　検体検査依頼送信OML_O21メッセージの例（検体情報が不要な場合、外注の場合に多い）

```
MSH|^~\&|||||20071011115956||OML^O21^OML_O21|mn123|T|2.5||||||~ISO IR87||ISO 2022-199
  4<cr>
PID|||PID001||OTSUKA^TARO^^^^^L^A~大塚^太郎^^^^^L^I~おおつか^たろう^^^^^L^P||19500523|M<
  cr>
PV1||O|01^^^^^C||||^大塚^二郎^^^^^^^L^^^^^I|||01<cr>
AL1|1|DA|^ピリン系薬物|MO|発疹|19650101<cr>
ORC|NW|0523001||0523001|||||200710110930|||||||||||||||||||O<cr>
OBR||0523001||3D0450000019204^HbA1c^JC10|||20071011||||||||019^全血（添加物入り）^JC10|
  ^大塚^二郎^^^^L^I||||||||LAB||||||||||||||1<cr>
ORC|NW|0523002||0523001|||||200710110930|||||||||||||||||||O<cr>
OBR||0523002||^生化学肝set^99I01|||20071011||||||||023^血清^JC10|^大塚^二郎^^^^^^^L^^^^
  ^I||||||||LAB||||||||||||||1<cr>
OBX|||3B0350000023272^GOT^JC10||||||||O<cr>
OBX|||3B0450000023272^GPT^JC10||||||||O<cr>
OBX|||3B0550000023233^LDH-ISO^JC10||||||||O<cr>
ORC|NW|0523003||0523001|||||200710110930|||||||||||||||||||O<cr>
OBR||0523003||^100gOGTT^99I01|||20071011||||||||022^血漿^JC10|^大塚^二郎^^^^^^^L^^^^^I
  ||||||||LAB||||||||||||||4<cr>
OBX|||3D0101000022272^血糖前値^JC10||||||||O<cr>
OBX|||3D0101030022272^血糖30M^JC10||||||||O<cr>
OBX|||3D0101060022272^血糖60M^JC10||||||||O<cr>
OBX|||3D0101120022272^血糖120M^JC10||||||||O<cr>
```

4-2.　検体検査依頼送信OML_O33メッセージの例

```
MSH|^~\&|||||20071011115956||OML^O33^OML_O33|mn123|T|2.5||||||~ISO IR87||ISO 2022-199
  4<cr>
PID|||PID001||OTSUKA^TARO^^^^^L^A~大塚^太郎^^^^^L^I~おおつか^たろう^^^^^L^P||19500523|M<
  cr>
```

```
PV1||O|01^^^^^C ||||^大塚^二郎^^^^^^^L^^^^^I|||01<cr>
AL1|1|DA|^ピリン系薬物|MO|発疹|19650101<cr>
SPM||1001||019^全血（添加物入り）^JC10||||||||||||20071011||||||||1<cr>
ORC|NW|0523001||0523001|||||200710110930||||||||||||||||||O<cr>
TQ1||||||20071011||R<cr>
OBR||0523001||3D0450000019204^HbA1c^JC10|||20071011||||||||^大塚^二郎^^^^^^^L^^^^^I||
  ||||||LAB||||||||||||1<cr>
SPM||02001||023^血清^JC10||||||||||||20071011||||||||1<cr>
ORC|NW|0523002||0523001|||||200710110930||||||||||||||||||O<cr>
TQ1||||||20071011||R<cr>
OBR||0523002||^生化学肝set^99I01|||20071011||||||||^大塚^二郎^^^^^^^L^^^^^I||||||||LAB
  ||||||||||||1<cr>
OBX|||3B0350000023272^GOT^JC10||||||||O<cr>
OBX|||3B0450000023272^GPT^JC10||||||||O<cr>
OBX|||3B0550000023233^LDH-ISO^JC10||||||||O<cr>
SPM||3001||022^血漿^JC10||ヘパリン^ヘパリン^99A01||||||||||20071011||||||||1<cr>
ORC|NW|0523003-1||0523001|||||200710110930||||||||||||||||||O<cr>
TQ1||||||20071011||R<cr>
OBR||0523003-1||^100gOGTT^99I01|||20071011||||||||^大塚^二郎^^^^^^^L^^^^^I||||||||LAB
  ||||||||||||1<cr>
OBX|||3D0101000022272^血糖前値^JC10||||||||O<cr>
SPM||3002||022^血漿^JC10||ヘパリン^ヘパリン^99A01||||||||||20071011||||||||1<cr>
ORC|NW|0523003-2||0523001|||||200710110930||||||||||||||||||O<cr>
TQ1||||||20071011||R<cr>
OBR||0523003-2||^100gOGTT^99I01|||20071011||||||||^大塚^二郎^^^^^^^L^^^^^I||||||||LAB
  ||||||||||||1<cr>
OBX|||3D0101030022272^血糖30M^JC10||||||||O<cr>
SPM||3003||022^血漿^JC10||ヘパリン^ヘパリン^99A01||||||||||20071011||||||||1<cr>
ORC|NW|0523003-3||0523001|||||200710110930||||||||||||||||||O<cr>
TQ1||||||20071011||R<cr>
OBR||0523003-3||^100gOGTT^99I01|||20071011||||||||^大塚^二郎^^^^^^^L^^^^^I||||||||LAB
  ||||||||||||1<cr>
OBX|||3D0101060022272^血糖60M^JC10||||||||O<cr>
SPM||3004||022^血漿^JC10||ヘパリン^ヘパリン^99A01||||||||||20071011||||||||1<cr>
ORC|NW|0523003-4||0523001|||||200710110930||||||||||||||||||O<cr>
TQ1||||||20071011||R<cr>
OBR||0523003-4||^100gOGTT^99I01|||20071011||||||||^大塚^二郎^^^^^^^L^^^^^I||||||||LAB
  ||||||||||||1<cr>
OBX|||3D0101120022272^血糖120M^JC10||||||||O<cr>
```

4-3. 検体検査依頼送信OML_O35メッセージの例

```
MSH|^~\&|||||20071011115956||OML^O35^OML_O35|mn123|T|2.5||||||~ISO IR87||ISO 2022-199
  4<cr>
PID|||PID001||OTSUKA^TARO^^^^^L^A~大塚^太郎^^^^^L^I~おおつか^たろう^^^^^L^P||19500523|M<
  cr>
PV1||O|01^^^^^C||||^大塚^二郎^^^^^^^L^^^^^I|||01<cr>
AL1|1|DA|^ピリン系薬物|MO|発疹|19650101<cr>
SPM||1001||019^全血（添加物入り）^JC10||||||||||||20071011||||||||1<cr>
SAC|||1001<cr>
ORC|NW|0523001||0523001|||||200710110930||||||||||||||||||O<cr>
TQ1||||||20071011||R<cr>
OBR||0523001||3D0450000019204^HbA1c^JC10|||20071011||||||||^大塚^二郎^^^^^^^L^^^^^I||
  ||||||LAB||||||||||||1<cr>
SPM||2001||023^血清^JC10||||||||||||20071011||||||||1<cr>
SAC|||2001<cr>
ORC|NW|0523002||0523001|||||200710110930||||||||||||||||||O<cr>
TQ1||||||20071011||R<cr>
OBR||0523002||^生化学肝set^99I01|||20071011||||||||^大塚^二郎^^^^^^^L^^^^^I||||||||LAB
  ||||||||||||1<cr>
OBX|||3B0350000023272^GOT^JC10||||||||O<cr>
OBX|||3B0450000023272^GPT^JC10||||||||O<cr>
OBX|||3B0550000023233^LDH-ISO^JC10||||||||O<cr>
SPM||3001||022^血漿^JC10||ヘパリン^ヘパリン^99A01||||||||||20071011||||||||1<cr>
SAC|||3001<cr>
ORC|NW|0523003-1||0523001|||||200710110930||||||||||||||||||O<cr>
TQ1||||||20071011||R<cr>
OBR||0523003-1||^100gOGTT^99I01|||20071011||||||||^大塚^二郎^^^^^^^L^^^^^I||||||||LAB
  ||||||||||||1<cr>
```

```
OBX|||3D0101000022272^血糖前値^JC10|||||||O<cr>
SPM||3002||022^血漿^JC10||ヘパリン^ヘパリン^99A01|||||||||||20071011||||||||1<cr>
SAC|||3002<cr>
ORC|NW|0523003-2||0523001|||||200710110930|||||||||||||||||||O<cr>
TQ1||||||20071011||R<cr>
OBR||0523003-2||^100gOGTT^99I01|||20071011||||||||^大塚^二郎^^^^^^^L^^^^^I|||||||LAB
  ||||||||||||1<cr>
OBX|||3D0101030022272^血糖30M^JC10|||||||O<cr>
SPM||3003||022^血漿^JC10||ヘパリン^ヘパリン^99A01|||||||||||20071011||||||||1<cr>
SAC|||3003<cr>
ORC|NW|0523003-3||0523001|||||200710110930|||||||||||||||||||O<cr>
TQ1||||||20071011||R<cr>
OBR||0523003-3||^100gOGTT^99I01|||20071011||||||||^大塚^二郎^^^^^^^L^^^^^I|||||||LAB
  ||||||||||||1<cr>
OBX|||3D0101060022272^血糖60M^JC10|||||||O<cr>
SPM||3004||022^血漿^JC10||ヘパリン^ヘパリン^99A01|||||||||||20071011||||||||1<cr>
SAC|||3004<cr>
ORC|NW|0523003-4||0523001|||||200710110930|||||||||||||||||||O<cr>
TQ1||||||20071011||R<cr>
OBR||0523003-4||^100gOGTT^99I01|||20071011||||||||^大塚^二郎^^^^^^^L^^^^^I|||||||LAB
  ||||||||||||1<cr>
OBX|||3D0101120022272^血糖120M^JC10|||||||O<cr>
```

5. 到着確認 OUL メッセージの例

HL7 Ver.2.5仕様の日本語を含む検体到着確認メッセージmn2563を2007/10/12に訓練として送信。
このメッセージは検体到着確認の例であることを実施者側が注釈。
患者氏名は大塚太郎(OTSUKA TARO、おおつか たろう)、男、1950年5月23日生、患者IDはPID001である。
患者さんは外来で第一内科（診療科コード 01）にかかっており主治医は大塚二郎先生である。
中程度の発疹を1965.1.1に起こしたことがありピリン系薬物アレルギーと認められる。
大塚二郎先生は2007/10/11 9:30に、本日（10/11）通常の優先度で、HbA1c、生化学肝セット(GOT,GPT,LDH-ISO)および100g糖負荷試験(前,30分,60分,120分)を実施するよう依頼、オーダ番号はそれぞれ0523001,0523002,0523003、そのオーダグループ番号は0523001で、オーダ先はLABである。
それら検査のための検体は2007/10/11に採取され、HbA1cは全血（添加物入り）で検体番号1001で1検体、生化学は血清で検体番号2001で1検体、100g糖負荷試験は前値,30分,60分,120分のヘパリン血漿で検体番号は3001～3004の4検体である。
この検査依頼ならびに検体は2007/10/12 8:30に受理され、LABの職員ID LAB99の篠原検査技師によってメッセージ入力された。

```
MSH|^~\&|||||20071012115956||OUL^R22^OUL_R22|mn256|T|2.5||||||~ISO IR87||ISO 2022-199
  4<cr>
PID|||PID001||OTSUKA^TARO^^^^^L^A~大塚^太郎^^^^^L^I~おおつか^たろう^^^^^L^P||19500523|M<
  cr>
PV1||O|01^^^^^C||||^大塚^二郎^^^^^^^L^^^^^I|||01<cr>
SPM||1001||019^全血（添加物入り）^JC10||||||||||||20071011|200710120830||||||||1<cr>
OBR||0523001|123456701^LAB|3D0450000019204^HbA1c^JC10|||20071011||||||200710120830|
  |^大塚^二郎^^^^^^^L^^^^^I|||||||LAB|I||||||||||||1<cr>
ORC|SC|0523001|123456701^LAB|0523001|IP||||200710120830|LAB99^篠原^聖子^^^^^^^L^^^^^I|
  ||||||||||||||||||O<cr>
TQ1||||||20071011||R<cr>
SPM||2001||023^血清^JC10||||||||||||20071011|200710120830||||||||1<cr>
OBR||0523002|123456702^LAB|^生化学肝set^99I01|||20071011||||||200710120830||^大塚^二郎
  ^^^^^^^L^^^^^I|||||||LAB|I||||||||||||1<cr>
ORC|SC|0523002|123456702^LAB|0523001|IP||||200710120830|LAB99^篠原^聖子^^^^^^^L^^^^^I|
  ||||||||||||||||||O<cr>
TQ1||||||20071011||R<cr>
OBX|||3B035000002327201^GOT^JC10|||||||I<cr>
OBX|||3B045000002327201^GPT^JC10|||||||I<cr>
OBX|||3B055000002323300^LDH-ISO^JC10|||||||I<cr>
SPM||3001||022^血漿^JC10||ヘパリン^ヘパリン^99A01|||||||||||20071011|200710120830||||||
  ||1<cr>
```

```
OBR||0523003-1|123456703^LAB|^100gOGTT^99I01|||20071011||||||200710120830||^大塚^二郎
  ^^^^^^^L^^^^^I||||||||LAB|I||||||||||||1<cr>
ORC|SC|0523003-1|123456703^LAB|0523001|IP||||200710120830|LAB99^篠原^聖子^^^^^^^L^^^^^
  I||||||||||||||||||O<cr>
TQ1||||||20071011||R<cr>
OBX|||3D010100002227201^血糖前値^JC10||||||||I<cr>
SPM||3002||022^血漿^JC10||ヘパリン^ヘパリン^99A01||||||||||20071011|200710120830||||||
  ||1<cr>
OBR||0523003-2|123456704^LAB|^100gOGTT^99I01|||20071011||||||200710120830||^大塚^二郎
  ^^^^^^^L^^^^^I||||||||LAB|I||||||||||||1<cr>
ORC|SC|0523003-2|123456704^LAB|0523001|IP||||200710120830|LAB99^篠原^聖子^^^^^^^L^^^^^
  I||||||||||||||||||O<cr>
TQ1||||||20071011||R<cr>
OBX|||3D010103002227201^血糖30M^JC10||||||||I<cr>
SPM||3003||022^血漿^JC10||ヘパリン^ヘパリン^99A01||||||||||20071011|200710120830||||||
  ||1<cr>
OBR||0523003-3|123456705^LAB|^100gOGTT^99I01|||20071011||||||200710120830||^大塚^二郎
  ^^^^^^^L^^^^^I||||||||LAB|I||||||||||||1<cr>
ORC|SC|0523003-3|123456705^LAB|0523001|IP||||200710120830|LAB99^篠原^聖子^^^^^^^L^^^^^
  I||||||||||||||||||O<cr>
TQ1||||||20071011||R<cr>
OBX|||3D010106002227201^血糖60M^JC10||||||||I<cr>
SPM||3004||022^血漿^JC10||ヘパリン^ヘパリン^99A01||||||||||20071011|200710120830||||||
  ||1<cr>
OBR||0523003-4|123456706^LAB|^100gOGTT^99I01|||20071011||||||200710120830||^大塚^二郎
  ^^^^^^^L^^^^^I||||||||LAB|I||||||||||||1<cr>
ORC|SC|0523003-4|123456706^LAB|0523001|IP||||200710120830|LAB99^篠原^聖子^^^^^^^L^^^^^
  I||||||||||||||||||O<cr>
TQ1||||||20071011||R<cr>
OBX|||3D010112002227201^血糖120M^JC10||||||||I<cr>
```

6. 検体検査結果メッセージの例

HL7 Ver.2.5仕様の日本語を含む検体検査結果メッセージmn768を2007/10/14に訓練として送信。
このメッセージはMerit-9の検査結果例であることを実施者側が注釈。
患者氏名は大塚太郎(OTSUKA TARO、おおつか たろう)、男、1950年5月23日生、患者IDはPID001である。
患者さんは外来で第一内科（診療科コード 01）にかかっており主治医は大塚二郎先生である。
中程度の発疹を1965.1.1に起こしたことがありピリン系薬物アレルギーと認められる。
大塚二郎先生は2007/10/11 9:30に、本日（10/11）通常の優先度で、HbA1c、生化学肝セット(GOT,GPT,LDH-ISO)および100g糖負荷試験(前,30分,60分,120分)を実施するよう依頼、オーダ番号はそれぞれ0523001,0523002,0523003、そのオーダグループ番号は0523001で、オーダ先はLABである。
それら検査のための検体は2007/10/11に採取され、HbA1cは全血（添加物入り）で検体番号1001で1検体、生化学は血清で検体番号2001で1検体、100g糖負荷試験は前値,30分,60分,120分のヘパリン血漿で検体番号は3001～3004の4検体である。
依頼ならびに検体は検査所LABで2007/10/12に受理され、2007/10/13に結果を得た。HbA1c、生化学肝セットは技師太郎検査技師により検査され、HbA1c 5.0% 基準値4.3～5.8%で基準値内、GOT 50U 基準値6-28 正常母集団からみて高値、GPT 5U 3-9 基準値内、LDH-ISOは分画でそれぞれ10,30,20,40%であった。100g糖負荷試験血糖値は技師二郎検査技師により検査され、80,150,100,60mg/dlですべて基準値内であった。検査料はそれぞれ2000円、1000円、3000円である。

6-1-1. 検体検査結果ORU_R01メッセージの例（検体情報がある場合）

```
MSH|^~\&|||||20071014115956||ORU^R01^ORU_R01|mn768|T|2.5||||||~ISO IR87||ISO 2022-199
  4<cr>
PID|||PID001||OTSUKA^TARO^^^^^L^A~大塚^太郎^^^^^L^I~おおつか^たろう^^^^^L^P||19500523|M<
  cr>
PV1||O|01^^^^^C||||^大塚^二郎^^^^^^^L^^^^^I|||01<cr>
ORC|SC|0523001|123456701^LAB|0523001|CM||||20071013||||||||||||||||||O<cr>
OBR||0523001|123456701^LAB|3D0450000019204^HbA1c^JC10|||20071011||||||200710120830|
  |^大塚^二郎^^^^^^^L^^^^^I||||||20071013|2000^YEN|LAB|F||||||||S01&技師&太郎|||1<cr>
```

```
TQ1||||||20071011||R<cr>
OBX||NM|3D0450000019204^HbA1c^JC10||5.0|%|4.3-5.8| ||N|F||||LAB<cr>
SPM||1001||019^全血（添加物入り）^JC10||||||||||||20071011|200710120830||||||||1<cr>
ORC|SC|0523002|123456702^LAB|0523001|CM||||20071013||||||||||||||||||O<cr>
OBR||0523002|123456702^LAB|^生化学肝set^99I01|||20071011||||||200710120830||^大塚^二郎
  ^^^^^^^L^^^^^I||||||20071013|1000^YEN|LAB|F||||||||S01&技師&太郎|||1<cr>
TQ1||||||20071011||R<cr>
OBX||NM|3B035000002327201^GOT^JC10||50|U|6-28|H||N|F||||LAB<cr>
OBX||NM|3B045000002327201^GPT^JC10||5|U|3-9| ||N|F||||LAB<cr>
OBX||ST|3B055000002323300^LDH-ISO^JC10||||||||F||||LAB<cr>
OBX||NM|3B055000002323351^LDH1^JC10||10|%|||||F||||LAB<cr>
OBX||NM|3B055000002323352^LDH2^JC10||30|%|||||F||||LAB<cr>
OBX||NM|3B055000002323353^LDH3^JC10||20|%|||||F||||LAB<cr>
OBX||NM|3B055000002323354^LDH4^JC10||40|%|||||F||||LAB<cr>
SPM||2001||023^血清^JC10||||||||||||20071011|200710120830||||||||1<cr>
ORC|SC|0523003-1|123456703^LAB|0523001|CM||||20071013||||||||||||||||||O<cr>
OBR||0523003-1|123456703^LAB|^100gOGTT^99I01|||20071011||||||200710120830||^大塚^二郎
  ^^^^^^^L^^^^^I||||||20071013|3000^YEN|LAB|F||||||||S02&技師&二郎|||1<cr>
TQ1||||||20071011||R<cr>
OBX||NM|3D010100002227201^血糖前値^JC10||80|mg/dL|60-100| ||N|F||||LAB<cr>
SPM||3001||022^血漿^JC10||ヘパリン^ヘパリン^99A01||||||||||20071011|200710120830||||||
  ||1<cr>
ORC|SC|0523003-2|123456704^LAB|0523001|CM||||20071013||||||||||||||||||O<cr>
OBR||0523003-2|123456704^LAB|^100gOGTT^99I01|||20071011||||||200710120830||^大塚^二郎
  ^^^^^^^L^^^^^I||||||20071013||LAB|F||||||||S02&技師&二郎|||1<cr>
TQ1||||||20071011||R<cr>
OBX||NM|3D010103002227201^血糖30M^JC10||150|mg/dL|90-200| ||N|F||||LAB<cr>
SPM||3002||022^血漿^JC10||ヘパリン^ヘパリン^99A01||||||||||20071011|200710120830||||||
  ||1<cr>
ORC|SC|0523003-3|123456705^LAB|0523001|CM||||20071013||||||||||||||||||O<cr>
OBR||0523003-3|123456705^LAB|^100gOGTT^99I01|||20071011||||||200710120830||^大塚^二郎
  ^^^^^^^L^^^^^I||||||20071013||LAB|F||||||||S02&技師&二郎|||1<cr>
TQ1||||||20071011||R<cr>
OBX||NM|3D010106002227201^血糖60M^JC10||100|mg/dL|80-160| ||N|F||||LAB<cr>
SPM||3003||022^血漿^JC10||ヘパリン^ヘパリン^99A01||||||||||20071011|200710120830||||||
  ||1<cr>
ORC|SC|0523003-4|123456706^LAB|0523001|CM||||20071013||||||||||||||||||O<cr>
OBR||0523003-4|123456706^LAB|^100gOGTT^99I01|||20071011||||||200710120830||^大塚^二郎
  ^^^^^^^L^^^^^I||||||20071013||LAB|F||||||||S02&技師&二郎|||1<cr>
TQ1||||||20071011||R<cr>
OBX||NM|3D010112002227201^血糖120M^JC10||60|mg/dL|50-100| ||N|F||||LAB<cr>
SPM||3004||022^血漿^JC10||ヘパリン^ヘパリン^99A01||||||||||20071011|200710120830||||||
  ||1<cr>
```

6-1-2. 検体検査結果ORU_R01メッセージの例（検体情報がない場合、外注の場合に多い）

```
MSH|^~\&|||||20071014115956||ORU^R01^ORU_R01|mn768|T|2.5||||||~ISO IR87||ISO 2022-199
  4<cr>
PID|||PID001||OTSUKA^TARO^^^^^L^A~大塚^太郎^^^^^L^I~おおつか^たろう^^^^^L^P||19500523|M<
  cr>
PV1||O|01^^^^^C||||^大塚^二郎^^^^^^^L^^^^^I|||01<cr>
OBR||0523001|123456701^LAB|3D0450000019204^HbA1c^JC10|||20071011||||||200710120830|
  019&全血（添加物入り）&JC10|^大塚^二郎^^^^^^^L^^^^^I||||||20071013|2000^YEN|LAB|F||||||
  |||S01&技師&太郎|||1<cr>
OBX||NM|3D0450000019204^HbA1c^JC10||5.0|%|4.3-5.8| ||N|F||||LAB<cr>
OBR||0523002|123456702^LAB|^生化学肝set^99I01|||20071011||||||200710120830|023&血清&J
  C10|^大塚^二郎^^^^^^^L^^^^^I||||||20071013|1000^YEN|LAB|F||||||||S01&技師&太郎|||1<c
  r>
OBX||NM|3B035000002327201^GOT^JC10||50|U|6-28|H||N|F||||LAB<cr>
OBX||NM|3B045000002327201^GPT^JC10||5|U|3-9| ||N|F||||LAB<cr>
OBX||ST|3B055000002323300^LDH-ISO^JC10||||||||F||||LAB<cr>
OBX||NM|3B055000002323351^LDH1^JC10||10|%|||||F||||LAB<cr>
OBX||NM|3B055000002323352^LDH2^JC10||30|%|||||F||||LAB<cr>
OBX||NM|3B055000002323353^LDH3^JC10||20|%|||||F||||LAB<cr>
OBX||NM|3B055000002323354^LDH4^JC10||40|%|||||F||||LAB<cr>
OBR||0523003-1|123456703^LAB|^100gOGTT^99I01|||20071011||||||200710120830|022&血漿&J
  C10|^大塚^二郎^^^^^^^L^^^^^I||||||20071013|3000^YEN|LAB|F||||||||S02&技師&二郎|||4<c
  r>
OBX||NM|3D010100002227201^血糖前値^JC10||80|mg/dL|60-100| ||N|F||||LAB<cr>
```

```
OBX||NM|3D010103002227201^血糖30M^JC10||150|mg/dL|90-200| ||N|F||||LAB<cr>
OBX||NM|3D010106002227201^血糖60M^JC10||100|mg/dL|80-160| ||N|F||||LAB<cr>
OBX||NM|3D010112002227201^血糖120M^JC10||60|mg/dL|50-100| ||N|F||||LAB<cr>
```

6-2. 検体検査結果OUL_R22メッセージの例

```
MSH|^~\&|||||20071014115956||OUL^R22^OUL_R22|mn768|T|2.5||||||~ISO IR87||ISO 2022-199
  4<cr>
PID|||PID001||OTSUKA^TARO^^^^^L^A~大塚^太郎^^^^^L^I~おおつか^たろう^^^^^L^P||19500523|M<
  cr>
PV1||O|01^^^^^C||||^大塚^二郎^^^^^^^L^^^^^I|||01<cr>
SPM||1001||019^全血（添加物入り）^JC10||||||||||||20071011|200710120830||||||||1<cr>
OBR||0523001|123456701^LAB|3D0450000019204^HbA1c^JC10|||20071011||||||200710120830|
  |^大塚^二郎^^^^^^^L^^^^^I||||||20071013|2000^YEN|LAB|F|||||||||S01&技師&太郎|||1<cr>
ORC|SC|0523001|123456701^LAB|0523001|CM||||20071013||||||||||||||||||||O<cr>
TQ1||||||20071011||R<cr>
SPM||2001||023^血清^JC10||||||||||||20071011|200710120830||||||||1<cr>
OBR||0523002|123456702^LAB|^生化学肝set^99I01|||20071011||||||200710120830||^大塚^二郎
  ^^^^^^^L^^^^^I||||||20071013|1000^YEN|LAB|F|||||||||S01&技師&太郎|||1<cr>
ORC|SC|0523002|123456702^LAB|0523001|CM||||20071013||||||||||||||||||||O<cr>
TQ1||||||20071011||R<cr>
OBX||NM|3B035000002327201^GOT^JC10||50|U|6-28|H||N|F||||LAB<cr>
OBX||NM|3B045000002327201^GPT^JC10||5|U|3-9| ||N|F||||LAB<cr>
OBX||ST|3B055000002323300^LDH-ISO^JC10||||||||F||||LAB<cr>
OBX||NM|3B055000002323351^LDH1^JC10||10|%|||||F||||LAB<cr>
OBX||NM|3B055000002323352^LDH2^JC10||30|%|||||F||||LAB<cr>
OBX||NM|3B055000002323353^LDH3^JC10||20|%|||||F||||LAB<cr>
OBX||NM|3B055000002323354^LDH4^JC10||40|%|||||F||||LAB<cr>
SPM||3001||022^血漿^JC10||ヘパリン^ヘパリン^99A01||||||||||20071011|200710120830||||||
  ||1<cr>
OBR||0523003-1|123456703^LAB|^100gOGTT^99I01|||20071011||||||200710120830||^大塚^二郎
  ^^^^^^^L^^^^^I||||||20071013|3000^YEN|LAB|F|||||||||S02&技師&二郎|||1<cr>
ORC|SC|0523003-1|123456703^LAB|0523001|CM||||20071013||||||||||||||||||||O<cr>
TQ1||||||20071011||R<cr>
OBX||NM|3D010100002227201^血糖前値^JC10||80|mg/dL|60-100| ||N|F||||LAB<cr>
SPM||3002||022^血漿^JC10||ヘパリン^ヘパリン^99A01||||||||||20071011|200710120830||||||
  ||1<cr>
OBR||0523003-2|123456704^LAB|^100gOGTT^99I01|||20071011||||||200710120830||^大塚^二郎
  ^^^^^^^L^^^^^I||||||20071013||LAB|F|||||||||S02&技師&二郎|||1<cr>
ORC|SC|0523003-2|123456704^LAB|0523001|CM||||20071013||||||||||||||||||||O<cr>
TQ1||||||20071011||R<cr>
OBX||NM|3D010103002227201^血糖30M^JC10||150|mg/dL|90-200| ||N|F||||LAB<cr>
SPM||3003||022^血漿^JC10||ヘパリン^ヘパリン^99A01||||||||||20071011|200710120830||||||
  ||1<cr>
OBR||0523003-3|123456705^LAB|^100gOGTT^99I01|||20071011||||||200710120830||^大塚^二郎
  ^^^^^^^L^^^^^I||||||20071013||LAB|F|||||||||S02&技師&二郎|||1<cr>
ORC|SC|0523003-3|123456705^LAB|0523001|CM||||20071013||||||||||||||||||||O<cr>
TQ1||||||20071011||R<cr>
OBX||NM|3D010106002227201^血糖60M^JC10||100|mg/dL|80-160| ||N|F||||LAB<cr>
SPM||3004||022^血漿^JC10||ヘパリン^ヘパリン^99A01||||||||||20071011|200710120830||||||
  ||1<cr>
OBR||0523003-4|123456706^LAB|^100gOGTT^99I01|||20071011||||||200710120830||^大塚^二郎
  ^^^^^^^L^^^^^I||||||20071013||LAB|F|||||||||S02&技師&二郎|||1<cr>
ORC|SC|0523003-4|123456706^LAB|0523001|CM||||20071013||||||||||||||||||||O<cr>
TQ1||||||20071011||R<cr>
OBX||NM|3D010112002227201^血糖120M^JC10||60|mg/dL|50-100| ||N|F||||LAB<cr>
```

7. 患者特有の臨床情報を伴った検査報告メッセージの例

クレアチニンクリアランスのための身長体重の報告含む

```
MSH|^~\&|LIS|IHE-J^OF|HIS|IHE-J^OP|20071101131032||OUL^R22^OUL_R22|20071101131032|P|
  2.5||||||~ISO IR87||ISO 2022-1994<cr>
PID|||0001000052^^^^PI||相互^太郎^^^^^L^I~ソウゴ^タロウ^^^^^L^P||19630926|M|||^^^^105-0
  004^^H^東京都港区新橋2丁目5番5号||^PRN^PH^^^^^^^^^03-3506-8010<cr>
PV1||O|01^^^^^C<cr>
```

```
SPM|1|00076787001&&00076787001^20071101000001&&11010001001||023^血清^JC10||||||||||||
  |200711011200|20071101131032||||||||001^茶・生化学^99C01<cr>
SAC|||00076787001||||20071101131032<cr>
OBR|1|ord0001|20071101000001|E002^生化学学的検査^IOB_Obgrp|||200711011200||||||||0001
  ^ドクタ姓^ドクタ名^^^^^^^L^^^^^I~^ドクタセイ^ドクタメイ^^^^^^^L^^^^^P|||||2007110113103
  2|||F<cr>
ORC|SC|ord0001|||CM||||20071101132040|||0001^ドクタ姓^ドクタ名^^^^^^^L^^^^^I~^ドクタセイ
  ^ドクタメイ^^^^^^^L^^^^^P|01^^^^^C||||01^内科^99R01||||||||||||O<cr>
TQ1|1|||||20071101||R<cr>
OBX|1|NM|8A025000009827129^24時間クレアチニンクリアランス^JC10||101.0|1^L/day^99U01|93.0
  -238.0||||F|||20071101123500<cr>
OBX|2|NM|9N001000000000001^身長^JC10||160.0|2^cm^99U01|||||F<cr>
OBX|3|NM|9N006000000000001^体重^JC10||61.0|3^kg^99U01|||||F<cr>
```

8. 計算項目のオーダメッセージと検査結果メッセージの例

オーダメッセージに計算項目の依頼が存在する場合や、他の検査結果から計算される検査結果が発生する場合、検査の種類や結果、検査機関の運用によっては、オーダメッセージの検査結果セグメント(OBX)になかった検査項目が、検査結果メッセージの検査結果セグメント(OBX)が加えられることがある。

すなわち、検査結果メッセージの検査結果セグメント(OBX)の出現件数は、検査依頼項目数と同一ではなく、検査の種類や結果、検査機関の運用により、可変となる。

例えば、総タンパク(TP)、アルブミン(ALB)から計算されるA/G比の場合、診療機関、検査機関の運用によっては、以下の数パターンが考えられる。

<<例①>>

診療機関がA/G比をオーダした場合、検査機関は、総タンパク(TP)、アルブミン(ALB)を自動的に測定して、A/G比を計算するが、報告される検査結果は、A/G比のみとなる。

8-1. オーダメッセージ 例①

*依頼項目数: 1

```
MSH|^~\&|OP^HIS|IHE-J^OP|OF^LIS|IHE-J^OF|20071101103040||OML^O33^OML_O33|20071101103
  040|P|2.5||||||~ISO IR87||ISO 2022-1994<cr>
PID|||0001000052^^^^PI||相互^太郎^^^^^L^I~ソウゴ^タロウ^^^^^L^P||19630926|M|||^^^^105-0
  004^^H^東京都港区新橋2丁目5番5号||^PRN^PH^^^^^^^^^03-3506-8010<cr>
PV1||O|01^^^^^C<cr>
SPM|1|00076787001&OP&00076787001||023^血清^JC10||||||||||||200711011200|||||||||001
  ^茶・生化学^99C01<cr>
ORC|NW|ord0001||||||20071101103040|||0001^ドクタ姓^ドクタ名^^^^^^^L^^^^^I~^ドクタセイ^
  ドクタメイ^^^^^^^L^^^^^P|01^^^^^C||||01^内科^99R01||||||||||||O<cr>
TQ1|1|||||20071101||R<cr>
OBR|1|ord0001||E002^生化学学的検査^IOB_Obgrp|||200711010939||||||||0001^ドクタ姓^ドクタ
  名^^^^^^^L^^^^^I~^ドクタセイ^ドクタメイ^^^^^^^L^^^^^P<cr>
OBX|1||3A0160000023271^A/G比^JC10|||||||O||R<cr>
```

8-2. 検査結果メッセージ 例①

*結果項目数: 1

```
MSH|^~\&|OF^LIS|IHE-J^OF|OP^HIS|IHE-J^OP|20071101131032||OUL^R22^OUL_R22|20071101131
  032|P|2.5||||||~ISO IR87||ISO 2022-1994<cr>
PID|||0001000052^^^^PI||相互^太郎^^^^^L^I~ソウゴ^タロウ^^^^^L^P||19630926|M|||^^^^105-0
  004^^H^東京都港区新橋2丁目5番5号||^PRN^PH^^^^^^^^^03-3506-8010<cr>
PV1||O|01^^^^^C<cr>
SPM|1|00076787001&&00076787001^20071101000001&&11010001001||023^血清^JC10||||||||||||
  |200711011200|20071101131032||||||||001^茶・生化学^99C01<cr>
SAC|||00076787001||||20071101131032<cr>
OBR|1|ord0001|20071101000001|E002^生化学学的検査^IOB_Obgrp|||200711011200||||||||0001
  ^ドクタ姓^ドクタ名^^^^^^^L^^^^^I~^ドクタセイ^ドクタメイ^^^^^^^L^^^^^P|||||2007110113103
  2|||F<cr>
```

```
ORC|SC|ord0001|||CM||||20071101132040|||0001^ドクタ姓^ドクタ名^^^^^^^L^^^^^I~^ドクタセイ
  ^ドクタメイ^^^^^^^L^^^^^P|01^^^^^C||||01^内科^99R01||||||||||||O<cr>
TQ1|1||||||20071101||R<cr>
OBX|1|NM|3A016000002327102^A/G比^JC10||1.7||1.2-2.0||||F||R|20071101123500|01^技師1^9
  9S01||||20071101123500<cr>
```

<<例②>>
診療機関がA/G比をオーダした場合、検査機関は、総タンパク(TP)、アルブミン(ALB)を自動的に測定して、A/G比を計算し、報告される検査結果も、A/G比、総タンパク(TP)、アルブミン(ALB)となる。

8-3. オーダメッセージ 例②

*依頼項目数: 1

```
MSH|^~\&|OP^HIS|IHE-J^OP|OF^LIS|IHE-J^OF|20071101103040||OML^O33^OML_O33|20071101103
  040|P|2.5||||||~ISO IR87||ISO 2022-1994<cr>
PID|||0001000052^^^^PI||相互^太郎^^^^^L^I~ソウゴ^タロウ^^^^^L^P||19630926|M|||^^^^105-0
  004^^H^東京都港区新橋2丁目5番5号||^PRN^PH^^^^^^^^^03-3506-8010<cr>
PV1||O|01^^^^^C<cr>
SPM|1|00076787001&OP&00076787001||023^血清^JC10||||||||||||200711011200|||||||||001
  ^茶・生化学^99C01<cr>
ORC|NW|ord0001||||||20071101103040|||0001^ドクタ姓^ドクタ名^^^^^^^L^^^^^I~^ドクタセイ^
  ドクタメイ^^^^^^^L^^^^^P|01^^^^^C||||01^内科^99R01||||||||||||O<cr>
TQ1|1||||||20071101||R<cr>
OBR|1|ord0001||E002^生化学学的検査^IOB_Obgrp|||200711010939||||||||0001^ドクタ姓^ドクタ
  名^^^^^^^L^^^^^I~^ドクタセイ^ドクタメイ^^^^^^^L^^^^^P<cr>
OBX|1||3A0160000023271^A/G比^JC10|||||||O||R<cr>
```

8-4. 検査結果メッセージ 例②

*結果項目数: 3

```
MSH|^~\&|OF^LIS|IHE-J^OF|OP^HIS|IHE-J^OP|20071101131032||OUL^R22^OUL_R22|20071101131
  032|P|2.5||||||~ISO IR87||ISO 2022-1994<cr>
PID|||0001000052^^^^PI||相互^太郎^^^^^L^I~ソウゴ^タロウ^^^^^L^P||19630926|M|||^^^^105-0
  004^^H^東京都港区新橋2丁目5番5号||^PRN^PH^^^^^^^^^03-3506-8010<cr>
PV1||O|01^^^^^C<cr>
SPM|1|00076787001&&00076787001^20071101000001&&11010001001||023^血清^JC10||||||||||||
  |200711011200|20071101131032||||||||001^茶・生化学^99C01<cr>
SAC|||00076787001||||20071101131032<cr>
OBR|1|ord0001|20071101000001|E002^生化学学的検査^IOB_Obgrp|||200711011200||||||||0001
  ^ドクタ姓^ドクタ名^^^^^^^L^^^^^I~^ドクタセイ^ドクタメイ^^^^^^^L^^^^^P|||||2007110113103
  2|||F <cr>
ORC|SC|ord0001|||CM||||20071101132040|||0001^ドクタ姓^ドクタ名^^^^^^^L^^^^^I~^ドクタセイ
  ^ドクタメイ^^^^^^^L^^^^^P|01^^^^^C||||01^内科^99R01||||||||||||O<cr>
TQ1|1||||||20071101||R<cr>
OBX|1|NM|3A016000002327102^A/G比^JC10||1.7||1.2-2.0||||F||R|20071101123500|01^技師１^9
  9S01||||20071101123500<cr>
OBX|2|NM|3A010000002327101^総タンパク(TP)^JC10||7.2|1^ｇ/dL^99U01|6.70-8.3||||F||R|200
  71101123500|01^技師１^99S01||||20071101123500<cr>
OBX|3|NM|3A015000002327101^アルブミン(ALB)^JC10||4.9|1^ｇ/dL^99U01|3.7-5.5||||F||R|200
  71101123500|01^技師１^99S01||||20071101123500<cr>
```

<<例③>>
診療機関が総タンパク(TP)、アルブミン(ALB)をオーダした場合、検査機関は、総タンパク(TP)、アルブミン(ALB)を測定して、A/G比を自動的に計算し、報告される検査結果も、総タンパク(TP)、アルブミン(ALB)、A/G比となる。

8-5. オーダメッセージ 例③

*依頼項目数: 2

```
MSH|^~\&|OP^HIS|IHE-J^OP|OF^LIS|IHE-J^OF|20071101103040||OML^O33^OML_O33|20071101103
  040|P|2.5||||||~ISO IR87||ISO 2022-1994<cr>
PID|||0001000052^^^^PI||相互^太郎^^^^^L^I~ソウゴ^タロウ^^^^^L^P||19630926|M|||^^^^105-0
  004^^H^東京都港区新橋2丁目5番5号||^PRN^PH^^^^^^^^^03-3506-8010<cr>
PV1||O|01^^^^^C<cr>
SPM|1|00076787001&OP&00076787001||023^血清^JC10||||||||||||200711011200|||||||||001
  ^茶・生化学^99C01<cr>
ORC|NW|ord0001|||||||20071101103040|||0001^ドクタ姓^ドクタ名^^^^^^^L^^^^^I~^ドクタセイ^
  ドクタメイ^^^^^^^L^^^^^P|01^^^^^C||||01^内科^99R01||||||||||||O<cr>
TQ1|1||||||20071101||R<cr>
OBR|1|ord0001||E002^生化学学的検査^IOB_Obgrp|||200711011200||||||||0001^ドクタ姓^ドクタ
  名^^^^^^^L^^^^^I~^ドクタセイ^ドクタメイ^^^^^^^L^^^^^P<cr>
OBX|1||3A0100000023271^総タンパク(TP)^JC10||||||||O||R<cr>
OBX|2||3A0150000023271^アルブミン(ALB)^JC10||||||||O||R<cr>
```

8-6. 検査結果メッセージ 例③

*結果項目数: 3

```
MSH|^~\&|OF^LIS|IHE-J^OF|OP^HIS|IHE-J^OP|20071101131032||OUL^R22^OUL_R22|20071101131
  032|P|2.5||||||~ISO IR87||ISO 2022-1994<cr>
PID|||0001000052^^^^PI||相互^太郎^^^^^L^I~ソウゴ^タロウ^^^^^L^P||19630926|M|||^^^^105-0
  004^^H^東京都港区新橋2丁目5番5号||^PRN^PH^^^^^^^^^03-3506-8010<cr>
PV1||O|01^^^^^C<cr>
SPM|1|00076787001&&00076787001^20071101000001&&11010001001||023^血清^JC10||||||||||||
  |200711011200|20071101131032||||||||001^茶・生化学^99C01<cr>
SAC|||00076787001||||20071101131032<cr>
OBR|1|ord0001|20071101000001|E002^生化学学的検査^IOB_Obgrp|||200711011200||||||||0001
  ^ドクタ姓^ドクタ名^^^^^^^L^^^^^I~^ドクタセイ^ドクタメイ^^^^^^^L^^^^^P||||||2007110113103
  2|||F <cr>
ORC|SC|ord0001|||CM||||20071101132040|||0001^ドクタ姓^ドクタ名^^^^^^^L^^^^^I~^ドクタセイ
  ^ドクタメイ^^^^^^^L^^^^^P|01^^^^^C||||01^内科^99R01||||||||||||O<cr>
TQ1|1||||||20071101||R<cr>
OBX|1|NM|3A016000002327102^A/G比^JC10||1.7||1.2-2.0||||F||R|20071101123500|01^技師１^9
  9S01||||20071101123500<cr>
OBX|2|NM|3A010000002327101^総タンパク(TP)^JC10||7.2|1^ｇ/dL^99U01|6.70-8.3||||F||R|200
  71101123500|01^技師１^99S01||||20071101123500<cr>
OBX|3|NM|3A015000002327101^アルブミン(ALB)^JC10||4.9|1^ｇ/dL^99U01|3.7-5.5||||F||R|200
  71101123500|01^技師１^99S01||||20071101123500<cr>
```

9. 細菌検査（培養同定・感受性試験）の例

培養同定は、培養により発生する細菌種の数が不定であるが、同定できた菌名が検査結果でありその数だけOBXセグメントを作成する。さらに、感受性試験は同定できた菌ごとに行われるので、それに対応したOBRセグメントを生成し、試験薬剤ごとにOBXセグメントで結果報告する。感受性試験やその対象薬剤は施設により予め定めている場合と、個々に依頼する場合があるので事前の確認が必要である。同定菌を指定する場合、通常STタイプとなり、感受性薬剤コードとしては、JLAC10コードを使用することが望ましいが、日本国内においては、JANISの感染症サーベイランスが広く行われており、その統一コードを培養同定の菌名や感受性試験の試験薬剤として用いる事も可能である。この場合、同定菌名を表すOBXのOBX-2は「CWE」となる。

9-1. 血液培養依頼OMLメッセージ

<<依頼内容>>

依頼オーダ番号：081251234567800
検査項目　　：6B0100000017742(臨床検査学会コード) 培養同定(一般細菌)[材料血液]
優先度　　：R=ルーチン
要求日時　　：2008/01/25 09:00
採血日時　　：2008/01/26 08:00

採血者　　：識別コード=99-2、氏名=JONES、職種=COLLECTOR
検体処置コード：N=新生児採血
危険検体コード：Hepatitis risk
検体　　：017^血液^JC10
採取部位　　：^^JC10
依頼者　　：コード=4010、氏名=INTERN JOE、学位=MD、コード体系=L=ローカル
依頼者連絡先　：内線3472
サービス部門　：MB=細菌検査室

```
MSH|・・・・・|OML^O33^OML_O33|・・<cr>
PID|・・・・・<cr>
SPM|1|012345678061||017^血液^JC10||||||採取部位||10.0^mL&mL&99U01|||||200801260800||||
  ||||061^カルチャーボトル^99C01<cr>
ORC|NW・・・・・<cr>
OBR|1|081251234567800||6B0100000017742^培養同定(一般細菌)^JC10|R|200801250900|200801260
  800|||99-2^JONES&COLLECTOR|N|Hepatitis risk||||4010^INTERN^JOE^^^^MD^^^L<cr>
```

血液培養依頼時に感受性試験も明示的に依頼しなければならない場合は続けて

9-2.　血液培養依頼時に感受性試験も明示的に依頼する場合(OBR)

```
OBR|2|081251234567800E||6C2050000099762^薬剤感受性検査-MIC^JC10|R|200801250900|2008012
  60800||||A|||||4010^INTERN^JOE^^^^MD^^^L<cr>
```

さらに感受性対象薬剤も明示的に指定する場合は

9-3.　血液培養依頼時に感受性対象薬剤も明示的に指定する場合(OBX)

```
OBX|1|ST|6C205603109976205^Ampicillin MIC^JC10||||||||O<cr>
OBX|2|ST|6C205604209976205^Carbenicillin MIC^JC10||||||||O<cr>
OBX|3|ST|6C205623009976205^Gentamicin MIC^JC10||||||||O<cr>
OBX|4|ST|6C205628209976205^Tetracycline MIC^JC10||||||||O<cr>
OBX|5|ST|6C205604709976205^Piperacillin MIC^JC10||||||||O<cr>
OBX|6|ST|6C205608309976205^Cefuroxime MIC^JC10||||||||O<cr>
OBX|7|ST|6C205607109976205^Cephalothin MIC^JC10||||||||O<cr>
OBX|8|ST|6C205619309976205^Amoxicillin-Clavulanate^JC10||||||||O<cr>
```

9-4.　血液培養報告OULメッセージ

<<報告内容>>
検査オーダ番号：200812623456781
検体受付日　　：2008/01/26 10:15
報告日　　：2008/02/03 16:30
検査部門　　：MB=細菌検査室
結果状態　　：最終（培養同定）
検査結果　　：同定菌=E.Coli,S.Aureus
異常値フラグ　：A=異常

```
MSH|・・|OUL^R22^OUL_R22|・・
PID|・・
NTE|培養同定依頼<cr>
SPM|1|012345678061||017^血液^JC10||||||採取部位||10.0^mL&mL&L99U01|||||200801260800|||
  |||||061^カルチャーボトル^L<cr>
ORC|NW・・・・・<cr>
OBR|1|081251234567800|200812623456781|6B0100000017742^培養同定(一般細菌)^JC10|R|2008012
  50900|200801260800|||99-2^JONES&COLLECTOR|N|Hepatitis risk||200801261015||4010^INTE
  RN^JOE^^^^MD^^^L|X3472|||||200802031630||MB|F<cr>
NTE|同定結果<cr>
```

```
OBX|1|ST|6B010000001774214^培養同定(一般細菌)菌名判定^JC10|1|E.Coli|||A||F<cr>
OBX|2|ST|6B010000001774211^培養同定(一般細菌)菌量^JC10|1|(+)|||A||F<cr>
OBX|3|ST|6B010000001774214^培養同定(一般細菌)菌名判定^JC10|2|S.Aureus|||A||F<cr>
OBX|4|ST|6B010000001774211^培養同定(一般細菌)菌量^JC10|2|(2+)|||A||F<cr>
```

（※：培養同定結果として、同定菌E.Coliであって、菌量(+)と設定する場合、同定菌名、菌量の関係を明示するために、OBX-4を使用する）

続けて検査室からの感受性試験結果が有る場合

9-5. 感受性試験結果の例

親結果：6B010000001774214&&JC10^1^E.Coli=培養同定検査の１番目の結果（E.coli）
6B010000001774214&&JC10^2^S.Aureus=培養同定検査の２番目の結果（S.Aureus）

同一のSPM内にて、上記OBXに続いて…

```
NTE|結果１=E.coliの感受性結果<cr>
OBR|2|081251234567800|200812623456782|6C2050000099762^薬剤感受性MIC^JC10|R|20080125090
  0|200801260800|||99-2^JONES&COLLECTOR|N|Hepatitis risk||200801261015||4010^INTERN^J
  OE^^^^MD^^^L|X3472|||||200802031630||MB|F|6B010000001774214&&JC10^1^E.Coli|||200812
  623456781<cr>
NTE|E.coliの感受性結果<cr>
OBX|1|SN|6C205603109976205^Ampicillin MIC^JC10||<^2|ug/mL||S|||F<cr>
OBX|2|SN|6C205604209976205^Carbenicillin MIC^JC10||<^16|ug/mL||S|||F<cr>
OBX|3|SN|6C205623009976205^Gentamicin MIC^JC10||<^2|ug/mL||S|||F<cr>
OBX|4|SN|6C205628209976205^Tetracycline MIC^JC10||<^1|ug/mL||S|||F<cr>
OBX|5|SN|6C205604709976205^Piperacillin MIC^JC10||<^8|ug/mL||S|||F<cr>
OBX|6|SN|6C205608309976205^Cefuroxime MIC^JC10||<^2|ug/mL||S|||F<cr>
OBX|7|SN|6C205607109976205^Cephalothin MIC^JC10||<^8|ug/mL||S|||F<cr>
OBX|8|SN|6C205619309976205^Amoxicillin-Clavulanate^JC10||<^4|ug/mL||S|||F<cr>

NTE|結果２=S.Aureusの感受性結果<cr>
OBR|3||081251234567800|200812623456783|6C2050000099762^薬剤感受性MIC^JC10|R|2008012509
  00|200801260800|||99-2^JONES&COLLECTOR|N|Hepatitis risk||200801261015||4010^INTERN^
  JOE^^^^MD^^^L|X3472|||||200802031630||MB|F|6B010000001774214&&JC10^2^S.Aureus|||200
  812623456781<cr>
NTE|S.Aureusの感受性結果<cr>
OBX|1|SN|6C205603109976205^Ampicillin MIC^JC10||<^8|ug/mL||R|||F<cr>
OBX|2|SN|6C205632109976205^Clindamycin MIC^JC10||<^.25|ug/mL||S|||F<cr>
OBX|3|SN|6C205623009976205^Gentamicin MIC^JC10||<^1|ug/mL||S|||F<cr>
OBX|4|SN|6C205630009976205^Erythromycin MIC^JC10||<^.5|ug/mL||S|||F<cr>
OBX|5|SN|6C205602109976205^Oxacillin MIC^JC10||<^.5|ug/mL||S|||F<cr>
OBX|6|SN|6C205634209976205^Vancomycin MIC^JC10||<^2|ug/mL||S|||F<cr>
OBX|7|SN|6C205601009976205^Penicillin MIC^JC10||<^8|ug/mL||R|||F<cr>
OBX|8|SN|6C205607109976205^Cephalothin MIC^JC10||<^2|ug/mL||S|||F<cr>
```

9-6. 抗酸菌の耐性検査の結果について

抗酸菌の耐性検査結果は、同一薬剤について、複数の濃度に対しての感受性結果を入力する事になるため、結果値OBX-5として濃度をセットし、OBX-8の異常フラグにSIR値を記載する。

親結果：6B305000006174614&&JC10^1^ M.kansasii=小川培養検査の１番目の結果（M.Kansasii）

```
NTE|結果１=M.Kansasiiの薬剤耐性結果<cr>
OBR|3||081251234567900|200812623457785|6C105000006176801^抗酸菌薄層ディスク法^JC10|R|20
  0801250900|200801260800|||99-2^JONES&COLLECTOR|N|Hepatitis risk||200801261015||4010
  ^INTERN^JOE^^^^MD^^^L|X3472|||||200802031630||MB|F|6B305000006174614&&JC10^1^M.kans
  asii|||200812623456784<cr>
NTE|M.Kansasiiの薬剤耐性結果<cr>
OBX|1|NM|6C105621006176801^ストレプトマイシン^JC10|1|1.0|||R|||F<cr>
OBX|2|NM|6C105621006176801^ストレプトマイシン^JC10|2|2.0|||S|||F<cr>
```

10.　前回値のある検査依頼（分析装置検査依頼）

前回値のある検査依頼

```
MSH|^~\&|LIS|IHE-J^AM|ANA|IHE-J^LD|20070205140657||OML^O33^OML_O33|20070205140657|P|
  2.5||||||~ISO IR87||ISO 2022-1994<cr>
PID|||0000000101^^^^PI||田中^一郎^^^^^L^I~タナカ^イチロウ^^^^^L^P||19630926|M<cr>
PV1|1|O|01^^^^^C<cr>
SPM|1|20070205000001_0_01&&02052001001^&&02052001001||023^血清^JC10||||||||||||20070
  202000000|20070205140317||||||||001^生化学^99C01<cr>
SAC|||02052001001||||20070205140657<cr>
ORC|NW|02052001001||||||20070205140657|||0001^山田^三郎^^^^^^^L^^^^^I~^ヤマダ^サブロウ^
  ^^^^^^L^^^^^P|01^^^^^C||||01^内科^99R01||||||||||||O<cr>
TQ1|1||||||20070205||R<cr>
OBR|1|20070205000001||E002^生化学学的検査^IOB_Obgrp||200702022000|20070202000000||||||
  |20070202000000||0001^山田^三郎^^^^^^^L^^^^^I~^ヤマダ^サブロウ^^^^^^^L^^^^^P||||||2007
  0205140657<cr>
OBX|1||3A0100000023271^総タンパク(TP)^JC10||||||||O<cr>
OBX|2||3A0150000023271^アルブミン(ALB)^JC10||||||||O<cr>
PV1|2|O|01^^^^^C<cr>
ORC|PR|02012001001|||CM||||20070201123541|||0001^山田^三郎^^^^^^^L^^^^^I~^ヤマダ^サブロ
  ウ^^^^^^^L^^^^^P|01^^^^^C||||01^内科||||||||||||O<cr>
OBR|2|20070201000001||E002^生化学学的検査^IOB_Obgrp||200702011000|20070201000000||||||
  |20070201000000||0001^山田^三郎^^^^^^^L^^^^^I~^ヤマダ^サブロウ^^^^^^^L^^^^^P||||||2007
  0201110547|||F <cr>
OBX|1|NM|3A010000002327101^総タンパク(TP)^JC10||7.2|1^ｇ/dL^99U01|6.70-8.3||||F||R|200
  70201121500|01^技師１^99S01||||20070201121500<cr>
OBX|2|NM|3A015000002327101^アルブミン(ALB)^JC10||4.9|1^ｇ/dL^99U01|3.7-5.5||||F||R|200
  70201121500|01^技師１^99S01||||20070201121500<cr>
```

11.　検査依頼メッセージの問合せと応答メッセージの例

11-1.　自動分析装置からLISへ検査依頼を問い合わせる。

採取管ID(SAC-3)が123456789、キャリアID(SAC-10)が100、キャリア内位置(SAC-11)が98を検索条件に設定して問い合わせる。

```
MSH|^~\&|LD|IHE-J^LD|LIS|IHE-J^AM|20071012170824||QBP^WOS^QBP_Q11|20071012170824|P|
  2.5||||||~ISO IR87||ISO 2022-1994<cr>
QPD|WOS^Work Order Step^IHE_LABTF|20071012170824|^&&123456789|123456789|100|98<cr>
RCP|I|1^RD|R<cr>
```

11-2.　LISから自動分析装置へ検査依頼情報を回答する。

採取管ID(SAC-3)が123456789、キャリアID(SAC-10)が100、キャリア内位置(SAC-11)が98である検査依頼情報を回答する。

```
MSH|^~\&|LIS|IHE-J^AM|LD|IHE-J^LD|20071012170950||RSP^WOS^RSP_K11|20071012170950|P|
  2.5||||||~ISO IR87||ISO 2022-1994<cr>
MSA|AA|20071012170824<cr>
QAK|Q001|OK|WOS^Work Order Step^IHE_LABTF|1<cr>
QPD|WOS^Work Order Step^IHE_LABTF|20071012170824|^&&123456789|123456789|100|98<cr>
SPM|1|20071012000001_0_01&&123456789^&&123456789||023^血清^JC10||||||||||||200710120
  000|20071012165011||||||||001^生化学^99C01<cr>
PID|||0000000101^^^^PI||YAMADA^TARO^^^^^L^A~山田^太郎^^^^^L^I~ヤマダ^タロウ^^^^^L^P||19
  6303241225|M<cr>
ORC|NW|20071012000001||||||20071012170950|||10001^鈴木^次郎^^^^^^^L^^^^^I~^スズキ^ジロ
  ウ^^^^^^^L^^^^^P|01^^^^^C||||01^内科^99R01||||||||||||O<cr>
TQ1|1||||||200710121630||R<cr>
OBR|1|20071012000001||E002^生化学学的検査^IOB_Obgrp|||200710120000||||||2007101216501
  1||10001^鈴木^次郎^^^^^^^L^^^^^I~^スズキ^ジロウ^^^^^^^L^^^^^P||||||20071012170950<cr>
OBX|1||006^CRP^99I01||||||||O<cr>
OBX|2||004^γ-GTP^99I01||||||||O<cr>
OBX|3||003^GPT^99I01||||||||O<cr>
OBX|4||002^GOT^99I01||||||||O<cr>
OBX|5||001^総蛋白^99I01||||||||O<cr>
```

© JAHIS 2012

12. 自動化装置ステータス更新メッセージの例

生化学分析機（装置ID=0001）からLASへ装置ステータス情報を送信する。

```
MSH|^~\&|LD|IHE-J^LD|LAS|IHE-J^AM|19980630080040||ESU^U01^ESU_U01|19980630080040|P|
  2.5||||||~ISO IR87||ISO 2022-1994<cr>
EQU|0001^CHEMISTRYANALYZER|19980630080038|PU^POWERED_UP|L^LOCAL|N^NORMAL<cr>
ISD|123456789|IN^INIT|OK<cr>
```

13. 自動化装置ステータス要求メッセージの例

LASから生化学分析機（装置ID=0001）へ装置ステータス情報を要求する。

```
MSH|^~\&|LAS|IHE-J^AM|LD|IHE-J^LD|19980630080040||ESR^U02^ESR_U02|19980630080040|P|
  2.5||||||~ISO IR87||ISO 2022-1994<cr>
EQU|0001^CHEMISTRYANALYZER|19980630080038<cr>
```

14. 検体ステータス更新(Specimen status update)メッセージの例

14-1. 生化学分析機（装置ID=0001）からLASへ検体ステータス情報を送信する。

生化学分析機（装置ID=0001）が血液を載せた分注採取管（id=092321A）を「認識」している事をLASへ送信。この採取管は５本キャリア（id=120）の１番目にあり、（このキャリアは）input buffer１にある。

```
MSH|^~\&|LD|IHE-J^LD|LAS|IHE-J^AM|19980630080040||SSU^U03^SSU_U03|19980630080040|P|
  2.5||||||~ISO IR87||ISO 2022-1994<cr>
EQU|0001^CHEMISTRYANALYZER|19980630080038|OP<cr>
SAC|||092321A^LAS||||19980620080037|I|R05|120|1||||IB1^INPUT_BUFFER_1<cr>
SPM|1|&&06302001015^19980630000001&&092321A||023^血清^JC10||||||||||||19980630000000
  |19980630075040||||||||001^容器001^99C01<cr>
```

14-2. 前処理装置（装置ID=0001）からLASへ検体ステータス情報を送信する。

前処理装置0001が仕分け分注操作を行った。（図14 検体ステータス更新の参考図 参照）output buffer1にあった、２番目の位置に親採取管（id=12345）があるキャリア（id=2002）は、output tray（id=A1203）の４番目のポジションに移動した。分注採取管（id=12345A）は可搬キャリアid=045）の３行２列目に仕分けされた。このキャリアは仕分け架台の４番目である。

```
MSH|^~\&|LD|IHE-J^LD|LAS|IHE-J^AM|19980630080040||SSU^U03^SSU_U03|19980630080040|P|
  2.5||||||~ISO IR87||ISO 2022-1994<cr>
EQU|0001^AQS|19980630080043|OP<cr>
SAC|||12345^LAS||||19980620080039|R^COMPLETED|R03|2002|2|OT^OUTPUT_TRAY|A1203^AQSTRA
  Y|4|OB1^OUTPUT_BUFFER_1<cr>
SPM|1|&&06302001015^19980630000001&&12345||023^血清^JC10||||||||||||19980630000000|1
  9980630075040||||||||001^容器001^99C01<cr>
SAC|||12345A^LAS|12345^LAS|||19980620080039|R^COMPLETED|R14|045|3^2||||4||||||2|0.5|
  |mL<cr>
SPM|1|&&06302001015^19980630000001&&12345||023^血清^JC10||||||||||||19980630000000|1
  9980630075040||||||||101^分注容器101^99C01<cr>
```

© JAHIS 2012

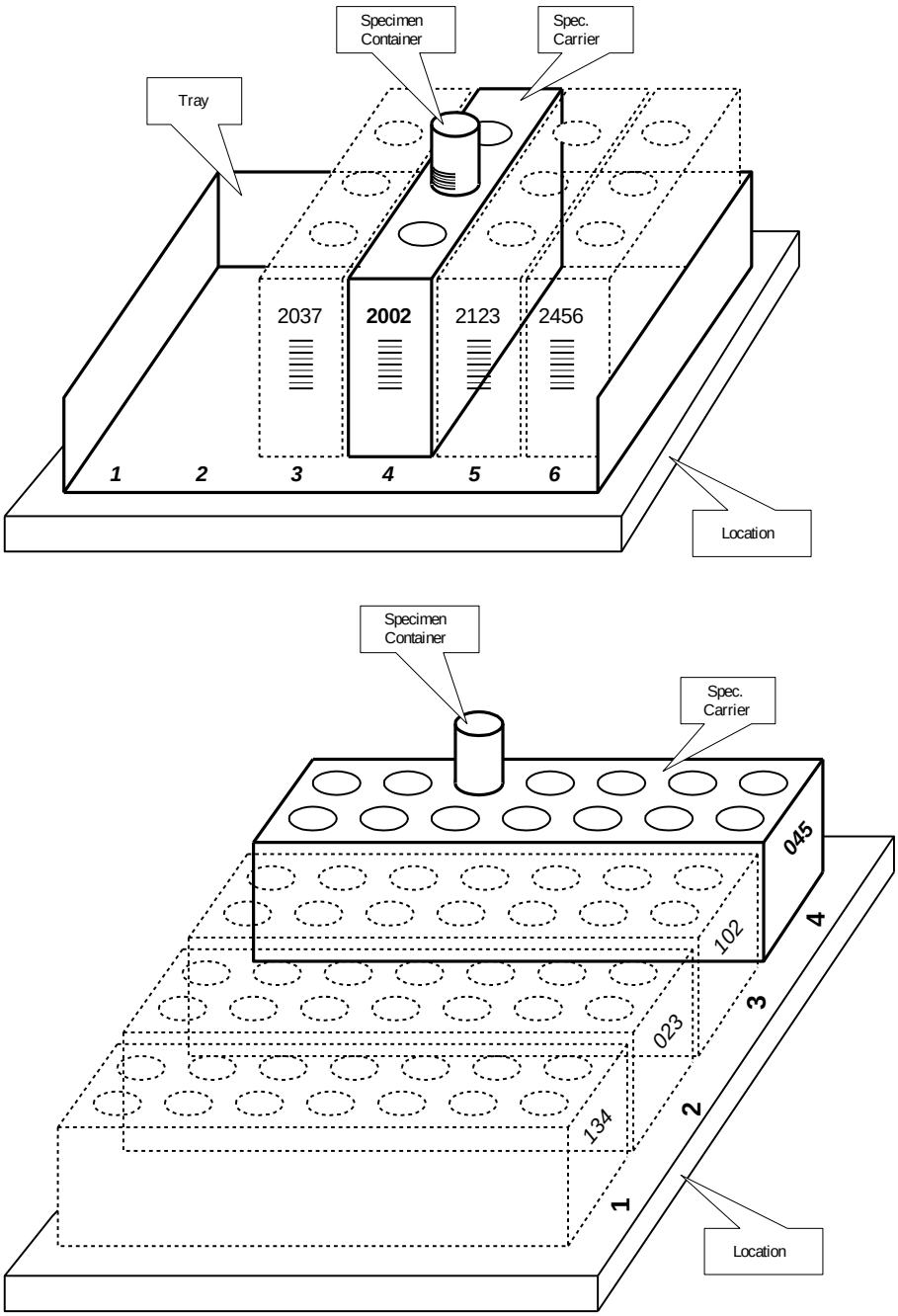


図14 検体ステータス更新の参考図

© JAHIS 2012

15. 検体ステータス要求(Specimen status request)メッセージの例

生化学分析機（装置ID=0001）からLASに採取管（id=092321A）のステータスを要求する。

```
MSH|^~\&|LAS|IHE-J^AM|LD|IHE-J^LD|19980630080040||SSR^U04^SSR_U04|19980630080040|P|
  2.5||||||~ISO IR87||ISO 2022-1994<cr>
EQU|0001^CHEMISTRYANALYZER|19980630080038|OP<cr>
SAC|||092321A^LAS||||19980620080023<cr>
SPM|1|&&06302001015^19980630000001&&092321A||001^血清^99M01||||||||||||1998063000000
  0|19980630075040||||||||001^容器001^99C01<cr>
```

16. 自動化装置在庫更新メッセージの例

生化学分析機（装置ID=0001）からLASへ試薬ボトル(id=12345)に入っているTSH試薬(id=01239)の状態を送信する。

```
MSH|^~\&|LD|IHE-J^LD|LAS|IHE-J^AM|19980630080040||INU^U05^INU_U05|19980630080040|P|
  2.5||||||~ISO IR87||ISO 2022-1994<cr>
EQU|0001^CHEMISTRYANALYZER|19980630080038|OP<cr>
INV|MF01239^REAGENT1|OK^OK_STATUS|SR^SINGLE_TEST_REAGENT|12345^BOTTLE_NUM||||190||M
  L|20000101|||TSH|A12345678|PROD1||60^D<cr>
```

17. 自動化装置在庫要求メッセージの例

LASから生化学分析機（装置ID=0001）へ物資(id=MF01239)のすべての容器の状態を問い合わせる。

```
MSH|^~\&|LAS|IHE-J^AM|LD|IHE-J^LD|19980630080040||INR^U06^INR_U06|19980630080040|P|
  2.5||||||~ISO IR87||ISO 2022-1994<cr>
EQU|0001^CHEMISTRYANALYZER|19980630080038|OP<cr>
INV|MF01239^REAGENT1|OK^OK_STATUS<cr>
```

18. 自動化装置コマンド(Automated equipment command)メッセージの例

LASから生化学分析機（装置ID=0001）へ通知クリアコマンドを送信する。

```
MSH|^~\&|LAS|IHE-J^AM|LD|IHE-J^LD|19980630080040||EAC^U07^EAC_U07|19980630080040|P|
  2.5||||||~ISO IR87||ISO 2022-1994<cr>
EQU|0001^CHEMISTRYANALYZER|19980630080038|OP<cr>
ECD|89421|CN^CLEAR NOTIFICATION|Y<cr>
CNS|1209|1500|199806010800|199806300800<cr>
```

19. 自動化装置応答(Automated equipment response)メッセージの例

生化学分析機（装置ID=0001）からLASへ初期化コマンドの実行完了を送信する。

```
MSH|^~\&|LD|IHE-J^LD|LAS|IHE-J^AM|19980630080040||EAR^U08^EAR_U08|19980630080040|P|
  2.5||||||~ISO IR87||ISO 2022-1994<cr>
EQU|0001^CHEMISTRYANALYZER|19980630080038|OP<cr>
ECD|89421|IN^INIT|Y<cr>
ECR|OK^COMMAND_COMPLETE|19980630080035<cr>
```

© JAHIS 2012

20. 動化装置通知(Automated equipment notification)メッセージの例

生化学分析機（装置ID=0001）が検知ユニットのドリフトについての通知(警告)を送信する。

```
MSH|^~\&|LD|IHE-J^LD|LAS|IHE-J^AM|19980630080040||EAN^U09^EAN_U09|19980630080040|P|
  2.5||||||~ISO IR87||ISO 2022-1994<cr>
EQU|0001^CHEMISTRYANALYZER|19980630080038|OP<cr>
NDS|8923|199806300800|W^WARNING|DU001^DETECTION UNIT DRIFT<cr>
```

21. 自動化装置検査コード設定更新メッセージの例

LASより生化学分析機（装置ID=0001）に対し、グルコース検査の設定を以下のように更新する。
APID：GLU-HK、検査材料：血清、自動希釈率のデフォルト：10、再検希釈率のデフォルト：10、
予備希釈無し、残量警告レベル：500、自動再検許可、多重測定許可、自動追加（reflex）禁止、ダイナミックレンジ：2-400 mg/dL、通常処理

```
MSH|^~\&|LAS|IHE-J^AM|LD|IHE-J^LD|19980630080040||TCU^U10^TCU_U10|19980630080040|P|
  2.5||||||~ISO IR87||ISO 2022-1994<cr>
EQU|0001^CHEMISTRYANALYZER|19980630080038|OP<cr>
SPM|||SER^SERUM^L<cr>
TCC|15074-8^GLUCOSE|GLU-HK^CHEMISTRYANALYZER||^10|^10|^0|0|500|Y|Y|N|^2^__^400|mg/dL
  |P<cr>
```

22. 自動化装置検査コード設定要求メッセージの例

生化学分析機（装置ID=0001）よりLASに対し、グルコース検査の検査コード設定を以下のように要求する。
APID:GLU-HK

```
MSH|^~\&|LD|IHE-J^LD|LAS|IHE-J^AM|19980630080040||TCR^U11^TCR_U11|19980630080040|P|
  2.5||||||~ISO IR87||ISO 2022-1994<cr>
EQU|0001^CHEMISTRYANALYZER|19980630080038|OP<cr>
TCC|15074-8^GLUCOSE|GLU-HK^CHEMISTRYANALYZER<cr>
```

23. 自動化装置ログ/サービス更新メッセージの例

生化学分析機（装置ID=0001）がLASへイベントログの1レコードを送信する。

```
MSH|^~\&|LD|IHE-J^LD|LAS|IHE-J^AM|19980630080040||LSU^U12^LSU_U12|19980630080040|P|
  2.5||||||~ISO IR87||ISO 2022-1994<cr>
EQU|0001^CHEMISTRYANALYZER|19980630080038|OP<cr>
EQP|LOG^LOG_EVENT||199806300755|199806300800|I976 Instrument Initialization<cr>
```

24. 自動化装置ログ/サービス要求メッセージの例

LASが生化学分析機（装置ID=0001）へ、1998年6月30日午前7時から同8時までに起こったイベントのログファイルを要求する。

```
MSH|^~\&|LAS|IHE-J^AM|LD|IHE-J^LD|19980630080040||LSR^U13^LSR_U13|19980630080040|P|
  2.5||||||~ISO IR87||ISO 2022-1994<cr>
EQU|0001^CHEMISTRYANALYZER|19980630080038|OP<cr>
EQP|LOG^LOG_EVENT||199806300700|199806300800| <cr>
```

注：EQP-5はスペースを設定している。

© JAHIS 2012

25. ロケーションマスタファイル照会

25-1. 看護詰所2N、101号室のロケーションマスタファイル情報を要求する

```
MSH|^~\&|BEDMGMT|HSP1|HIS|HSP1|200105311135||QBP^Znn^QBP_Q11|8699|P|2.5・・<cr>
QPD|Znn^Find Location^HL70471|1022|LOC^Location Master^HL70175|HSP1|2N^101^^HSP1・・<c
  r>
RCP|I||R・・<cr>
```

25-2. 看護詰所2N、101号室のロケーションマスタファイル情報を応答する

```
MSH|^~\&|HIS|HSP1|BEDMGMT|HSP1|200105311136||RSP^Znn^RSP_Q11|1|P|2.5|・・<cr>
MSA|AA|8699<cr>
QAK|1022|OK| Znn^Find Location^HL70471|1|1|0・・<cr>
QPD|Znn^Find Location^HL70471|1022|LOC^Location Master^HL70175|HSP1|2N^101^^HSP1・・<c
  r>
MFE|MAD|||2N^101^^HSP1|PL<cr>
LOC|2N^101^^HSP1|Station 2 North, room 101|R|||^PRN^PH^^^^^^^^^^(407)804-5000||IVP|P<c
  r>
LCH|2N^101^^HSP1|||PRL^Privacy level^HL70324|S^Semi-private room^HL70262<cr>
LCH|2N^101^^HSP1|||SMK^Smoking^HL70324|Y^^HL70136<cr>
```

QAKセグメントで識別された単一の一致が返された。そのロケーション定義と特性はLOCとLCHセグメントで返される。

26. 一般マスタファイル更新通知（オリジナル応答モード）

26-1. サイト定義「Z」セグメントを含むメッセージを応答システムへ送信する

```
MSH|^~\&|HL7REG|UH|HL7LAB|CH|200106290544||MFN^M14^MFN_ZGN|MSGID001|P|2.5・・<cr>
MFI|HL70006^RELIGION^HL70175||UPD|||AL<cr>
MFE|MAD|6772331|200106290500|BUD^Buddhist^HL70006|CWE<cr>
ZGN|BUD^Buddhist^HL70006|3<cr>
MFE|MAD|6772332|200106290500|BOT^Buddhist: Other^HL70006|CWE<cr>
ZGN|BOT^Buddhist: Other^HL70006|4<cr>
```

26-2. 受信したメッセージは処理可能と判断し、MFN^M14メッセージを開始側システムへ送信する

```
MSH|^~\&|HL7LAB|CH|HL7REG|UH|200106290545||MFK^M14^MFK_M01|MSGID99001|P|2.5・・<cr>
MSA|AA|MSGID001<cr>
MFI|HL70006^RELIGION^HL70175||UPD|||AL<cr>
MFA|MAD|6772331|200106290545|S|BUD^Buddhist^HL70006|CWE<cr>
MFA|MAD|6772332|200106290545|S|BOT^Buddhist: Other^HL70006|CWE<cr>
```

MSA-1 - Acknowledgment Code はメッセージが受信され成功裏に処理されたことを示す「AA」を含んでいることに注意。この値はメッセージが受信されたが成功裏に処理しなかったことを示す「AE」または「AR」であることもある。MSA-2 - Message Control ID は開始側メッセージへの応答と連携する開始側MFN^M14 メッセージ(MSGID001)のMSH-10 - Message Control ID からの値を含む。

26-3. 日本臨床検査医学会臨床検査項目分類コード材料コード表の更新例

この例では既存の材料コード表を更新する（「蓄尿」を「24時間蓄尿」と変更）。

```
MSH|^~\&|JSCPREG|JSCP|LAB|OAL|20000313143000||MFN^M14^MFN_ZGN|MSGID1|P|2.5|||NE|NE・・
  <cr>
MFI|SP^材料コード^JC10||UPD|||NE<cr>
MFE|MUP||200003150000|004^蓄尿&pooled urine^JC10|CWE<cr>
ZGN|004^24時間蓄尿&24h pooled urine^JC10<cr>
```

27. 一般マスタファイル更新通知（拡張モードアプリケーションレベル応答）

27-1. サイト定義「Z」セグメントを含まないメッセージを応答側システムへ送信する。

```
MSH|^~\&|HL7REG|UH|HL7LAB|CH|200106290544||MFN^M13^MFN_M01|MSGID004|P|2.5|||AL|AL・・<
  cr>
MFI|HL70006^RELIGION^HL70175||UPD|||AL<cr>
MFE|MAD|6772333|200106290500|BUD^Buddhist^HL70006|CWE<cr>
MFE|MAD|6772334|200106290500|BOT^Buddhist: Other^HL70006|CWE<cr>
```

ACKメッセージを開始側システムへ送信する

受信したメッセージは処理可能と判断し、開始側メッセージのMSH-15 - Accept Acknowledgment は受信応答が必要（「AL」）と識別しているので、ACKメッセージが応答側によって組み立てられ、MFN^M13メッセージの応答と識別して開始側システムへ送信される。

```
MSH|^~\&|HL7LAB|CH|HL7REG|UH|200106290545||ACK^M13^ACK|MSGID99004|P|2.5・・<cr>
MSA|CA|MSGID004<cr>
```

MSA-1 - Acknowledgment Code はメッセージが受信されそして安全に保管することを約束した識別である「CA」を含んでいることに注意。この値はメッセージが受信されたが成功裏に処理しなかったことを示す「CE」または「CR」であることもある。MSA-2 - Message Control ID は開始側メッセージへの応答と連携する開始側MFN^M13 メッセージ(MSGID004)のMSH-10 - Message Control ID からの値を含む。

MFK^M13応答メッセージを開始側システムへ送信する

開始側システムはこの例ではアプリケーションレベル応答（「AL」）を要求していることをMSH-16 - Application Acknowledgment Typeによって識別している。応答側は、開始側システムに上記ACKメッセージの送信することに続きある時点で、MFN^M13メッセージの処理を行うであろう。メッセージ処理が完結すれば、アプリケーション応答はメッセージが処理された識別で応答側から開始側システムへ送信される。応答側はMFK^M13応答メッセージを組み立て、そしてそれを開始側システムへ送信する。

```
MSH|^~\&|HL7LAB|CH|HL7REG|UH|200106290550||MFK^M13^MFK_M01|MSGID99501|P|2.5|||AL|・・<
  cr>
MSA|AA|MSGID004<cr>
MFI|HL70006^RELIGION^HL70175||UPD|||AL<cr>
MFA|MAD|6772333|200106290550|S|BUD^Buddhist^HL70006|CWE<cr>
MFA|MAD|6772334|200106290550|S|BOT^Buddhist: Other^HL70006|CWE<cr>
```

MSA-1 - Acknowledgment Code はメッセージが受信され成功裏に処理されたことを示す「AA」を含んでいることに注意。この値はメッセージが受信されたが成功裏に処理しなかったことを示す「AE」または「AR」であることもある。この値は後続のすべてのMFAセグメントに適用する。

ACKメッセージを応答側システムへ送信する

MSA-2 - Message Control ID は開始側メッセージへのアプリケーション応答と連携する開始側MFN^M13 メッセージ(MSGID004)のMSH-10 - Message Control ID からの値を含む。開始側システムは応答側からのアプリケーション応答メッセージを受信し、そしてその応答であるACKメッセージを形成する。以下のメッセージが応答側システムへ送信される

```
MSH|^~\&|HL7REG|UH|HL7LAB|CH|200106290551||ACK^M13^ACK|MSGID445|P|2.5・・<cr>
MSA|CA|MSGID99501<cr>
```

MSA-2 - Message Control IDは、開始側からのMFN^M13でなく、ちょうど受信したMFK^M13メッセージ(MSGID99501)のMSH-10 - Message Control IDからの値を含んでいることに注意。

27-2. 日本臨床検査医学会臨床検査項目分類コード材料コード表の更新例

この例では既存の材料コード表を更新する（「蓄尿」を「24時間蓄尿」と変更）。

```
MSH|^~\&|JSCPREG|JSCP|LAB|OAL|20000313143000||MFN^M13^MFN_M01|MSG01|P|2.5|||NE|NE・・<
  cr>
MFI|SP^材料コード^JC10||UPD|||NE<cr>
MFE|MUP||200003150000|004^24時間蓄尿&24h pooled urine^JC10|CWE<cr>
```

28. 検査項目マスタファイル更新通知

28-1. 数値結果項目の例

```
MSH|^~\&||OAL||OTAL|20000229083030||MFN^M08^MFN_M08|MSGID100|P|2.5|||NE|NE・・<cr>
MFI|OMA^数値型検査項目マスタファイル^99F01||UPD|||NE<cr>
MFE|MUP|||5F016141002300532^HBs抗原^JC10|CWE<cr>
OM1|1|5F016141002300532^HBs抗原^JC10^0070^^OAL|ST|Y|OAL^^L|||HBs-AG-RIA ||||Y||||OAL|
  |A・・<cr>
OM2|1|^Index^L|4.1|||&1.0|2.0&・・<cr>
OM4|1|||||023^血清^JC10||||0.5|0.1・・<cr>
```

28-2. カテゴリー値結果項目の例

```
MSH|^~\&||OAL||OTAL|20000229083030||MFN^M09^MFN_M09|MSGID101|P|2.5|||NE|NE・・<cr>
MFI|OMB^判定値型検査項目マスタファイル^99F01||UPD|||NE<cr>
MFE|MUP|||5F016141002311611^HBs抗原定性^JC10|CWE<cr>
OM1|1|5F016141002311611^HBs抗原定性^JC10^0836^^OAL|ST|Y|OAL^^L|||HBs抗原定性-PA ||||Y||
  ||OAL||A・・<cr>
OM3|1||-^negative^99V01~+^positive^99V01|-^negative^99V01|+^positive^99V01|+^positiv
  e^99V01|ST・・<cr>
OM4|1|||||023^血清^JC10||||0.5|0.2・・<cr>
```

29. 検査項目マスタファイル更新通知（オリジナルモード）

マスタファイル仕様を使用している検査システムが2件の更新用検査辞書エントリをICUシステムに送ることを示す。

```
MSH|^~\&|LABxxx|ClinLAB|ICU||19910918060544||MFN^M03^MFN_M03|MSGID002|P|2.5・・<cr>
MFI|LABxxx^Lab Test Dictionary^99F01||UPD|||AL<cr>
MFE|MUP|199109051000|199110010000|12345^WBC^99I01<cr>
OM1|・・<cr>
MFE|MUP|199109051015|199110010000|6789^RBC^99I01
OM1|・・<cr>
```

MFI応答レベルコード**AL**による**HL7**メッセージのオリジナルモード応答

```
MSH|^~\&|ICU||LABxxx|ClinLAB|19910918060545||MFK^M03^MFK_M01|MSGID99002|P|2.5・・<cr>
MSA|AA|MSGID002<cr>
MFI|LABxxx^Lab Test Dictionary^99F01||UPD|||AL<cr>
MFA|MUP|199110010000|199110010040|S|12345^WBC^99I01<cr>
MFA|MUP|199110010000|199110010041|S|6789^RBC^99I01<cr>
```

30. 検査項目マスタファイル更新通知（拡張モード）

応答受諾を伴う初期メッセージ

```
MSH|^~\&|LABxxx|ClinLAB|ICU||19910918060544||MFN^M03^MFN_M03|MSGID002|P|2.5|||AL|A
  L・・<cr>
MFI|LABxxx^Lab Test Dictionary^99F01||UPD|||AL<cr>
MFE|MUP|199109051000|199110010000|12345^WBC^99I01<cr>
```

```
OM1|・・<cr>
MFE|MUP|199109051015|199110010000|6789^RBC^99I01<cr>
OM1|・・<cr>

MSH|^~\&|ICU||LABxxx|ClinLAB|19910918060545||ACK^M03^ACK|MSGID99002|P|2.2・・<cr>
MSA|CA|MSGID002<cr>
```

アプリケーション応答メッセージ

```
MSH|^~\&|ICU||LABxxx|ClinLAB|19911001080504||MFK^M03^MFK_M01|MSGID5002|P|2.5|||AL|・・
  <cr>
MSA|AA|MSGID002<cr>
MFI|LABxxx^Lab Test Dictionary^99F01||UPD|||AL<cr>
MFA|MUP|199109051000|199110010040|S|12345^WBC^99I01<cr>
MFA|MUP|199109051015|199110010041|S|6789^RBC^99I01<cr>

MSH|^~\&|LABxxx|ClinLAB|ICU||19911001080507||ACK^M03^ACK|MSGID444|P|2.5・・<cr>
MSA|CA|MSGID5002<cr>
```

31. 検査項目マスタファイル更新通知（遅延アプリケーション応答）

もし「オリジナルモードの例」でメッセージレベルアプリケーション応答を必要としないMFNメッセージであったなら（すなわち、MSHセグメント = NE のアプリケーション応答コード）、オリジナルMFNメッセージに結付かない遅延アプリケーションレベル応答を提供するために（マスタファイル章が定義した）MFDメッセージが使われる。
次の例はオリジナルメッセージにないMFEセグメントのための応答を含む。

受諾応答を伴う初期メッセージ

```
MSH|^~\&|LABxxx|ClinLAB|ICU||19910918060544||MFN^M03^MFN_M03|MSGID002|P|2.5|||AL|N
  E・・<cr>
MFI|LABxxx^Lab Test Dictionary^99F01|UPD|||AL<cr>
MFE|MUP|199109051000|199110010000|12345^WBC^99I01<cr>
OM1|・・<cr>
MFE|MUP|199109051015|199110010000|6789^RBC^99I01<cr>
OM1|・・<cr>

MSH|^~\&|ICU||LABxxx|ClinLAB|19910918060545||ACK^M03^ACK|MSGID99002|P|2.2・・<cr>
MSA|CA|MSGID002<cr>
```

遅延アプリケーション応答

```
MSH|^~\&|ICU||LABxxx|ClinLAB|19911001080504||MFD^M03^MFD_MFA|MSGID65002|P|2.5|||AL
  |・・<cr>
MFI|LABxxx^Lab Test Dictionary^99F01||UPD|||AL<cr>
MFA|MUP|199109051000|199110010040|S|12345^WBC^99I01<cr>
MFA|MUP|199109051015|199110010041|S|6789^RBC^99I01<cr>
MFA|MUP|199109051025|199110010041|S|4339^HGB^99I01<cr>

MSH|^~\&|LABxxx|ClinLAB|ICU||19911001080507||ACK^MFD^ACK|MSGID444|P|2.5・・<cr>
MSA|CA|MSGID65002<cr>
```

32. 検体ラベル発行メッセージの例

1. 内科（科コード：051）の山田次郎医師（職員番号：14789）は患者、豊田太郎(患者番号：1111222)を診察し、肝機能検査（オーダ番号：1234561、セット検査コード：17432）と血球計数検査（オーダ番号：1234562、セット検査コード：18655）をHIS端末を通して依頼する。
2. 患者は中央採血室の受付に診察カードを差し出す。
3. 採血受付担当者はHIS端末にて当該患者の検査依頼をチェックし、検体ラベルの発行を指示する。

4. HISがラベル情報を採血管準備システム（LBL system）に送信する。
採血管は２種（容器コード021：生化、容器コード015：血算）。
検体管理番号はそれぞれ1234561001および1234562001。
検体番号（バーコード番号）はそれぞれ1234560001および1234560002。
5. 採血管準備システムはバーコードラベルを発行、所定の採血管に貼付け、払い出す。
6. 採血担当者は採血を実施する。

32-1. ラベル情報メッセージの例（OML^O33^OML_O33）

```
MSH|^~\&|LIP|内科|LB|LBL system|20070112134854||OML^O33^OML_O33|20070112134854|P|2.5|
  |||||~ISO IR87||ISO 2022-1994<cr>
PID|||1111222||Toyota^Taro^^^^^L^A~豊田^太郎^^^^^L^I~とよた^たろう^^^^^L^P||19810101|M
  <cr>
PV1||O|01^^^^C||||14789^山田^次郎^^^^^^^L^^^^^I|||01<cr>
SPM|1|1234561001&LB&1234560001||023^血清^JC10|||||||P|6.0^mL|||||20070112||||||||1|0
  21^生化^99C01<cr>
ORC|NW|1234561|||||||200701121348|14789^山田^次郎^^^^^^^L^^^^^I||14789^山田^次郎^^^^^^^
  L^^^^^I|||||051^内科^99R01||||||||||||O<cr>
TQ1||||||||||R<cr>
OBR||1234561||17432^肝機能^99I01||||||||||||14789^山田^次郎^^^^^^^L^^^^^I<cr>
SPM|2|1234562001&LB&1234560002||019^全血（添加物入り）^JC10|||||||P|2.0^mL|||||20070112
  ||||||||||1|015^血算^99C01<cr>
ORC|NW|1234562|||||||200701121348|14789^山田^次郎^^^^^^^L^^^^^I||山田^次郎^^^^^^^L^^^^^
  I|||||051^内科^99R01||||||||||||O<cr>
TQ1||||||||||R<cr>
OBR||1234562||18655^血球計数^99I01||||||||||||14789^山田^次郎^^^^^^^L^^^^^I<cr>
```

33. 検体ラベル情報照会メッセージの例

1. 内科（科コード：051）の山田次郎医師（職員番号：14789）は患者、豊田太郎(患者ID：1111222)を診察し、肝機能検査（オーダ番号：1234561、セット検査コード：17432）と血球計数検査（オーダ番号：1234562、セット検査コード：18655）をHIS端末を通して依頼する。
2. 患者は中央採血室に移動し、採血受付機に診察カードを通し採血の受付を行う。
3. 採血管準備システム（LBL system）はHISに検体ラベル情報照会メッセージを送信する。
4. HISがラベル情報を採血管準備システムに返信する。
採血管は２種（容器コード021：生化、容器コード015：血算）。
検体管理番号はそれぞれ1234561001および1234562001。
検体番号（バーコード番号）はそれぞれ1234560001および1234560002。
5. 採血管準備システムはバーコードラベルを発行、所定の採血管に貼付け、払い出す。
6. 採血担当者は採血を実施する。

33-1. ラベル情報照会メッセージの例（QBP^SLI^QBP_Q11）

```
MSH|^~\&|LIP|内科|LB|LBL system|20070112142312||QBP^SLI^QBP_Q11|20070112142312|P|2.5|
  |||||~ISO IR87||ISO 2022-1994<cr>
QPD|SLI^Specimen Labeling Instructions^IHE_LABTF|20070112142312|1111222<cr>
RCP|I||R<cr>
```

33-2. ラベル情報応答メッセージの例（RSP^SLI^RSP_K11）

```
MSH|^~\&|LIP|内科|LB|LBL system|20070112142315||RSP^SLI^RSP_K11|20070112142315|P|2.5|
  |||||~ISO IR87||ISO 2022-1994<cr>
MSA|AA|20070112142312<cr>
QAK|20070112142312|OK<cr>
QPD|SLI^Specimen Labeling Instructions^IHE_LABTF|20070112142312|1111222<cr>
PID|||1111222||Toyota^Taro^^^^^L^A~豊田^太郎^^^^^L^I~とよた^たろう^^^^^L^P||19810101|M
  <cr>
PV1||O|||||14789^山田^次郎^^^^^^^L^^^^^I|||内科<cr>
```

```
SPM|1|1234561001&LB&1234560001||023^血清^JC10|||||||P|6.0^mL|||||20070112|||||||||1|0
  21^生化^99C01<cr>
ORC|NW|1234561|||||||200701121348|14789^山田^次郎^^^^^^^L^^^^^I||14789^山田^次郎^^^^^^^
  L^^^^^I|||||051^内科^99R01||||||||||||O<cr>
TQ1|||||||||R<cr>
OBR||1234561||17432^肝機能^99I01||||||||||||14789^山田^次郎^^^^^^^L^^^^^I<cr>
SPM|2|1234562001&LB&1234560002||019^全血（添加物入り）^JC10|||||||P|2.0^mL|||||20070112
  |||||||||1|015^血算^99C01<cr>
ORC|NW|1234562|||||||200701121348|14789^山田^次郎^^^^^^^L^^^^^I||14789^山田^次郎^^^^^^^
  L^^^^^I|||||051^内科^99R01||||||||||||O<cr>
TQ1|||||||||R<cr>
OBR||1234562||18655^血球計数^99I01||||||||||||14789^山田^次郎^^^^^^^L^^^^^I<cr>
```

© JAHIS 2012

付録2.　作成者名簿

作成者（社名五十音順）

岡田　裕善	アイテック阪急阪神㈱
川田　剛	アイテック阪急阪神㈱
千葉　信行	㈱エイアンドティー
渡邊　真一	㈱エイアンドティー
長尾　麻由	㈱エイアンドティー
平沢　修	㈱テクノメディカ
伊達　督史	㈱テクノメディカ
石井　尚実	㈱日立ハイテクノロジーズ
下邨　雅一	富士通㈱
鈴木　一雄	㈱富士通山口情報
中島　隆	富士フイルム㈱
長谷川 茂男	ベックマン・コールター㈱

© JAHIS 2012

改訂履歴

改定履歴		
日付	バージョン	内容
2008 年 3 月	Ver.3.0	オフライン版 Ver.2.0 とオンライン版 Ver.2.0 を統合し、「臨床検査データ交換規約 Ver.3.0」として全面改訂
2011 年 12 月 1 日	Ver.3.1	3 ヶ年後の見直しの時期ならびに日本 HL7 協会の適合性認定での指摘事項踏まえ、説明不足箇所の見直しなど実施

改訂内容詳細

No.	章	改訂内容	改訂理由
1	5	修正	XTN 型の第一成分の説明削除（ステータスが B のため）
2	5	修正	表 0396 の”L”と”99zzz”の説明を分離（L を非推奨とした）
3	7	修正	“name of coding system (IS)”と”name of alternate coding system (IS)”のデータタイプは”ID”のため、誤記修正
4	7	修正	PV1-3：Assigned Patient Location 患者所在場所 使用例は他分野との整合性をとるため”診療科”とした
5	7	修正	PV1-10：Hospital Service 病院サービス HL7 原文の”Hospoital Service”の和訳を修正（診療部門→病院サービス）（項目タイトルと表 0069 のタイトル）
6	7	修正	HL7 属性表 － ORC - Common Order 共通オーダ HL7 Ver.2.5 日本語版の繰り返しの誤記を修正（原文は問題なし。和訳時の転記ミスと思われる）
7	7	修正	HL7 表 0119 － Order Control Code オーダ制御コード ・「SC」の利用に制限があるように見えるため修正。HL7 Ver.2.7 の表が適切であるため、和訳して差し替えた（注記追加） ・差し替えた表に含まれるため ORC-1 の説明を削除 ・HL7 Ver.2.5 より図 4-4 を「PA」の説明箇所に引用して追加
8	5	修正	誤記修正（OBR-15 が 2 個記載されていたため 1 個削除）
9	5	修正	誤記修正（PRL 第 3 成分のタイトル追記）
10	5	修正	誤記修正（MA の表の Seq.1 に番号がなかったため追記）
11	7	修正	誤記修正（”フィルド”→”フィールド”に修正）
12	7	修正	誤記修正（PID-39 タイトル追記）

© JAHIS 2012

13	7	修正	誤記修正（OBX-11 表、本文の”Observ”→”Observation”に修正
14	7	修正	誤記修正（ORC-22 表の”Faciloity”→” Facility”に修正）
15	7	修正	誤記修正（OBX-6 のデータタイプ”コード体系名(L)(ST)”→”コード体系名(ID)”に修正）
16	5,7,9,10	修正	・各セグメント表の LEN（最大長）を HL7 Ver.2.5 原文に合わせた ・原本の誤りと思われる部分を注記した（5 章）
17	付録 1	修正	誤記修正および上記改訂結果の反映
18	付録 2	新規作成	作成者名簿新規作成

© JAHIS 2012

（ＪＡＨＩＳ標準　１２－００１）
２０１２年４月発行

ＪＡＨＩＳ臨床検査データ交換規約Ｖｅｒ．３．１

発行元　一般社団法人　保健医療福祉情報システム工業会
〒１０５－０００４　東京都港区新橋２丁目５番５号
（新橋２丁目ＭＴビル５階）

電話　03-3506-8010　　FAX　03-3506-8070

© JAHIS 2012